

林宮原遺跡(2)
林中原Ⅰ遺跡(2)
中棚Ⅱ遺跡(2)

ハッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第70集

2020

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

林宮原遺跡(2)
林中原Ⅰ遺跡(2)
中棚Ⅱ遺跡(2)

ハツ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第70集

2020

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



中棚Ⅱ遺跡出土の縄文土器



7区62号土坑 遺物出土状態

序

ハツ場ダムは、治水・利水・発電を行う多目的ダムとして計画され、吾妻郡長野原町を中心に工事が進められてきました。ハツ場ダム建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査は、当事業団が平成6年度から開始し、四半世紀が過ぎました。

本書にまとめた林宮原遺跡・林中原Ⅰ遺跡・中棚Ⅱ遺跡は、いずれも長野原町林地区に所在する遺跡で、平成27年度から30年度にかけて発掘調査が行われました。

林宮原遺跡と林中原Ⅰ遺跡は、既に報告された調査区の隣接区の調査で、特に林中原Ⅰ遺跡では、先に報告されている中世から近世にかけての掘立柱建物群に関連する遺構群が検出されました。

中棚Ⅱ遺跡では、ほぼ調査区の全域から天明泥流下の畑が検出されると共に、古代の竪穴建物や土坑、縄文時代の土坑、水場遺構などの発見もあり、この台地上で長期間にわたって生活が継続していたことが確認されました。

これらの調査成果は、長野原町を中心とした地域ばかりでなく、群馬県における地域史を考える上で重要な資料となるものと考えております。

発掘調査から報告書刊行に至るまで、国土交通省ハツ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会および長野原町教育委員会をはじめとする関係機関や地元関係者の皆様には、多大なるご尽力を賜りました。本報告書を上梓するにあたり、衷心より感謝申し上げます。

令和2年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 中野三智男

例 言

1、本書は、ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査として実施された、「林宮原遺跡(はやしみやらいせき)」、「林中原Ⅰ遺跡(はやしなかりらいせき)」、「中棚Ⅱ遺跡(なかだなにいせき)」(既報告済を除く6～15区)の調査成果をまとめた発掘調査報告書である。遺跡ごとの詳細は、後記の各章を参照願いたい。

2、遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字林字宮原(林宮原遺跡)・字中原(林中原Ⅰ遺跡)・字中棚(中棚Ⅱ遺跡)地内に所在する。

林宮原遺跡：群馬県吾妻郡長野原町大字林字宮原569-2、570-2、571-3

林中原Ⅰ遺跡：群馬県吾妻郡長野原町大字林字中原809-3、810-2、810-3、816-2、816-3、852-2、852-4、853-3、853-5、853-6、853-7

林中棚Ⅱ遺跡：群馬県吾妻郡長野原町大字林字中棚199-1番地他

3、遺跡の発掘調査は、群馬県教育委員会の調整に基づき、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が国土交通省関東地方整備局よりの委託を受けて実施した。

4、各遺跡の調査面積・発掘調査期間・調査体制は、以下のとおりである。

林宮原遺跡

調査面積：160㎡

平成27年11月1日～平成27年11月30日 関 俊明(主任調査研究員)・小林茂夫(主任調査研究員)

遺跡掘削工事 シン技術・毛野・山下吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

林中原Ⅰ遺跡

調査面積：711㎡

平成30年5月1日～平成30年6月30日 佐藤賢一(主任調査研究員)・武井 学(調査研究員)

遺跡掘削工事 シン技術・毛野・山下吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

中棚Ⅱ遺跡

調査面積：44,186㎡

平成15年5月12日～平成15年6月10日[第4次] 小野和之(専門員)・瀧川伸男(専門員)

平成28年5月1日～平成28年12月31日[第5次] 笹沢泰史(主任調査研究員)・武井 学

平成29年4月1日～平成29年12月3日[第6次] 都木直人(主任調査研究員)・関 俊明・佐藤賢一・

武井 学・梅村唯斗(調査研究員)・千明 隼(調査研究員)

平成30年3月1日～平成30年3月31日[第7次] 齊藤利昭(専門調査役)

平成30年4月1日～平成30年10月31日[第8次] 関 俊明・佐藤賢一・武井 学・梅村唯斗

遺跡掘削工事 シン技術・毛野・山下吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

5、整理事業は、以下のとおりである。

林宮原遺跡・林中原Ⅰ遺跡

整理期間 平成31年1月～3月

編集担当 本文執筆：山口逸弘(専門調査役)、飯森康広(調査第2課長)、

遺構写真：各調査担当者

遺物写真：各專業班担当者、遺構測量：株式会社測研

観察表執筆 石器・石製品：津島秀章(資料第2課長・統括)、

縄文土器：石坂 茂(専門調査役)、陶磁器：大西雅広(専門調査役)。

| | |
|-------|--|
| | 金属器：板垣泰之（専門員） |
| 鑑定・分析 | 石材鑑定 飯島静男（群馬地質研究会） |
| 中棚Ⅱ遺跡 | |
| 整理期間 | 平成31年4月～令和2年3月 |
| 編集担当 | 新倉明彦（専門調査役） |
| 観察表執筆 | 石器・石製品：津島秀章、縄文土器：山口逸弘、陶磁器：矢口裕之（資料第1課長・総括）、 土師器・須恵器：神谷佳明（専門調査役）、金属器：板垣泰之 |
| 鑑定・分析 | 石材鑑定 飯島静男 人骨鑑定 奈良貴史（新潟医療福祉大学リハビリテーション学部教授） |

6、発掘調査記録および出土遺物は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

凡 例

- 1、本報告書の挿図中で使用した座標値は、発掘調査時の測量成果との整合性を保つため、旧日本測地系(平面直角座標系第IX系)を用い、方位は座標北を示す。また、等高線や遺構断面図に記した標高値は、海拔標高を示す。
- 2、遺構名称については、発掘調査時の資料との整合性を保つため、原則として調査時に付した名称・番号を踏襲し、変更したものは()内に旧称を記した。
- 3、遺構の主軸方位は、座標北を基準として、カマドを有する竪穴建物はカマドがある壁を上にして縦中軸の傾きを、それ以外の遺構は長軸の傾きをそれぞれ計測した。
- 4、遺構計測値で全容が計測できない遺構については、()で検出部の値を記した。
- 5、挿図の縮尺については、原則として以下のとおり掲載した。

〔遺構図〕 竪穴建物・竪穴状遺構・土坑・ピット・石垣・溝＝1：60、カマド＝1：30
平坦面・暗渠・自然流路・掘立柱建物＝1：80、¹・²・³・⁴・⁵・⁶・⁷・⁸・⁹・¹⁰・¹¹・¹²・¹³・¹⁴・¹⁵・¹⁶・¹⁷・¹⁸・¹⁹・²⁰・²¹・²²・²³・²⁴・²⁵・²⁶・²⁷・²⁸・²⁹・³⁰・³¹・³²・³³・³⁴・³⁵・³⁶・³⁷・³⁸・³⁹・⁴⁰・⁴¹・⁴²・⁴³・⁴⁴・⁴⁵・⁴⁶・⁴⁷・⁴⁸・⁴⁹・⁵⁰・⁵¹・⁵²・⁵³・⁵⁴・⁵⁵・⁵⁶・⁵⁷・⁵⁸・⁵⁹・⁶⁰・⁶¹・⁶²・⁶³・⁶⁴・⁶⁵・⁶⁶・⁶⁷・⁶⁸・⁶⁹・⁷⁰・⁷¹・⁷²・⁷³・⁷⁴・⁷⁵・⁷⁶・⁷⁷・⁷⁸・⁷⁹・⁸⁰・⁸¹・⁸²・⁸³・⁸⁴・⁸⁵・⁸⁶・⁸⁷・⁸⁸・⁸⁹・⁹⁰・⁹¹・⁹²・⁹³・⁹⁴・⁹⁵・⁹⁶・⁹⁷・⁹⁸・⁹⁹・¹⁰⁰・¹⁰¹・¹⁰²・¹⁰³・¹⁰⁴・¹⁰⁵・¹⁰⁶・¹⁰⁷・¹⁰⁸・¹⁰⁹・¹¹⁰・¹¹¹・¹¹²・¹¹³・¹¹⁴・¹¹⁵・¹¹⁶・¹¹⁷・¹¹⁸・¹¹⁹・¹²⁰・¹²¹・¹²²・¹²³・¹²⁴・¹²⁵・¹²⁶・¹²⁷・¹²⁸・¹²⁹・¹³⁰・¹³¹・¹³²・¹³³・¹³⁴・¹³⁵・¹³⁶・¹³⁷・¹³⁸・¹³⁹・¹⁴⁰・¹⁴¹・¹⁴²・¹⁴³・¹⁴⁴・¹⁴⁵・¹⁴⁶・¹⁴⁷・¹⁴⁸・¹⁴⁹・¹⁵⁰・¹⁵¹・¹⁵²・¹⁵³・¹⁵⁴・¹⁵⁵・¹⁵⁶・¹⁵⁷・¹⁵⁸・¹⁵⁹・¹⁶⁰・¹⁶¹・¹⁶²・¹⁶³・¹⁶⁴・¹⁶⁵・¹⁶⁶・¹⁶⁷・¹⁶⁸・¹⁶⁹・¹⁷⁰・¹⁷¹・¹⁷²・¹⁷³・¹⁷⁴・¹⁷⁵・¹⁷⁶・¹⁷⁷・¹⁷⁸・¹⁷⁹・¹⁸⁰・¹⁸¹・¹⁸²・¹⁸³・¹⁸⁴・¹⁸⁵・¹⁸⁶・¹⁸⁷・¹⁸⁸・¹⁸⁹・¹⁹⁰・¹⁹¹・¹⁹²・¹⁹³・¹⁹⁴・¹⁹⁵・¹⁹⁶・¹⁹⁷・¹⁹⁸・¹⁹⁹・²⁰⁰・²⁰¹・²⁰²・²⁰³・²⁰⁴・²⁰⁵・²⁰⁶・²⁰⁷・²⁰⁸・²⁰⁹・²¹⁰・²¹¹・²¹²・²¹³・²¹⁴・²¹⁵・²¹⁶・²¹⁷・²¹⁸・²¹⁹・²²⁰・²²¹・²²²・²²³・²²⁴・²²⁵・²²⁶・²²⁷・²²⁸・²²⁹・²³⁰・²³¹・²³²・²³³・²³⁴・²³⁵・²³⁶・²³⁷・²³⁸・²³⁹・²⁴⁰・²⁴¹・²⁴²・²⁴³・²⁴⁴・²⁴⁵・²⁴⁶・²⁴⁷・²⁴⁸・²⁴⁹・²⁵⁰・²⁵¹・²⁵²・²⁵³・²⁵⁴・²⁵⁵・²⁵⁶・²⁵⁷・²⁵⁸・²⁵⁹・²⁶⁰・²⁶¹・²⁶²・²⁶³・²⁶⁴・²⁶⁵・²⁶⁶・²⁶⁷・²⁶⁸・²⁶⁹・²⁷⁰・²⁷¹・²⁷²・²⁷³・²⁷⁴・²⁷⁵・²⁷⁶・²⁷⁷・²⁷⁸・²⁷⁹・²⁸⁰・²⁸¹・²⁸²・²⁸³・²⁸⁴・²⁸⁵・²⁸⁶・²⁸⁷・²⁸⁸・²⁸⁹・²⁹⁰・²⁹¹・²⁹²・²⁹³・²⁹⁴・²⁹⁵・²⁹⁶・²⁹⁷・²⁹⁸・²⁹⁹・³⁰⁰・³⁰¹・³⁰²・³⁰³・³⁰⁴・³⁰⁵・³⁰⁶・³⁰⁷・³⁰⁸・³⁰⁹・³¹⁰・³¹¹・³¹²・³¹³・³¹⁴・³¹⁵・³¹⁶・³¹⁷・³¹⁸・³¹⁹・³²⁰・³²¹・³²²・³²³・³²⁴・³²⁵・³²⁶・³²⁷・³²⁸・³²⁹・³³⁰・³³¹・³³²・³³³・³³⁴・³³⁵・³³⁶・³³⁷・³³⁸・³³⁹・³⁴⁰・³⁴¹・³⁴²・³⁴³・³⁴⁴・³⁴⁵・³⁴⁶・³⁴⁷・³⁴⁸・³⁴⁹・³⁵⁰・³⁵¹・³⁵²・³⁵³・³⁵⁴・³⁵⁵・³⁵⁶・³⁵⁷・³⁵⁸・³⁵⁹・³⁶⁰・³⁶¹・³⁶²・³⁶³・³⁶⁴・³⁶⁵・³⁶⁶・³⁶⁷・³⁶⁸・³⁶⁹・³⁷⁰・³⁷¹・³⁷²・³⁷³・³⁷⁴・³⁷⁵・³⁷⁶・³⁷⁷・³⁷⁸・³⁷⁹・³⁸⁰・³⁸¹・³⁸²・³⁸³・³⁸⁴・³⁸⁵・³⁸⁶・³⁸⁷・³⁸⁸・³⁸⁹・³⁹⁰・³⁹¹・³⁹²・³⁹³・³⁹⁴・³⁹⁵・³⁹⁶・³⁹⁷・³⁹⁸・³⁹⁹・⁴⁰⁰・⁴⁰¹・⁴⁰²・⁴⁰³・⁴⁰⁴・⁴⁰⁵・⁴⁰⁶・⁴⁰⁷・⁴⁰⁸・⁴⁰⁹・⁴¹⁰・⁴¹¹・⁴¹²・⁴¹³・⁴¹⁴・⁴¹⁵・⁴¹⁶・⁴¹⁷・⁴¹⁸・⁴¹⁹・⁴²⁰・⁴²¹・⁴²²・⁴²³・⁴²⁴・⁴²⁵・⁴²⁶・⁴²⁷・⁴²⁸・⁴²⁹・⁴³⁰・⁴³¹・⁴³²・⁴³³・⁴³⁴・⁴³⁵・⁴³⁶・⁴³⁷・⁴³⁸・⁴³⁹・⁴⁴⁰・⁴⁴¹・⁴⁴²・⁴⁴³・⁴⁴⁴・⁴⁴⁵・⁴⁴⁶・⁴⁴⁷・⁴⁴⁸・⁴⁴⁹・⁴⁵⁰・⁴⁵¹・⁴⁵²・⁴⁵³・⁴⁵⁴・⁴⁵⁵・⁴⁵⁶・⁴⁵⁷・⁴⁵⁸・⁴⁵⁹・⁴⁶⁰・⁴⁶¹・⁴⁶²・⁴⁶³・⁴⁶⁴・⁴⁶⁵・⁴⁶⁶・⁴⁶⁷・⁴⁶⁸・⁴⁶⁹・⁴⁷⁰・⁴⁷¹・⁴⁷²・⁴⁷³・⁴⁷⁴・⁴⁷⁵・⁴⁷⁶・⁴⁷⁷・⁴⁷⁸・⁴⁷⁹・⁴⁸⁰・⁴⁸¹・⁴⁸²・⁴⁸³・⁴⁸⁴・⁴⁸⁵・⁴⁸⁶・⁴⁸⁷・⁴⁸⁸・⁴⁸⁹・⁴⁹⁰・⁴⁹¹・⁴⁹²・⁴⁹³・⁴⁹⁴・⁴⁹⁵・⁴⁹⁶・⁴⁹⁷・⁴⁹⁸・⁴⁹⁹・⁵⁰⁰・⁵⁰¹・⁵⁰²・⁵⁰³・⁵⁰⁴・⁵⁰⁵・⁵⁰⁶・⁵⁰⁷・⁵⁰⁸・⁵⁰⁹・⁵¹⁰・⁵¹¹・⁵¹²・⁵¹³・⁵¹⁴・⁵¹⁵・⁵¹⁶・⁵¹⁷・⁵¹⁸・⁵¹⁹・⁵²⁰・⁵²¹・⁵²²・⁵²³・⁵²⁴・⁵²⁵・⁵²⁶・⁵²⁷・⁵²⁸・⁵²⁹・⁵³⁰・⁵³¹・⁵³²・⁵³³・⁵³⁴・⁵³⁵・⁵³⁶・⁵³⁷・⁵³⁸・⁵³⁹・⁵⁴⁰・⁵⁴¹・⁵⁴²・⁵⁴³・⁵⁴⁴・⁵⁴⁵・⁵⁴⁶・⁵⁴⁷・⁵⁴⁸・⁵⁴⁹・⁵⁵⁰・⁵⁵¹・⁵⁵²・⁵⁵³・⁵⁵⁴・⁵⁵⁵・⁵⁵⁶・⁵⁵⁷・⁵⁵⁸・⁵⁵⁹・⁵⁶⁰・⁵⁶¹・⁵⁶²・⁵⁶³・⁵⁶⁴・⁵⁶⁵・⁵⁶⁶・⁵⁶⁷・⁵⁶⁸・⁵⁶⁹・⁵⁷⁰・⁵⁷¹・⁵⁷²・⁵⁷³・⁵⁷⁴・⁵⁷⁵・⁵⁷⁶・⁵⁷⁷・⁵⁷⁸・⁵⁷⁹・⁵⁸⁰・⁵⁸¹・⁵⁸²・⁵⁸³・⁵⁸⁴・⁵⁸⁵・⁵⁸⁶・⁵⁸⁷・⁵⁸⁸・⁵⁸⁹・⁵⁹⁰・⁵⁹¹・⁵⁹²・⁵⁹³・⁵⁹⁴・⁵⁹⁵・⁵⁹⁶・⁵⁹⁷・⁵⁹⁸・⁵⁹⁹・⁶⁰⁰・⁶⁰¹・⁶⁰²・⁶⁰³・⁶⁰⁴・⁶⁰⁵・⁶⁰⁶・⁶⁰⁷・⁶⁰⁸・⁶⁰⁹・⁶¹⁰・⁶¹¹・⁶¹²・⁶¹³・⁶¹⁴・⁶¹⁵・⁶¹⁶・⁶¹⁷・⁶¹⁸・⁶¹⁹・⁶²⁰・⁶²¹・⁶²²・⁶²³・⁶²⁴・⁶²⁵・⁶²⁶・⁶²⁷・⁶²⁸・⁶²⁹・⁶³⁰・⁶³¹・⁶³²・⁶³³・⁶³⁴・⁶³⁵・⁶³⁶・⁶³⁷・⁶³⁸・⁶³⁹・⁶⁴⁰・⁶⁴¹・⁶⁴²・⁶⁴³・⁶⁴⁴・⁶⁴⁵・⁶⁴⁶・⁶⁴⁷・⁶⁴⁸・⁶⁴⁹・⁶⁵⁰・⁶⁵¹・⁶⁵²・⁶⁵³・⁶⁵⁴・⁶⁵⁵・⁶⁵⁶・⁶⁵⁷・⁶⁵⁸・⁶⁵⁹・⁶⁶⁰・⁶⁶¹・⁶⁶²・⁶⁶³・⁶⁶⁴・⁶⁶⁵・⁶⁶⁶・⁶⁶⁷・⁶⁶⁸・⁶⁶⁹・⁶⁷⁰・⁶⁷¹・⁶⁷²・⁶⁷³・⁶⁷⁴・⁶⁷⁵・⁶⁷⁶・⁶⁷⁷・⁶⁷⁸・⁶⁷⁹・⁶⁸⁰・⁶⁸¹・⁶⁸²・⁶⁸³・⁶⁸⁴・⁶⁸⁵・⁶⁸⁶・⁶⁸⁷・⁶⁸⁸・⁶⁸⁹・⁶⁹⁰・⁶⁹¹・⁶⁹²・⁶⁹³・⁶⁹⁴・⁶⁹⁵・⁶⁹⁶・⁶⁹⁷・⁶⁹⁸・⁶⁹⁹・⁷⁰⁰・⁷⁰¹・⁷⁰²・⁷⁰³・⁷⁰⁴・⁷⁰⁵・⁷⁰⁶・⁷⁰⁷・⁷⁰⁸・⁷⁰⁹・⁷¹⁰・⁷¹¹・⁷¹²・⁷¹³・⁷¹⁴・⁷¹⁵・⁷¹⁶・⁷¹⁷・⁷¹⁸・⁷¹⁹・⁷²⁰・⁷²¹・⁷²²・⁷²³・⁷²⁴・⁷²⁵・⁷²⁶・⁷²⁷・⁷²⁸・⁷²⁹・⁷³⁰・⁷³¹・⁷³²・⁷³³・⁷³⁴・⁷³⁵・⁷³⁶・⁷³⁷・⁷³⁸・⁷³⁹・⁷⁴⁰・⁷⁴¹・⁷⁴²・⁷⁴³・⁷⁴⁴・⁷⁴⁵・⁷⁴⁶・⁷⁴⁷・⁷⁴⁸・⁷⁴⁹・⁷⁵⁰・⁷⁵¹・⁷⁵²・⁷⁵³・⁷⁵⁴・⁷⁵⁵・⁷⁵⁶・⁷⁵⁷・⁷⁵⁸・⁷⁵⁹・⁷⁶⁰・⁷⁶¹・⁷⁶²・⁷⁶³・⁷⁶⁴・⁷⁶⁵・⁷⁶⁶・⁷⁶⁷・⁷⁶⁸・⁷⁶⁹・⁷⁷⁰・⁷⁷¹・⁷⁷²・⁷⁷³・⁷⁷⁴・⁷⁷⁵・⁷⁷⁶・⁷⁷⁷・⁷⁷⁸・⁷⁷⁹・⁷⁸⁰・⁷⁸¹・⁷⁸²・⁷⁸³・⁷⁸⁴・⁷⁸⁵・⁷⁸⁶・⁷⁸⁷・⁷⁸⁸・⁷⁸⁹・⁷⁹⁰・⁷⁹¹・⁷⁹²・⁷⁹³・⁷⁹⁴・⁷⁹⁵・⁷⁹⁶・⁷⁹⁷・⁷⁹⁸・⁷⁹⁹・⁸⁰⁰・⁸⁰¹・⁸⁰²・⁸⁰³・⁸⁰⁴・⁸⁰⁵・⁸⁰⁶・⁸⁰⁷・⁸⁰⁸・⁸⁰⁹・⁸¹⁰・⁸¹¹・⁸¹²・⁸¹³・⁸¹⁴・⁸¹⁵・⁸¹⁶・⁸¹⁷・⁸¹⁸・⁸¹⁹・⁸²⁰・⁸²¹・⁸²²・⁸²³・⁸²⁴・⁸²⁵・⁸²⁶・⁸²⁷・⁸²⁸・⁸²⁹・⁸³⁰・⁸³¹・⁸³²・⁸³³・⁸³⁴・⁸³⁵・⁸³⁶・⁸³⁷・⁸³⁸・⁸³⁹・⁸⁴⁰・⁸⁴¹・⁸⁴²・⁸⁴³・⁸⁴⁴・⁸⁴⁵・⁸⁴⁶・⁸⁴⁷・⁸⁴⁸・⁸⁴⁹・⁸⁵⁰・⁸⁵¹・⁸⁵²・⁸⁵³・⁸⁵⁴・⁸⁵⁵・⁸⁵⁶・⁸⁵⁷・⁸⁵⁸・⁸⁵⁹・⁸⁶⁰・⁸⁶¹・⁸⁶²・⁸⁶³・⁸⁶⁴・⁸⁶⁵・⁸⁶⁶・⁸⁶⁷・⁸⁶⁸・⁸⁶⁹・⁸⁷⁰・⁸⁷¹・⁸⁷²・⁸⁷³・⁸⁷⁴・⁸⁷⁵・⁸⁷⁶・⁸⁷⁷・⁸⁷⁸・⁸⁷⁹・⁸⁸⁰・⁸⁸¹・⁸⁸²・⁸⁸³・⁸⁸⁴・⁸⁸⁵・⁸⁸⁶・⁸⁸⁷・⁸⁸⁸・⁸⁸⁹・⁸⁹⁰・⁸⁹¹・⁸⁹²・⁸⁹³・⁸⁹⁴・⁸⁹⁵・⁸⁹⁶・⁸⁹⁷・⁸⁹⁸・⁸⁹⁹・⁹⁰⁰・⁹⁰¹・⁹⁰²・⁹⁰³・⁹⁰⁴・⁹⁰⁵・⁹⁰⁶・⁹⁰⁷・⁹⁰⁸・⁹⁰⁹・⁹¹⁰・⁹¹¹・⁹¹²・⁹¹³・⁹¹⁴・⁹¹⁵・⁹¹⁶・⁹¹⁷・⁹¹⁸・⁹¹⁹・⁹²⁰・⁹²¹・⁹²²・⁹²³・⁹²⁴・⁹²⁵・⁹²⁶・⁹²⁷・⁹²⁸・⁹²⁹・⁹³⁰・⁹³¹・⁹³²・⁹³³・⁹³⁴・⁹³⁵・⁹³⁶・⁹³⁷・⁹³⁸・⁹³⁹・⁹⁴⁰・⁹⁴¹・⁹⁴²・⁹⁴³・⁹⁴⁴・⁹⁴⁵・⁹⁴⁶・⁹⁴⁷・⁹⁴⁸・⁹⁴⁹・⁹⁵⁰・⁹⁵¹・⁹⁵²・⁹⁵³・⁹⁵⁴・⁹⁵⁵・⁹⁵⁶・⁹⁵⁷・⁹⁵⁸・⁹⁵⁹・⁹⁶⁰・⁹⁶¹・⁹⁶²・⁹⁶³・⁹⁶⁴・⁹⁶⁵・⁹⁶⁶・⁹⁶⁷・⁹⁶⁸・⁹⁶⁹・⁹⁷⁰・⁹⁷¹・⁹⁷²・⁹⁷³・⁹⁷⁴・⁹⁷⁵・⁹⁷⁶・⁹⁷⁷・⁹⁷⁸・⁹⁷⁹・⁹⁸⁰・⁹⁸¹・⁹⁸²・⁹⁸³・⁹⁸⁴・⁹⁸⁵・⁹⁸⁶・⁹⁸⁷・⁹⁸⁸・⁹⁸⁹・⁹⁹⁰・⁹⁹¹・⁹⁹²・⁹⁹³・⁹⁹⁴・⁹⁹⁵・⁹⁹⁶・⁹⁹⁷・⁹⁹⁸・⁹⁹⁹・¹⁰⁰⁰

6、遺物観察表での表現は、以下のとおりである。

- ・遺物番号は、観察表・実測図・遺物写真共に共通する。
- ・土器・土製品胎土の細砂粒と粗砂粒とは、直径2mmを境に区別した。
- ・成・整形の特徴の項目にあるハケ目の本数は、1cmあたりの本数を示す。
- ・土器計測位置の表現は、口径＝口、底径＝底、器高＝高と略記した。
- ・遺物の計測値で、欠損品の場合は、()で残存部の値を記した。

7、遺物観察表や土層注記文中の色調は、農林水産省技術会議監修(財)日本色彩研究所色票監修『新版 標準土色帖』1996年版の色名を使用した。

8、挿図中で使用したトーンは、次のとおりである。

〔遺構図〕 焼土■ 軽石○ 粘土■ 礫床■ 石垣■ 炭化物○ 擾乱■
骨☆ 土器● 石器▲ 炭× 鉄■ 浅間石○

〔遺物図〕 赤色物質付着■ ■ 磨り面□ 強い磨り面□ | 灰釉■ 黒色■ 煤■

9、本書で使用した地形図・地勢図は、以下のとおりである。

国土地理院地形図 1:25,000「長野原」平成9年7月1日発行

目 次

| | | |
|---------|----------------|-----|
| 口絵 | 中棚Ⅱ遺跡出土遺物 | |
| 序 | | |
| 例言 | | |
| 凡例 | | |
| 目次 | | |
| 挿図目次 | | |
| 表目次 | | |
| 写真目次 | | |
| 第1章 | 調査に至る経過と周辺の環境 | 1 |
| 第1節 | 調査に至る経過 | 1 |
| 第2節 | ハツ場ダム調査地域の調査方法 | 1 |
| 第3節 | 遺跡の位置と地形 | 4 |
| 第4節 | 周辺の遺跡 | 5 |
| 第5節 | 林地区の遺跡 | 9 |
| 第2章 | 林宮原遺跡 | 13 |
| 第1節 | 調査に至る経緯と調査経過 | 13 |
| 第2節 | 遺跡の地形と基本土層 | 14 |
| 第3節 | 調査成果 | 17 |
| 第4節 | 総括 | 17 |
| 第3章 | 林中原Ⅰ遺跡 | 21 |
| 第1節 | 調査経過と調査概要 | 21 |
| 第2節 | 遺跡の地形と基本土層 | 22 |
| 第3節 | 検出された遺構と遺物 | 26 |
| 第1項 | 遺跡の概要 | 26 |
| 第2項 | 縄文時代 | 26 |
| 第3項 | 古代～中世 | 32 |
| 第4項 | 中世～近世 | 34 |
| 第4節 | 総括 | 63 |
| 出土遺物観察表 | | 72 |
| 第4章 | 中棚Ⅱ遺跡 | 74 |
| 第1節 | 調査に至る経緯と調査経過 | 74 |
| 第1項 | 調査に至る経緯 | 74 |
| 第2項 | 調査の経過 | 75 |
| 第3項 | 調査の方法 | 76 |
| 第2節 | 基本土層 | 77 |
| 第3節 | 検出された遺構と遺物 | 83 |
| 第1項 | 天明泥流後の遺構 | 83 |
| 1 | 復旧坑・復旧坑群 | 83 |
| 第2項 | 天明泥流・軽石直下の遺構 | 94 |
| 1 | 畑・平坦面 | 94 |
| 2 | 道・石垣・石列・ヤックラ | 120 |
| 第3項 | 古代～中・近世の遺構と遺物 | 133 |
| 1 | 竪穴建物 | 133 |
| 2 | 掘立柱建物・柵列 | 169 |
| 3 | 竪穴状遺構 | 189 |
| 4 | 土坑・ビット・暗渠 | 197 |
| 5 | 墓坑 | 235 |
| 6 | 遺構外出土遺物 | 237 |
| 7 | 出土遺物観察表 | 238 |
| 第4項 | 縄文時代の遺構と遺物 | 243 |
| 1 | 自然流路・水場遺構 | 243 |
| 2 | 土坑・陥し穴・ビット | 244 |
| 3 | 焼土・灰 | 254 |
| 4 | 縄文時代の総括 | 263 |
| 5 | 縄文時代出土遺物観察表 | 282 |
| 写真図版 | | |
| 報告書抄録 | | |
| 付図 | | |

挿図目次

| | | | | | | | | |
|------|---|-----|-------|----------------------|----------------------|---------|------|-----|
| 第1図 | 林宮原遺跡(1)・林中原1遺跡(2)・中樞Ⅱ遺跡(3)位置図(国土地理院2万5千分の1地形図「長野原」使用) | 1 | 第58図 | 4号・5号畑 | 平面図 | 97 | | |
| 第2図 | 調査区の設定 | 2 | 第59図 | 6号・7号畑 | 平面図 | 98 | | |
| 第3図 | 周辺の遺跡及び段丘面(国土地理院2万5千分の1地形図「長野原」使用) (段丘図に関しては「長野原町の自然」(1993)長野原町)及び「林地遺跡群」(長野原町2015)から引用し、一部を改変した。) | 4 | 第60図 | 8号・9号畑 | 平面図 | 99 | | |
| 第4図 | 林地遺跡分布図及び地形図 (番号は長野原町遺跡台帳番号) | 6 | 第61図 | 10号・11号畑 | 平面図 | 100 | | |
| 第5図 | 林宮原遺跡位置図(長野原町都市計画図を使用) | 14 | 第62図 | 14区東半1面 | 全体図 | 101 | | |
| 第6図 | 林宮原遺跡基本土層図15 | 16 | 第63図 | 12号畑 | 平面図 | 102 | | |
| 第7図 | 林宮原遺跡調査第1面全体図及び火山灰分布1・2 | 18 | 第64図 | 13号畑 | 平面図、14号畑 | 平面図 | 103 | |
| 第8図 | 林宮原遺跡調査第2面全体図及び出土遺物 | 18 | 第65図 | 15号畑 | 平面図 | 104 | | |
| 第9図 | 浅間船川テラス堆積遺構事例(林宮原遺跡S102) | 19 | 第66図 | 16号畑 | 平面図 | 105 | | |
| 第10図 | 林宮原遺跡57区1号孤立柱建物跡P-10内出土柱材 | 20 | 第67図 | 17号畑 | 平面図 | 106 | | |
| 第11図 | 林宮原遺跡57区1号孤立柱建物跡 (第60集第64図より転載) | 20 | 第68図 | 18号・19号畑 | 平面図 | 107 | | |
| 第12図 | 林中原1遺跡位置図(長野原町都市計画図を使用) | 23 | 第69図 | 20号畑 | 平面図 | 108 | | |
| 第13図 | 林中原1遺跡基本土層図及び柱状図作成地点 | 24 | 第70図 | VⅢ区1面 | 全体図 | 109 | | |
| 第14図 | 林中原1遺跡全体図 | 25 | 第71図 | 21号・22号畑 | 平面図、23号・24号畑 | 平面図 | 111 | |
| 第15図 | 林中原1遺跡縄文時代土坑(1)及び出土遺物 | 27 | 第72図 | 25号・26号畑 | 平面図 | 112 | | |
| 第16図 | 林中原1遺跡縄文時代土坑(2) | 29 | 第73図 | 15区1面 | 全体図 | 113 | | |
| 第17図 | 林中原1遺跡縄文時代遺構外出土遺物 | 31 | 第74図 | 4-1号平坦面 | 平面図、6-1号平坦面 | 平面図 | 115 | |
| 第18図 | 林中原1遺跡古代～中世土坑 | 33 | 第75図 | 6-2号、6-3号、6-4号平坦面 | 平面図 | 116 | | |
| 第19図 | 林中原1遺跡中世～近世42区5号孤立柱建物 | 35 | 第76図 | 7-1号・7-2号・7-3号平坦面 | 平面図、9-1号・10-1号・10-2号 | 平坦面 | 117 | |
| 第20図 | 林中原1遺跡中世～近世42区2号孤立柱建物 | 37 | 第77図 | 11-1号・12-1号・13-1号平坦面 | 平面図 | 118 | | |
| 第21図 | 林中原1遺跡中世～近世42区3号孤立柱建物 | 39 | 第78図 | 15-1号・15-2号・25-1号平坦面 | 平面図、16-1号・26-1号平坦面 | 平面図 | 119 | |
| 第22図 | 林中原1遺跡中世～近世43区4号孤立柱建物(1) | 41 | 第79図 | 1号・2号道 | 平面図、3号道 | 平面図 | 120 | |
| 第23図 | 林中原1遺跡中世～近世43区4号孤立柱建物(2) | 42 | 第80図 | 4号道 | 平面図、5号道 | 平面図、6号道 | 見取り図 | 121 |
| 第24図 | 林中原1遺跡中世～近世43区5号孤立柱建物(1) | 43 | 第81図 | 6号道 | 平面図 | 122 | | |
| 第25図 | 林中原1遺跡中世～近世43区5号孤立柱建物(2) | 44 | 第82図 | 1号石垣 | 平面図 | 123 | | |
| 第26図 | 林中原1遺跡中世～近世43区6号孤立柱建物(1) | 45 | 第83図 | 2号石垣 | 平面図 | 124 | | |
| 第27図 | 林中原1遺跡中世～近世43区6号孤立柱建物(2) | 46 | 第84図 | 3号石垣 | 平面図 | 125 | | |
| 第28図 | 林中原1遺跡中世～近世43区7号孤立柱建物 | 46 | 第85図 | 4号・5号・6号石垣 | 平面図 | 126 | | |
| 第29図 | 林中原1遺跡中世～近世43区8号孤立柱建物 | 47 | 第86図 | 13区1面 | 全体図 | 127 | | |
| 第30図 | 林中原1遺跡中世～近世42区1号柱穴 | 49 | 第87図 | 1号石列 | 平面図 | 128 | | |
| 第31図 | 林中原1遺跡中世～近世43区1号柱穴 | 50 | 第88図 | 11区1面 | 全体図 | 129 | | |
| 第32図 | 林中原1遺跡中世～近世43区1号焼土 | 51 | 第89図 | Ⅷ区・Ⅸ区1面 | 全体図 | 131 | | |
| 第33図 | 林中原1遺跡中世～近世42区1号溝 | 51 | 第90図 | 1号竪穴建物 | 平面図、出土遺物区 | 133 | | |
| 第34図 | 林中原1遺跡中世～近世43区1号溝 | 52 | 第91図 | 2号竪穴建物 | 平面図(1) | 134 | | |
| 第35図 | 林中原1遺跡中世～近世土坑(1) | 54 | 第92図 | 2号竪穴建物 | 平面図(2) | 135 | | |
| 第36図 | 林中原1遺跡中世～近世土坑(2) | 57 | 第93図 | 2号竪穴建物 | 平面図(3)、出土遺物区 | 136 | | |
| 第37図 | 林中原1遺跡中世～近世土坑(3)及び出土遺物 | 59 | 第94図 | 3号竪穴建物 | 平面図(1) | 136 | | |
| 第38図 | 林中原1遺跡中世～近世P173及び出土遺物 | 62 | 第95図 | 3号竪穴建物 | 平面図(2) | 137 | | |
| 第39図 | 林中原1遺跡中世～近世遺構外出土遺物 | 62 | 第96図 | 3号竪穴建物 | 出土遺物区 | 138 | | |
| 第40図 | 52・53区建物変遷図 | 65 | 第97図 | 4号竪穴建物 | 平面図(1) | 138 | | |
| 第41図 | 林中原1遺跡孤立柱建物配置図(1) | 67 | 第98図 | 4号竪穴建物 | 平面図(2)、出土遺物区 | 139 | | |
| 第42図 | 林中原1遺跡孤立柱建物配置図(2) | 68 | 第99図 | 5号竪穴建物 | 平面図(1) | 139 | | |
| 第43図 | 中樞Ⅱ遺跡 基本土層図 | 78 | 第100図 | 5号竪穴建物 | 平面図(2) | 140 | | |
| 第44図 | 中樞Ⅱ遺跡 調査区図 | 79 | 第101図 | 5号竪穴建物 | 出土遺物区 | 141 | | |
| 第45図 | 中樞Ⅱ遺跡 グリッド図 | 81 | 第102図 | 6号竪穴建物 | 平面図 | 141 | | |
| 第46図 | 1号復旧坑・1号復旧坑群 | 平面図 | 第103図 | 6号竪穴建物 | 出土遺物区 | 142 | | |
| 第47図 | 2号復旧坑群 | 平面図 | 第104図 | 7号竪穴建物 | 平面図(1) | 143 | | |
| 第48図 | 3号復旧坑群 | 平面図 | 第105図 | 7号竪穴建物 | 平面図(2) | 144 | | |
| 第49図 | 4号復旧坑群 | 平面図 | 第106図 | 7号竪穴建物 | 出土遺物区 | 145 | | |
| 第50図 | 5号復旧坑群 | 平面図 | 第107図 | 8号竪穴建物 | 平面図(1) | 145 | | |
| 第51図 | 6号復旧坑群 | 平面図 | 第108図 | 8号竪穴建物 | 平面図(2) | 146 | | |
| 第52図 | 7号・8号・10号・11号復旧坑群 | 平面図 | 第109図 | 8号竪穴建物 | 平面図(3)、出土遺物区 | 147 | | |
| 第53図 | 7号・8号・10号復旧坑群 | 平面図 | 第110図 | 9号竪穴建物 | 平面図(1) | 148 | | |
| 第54図 | 9号復旧坑群 | 平面図 | 第111図 | 9号竪穴建物 | 平面図(2)、出土遺物区 | 149 | | |
| 第55図 | 12号復旧坑群 | 平面図 | 第112図 | 10号竪穴建物 | 平面図(1) | 150 | | |
| 第56図 | 1号・2号・3号畑 | 平面図 | 第113図 | 10号竪穴建物 | 平面図(2) | 151 | | |
| 第57図 | 10区東端部1面 | 全体図 | 第114図 | 10号竪穴建物 | 平面図(3)、出土遺物区 | 152 | | |
| | | | 第115図 | 11号竪穴建物 | 平面図(1) | 153 | | |
| | | | 第116図 | 11号竪穴建物 | 平面図(2)、出土遺物区 | 154 | | |
| | | | 第117図 | 12号竪穴建物 | 平面図(1) | 155 | | |
| | | | 第118図 | 12号竪穴建物 | 平面図(2)、出土遺物区(1) | 156 | | |

| | | | | | | | | |
|-------|--------------|---------------------|-----|-------|-----------------|--------|-----|-----|
| 第119図 | 12号竪穴建物 | 出土遺物図(2) | 157 | 第186図 | 3号・4号竪坑 | 平面図 | 236 | |
| 第120図 | 13号竪穴建物 | 平面図(1) | 158 | 第187図 | 道横外出土遺物 | | 237 | |
| 第121図 | 13号竪穴建物 | 平面図(2)、出土遺物図(1) | 159 | 第188図 | 1号・2号自然道路(水場道横) | 平面図 | 243 | |
| 第122図 | 13号竪穴建物 | 出土遺物図(2) | 160 | 第189図 | 縄文時代上坑 | 平面図(1) | 244 | |
| 第123図 | 14号竪穴建物 | 平面図、出土遺物図 | 161 | 第190図 | 縄文時代上坑 | 平面図(2) | 陥し穴 | 245 |
| 第124図 | 15号竪穴建物 | 平面図、出土遺物図 | 162 | 第191図 | 縄文時代上坑 | 平面図(3) | 陥し穴 | 246 |
| 第125図 | 16号竪穴建物 | 平面図(1) | 163 | 第192図 | 縄文時代上坑 | 平面図(4) | 陥し穴 | 247 |
| 第126図 | 16号竪穴建物 | 平面図(2) | 164 | 第193図 | 縄文時代上坑 | 平面図(5) | 陥し穴 | 248 |
| 第127図 | 16号竪穴建物 | 平面図(3)、出土遺物図(1) | 165 | 第194図 | 縄文時代上坑 | 平面図(6) | 陥し穴 | 249 |
| 第128図 | 16号竪穴建物 | 出土遺物図(2) | 166 | 第195図 | 縄文時代上坑 | 平面図(7) | 陥し穴 | 250 |
| 第129図 | 17号竪穴建物 | 平面図 | 167 | 第196図 | 縄文時代上坑 | 平面図(8) | 陥し穴 | 251 |
| 第130図 | 17号竪穴建物 | 出土遺物図 | 168 | 第197図 | 縄文時代ピット | 平面図(1) | | 252 |
| 第131図 | 18号竪穴建物 | 平面図 | 168 | 第198図 | 縄文時代ピット | 平面図(2) | | 253 |
| 第132図 | 1号竪立柱建物 | 平面図 | 169 | 第199図 | 炉 | 平面図 | | 254 |
| 第133図 | 2号竪立柱建物 | 平面図 | 170 | 第200図 | 炉 | 平面図 | | 255 |
| 第134図 | 3号竪立柱建物 | 平面図 | 171 | 第201図 | Ⅵ区3面 | 全体図 | | 257 |
| 第135図 | 4号竪立柱建物 | 平面図 | 172 | 第202図 | Ⅹ区3面 | 全体図 | | 259 |
| 第136図 | 5号竪立柱建物 | 平面図 | 173 | 第203図 | Ⅳ区2面・3面 | 全体図 | | 261 |
| 第137図 | 6号竪立柱建物 | 平面図 | 174 | 第204図 | 縄文時代出土遺物(1) | | | 265 |
| 第138図 | 7号竪立柱建物 | 平面図 | 175 | 第205図 | 縄文時代出土遺物(2) | | | 266 |
| 第139図 | 8号竪立柱建物 | 平面図 | 176 | 第206図 | 縄文時代出土遺物(3) | | | 267 |
| 第140図 | 9号竪立柱建物 | 平面図 | 177 | 第207図 | 縄文時代出土遺物(4) | | | 268 |
| 第141図 | 10号竪立柱建物 | 平面図 | 178 | 第208図 | 縄文時代出土遺物(5) | | | 269 |
| 第142図 | 11号竪立柱建物 | 平面図 | 179 | 第209図 | 縄文時代出土遺物(6) | | | 270 |
| 第143図 | 12号・13号竪立柱建物 | 平面図 | 180 | 第210図 | 縄文時代出土遺物(7) | | | 271 |
| 第144図 | Ⅶ区・7区2面 | 全体図 | 181 | 第211図 | 縄文時代出土遺物(8) | | | 272 |
| 第145図 | Ⅹ区西半部2面 | 全体図 | 183 | 第212図 | 縄文時代出土遺物(9) | | | 273 |
| 第146図 | Ⅹ区東半部2面 | 全体図 | 185 | 第213図 | 縄文時代出土遺物(10) | | | 274 |
| 第147図 | 1号櫛列 | 平面図 | 187 | 第214図 | 縄文時代出土遺物(11) | | | 275 |
| 第148図 | 2号・3号・4号櫛列 | 平面図 | 188 | 第215図 | 縄文時代出土遺物(12) | | | 276 |
| 第149図 | 1号竪穴状遺構 | 平面図、出土遺物図 | 189 | 第216図 | 縄文時代出土遺物(13) | | | 277 |
| 第150図 | 2号竪穴状遺構 | 平面図 | 190 | 第217図 | 縄文時代出土遺物(14) | | | 278 |
| 第151図 | Ⅹ区2面 | 全体図 | 191 | 第218図 | 縄文時代出土遺物(15) | | | 279 |
| 第152図 | Ⅵ区2・3面 | 全体図 | 193 | 第219図 | 縄文時代出土遺物(16) | | | 280 |
| 第154図 | 上坑 | 平面図(1)、3号上坑出土遺物図 | 197 | 第220図 | 縄文時代出土遺物(17) | | | 281 |
| 第155図 | 上坑 | 平面図(2) | 198 | | | | | |
| 第156図 | 上坑 | 平面図(3) | 199 | | | | | |
| 第157図 | 上坑 | 平面図(4) | 200 | | | | | |
| 第158図 | 上坑 | 平面図(5) | 201 | | | | | |
| 第159図 | 上坑 | 平面図(6) | 202 | | | | | |
| 第160図 | 上坑 | 平面図(7) | 203 | | | | | |
| 第161図 | 上坑 | 平面図(8) | 204 | | | | | |
| 第162図 | 上坑 | 平面図(9) | 205 | | | | | |
| 第163図 | 上坑 | 平面図(10) | 206 | | | | | |
| 第164図 | 上坑 | 平面図(11) | 207 | | | | | |
| 第165図 | 上坑 | 平面図(12) | 208 | | | | | |
| 第166図 | 上坑 | 平面図(13) | 209 | | | | | |
| 第167図 | 上坑 | 平面図(14)、282号上坑出土遺物図 | 210 | | | | | |
| 第168図 | 上坑 | 平面図(15) | 211 | | | | | |
| 第169図 | 上坑 | 平面図(16) | 212 | | | | | |
| 第170図 | 上坑 | 平面図(17) | 213 | | | | | |
| 第171図 | 上坑 | 平面図(18) | 214 | | | | | |
| 第172図 | ピット | 平面図(1) | 215 | | | | | |
| 第173図 | ピット | 平面図(2) | 216 | | | | | |
| 第174図 | ピット | 平面図(3) | 217 | | | | | |
| 第175図 | ピット | 平面図(4) | 218 | | | | | |
| 第176図 | ピット | 平面図(5) | 219 | | | | | |
| 第177図 | ピット | 平面図(6) | 220 | | | | | |
| 第178図 | ピット | 平面図(7) | 221 | | | | | |
| 第179図 | ピット | 平面図(8) | 222 | | | | | |
| 第180図 | ピット | 平面図(9) | 223 | | | | | |
| 第181図 | ピット | 平面図(10) | 224 | | | | | |
| 第182図 | ピット | 平面図(11) | 225 | | | | | |
| 第183図 | ピット | 平面図(12) | 226 | | | | | |
| 第184図 | ピット | 平面図(13) | 227 | | | | | |
| 第185図 | 1号・2号竪坑 | 平面図 | 235 | | | | | |

表 目 次

| | | | | | |
|-------|----------------------|-----|------|----------------|-----|
| 第1表 | ハツ場ダム建設に伴う発掘調査道跡YD番号 | 3 | 第39表 | 30号土坑遺物観察表 | 285 |
| 第2表 | 周辺の主な道跡一覧 | 8 | 第40表 | 284号ビット遺物観察表 | 285 |
| 第3表 | 林地区道跡一覧 | 12 | 第41表 | 11号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第4表 | 林中原1道跡未掘截遺物数量一覧 | 31 | 第42表 | 13号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第5表 | 林中原1道跡掘立柱建物計測表 | 63 | 第43表 | 14号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第6表 | 林中原1道跡屋敷建物略括表 | 66 | 第44表 | 16号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第7表 | 林中原1道跡道構計測表 | 69 | 第45表 | 50号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第8表 | 林宮原道跡遺物観察表 | 71 | 第46表 | 57号土坑遺物観察表 | 286 |
| 第9表 | 林中原1道跡遺物観察表 | 71 | 第47表 | 232号土坑遺物観察表 | 286 |
| 中樞Ⅱ道跡 | | | 第48表 | 62号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第10表 | 2面上坑一覧表 | 228 | 第49表 | 79号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第11表 | ビット一覧表 | 230 | 第50表 | 136号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第12表 | 1号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第51表 | 159号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第13表 | 2号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第52表 | 162号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第14表 | 3号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第53表 | 194号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第15表 | 4号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第54表 | 221号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第16表 | 5号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第55表 | 213号土坑遺物観察表 | 287 |
| 第17表 | 6号型穴建物遺物観察表 | 238 | 第56表 | 227号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第18表 | 7号型穴建物遺物観察表 | 239 | 第57表 | 248号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第19表 | 8号型穴建物遺物観察表 | 239 | 第58表 | 253号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第20表 | 9号型穴建物遺物観察表 | 239 | 第59表 | 260号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第21表 | 10号型穴建物遺物観察表 | 239 | 第60表 | 270号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第22表 | 11号型穴建物遺物観察表 | 240 | 第61表 | 278号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第23表 | 12号型穴建物遺物観察表 | 240 | 第62表 | 285号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第24表 | 13号型穴建物遺物観察表 | 240 | 第63表 | 288号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第25表 | 14号型穴建物遺物観察表 | 240 | 第64表 | 378号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第26表 | 15号型穴建物遺物観察表 | 241 | 第65表 | 840号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第27表 | 16号型穴建物遺物観察表 | 241 | 第66表 | 843号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第28表 | 17号型穴建物遺物観察表 | 241 | 第67表 | 1035号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第29表 | 1号型穴状道構遺物観察表 | 242 | 第68表 | 1037号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第30表 | 3号土坑遺物観察表 | 242 | 第69表 | 1049号ビット遺物観察表 | 288 |
| 第31表 | 282号土坑遺物観察表 | 242 | 第70表 | 302号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第32表 | 道構外出土遺物(平安～中世)観察表 | 242 | 第71表 | 304号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第33表 | 縄文土坑一覧表 | 256 | 第72表 | 306号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第34表 | 縄文簡し六一覧表 | 256 | 第73表 | 311号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第35表 | 2号自然流路(水場道構)遺物観察表 | 282 | 第74表 | 318号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第36表 | 2号土坑遺物観察表 | 285 | 第75表 | 343号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第37表 | 3号土坑遺物観察表 | 285 | 第76表 | 349号土坑遺物観察表 | 288 |
| 第38表 | 7号土坑遺物観察表 | 285 | 第77表 | 道構外出土遺物(縄文)観察表 | 290 |

写真目次

- PL. 1 1. 林宮原遺跡 調査区より南西の丸岩を臨む
 2. 調査第1面全景(東から)
 3. 調査第1面火山灰分布(西から)
 4. 調査第1面火山灰分布1(南から)
 5. 調査第1面火山灰分布2(南から)
- PL. 2 1. 調査第2面全景(東から)
 2. 調査第2面遺物出土状態(西から)
 3. 調査第2面遺物出土状態(西から)
 4. 調査第3面全景(東から)
 5. 調査第4面及び5面全景(北東から)
 6. 調査風景(北東から)
 7. 調査風景(南西から)
 8. 調査区北西の王城山神社
- PL. 3 1. 林中原1遺跡全景(東から)
 2. 調査第1面全景
- PL. 4 1. 調査第2面全景(西から)
 2. 調査第2面全景
 3. 42区7号土坑全景(西から)
 4. 42区7号土坑遺物出土(西から)
 5. 42区11号土坑全景(南から)
 6. 43区7号土坑全景
 7. 43区18号土坑遺物出土状態(東から)
 8. 43区18号土坑完掘(東から)
- PL. 5 1. 43区19号土坑全景(南から)
 2. 43区20号土坑全景(北から)
 3. 43区21号土坑全景(南東から)
 4. 43区22号土坑全景(南から)
 5. 43区23・24号土坑全景(北から)
 6. 43区25号土坑全景(南から)
 7. 42区調査風景
 8. 43区調査風景
- PL. 6 1. 42区9号土坑全景(北から)
 2. 42区9号土坑土層(東から)
 3. 42区10号土坑全景(東から)
 4. 42区10号土坑土層(東から)
 5. 43区2号土坑全景(南から)
 6. 43区2号土坑土層(南から)
 7. 43区17号土坑遺物出土状態(西から)
 8. 43区17号土坑全景(西から)
- PL. 7 1. 42区掘立柱建物群全景
 2. 43区掘立柱建物群全景
- PL. 8 1. 42区1号掘立柱建物群全景(南から)
 2. 42区2号掘立柱建物群全景(南から)
 3. 43区3号掘立柱建物群全景(南から)
 4. 43区4号掘立柱建物群全景(南から)
 5. 43区5号掘立柱建物群全景(南から)
 6. 43区6号掘立柱建物群全景(南から)
 7. 43区7号掘立柱建物群全景(南から)
 8. 43区8号掘立柱建物群全景(南から)
- PL. 9 1. 43区1号焼土全景(南から)
 2. 43区1号焼土土層(南から)
 3. 42区1号溝全景(北から)
 4. 42区1号溝土層(北から)
 5. 43区1号溝全景(南から)
 6. 43区1号溝全景(南西から)
 7. 43区1号溝製品(籾)出土状態(南から)
 8. 43区1号溝土層(南から)
- PL. 10 1. 42区1号土坑全景(北から)
 2. 42区2号土坑全景(東から)
 3. 42区3号土坑全景(西から)手前4号土坑
 4. 42区4号土坑全景(南から)
 5. 42区5号土坑全景(北から)
 6. 42区6号土坑全景(北から)
7. 42区8号土坑全景(東から)
 8. 43区1号土坑全景(北から)
- PL. 11 1. 43区3号土坑確認画(東から)
 2. 43区3号土坑層除去状態(東から)
 3. 43区3号土坑全景(北から)
 4. 43区3号土坑完掘(北から)
 5. 43区4号土坑全景(北から)
 6. 43区5・6号土坑全景(北から)
 7. 43区8号土坑全景(北から)
 8. 43区9号土坑全景(南から)
- PL. 12 1. 43区10号土坑全景(北から)
 2. 43区11号土坑全景(北から)
 3. 43区12号土坑全景(北から)
 4. 43区13号土坑全景(北西から)
 5. 43区14号土坑全景(東から)
 6. 43区14号土坑土層(南から)
 7. 43区15号土坑全景(北から)
 8. 43区16号土坑全景(南から)
- PL. 13 1. 42区ビット群(北東から)
 2. 42区ビット(西から)
 3. 43区ビット群(南から)
 4. 43区中央部ビット群(北から)
 5. 43区173号ビット遺物出土状態(南から)
 6. 43区173号ビット完掘(北から)
 7. 43区西壁基本土層(東から)
 8. 吾妻川畔より現在の林地区を臨む
- PL. 14 林宮原・林中原1遺跡出土遺物
- PL. 15 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. VI区南東端1面全景 上空より
 2. VI区南東端1面全景 上空より
- PL. 16 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. VII(7区)2面南西部 上空より
 2. 14区全景 上空より
- PL. 17 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. 8区1面(19層) 上空より
 2. 8区1面(20層) 上空より
- PL. 18 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. 10区1面西 東平 上空より
 2. 10区1面西 西平 上空より
- PL. 19 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. 15区全景 上空より
 2. 15区遠景 上空より
- PL. 20 中欄Ⅱ遺跡 調査区全景・遠景
 1. 10区遠景 上空 南東より
 2. 10区遠景 上空 西より
- PL. 21 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 1号復旧坑 西より
 2. 2号復旧坑群全景 東より
- PL. 22 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 3号復旧坑群全景 東より
 2. 4号復旧坑群全景 南西より
- PL. 23 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 6号復旧坑群全景 南より
 2. 6号復旧坑群理土断面
- PL. 24 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 8号復旧坑群理土断面
 2. 8号復旧坑群理土断面
- PL. 25 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 9号復旧坑群と4・5号畑全景 西より
 2. 9号復旧坑群理土断面
- PL. 26 中欄Ⅱ遺跡 復旧坑群
 1. 10号復旧坑群全景 南より
 2. 10号復旧坑群全景 南より

- PL-27 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 1・2号畑(10区)全景 南より
 2. 4・5・6号畑(10区西)全景 上空より
 3. 4・5・6号畑、9号復旧坑群(10区西) 西より
 4. 5・6号畑、9号復旧坑群(10区西) 南より
 5. 6号畑、3・4号石垣(10区西) 南より
- PL-28 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 7・8・9号畑(10区西)全景 上空より
 2. 7～3平畑面(10区西) 西より
 3. 7・8・9号畑(10区西) 北より
 4. 8・9号畑(10区西) 北より
 5. 7・8・9号畑、10号復旧坑(10区西)全景 南より
- PL-29 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 10・11・12・13号畑、6号道、6・7・8号復旧坑群(6区南東端) 上空より
 2. 11・12号畑、6号道(6区)全景 西より
- PL-30 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 13号畑、12号復旧坑群(14区) 東より
 2. 14号畑、2号道(6区) 南西より
 3. 14号畑、6号復旧坑群(6区) 北東より
 4. 15～2平畑面(6区) 北より
 5. 15・16号畑、1号道(6区)全景 東より
- PL-31 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 15号畑、5号復旧坑群(6区) 東より
 2. 15号畑、5号復旧坑群(6区) 西より
 3. 16号畑、1号道(6区) 南より
 4. 16号畑・1号石垣(6区) 南より
 5. 17号畑、1・2号復旧坑群(6区) 東より
- PL-32 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 18号畑、3号復旧坑群(7区) 東より
 2. 19号畑(8区)全景 上空より
 3. 19号畑(8区) 西より
 4. 20号畑(8区)全景 上空より
 5. 20号畑(8区) 東より
- PL-33 中欄Ⅱ遺跡 畑
1. 21・22号畑(15区)全景 南より
 2. 21・22号畑(15区)全景 南西より
 3. 23号畑(15区) 南より
 4. 24号畑(15区) 南より
 5. 25号畑、1号石列(15区) 南より
- PL-34 中欄Ⅱ遺跡 道
1. 1号道(6区) 南より
 2. 1号道(6区) 北より
 3. 2号道(6区) 北より
 4. 2号道(6区) 南西より
 5. 2号道(6区) 南より
- PL-35 中欄Ⅱ遺跡 道
1. 3号道(15区) 南より
 2. 4号道(15区) 南より
 3. 5号道(15区) 南より
 4. 6号道(6区) 上空より
 5. 6号道(10区) 上空より
- PL-36 中欄Ⅱ遺跡 石垣
1. 1号石垣、16号畑(6区) 東より
 2. 1号石垣、16号畑(6区) 南より
 3. 2号石垣(10区) 南東より
 4. 2号石垣(10区) 西より
 5. 2号石垣、1・2号畑(10区) 南より
- PL-37 中欄Ⅱ遺跡 石垣
1. 3号石垣(10区) 東より
 2. 3号石垣(10区) 東より
 3. 3号石垣(10区) 東より
 4. 3号石垣(10区) 南東より
 5. 4号石垣(10区) 南より
- PL-38 中欄Ⅱ遺跡 石垣
1. 4号石垣(10区) 南より
 2. 4号石垣(10区) 北より
 3. 6号石垣(15区) 北東より
 4. 1号石列(15区) 南東より
 5. 1号石列(15区) 南より
- PL-39 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. Ⅶ(7区)竪穴建物遠景 上空より
 2. 1号竪穴建物全景 東より
 3. 1号竪穴建物全景 南より
 4. 1号竪穴建物全景 西より
 5. 1号竪穴建物カマド 南より
- PL-40 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 2号竪穴建物全 西より
 2. 2号竪穴建物遺物出土状態全景
 3. 2号竪穴建物カマド遺物出土状態
 4. 2号竪穴建物掘り方全景
 5. 2号竪穴建物カマド全景 西より
- PL-41 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 3号竪穴建物全景 南より
 2. 3号竪穴建物遺物出土状態 南より
 3. 3号竪穴建物カマド全景 南より
 4. 3号竪穴建物掘り方全景 南より
 5. 3号竪穴建物の竪穴おぼろぎ
- PL-42 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 4号竪穴建物全景 南より
 2. 6号竪穴建物全景 南より
- PL-43 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 5号竪穴建物全景 南より
 2. 5号竪穴建物遺物出土状態全景
 3. 5号竪穴建物全景 南東より
 4. 5号竪穴建物遺物出土状態近景
 5. 5号竪穴建物カマド全景 南西より
- PL-44 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 7号竪穴建物全景 南より
 2. 7号竪穴建物全景 西より
 3. 7号竪穴建物カマド 南西より
 4. 7号竪穴建物礎柱
 5. 7号竪穴建物カマド 南西より
- PL-45 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 8号竪穴建物全景 西より
 2. 8号竪穴建物遺物出土状態全景
 3. 8号竪穴建物カマド全景 西より
 4. 8号竪穴建物遺物出土状態全景
 5. 8号竪穴建物掘り方全景 西より
- PL-46 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 9号竪穴建物掘り方全景 西より
 2. 9号竪穴建物カマド掘り方全景 西より
- PL-47 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 10号竪穴建物掘り方全景 西より
 2. 10号竪穴建物遺物出土状態全景 西より
 3. 10号竪穴建物全景 南より
 4. 10号竪穴建物遺物出土状態近景 北西より
 5. 10号竪穴建物カマド全景 西より
- PL-48 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 11号竪穴建物全景 西より
 2. 11号竪穴建物遺物出土状態全景 南より
 3. 11号竪穴建物礎柱 西より
 4. 11号竪穴建物掘り方全景 西より
 5. 11号竪穴建物礎柱穴 南より
- PL-49 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 11号竪穴建物カマド天井部 西より
 2. 11号竪穴建物カマド天井部 南より
 3. 11号竪穴建物カマド全景 西より
 4. 11号竪穴建物カマド全景 南より
 5. 11号竪穴建物カマド掘り方全景 西より
- PL-50 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 12号竪穴建物全景 西より

2. 12号竪穴建物床面遺物出土状態近景 南より
3. 12号竪穴建物カマド遺物出土状態全景 西より
4. 12号竪穴建物掘り方全景 西より
5. 12号竪穴建物カマド全景 西より
- PL-51 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 13号竪穴建物全景 南より
2. 13号竪穴建物カマド遺物出土状態 南より
3. 13号竪穴建物カマド全景 南より
4. 13号竪穴建物カマド掘り方全景 南より
5. 13号竪穴建物掘り方全景 南より
- PL-52 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 14号竪穴建物全景 南より
2. 14号竪穴建物遺物出土状態全景 北より
3. 14号竪穴建物カマド全景 南より
4. 14号竪穴建物遺物出土状態全景 南より
5. 14号竪穴建物掘り方全景 南より
- PL-53 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 15号竪穴建物遺物出土状態全景 南より
2. 15号竪穴建物掘り方全景 南より
- PL-54 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 16号竪穴建物全景 西より
2. 16号竪穴建物遺物出土状態全景 南より
3. 16号竪穴建物遺物出土状態 近景
4. 16号竪穴建物カマド全景 西より
5. 16号竪穴建物掘り方全景 西より
- PL-55 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 17号竪穴建物全景 南より
2. 17号竪穴建物遺物出土状態 南より
3. 17号竪穴建物炭化材状態 南より
4. 17号竪穴建物掘り方全景 南より
5. 17号竪穴建物炭化材状態 西より
- PL-56 中欄Ⅱ遺跡 竪穴建物
1. 18号竪穴建物(床面)全景 南より
2. 18号竪穴建物焼土 西より
- PL-57 中欄Ⅱ遺跡 竪穴状遺構
1. 1号竪穴状遺構全景 北より
2. 1号竪穴状遺構全景 北より
- PL-58 中欄Ⅱ遺跡 竪穴状遺構
1. 2号竪穴状遺構全景 南より
2. 2号竪穴状遺構全景 西より
- PL-59 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 1号掘立柱建物全景 南より
2. 2号掘立柱建物全景 南より
- PL-60 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 3号掘立柱建物全景 南より
2. 4号掘立柱建物全景 南より
- PL-61 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 5号掘立柱建物全景 北西より
2. 6号掘立柱建物全景 南より
- PL-62 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 7号掘立柱建物全景 西より
2. 8号掘立柱建物全景 西より
- PL-63 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 9号掘立柱建物全景 東より
2. 10号掘立柱建物全景 東より
- PL-64 中欄Ⅱ遺跡 掘立柱建物
1. 11号掘立柱建物全景 南より
2. 11号掘立柱建物全景 南東より
- PL-65 中欄Ⅱ遺跡 櫛列
1. 1号櫛列全景 北より
2. 2号櫛列全景 東より
- PL-66 中欄Ⅱ遺跡 櫛列
1. 3号櫛列全景 東より
2. 4号櫛列全景 北東より
- PL-67 中欄Ⅱ遺跡 墓坑
1. 1号墓坑断面 南より
2. 1号墓坑人骨出土状態全景 東より
3. 1号墓坑人骨出土状態全景 西より
4. 1号墓坑人骨出土状態近景 東より
5. 1号墓坑人骨出土状態全景 北より
6. 1号墓坑全景 西より
7. 4号墓坑人骨出土状態 西より
8. 4号墓坑人骨出土状態 北より
- PL-68 中欄Ⅱ遺跡 墓坑
1. 2号墓坑附骨出土状態全景 南より
2. 2号墓坑全景 南より
- PL-69 中欄Ⅱ遺跡 墓坑
1. 3号墓坑石組みみ出土状態全景 南より
2. 3号墓坑人骨出土状態全景 南より
3. 3号墓坑人骨出土状態近景 南より
4. 3号墓坑全景 西より
5. 4号墓坑人骨出土状態 西より
6. 4号墓坑人骨出土状態 西より
7. 4号墓坑人骨出土状態近景 西より
8. 4号墓坑全景 南より
- PL-70 中欄Ⅱ遺跡 自然流路・水場遺構
1. 1号自然流路全景 東より
2. 2号自然流路(水場遺構)全景 南より
- PL-71 中欄Ⅱ遺跡 自然流路・水場遺構
1. 2号自然流路(水場遺構)出土状態 南東より
2. 2号自然流路(水場遺構)遺物出土状態 東より
3. 2号自然流路(水場遺構)遺物出土状態 東より
4. 2号自然流路(水場遺構)遺物出土状態 東より
5. 2号自然流路(水場遺構)遺物出土状態 東より
- PL-72 中欄Ⅱ遺跡 自然流路・水場遺構
1. 2号自然流路(水場遺構)全景 南より
2. 2号自然流路(水場遺構)遠景 北西より
3. 2号自然流路(水場遺構)遠景 東より
4. 2号自然流路(水場遺構)遠景 南東より
5. 2号自然流路(水場遺構)全景 西より
- PL-73 中欄Ⅱ遺跡 陥し穴
1. 13号土坑全景 西より
2. 14号土坑全景 北東より
3. 72号土坑全景 北より
4. 76号土坑全景 南より
5. 84号土坑全景 北より
6. 111号土坑全景 東より
7. 126号土坑全景 南より
8. 137号土坑全景 東より
- PL-74 中欄Ⅱ遺跡 陥し穴
1. 140号土坑全景 東より
2. 159号土坑全景 西より
3. 179号土坑全景 西より
4. 192号土坑全景 南より
5. 194号土坑全景 南より
6. 195号土坑全景 南より
7. 210号土坑全景 北より
8. 214号土坑全景 西より
- PL-75 中欄Ⅱ遺跡 陥し穴
1. 218号土坑全景 北より
2. 221号土坑全景 北より
3. 222号土坑全景 西より
4. 248号土坑全景 東より
5. 254号土坑全景 南より
6. 255号土坑全景 東より
7. 256号土坑全景 南より
8. 263号土坑全景 南西より
- PL-76 中欄Ⅱ遺跡 陥し穴
1. 260・261・262号土坑全景 南より
2. 261号土坑全景 南より
3. 261・262号土坑全景 東より
4. 262号土坑全景 東より

5. 285号土坑全景 北東より
 6. 322号土坑全景 北より
 7. 329号土坑全景 南より
 8. 348号土坑全景 南より
- PL.77 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 7号土坑遺物出土状態 北より
 2. 7号土坑全景 南より
 3. 8号土坑全景 南より
 4. 9号土坑全景 南より
 5. 10号土坑全景 西より
 6. 11号土坑遺物出土状態 東より
 7. 11号土坑遺物出土状態 南より
 8. 11号土坑全景 南より
- PL.78 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 12号土坑全景 北西より
 2. 15号土坑全景 南東より
 3. 16号土坑全景 東より
 4. 18号土坑全景 南より
 5. 19号土坑全景 南より
 6. 22号土坑全景 西より
 7. 11号土坑全景 東より
 8. 40号土坑全景 東より
- PL.79 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 42号土坑全景 北より
 2. 44号土坑全景 東より
 3. 47号土坑全景 東より
 4. 50号土坑全景 北西より
 5. 51号土坑全景 西より
 6. 52号土坑全景 南より
 7. 57号土坑全景 北東より
 8. 59号土坑全景 東より
- PL.80 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 62号土坑遺物出土状態 北西より
 2. 62号土坑遺物出土状態 東より
 3. 79号土坑遺物出土状態 西より
 4. 79号土坑全景 西より
 5. 60号土坑全景 北より
 6. 123号土坑全景 西より
 7. 142号土坑遺物出土状態 北より
 8. 143号土坑遺物出土状態 西より
- PL.81 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 191号土坑全景 南より
 2. 203号土坑遺物出土状態 西より
 3. 213号土坑全景 北より
 4. 245号土坑遺物出土状態 南より
 5. 266号土坑遺物出土状態 南より
 6. 275号土坑遺物出土状態 南より
 7. 276号土坑遺物出土状態 南より
 8. 279号土坑遺物出土状態 南より
- PL.82 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 299号土坑全景 北より
 2. 300号土坑全景 北より
 3. 302号土坑全景 北より
 4. 305号土坑全景 北より
 5. 306号土坑全景 北より
 6. 312号土坑遺物出土状態 北より
 7. 314号土坑断面 北より
 8. 315号土坑全景 北より
- PL.83 中欄Ⅱ道跡 土坑
 1. 316号土坑全景 南より
 2. 326号土坑全景 南より
 3. 327号土坑全景 北より
 4. 343号土坑全景 南より
 5. 344号土坑全景 南より
 6. 350号土坑全景 北より
 7. 351号土坑遺物出土状態 北より
8. 357号土坑全景 南より
- PL.84 中欄Ⅱ道跡
 1. 1号竪穴建物出土遺物
 2. 2号竪穴建物出土遺物
 3. 3号竪穴建物出土遺物
 4. 4号竪穴建物出土遺物
 5. 5号竪穴建物出土遺物
- PL.85 中欄Ⅱ道跡
 1. 6号竪穴建物出土遺物
 2. 7号竪穴建物出土遺物
 3. 8号竪穴建物出土遺物
 4. 9号竪穴建物出土遺物
- PL.86 中欄Ⅱ道跡
 1. 10号竪穴建物出土遺物
 2. 11号竪穴建物出土遺物
 3. 12号竪穴建物出土遺物(1)
- PL.87 中欄Ⅱ道跡
 1. 12号竪穴建物出土遺物(2)
 2. 13号竪穴建物出土遺物
 3. 14号竪穴建物出土遺物
- PL.88 中欄Ⅱ道跡
 1. 15号竪穴建物出土遺物
 2. 16号竪穴建物出土遺物(1)
- PL.89 中欄Ⅱ道跡
 1. 16号竪穴建物出土遺物(2)
 2. 17号竪穴建物出土遺物
 3. 1号竪穴状遺構出土遺物
 4. 282号土坑出土遺物
 5. 遺構外出遺物(平安～近世)(1)
- PL.90 中欄Ⅱ道跡
 1. 遺構外出遺物(平安～近世)(2)
 2. 2号自然流路(水場遺構)出土土器(1)
- PL.91 中欄Ⅱ道跡
 1. 2号自然流路(水場遺構)出土土器(2)
- PL.92 中欄Ⅱ道跡
 1. 2号自然流路(水場遺構)出土土器(3)
- PL.93 中欄Ⅱ道跡
 1. 2号自然流路(水場遺構)出土土器(4)
- PL.94 中欄Ⅱ道跡
 1. 2号自然流路(水場遺構)出土土器(5)
- PL.95 中欄Ⅱ道跡
 1. 縄文土坑・ビット出土土器(1)
- PL.96 中欄Ⅱ道跡
 1. 縄文土坑・ビット出土土器(2)
- PL.97 中欄Ⅱ道跡
 1. 縄文土坑・ビット出土土器(3)
- PL.98 中欄Ⅱ道跡
 1. 遺構外出縄文土器(1)
- PL.99 中欄Ⅱ道跡
 1. 遺構外出縄文土器(2)
- PL.100 中欄Ⅱ道跡
 1. 遺構外出縄文土器(3)
- PL.101 中欄Ⅱ道跡
 1. 遺構外出縄文土器(4)
 2. 2号自然流路(水場遺構)出土石器・石製品
 3. 縄文土坑・ビット出土石器・石製品

第1章 調査に至る経過と周辺的环境

第1節 調査に至る経過

林宮原遺跡と林中原1遺跡及び中棚Ⅱ遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字林に所在し、ハッ場ダム建設に伴って発掘調査された遺跡である(第1図)。

ハッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査は、建設省関東地方建設局(現国土交通省関東地方整備局)と群馬県教育委員会、長野原町教育委員会、吾妻町教育委員会(現東吾妻町教育委員会)が協議し、平成6年3月18日「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査の実施に関する協定書」を建設省関東地方建設局と群馬県教育委員会の両者で締結し、発掘調査事業の実施計画が決定された。調査組織等の役割は、調査実施機関は群馬県教育委員会、調査機関は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団とした。

同年4月1日、関東地方建設局長と群馬県教育委員会との間で発掘調査受託契約を締結し、同日同教育長と群

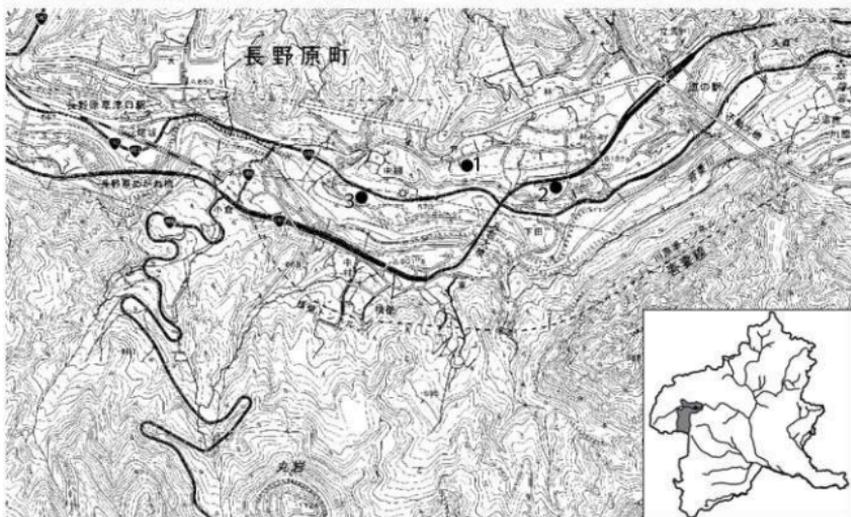
馬県埋蔵文化財調査事業団理事長の両者で発掘調査委託契約が締結され、発掘調査が開始された。

さらに、平成11年4月1日に関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長により「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査の実施に関する協定の一部を変更する協定書」を締結し、平成11年4月1日以降は調査実施機関を財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に変更している。以後、平成17年、平成20年、平成28年、平成29年、平成30年と6回にわたる協定変更を重ね、現在に至っている。

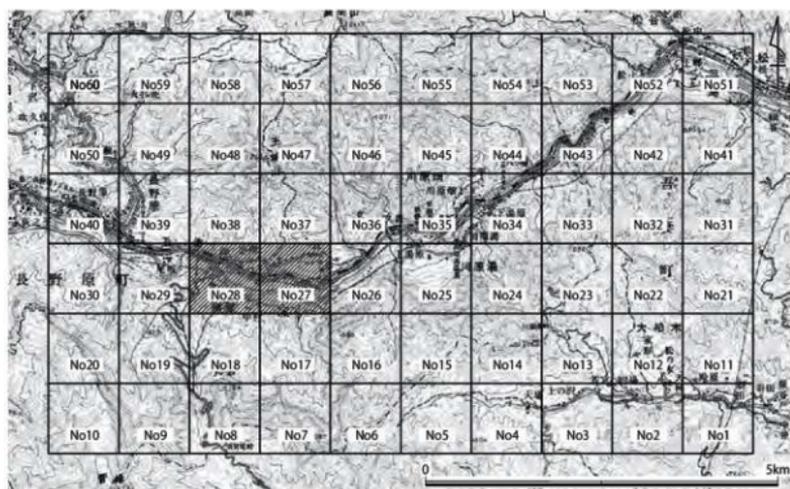
第2節 ハッ場ダム調査地域の調査方法

1 調査区の設定(第2図)

ハッ場ダム対象地域の発掘調査に際して、調査区の設定については、平成6(1994)年度から始まったハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査における「ハッ

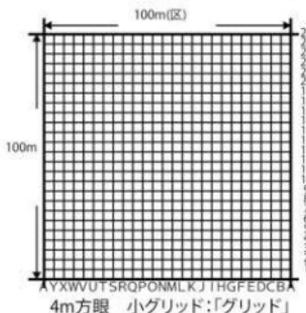


第1図 林宮原遺跡(1)・林中原1遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(3)位置図(国土地理院2万5千分の1地形図「長野原」使用)



| 1km(地区) NO.28地区 | | | | | | | | | | 1km(地区) NO.27地区 | | | | | | | | | | NO.26 地区 | |
|--------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|----|
| 91 | 100 | 99 | 98 | 97 | 96 | 95 | 94 | 93 | 92 | 91 | 100 | 99 | 98 | 97 | 96 | 95 | 94 | 93 | 92 | | 91 |
| 81 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 85 | 84 | 83 | 82 | 81 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 85 | 84 | 83 | 82 | 81 | |
| 71 | 80 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 74 | 73 | 72 | 71 | 80 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 74 | 73 | 72 | 71 | |
| 61 | 70 | 69 | 68 | 67 | 66 | 65 | 64 | 63 | 62 | 61 | 70 | 69 | 68 | 67 | 66 | 65 | 64 | 63 | 62 | 61 | |
| 51 | 60 | 59 | 58 | 57 | 56 | 55 | 54 | 53 | 52 | 51 | 60 | 59 | 58 | 57 | 56 | 55 | 54 | 53 | 52 | 51 | |
| 41 | 50 | 49 | 48 | 47 | 46 | 45 | 44 | 43 | 42 | 41 | 50 | 49 | 48 | 47 | 46 | 45 | 44 | 43 | 42 | 41 | |
| 31 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 31 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 31 | |
| 21 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | |
| 11 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | |
| 1 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |

■ = 中棚 II ■ = 林宮原 ■ = 林中原 I



第2図 調査区の設定

場ダム関係埋蔵文化財発掘調査方法」に基づき、その方法に準拠するように踏襲してきた。この方法については、事業団報告書第287集「長野原一本松遺跡(1)」(群埋文2002)に詳しいので、詳細はそちらを参照していただきたい。ここでは概略を記す。

調査区については、ハッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財調査地内を国家座標(2002年4月改正以前の日本測地系)で使用し、吾妻郡吾妻町(現東吾妻町)大柏木の東部付近を基点(X=58000.00, Y=-97000.00)とした。そして、まずこの基点から1km四方の「地区」(大グリッド)を西に10区画、北に6区画の60地区を設定した。次に各地区を100m四方の「区」(中グリッド)に区分し、東南隅から西に1~10区、次の列を11~20区のように100区に区分した。さらに、各区を4m四方のグリッドに細分した。グリッドは東南を基点に西へA~Y, 北へ1~25までの番号を付し、組み合わせでグリッド名としている(例20区A-1グリッド)。

林宮原遺跡及び林中原I遺跡の調査区は「地区」では「27地区」に相当し、「区」では、林宮原遺跡では「67区」、林中原I遺跡は「42・43・53区」にあたる。一方、中棚II遺跡は27地区と28地区に跨っており、27地区59区から28地区53区までを範囲とする。

遺構名称は区毎に連続する番号を付し、区を跨ぐ遺構の場合は遺構の主体となる区の番号を優先した。

しかしながら、平成20年度あたりから、各遺跡の工事工程との兼ね合いがあり、「工事区」の名称と調査対象地を単純に地割りした「調査区」が併存するようになった。従来のハッ場ダム地域の発掘調査グリッド調査区は、平面図上の表記に止まり、報告書記載においても、「工事区」や「調査区」に沿った遺構・遺物の記述が行われている。また遺構名称や番号にしても、「区」毎の番号ではなく、遺跡内通番の番号に変更している。

このように、遺跡によって、報告書巻次によって、調査区名称や遺構番号の記述に差が見られている。混乱のないようにしていただきたい。

2 遺跡名称の略号(遺跡番号)

当地域のハッ場ダム関連発掘調査に係り、遺跡名称を記号略称で記している。これは、出土遺物の注記に主に活用されており、大量の遺物注記作業に効力を発揮して

第1表 ハッ場ダム建設に伴う発掘調査遺跡YD番号

| 所在大字 | YD番号 | 遺跡名 | 調査年度 |
|--------|--------|----------|------------------|
| 川原畑 | YD1 01 | — | |
| | YD1 02 | 東京 | 9・19~21・26~29 |
| | YD1 03 | 石畑 | 10・29 |
| | YD1 04 | 三平 I | 16・17・24・25 |
| | YD1 05 | 三平 | 10・29 |
| | YD1 06 | 三平 II | 16 |
| | YD1 07 | 上ノ平 I | 18・19・28 |
| | YD1 08 | 西宮 | 20・26~29 |
| | YD1 09 | 西宮岩陰 | 26 |
| | YD1 | 三ツ堂岩陰 | 28 |
| | YD1 | 川原畑の宝蔵印塔 | 29 |
| 川原湯 | YD2 01 | 石畑 I 岩陰 | 29 |
| | YD2 01 | 川原湯勝沼 | 9・15・16・28 |
| | YD2 02 | 西ノ上 | 14・27~29 |
| | YD2 03 | 石川原 | 20・26~29 |
| | YD2 04 | 下湯原 | 27~29 |
| | YD2 | 川原湯中原里 | 28 |
| | YD2 | 前原 | 29 |
| 横壁 | YD3 01 | 横壁勝沼 | 6 |
| | YD3 02 | 西久保 I | 6・10・12・29 |
| | YD3 03 | 横壁中村 | 8~18 |
| | YD3 04 | 山根里 | 10・13・18 |
| | YD3 05 | 西久保IV | 21・23 |
| | YD3 | 西久保V | 28・29 |
| 林 | YD4 01 | 下田 | 7・25・26・28・29 |
| | YD4 02 | — | |
| | YD4 03 | 上原 I | 24 |
| | YD4 04 | — | |
| | YD4 05 | 花畑 | 10~12 |
| | YD4 06 | 榎木 II | 10 |
| | YD4 07 | 中棚 II | 11~13・28~30 |
| | YD4 08 | 下原 | 12・13・15・16・29 |
| | YD4 09 | 榎木 I | 11~13・16・17 |
| | YD4 10 | 二反沢 | 12 |
| | YD4 11 | 立馬 I | 13・14・17 |
| | YD4 12 | 立馬 II | 14 |
| | YD4 13 | 上原IV | 15・21 |
| | YD4 14 | 林中原 I | 16・19~21 |
| | YD4 15 | 林中原 II | 16・20・21 |
| | YD4 16 | 上原 II | 16 |
| | YD4 17 | 林の御塚 | |
| YD4 18 | 立馬 III | 19 | |
| YD4 19 | 東原 I | 20 | |
| YD4 20 | 東原 II | 20 | |
| YD4 21 | 東原 III | 20・21 | |
| YD4 22 | 榎木 I | 21 | |
| YD4 23 | 林宮原 | 24・27 | |
| YD4 24 | 上原 III | 25・27 | |
| 長野原 | YD5 01 | 長野原一本松 | 6・10・12~17・19・20 |
| | YD5 02 | 尾坂 | 11・18~22・25・26 |
| | YD5 03 | 久々戸 | 7・9・10・15・27・28 |
| | YD5 04 | 幸神 | 8・9・14・17 |
| | YD5 05 | 長野原城跡 | 23 |
| YD5 06 | 町 | 23~25 | |
| 三島 | YD6 01 | 上郷B | 13・14 |
| | YD6 02 | 上郷阿原 | 13~15・17・18 |
| | YD6 03 | 上郷A | 15・19・20 |
| | YD6 04 | 上郷西 | 19 |
| YD6 | 三島大沢 | | |
| 大柏木 | YD7 01 | 廣石A | 13 |
| | YD7 | 大柏木上ノ沢 | |
| 松谷 | YD8 | 松田前田 | |
| 岩下 | YD9 | — | |

きた。

ハッ場ダムの略称としてYD、長野原町の大字5地区にたいして川原細地区=1、川原湯地区=2、横壁地区=3、林地区=4、長野原地区=5、東吾妻町の大字である三島地区=6、大柏木地区=7、松谷地区=8、岩下地区=9と区分し、さらに各地区に所在する遺跡の調査順に番号を付すこととした(第1表)。したがって、林宮原遺跡はYD4-23、林中原1遺跡はYD4-14、中棚Ⅱ遺跡はYD4-07となり、遺物注記もこの例に倣っている。ただ最近では、注記作業も業者委託となり機械化が進み、遺跡名を漢字のまま注記する例も増えてきている。

第3節 遺跡の位置と地形

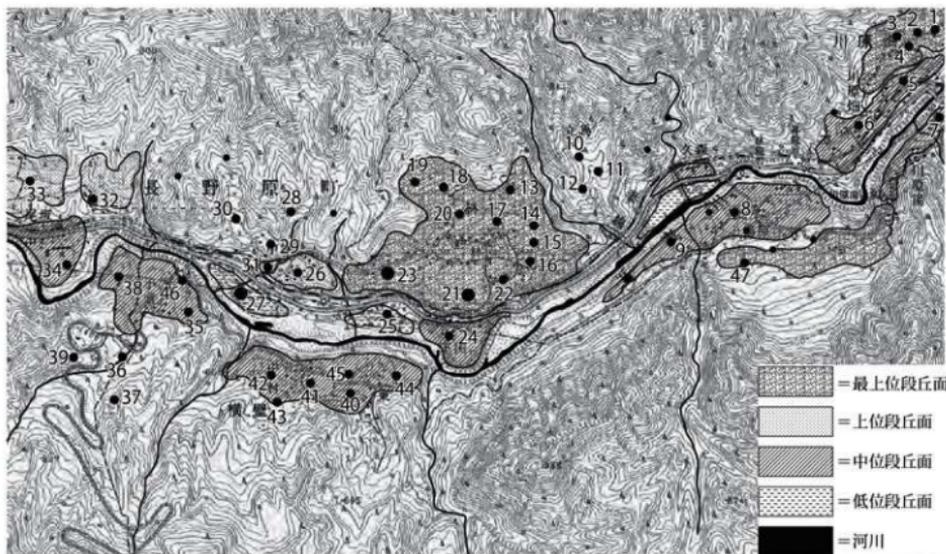
林宮原遺跡と林中原1遺跡及び中棚Ⅱ遺跡は群馬県吾妻郡長野原町林地区に所在する。長野原町の周辺は、南西に浅間山(2,568m)、北西に草津白根山(2,171m)という活火山を中心とした山脈が連なり、上信国境の分水嶺を構成している。その一つである鳥居峠(1,362m)附近

に源を発する吾妻川は嬭恋村を経て、長野原町、東吾妻町を東流して、渋川市白井で利根川と合流する。

3遺跡が位置する長野原町林地区は、長野原町の北部にあたり、東流する吾妻川左岸にあたる。周辺には、この吾妻川を挟み、高間山(1,324m)、王城山(1,123m)が北に、南には丸岩(1,124m)、菅峰(1473.5m)などが聳える峡谷地形が連続する。特に下流にある吾妻峽は、吾妻川が侵食した河川崖の連続と新緑や紅葉の彩りが見事であり、国の名勝に指定されている。また、王城山と丸岩は、当地域の指標でもあり、山城跡や神社があり地元に密着した山々である。このような山々と分水嶺より流下する吾妻川とその支流によって、峡谷を地勢とする当該地域の地理的特徴が地理的な景観となっている。

長野原町域に分布する遺跡の多くは、吾妻川が形成した河岸段丘面に立地しており、近年の調査では丘陵や山麓斜面にまでその分布を広げている。吾妻川が形成した段丘面としては、最上位段丘面、上位段丘面、中段丘面、低位段丘面が挙げられている(第3図)

ハッ場ダム建設域に存在する埋蔵文化財包蔵地もこ



第3図 周辺の遺跡及び段丘面(国土地理院2万5千分の1地形図「長野原」使用)

(段丘図に関しては「長野原町の自然」(長野原町1993)及び「林地区遺跡群」(長野原町教委2015)から引用し、一部を改変した。)

れら段丘面に所在しており、その対象地は広く、各段丘面を包括した面的な発掘調査が及ぶ地域である。一連の発掘調査によって、各段丘面の遺跡相が複雑に絡み合う様相が明らかになるものと期待されよう。また、当地域は、川原畑、川原湯、林、横壁、長野原という5箇所の大字が存在する。各大字は河川・段丘・道路などで区分されており、それぞれが特徴ある遺跡を包蔵する地区となっている。段丘面の様相と併せて、各大字が包括する小地域様相も把握される地域である。

林宮原遺跡、林中原1遺跡とも、大字林に所在し、最上位段丘面に占地する遺跡である。周辺段丘面の中では最も広い段丘面であり、緩やかに南へ下る斜面地形が広がり、居住地形としては最適の環境を示す。この斜面地形の上位には、先に述べた王城山南斜面に繋がり、斜面端部より、扇状地形に近い広がりを見せる。林地区の地積の大半がこの最上位段丘面に立地しているが、東側の山地斜面には立馬1～Ⅲ遺跡、西側には榎木1・Ⅱ遺跡などがあり、時代・時期によって古地状況の差が窺われる。

一方中棚Ⅱ遺跡は、林地区南側に段丘崖直下に広がる中位段丘面と下位段丘面に位置する。两段丘面とも天明泥流による被災を受けており、下田遺跡や下原遺跡とともに中棚Ⅱ遺跡でも、天明泥流直下の畑が全面に広がる様相を示す。なお、林地区は最上位段丘面以下の上位段丘面の発達は少ない。

このように、長野原町林地区の主要部は吾妻川左岸最上位段丘面にあり、南側への緩斜面地形が広く展開し、多くの包蔵地を有しながらも、東側や西側の山地斜面に設け遺跡が点在する様相を示す。また、中位段丘面、低位段丘面でも平坦地形を利用した近世畑や水田が広がり、ハッ場ダム調査対象地域の中でも濃密な遺跡分布地域といえよう。

第4節 周辺の遺跡

本節では、ハッ場ダム建設に伴う調査対象地域の主な遺跡分布図と一覧表を掲載し、当地域の遺跡を概観したい。本来は時代毎の記述に努め、当地域の通史を概観すべきであるが、ここでは、各段丘面の遺跡様相を述べていきたい。

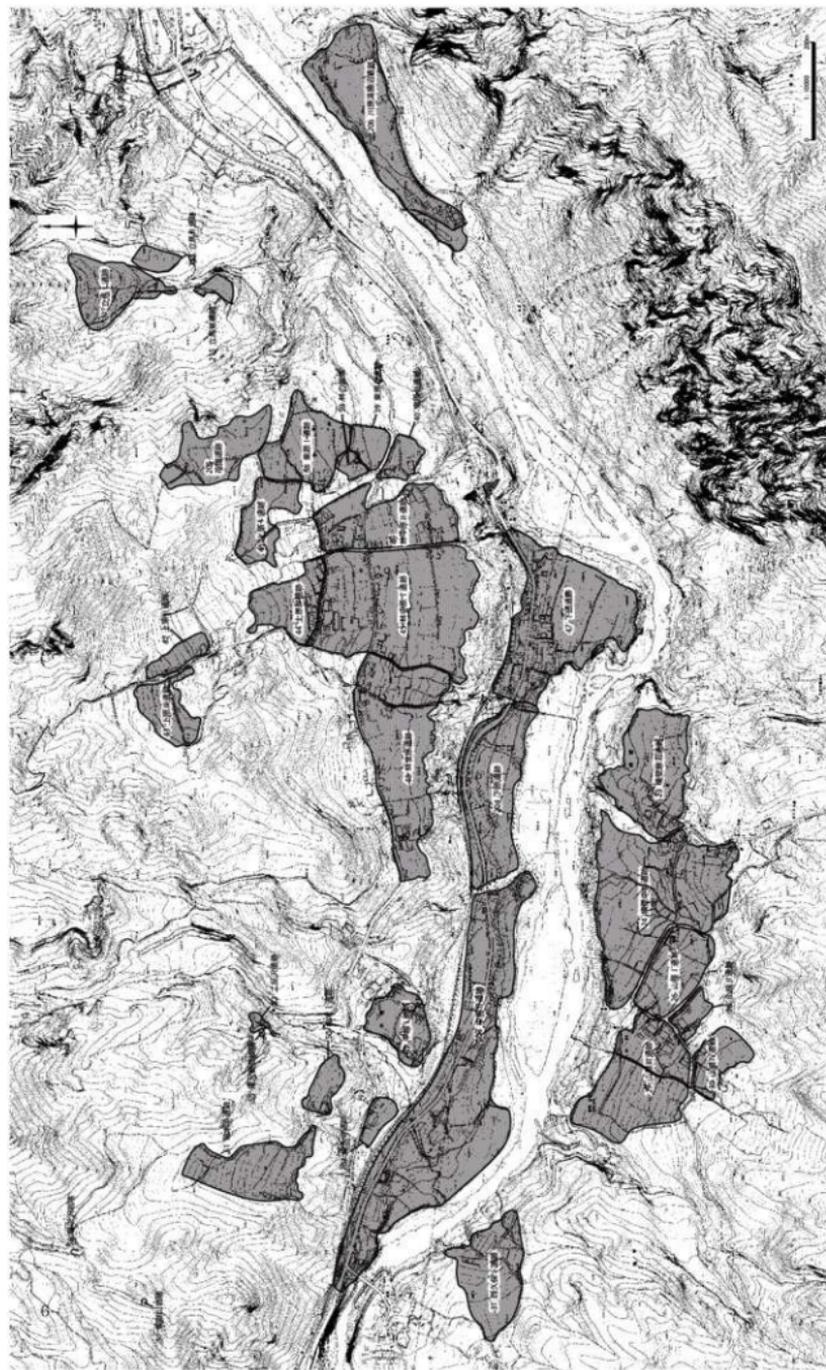
川原畑地区：長野原町の東端に位置する。吾妻川左岸にあり、中位段丘面と最上位段丘面、山地斜面からなる。最下流部で、ハッ場ダム名称の元ともなった、地名のハッ場を冠したハッ場沢があり、この右岸側に著名な石畑岩陰遺跡がある。吾妻線擁壁工事に伴う発掘調査で検出された縄文時代草創期の遺跡で、奥行4m以上、幅40mに及ぶ大規模な規模の岩陰が聳える。平成29年度より一部調査が着手されており、今後の本格的な調査・整理に期待が集まる。

中位段丘面の遺跡としては、東宮遺跡(5)と西宮遺跡(6)で浅間山噴火による天明泥流下の近世遺構群が極めて良好な残存状況を示していた。中位段丘面の遺構その他の近世遺跡としては石畑遺跡や二社平遺跡で天明泥流下の畑を調査した。縄文時代の遺構は東宮遺跡で、縄文時代中期～後期の列石を伴う集落が、近年になり下層より検出されている。

最上位段丘面の遺跡では、三平Ⅰ遺跡(1)、三平Ⅱ遺跡(2)、上ノ平Ⅰ遺跡(3)に発掘調査の手が及ぶ。最上位段丘面は天明泥流の影響を受けていないため、畑跡などの近世遺構の残存状態は悪く、当時の集落様相の把握は果たせない。その中で、上ノ平Ⅰ遺跡では長野原町長、県会議長を勤め、地域の歴史に極めて重要な人物である野口茂四郎宅跡が調査されている。近世～近代に比定される土壌墓群もまとまっており、当時の墓域としての位置付けも想定される。さらに古代の集落が良好に検出され、また、古代～中世に比定される陥し穴状土坑も多数確認された。この傾向は三平Ⅰ・Ⅱ遺跡にも認められており、中世～近世建物や陥し穴状土坑、古代集落が調査されている。縄文時代資料としては、三平Ⅰ遺跡で縄文時代前期集落、上ノ平Ⅰ遺跡で前期中葉や中期中葉の集落が報告されている。

また、段丘面ではないが、山地斜面を開削して造営された「川原畑の宝篋印塔」も調査している。移転後の諏訪神社境内跡地と宝篋印塔跡地から一字一石經の出土を見ている。

川原湯地区：吾妻川右岸にあり、山地斜面と狭小な最上位段丘面及び吾妻川に接する中位段丘面からなる。当地域では、殆どの遺跡が中位段丘面に集まる。近年水没地区の調査が本格化し、調査遺跡も増加している。特に分布図から外れるが、上湯原遺跡は最近の調査で、中世～



第 4 图 林地区道跡分布图及地形图(番号は長野県道跡台帳番号)

近世の遺構群が主体となる。中世は溝・柱穴列で囲まれた大型掘立柱建物、中・近世の墓地、天明泥流下面では、屋敷は見られず畑、道などが調査されている。その他では平安時代の集落が検出されている。西の上遺跡(7)では、天明泥流下の畑の他、弥生時代前期～中期の土坑や土器資料が検出されている。

石川原遺跡(8)は広大な平坦地形に各時代の集落が占地する。最近の調査で多くの成果を上げている。主だった遺構としては、天明泥流下の屋敷や寺院、畑が良好に残っていた。寺院址から出土した仏具類、屋敷からは建築材をはじめ豊富な木製品、生活用品など多様な出土遺物群が好資料である。

さらに下層からは、縄文時代後期～晩期集落が水場や配石遺構などを伴って調査されている。

前原遺跡は石川原遺跡北側の段丘下に位置する。あるいは低位段丘との位置付けも可能である。天明泥流下の畑が狭小な平坦面で確認されている。

川原湯勝沼遺跡(9)は縄文時代晩期末葉から弥生時代前期に比定される埋裏一再葬墓(壺棺再葬墓)が知られる他、小規模な平安時代集落、天明泥流下の畑が調査されている。

横壁地区:吾妻川右岸の山地斜面と中段段丘面からなり、当事業団が調査した遺跡の多くが中段段丘面に集中する。最近も小規模な調査が断続的に行われているが、山地斜面にかけて長野原町教育委員会が土地改良に伴う調査を行っており、また新たな成果が期待されよう。

横壁勝沼遺跡(44)は調査歴が古く、平成6年に着手されている。ハッ場ダム調査当初の発掘調査である。槍先型尖頭器や10世紀代の小規模集落が調査されている。

横壁中村遺跡(45)は著名な縄文時代の大型集落である。中期は環状集落が2つ確認されており、県内屈指の集落規模を誇る。後期集落も、配石遺構や列石遺構と連接した形態を示し、先に述べた東宮遺跡と同様な在り方を示す。出土遺物も早期から晩期まで充実した出土量で、土器・石器資料以外に土偶や耳飾りなど多彩な出土遺物が報告されている。その他に弥生時代前期～中期の集落と出土遺物、古代集落が報告されており、中世～近世掘立柱建物群など当地区の中・近世村落景観にも重要な役割を示す。山根Ⅲ遺跡(42)は小規模な中期集落を検出した。横壁中村遺跡で検出した中期集落の外縁集落である

うか。

小倉沢を挟み、西久保地区には小規模な遺跡が点在する。西久保Ⅰ遺跡(35)は縄文時代中期後葉の小規模集落、西久保Ⅳ遺跡(38)は天明泥流下面の畑と縄文時代後期に比定される掘立柱建物、西久保Ⅴ遺跡(46)は、天明泥流下面の水田土層と縄文時代中期～弥生時代中期の遺物集積が調査されている。いずれも、中段段丘面で傾斜もやや強いため、濃密な遺構分布には至らなかったようだ。

横壁地区の山地斜面の遺跡としては、西久保Ⅱ遺跡(36)や西久保Ⅲ遺跡(37)が挙げられるが、近年調査の手がつけばかりで詳細は控えたい。

柳沢城跡(39)が山地斜面に占地する中世山城である。横壁城として、丸岩にある丸岩城と一体化した構造といわれ、郭面、堀切、土固などが調査されている。出土遺物も船載陶磁器や銅製品、石白などが出土し多様な様相を示している。

長野原地区:吾妻川右岸と左岸に跨る地区である。分布図では右岸の遺跡が明示されていないが、中段段丘面に乗る久々戸遺跡が知られる。天明泥流下の畑跡を当地区で最初に調査した遺跡であり、遺跡全体を畑跡が覆う様相である。その他に、縄文時代中期末葉の小規模集落、弥生時代の土坑などが調査されている。

尾坂遺跡(34)は左岸中段段丘面に位置する。吾妻川の蛇行により形成された舌状の台地全面に天明泥流下の畑が調査され、同時に屋敷が1箇所検出されている。その他では、縄文時代早期鶴ヶ島台式土器の出土があり、さらに中期後葉の集落、弥生時代前期に比定される再葬墓や土坑、古代集落、中世掘立柱建物などが重なる。検出された遺構の時期、遺構種など幅広く、当地区の調査遺跡の中で屈指の充実した内容を誇る。

上位段丘に立地する遺跡として、長野原一本松遺跡(33)、幸神遺跡(32)が調査報告済である。長野原一本松遺跡は横壁中村遺跡と並ぶ、縄文時代中期～後期前半の大型環状集落である。上位段丘の調査のため、検出遺構の明確さは横壁中村遺跡を凌ぎ、良好な縄文時代資料を提供する。同時に平安時代集落や陥し状土坑を検出している。当遺跡や尾坂遺跡はハッ場ダム調査遺跡の嚆矢といえよう。平成6年に着手されている。幸神遺跡は、おそらく長野原一本松遺跡に先行する中期中葉段階の小規模集落である。その他に、中世～近世の畑跡が調査さ

第1章 調査に至る経過と周辺の環境

第2表 周辺の主な遺跡一覧

| No. | 遺跡名 | 所在大字 | 段丘面 | 概要 | 文献など |
|-----|--------------|------|---------------|---|---|
| 1 | 三平Ⅰ遺跡 | 川原畑 | 最上位段丘面 | 縄文時代早期～前期集落跡、弥生時代前期～中期土坑。平安時代以降の孤立柱建物跡や礎上遺構 | 17・22・39 |
| 2 | 三平Ⅱ遺跡 | 川原畑 | 最上位段丘面 | 縄文時代包含層(草創期～前期)。孤立柱建物跡7棟などの中世屋敷跡 | 49 |
| 3 | 上ノ平Ⅰ遺跡 | 川原畑 | 最上位段丘面 | 縄文時代中期中葉集落跡。平安時代集落跡 | 49・76・82 |
| 4 | 上ノ平Ⅱ遺跡 | 川原畑 | 最上位段丘面 | 縄文・平安の散布地とされる | |
| 5 | 東宮遺跡 | 川原畑 | 中段段丘面 | 天明泥流下屋敷群、建物の構造と性格が把握できる良好な遺存状態であり、礎石と共に東・土台・大引・床板が出土している。酒甕、樽溝跡も検出されている | 28・62・64・78・80 |
| 6 | 西宮遺跡 西宮丘陵 | 川原畑 | 中段段丘面 | 天明泥流下の屋敷群・小屋・畑跡。畑跡には復旧溝を含む近世石造物などを安置した岩陰と岩の上の祭祀遺構 | 81 |
| 7 | 西ノ上遺跡 | 川原畑 | 中段段丘面 | 天明泥流下畑跡 | 22・30 |
| 8 | 石川原遺跡 | 川原畑 | 中段段丘面 | 縄文時代中期～晩期集落跡、後期の配石遺構、水堀遺構。天明泥流下の被災村落の調査。良好な屋敷群・寺院跡・畑跡。豊富な出土遺物 | 85 |
| 9 | 川原畑勝沼遺跡 | 川原畑 | 中段段丘面 | 縄文晩期埋蔵。平安時代集落跡。天明泥流下畑跡 | 28・32 |
| 10 | 立馬Ⅰ遺跡 | 林 | 山地斜面 上位段丘面 | 小規模な縄文時代早期集落跡、晩期集落跡、弥生時代中期集落跡・費相墓。平安時代集落跡。陥し穴状土坑 | 10・37 |
| 11 | 立馬Ⅱ遺跡 | 林 | 山地斜面 | 縄文時代早期包含層、中期前葉～後葉集落跡。古代～中世の陥し穴状土坑、孤立柱建物 | 34 |
| 12 | 立馬Ⅲ遺跡 | 林 | 山地斜面 | 縄文時代早期初期集落跡。良好な早期包含層。陥し穴状土坑 | 52 |
| 13 | 花畑遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代中期初頭包含層。平安時代集落跡。陥し穴状土坑 | 28 |
| 14 | 東原Ⅰ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代土坑。平安時代以降の陥し穴状土坑。中・近世の孤立柱建物跡 | 7・8・18・22・61 |
| 15 | 東原Ⅱ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代包含層。古代～中・近世の陥し穴状土坑・孤立柱建物跡 | 61 |
| 16 | 東原Ⅲ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代早期～後期包含層。中・近世の孤立柱建物跡・礎石建物跡 | 61 |
| 17 | 上原Ⅰ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代前期初頭集落跡。弥生時代前期短距離の土坑出土。平安時代集落跡。陥し穴状土坑 | 8・16・21・73 |
| 18 | 上原Ⅱ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代中期初頭の集落跡 | 8・21 |
| 19 | 上原Ⅲ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 平安時代集落跡。鍛冶工房跡 | 8・21・73・77 |
| 20 | 上原Ⅳ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代包含層。古墳時代住居跡2軒。平安時代集落跡。中・近世土坑 | 8・10・21・43・65 |
| 21 | 林中原Ⅰ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 町教委調査では縄文時代後期前葉集落跡。注口土器の良好な出土遺物を見る。事業団調査では縄文時代前期～中期集落跡。林城。中・近世孤立柱建物 | 4・7・11・21・70 |
| 22 | 林中原Ⅱ遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 縄文時代中期～後期の大型環状集落跡。弥生中期墓塚、住居跡。中・近世孤立柱建物跡を調査している | 4・7・8・12・13・21・74・87 |
| 23 | 林宮原遺跡 | 林 | 最上位段丘面 | 西吉妻地域で初出の古墳時代後期住居跡。平安時代集落跡。字引金具の出土 | 5・6・8・10・14・73 |
| 24 | 下田遺跡 | 林 | 中段段丘面 | 平安時代の集落跡。天明泥流下の屋敷跡 | 28・79 |
| 25 | 下原遺跡 | 林 | 下位段丘面 | 古墳時代中期・平安時代集落跡。中世屋敷跡。中～近世畑跡 | 29・38 |
| 26 | 中樺Ⅰ遺跡 | 林 | 下位段丘面 | 縄文時代早期包含層。平安時代集落跡 | 8・21・24 |
| 27 | 中樺Ⅱ遺跡 | 林 | 下位段丘面 | 天明泥流下の畑跡及び安永9年埋没と想定される畑跡 | 29・30 |
| 28 | 一反沢遺跡 | 林 | 山地斜面 | 石垣を付設する中世土坑。鍛冶関連遺物出土。近世畑跡 | 24・35 |
| 29 | 楡木Ⅰ遺跡 | 林 | 上位段丘面 | 縄文時代中期土坑。平安時代集落跡。近世屋敷跡 | 65 |
| 30 | 楡木Ⅱ遺跡 | 林 | 山地斜面 | 縄文時代早期～中期前葉集落跡。平安時代集落跡。中世孤立柱建物群 | 44・53 |
| 31 | 楡木Ⅲ遺跡 | 林 | 上位段丘面 | 縄文時代前期～後期包含層。弥生時代前期～中期包含層 | 28 |
| 32 | 幸神遺跡 | 長野原 | 上位段丘面 | 縄文時代中期の小規模集落跡。早期～後期包含層。近世以前の畑跡 | 43 |
| 33 | 長野原一本松遺跡 | 長野原 | 上位段丘面 | 縄文時代中期～後期の大型環状集落。左岸拠点集落の一つ。その他に平安時代集落、陥し穴状土坑 | 13・27・41・45・50・54・67・69 |
| 34 | 尾取遺跡 | 長野原 | 中段段丘面 | 縄文時代中期集落跡。早期～後期包含層。弥生時代前期～中期再葬墓。平安時代集落跡。中世孤立柱建物跡。天明泥流下の畑跡 | 28・66・75・83 |
| 35 | 西久保Ⅰ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文時代中期末葉の小規模集落跡。水堀遺構 | 28 |
| 36 | 西久保Ⅱ遺跡 | 横壁 | 山地斜面 | 平安時代の散布地とされる | 24 |
| 37 | 西久保Ⅲ遺跡 | 横壁 | 山地斜面 | 散布地 | |
| 38 | 西久保Ⅳ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文時代建物跡。平安時代住居跡・礎上。近世畑 | 22・65 |
| 39 | 柳沢城跡 | 横壁 | 山地斜面 | 中世城郭。聚朽・土厨・礎石・腰曲輪・石垣遺構。陶磁器・鉄製品・銅製品・石白土などを出土 | 3 |
| 40 | 山根Ⅰ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 平安時代散布地とされる | 23 |
| 41 | 山根Ⅱ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 散布地 | |
| 42 | 山根Ⅲ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文時代中期後葉集落跡。中・近世講堂など | 28・43 |
| 43 | 山根Ⅳ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文・平安の散布地とされる | |
| 44 | 横壁勝沼遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 陥失形尖頭器の出土(表採)。縄文時代土坑。平安時代住居跡1軒 | 28 |
| 45 | 横壁中村遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文時代中期～後期の大型環状集落跡。平安時代集落跡。中・近世の孤立柱建物群、礎石建物跡・土坑墓など | 29・31・33・36・40・46・48・55・56・59・60・63・68・71 |
| 46 | 西久保Ⅴ遺跡 | 横壁 | 中段段丘面 | 縄文時代後～晩期包含層。弥生時代前期包含層 | 88 |
| 47 | 川原畑中原Ⅱ遺跡 | 川原畑 | 最上位段丘面 | 縄文時代中期包含層。古代～中・近世の陥し穴状土坑、土坑 | 84 |

れている。

町遺跡は分布図に図示していないが、天明泥流跡下の屋敷跡板の間と畑跡が調査され、屋敷跡出土の豊富な出

土品は注目されよう。その他に長野原城の一部や楡木Ⅰ

遺跡では畑跡が調査されている。

第5節 林地区の遺跡

前節では、周辺遺跡としてハッ場ダム建設に伴う埋蔵文化財対象地域を中心とした、各大字の遺跡様相を紹介した。本節では林宮原遺跡と林中原Ⅰ遺跡が位置する長野原町林地区における調査遺跡を、時代毎に述べていきたい。なお、明瞭な旧石器時代の遺跡は当地区では確認されておらず、今後の課題となろう。特に山地斜面や最上位段丘面では、その形成時期からも該期包蔵地は予想されるが、ここでは縄文時代から述べていく。

1 縄文時代

縄文時代草創期の資料も極めて少ない。楡木Ⅱ遺跡(30)と立馬Ⅰ遺跡(10)で表裏縄文土器破片資料を見ることができる。まとまった資料ではないが、今後も注意深く調査を重ね、実像を明らかにしたい。

早期集落としては、立馬Ⅰ～立馬Ⅲ遺跡(10～12)楡木Ⅱ遺跡が挙げられよう。土器資料としては燃系文系土器、押形文系土器、沈線文系土器、条痕文系土器など多様な出土様相を示す。また最上位段丘面の東原Ⅲ遺跡や上位段丘面の中棚Ⅰ遺跡(26)でも条痕文系土器などの出土を見る。立馬Ⅰ～Ⅲ遺跡、楡木Ⅱ遺跡のように、該期集落は山地斜面の痩せ尾根状や馬の背状の台地を選ぶ傾向がある。一方、林地区には中棚Ⅱ遺跡や下原遺跡、下田遺跡が立地する低位・中位段丘面もあり、吾妻川沿いの段丘面より早期資料の出土があれば、離水時期や人間活動の初現が明らかにできよう。

前期は、林地区全域に広がる。下位段丘面の下原遺跡からは前期末葉の破片が見られる。初頭段階の集落として上原Ⅰ遺跡(17)が挙げられる。長野原町教育委員会と当事業団が隣接して調査した花積下層式期の集落である。また、林中原Ⅰ遺跡(21)や林中原Ⅱ遺跡(22)も小規模な該期集落と捉えられよう。前葉～後葉の集落遺跡は、平野部に見る大規模な集落は見られず、数棟単位の小規模な集落が点在する様相を示す。その中で、諸磯Ⅱ式土器の出土量が多い。

中期も林地区全域に広がるとはいえ、初頭～前葉段階の集落が立馬Ⅱ遺跡、上原Ⅱ遺跡(18)、楡木Ⅱ遺跡に偏る傾向は興味深い。他方、林地区中央部の大型遺跡では、

少数の遺構検出に止まる。中期初頭の集落が山地斜面上の狭小な台地や急斜面地形に占地する要因は不明だが、五領ヶ台式が林地区に濃密に分布する傾向と併せて今後の課題となろう。中葉の集落も立馬Ⅱ遺跡や楡木Ⅱ遺跡に限られる。林中原Ⅰ遺跡や林中原Ⅱ遺跡も小規模集落であり、前葉段階の集落設営方法が継続する傾向である。中期後葉は、中央部の林中原Ⅰ遺跡や林中原Ⅱ遺跡に大型集落が営まれ、周辺に上原Ⅰ遺跡や立馬Ⅲ遺跡のような小規模な集落が点在する様相である。前節で述べた横壁中村遺跡や長野原一本松遺跡と同様な在り方である。中期末葉～後期初頭の遺跡は少ない。林中原Ⅰ・Ⅱ遺跡と重複する傾向があるが、おそらく、林地区中央部に分散すると思われる。

後期前葉の集落跡は上原Ⅳ遺跡(20)、林中原Ⅰ・Ⅱ遺跡で調査されている。東宮遺跡や横壁中村遺跡、長野原一本松遺跡で見たような、配石遺構や列石遺構が連続した集落形態が定着する様相である。

2 弥生時代

林地区の弥生時代遺跡については、林中原Ⅱ遺跡が安定的な集落として位置付けられよう。弥生時代中期前葉を主体としており、出土土器の様相も多様性を含む。

その他では、立馬Ⅰ・Ⅱ遺跡や上原Ⅰ・Ⅲ遺跡、楡木Ⅲ遺跡、下原遺跡などがある。前述のように立馬Ⅰ～Ⅲ遺跡は山地斜面に立地しており、立馬Ⅰ遺跡は縄文時代晩期末～弥生時代中期末、後期に比定される集落である。また中期後葉段階の土器棺墓が検出されている。

一方同じ山地斜面の立地ながら楡木Ⅰ・Ⅱ遺跡の弥生時代資料は客体的である。わずかに楡木Ⅲ遺跡で前期土器破片資料がまとまる。

中央部の最上位段丘面では、林中原Ⅱ遺跡の他、上原Ⅰ遺跡で前期に比定される異系統の小型壺を伴う土坑Ⅰ基が調査されている。上原Ⅲ遺跡(19)は、中期前葉段階の土器を埋設した土坑Ⅰ基が報告されている。

林地区の中位段丘面、下位段丘面にある遺跡としては、本書に掲載する中棚Ⅱ遺跡(27)が挙げられよう。また同時に下田遺跡(24)、下原遺跡(25)なども現在整理作業が進んでいるため、詳細は控えたい。以前の調査では前期～中期前半期の土器片が出土している。

主な参考文献

- 1 長野県町教育委員会1990『長野県町の遺跡一町内遺跡詳細分布調査一』長野県埋蔵文化財調査報告書第1集(以下長野県町遺跡Ⅰ集)
- 2 ハツ場ダム地域自然調査会1993『長野県自然』長野県町
- 3 長野県町教育委員会1995『柳沢城』長野県町第4集
- 4 長野県町教育委員会2004『町内遺跡Ⅳ』長野県町第13集 林宮原遺跡Ⅱ・林中原Ⅰ遺跡Ⅳ・外輪Ⅰ遺跡Ⅳ・長谷Ⅰ遺跡Ⅱなど
- 5 長野県町教育委員会2002『林宮原遺跡Ⅱ』長野県町第14集
- 6 長野県町教育委員会2005『町内遺跡Ⅴ』長野県町第15集 船木Ⅰ遺跡・立石遺跡・林宮原遺跡など
- 7 長野県町教育委員会2006『町内遺跡Ⅵ』長野県町第16集 林中原Ⅱ遺跡Ⅵ・東原Ⅰ遺跡・林中原Ⅰ遺跡Ⅶなど
- 8 長野県町教育委員会2007『町内遺跡Ⅶ』長野県町第17集 林中原Ⅰ遺跡Ⅶ・林宮原遺跡Ⅵ・東原Ⅰ遺跡Ⅱ・上原Ⅰ遺跡Ⅱ・上原Ⅳ遺跡・林中原Ⅱ遺跡Ⅳ・中継Ⅰ遺跡・上原Ⅲ遺跡・上原Ⅱ遺跡など
- 9 長野県町教育委員会2009『町内遺跡Ⅷ』長野県町第18集 林中原Ⅰ遺跡Ⅷ・久々戸遺跡など
- 10 長野県町教育委員会2010『町内遺跡Ⅷ』長野県町第19集 草木原遺跡Ⅱ・三平Ⅰ遺跡・古原敷遺跡・林宮原遺跡Ⅶ・林中原Ⅰ遺跡Ⅷなど
- 11 長野県町教育委員会2010『林中原Ⅰ遺跡Ⅳ』長野県町第20集
- 12 長野県町教育委員会2010『町内遺跡Ⅴ』長野県町第21集 林中原Ⅱ遺跡Ⅴ
- 13 長野県町教育委員会2012『町内遺跡Ⅸ』長野県町第22集 船木Ⅰ遺跡Ⅱ・田通Ⅰ遺跡・長野原一本松遺跡Ⅱ・林中原Ⅱ遺跡
- 14 長野県町教育委員会2011『林宮原遺跡Ⅵ』長野県町第23集
- 15 長野県町教育委員会2013『山岸Ⅱ遺跡』長野県町第24集
- 16 長野県町教育委員会2013『町内遺跡Ⅷ』長野県町第25集 坪井遺跡Ⅶ・小滝Ⅱ遺跡・上原Ⅰ遺跡Ⅱなど
- 17 長野県町教育委員会2013『三平Ⅰ遺跡』長野県町第26集
- 18 長野県町教育委員会2013『町内遺跡ⅩⅡ』長野県町第27集 上ノ平遺跡・山岸Ⅱ遺跡・東原Ⅰ遺跡Ⅲ・坪井遺跡Ⅷなど
- 19 長野県町教育委員会2014『町内遺跡ⅨⅣ』長野県町第28集 滝原Ⅳ遺跡・羽根尾宮原遺跡Ⅱなど
- 20 長野県町教育委員会2014『滝原Ⅳ遺跡』長野県町第29集
- 21 長野県町教育委員会2015『林地区遺跡群』長野県町第30集 上原Ⅱ遺跡・上原Ⅲ遺跡・中継Ⅰ遺跡・上原Ⅰ遺跡Ⅱ・上原Ⅳ遺跡Ⅳ・林中原Ⅰ遺跡Ⅹ・林中原Ⅱ遺跡Ⅹ
- 22 長野県町教育委員会2016『町内遺跡ⅩⅢ』長野県町第31集 町遺跡Ⅱ・坪井遺跡Ⅴ・滝原Ⅳ遺跡Ⅱ・三平Ⅰ遺跡Ⅱ・東原Ⅰ遺跡Ⅳ・西久保Ⅳ遺跡Ⅱ・西ノ上遺跡Ⅱなど
- 23 長野県町教育委員会2017『町内遺跡ⅩⅣ』長野県町第32集 赤羽根遺跡・西久保Ⅳ遺跡・山根Ⅰ遺跡・長谷Ⅱ遺跡など
- 24 長野県町教育委員会2018『町内遺跡ⅩⅤ』長野県町第33集 中継Ⅰ遺跡Ⅱ・赤羽根遺跡・観音遺跡・滝沢観音岩窟・二反沢遺跡・西久保Ⅱ遺跡
- 25 長野県町教育委員会2018『観音遺跡』長野県町第34集
- 26 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団(以下群馬文)1998『長野県久々戸遺跡』
- 27 群馬文2002『長野原一本松遺跡(1)』ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告書第1集(以下ハツ場第○集)
- 28 群馬文2002『ハツ場ダム発掘調査集成(1)』ハツ場第2集 東宮遺跡・石塚遺跡・川原岡勝沼遺跡・横野勝沼遺跡・西久保Ⅰ遺跡・山根Ⅱ遺跡・下田遺跡・花畑遺跡・船木Ⅱ遺跡・花坂遺跡など
- 29 群馬文2003『久々戸遺跡・中継Ⅱ遺跡・下原遺跡・横野中村遺跡』ハツ場第3集
- 30 群馬文2004『久々戸遺跡(2)・中継Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上野A遺跡』ハツ場第4集
- 31 群馬文2005『横野中村遺跡(2)』ハツ場第5集
- 32 群馬文2005『川原岡勝沼遺跡』ハツ場第6集
- 33 群馬文2006『横野中村遺跡(3)』ハツ場第7集
- 34 群馬文2006『立馬Ⅱ遺跡』ハツ場第8集
- 35 群馬文2006『上野A遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡』ハツ場第9集
- 36 群馬文2006『横野中村遺跡(4)』ハツ場第10集
- 37 群馬文2006『立馬Ⅰ遺跡』ハツ場第11集
- 38 群馬文2007『上原遺跡Ⅱ』ハツ場第12集
- 39 群馬文2007『三平Ⅰ遺跡Ⅱ』ハツ場第13集
- 40 群馬文2007『横野中村遺跡(5)』ハツ場第14集
- 41 群馬文2007『長野原一本松遺跡(2)』ハツ場第15集
- 42 群馬文2007『上野岡原遺跡(1)』ハツ場第16集
- 43 群馬文2008『山根Ⅱ遺跡(2)・上原Ⅳ遺跡・幸神遺跡』ハツ場第17集
- 44 群馬文2008『船木Ⅱ遺跡(1)』ハツ場第18集
- 45 群馬文2008『長野原一本松遺跡(3)』ハツ場第19集
- 46 群馬文2008『横野中村遺跡(6)』ハツ場第20集
- 47 群馬文2008『上野岡原遺跡(2)』ハツ場第21集
- 48 群馬文2008『横野中村遺跡(7)』ハツ場第22集
- 49 群馬文2008『上ノ平Ⅰ遺跡(1)』ハツ場第23集
- 50 群馬文2008『長野原一本松遺跡(4)』ハツ場第24集
- 51 群馬文2008『上野A遺跡』ハツ場第25集
- 52 群馬文2009『立馬Ⅲ遺跡』ハツ場第26集
- 53 群馬文2009『船木Ⅱ遺跡(2)』ハツ場第27集
- 54 群馬文2009『長野原一本松遺跡(5)』ハツ場第28集
- 55 群馬文2009『横野中村遺跡(8)』ハツ場第29集
- 56 群馬文2009『横野中村遺跡(9)』ハツ場第30集
- 57 群馬文2009『上野岡原遺跡(3)』ハツ場第31集
- 58 群馬文2009『上野A遺跡(2)』ハツ場第32集
- 59 群馬文2010『横野中村遺跡(10)』ハツ場第33集
- 60 群馬文2010『横野中村遺跡(11)』ハツ場第34集
- 61 群馬文2010『東原Ⅰ遺跡・東原Ⅱ遺跡・東原Ⅲ遺跡』ハツ場第35集
- 62 群馬文2011『東宮遺跡(1)』ハツ場第36集
- 63 群馬文2012『横野中村遺跡(12)』ハツ場第37集
- 64 群馬文2012『東宮遺跡(2)』ハツ場第38集
- 65 群馬文2012『船木Ⅰ遺跡・上原Ⅳ遺跡(2)・西久保Ⅳ遺跡』ハツ場第39集
- 66 群馬文2012『花坂遺跡』緊急整備 群馬文第546集
- 67 群馬文2013『長野原一本松遺跡(6)』ハツ場第40集
- 68 群馬文2013『横野中村遺跡(13)』ハツ場第41集
- 69 群馬文2014『長野原一本松遺跡(7)』ハツ場第42集
- 70 群馬文2014『長野原城跡・林中原Ⅰ遺跡』ハツ場第43集
- 71 群馬文2014『横野中村遺跡(14)』ハツ場第44集
- 72 群馬文2015『町遺跡』ハツ場第45集
- 73 群馬文2015『上原Ⅰ遺跡・上原Ⅲ遺跡・林宮原遺跡』ハツ場第46集
- 74 群馬文2016『坂中Ⅱ遺跡(1)』ハツ場第47集75
- 75 群馬文2016『花坂遺跡(2)』ハツ場第48集
- 76 群馬文2017『上ノ平Ⅰ遺跡(2)』ハツ場第49集
- 77 群馬文2017『上野岡原遺跡(3)』ハツ場第50集
- 78 群馬文2017『東宮遺跡(3)』ハツ場第51集
- 79 群馬文2017『下田遺跡(2)』ハツ場第52集
- 80 群馬文2018『東宮遺跡(4)』ハツ場第53集
- 81 群馬文2018『西宮遺跡(1)・西宮岩窟』ハツ場第54集
- 82 群馬文2018『上ノ平遺跡(3)』ハツ場第55集
- 83 群馬文2018『花畑遺跡(3)』ハツ場第56集
- 84 群馬文2018『川原岡中原Ⅲ遺跡』ハツ場第57集
- 85 群馬文2018『石川原遺跡(1)』ハツ場第58集
- 86 群馬文2018『下野岡原遺跡(1)』ハツ場第59集
- 87 群馬文2018『林中原Ⅱ遺跡(2)』ハツ場第60集
- 88 群馬文2018・2019『年報36』『年報37』

3 古墳時代～古代

長野原町域では古墳の造営を見ない。しかしながら、集落遺跡は小規模な例が点在するようだ。特に林地区で

は古墳時代集落が確認されており、上原Ⅰ遺跡はS字状口縁台付甕や埴形土器を出土する小規模な古墳時代前期集落遺跡である。また、後期集落遺跡としては、林宮原遺跡(23)、下原遺跡、上原Ⅳ遺跡が挙げられるが、いず

れも小規模な集落である。

奈良時代に比定される遺跡は現状では確認されていないが、おそらく林地区は古代集落の遺地に適した地理的条件を備えており、今後の詳細な調査でその存在は明らかにできるものと期待されよう。

長野原町域では平安時代、特に9世紀後半になると集落遺跡が増加する。林地区の該期の集落遺跡としては、立馬Ⅰ遺跡、東原Ⅰ遺跡(14)、花畑遺跡(13)、上原Ⅲ遺跡は、上原Ⅰ遺跡、林宮原遺跡、楡木Ⅱ遺跡、楡木Ⅰ遺跡、中棚Ⅰ遺跡などが挙げられよう。このうち、楡木Ⅱ遺跡や上原Ⅰ遺跡、林宮原遺跡などは大規模な集落遺跡と位置付けられよう。

林地区唯一の中位段丘面に立地する下田遺跡や低位段丘面の下原遺跡も近年の水没地区調査で該期集落が小規模ながら調査されている。

中棚Ⅱ遺跡も該期集落跡がまとまって調査されており、中位段丘面～下位段丘面の該期集落と上位・最上位段丘面の集落との比較が可能になっている。

出土遺物を概観すると、墨書土器の出土が各遺跡で見られる。特に楡木Ⅱ遺跡と中棚Ⅰ遺跡に顕著で「三家」・「赤」と書かれた墨書がまとまる。また、楡木Ⅰ遺跡や楡木Ⅱ遺跡、林宮原遺跡などで学び鉄製品や小型鎌の出土が見られる。麻、苧などの植物繊維を加工する正業が想定されよう。同様な例では立馬Ⅰ遺跡では鉄製紡錘車を出土した土坑が調査されている。その他では、各遺跡で羽口や鉄滓などの出土が見られ、また上原Ⅲ遺跡では鍛冶工房とみられる遺構の存在から集落内生業の一つとして鍛冶関連施設が存在していたようだ。

八ッ場ダム調査地域では、陥し穴状土坑の調査が顕著である。本報告書でも、林中原Ⅰ遺跡で掲載されている。従来、縄文時代の所産とされてきたが、平安時代の遺構との重複や埋土で観察された粕川テフラの存在から、古代から中世の所産として位置付けられている。ただし、各遺跡とも詳細な時期特定には至っておらず、今後の検討課題の一つとなっている。ここでは、陥し穴状土坑を調査した遺跡を列挙しておきたい。東側山地斜面に立地する立馬Ⅰ遺跡で88基、立馬Ⅱ遺跡では22基、立馬Ⅲ遺跡では34基を調査している。また林地区北側にある花畑遺跡では51基、東原Ⅰ遺跡で48基、東原Ⅱ遺跡では21期、東原Ⅲ遺跡では32基が確認され、まとまった調査例を示

す。また、やや西側の上原Ⅰ遺跡で16基、上原Ⅱ遺跡で3基、上原Ⅲ遺跡29基を検出しており、傾斜地での陥し穴状土坑偏在傾向を示している。緩斜面地形の遺跡でも陥し穴状土坑を調査している。林地区中央部にある林宮原遺跡2基、林中原Ⅰ遺跡13基、林中原Ⅱ遺跡5基が検出されており、斜面部に比して量的に乏しい傾向は生活領域との接近を避けたためであろう。一方、林地区西側の山地斜面周辺の検出数は多い。楡木Ⅰ遺跡で9基、楡木Ⅱ遺跡で41基を見る。最近の調査では近接する中棚Ⅰ遺跡でも陥し穴状土坑が調査されている。同様に最近の水没地区の調査例で、中位段丘面でも陥し穴状土坑が検出された例として下田遺跡が挙げられる。4基を調査している。

4 中世～近世

当該地域の低位段丘面や中位段丘面は、天明三年における浅間山の噴火に伴う泥流堆積物に厚く覆われており、泥流直下の遺跡として、江戸時代の屋敷や畑が良好な状態で調査されている。林地区も低位段丘面である下原遺跡や中棚Ⅱ遺跡、中位段丘面である下田遺跡でも天明泥流下で良好な屋敷や畑を見ることができる。3遺跡とも、最近の調査事例により新知見も増えているため、詳細は刊行される報告書に譲りたい。ここでは、林地区において、天明泥流の堆積が認められない、山地斜面や最上位段丘面の調査で得られた、中世～近世の遺構・遺物の概略を述べる。

林中原Ⅰ遺跡の主体は林城を含む中・近世遺構といつて良いだろう。林城は遺跡南側の最上位段丘面を画する段丘崖を利用した中世崖端城である。ただし、内部の第3区画とされる掘立柱建物などの遺構群の変遷から、区画内建物は江戸時代前期～中期に比定されている。同時に西に距離を置いた52区と53区で検出された掘立柱建物群の検討から、15世紀から17世紀の間に変遷がたどれる屋敷群と位置付けられている。出土遺物も特徴的で、1号竪穴状遺構から出土した内耳土器など豊富な中世～近世遺物を誇る。林城はその後、長野原町教委が第5・6区画の南側及び第7区画の北側を調査し、その延長を検出している。

林中原Ⅰ遺跡の東に接する林中原Ⅱ遺跡52区では、東西棟の掘立柱建物3棟が調査されている。両遺跡の関連

第3表 林地区道跡一覧

| | 道跡名 | 町台帳 番号 | 縄文 | | | | | | 弥生 | | | 古墳 | 平安 | 中世 | 近世 | 備考 | |
|----|--------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | | | 草創 | 早期 | 前期 | 中期 | 後期 | 晩期 | 前期 | 中期 | 後期 | | | | | | |
| 10 | 立馬Ⅰ道跡 | 37 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 11 | 立馬Ⅱ道跡 | 213 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ |
| 12 | 立馬Ⅲ道跡 | 215 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 13 | 花畑道跡 | 205 | | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ |
| 14 | 東原Ⅰ道跡 | 38 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 15 | 東原Ⅱ道跡 | 39 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 16 | 東原Ⅲ道跡 | 40 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 17 | 上原Ⅰ道跡 | 41 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |
| 18 | 上原Ⅱ道跡 | 42 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 19 | 上原Ⅲ道跡 | 43 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 20 | 上原Ⅳ道跡 | 44 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |
| 21 | 林中原Ⅰ道跡 | 45 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | 林城 |
| 22 | 林中原Ⅱ道跡 | 46 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 23 | 林宮原道跡 | 48 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 24 | 下田道跡 | 47 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 25 | 下原道跡 | 204 | | | | | | | | | | | | | | | 水田跡 |
| 26 | 中棚Ⅰ道跡 | 49 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | ○ |
| 27 | 中棚Ⅱ道跡 | 203 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 28 | 二反沢道跡 | 52 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 29 | 榎木Ⅰ道跡 | 50 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |
| 30 | 榎木Ⅱ道跡 | 51 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |
| 31 | 榎木Ⅲ道跡 | 202 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | ○ |

注 道標が検出された道跡は○。遺物が出土したのみの道跡は○。
晩期とされた項目は、概ね晩期末段階に相当する

性が窺われよう。また、林中原Ⅱ道跡では礎石建物2棟や円形土坑も数多く調査されており、林中原Ⅰ道跡で見られた中世～近世の村落景観の延長とみることができよう。また事業団調査の林中原Ⅱ道跡北東側を長野野町教委が調査し、近世に比定される掘立柱建物2棟を検出している。これらは、東接する東原Ⅲ道跡の掘立柱建物や礎石建物と同一の集落と思われる、林中原Ⅰ道跡東部～林中原Ⅱ区西部の掘立柱建物群と、林中原Ⅱ道跡北東部と東原Ⅲ道跡西部の掘立柱建物群と東西に分かれた景観が想定できよう。なお、林中原Ⅱ道跡51区に近接する近世寺院とされた大薬院が伝承されていたが、特定には至っていない。

林地区東側の山地斜面にある立馬Ⅰ道跡では、近世の掘立柱建物2棟が、立馬Ⅲ道跡では溝状遺構が調査されている。東原Ⅰ道跡では掘立柱建物2棟、東原Ⅱ道跡では掘立柱建物1棟、前述した東原Ⅲ道跡は掘立柱建物3棟、礎石建物1棟が検出されている

林宮原道跡では、中世と位置付けた掘立柱建物を14棟調査した。段丘崖に沿った東西棟を主としており、林中原Ⅰ・Ⅱ道跡の該期建物と主軸を同じにする。地形上の制約を主要な要因とするが、段丘崖に沿った東西の動線

が共通していた可能性もある。

林地区西部の榎木Ⅰ道跡では中世～近世とされる掘立柱建物1棟を、榎木Ⅱ道跡では中世とされる掘立柱建物20棟が検出され、その他に墓壇1基や石垣、溝などがまとまる。

榎木沢最上流部にあたる二反沢道跡では、中世に比定される造成地や天明三年以降の近世畑などが調査されている。何らかの宗教的な遺構が想定されよう。

上原Ⅳ道跡では中世と目される溝を検出し、中世遺物も古瀬戸御目付大皿や白磁小杯、丸皿、天目茶碗などが出土しており、中世資料の充実した様相を示す。近世とされる河道跡や溝などから、下駄などの木製品が出土している。また、地元に伝わる朝林寺の範囲が重なるが、その痕跡は見い出せなかった。

中段丘面に位置する下田道跡は天明泥流下の礎石建物群、掘立柱建物群、畑を、中世～近世とされる掘立柱建物11棟、土壇墓などを調査している。

下段丘面の下原道跡も天明泥流下の水田や畑を主体に石垣や井戸跡を検出している。同様に中棚Ⅱ道跡も、畑を中心にした該期道跡として位置付けられている。詳細は本書を参考にいただきたい。

第2章 林宮原遺跡

第1節 調査に至る経緯と調査経過

1 調査に至る経過

林宮原遺跡は、ハットダム建設に伴う生活再建事業関連で、林地区代替地建設事業に伴う発掘調査である。林地区は、埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布する地区であり、第1章第3節で述べたように各遺跡で発掘調査が行われている。林宮原遺跡も当事業団が平成24年度に調査を行い、中世に比定される掘立柱建物群を検出している。長野原町教育委員会でも、平成14年度から発掘調査が度重なり、古代～中世を中心とした集落遺跡を調査している。特に、町教育委員会が調査した平成15年度では、長野原町では極めて珍しい古墳時代(5世紀末～6世紀初頭)に比定される住居が調査されている。また、当地の西に隣接して、平成16年度に長野原町教育委員会が個人宅地建設に係る試掘調査を行っており、カマド用材と思われる石材や須恵器などの出土を見ている。やはり表土下が厚く現状保存の措置が取られている。

このような内容を踏まえ、平成24年度、当事業の対象地に対して、群馬県教育委員会文化財保護課が試掘調査を行い、灰層がまとまって確認されたため、本調査が必要となったためである(第1図)。

2 調査の経過

林宮原遺跡は、平成27年度当初の発掘調査計画には含まれてはなかったが、周辺工事の進展に伴い、急遽11月からの調査に加えることになった。調査面積は160㎡で調査班は、長野原地区で久々戸遺跡を担当していた担当者2名をあてた。調査にあたっては、調査区に接する共同温泉浴場への排水管の切り直しや駐車場の整備、調査事務所設置などの事前工事を行い、11月10日より調査を着手した。

調査は、群馬県教育委員会文化財保護課による試掘結果を踏まえ、灰層を確認するため、褐灰色土下層であるIV層上面を確認面とした。また平成24年度の事業団調査

で調査された掘立柱六群を念頭に遺構の検出に努めた。その結果、少量の須恵器小破片の出土が見られたものの、明瞭な遺構は確認されず、試掘調査で検出された灰層と同様な灰のまとまりが数箇所点在していた。この灰層は、浅間山を給源とする火山灰層で、おそらく浅間Bテフラ(As-B, 1108年)、浅間和川テフラ(As-Kk, 1128年)と考えられた。灰層のまとまりを資料化し、下層の文化層の調査を継続し、V層上面で縄文土器数点が出土した。さらに、ローム層上面での遺構確認やローム中の遺構・遺物の確認調査を加えた。

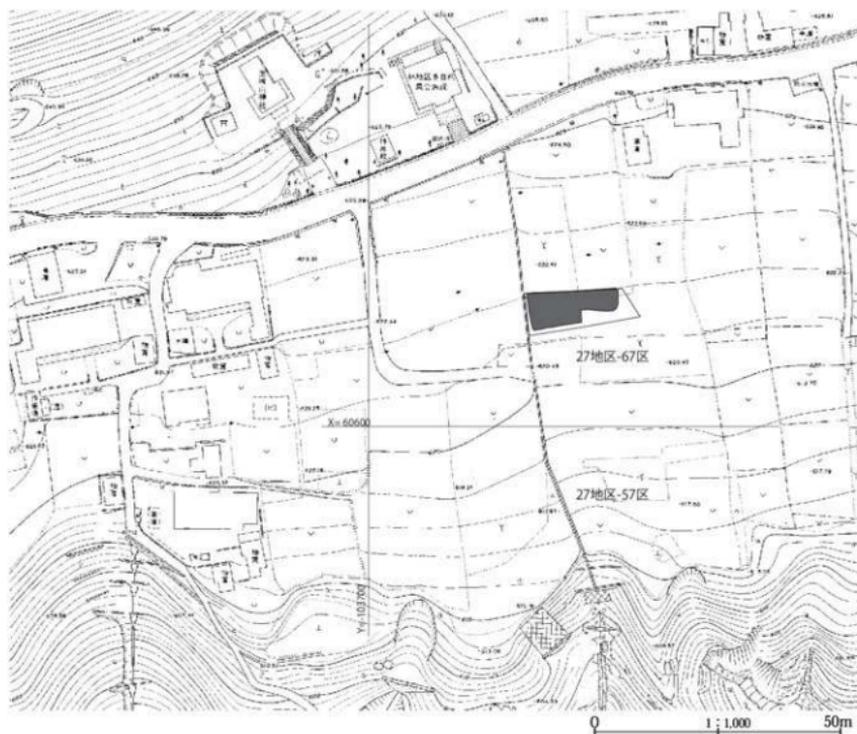
3 調査の方法

遺跡の現状は、宅地・農地であった。発掘調査はバックホウによる表土掘削を行い、順次作業員による遺構確認、遺構調査を予定した。排土は調査区北側の隣接地を対象とした。調査区内は褐灰色土の堆積が厚いため、ローム上面での遺構確認は果たせず、IV層である褐灰色土上層を調査第1面とした。その後、土層の堆積順にV層で調査第2面、調査第3面が漸移層であるVI層、調査第4面をローム層であるVII層上面に設け、各文化層の確認を行った。

出土した遺物は個別番号を付し、平面図上に出土位置を記録し、標高を測定して取り上げた。

測量に関しては、主に測量会社に委託してデジタル化

| 調査日 | 経緯 |
|-----------|---|
| 平成27年 | |
| 11月10日(火) | 重機による表土掘削開始。 プレハブ・トイレ搬入・駐車場整備 温泉施設排水管切り直し |
| 11月11日(水) | 調査1面目(IV層上面)で保護課試掘トレンチの 精査。火山灰分布を確認。遺物小片が数点出土。 |
| 11月12日(木) | 調査1面、遺構なし。火山灰分布の上層断面図、 平面図、写真撮影を行う。 重機による調査2面(V層上面)までの掘削後精査作 業 |
| 11月13日(金) | 調査2面、縄文土器数点が出土する。出土遺物の記 録化及び全景・個別写真撮影。その後、ローム漸移 層まで重機による掘削後精査。遺構がないため、ロ ーム下部までトレンチによる確認。遺構・遺物なし。 各面で全景写真と図面実測を行う。 |
| 11月16日(月) | 重機による埋め戻し作業。温泉施設排水管復旧。調 査終了 |



第5図 林宮原遺跡位置図(長野原町都市計画図を使用)

して記録をとった。林宮原遺跡の場合は主たる遺構を検出しなかったため、各面の全体図と個別図を1/40で兼ね、基本土層図1/20、調査区断面図を1/40で作成した。

また、写真記録は主にデジタルカメラ35mmを用いた。

4 整理業務の経過

林宮原遺跡の整理は、林中原1遺跡の整理作業と併せて平成31年1月から3月までの3か月間を整理期間とし、整理担当者1名があたり、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団で行われた。出土遺物である縄文土器などの資料化を進め、同時に遺構図及び写真資料の整理を行い、遺物観察表、原稿執筆、レイアウト作成を完了し、デジタル編集作業による報告書体裁準備まで整えた。

第2節 遺跡の地形と基本土層

1 遺跡の地形

林宮原遺跡は吾妻川左岸の最上位段丘面に位置する。林地区の多くの遺跡がこの最上位段丘面にあり、後述する林中原1遺跡も最上位段丘面上に選地する。第3・4図に示したように、最上位段丘の北端にあたる上原Ⅱ・Ⅲ遺跡周辺を扇頂部とする扇状地形に似た形状を示している。本遺跡周辺は扇状地形西側の扇端部にあたり、山地斜面と段丘崖が迫り、平坦地形が狭まる箇所となっている。山地斜面には王城山神社が抱かれ、神社前の平坦地形に今回の調査地点が位置する。調査面の標高値は、620.0～621.0mである。なお、山地斜面に沿って、旧草津街道といわれる町道1号線が東西に走り、町教育委員

会が調査した一連の林宮原遺跡の遺構群もこの山地斜面境に沿った分布を示している。本遺跡がある緩斜面地形は南側へと広がりを見せ、南端部は急峻な段丘崖が東西に連続する。この段丘崖に接して平成24年に当事業団が調査した調査区がある。中世掘立柱建物群が東西を軸にして占地していた。

2 基本土層

前述のように、今回の林宮原遺跡の発掘調査は、複数枚の調査面を設けて行った。本遺跡の基盤層としてローム層が堆積するが、上層に黒褐色土や褐灰色土が1m以上堆積するため、遺構が存在していた場合、下層のローム面に遺構確認面を設けると遺構の多くが逸失してしまうためである。ローム層にいたる黒褐色土や褐灰色土の間に数回確認面を設ける必要があった。

例えば、平成24年度に当事業団が発掘調査した57区北東部の高標高部分では、表土の堆積が僅か20cm程度でローム層に至る状態だったが、低標高部では、表土～ローム層が1m以上あり、黒色土や黒褐色土の堆積が厚く、遺構確認に苦慮している。長野原町教育委員会でも、林宮原遺跡は10数回に渡る発掘調査や試掘調査が行われており、確認面を黒褐色土や暗褐色土中に設けているように、本地区の沖積土の発達は著しく、最上位段丘面に立地する遺跡といえども、多面調査が求められている。おそらく、埋没谷や凹地が段丘面に点在しており、各地点で黒褐色土などの堆積が著しいと思われる。さらに、本遺跡の北側は、山地急斜面が迫っており、斜面地形に沿って、黒褐色土などが流入・堆積したものと思われる。

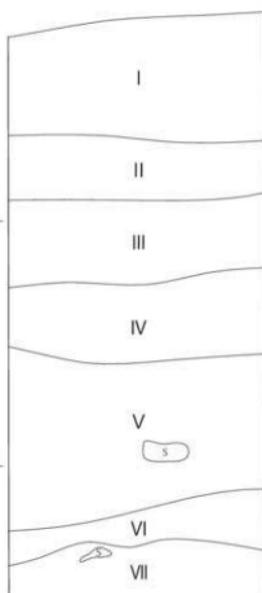
本遺跡の発掘調査では、調査対象面積も少ないことから、土層観察地点は調査区南西隅の西壁1箇所に限った(第8図)。

前述のように発掘調査はIV層の上面で須器器破片出土や火山灰集中を検出し、V層上面で縄文時代後期初頭の土器片の出土を見ている。また、文化層把握としては調査面が2面調査となっているが、前述のように、VI層(漸移層)を調査3面、VII層(ローム上層)を調査4面としてすすめている。

622.00m

621.00m

620.00m



林宮原遺跡 基本土層

- I 黒色土～黒褐色土 表土・耕作土
- II 灰褐色土 粘性弱く、締りが極めて弱い。
- III 褐灰色土 粘性はやや強いが、締りは弱い。
- IV 褐灰色土 粘性・締りともに強い。部分的にAs-珪を塊状に含む。
- V 黒褐色土 白色・黄褐色軽石粒を含む。しまり弱い。
- VI 褐色土 ローム漸移層
- VII 明褐色土 黄褐色ローム。一部に人頭大の亜角礫を含む。

0 1:20 50m

第6図 林宮原遺跡基本土層図



第7図 林宮原遺跡調査第1面全体図及び火山灰分布1・2

第3節 調査成果

平成27年度の林宮原遺跡発掘調査では、残念ながら明瞭な遺構は確認されなかった。ここでは、調査順にその概要を記しておきたい。

1 調査第1面目(第7図、PL.1)

基本土層IV層である褐色土上層で第1面目の調査を行った。I～III層は近世～現代に相当する層位で、木の根などの攪乱層が著しく、遺構確認面として安定しているIV層を選んだ。また、平成24年度の県教委文化財保護課の試掘調査で、灰層が確認された層位でもある。調査区内は現地地形と同様に僅かに南への緩斜面地形を呈するがほぼ平坦面が広がり、古代～中世の遺構・遺物の検出を目的とした調査面である。

前節でも述べたように表土層であるI層と近・現代層に相当するII層の除去はバックホウで行い、近世に比定されると考えたIII層を人力作業で掘り下げ、IV層上面で火山灰の集中2箇所を確認した。また同時に県教委試掘トレンチからも灰層を再確認でき、こちらも火山灰の集中と判断できた。

火山灰は当時の地表面を覆う例や堅穴遺構の覆土・埋土中に堆積する例などがあり、遺構に密接な繋がりがあがる要素である。本遺跡で検出した火山灰は、その様相から、浅間Bテフラ(As-B, 1108年)あるいは浅間粕川テフラ(As-Kk, 1128年)と思われ、12世紀前半～古代～中世に降下した火山灰と把握された。当地域における両火山灰の在り方は、遺構覆土・埋土中に確認されることが多く、例えば、長野原町教育委員会が調査した林宮原遺跡においては、10世紀前半期の住居跡(S102)では青灰色を呈する火山灰が覆土上層に堆積しており、これを粕川テフラとして位置付けている(富田2011)。この事例については、第4節で後述したい。

本遺跡で検出された火山灰分布1及び火山灰分布2は調査区南側で確認されている。県教委トレンチ内で確認された例と併せると3箇所が近距離に分布することになる。火山灰分布1は平面規模が約58.2×48.6cmの不整形円形を呈し、深さは約18cmと浅く、底面も不連続で皿状の断面形を示していた。火山灰分布2は不整形円状の平面

形で検出されたが、西側が不整形円形で整う。規模は約41.7×37.5cm、深さは約13.0cmを測るように、極めて浅い凹地状を示していた。また、火山灰分布1と2の間の距離は約3.9m、火山灰分布1とトレンチ内火山灰の間は2.7m、火山灰分布2とトレンチ内火山灰の間は2.6mを測る。比較的近距離に集まる傾向が看取された。周辺には平安時代の須恵器や土師器小破片が少量ながら出土しており、このことから古代～9世紀以降、当地点には何らかの用地の動きがあり、凹地が点在していた様相が推定できよう。居住跡跡ではないにしても、何らかの人為的な行為による凹地と考えられよう。

2 調査第2面目(第8図、PL.2)

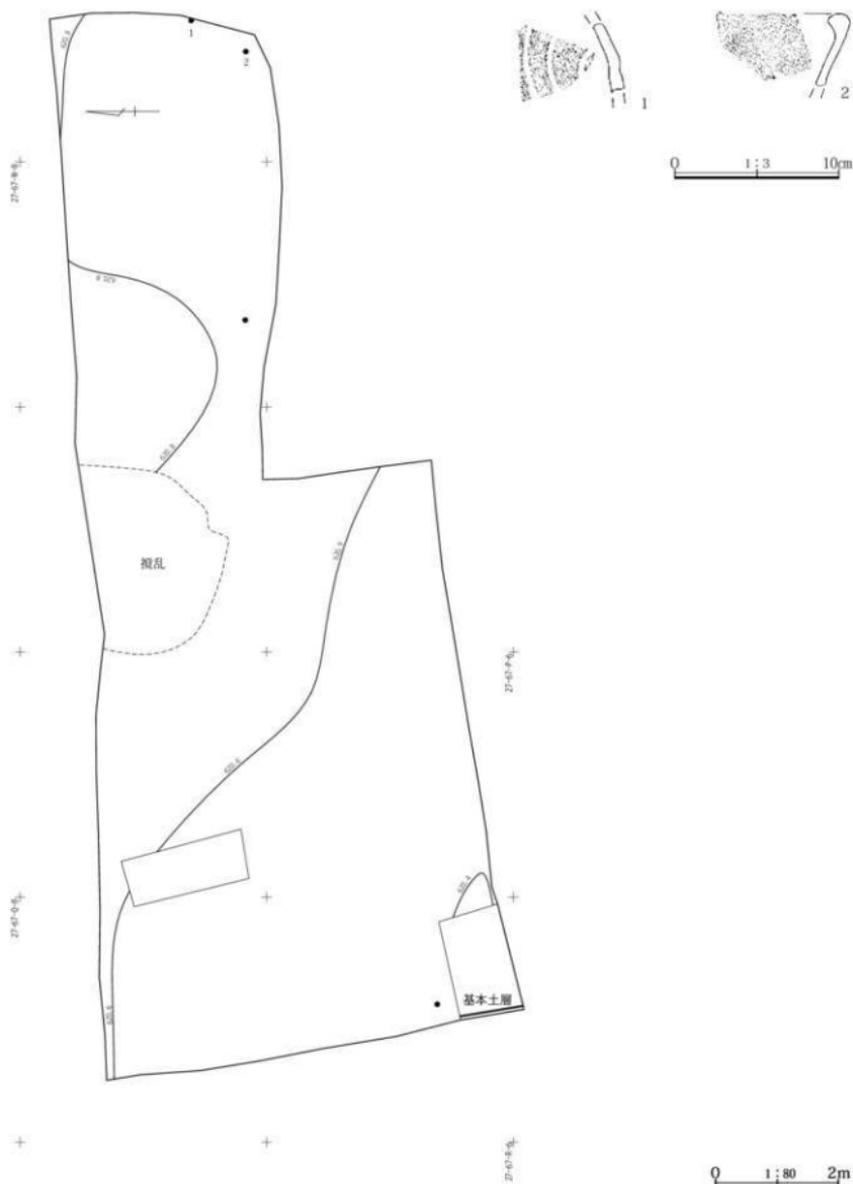
調査第1面目終了後、IV層を重機と人力で除去し、黒褐色土であるV層上面で、調査第2面目の精査を進めた。V層上面でも明瞭な遺構は確認されなかった。遺物も縄文土器が数点散漫に出土したのみで、遺構に伴う出土状態ではなかった。その中で、調査区西壁際で出土した2点は、時期判定が可能な土器片のため、図示掲載に至った。2点とも称名寺式として位置付けられた。

調査第2面目終了後、調査第3面目はローム漸移層、調査第4面目はローム層上面で行ったが、遺構・遺物は確認できなかった。また更にローム中もトレンチで掘り下げたが、遺構・遺物の検出には至っていない。

第4節 総括

今回の林宮原遺跡の発掘調査では、顕著な遺構は確認されず、縄文土器少量の出土に止まった。調査面は2面設け、周辺の調査区で検出されている古代集落や中世掘立柱建物などの調査が期待されたが、残念な結果となった。第1面目の調査では、浅間Bテフラあるいは浅間粕川テフラの堆積が認められた。これは、周辺の遺跡でも普遍的な降下火山灰ではなく、比較的希少な例として位置付けられる火山灰である。おそらく、今回の調査で得られたテフラは浅間粕川テフラと思われるが、浅間Bテフラとの分別は肉眼では果たせず、厳密な火山灰分析を経ていないため、確定的ではない。いずれにしても、当地域の発掘調査で観察される浅間粕川テフラの堆積遺構や堆積状況には幾つの特徴が見られる。ここでは良好

第2章 林宮原遺跡



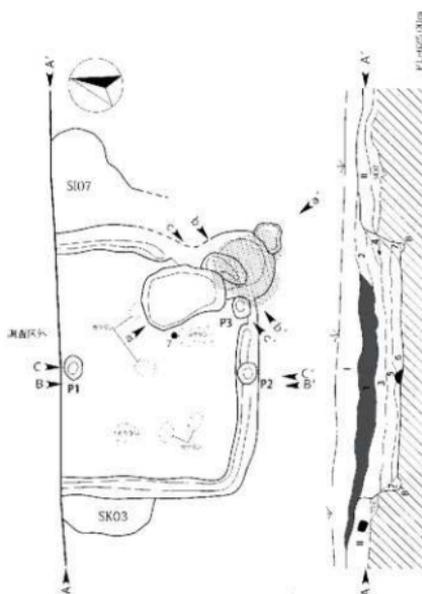
第8図 林宮原遺跡調査第2面全体図及び出土遺物

な例を紹介して、総括の代わりとしたい。

当地域での浅間粕川テフラの良好な堆積を示した例として、平成20年に長野原町教育委員会が調査した林宮原遺跡S102が顕著である。本調査区と同じ遺跡内であり、今回の調査地点から東に150mほど離れた箇所の調査であることから、大差ない堆積環境が窺われる。報告書(長野原町教委2011)では、軸長3.4m程の小型の隅丸方形を呈する10世紀前半代の住居跡で、遺構確認面で径3mの範囲で浅間粕川テフラの広がりが確認されている。壁高が50cm以上あり、そのため覆土(埋土)埋没後、土圧により窪みが生じ凹地となり、そこに浅間粕川テフラが堆積したものと考えられる(第9図)。

この他の周辺遺跡では、立馬1遺跡や上ノ平I遺跡、三平1遺跡、横壁中村遺跡などの古代～中世の竪穴建物や土坑、陥し穴状土坑覆土上層に浅間B軽石あるいは浅間粕川テフラとして堆積が認められている。その層厚は僅かで、数センチから10数センチに止まることから、おそらく12世紀代に降下した浅間B軽石や浅間粕川テフラは、当地域での降下量は多くはなく、加えて降下後、後世の掘削で削平されたため、薄い堆積に止まるものと考えられる。堆積した地点も、住居や陥し穴状土坑埋没後の人為的な凹地や残りの良い低地部分に限られるようである。

本遺跡の場合も極めて地点的な堆積から、自然的な凹地ではなく、人為的な凹地に堆積した可能性が高い。具体的には、竪穴遺構を伴わない生活痕跡一例えば、畑などの生産跡や小規模な平地建物などが想定されよう。



S102上層説明

A'

1. 青灰色テフラ層: 浅間粕川テフラ(約1層)
2. 青灰色テフラ層: 1層よりまばら。
3. 暗褐色土層: 粘性なし。締まりややあり。テフラ・軽石を少量。焼土粒・炭化粒を微量含む。
4. 暗褐色土層: 粘性なし。締まりあり。テフラを微量。炭化粒・焼土粒を含む。
5. 暗褐色土層: 粘性なし。締まりあり。ローム粒・軽石・焼土粒・炭化粒を微量含む。
6. 明褐色土層: 粘性なし。締まりややあり。ロームブロック(φ=10cm)・焼土粒・炭化粒を含む。
7. 明褐色土層: 粘性なし。締まりややあり。ロームブロック(φ=20cm)を多量に含む。
8. 暗褐色土層: 粘性なし。締まりなし。ローム粒・ロームブロック(φ=30cm)を多量に含む。



林宮原遺跡S102は、幾つかの遺構を切った重複関係で検出された。覆土上層に青灰色のシルト質土壌が堆積しており、これを浅間粕川テフラとして位置付けている。図・写真とも報告書『林宮原遺跡Ⅱ』(長野原町教委2011)より、土層順序など一部加筆して転載した。

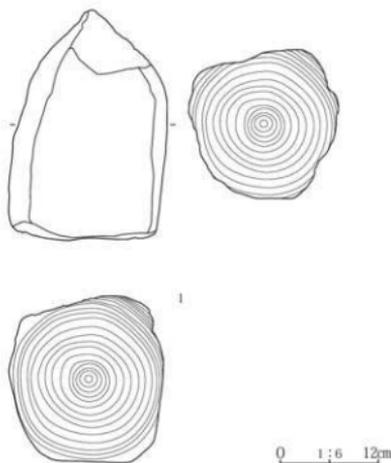
第9図 浅間粕川テフラ堆積遺構事例(林宮原遺跡S102)

補遺編

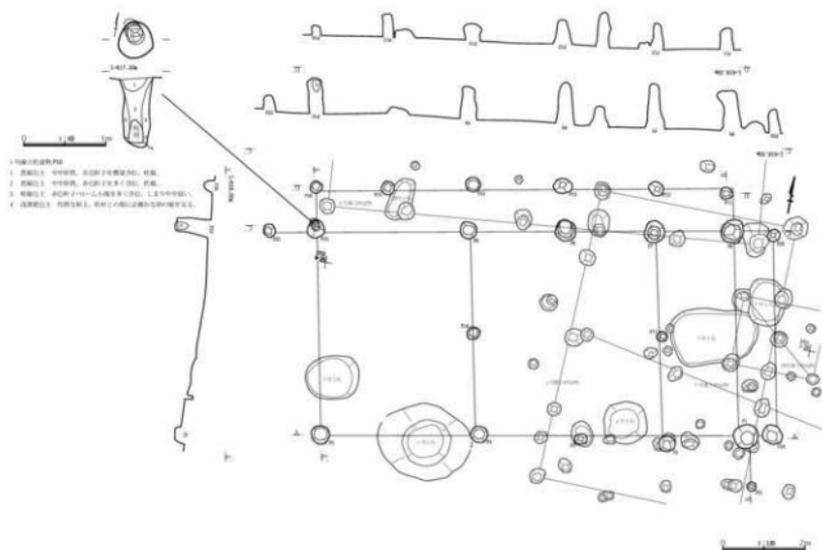
林宮原遺跡57区1号掘立柱建物跡P10内の柱材について

ここに掲載する木製品は、平成24年度発掘調査、事業団報告書第604集『上原1遺跡・上原Ⅲ遺跡・林宮原遺跡』に所収する林宮原遺跡57区1号掘立柱建物の北西隅、主柱穴P10底面で出土した柱材の一部である。本来ならば第604集に掲載すべき遺物であったが、林宮原遺跡(2)の報告に際し、補遺編として掲載するに至った。

P10底面付近は湧水が著しく、そのため柱材の残存も柱材下端部のみである。径は約20cmで残存長は約28cmを測る。材質はクリと思われる。ほぼ直立気味に出土し、下端部は平坦に加工されていた。上半は尖るが、これは腐食によるものであろう。柱穴内から柱材が残る現象は低位段丘面や中位段丘面などの天明泥流下の近世建物などでみられるが、最上位段丘面で検出された、中世に比定される建物からの出土は希少であろう。



第10図 林宮原遺跡57区1号掘立柱建物跡P-10内出土柱材



第11図 林宮原遺跡57区1号掘立柱建物跡(第604集第64図より転載)

第3章 林中原 I 遺跡

第1節 調査経過と調査概要

1 調査に至る経過

林中原 I 遺跡は、ハツ場ダム建設に伴う発掘調査であり、水没地区を走る国道145号線の代替え道路であるハツ場バイパス南に接続する取り付け道路部分が調査対象となった。第1章でも述べたように、本遺跡が位置する林地区は、埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布する地区であり、各遺跡で発掘調査が行われている。林中原 I 遺跡も当事業団が平成16年度、19年度、20年度、21年度に発掘調査を行っており、いずれもハツ場ダム建設関連の工事用進入路やハツ場バイパス、町道建設に伴う一連の調査で、縄文時代前期～中期集落や中世～近世の城(林城)、掘立柱建物、礎石建物、土壌墓、石垣、焼土、道を検出している(群理文2014)。一方長野原町教育委員会も、林地区において住宅建設、土地改良事業等に伴い、本遺跡の調査を重ねており、縄文時代中期～後期の集落跡や中世掘立柱建物、土壌墓などを報告している(長野原町教委2015等)。

ハツ場バイパス南に取り付け道路建設が遺跡地内に計画されたため、上記の遺跡内容を踏まえ、平成29年9月当事業の対象地に対して、県教育委員会文化財保護課が試掘調査を行い、土坑、ピットが確認され、本調査が必要となった(第12図)。

2 調査の経過

県教委試掘調査の結果を受け、林中原 I 遺跡の発掘調査は、調査対象面積を711㎡とし、調査担当者2名により平成30年度5月に着手された。

調査は最初に、調査対象区の東側にあたる42区より、バックホウによる表土を除去し、遺構確認面を広げ、その後人力による遺構確認、掘削、精査を重ねた。また、表土下の黒色土系の堆積が厚く、上層に予想される中世建物や掘り込みの浅い遺構の存在を重視し、調査当初は上層のⅢ層下面に第1面の確認面を設け、中世～近世の

調査日誌抄

平成30年

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 5月8日(火) | 重機搬入、プレハブ・トイレ搬入・駐車場整備 |
| 5月10日(木) | 42区より表土掘削(1面目) |
| 5月15日(火) | 43区表土掘削、土坑遺構確認作業 |
| 5月21日(月) | 1面目土坑・ピット・溝など遺構精査と記録 |
| 5月22日(火) | 1面目遺構確認調査。重機搬出 |
| 5月28日(月) | 1面目遺構調査を継続 |
| 5月30-31日(水・木) | 降雨のため現場作業中止 |
| 6月4日(月) | 1面目遺構調査を継続。写真・遺物整理を併行する。 |
| 6月8日(金) | 1面目、ドローンによる空撮。1～8号掘立柱建物記録 |
| 6月12日(火) | 午後現場作業中止。重機搬入、掘土準備 |
| 6月14日(木) | 1面目調査終了。2面目への掘削(人力)を開始。重機搬出 |
| 6月15日(金) | 現場作業中止。今後は2日平均が雨の影響を受ける。 |
| 6月18日(月) | 2面目遺構確認調査。土坑、ピットなど。重機搬入 |
| 6月21日(木) | 2面目遺構調査。土坑、ピットの記録 |
| 6月22日(金) | 2面目、ドローンによる空撮。土坑、ピット類の記録 |
| 6月25日(月) | 埋め戻し・撤収作業 |
| 6月29日(金) | 埋め戻し完了。重機搬出。調査終了とする。 |

遺構・遺物の検出に努めた。さらに、調査中盤の6月からは、下層のローム漸移層上面で縄文時代遺構を対象とした確認面を設け、土坑などの縄文時代遺構を検出するとともに、上層の中世～近世遺構の確定調査も行った。

発掘調査は5月～6月にかけて行われたため、梅雨時期にあたり、断続的な降雨による調査中断が度重なったが、6月下旬に空撮を行い調査終了となり、6月末までには埋め戻しも完了した。

3 調査の方法

遺跡の現状は、宅地・農地(水田・畑地)・道路であった。前述のように発掘調査はバックホウによる表土掘削を行い、順次作業員による遺構確認、遺構調査を行った。調査区内は黒色土～黒褐色土の堆積が厚いため、直接的にローム上面での遺構確認はせず、Ⅲ層の黒褐色土上層を調査第1面とし、その後ローム漸移層上位にあたる暗褐色土を調査第2面とし、各文化層の確認を行った。

遺構から出土した遺物は、その遺構番号を付し、さらに平面図上に出土位置を記録したのものについては個別番号を付し、標高を測定して取り上げた。遺構外から出土した遺物については第1章第2節で述べたグリッド単位で取り上げた。さらに平面図に出土位置を記録した遺物は遺構出土のものと同様に個別番号を付した。

遺構測量は、主に測量会社に委託してデジタル化して記録をとった。縮尺については、個別遺構平面図や断面図は1/20とし、掘立柱建物や土坑は1/40で平面図を作成した。また、調査第1面、第2面とも全体図を1/100で作成した。

遺構の個別写真は各担当者によるものと、主にデジタルカメラ35mm版と6×7判モノクロームフィルムを用いた。全体写真は、各調査面終了時にドローンによる空中写真を撮影した。

4 整理業務の経過

林中原I遺跡の整理作業は、林宮原遺跡の整理作業と併せて平成31年1月から3月までの3か月間を整理期間とし、整理担当者1名があたり、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団で行われた。出土遺物である縄文土器や近世陶磁器、石器、石製品、金属製品などの資料化を進め、同時に掘立柱建物などの遺構図及び写真資料の整理を行い、遺物観察表、原稿執筆、レイアウト作成を完了し、デジタル編集作業による報告書体裁準備まで整えた。

第2節 遺跡の地形と基本土層

1 遺跡の地形

長野原町林地区は、吾妻川左岸の最上位段丘面を中心に多くの遺跡が立地しており、林中原I遺跡もこの最上位段丘面に位置する。林地区における最上位段丘面は、第3・4図に示したように、最上位段丘の北端にあたる上原Ⅱ・Ⅲ遺跡周辺を扇頂部とすると扇状地形に似た形状を示している。

本遺跡周辺は扇状地形南端の扇端部にあたり、南側には吾妻川や中位段丘面と最上位段丘面を画す段丘崖が東西に展開し、起伏の激しい地形を示している。なお、本遺跡の東には林中原Ⅱ遺跡、西には林宮原遺跡が接しており、この段丘崖に沿った立地状況である。今回の調査面の標高値は610.0～612.5mで、段丘崖直下の中位段丘面からは50m以上の比高差を測る。

調査区北半は、周辺地形である北高南低の南への緩斜面地形が広がる中にあり、調査区南端の一部にかけて高くなる地点である。これは、南端の調査区外にある、高

さ2m程の小規模な高まりによる影響だが、高まり自体は自然丘とされている。調査区東側は、この高まりより東側へ緩やかに下る傾斜面が広がり地形である。調査区内その他の地点は、埋没谷も見られず、ほぼ平坦面に近い緩傾斜地形を呈していた。ただ、南側10m前後で段丘崖が迫っており、最上位段丘南端に位置する調査区となっている。

2 基本土層

林中原I遺跡の発掘調査は、黒色土の堆積が厚いため、複数枚の調査面を設けて行った。本遺跡の遺構基盤層として、黄褐色ローム層が堆積するが、上層に黒色土や黒褐色土が50cm以上堆積するため、浅い遺構が存在していた場合、下層の黄褐色ローム面に遺構確認面を設けると遺構の多くが逸失してしまうためである。また、逆に上層の黒褐色土中の文化層のみで調査が止まると下層の文化層である縄文時代遺構の検出が果たせないままとなる。そのため、ローム層にいたる黒色土や黒褐色土の間に数回確認面を設ける必要があった。

長野原町教育委員会でも、林中原I遺跡は20回近く発掘調査や試掘調査が行われており、その都度、確認面を黒褐色土や暗褐色土中に設けているように、当地区の黒色土の発達著しく、最上位段丘面に立地する遺跡といえども、多面調査が求められている。おそらく、埋没谷や凹地が段丘面に点在しており、各地点で黒褐色土などの堆積が著しいと思われる。

本遺跡の土層観察地点は調査区北西部の調査区境西壁の柱状図を基本土層(柱状図1)とし、地形に沿って東側の壁沿いに3箇所の柱状図(2～4)を作成した(第13図)。

なお、整理作業の段階で、発掘調査で得られた基本土層記述を、変更している。本遺跡の既往の調査による基本土層データを鑑み、長野原町教育委員会による基本層序『林地区遺跡群』(2015長野原町教委)を基本に、『長野原城・林中原I遺跡』(2014 群理工文)及び今回の発掘調査による所見を加えた。各層位の枝番(Ⅲ-1等)は今回の調査による所見である。このうち、IV-2層はローム漸移層上層に堆積する黒色土で、縄文時代の遺構埋土を構成する土壌として位置付けられる。隣接する林中原Ⅱ遺跡でも確認されており、縄文時代後期の遺構確認面となっ

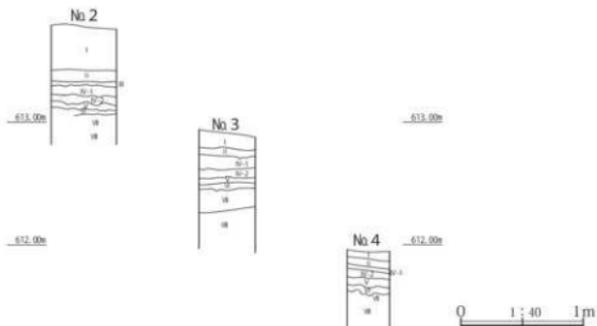
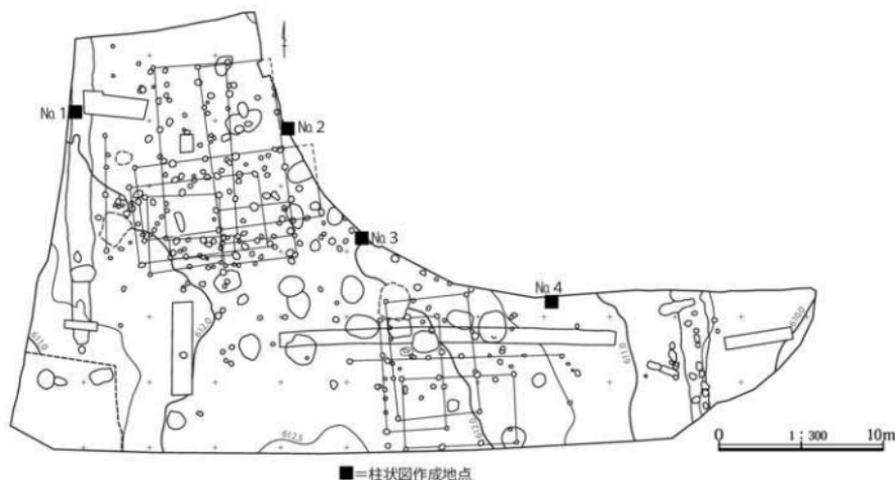
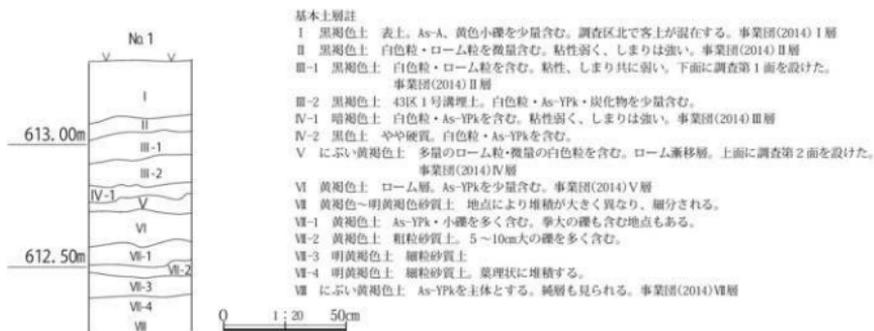
ている。

前述のように、本遺跡の今回の発掘調査は2面調査を標準としており、第1面はⅢ-1層下面で、第2面はⅤ層上面で行っている。また、第1面が古代～中・近世で、

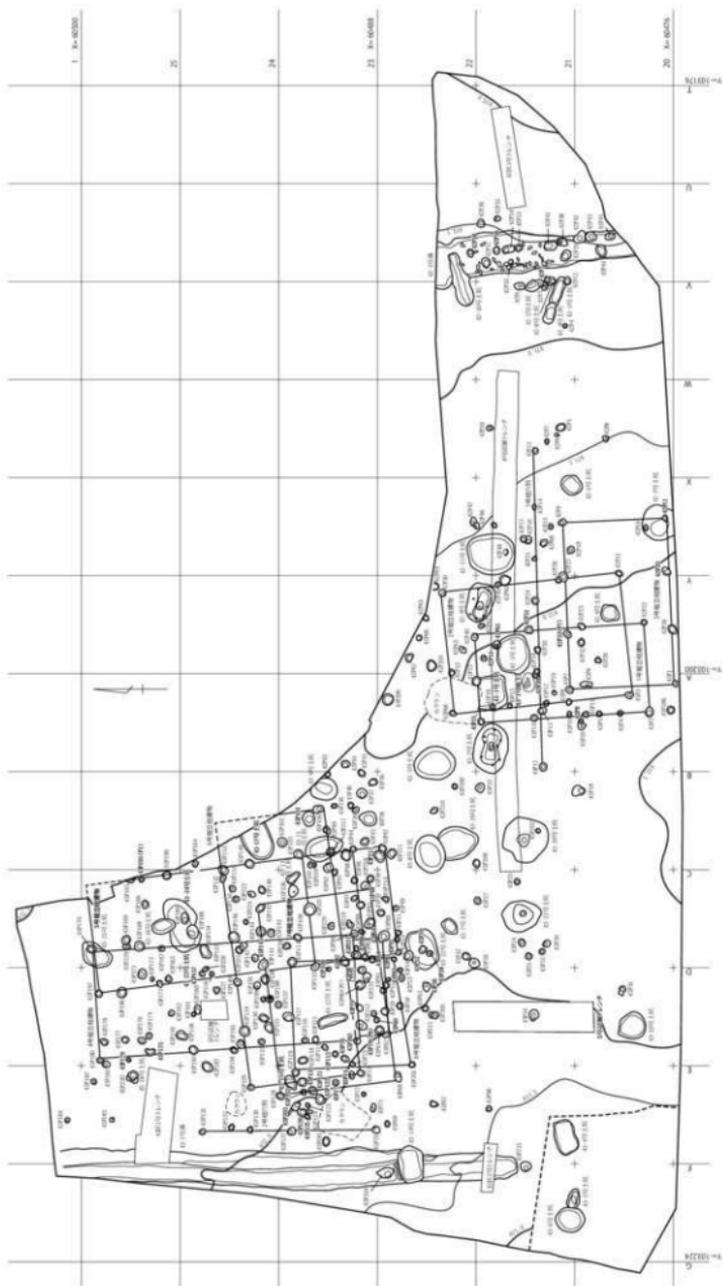
第2面が縄文という時期別の調査面が想定されるが、実際的には厳密ではなく、上層で縄文遺構が下層で近世遺構が検出される例もあった。



第12図 林中原Ⅰ遺跡位置図(長野原町都市計画図を使用)



第13図 林中原 I 遺跡基本土層図及び柱状図作成地点



第14図 林中原 I 遺跡全体図

第3節 検出された遺構と遺物

第1項 遺跡の概要

林中原1遺跡の発掘調査は、当事業団としては通算5回になる。前4回の詳細は報告書第586集『長野原城跡・林中原1遺跡』（群理文2014）に掲載されているためここでは省くが、長野原町教育委員会でも18回の発掘調査が行われている。こちらも長野原町埋蔵文化財調査報告第30集『林地区遺跡群』（長野原町教委2015）に詳しい。今回の本遺跡の発掘調査で得られた遺構・遺物を概観すると、事業団が平成19年度に調査した中近世屋敷群が北側に近接し、町教委が調査報告した2区調査区に東側の中近世遺構群が、密接に関連する。このように、周辺は中世～近世遺構群が選地する地点であり、掘立柱建物や土坑などが調査されている。ここでは、今回の林中原1遺跡の発掘調査で検出された遺構の概要を述べておきたい。

縄文時代では、本調査区西約15mに町教委調査の1・2区に円形土坑群が検出されており、貯蔵穴として位置付けられている。また、北西約30mに事業団と町教委調査区に跨ってS102が位置している。さらに北側は事業団調査区が接するが、数基の土坑が認められ、縄文時代遺構密度は高くなく、同様に、今回の調査でも縄文時代遺構密度は高くなく、11基の土坑が調査されたのみである。このうち、時期などが確定される土坑は43区18号土坑の1基のみであり、その他は、時期・正確とも判然としない。調査区内の分布をみても、中央部の平坦地形が広がる地点を中心としており、特に大きな偏りもない。出土土器も中世～近世に比定されるピットからの出土が多く、縄文時代遺構からの出土はほとんど見られない。時期も早期条痕文土器から、前期・中期・後期掘之内式に広がり、若干ながら早期と後期へ比重が高まるが、大きな偏りではない。おそらく、今回発掘した調査区は、縄文時代集落範囲の外縁部分にあたるものと位置付けておきたい。

古代～中世とした段階でも、積極的な居住痕跡を見ない。いわゆる陥し穴状土坑を3基検出した。また、不整楕円状を呈する43区17坑を当該期の遺構として位置付けている。陥し穴状土坑は調査区中央部に2基がまとまり、

1基が東寄りに位置する。概ね東西方向に長軸を設けており、けもの道などを考慮した配置と思われる。

今回の発掘調査で最も遺構が多かった時期は中世～近世の段階である。掘立柱建物を8棟、溝2条、焼土遺構1基、土坑21基、ピット多数が該当する。このうち、43区1号溝は、平成19年度事業団調査で検出された53区1号溝の南への延長であり、東側に展開する中近世屋敷掘立柱建物群の区画溝の一部と目されている。また、掘立柱建物8棟は42区に3棟、43区に5棟と平面的にも2群が配されている。両者とも東西棟、南北棟が重複する配置を見せており、先の事業団調査で検出された中近世屋敷との関連性が窺われる。しかしながら、各掘立柱建物は、有機的な遺物の出土もなく詳細な時期特定にまでは至っておらず、今後の検証が待たれる。

第2項 縄文時代

土坑を主とする。縄文時代として確定した遺構は42区7号土坑と43区18号土坑のみであり、他は形態や埋土、調査面から判断した。故に、中世～近世土坑に帰属し得る土坑も含まれる。

42区7号土坑(第15図、PL.4・14)

位置：42区X-20グリッドに位置する。調査区南壁際で一部を調査区域外に伸ばす状態で調査された。確認面は調査第1面ながら黒褐色土の堆積が薄いため、ローム層上面で平面形などが把握された。周辺は東側への緩斜面地形が広がる地点である。

重複：3号掘立柱建物柱穴(P2)や42区P19と重なるが、いずれも中世～近世の所産で、本土坑を切る新旧関係を示す。

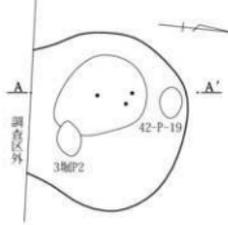
形状・規模：径約1.5mの不整形を平面形とする。断面形は緩やかな袋状を呈し、約0.8mを測る。深く坑底面はⅧ層にまで達しておりAs-YPkが露出していた。

土層：上層に黒褐色土が覆い、中層にローム塊を主体とした黄褐色土が厚く堆積する。下層もローム塊を含む黒褐色土や黄褐色土が見られ、明らかな人為埋土状態を示す。

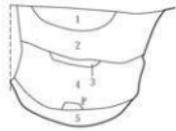
遺物：底面よりやや浮いた状態で早期後半段階の深鉢片が出土している。図示した4点はあるいは同一個体の可能性がある。

時期・所見：袋状の断面形から貯蔵穴の可能性もある。

42区7号土坑

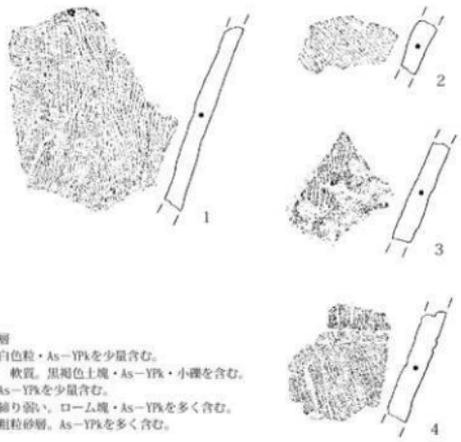


A., 1-612.00m A'



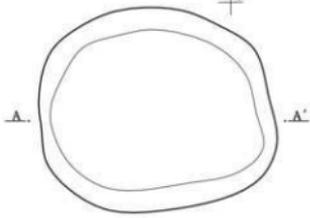
42区7号土坑土層

- 1 黒褐色土 白色粒・As-YPKを少量含む。
- 2 明黄褐色土 軟質。黒褐色土塊・As-YPK・小礫を含む。
- 3 黒褐色土 As-YPKを少量含む。
- 4 黒褐色土 細り強い。ローム塊・As-YPKを多く含む。
- 5 黄褐色土 粗粒砂層。As-YPKを多く含む。



0 1:3 10cm

42区11号土坑



A., 1-611.80m A'



42区11号土坑土層

- 1 にふい黄褐色土 黒色土塊・ローム塊を多く含む。

43区18号土坑



A., 1-612.50m A'



43区18号土坑土層

- 1 黒褐色土 均質。上層で土器出土。



0 1:4 10cm

43区7号土坑



A., 1-612.20m A'



43区7号土坑土層

- 1 黒褐色土 白色粒・As-YPK・ローム塊を多く含む。

43区19号土坑



A., 1-611.30m A'



43区19号土坑土層

- 1 にふい黄褐色土 黒色土塊・ローム塊を多く含む。

0 1:40 1m

第15図 林中原1遺跡縄文時代土坑(1)及び出土遺物

時期は出土土器から早期後半段階に求められ、当地域の該期遺構として屈指の資料と位置付けられる。

42区11号土坑(第15図、PL.4)

位置：42区X-21・22グリッドに位置する。調査区中央やや北東寄りにあたる。周辺は東側への緩傾斜地形が広がる平地である。

重複：2号掘立柱建物東に近接し、42区P18が底面に重複するが両者とも中世～近世の所産であり、本土坑の関係性は無い。

形状・規模：平面規模は径約1.9×1.7mの不整円形を呈し、深さは約0.2mと浅く皿状の断面形態を示すことから、小竪穴状遺構として位置付けられる。

土層：ローム塊、黒褐色土塊を混在する黄褐色土を埋土としていた。

遺物：遺物の出土は見られなかった。

時期・所見：遺物を見ないが埋土の状態から縄文時代の所産と考えた。詳細な時期は不明だが、形態から小竪穴遺構として位置付けられよう。

43区7号土坑(第15図、PL.4)

位置：調査区中央部の43区C-22グリッドに位置する。調査第1面での検出の黒褐色土で調査を進めた。

重複：明瞭な重複遺構は無いが、近接して43区19-22号土坑が周辺に見られる。いずれも縄文時代の所産とした土坑である。

形状・規模：平面形は小型の不整楕円形を呈す。規模は約0.7×0.5×0.3mを測り、鍋底状の断面形を示す。

土層：ローム塊、As-YPkを多く含む黒褐色土を埋土としていた。

遺物：出土遺物は見られない。

時期・所見：遺物の出土も無いため、詳細な時期は特定できないが、周辺土坑との位置、埋土の状態を考慮して縄文時代の所産とした。

43区18号土坑(第15図、PL.4・14)

位置：調査区北側の43区E-25グリッドに位置する。南側への緩斜面地形が広がりほぼ平坦地形での検出である。調査第1面の黒褐色土中で平面形などを確認した。

重複：調査第1面での重複遺構は無いが、第2面でP230が重なる。新旧は不明だが同時存在の可能性もある。

形状・規模：径約40cmの不整円形を呈するピット状土坑である。深さは約20cmで浅い。

土層：黒褐色均質土を埋土とする。

遺物：上層で堀之内2式の深鉢体部破片がまとまって出土している。意図的な埋置とは思わず、流入・廃棄による所産と捉えた。

時期・所見：小規模なピット状土坑と考えた。出土土器は、流入・廃棄による出土と考えられ、意図的な埋置ではない。時期は出土土器から後期前葉としたい。

43区19号土坑(第15図、PL.5)

位置：調査区中央部の43区B-22グリッドに位置する。周辺は、南側調査区域外にある高まりの影響で、南から北へ下る地点で調査された。確認面は調査第2面のローム漸移層で平面形の把握などが行われた。

重複：上層の調査第1面で検出された43区8号土坑が本土坑を切る位置にある。

形状・規模：不整楕円形を平面形とする。規模は約1.7×1.4mとやや大型だが、深さは0.1mで極めて浅く皿状の断面形を示す。11号土坑に見るような小竪穴状遺構に類似する。

土層：黒褐色土塊やローム塊を含む黄褐色土を埋土とする。42区11号土坑に近似する。

遺物：出土遺物はない。

時期・所見：平面形や埋土は42区11号土坑に近似するが、坑底面が傾斜に沿って南側へ傾いており、検討を要する。時期は埋土、周辺遺構の在り方から縄文時代の所産としたが、詳細な時期は不明である。

43区20号土坑(第16図、PL.5)

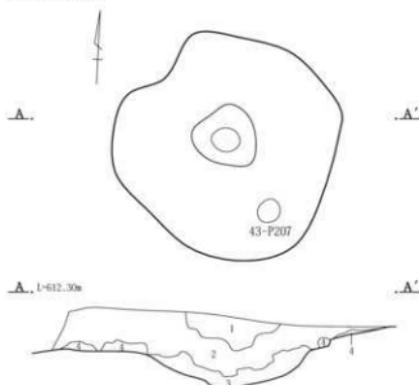
位置：調査区中央やや南の43区B-21グリッドに位置する。南側調査区域外にある高まりの影響で、南から北へ下る地点で調査された。

重複：土坑としては単独の検出である。北約1mに19号土坑、西約1.5mに21号土坑が近接する。調査第2面で土坑が比較的接近して調査された地点でもある。ピットは43区P207が南壁に重なるが新旧は不明である。

形状・規模：径約1.8mの不整円形を平面形とする。深さは約0.6mを測り、断面形状は鍋底状を示すが、底面は凹凸が強く、壁の立ち上がりもやや弱い印象を受ける。また中央に径45cm程の小ピットを穿つが、意図的な例なのか確認は得られない。

土層：As-YPkを多く含む黒褐色土と暗褐色土を基調としており、比較的均質土で構成される傾向にある。

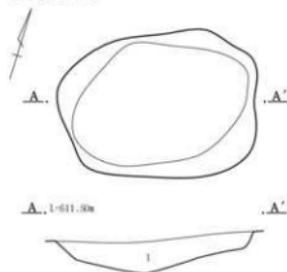
43区20号土坑



43区20号土坑土層

- 1 黒色土 白色粒・As-YPkを少量、炭化物を微量含む。
- 2 黒褐色土 暗褐色土塊・白色粒・As-YPkを含む。不均質
- 3 暗褐色土 多量のローム塊、少量の白色粒・As-YPkを含む。
- 4 黄褐色土 ローム塊を主体とする。

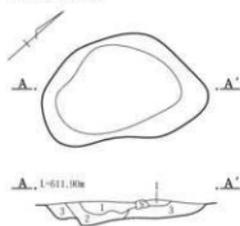
43区22号土坑



43区22号土坑土層

- 1 にふい黄褐色土 黒色土塊・ローム塊を多く含む。

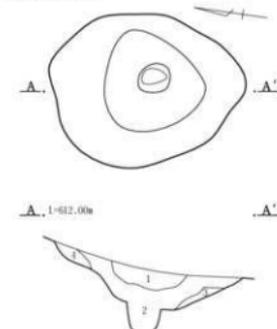
43区25号土坑



43区25号土坑土層

- 1 黒褐色土 白色粒・As-YPkを少量、炭化物を微量含む。
- 2 黒褐色土 やや明るい。As-YPkを少量含む。
- 3 にふい黄褐色土 やや暗い。ローム粒・As-YPkを少量含む。

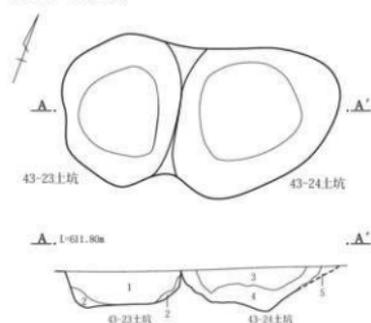
43区21号土坑



43区21号土坑土層

- 1 黒褐色土 白色粒・As-YPkを少量、炭化物を微量含む。
- 2 黒褐色土 暗褐色土塊・白色粒・As-YPkを含む。不均質
- 3 暗褐色土 多量のローム塊、少量の白色粒・As-YPkを含む。
- 4 黄褐色土 ローム塊を主体とする。

43区23・24号土坑



43区23・24号土坑土層

- 1 黒色土 白色粒・As-YPkを少量、炭化物を微量含む。23坑
- 2 黒色土 多量のローム塊、少量の白色粒・As-YPkを含む。23坑
- 3 黒色土 多量の白色粒・As-YPkを含む。24坑
- 4 にふい黄褐色土 やや暗い。黒色土塊・ローム塊・大型の垂直礫を多く含む。24坑
- 5 黄褐色土 ローム塊を主体とする。24坑



第16図 林中原1遺跡縄文時代土坑(2)

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：周辺遺構の在り方や埋土の特徴から縄文時代の所産としたが、出土遺物もなく詳細な時期は不明である。底面などの様相から自然的な営力によるものか。

43区21号土坑 (第16図、PL 5)

位置：43区C-21グリッドに位置する。調査区中央やや南にあたり、南から北へ傾斜する地点で検出された。調査第2面のローム漸移層で調査を進めた。

重複：重複する遺構は無い。前述の43区19号土坑や20号土坑が近接する。

形状・規模：不整形円形を呈す。規模は約1.5×1.3×0.5mを測る。深いが底面は傾斜に沿い凹凸も顕著である。底面中央に20号土坑と同様に小ピットが開くが性格は不明である。

土層：暗褐色土塊やAs-YPkを多く含む黒褐色土を基調とする。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：周辺遺構の在り方や埋土の特徴から縄文時代の所産とした。20号土坑にも見られた底面中央の小ピットは検討が必要であろう。

43区22号土坑(第16図、PL 5)

位置：調査区中央やや西よりの43区C-22グリッドに位置する。南側への緩斜面地形が広がり、平坦面での調査となった。確認面は、調査第2面のローム漸移層で行った。

重複：調査第1面では北側に43区掘立柱建物群が検出されている。本土坑にも8号掘立柱建物P8や43区P28・29が重複するが、中世～近世の所産であり、本土坑との関係性は無い。

形状・規模：不整形長方形を平面形とする。規模は約1.6×1.2×0.3mを測る。断面形は皿状を示すが掘り込みはしっかりしていた。底面は黄褐色ロームで、一部に基盤礫が露出していた。

土層：黒色土塊を混在する黄褐色ローム塊を埋土としている。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：土坑形状、周辺遺構の様相、埋土の状態から縄文時代の所産としたが、詳細な時期や性格は不明である。

43区23・24号土坑(第16図、PL 5)

位置：調査区北東部の43区C-24・25グリッドに位置する。

周辺は南への緩斜面地形の中で平坦面が広がる。調査第2面のローム漸移層で調査を進めた。

重複：調査第1面で得られた5号掘立柱建物範囲内にあり、43区16号土坑やP188・189が重なる。本土坑が切られる新旧関係である。また本土坑相互の新旧に関しては重複部分が少なく、不明とせざるを得ない。

形状・規模：不整形円形土坑が2基東西に連なって調査された。2基ともに径1.2m程の規模で深さは30cm前後である。壁の立ち上がりも良好で、明瞭な円形土坑と位置付けられよう。底面は黄褐色ロームで基盤礫が多数露出していた。

土層：両土坑とも黒色土を基調とする。

遺物：出土遺物は見られない。

時期・所見：調査面、土坑の形態、埋土の特徴から縄文時代の所産とした。出土遺物などが見られないため、詳細な時期、性格の特定には至らない。

43区25号土坑(第16図、PL 5)

位置：調査区北東部の43区C-25グリッドに位置する。周辺は南への緩斜面地形が広がる平坦面である。

重複：4号掘立柱建物P1と重なるが、中世～近世遺構のため、関係性は無い。

形状・規模：平面規模は約1.4×0.9mを測る不整形を呈す。深さは0.1mで浅く皿状の断面形を示す。

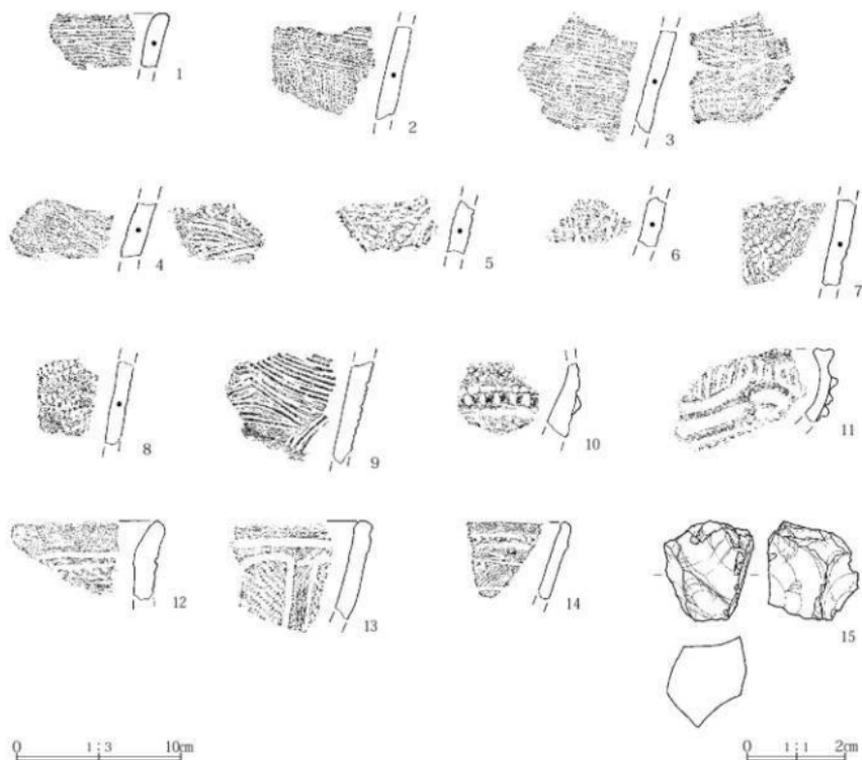
土層：As-YPkやローム粒を含む黒褐色土、黄褐色土を埋土とする。

遺物：遺物は出土していない。

時期・所見：調査面及び埋土の状態から縄文時代の所産としたが、詳細な時期や性格は不明である。

遺構外出土遺物(第17図、PL14)

本遺跡の発掘調査では、遺構確認時及び中世～近世ピットより少量の縄文土器片が出土している。第17図にまとめて掲載したが、1～4の鶴ヶ島台式土器に比定される資料が良好な例であろう。その他前期では、黒浜式(5～8)、諸磯c式(9)、中期は勝坂式から加曾利EⅢ式(10～13)、後期は堀之内2式(14)が出土している。早期資料は42区7号土坑に良好な例がまとまるため、遺構外資料と併せて、まとまった量が提示できた。また、石器では黒曜石製の石核が試掘トレンチより出土している。なお、非掲載資料は一覧として第4表に挙げた。



第17図 林中原1遺跡縄文時代遺構外出土遺物

第4表 林中原1遺跡未掲載遺物数量一覧

| 林中原1遺跡未掲載遺物数量一覧 | | |
|-----------------|--------|----|
| 出土位置 | 土器型式 | 点数 |
| 42K 7号土坑 | 早期後半 | 9 |
| 42K 遺構外 | 早期後半 | 2 |
| 42K 遺構外 | 黒浜式 | 1 |
| 42K 遺構外 | 中期後半 | 1 |
| 43K 遺構外 | 早期委直文系 | 4 |
| 43K 遺構外 | 黒浜式 | 3 |
| 43K 遺構外 | 漆器b式 | 1 |
| 43K 遺構外 | 勝坂3式 | 1 |
| 43K 遺構外 | 加曾利E1式 | 3 |
| 43K 遺構外 | 堀之内2式 | 5 |
| 43K 遺構外 | 不明 | 5 |

第3項 古代～中世

前回の林中原1遺跡の発掘調査では53区より5基の陥し穴状土坑を調査・報告している(群理文2014)。分布をみると53区中央部にまとまる傾向が見られるが、密集する分布ではなく、散漫な設置状況といえよう。今回の本遺跡の調査でも3基の陥し穴状土坑を調査しており、42区に2基、43区に1基が認められ、やはり散漫な分布状況を示す。また、先に報告した53区陥し穴状土坑群とは別の一群と捉えられ、対象となる動物の行動パターンに即した設置が模索された結果と想定できよう。

また、1基のみ平安時代の土師器甕破片などを出土した43区17号土坑が調査されているため、本項で取り上げる。

42区9号土坑(第18図、PL.6)

位置：調査区中央北東寄りで調査された陥し穴状土坑である。42区Y-20・21グリッドに位置する。調査第1面ながら周辺は黒褐色土の堆積が薄く、ローム漸移層で平面形などを確認した。周辺は東側への緩傾斜地形が広がる平坦地である。

重複：2号掘立柱建物内に重なるが、関連性の無い重複である。直接的な重複遺構は見られない。

形状・規模：長軸を西北西に設けた不整形長方形を平面形とする。規模は約1.6×1.1×1.1mで深く、VI層下位～VII-1層にまで達し、一部As-YPkが露出していた。土坑上位は強く開き、中位～下位は直立気味の壁が巡る。また平面的には中間部に括れを設け、やや狭くする平面的な特徴を有す。底面中央には径10cm程度の小ピットを1基設け、さらに壁には小孔7基が穿たれていた。逆茂木などの痕跡であろうか。

土層：上層に均質な黒色土、中・下層にローム塊を多く含む暗褐色土が堆積する。

遺物：遺物の出土は見られなかった。

時期・所見：等高線に長軸を斜めに設ける選地状況である。調査区東側にある斜面を臨んで、台地縁辺をテリトリーとする動物を予測した設置であろうか。時期は周辺遺跡の陥し穴状土坑帰属時期に倣い古代～中世とした。

42区10号土坑(第18図、PL.6)

位置：調査区東端で、42区1号溝北側で調査された陥し

穴状土坑である。42区U・V-22グリッドに位置する。調査第1面の黒褐色土で確認されたが、東側は1号溝底面にかかるためローム面での検出となった。周辺は東側への緩傾斜地形が連続していた。

重複：42区1号溝に土坑東側上半を壊されていた。

形状・規模：長軸を西南西に設けた不整形長方形を平面形とする。規模は約2.2×0.7×0.8mを測る小型で溝状の陥し穴状土坑である。深く、底面はVI層下位にまで及び、底面幅は0.2m程度に止まり狭い。

土層：黒褐色土を基調とする。上層は硬質で下層は軟質土で構成される特徴を有す。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：東側斜面へ下る箇所、等高線と直交する軸で設けられた陥し穴状土坑である。段丘崖を上下する動物を対象とした設置であろうか。また、土坑形状も溝状をなし、当地域で検出される古代～中世の陥し穴状土坑とは差異が認められる。あるいは、縄文時代にまで遡る可能性がある。検討を要する。

43区2号土坑(第18図、PL.6)

位置：調査区中央やや東寄りで42区との境界付近で調査された。43区A-21グリッドに位置し、周辺は東への緩傾斜地形が広がり、ほぼ平坦面での検出となった。調査第1面の暗褐色土で平面形を確認したが、南半は試掘トレンチにかかるため、黄褐色ローム面での検出となった。

重複：単独の検出である。周辺には中世～近世に比定される1～3号掘立柱建物、43区1号土坑や3号土坑が近接するが関連性は無い。同様な陥し穴状土坑である42区9号土坑が東約4.3mに選地している。

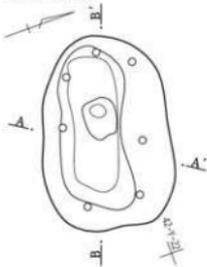
形状・規模：長軸を西北西に向けた不整形円形を平面形とし、平面規模約2.0×1.4m、深さ約0.8mを測る。VI層下位にまで掘り込まれ、平面形中間部に括れを設け、底面中央に小ピット1基、周囲の壁面に小孔8基が穿たれ、42区9号坑との共通性が窺われた。特に底面中央の小ピットは、約50cm以上掘り込まれていた。

土層：埋土も9号土坑同様に上層に黒褐色均質土、中・下層にローム塊を含む暗褐色土～黒褐色土が堆積していた。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：42区9号土坑と極めて類似した陥し穴状土坑である。選地状況も等高線に長軸を斜めに設けており、

42区9号土坑



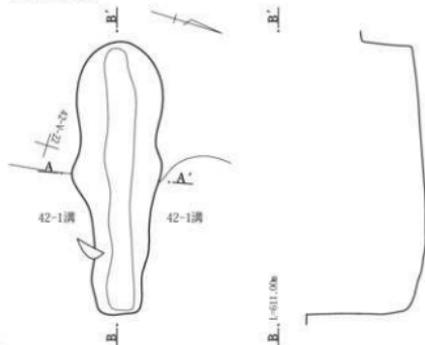
A., 1-612.00m



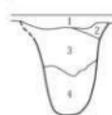
42区9号土坑土層

- 1 黒色土 白色粒・多量のAs-YPkを含む。
- 2 暗褐色土 ローム塊・白色粒・As-YPkを含む。
- 3 暗褐色土 大粒のAs-YPkを多く含む。

42区10号土坑



A., 1-610.80m



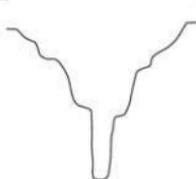
42区10号土坑土層

- 1 黒褐色土 明るい。硬質。白色粒・As-YPkを多く含む。
- 2 黒褐色土 硬質。ローム塊・As-YPkを含む。
- 3 黒褐色土 軟質。ローム粒・As-YPkを少量含む。
- 4 黒褐色土 軟質。ローム粒・As-YPkを多く含む。

43区2号土坑



B., 1-612.30m

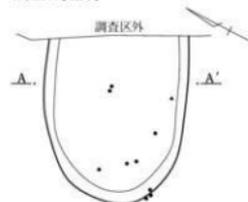


A., 1-612.30m

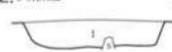
43区2号土坑土層

- 1 黒褐色土 白色粒・As-YPk・炭化物を多く含む。
- 2 暗褐色土 多量のローム塊・少量のAs-YPkを含む。
- 3 黒褐色土 暗褐色土塊・As-YPkを多く含む。
- 4 暗褐色土 ローム塊を多く含む。

43区17号土坑



A., 1-612.30m



43区17号土坑土層

- 1 暗褐色土 白色粒・As-YPkを多く、黒褐色土塊を少量含む。土師器破片や黒曜石を出土する。

0 1:40 1m

対象動物の特定化が想定されよう。時期も9号土坑と同様に古代～中世と考えた。

43区17号土坑(第18図、PL 6)

位置: 43区B-24グリッドに位置する。調査区北東部にあたり、土坑東半を調査区域外に延長して調査された。周辺は南への緩傾斜地形が広がりがほぼ平坦面といえる。確認面は調査第1面の暗褐色土中で行った。

重複: 重複遺構は無く、単独の検出だった。

形状・規模: 東半が調査区域外のため判然としなが、おそらく、長軸を東西に向けた楕円形を平面形とする。短軸規模は約1.2m、深さは0.2mと浅いが、掘り込みはしっかりしており箱形の断面形を示す。

土層: As-Ypkを多く含む暗褐色土を埋土としていた。

遺物: 上層より土師器破片が10数点まとまって出土した。同一個体と思われるが、土坑の性格を示唆する出土状態では無い。その他に縄文前期に比定される黒浜式土器片1点を見たが、流入である。

時期・所見: 東半が調査区域外のため全容の把握が果たせなかったが、掘り込みはしっかりしており、有機的な土坑と考えられる。出土した土師器破片はおそらく9世紀後半段階の所産と捉えられ、故に土坑の帰属時期としては、平安時代～中世と考えた。

第4項 中世～近世

本調査区の主要な遺構が属する段階である。42区と43区に分かれる掘立柱建物群及び調査区西端を東西に両す溝、石白片が混在した集石土坑などが調査されている。おそらく、北側で当事業団が調査した53区中近世屋敷掘立柱建物群や長野原町教委が調査した西側調査区に見る掘立柱建物や土坑などが密接にかかわる遺構群と思われる。ここでは、各遺構の様相を述べ、村落復元など巨視的な視点での考察は機会を改めて後に譲りたい。

<掘立柱建物>

42区1号掘立柱建物(第19図、PL 8)

位置: 調査区中央やや東側で42区と43区に跨った境界付近で確認された。42区掘立柱建物群にある。周辺は東側へ緩やかに下る斜面地形が広がりが、ほぼ平坦地形に選地していた。42区Y-43区A-20・21グリッドに位置する。

重複: 掘立柱建物相互の重複は、2号掘立柱建物と3号

掘立柱建物及び1号柱穴が重なるが、柱穴相互の重複は見られず、新旧は不明である。また北側で42区1号土坑と43区1号土坑、1号焼土が重複する位置にある。43区1号土坑と本掘立柱建物P9が重複する関係にあるが、土層軸の設定は新旧を明確にしていない。しかしながら、P9の土層に43区1号土坑の土層が重なっていないことから、おそらくP9が43区1号土坑を切る新旧関係と考えられ、1号掘立柱建物は43区1号土坑より新しい遺構として位置付けられるものである。

規模: 桁行約6.8×梁間約3.6mを測る、縦長長方形を呈する側柱の南北棟である。面積は約24㎡で、本遺跡では小型の部類に入る規模である。

長軸方位: N-5°-W。重複する2号掘立柱建物長軸も近似する南北棟である。

施設: 庇・軒を示唆するビット列は見られなかった。直接的な施設ではないかもしれないが、43区1号焼土が本建物跡中央やや北寄りに位置する。時期的な同時性が保証されていないが、囲炉裏・炉の痕跡の可能性もある。また、位置的には42区1号土坑も何らかの施設としての用途が想定される。

柱穴: 9基のビットからなる。2間×3間の配置で、南側の梁間は柱穴1基を見ない。桁行は3間が対応するように揃い、全体的に整った柱穴配置を示す。柱穴規模は、径23～40cm、深さ14～35cmを測り、比較的小型の柱穴で構成される。P4埋土中に扁平な亜角礫が立位に出土した。柱を埋める際に根固めや補強のために設けられた石と捉えられよう。柱穴間距離としては、桁行ではP1-P2とP7-P8が約2.2m、P2-P3とP6-P7が約2.5m、P3-P4とP5-P6は約2.5mの間隔で設けられており、梁間距離が3.5mと3.7mと統一性を見せることから、整然とした規則的配置を示す。

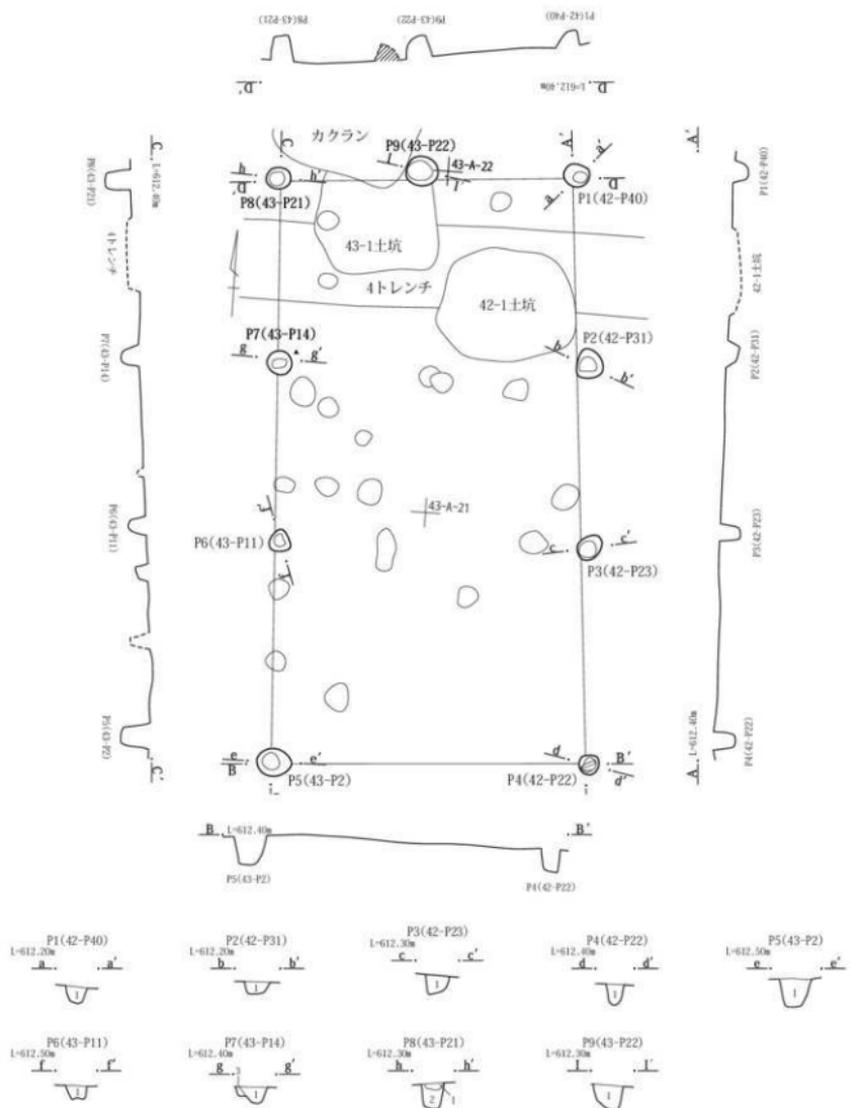
土層: 各柱穴の埋土は、黒褐色及び暗褐色軟質土からなり、柱痕を示す例は見られなかった。

遺物: 出土遺物は見られなかった。

時期: 明確な遺構重複関係も見られず、出土物もないため、時期は確定できない。周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

42区2号掘立柱建物(第20図、PL 8)

位置: 42区Y-43区A-20～22グリッドに位置する。1号掘立柱建物と同様、調査区中央やや東側で42区と43区に



1号掘立柱建物柱穴上層

- 1 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。白色粒・炭化物を微量含む。
- 2 黒褐色土 軟質。ローム大塊を多く含む。
- 3 暗褐色土 軟質。ローム塊・黄色粒を多く含む。

0 1:60 2m

第19図 林中原1遺跡中世～近世42区1号掘立柱建物

跨り調査された。1号掘立柱建物や3号掘立柱建物とともに42区掘立柱建物群を構成する。周辺はほぼ平坦地形が広がるが、巨視的には東側へ下る緩傾斜地形を呈する。**重複**：1号掘立柱建物と3号掘立柱建物及び1号柱穴列が重なる。42区1号土坑や43区1号土坑、1号焼土、42区6号土坑、陥し穴状土坑である42区9号土坑が掘立柱建物範囲内に重なる。新旧関係は、3号掘立柱建物を構成するP8と本掘立柱建物P3が重複し、P3がP8を切る新旧関係が現場の所見で得られている。故に2号掘立柱建物が3号掘立柱建物より古い建物として位置付けられよう。

規模：桁行約7.2×梁間約5.0mを測る、長方形を呈する側柱の南北棟である。面積は約35.7㎡で、重複する3棟の掘立柱建物の中では、大規模な例である。

長軸方位：N-6°-W。重複する1号掘立柱建物長軸も近似する南北棟である。両掘立柱建物の近縁性が窺われよう。

施設：庇・軒に相当するビット、間仕切りを示唆する例も見られなかった。43区1号焼土も位置的にやや西に偏るため、本掘立柱建物に付属する施設とは思われない。判然としないが、位置的に42区1号土坑や43区1号土坑が、床下土坑としての可能性を指摘しておきたい。

柱穴：8基の柱穴からなる。1間×3間の配置で梁間は中間柱穴を持たない。桁行3間の柱穴配置も相互が対応しており、梁間距離もほぼ同じことから、整った柱穴配置といえよう。柱穴規模は径18~32cm、深さは12~51cmで、比較的小型の柱穴で構成される。深さの値にばらつきが見られるが、これはP1~P4が東への斜面地形の影響を受け、浅く検出されたためである。柱穴間距離としては、桁行ではP1-P2とP7-P8が約2.3m、P2-P3とP6-P7が約2.4m、P3-P4とP5-P6は約2.5mの間隔で設けられており、梁間距離が4.9mと5.0mと統一性を見せることから、整然とした規則的配置を示す。**土層**：柱穴の埋土は、黒褐色軟質土からなり、柱痕を示す例は見られなかった。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期：周辺遺構の様相から、中世~近世としたい。柱穴(P3)の重複から、3号掘立柱建物を切る新旧関係が捉えられる。

43区3号掘立柱建物(第21図、PL.8)

位置：調査区東側で1・2号掘立柱建物と同時に調査された。42区掘立柱建物群内にある。調査区南側壁際の42区X~43区A-20・21グリッドに位置する。周辺は東側へ緩やかに下る斜面地形が広がり、ほぼ平坦地形に選地していた。

重複：前述の1・2号掘立柱建物と重なり、2号掘立柱建物P3と本掘立柱建物P8が重複する。P3に切られる新旧関係である。また、P2が縄文時代土坑である42区7号土坑を切る位置にある。その他では、掘立柱建物範囲内としては42区6号土坑が見られる。

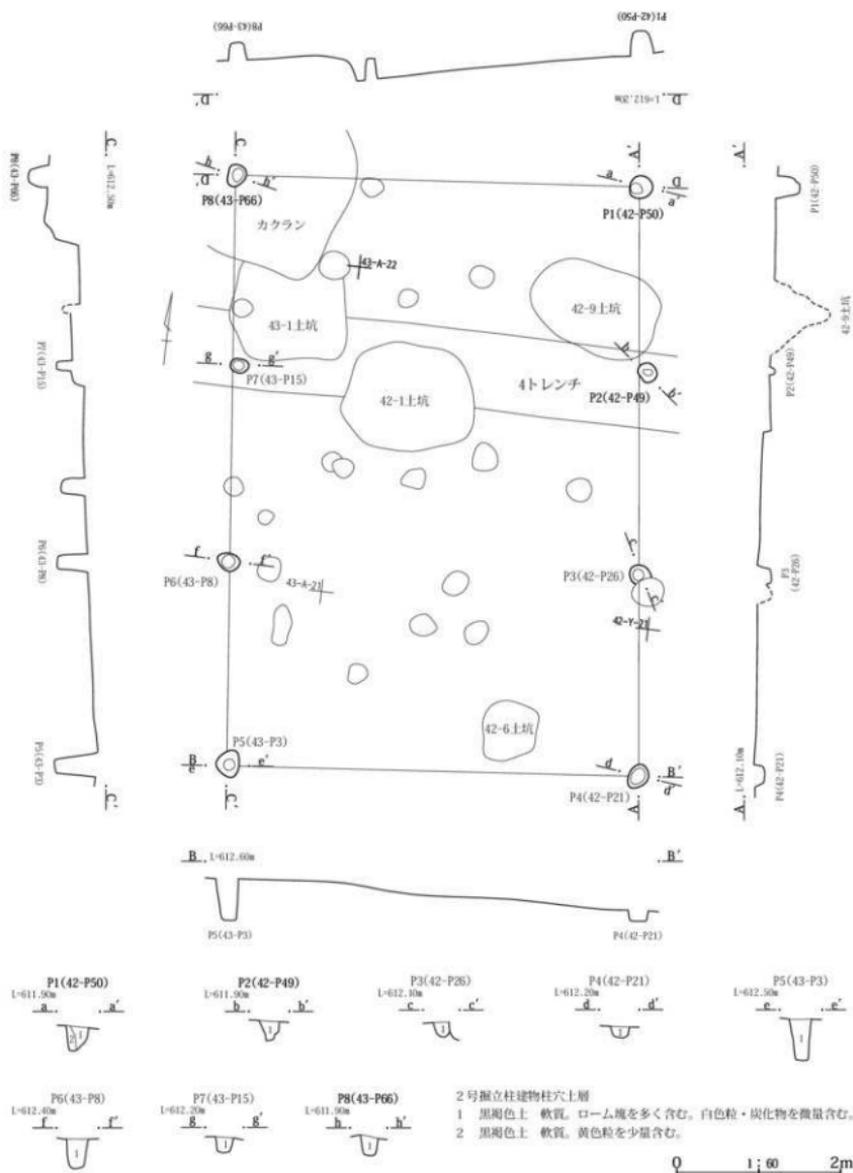
規模：桁行約6.8×梁間約4.3mを測る、長方形を呈する側柱の東西棟である。面積は約28.7㎡でやや小規模な例といえよう。前にも述べたように、周辺は東側への斜面地形を呈しており、斜面地形に沿った東西棟を設ける例として注目されよう。

長軸方位：N-87°-E。長軸を東西に向け、重複する1・2号掘立柱建物とは異にしており、独立した印象を受ける。

施設：庇・軒を示唆する柱穴列は見られなかったが、北側に1.1m距離を置いて、7基のビットからなる42区1号柱穴列が、本掘立柱建物と軸を同じにして確認されている。あるいは塀などの境界杭の一部として位置付けられよう。また、重複する42区6号土坑も掘立柱建物範囲のほぼ中央に位置しており、床下土坑、貯蔵穴とした性格も想定できる。

柱穴：8基の柱穴からなる。1間×3間の配置で、梁間には中間柱穴を持たない。桁行3間の柱穴配置も相互が対応しており、梁間距離もほぼ同じことから、整った柱穴配置といえよう。柱穴規模は径24~45cm、深さは10~50cmで、比較的小型の柱穴で構成される。深さの値にばらつきが見られるが、これはP1~P3及びP8が東への斜面地形の影響を受け、浅く検出されたためである。

柱穴間距離としては、桁行ではP2-P3とP8-P1が約2.2m、P3-P4とP7-P8が約2.3m、P4-P5とP6-P7は約2.2mの間隔で設けられており、梁間距離が4.2mと4.3mとほぼ統一性を見せることから、整然とした規則的配置を示す。ただ、南西隅の柱穴であるP5が南へ僅かにずれることから、やや歪な印象を受ける。**土層**：黒褐色軟質土を基調としながら、黄褐色土や暗褐



第20図 林中原1遺跡中世～近世42区2号掘立柱建物

色土が混在する。柱痕は見られなかった。

遺物：出土遺物は見られない。

時期：周辺遺構の様相から中世～近世としたい。おそらく重複する3棟の掘立柱建物のなかで先行する時間的な位置にあると推定したい。

43区4号掘立柱建物(第22・23図, PL.8)

位置：43区北端にあり、53区境が迫る箇所である。調査区北側の43区掘立柱建物群内にあり、43区C・D-23～25グリッドに位置する。周辺は南へ緩やかに下る斜面地形が広がり、ほぼ平坦地形に選地する建物である。

重複：5～8号掘立柱建物と重なるが柱穴相互の重複は見られず、そのため新旧関係の判断は控えたい。その他では、掘立柱建物範囲内南西隅で43区12号土坑が見られる。縄文時代に比定される43区23～25号土坑が北東隅から東辺にかけて重複する。

規模：桁行約10.6×梁間約4.5mを測る縦長長方形を呈する側柱の南北棟である。面積は46.8m²を測り、今回の調査区内では、最も大型で縦長長方形の部類に入る。

長軸方位：N-4°-W。長軸を南北に向ける。重複する5号掘立柱建物と近似する方位だが、5号掘立柱建物がやや西に傾く。

施設：P13～P15による、南辺に平行した庇に相当する柱穴を調査した。南辺との距離は約1.2mを保つ。その他の間仕切りを示唆する例は見られず、掘立柱建物範囲内に相応するがなどの施設も認められなかった。

柱穴：主屋は12基の柱穴からなる。1間×5間の配置で、南辺梁間に中間柱穴を見る。東辺の桁行柱穴は5基が充てられ、西辺は6基のビットが桁行柱穴となるように不規則な配置であり、また柱穴列としても、やや歪みであり、直線上に並列していないため、整然とした例ではない。ただ、梁間距離が北辺、南辺とも統一されており、そのため長方形の整った形状となっている。各柱穴の規模は径20～42cm、深さ16～62cmを測り、やや小規模であり、必ずしも統一性が保たれていない。柱穴間距離も、桁行柱穴の数が違うため、統一性は見られない。反面、梁間としての北辺、南辺は4.5m前後の距離を保ち、統一性は見られた。

土層：柱穴内埋土は黒褐色軟質土、暗褐色土塊を含む黒褐色土、暗褐色硬質土と多様性を見る。また、柱痕はいずれの柱穴にも認められなかった。

遺物：各柱穴からの出土遺物はなかった。

時期：明瞭な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

43区5号掘立柱建物(第24・25図, PL.8)

位置：調査区北側の43区B-D-22～25グリッドに位置する。43区掘立柱建物群内にある。周辺は南へ緩やかに下る斜面地形が広がる地点で、ほぼ平坦地形で調査されている。

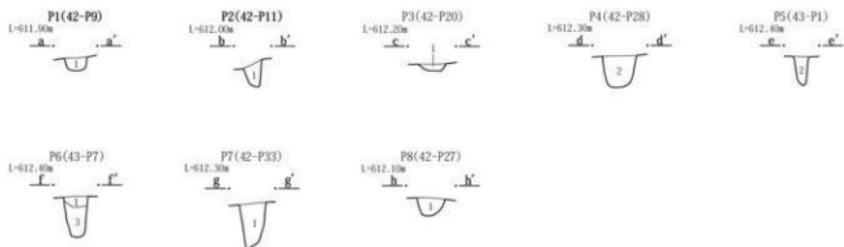
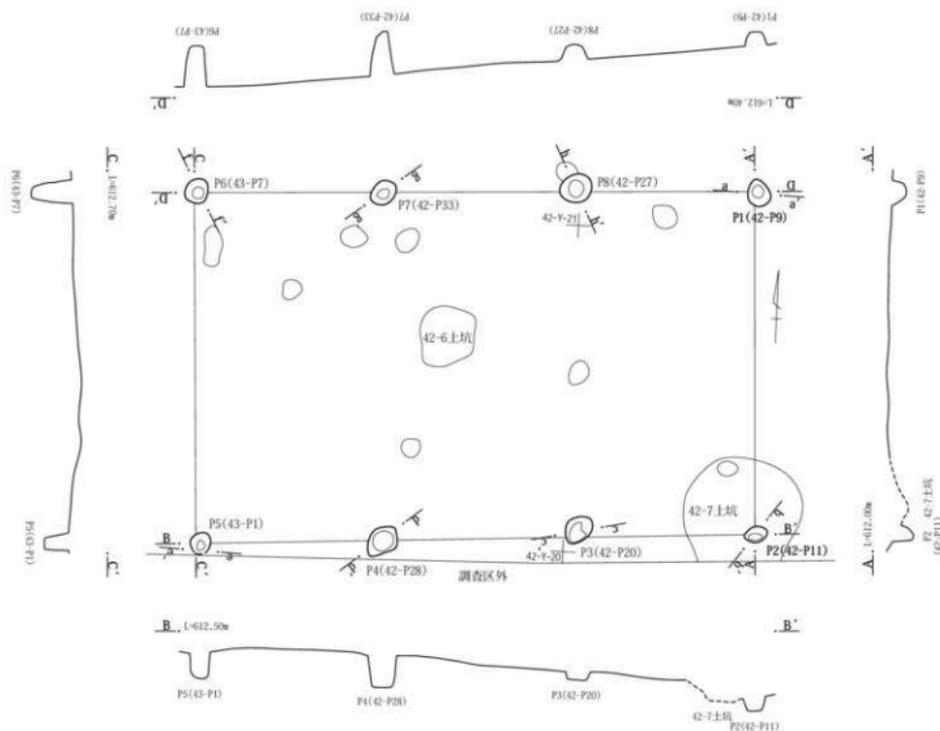
重複：4号・6～8号掘立柱建物と重なるが柱穴相互の重複はなく、そのため新旧関係の把握はできない。その他では、中世～近世とされる43区16号土坑が北側に、43区11号土坑が南東部の掘立柱建物範囲内に位置するが、新旧関係、施設としての性格などの特定はできない。また、縄文時代に比定されている43区23・24号土坑が北側に見られる。

規模：桁行約12.8×梁間約4.3mを測る、縦長の長方形を呈する側柱の南北棟である。面積は約41.7m²で重複する4号掘立柱建物と近い規模を示す。

長軸方位：N-7°-E。長軸を南北に向ける。重複する規模も近似する4号掘立柱建物と近い方位である。4号掘立柱建物がやや東に傾く。

施設：南辺のP5・P6を庇柱穴と判断した。主屋梁であるP4・P13・P7との距離は約1.3mである。またP3とP8梁間にもP14が認められ、P13と対応する位置にあることから、間仕切りあるいは何等かの施設が想起されよう。その他の、掘立柱建物範囲内に相応するがなどの施設も認められなかった。

柱穴：主屋は12基の柱穴からなる。庇としてP5・P6を加えたい。1間×5間の配置で、梁間は南辺に中間柱穴が見られる。東辺の桁行柱穴は5基が充てられ、西辺は6基のビットが桁行柱穴となるように、不規則な配置である。また、東西辺の桁行柱穴列のうちP9とP10は各辺の直線上に乗らず、若干外側へ配されているように、整然とした柱穴配置ではない。梁間距離が北辺、南辺とも4.1～4.3mの間に収まるため、整った長方形を示している。各柱穴の規模は径17～49cm、深さ23～51cmを測り、小規模な例が多いものの、柱穴の深さとしては、比較的しっかりとした掘り込みを示していた。柱穴間距離に関しては4号掘立柱建物と同様に、東辺と西辺の桁行柱穴



3号掘立柱建物柱穴上層

- 1 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。白色粒・炭化物を微量含む。
- 2 黄褐色土 軟質で締り弱い。小礫、黒褐色土塊を含む。
- 3 暗褐色土 軟質。ローム塊・黄色粒を多く含む。

0 1:60 2m

第21図 林中原1遺跡中世～近世43区3号掘立柱建物

の敷に差があり、統一性は見いだせなかった。

遺物：各柱穴からの出土遺物は見られなかった。

時期：明瞭な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。しかしながら平面規模や長軸方位に近縁性が求められる4号掘立柱建物、建て替えを含めて時期的にも近い存在であろう。

43区6号掘立柱建物(第26・27図、PL 8)

位置：43区B～E-23・24グリッドに位置する。調査区北側の43区掘立柱建物群内にある。周辺は南東への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦面での調査となった。柱穴配置から北東隅の柱穴が調査区域外に配される様相を示している。

重複：4・5・7・8号掘立柱建物と重なる。柱穴相互が重複する例が無く、そのため新旧関係は不明とせざるを得ない。その他に、掘立柱建物範囲内に11～13号・15号土坑が位置する。中世～近世に比定された土坑であるが新旧は不明である。また、古代～近世に時期を求めた43区17号土坑が掘立柱建物東端で調査区域外に伸びている。

規模：桁行約10.9×梁間4.5mを測る縦長長方形を平面形とする側柱の東西棟である。面積は推定で約49㎡と思われる。43区掘立柱建物群内では、5号掘立柱建物の次に大きい。

長軸方位：N-82°-E。長軸を東西に向ける。重複する7号掘立柱建物も同様な長軸方位を示し、関係性が窺われよう。本掘立柱建物が南へ傾く様相を示す。

施設：庇・軒に相当するピット、間仕切りを示唆する例も見られなかった。掘立柱建物範囲内に相応する貯・貯蔵穴などの施設も認められなかった。

柱穴：11基の柱穴からなる。おそらく調査区域外に北東隅の柱穴1基が配されるものと推定され、12基の柱穴配置と考えられる。2間×5間の柱穴配置で、梁間南辺に中間柱穴を設ける。桁行柱穴は北辺で5+1基、南辺で5基が配され、不規則な配置を示している。ただ北辺は直線上の配列を呈し、また西辺の柱穴配置も直行しており、梁間間隔も2.1～2.4mで等間隔の配置から、全体感は一貫した長方形を呈している。唯一、P4が南辺柱穴列でずれる位置にある。柱穴規模は径22～42cm、深さ19～46cmを測る。浅い数値のP4・P5は地形傾斜で南西側の

最も低い地点にあり、そのためやや浅い柱穴の印象となるが、底面標高などからは、他の柱穴と遜色ない深さを示している。柱穴間距離に関しては4・5号掘立柱建物と同様に、桁行柱穴の敷に差があり、統一性は見いだせない。

土層：ほぼ単層である黒褐色土を埋土としている。柱痕は確認できなかった。

遺物：各柱穴からの出土遺物は見られなかった。

時期：明瞭な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

43区7号掘立柱建物(第28図、PL 8)

位置：調査区北側の43区掘立柱建物群内にある。43区C～E-22～24グリッドに位置する。周辺は南東への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦面での調査となった。

重複：4～6号・8号掘立柱建物と重なる。柱穴相互の重複は見られず、新旧関係は把握できない。土坑では、中世～近世に比定される12・15号土坑が掘立柱建物範囲内で検出されている。

規模：桁行約7.8×梁間4.6mを測る長方形を平面形とする側柱の東西棟である。面積は約38㎡であり、中規模の建物と思われる。

長軸方位：N-83°-E。長軸をほぼ東西に向ける。重複する6号掘立柱建物も同様な長軸方位を示し、関係性が窺われよう。

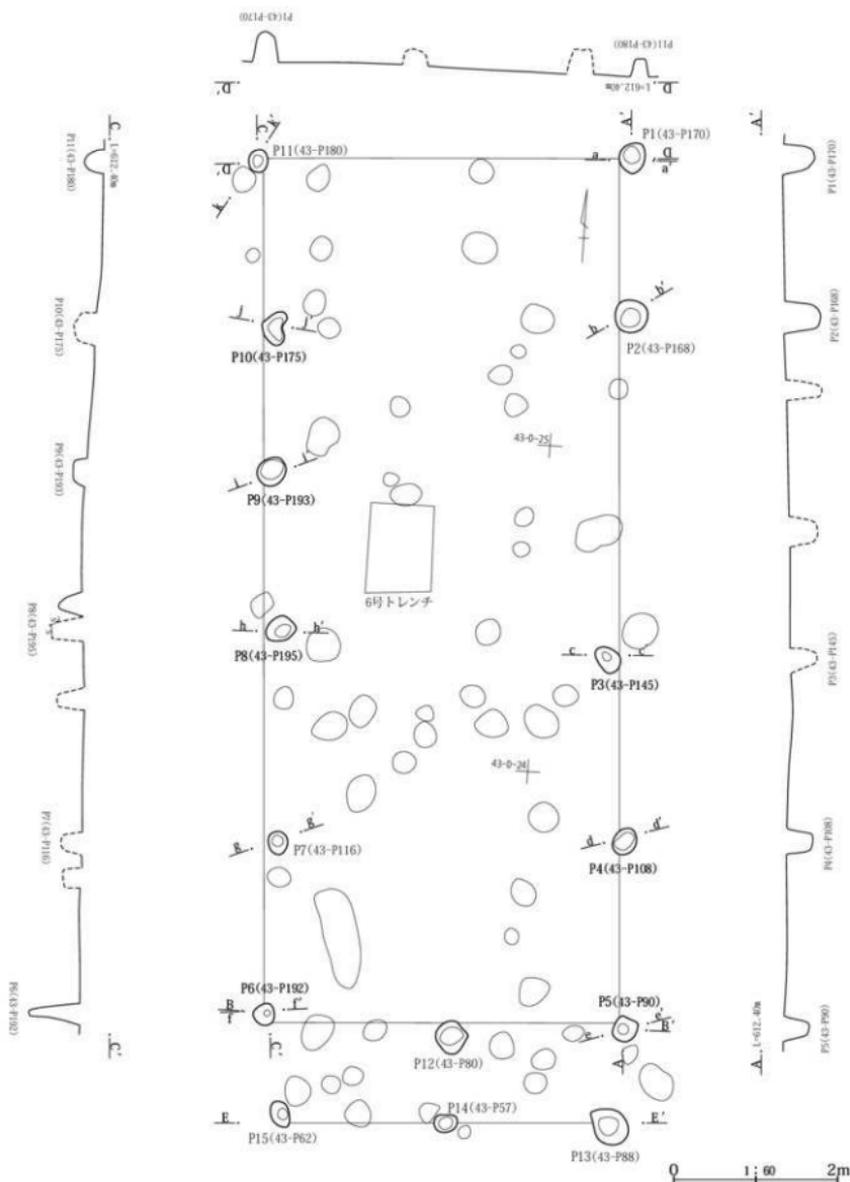
施設：庇・軒に相当するピット、間仕切りを示唆する例も見られなかった。掘立柱建物範囲内に相応する貯・貯蔵穴などの施設も認められなかった。

柱穴：8基の柱穴からなる。桁行南辺とも3間、梁間が1間の柱穴配置である。各桁行辺の柱穴配置は対応しているが、直列的な配置ではなく、やや歪な長方形を呈する。柱穴規模は径26～47cm、深さ16～56cmを測り、比較的良質な大きさや深さを示す。柱穴規模はやや大型といえよう。柱穴間距離は前述のように桁行柱穴、梁間柱穴数にも差があり、統一性は見られなかった。

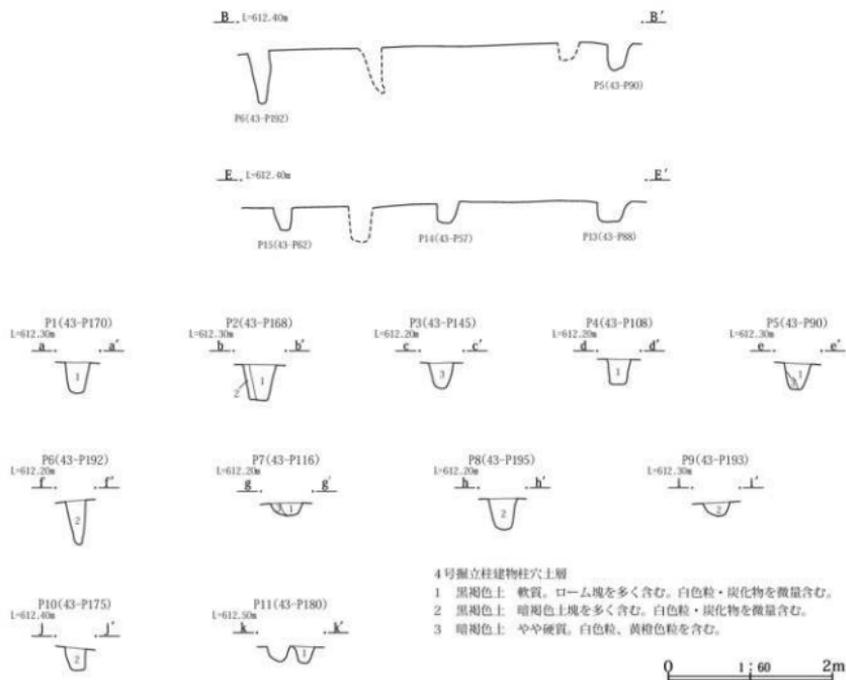
土層：黒褐色軟質土を主体とする埋土である。柱痕は確認されていない。

遺物：各柱穴からの出土遺物は見られなかった。

時期：明瞭な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。ここでは、周辺遺構



第22図 林中原1遺跡中世～近世43区4号掘立柱建物(1)



第23図 林中原I遺跡中世～近世43区4号掘立柱建物(2)

の様相から中世～近世の所産としたい。おそらく重複する6号掘立柱建物と長軸を同じくすることから、両建物の近縁性が推測できよう。

43区8号掘立柱建物(第29図、PL.8)

位置：43区C-E-22・23グリッドに位置する。調査区北側の43区掘立柱建物群内にある。周辺は、南西への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦面での検出となった。

重複：4～7号掘立柱建物と重なる。新旧関係は相互の重複する柱穴がないため不明である。

規模：桁行4.5×梁間4.4mを測る歪な方形を呈する。面積は約21㎡で今回の調査区では最も小規模な例である。

長軸方位：N-3°-W。ほぼ南北を向く長軸である。4号掘立柱建物と軸を重ねるが、両掘立柱建物は重複しており同時存在は果たせない。

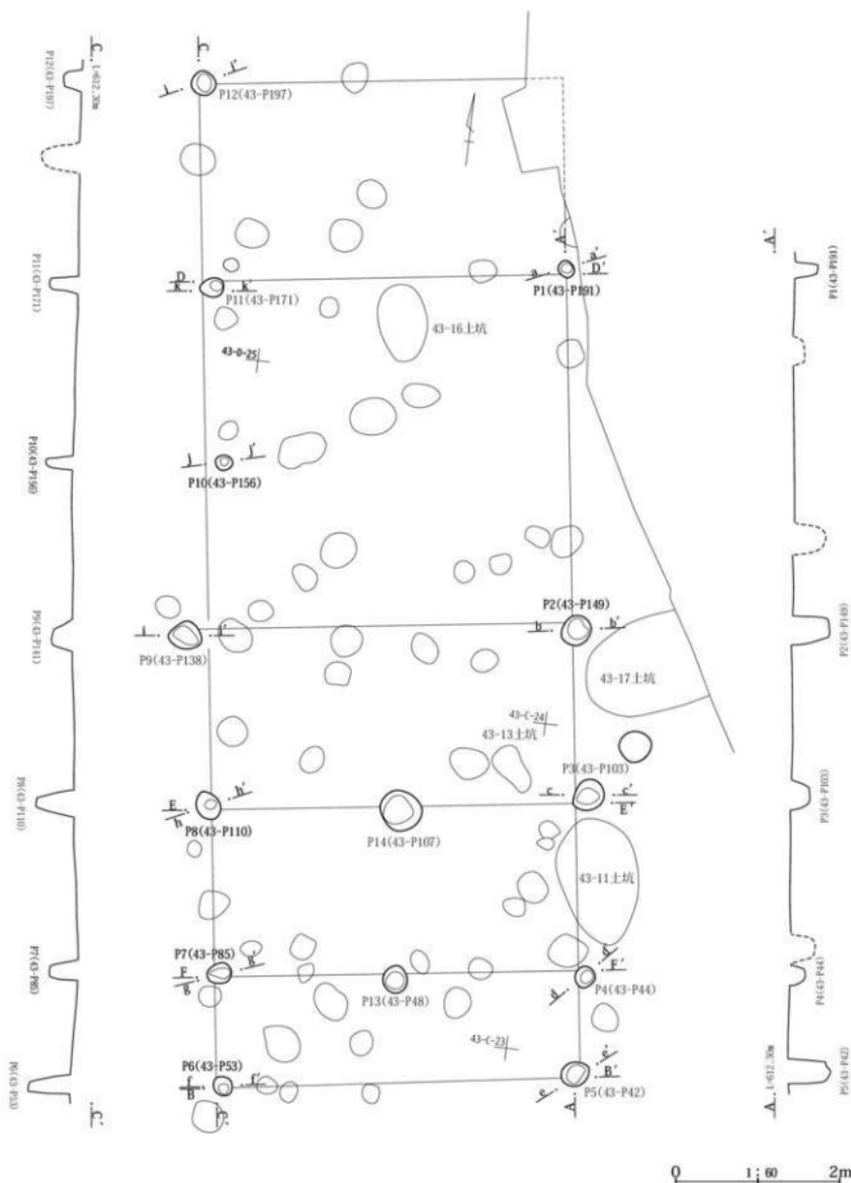
施設：庇・軒に相当するピット、間仕切りを示唆する例

も見られなかった。掘立柱建物範囲内に相応する炉・貯蔵穴などの施設も認められなかった。43区12号土坑を掘立柱建物範囲内に見るが、施設としての有機性は窺われない。

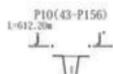
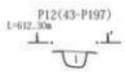
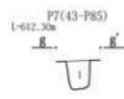
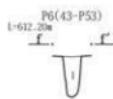
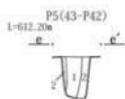
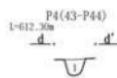
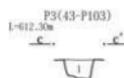
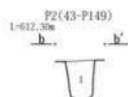
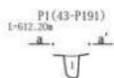
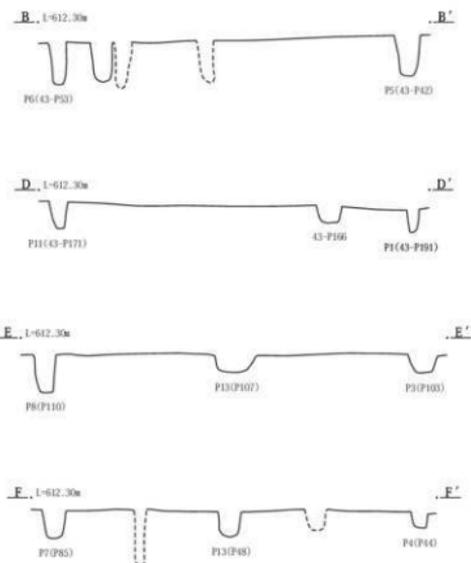
柱穴：7基の柱穴からなる。2間×2間の配置ながら、中間柱穴が東辺は設けておらず、南辺、西辺の中間柱穴は内側へ偏る。また、南東隅の柱穴であるP22の位置により、歪な全体感を示している。柱穴規模は径19～48cm、深さは19～32cmで、やや小規模な建物が想定されよう。土層：黒褐色軟質土を主な埋土とする。柱痕は確認できなかった。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期：明確な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。重複する掘立柱建物と平面形や規模に差があり、時期や性格の差が想定され



第24図 林中原1遺跡中世～近世43区5号掘立柱建物(1)

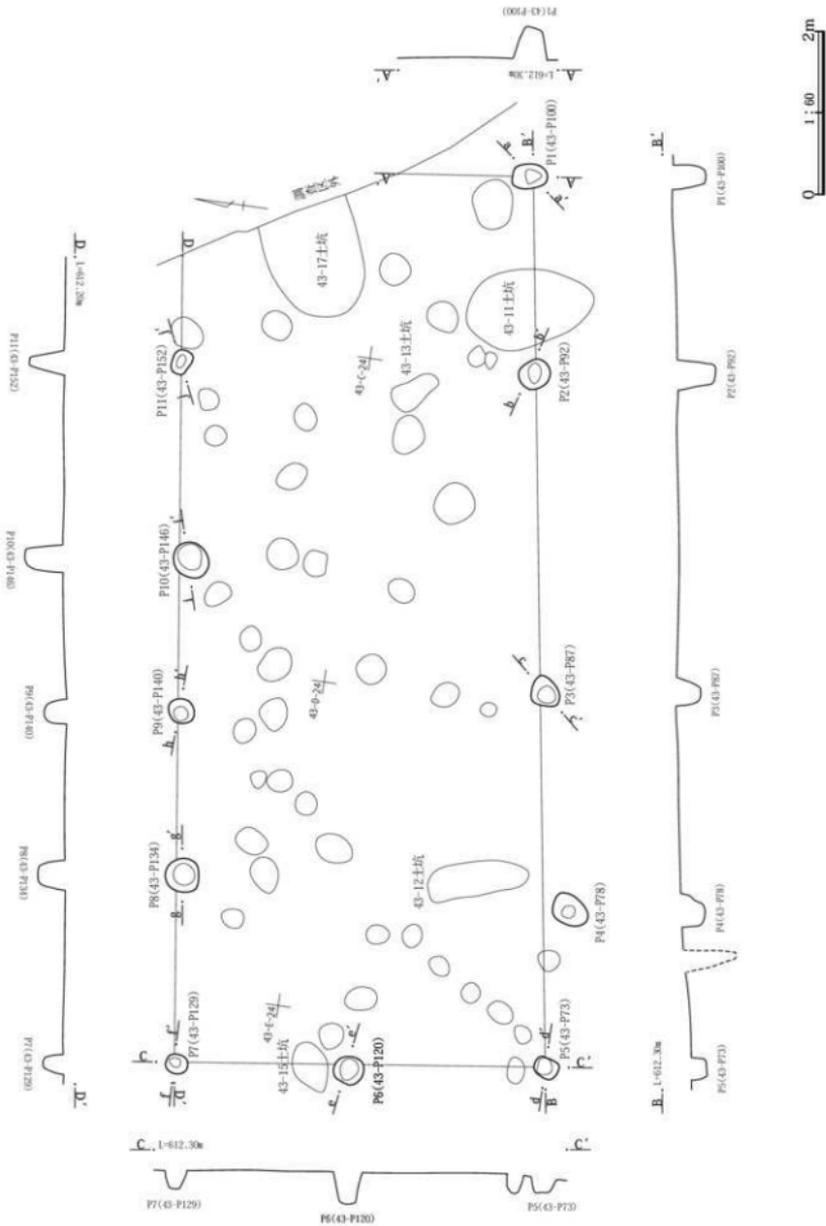


5号掘立柱建物柱穴土層

- 1 黒褐色土・軟質、暗褐色土塊を少量含む。白色粒・炭化物を微量含む。
- 2 黒褐色土・暗褐色土塊を多く含む。白色粒・黄褐色粒を少量含む。

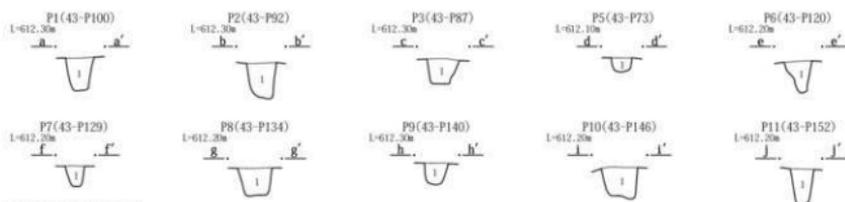


第25図 林中原I遺跡中世～近世43区5号掘立柱建物(2)



第26図 林中原I 遺跡中世～近世3区6号掘立柱建物(1)

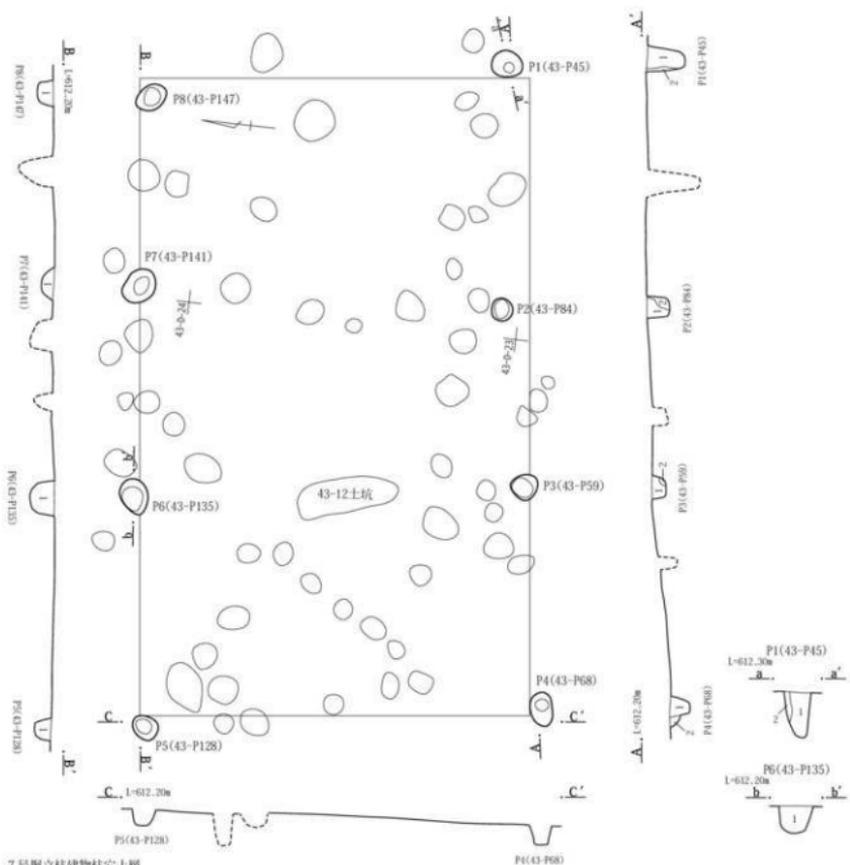
第3章 林中原Ⅰ遺跡



6号掘立柱建物柱穴層

1 黒褐色土：軟質。暗褐色土塊を少量含む。白色粒・炭化物を微量含む。

第27図 林中原Ⅰ遺跡中世～近世43区6号掘立柱建物(2)

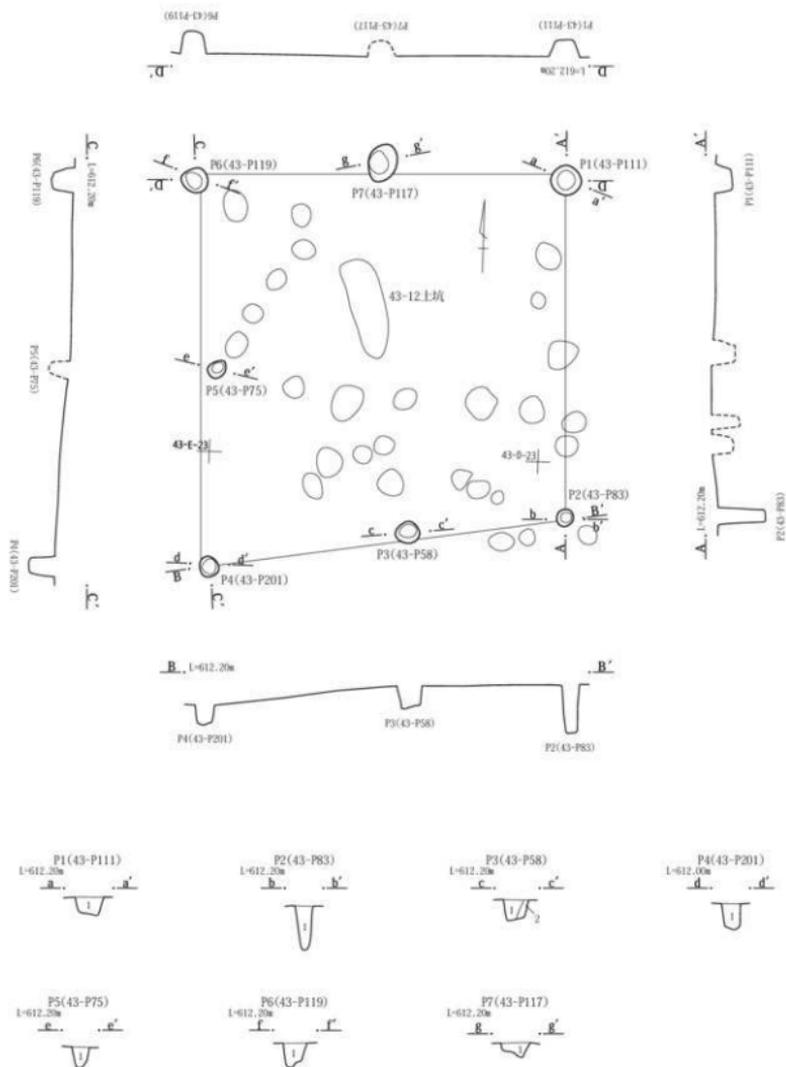


7号掘立柱建物柱穴層

1 黒褐色土：軟質。暗褐色土塊を少量含む。白色粒・炭化物を微量含む。

2 黒褐色土：暗褐色土塊を多く含む。白色粒・黄褐色粒を含む。

第28図 林中原Ⅰ遺跡中世～近世43区7号掘立柱建物



8号掘立柱建物柱穴上層

- 1 黒褐色土。軟質。暗褐色土塊を少量含む。白色粒・炭化物を微量含む。
- 2 暗褐色土。硬質。白色粒・黄褐色粒を含む。

0 1:60 2m

第29図 林中原1遺跡中世～近世43区8号掘立柱建物

よう。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

〈柱穴列〉

42区1号柱穴列(第30図)

位置：調査区中央やや東側の42区W～43区A-21グリッドに位置する。42区掘立柱建物群内にあり、周辺は東側への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦地形に設けられていた。

重複：1号・2号掘立柱建物と重なるが、柱穴相互の重複はなく新旧関係は捉えられなかった。3号掘立柱建物とは南側に近接し、長軸を同じくする。

規模：7基のピットが東西約13mに渡って直列した状態で確認された。

長軸方位：N-88°-E。ほぼ東西の走行で、南に近接する3号掘立柱建物長軸方位に近似する。

柱穴：7基のピットからなる。径約20～36cm、深さ8～40cmの比較的小規模なピットである。柱穴間距離も2m前後でまとまり、比較的規則的な配置を示す。また、東西両端のピットは掘り込みも深く、しっかりした印象を得る。

土層：黒褐色軟質土を主な埋土としている。調査では1層を柱痕と捉えている。

遺物：各ピットからの出土遺物は見られない。

時期：重複もなく出土遺物がないため、時期は確定できないが、周辺遺構の様相から中世～近世の所産とすべきであろう。また、南に近接する3号掘立柱建物と長軸を近似させ、位置的な理由からも、両者の同時存在も念頭におきたい。あるいは塙や垣などの遮蔽施設の可能性がある。

43区1号柱穴列(第31図)

位置：調査区北西部の43区E-23・24グリッドに位置する。43区掘立柱建物群の西側にあたり、43区1号溝西に近接する。周辺は南側への緩斜面地形が広がる。

重複：明瞭な重複遺構は無かった。43区1号溝と長軸を一致し平行する走行を示す。

規模：4基のピットが南北約7mに渡って直列した状態で確認された。

長軸方位：N-1°-W。ほぼ南北の走行で、東に近接する4号掘立柱建物長軸方位に近似する。

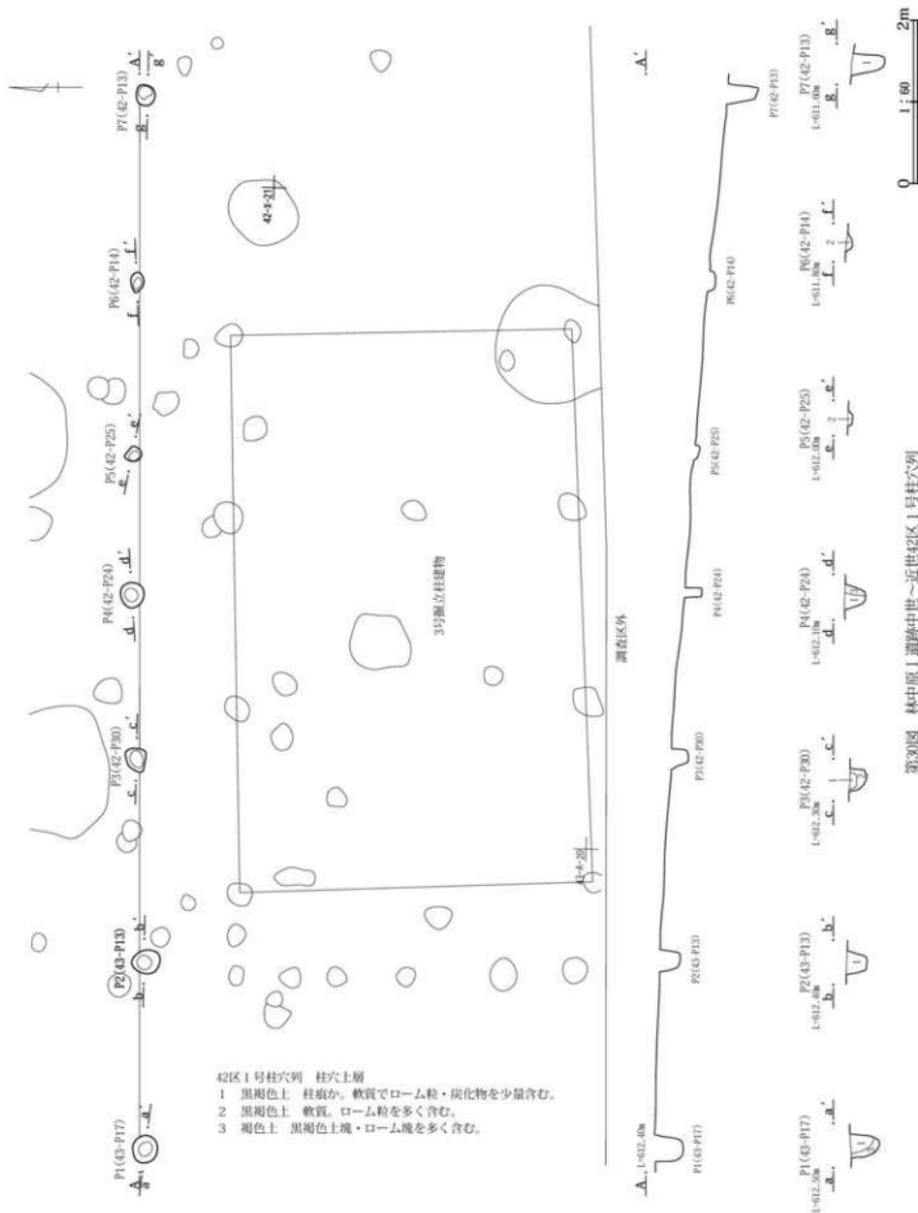
柱穴：4基のピットからなる。径約22～34cm、深さ14～38cmの比較的小規模なピットで構成される。柱穴間距離

も1.6～3.4m前後と幅があるが、P3・P4間に攪乱坑があるため、あるいは1.7m前後の等間隔の配置も想定される。

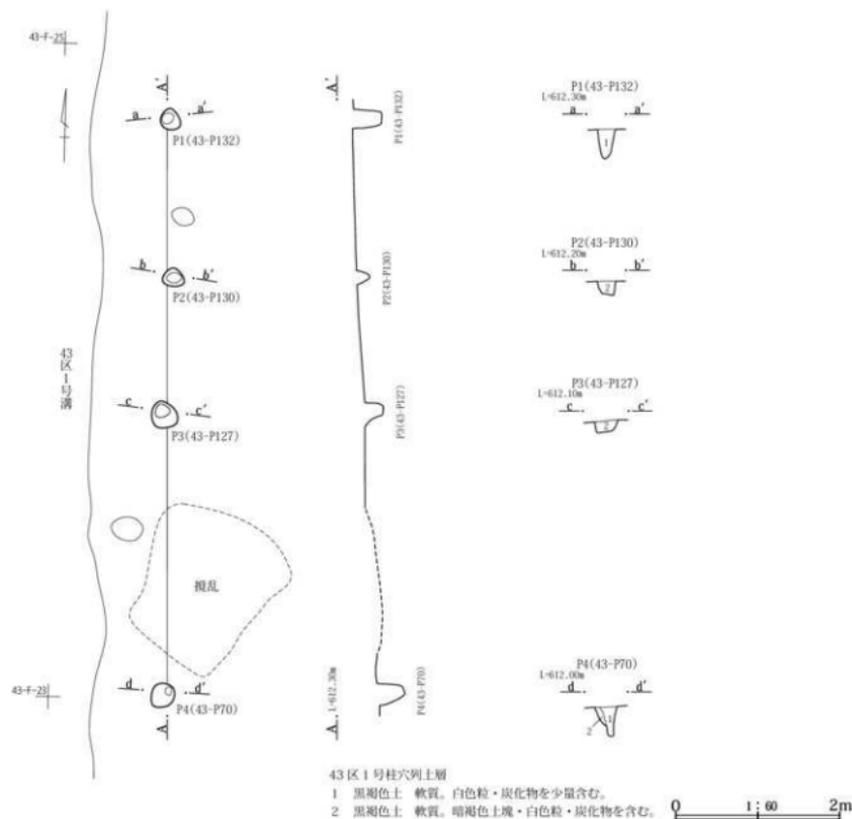
土層：黒褐色軟質土を主な埋土としている。

遺物：各ピットからの出土遺物は見られない。

時期：重複もなく出土遺物がないため、時期は確定できないが、周辺遺構の様相から中世～近世の所産と考えた。また4号掘立柱建物や43区1号溝と同様に長軸を南北に向けることから、両者の関係性も想定しておきたい。さらに、柱穴列とは把握されなかったが、南東の延長にある43区P71・67・96も南北の直列様相を示しており、本柱穴例との近縁性も捉えておきたい。同時に北側にある43区P184・183も2基ながら、1号溝と平行する走行は重複しておきたい。1号溝と平行するこれらの柱穴列、ピットを併せた様相から、塙や垣などの遮蔽・防衛施設の存在を想定したい。



第30図 林中原1遺跡中世～近世42区1号柱穴列



第31図 林中原I遺跡中世～近世43区1号柱穴列

〈焼土遺構〉

43区1号焼土(第32図、PL.9)

位置：43区A-21グリッドに位置する。調査区中央やや東寄りにあたり、周辺は東側への緩斜面地形で、ほぼ平坦地形が広がる。

重複：1号・2号掘立柱建物内にあり、42区1号土坑や43区1号土坑が近接する。本焼土遺構の南東部が僅かに42区P39と重なるが、新旧関係は不明である。

形状・規模：掘り込みを持たず、焼土塊が東西に長軸を持たせた不整形円状にまとまる。平面規模は約75×48cm

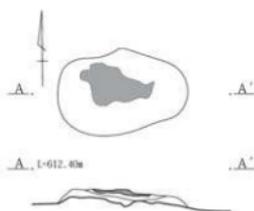
を測る。

長軸方位：N-89°-W。ほぼ東西を向く。

土層：焼土範囲中央に焼土塊が堆積する。周辺は炭化物灰・焼土粒を含む黒褐色土である。

遺物：出土遺物は見られない。

時期：明確な遺構重複関係も見られず、出土遺物も見られないため、時期は確定できない。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。あるいは配置から、1号掘立柱建物のが¹・カマドの下部遺構などの施設としての位置付けも可能である。

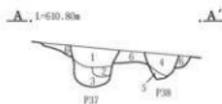
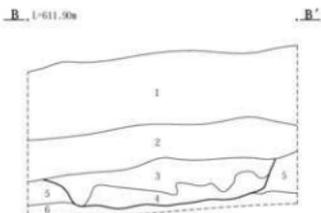
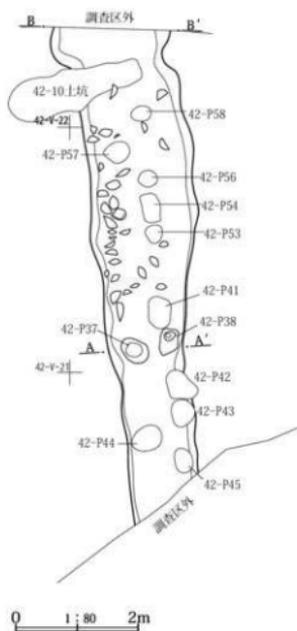


43区1号焼土上層

- 1 赤褐色土 焼土主体、黒褐色土塊が少量混じる。
- 2 黒褐色土 焼土粒・灰・ローム粒を含む。
- 3 黒褐色土 やや淡い色調、焼土粒・ローム粒を含む。

0 1:30 1m

第32図 林中原1遺跡中世～近世43区1号焼土



0 1:40 1m

42区1号溝上層

- 1 黒褐色土 ローム塊・暗褐色土塊を多く含む。P37埋土
- 2 黒褐色土 ローム塊を微量含む。P37埋土
- 3 黒褐色土 ローム塊を多く含む。P37埋土
- 4 黒褐色土 ローム塊を少量含む。P38埋土
- 5 黒褐色土 ローム塊を多く含む。P38埋土
- 6 黒褐色土 ローム塊・暗褐色土塊を含む。1号溝埋土
- 7 黒色土 軟質。ローム粒を少量含む。1号溝埋土

第33図 林中原1遺跡中世～近世42区1号溝

〈溝状遺構〉

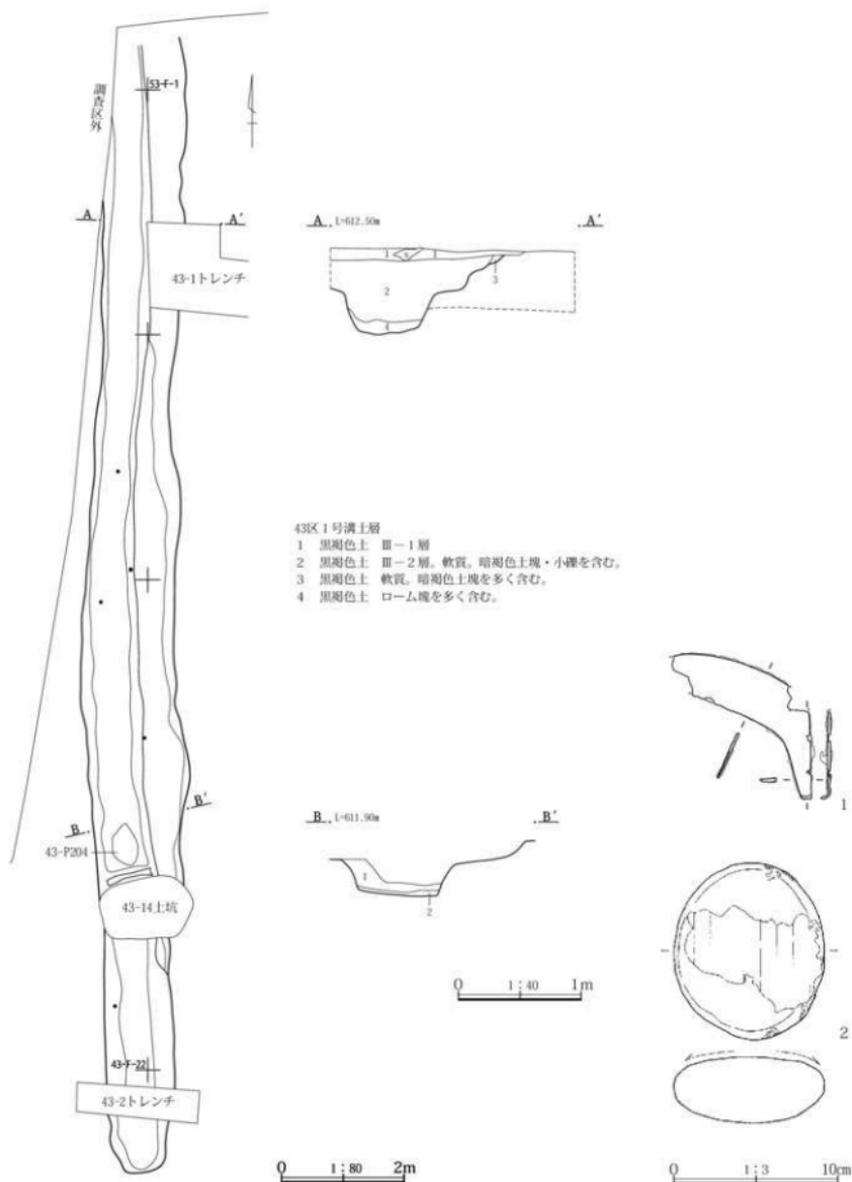
42区1号溝(第33図、PL.9)

位置：調査区東端で南北の走行で調査された。42区U-20～22グリッドに位置する。周辺は東への緩斜面地形が連続し、傾斜を横切る走行を示していた。確認面は、南半がローム層上層で北半が黒褐色土を基盤としていた。

重複：陥し穴状土坑である42区10号土坑が北西壁で重な

る。土層による確認は果たせなかったが、埋土の様相からも、おそらく本溝が10号土坑を切る新旧関係であろう。その他には、溝底面に小ピットであるP37・38・41～45・53～58があり、溝を切る土層観察が得られているが、あるいは溝と同時共存の可能性もある。

形状・規模：南北長が約767m、東西幅は約1.2～1.6m、深さは約8～35cmを測り、南側にかけて徐々に狭く、浅



第34図 林中原I遺跡中世～近世43区1号溝

くなる。南北とも調査区域外に走行を延長するため全容は把握できない。底面ピットや小ピットが連続する様相を示しており、南半は2条の細い溝が並行する様相を示す。道路状遺構の可能性もある。

長軸方位：ほぼ南北の走行で、 $N-7.2^{\circ}-W$ である。しかしながら、東西壁面の様相は不連続であり、安定した走行を示していない。

施設：周辺及び底面に木橋や土橋の痕跡は見られなかった。底面小ピットの存在は、道路状遺構に普遍的な小ピットの可能性がある。

土層：黒色～黒褐色軟質土を基調とする。水流の痕跡は見られず、このことから、地割・境界、あるいは遺状遺構に付随する溝と考えられる。

遺物：鉄製品破片が出土するが、溝の時期や性格を反映する例ではない。

時期：出土した鉄製品は時期を具体化する資料ではない。埋土や周辺遺構の様相から近世～近代の所産としたい。

43区1号溝(第34図、PL.9・14)

位置：調査区北西部の53区境を北端として調査された。43区E-21～53区F-1グリッドに位置する。周辺は緩やかな南斜面地形でほぼ平坦面が広がるが、南端にいくに従い傾斜はやや強くなる。

重複：南端部で43区14号土坑と重複する。本溝の調査中に土坑を検出したため、土層による新旧関係の把握は果たせず、調査では両者を同時期として扱っているが、ここでは確定的ではないため、新旧関係は不明としたい。また、43区1号柱穴列と平行する走行を示しており、あるいは同時期の所産と捉えられよう。

形状・規模：調査区西壁際に南北長約19mに渡って検出された。北側は調査区域外に延長する。東西幅は約77.5～111.0cm、深さは約45～70cmで北から南から浅く広がる傾向が見られた。なお、北側の延長は前回当事業団が調査報告した53区1号溝と繋がる。53区1号溝も直線的な南北走行で36mを測る。今回の延長分と合わせると南北走行長が55m以上となり、大規模な溝と判断できよう。

長軸方位：ほぼ南北の走行で $N-1^{\circ}-W$ を測るが、平面形状は若干蛇行する様相が見られる。

施設：重複する43区14号土坑が発掘所見通り同時期の所産であれば、何らかの施設が想定できるが、確証はでき

ない。

土層：ローム塊や暗褐色土塊を含む黒褐色土を基調とする。水流の痕跡はなく、おそらく水利に供された溝ではない。

遺物：鉄製品(鎌)、陶磁器片などの出土を見るが、溝の性格や時期を具体化する資料ではない。

時期：出土遺物からの時期確定は困難である。台地西側縁辺を直線的に西す走行から、東側にある施設を削発する性格が想定される。東側には先に報告した「中近世屋敷」があり、今回報告する43区掘立柱建物群がある。このことから、おそらく本溝の時期としては中世～近世と判断でき、先に報告した53区1号溝で与えた近世以降という時期を若干遡らせる報告となる。

〈土坑〉

42区1号土坑(第35図、PL.10)

位置：調査区中央やや東寄りの42区Y-21グリッドで調査された。調査第1面目の検出ながら、黒褐色土の堆積は浅く確認面はローム漸移層である。周辺は東側への緩斜面地形が広がる。

重複：42区1・2号掘立柱建物範囲内にある。北側壁に42区P61が重なり、42区1号柱穴列や1号焼土、43区1号土坑が近接するが新旧関係は不明である。

形状・規模：平面規模は約 1.6×1.3 m、深さは約25cmを測る。平面形は不整形長方形を呈し、壁の立ち上がりは明瞭ながら浅く、断面形は皿状を示す。底面は黄褐色ローム層で凹凸が強い。

土層：小型のローム塊を含む黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期・所見：明瞭な遺構重複関係も見られず、出土遺物もないため詳細な時期は確定できない。ここでは、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。また、配置から、1号掘立柱建物施設としての可能性も念頭に置きたい。

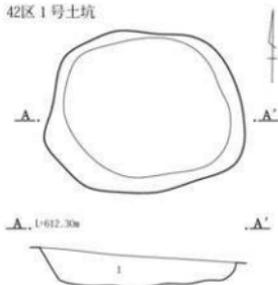
42区2号土坑(第35図、PL.10)

位置：調査区東端部の42区U・V-21グリッドで調査された。調査第1面の検出だが、平面形は黒褐色土の堆積が薄い地点のため、ローム漸移層で確認された。周辺は東側への緩斜面地形が連続しており、南北に走行する42区1号溝が東約60cmに近接する。

重複：重複遺構は無いが、周辺に42区P1～3、42区8

第3章 林中原1遺跡

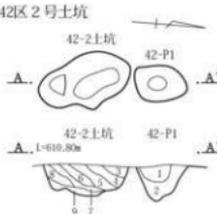
42区1号土坑



42区1号土坑土層

- 1 黒褐色土 ローム小塊を多く含む

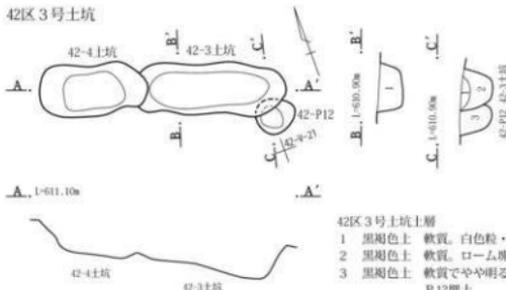
42区2号土坑



42区2号土坑土層

- 1 黒褐色土 軟質。ローム粒・炭化物を微量含む。P1埋土
2 黒褐色土 軟質。ローム粒を多く含む。P1埋土
3 黒褐色土 軟質。白色粒・小礫を含む。2坑埋土
4 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。2坑埋土
5 黒褐色土 軟質。炭化物を多く含む。2坑埋土
6 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。2坑埋土
7 黒褐色土 軟質。炭化物を微量含む。2坑埋土
8 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。2坑埋土
9 黒褐色土 やや淡い。ローム塊を多く含む。2坑埋土

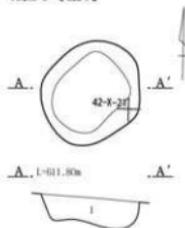
42区3号土坑



42区3号土坑土層

- 1 黒褐色土 軟質。白色粒・小礫を含む。
2 黒褐色土 軟質。ローム塊を少量含む。
3 黒褐色土 軟質でやや明るい。ローム塊を含む。P12埋土

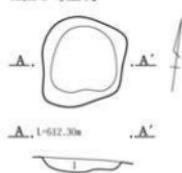
42区5号土坑



42区5号土坑土層

- 1 黒褐色土 ローム小塊・炭化物を多く含む。

42区6号土坑



42区6号土坑土層

- 1 黒褐色土 ローム小塊・炭化物を多く含む。

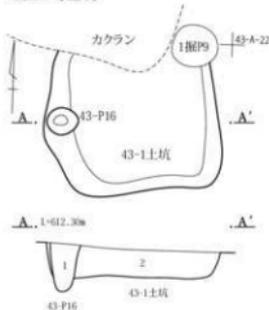
42区8号土坑



42区8号土坑土層

- 1 黒褐色土 ローム粒・炭化物を少量含む。

43区1号土坑



43区1号土坑土層

- 1 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。P16埋土
2 黒褐色土 やや明るい。ローム小塊を多く含む。



第35図 林中原1遺跡中世～近世土坑(1)

号土坑が接するように、小型の遺構が群在していた。

形状・規模：約2.0×1.4×0.8mを測る。長軸を北北西に持った小型の不整楕円状を平面形とする。断面形は鍋底状を呈すが、底面及び壁は凹凸が強く不連続な印象を受ける。

土層：黒褐色軟質土を基調とするが、ローム塊を多く含む層とローム塊を含まず炭化物を含む層が菜理状に互層をなしていた。断続的な埋土状態を示す。

遺物：遺物は出土しなかった。

時期・所見：重複遺構は無く出土遺物もないため、明確な時期、性格は特定できない。周辺遺構の様相から近世～近代の可能性を求めたい。

42区3号土坑(第35図、PL10)

位置：42区U・V-21グリッドで調査された。調査区東端の42区1号溝が東に近接する。調査第1面の検出だが、平面形は黒褐色土の堆積が薄い地点のため、ローム漸移層で確認された。周辺は東側への緩斜面地形が連続する。42区4号土坑と重複して調査された。

重複：北西に42区4号土坑が重複状態で連なるが新旧は不明である。また南東壁で42区P12を切る新旧関係を見せる。

形状・規模：長軸を西北西に設けた不整楕円状を平面形とし、鍋底状の断面形を示す。規模は約1.7×1.4×0.3mである。底面は凹凸のある不連続な印象が強い。

土層：黒褐色軟質土を基調とする。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期・所見：重複遺構との新旧からは、時期は不明である。また出土遺物もないため、明確な時期、性格は特定できない。周辺遺構の様相から近世～近代の可能性を求めたい。

42区4号土坑(第35図、PL10)

位置：調査区東端の42区V-21グリッドで42区3号土坑とともに調査された。確認面はローム漸移層である。周辺は東側への緩斜面地形が連続する地点で、東に42区1号溝が南北に走行している。

重複：南東に42区3号土坑との重複が見られるが、新旧は不明である。これは当初1基の土坑として調査したため、土層軸の設定を両者に設けなかったためである。

形状・規模：3号土坑と同様に西北西に長軸を持つ小型の不整楕円状土坑である。規模は約0.9×0.4×0.3mを

測る。断面形は鍋底状を呈すが、底面は不連続な様相を示す。

土層：土層の観察はできなかった。

遺物：出土遺物は無かった。

時期・所見：出土遺物も無いため詳細な時期・正確特定には至らない。周辺遺構の様相から近世～近代の所産と考えた。

42区5号土坑(第35図、PL10)

位置：調査区中央東寄りの42区X-20・21グリッドで調査された。周辺は東側への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦地形に連地していた。調査第1面の検出だが、黒褐色土の堆積が極めて薄く、ローム漸移層での調査となった。

重複：単独の検出である。西に3号掘立柱建物に近接するが、時期差、関連性は不明である。

形状・規模：平面形は不整形を呈し、断面形は鍋底状を示す。壁の立ち上がりは明瞭で直立気味である。底面は凹凸が顕著である。規模は約0.9×0.8×0.2mを測る。

土層：ローム粒、炭化物を含む黒褐色土を基調とする。

遺物：遺物の出土は見られなかった。

時期・所見：重複遺構も見られず、出土遺物も無いため詳細な時期・性格の特定には至らない。周辺遺構の様相から中世～近世の所産とした。

42区6号土坑(第35図、PL10)

位置：調査区中央やや南東よりで調査された。42区Y-20グリッドに位置する。周辺は東への緩斜面地形が広がりほぼ平坦面といえよう。調査第1面の検出だが、ローム漸移層での調査となった。

重複：単独の検出となったが、2・3号掘立柱建物範囲内にある。両者との新旧や関係性は不明である。

形状・規模：不整形を平面形とし、浅い皿状の断面形を呈す。規模は0.7×0.7×0.1mを測る。

土層：ローム小塊を含む黒褐色土を埋土とする。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：重複遺構もなく出土遺物も見られないため、詳細な時期・性格特定には至らない。周辺遺構の様相から中世～近世に時期を求めたい。また、5号土坑との平面形の類似性、配置から3号掘立柱建物との関係性は留意しておきたい。

42区8号土坑(第35図、PL10)

位置：42区U・V-21グリッドに位置する。調査区東端に

あたり、周辺は東側への緩傾斜地形が連続する地点である。東に42区1号溝が近接する。確認面は調査第1面だがローム漸移層で行った。

重複：北側を42区P2が重なる。土層観察によれば、本土坑が切られる新田関係を示す。その他では42区2～4号土坑や42区P1～3などの小型遺構が集中する箇所の中にある。

形状・規模：小型の不整形円状を呈し、浅い皿状の断面形を示す。規模は0.5×0.3×0.2mと極めて小型の土坑といえよう。

土層：ローム塊、炭化物を含む黒褐色土を埋土とする。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期・所見：遺物、重複遺構とも時期・性格特定には至らない。周辺遺構の様相から近世～近代に時期を求めておきたい。

43区1号土坑(第35図、PL10)

位置：調査区中央やや東寄りて42区との境界付近で調査された。43区A-21グリッドに位置し、周辺は東への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦面での検出となった。調査第1面の暗褐色土を確認面としたが、南側は試掘トレンチがかかるため黄褐色ローム面での確認となった。

重複：北側を掘乱坑で大きく壊される。また、北東隅に1号掘立柱建物P9が重複するが新旧は不明である。さらに西壁際で、43区P16が本土坑を切る重複を示す。

形状・規模：おそらく不整形を平面形とする。規模は約1.4×1.2×0.3mを測り、比較的しっかりした掘り込みを見せ箱形の断面形を呈す。底面は僅かな凹凸が見られるがほぼ平坦面を築く。

土層：ローム塊を多く含む黒褐色土を基調とする。

遺物：出土遺物は見られない。

時期・所見：出土遺物に恵まれず、重複遺構からも時期、性格の特定はできなかった。近接する42区1号土坑との近似性や重複する1・2号掘立柱建物から、時期は中世～近世とした。

43区3号土坑(第36図、PL11・14)

位置：43区A・B-21グリッドに位置する。調査区中央部で確認された。周辺は東への緩斜面地形が広がる地点でほぼ平坦面での調査となった。確認面は調査第1面で黒褐色土である。遺構確認時より集石が認められたため、集石遺構と判断された。

重複：重複遺構は無く、単独の検出である。近接遺構としては、南約0.7mに隣し穴状土坑である43区2号土坑が、西2.3mに43区8号土坑が見られるが、有機的な関連性は希薄である。

形状・規模：平面形は不整形円状を呈す集石土坑である。規模は約1.7×1.4×0.3mを測り、鍋底状の断面形を示す。底面は暗褐色土中に止まり、壁の立ち上がりも緩やかでやや不明瞭である。

土層：大型の礫を含む黒褐色軟質土を基調とする。極めて短時間の埋土と捉えられよう。

遺物：大型礫に混在して茶白土白片が上層で出土している。意図的な配置ではなく流入・廃棄された状態で出土している。被熱痕跡のある礫も見られた。

時期・所見：石白の出土から中世～近世と捉えた。集石土坑という形態から墓塚と考えたが、人骨や銭貨の出土も見られなかったため、土坑の性格に関しては特定できない。

43区4号土坑(第36図、PL11)

位置：調査区南西端の43区E-20・21グリッドで検出した。既に削平を受けている箇所であり、Ⅲ層の黒褐色土は残存しておらず、そのため調査第2面の黄褐色ローム面を確認面とした。周辺地形は南東への傾斜が比較的強く連続する地点であるが、本土坑は比較的平坦な箇所に遺地していた。

重複：遺構密度は低く重複遺構は無く、単独の検出である。近接する遺構としては西約1.6mに5・6号土坑が見られるが、関連性は希薄である。

形状・規模：平面形は不整形長方形だが、下端は整った長方形を呈す。平面規模は約1.4×0.9mで、長軸を南西に向ける。掘り込みもⅥ層中位までに及び、深さは約50cmに達し壁は直立していた。底面は凹凸が見られるもののほぼ平坦面を築く。

土層：黒褐色軟質土を基調とする。ローム粒は少量だが埋土であろう。

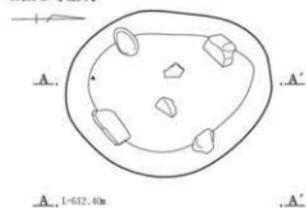
遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：重複遺構、出土遺物も無いため、時期・性格などは確定できない。土坑形状や埋土、周辺遺構の様相から、近世～近代の所産とした。

43区5号土坑(第36図、PL11)

位置：43区4号土坑西の43区F-20・21グリッドに位置

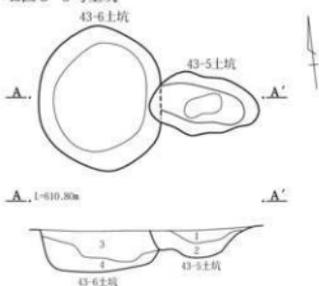
43区3号土坑



43区3号土坑上層

1 黒褐色土 軟質。大型向礫・焼礫・石白礫片を含む。

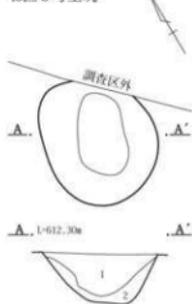
43区5・6号土坑



43区5・6号土坑上層

- 1 黒褐色土 著しく締りが乏しい。ローム塊・礫を含む。5坑埋土
- 2 明黄褐色土 黒褐色土塊を多く含む。5坑埋土
- 3 黄褐色土 As-YPkと黒褐色土塊を多く含む不均質土。6坑埋土
- 4 にぶい黄褐色土 暗く、緻密。6坑埋土

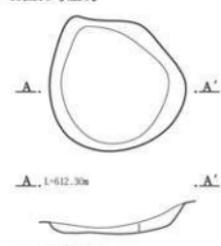
43区9号土坑



43区9号土坑上層

- 1 黒褐色土 軟質。炭化物を少量含む。
- 2 黒褐色土 軟質。暗褐色土塊を多く含む。

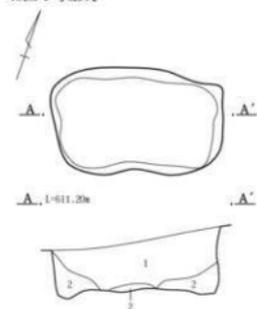
43区10号土坑



43区10号土坑上層

- 1 黒褐色土 As-YPkを多量に、炭化物を微量含む。

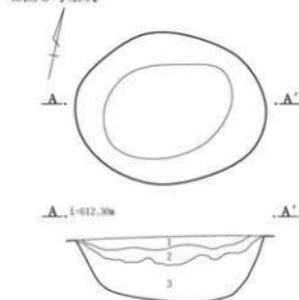
43区4号土坑



43区4号土坑上層

- 1 黒褐色土 軟質。As-YPk、小礫を少量含む。
- 2 黒褐色土 軟質。ローム塊を多く含む。

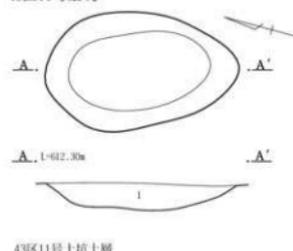
43区8号土坑



43区8号土坑上層

- 1 黒褐色土 軟質。炭化物を少量含む。
- 2 暗褐色土 白色粒・As-YPkを多く含む。
- 3 黒褐色土 白色粒・As-YPk・ローム塊を少量含む。

43区11号土坑



43区11号土坑上層

- 1 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物を微量含む。



第36図 林中原1遺跡中世～近世土坑(2)

する。4号土坑と同様に調査第2面である黄褐色ローム面を確認面とした。周辺の傾斜はやや南西へ強く下る箇所である。

重複：西側で6号土坑を切る新旧関係で重複していた。
形状・規模：長軸を東西に設けた小型不整楕円形の平面形を呈す。規模は約0.9×0.4×0.2mで比較的浅く断面形も不連続な印象を受ける。

土層：黒褐色土と明黄褐色土からなる。ローム塊が多量に含まれる埋土状態を示す。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：土坑形態や埋土の状態から、近世～近代の所産と捉えた。

43区6号土坑(第36図、PL11)

位置：43区5号土坑西に重複して調査された。43区F-20・21グリッドに位置する。4・5号土坑と同様に調査第2面で確認されている。周辺は南西への傾斜がやや強い。

重複：5号土坑に切られる重複状態を示していた。

形状・規模：平面形は約1.2×1.0mの楕円形を示す。長軸方位は北を向く。深さは約30cmを測り、壁も直立気味にしっかりと掘り込まれていた。底面も平坦面を築く。
土層：ローム塊を主体とした黄褐色土や明黄褐色土を基調とする。埋土状態を示す。

遺物：出土遺物は見られなかった。

時期・所見：埋土が黄褐色ローム主体であり、明らかな埋土である。墓塚などが想起されるが、出土遺物に恵まれないため、特定できない。時期は周辺遺構の様相から中世～近世と考えたい。

43区8号土坑(第36図、PL11)

位置：調査区中央の43区B・C-22グリッドに位置する。周辺は東への緩斜面地形が広がる地点で、ほぼ平坦面での調査となった。確認面は調査第1面で黒褐色土である。

重複：確認時は単独の検出となった。その後、調査第2面において43区19号土坑が本土坑の南で調査されたが、新旧関係は層位的にも本土坑が新しい。

形状・規模：平面規模は約1.5×1.2mで、長軸を西南西に設ける楕円形を呈す。深さは約0.5mを測り、深くしっかりと掘り込みを示す。断面形は鍋底状である。

土層：黒褐色土と暗褐色土からなる。ローム塊を含まず比較的均質土で構成される。

遺物：遺物の出土は無かった。

時期・所見：重複遺構もなく出土遺物も見られないため、詳細な時期・性格特定には至らない。周辺遺構の様相から中世～近世に時期を求めたい。埋土の様相から古代～中世の可能性もある。

43区9号土坑(第36図、PL11)

位置：43区B-23グリッドに位置する。調査区中央北東寄りの調査区壁にかかって検出された。周辺は南東への緩斜面でほぼ平坦地形が広がる。調査第1面での確認で黒褐色土中での調査となった。

重複：単独の検出ながら、43区7号掘立柱建物範囲内に位置する。また西約1.5mに43区11号土坑が見られる。

形状・規模：北北東に長軸を持たせた楕円形の平面形を呈す。規模は約1.0×0.9×0.4mを測る。黒褐色土を深く掘り込み、底面は黄褐色ローム層にまで達する。壁の立ち上がりも良好で鍋底状の断面形を示す。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：時期・性格は特定できないが、形状、埋土の様相は8号土坑に類似する。時期は周辺遺構の様相から中世～近世と考えたい。

43区10号土坑(第36図、PL12)

位置：調査区南西側の43区D-20グリッドに位置する。周辺は西側への傾斜がやや強い箇所、確認面は調査第1面ながらローム漸移層～ローム層上面で行った。

重複：単独の検出である。近接遺構も少なく北西約4.2mに距離を置いて43区4号土坑が見られるのみである。

形状・規模：平面形は不整形を呈し、規模は径約1.2×1.1mを呈す。深さは約0.2mで浅く皿状の断面形を示す。底面は平坦だが細かな凹凸が連続する。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物は無い。

時期・所見：時期・性格は特定できない。形状、埋土の様相から、近世～近代の所産であろうか。

43区11号土坑(第36図、PL12)

位置：調査区中央やや北東寄りの43区B-23グリッドに位置する。周辺は南東への緩斜面でほぼ平坦地形が広がる。調査第1面での確認で黒褐色土中での調査となった。

重複：5～7号掘立柱建物範囲内にあり、43区P217と重なる。新旧関係は不明である。おそらくP217よりは新しい

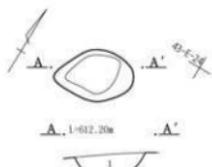
43区12号土坑



43区12号土坑上層

1 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物を微量含む。

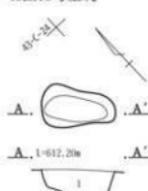
43区15号土坑



43区15号土坑上層

1 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物を微量含む。

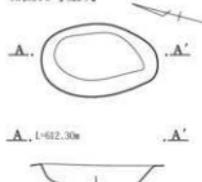
43区13号土坑



43区13号土坑上層

1 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物を微量含む。

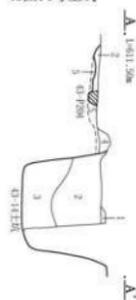
43区16号土坑



43区16号土坑上層

1 黒褐色土 やや明るい。多量のAs-YPL。少量の暗褐色土塊・炭化物を含む。

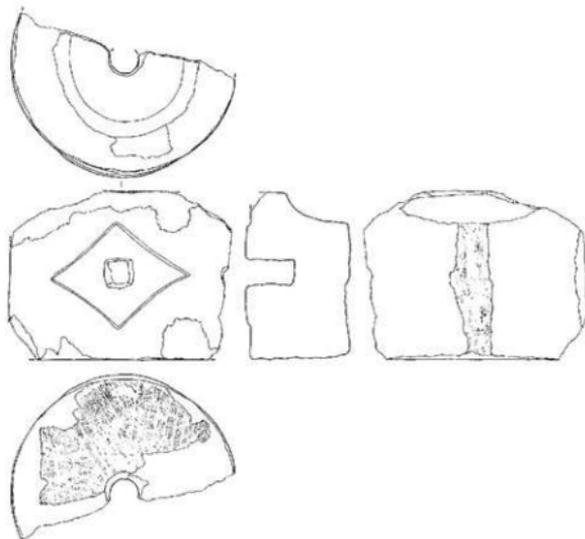
43区14号土坑



43区14号土坑上層

1 黒褐色土 軟質でやや明るい。白色粒・炭化物・暗褐色土塊を微量含む。
2 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物を少量含む。
3 黒褐色土 軟質。白色粒・炭化物・ローム塊を多く含む。

0 1:40 1m



1 (43区3坑)

0 1:4 10m

第37図 林中原1遺跡中世～近世土坑(3)及び出土遺物

いと思われる。

形状・規模：楕円形の平面形を呈し、規模は約1.6×1.0×0.2mを測る。浅い皿状の断面形を示す。立ち上がりもやや不明瞭である。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物を見ない。

時期・所見：重複遺構との新旧も判然とせず、出土遺物も見られないため、詳細な時期・性格特定には至らない。周辺遺構の様相から中世～近世に時期を求めたい。

43区12号土坑(第37図、PL12)

位置：43区D-23グリッドに位置する。調査区中央やや北寄りにあたり、43区掘立柱建物群の柱穴が群在する箇所である。周辺は南への緩斜面地形でほぼ平坦面が広がる。調査第1面の黒褐色土が確認面である。

重複：4・6～8号掘立柱建物範囲内に重なる。周辺はそれらの柱穴群が密集する地点であるが、直接重複する遺構は無かった。

形状・規模：北北西に長軸を持つ不整形長方形を平面形とする。規模は約1.2×0.4×0.4mである。溝状の土坑で、底面も北側が深く偏る。

土層：黒色軟質土を基調とする。

遺物：出土遺物はない。

時期・所見：重複遺構、出土遺物も見られないため、詳細な時期・性格特定には至らない。周辺遺構の様相から中世～近世に時期を求めたい。

43区13号土坑(第37図、PL12)

位置：43区B-23グリッドに位置する。調査区中央やや北東寄りにあたり、周辺は南東への緩斜面でほぼ平坦地形が広がる。調査第1面で平面形が確認され黒褐色土中での調査となった。

重複：5～7号掘立柱建物範囲内にあるが、他の遺構との直接的な重複は見られない。

形状・規模：長軸を北西に向けた不整形長方形を呈す。規模は約0.6×0.4×0.2mを測る小型の土坑である。底面は黒褐色土中に止まり、南側が深く偏る。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物は見られない。

時期・所見：重複遺構、出土遺物も見られず、形態・埋土にも特徴が見られないため、時期、性格は不明である。周辺遺構の様相から中世～近世の所産と考えられるが、

確定できない。

43区14号土坑(第37図、PL12)

位置：調査区西側で43区1号溝と重複した状態で調査された。43区E・F-23グリッドに位置する。周辺は南西への緩斜面地形が広がる地点で、ほぼ平坦地形といえよう。**重複**：1号溝調査中に溝を横断する形態で確認された。調査では両者を同時期として扱ったが、土層による新旧関係が明確ではないため不明である。

形状・規模：長軸を東西に向け、比較的整った長方形を平面形とし、規模は約1.5×1.0×0.9mを測る。壁は直立気味で断面形は箱形を呈し、黄褐色ロームを深く掘り込んでいた。底面は僅かな凹凸が見られ、基礎礫が露出していた。

土層：炭化物やローム塊を含む黒褐色軟質土を埋土としていた。

遺物：出土遺物はない。

時期・所見：43区1号溝との関連性は低い。形態から室状の土坑と捉えられよう。時期は周辺遺構の様相から中世～近世の所産と考えられる。

43区15号土坑(第37図、PL12)

位置：調査区北側の43区掘立柱建物群の西端に位置する。43区E-23グリッドにあたる。周辺は、南西への緩斜面地形が広がり、ほぼ平坦面での検出となった。確認面は調査第1面で、黒褐色土中で調査された。

重複：6号掘立柱建物西側と重なるが、関係性は希薄であり、新旧関係も不明である。その他の遺構との直接的な重複は見られない。周辺には掘立柱建物を構成するビット群などが群在する。

形状・規模：長軸を南西に向けた不整形楕円形を平面形とする。規模は約0.7×0.4×0.2mを測り、浅い皿状の断面形を呈す。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：遺物は出土していない。

時期・所見：重複遺構、出土遺物も見られず、特徴を見いだせないため、性格は不明である。時期も判然しないが、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

43区16号土坑(第37図、PL12)

位置：調査区北側の43区掘立柱建物群北東部にあり、43区C-25グリッドに位置する。周辺は南への緩斜面地形が広がるほぼ平坦面といえよう。調査第1面の黒褐色土

中での確認となった。

重複：5号掘立柱建物北側に重なるが関連性は弱い。また、縄文時代土坑に比定された23・24号土坑と平面的に重なる。

形状・規模：平面規模は約0.9×0.6×0.2mの小型楕円形土坑である。断面形は鍋底状を呈すとはいえ、底面の凹凸は強く不連続な印象を得る。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

遺物：出土遺物は無かった。

時期・所見：重複遺構、出土遺物も見られず、形態・埋土にも特徴が見られないため、性格は不明である。時期も判然しないが、周辺遺構の様相から中世～近世の所産としたい。

〈柱穴・ビット〉

本遺跡の調査では多くの柱穴、ビットが検出された。殆どが、42区掘立柱建物群や43区掘立柱建物群周辺のビットであり、建物に何らかの関係性が想定される遺構として位置付けられる。しかしながら、各ビット個々の時期、性格などは判然としないため、ここでは、遺物を出土したビット1基のみを掲載する。その他のビットは全体図及び巻末ビット計測表を参考にさせていただきたい。

43区173号ビット(第38図、PL13・14)

位置：43区D-52グリッドに位置する。43区掘立柱建物群の北側にあたる。

重複：4号掘立柱建物範囲内にあるが、直接的に重複する遺構は無い。南西約1.5mに43区16号土坑が近接する。周辺は柱穴・ビットが群在する地点である。

形状・規模：平面形は不整形を呈す小ビットである。規模は約0.4×0.3×0.3mを測る。比較的しっかりした掘り込みを示していた。

土層：黒褐色軟質土を埋土とする。

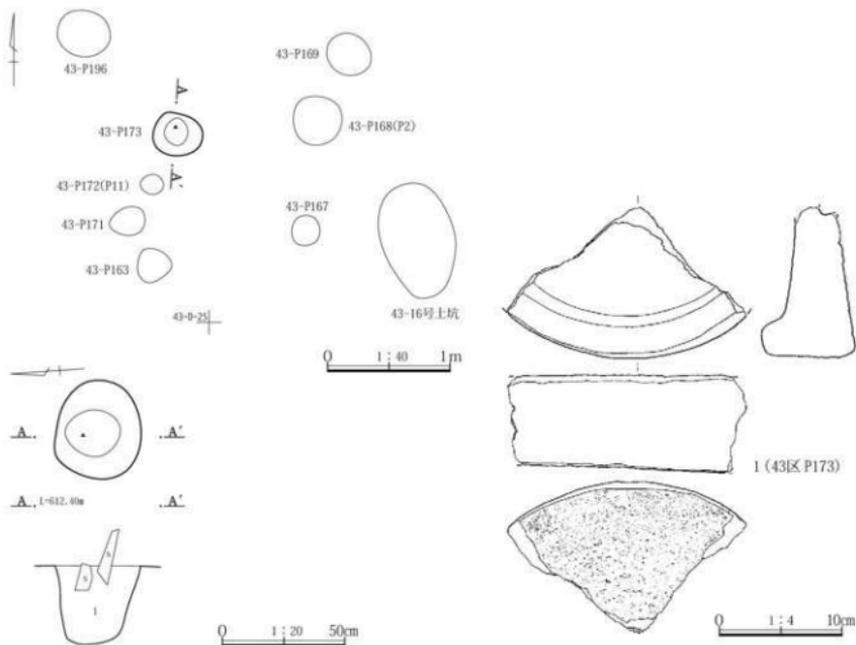
遺物：板石状の扁平角礫と石臼片が上層より立位で出土している。用途は不明だが柱材の補強であろうか。

時期・所見：掘立柱建物に帰属しえなかったビットである。おそらく、周辺の建物に関係する柱穴と考えられよう。時期は出土した石臼片から中世～近世としたい。

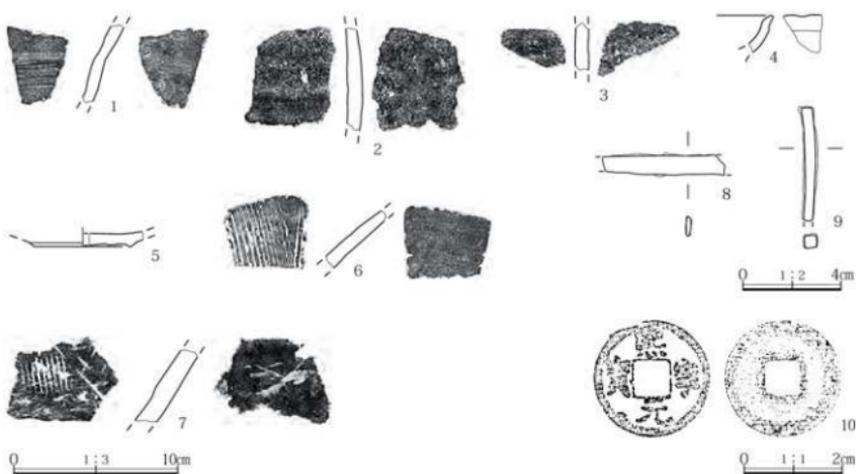
〈遺構外出土遺物〉(第39図、PL14)

多くが遺構確認時の出土遺物である。出土地点の偏りも見られず、遺構に伴う出土状態を示唆していなかった。土師器破片や陶磁器破片も見られたが、細片であり図示には至らなかった。ここでは42区U-20グリッドで出土した鉄製品である刀子和角釘、43区で出土した銭貨を図示する。42区U-20グリッドは42区1号溝にあたり、鉄製品も溝土上層より出土している。しかしながら、出土状態から溝に伴う例ではなく、遺構外出土遺物として扱った。銭貨は、43区遺構確認時に黒色土より出土した煎茶元寶である。

第3章 林中原1遺跡



第38図 林中原1遺跡中世～近世P173及凸出土遺物



第39図 林中原1遺跡中世～近世遺構外出土遺物

第4節 総括

1 中近世屋敷の掘立柱建物の検討

(1) 建物の分類

今回の調査で確認された掘立柱建物(以下、建物)は8棟であり、前回の調査で認定された40棟と合わせて、同一の中近世屋敷の内部に位置する。

屋敷内の建物は主軸方位の違いにより、A～E類の5つに分類したところだが、今回の8棟はA類3棟、B類1棟、C類4棟に分類される。

分類は真北方向に対して、主軸方位またはその直交する方位が、西へ傾く方向に比例する順位となっている。

第6表に分類順に計測値を示したが、数値としてはA類が真北から西へ3度まで傾く数値幅の6棟。B類は重複や相互の位置関係を考慮して2つの群に分けた(以下同じ)が、同じく西へ4度から6度まで傾く数値幅の11棟。C類は同じく西へ6度から8度傾く数値幅の10棟。D類は3つの群に分かれ、同じく西へ8度から10度傾く数値幅の11棟。E類は2つの群に分かれ、同じく西へ10度から14度傾く数値幅の7棟である。

(2) 建物の変遷との関係

今回調査された建物は、変遷の1期から6期にあたり、9時期のうちの前半に位置する。特に1期としたC類では4棟が認定された。これまで重複が少ない分類と考えてきたが、今回は5・6・7号建物が重複して、3時期

第5表 林中原1遺跡掘立柱建物計測表

42・43区

| No | 種別 | 主軸方位 | 面積㎡ | 桁行1 | 桁行2 | 桁行(平均) | 桁行平均柱間 | 寸尺 | 梁間1 | 梁間2 | 梁間(平均) | 梁間平均柱間 | 寸尺 | 規格 | 下屋など |
|----|----|-------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----|------|------|--------|--------|----------|----|------|
| 3 | A | N-88°-E | 29.67 | 6.8 | 6.78 | 6.79 | 2.263 | 7.5 | 4.42 | 4.32 | 4.37 | | 2×3間・南北棟 | | |
| 4 | A | N-3°-W | 54.68 | 10.74 | 10.26 | 10.50 | 2.1 | 7.0 | 4.75 | 4.4 | 4.58 | | 1×5間・南北棟 | 南 | |
| 8 | A | N-87°-E | 19.67 | 4.71 | 4.15 | 4.43 | 2.215 | 7.3 | 4.52 | 4.36 | 4.44 | | 2×2間・正方形 | | |
| 1 | B1 | N-4°-W | 24.94 | 6.94 | 6.84 | 6.89 | 2.297 | 7.6 | 3.72 | 3.52 | 3.62 | | 1×3間・南北棟 | | |
| 2 | C | N-6°-W | 35.59 | 7.24 | 7.2 | 7.22 | 2.407 | 7.9 | 4.98 | 4.88 | 4.93 | | 1×3間・南北棟 | | |
| 5 | C | N-7°-W | 54.86 | 10.94 | | 10.94 | 2.18 | 7.2 | 4.46 | | 4.46 | | 1×5間・南北棟 | 南 | |
| 6 | C | N-82°~83°-E | 47.88 | 10.64 | | 10.64 | 2.128 | 7.0 | 4.5 | | 4.50 | | 2×5間・東西棟 | | |
| 7 | C | N-82°-E | 36.1 | 7.93 | 7.73 | 7.83 | 2.61 | 8.6 | 4.85 | 4.36 | 4.61 | | 1×3間・東西棟 | | |

52区

| No | 種別 | 主軸方位 | 面積㎡ | 桁行1 | 桁行2 | 桁行(平均) | 桁行平均柱間 | 寸尺 | 梁間1 | 梁間2 | 梁間(平均) | 梁間平均柱間 | 寸尺 | 規格 | 下屋など |
|----|----|---------------|--------|--------|-------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|----------|-------------|------|
| 26 | A | N-87°-E | 26.55 | 6.74 | 6.67 | 6.71 | 2.237 | 7.4 | 3.95 | 4.00 | 3.98 | | 1×3間・東西棟 | | |
| 27 | A | N-0° | 64.77 | 10.20 | 10.22 | 10.21 | 2.042 | 6.7 | 4.95 | 4.85 | 4.90 | | 1×5間・東西棟 | 北・西 | |
| 2 | B1 | N-85°-E | 68.81 | 12.65 | 12.30 | 12.48 | 2.08 | 6.9 | 3.99 | 3.95 | 3.97 | | 2×6間・東西棟 | 北・東 | |
| 3 | B1 | N-4°-W | 52.82 | 8.74 | | 8.74 | 2.185 | 7.2 | 7.78 | | 7.78 | 1.95 | 6.4 | 4×4間・L字棟 | |
| 5 | B1 | N-4°~6°-W | 28.16 | 4.30以上 | 6.48 | 6.48 | 2.16 | 7.1 | 4.48 | | 4.48 | | | 2×3間・南北棟 | |
| 10 | B2 | N-3°~6°-W | 9.38以上 | 3.74以上 | | | | | 1.84以上 | 1.94以上 | | | | 2×1以上間・南北棟 | 北 |
| 11 | B2 | N-4°~5°-W | 22.18 | 5.69 | 5.69 | 5.69 | 1.897 | 6.3 | 3.93 | 3.84 | 3.89 | | | 2×3間・南北棟・総柱 | |
| 12 | B2 | N-86°-E | 35.77 | 7.47 | 7.55 | 7.51 | 1.878 | 6.2 | 4.79 | 4.82 | 4.81 | | | 1×4間・東西棟 | |
| 31 | B2 | N-85°~(87°)-E | 32.40 | 6.90 | 6.94 | 6.92 | 2.307 | 7.6 | 4.60 | 4.80 | 4.70 | | | 1×3間・東西棟 | |
| 1 | C | N-82°~83°-E | 38.30 | 10.48 | 10.20 | 10.34 | 2.585 | 8.5 | 3.50 | 3.78 | 3.64 | | | 2×4間・東西棟 | 西 |

第3章 林中原I遺跡

| No | 種別 | 主軸方位 | 面積㎡ | 桁行1 | 桁行2 | 桁行(平均) | 桁行平均柱間 | 寸尺 | 梁間1 | 梁間2 | 梁間(平均) | 梁間平均柱間 | 寸尺 | 規格 | 下屋など |
|----|----|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|------|--------|--------|-----|------------|-------|
| 4 | C | N-6~8°-W | 12.78以上 | 3.54以上 | 3.54以上 | | | | 3.04 | | 3.04 | | | 1×2以上間・南北棟 | |
| 6 | C | N-82~84°-E | 35.86 | 7.33 | 7.50 | 7.42 | 1.855 | 6.1 | 4.72 | 5.05 | 4.89 | | | 1×4間・東西棟 | |
| 7 | C | N-82~84°-E | 15.93 | 4.24 | 4.25 | 4.25 | | | 3.75 | 3.86 | 3.81 | | | 1×2間・方形 | |
| 8 | C | N-6~9°-W | 29.97 | 6.26 | 6.06 | 6.16 | 2.053 | 6.8 | 4.68 | 5.06 | 4.87 | | | 2×3間・南北棟 | |
| 15 | C | N-82~83°-E | 8.02 | 3.53 | 3.58 | 3.56 | | | 1.74 | 1.76 | 1.75 | | | 1×2間・東西棟 | 掘出北 |
| 14 | D1 | N-80~82°-E | 74.70 | 13.37 | 13.06 | 13.22 | 2.203 | 7.3 | 4.37 | 4.82 | 4.60 | | | 1×6間・東西棟 | 西、掘出北 |
| 19 | D1 | N-81~(83)°-E | 9.55 | 3.98 | 4.30 | 4.14 | | | 2.42 | 2.29 | 2.36 | | | 1×2間・東西棟 | |
| 13 | D2 | N-80~81°-E | 31.93 | 6.55 | 4.69以上 | 6.55 | 2.183 | 7.2 | 2.12以上 | 4.43 | 4.43 | | | 2×3間・東西棟 | |
| 18 | D2 | N-10°-W | 34.03 | 6.76 | 7.03 | 6.90 | 2.3 | 7.6 | 4.58 | 4.54 | 4.56 | | | 2×3間・南北棟 | 西掘出 |
| 23 | D2 | N-10°-W | 20.91以上 | 5.12 | | 5.12 | 1.707 | 5.6 | 3.75 | 3.74 | 3.75 | | | 2×3間・南北棟 | |
| 28 | D2 | N-80~(83)°-E | 8.03 | 3.10 | 3.08 | 3.09 | | | 2.66 | 2.54 | 2.60 | | | 1×2間 | |
| 30 | D2 | N-10°-W | 22.36 | 4.88 | 4.85 | 4.87 | 1.623 | 5.4 | 4.44 | 4.77 | 4.61 | | | 2×3間・正方形 | |
| 9 | D3 | N-7°-W | 32.31 | 9.06 | 8.97 | 9.02 | 2.255 | 7.4 | 3.62 | 3.75 | 3.69 | | | 1×4間・南北棟 | |
| 16 | D3 | N-80~81°-E | 56.14 | 10.60 | 10.58 | 10.59 | 2.118 | 7.0 | 3.55 | 3.69 | 3.62 | | | 1×5間・東西棟 | 北 |
| 17 | D3 | N-8~9°-W | 39.20 | 8.69 | 9.04 | 8.87 | 2.218 | 7.3 | 4.40 | 4.50 | 4.45 | | | 1×4間・南北棟 | |
| 32 | D3 | N-82°-E | 32.93 | 6.40 | 6.31 | 6.36 | 2.12 | 7.0 | 3.30 | 3.40 | 3.45 | | | 1×3間・東西棟 | 南 |
| 20 | E1 | N-12~14°-W | 20.02 | 5.73 | 5.42 | 5.58 | 1.86 | 6.1 | 3.50 | 3.70 | 3.60 | | | 2×3間・南北棟 | |
| 21 | E1 | N-78~80°-E | 34.50 | 7.17 | 2.47以上 | 7.17 | 2.39 | 7.9 | 2.26以上 | | | | | 2×3間・東西棟 | 北掘出 |
| 24 | E1 | N-78~79°-E | 27.14 | 7.58 | 7.34 | 7.46 | 1.865 | 6.2 | 3.74 | 3.66 | 3.70 | | | 2×4間・東西棟 | |
| 29 | E1 | N-73~77°-E | 28.35 | 8.40 | 8.50 | 8.45 | 2.113 | 7.0 | 3.54 | 3.20 | 3.37 | | | 1×4間・東西棟 | |
| 22 | E2 | N-76~77°-E | 53.63 | 8.52 | 8.52 | 8.52 | 2.13 | 7.0 | 4.34 | 4.46 | 4.40 | | | 1×4間・東西棟 | 北 |
| 25 | E2 | N-11°-W | 49.22 | 8.46 | | 8.46 | 2.115 | 7.0 | 7.96 | | 7.96 | 1.99 | 6.6 | 4×4間・1字棟 | |
| 33 | E2 | N-10~14°-W | 10.30 | 4.54 | 4.60 | 4.57 | | | 2.20 | 2.34 | 2.27 | | | 1×2間・南北棟 | |

53区

| No | 種別 | 主軸方位 | 面積㎡ | 桁行1 | 桁行2 | 桁行(平均) | 桁行平均柱間 | 寸尺 | 梁間1 | 梁間2 | 梁間(平均) | 梁間平均柱間 | 寸尺 | 規格 | 下屋など |
|----|----|------------|-------|-------|-------|--------|--------|-----|------|------|--------|--------|----|----------|------|
| 1 | A | N-87~89°-E | 32.13 | 6.50 | 6.64 | 6.57 | 2.19 | 7.2 | 4.50 | 4.80 | 4.65 | | | 2×3間・東西棟 | |
| 5 | B1 | N-2~4°-E | 12.62 | 3.61 | 3.70 | 3.66 | | | 3.50 | 3.42 | 3.46 | | | 1×2間・正方形 | |
| 6 | B1 | N-85~86°-E | 24.69 | 6.36 | 6.40 | 6.38 | 2.127 | 7.0 | 3.85 | 3.90 | 3.88 | | | 1×3間・東西棟 | |
| 7 | B1 | N-84~85°-E | 54.38 | 11.76 | 11.80 | 11.78 | 2.356 | 7.8 | 4.76 | 4.50 | 4.63 | | | 1×5間・東西棟 | 北 |

の存在が確認できた。5号建物はC類で最も大きな面積を持つ南北棟となるが、主屋とするには屋敷の南西に偏在し過ぎて相応しくない。C類は西側を正面として、建物がコの字に配置されると考えたが、今回の調査により、やはり正面を西方にして、大きくL字形に建物を配置し、西側に広場を設けている様相が判明した。

3期のA類は3棟であり、これまで調査された3棟と同数にあたる。しかし、4号建物と8号建物は重複して共存していない。4号建物は大きな面積を有しており、C類の5号建物と近似する。これはA類とC類の連続性を示しており、2期としたB2類が1期であった可能性を示唆している。A類では、継続して主屋を配置する領域に初めて27号建物が作られた状況が目ざされ、屋敷変遷では画期となる時期である。

6期のB1類は1棟のみである。B2類が東側に寄ることに対して、B1類は全体に広がり西端の延長上に1号建物の西壁がほぼ一致することから、これをB1類と判断した。B1類は南方を正面とする建物配置であり、1号建物は付属屋として、配置上も整合性が認められる。

(3) 建物の全体的な傾向

屋敷内の建物構成を検討する。第6表は今回の建物を加えて、改めて項目ごとに集計したものである。B2類を1期とした点が、変更点である。

建物の主軸方位では、東西棟が半数に近いが、今回の調査地では南北棟の割合が増加した。主屋は配置から東西棟と考えて良いだろう。

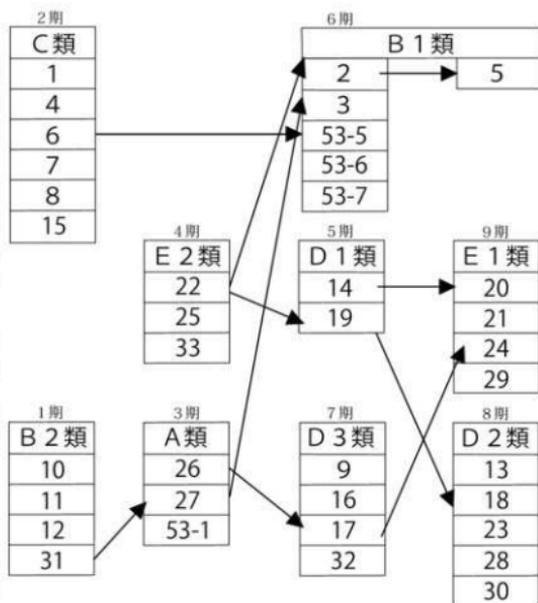
桁行平均柱間はまとまる傾向があり、C類でも7尺台が加わったため、C類からD3類まで、8尺を越える突飛な例を除けば、概ね7尺前後の数値が主体である傾向が強化された。

(4) 総括

本屋敷では、建物変遷から9時を系統づけてきた。今回の調査により、C類とA類が連続する可能性が強くなったため、B

2類を1期に、C類を2期に入れ替えた。これまで、B2類以降大型の主屋が出現し始めると考えたが、C類でも南北棟の大型建物が確認でき、主屋は別としても、屋敷出現当初から大型の建物が存在したこととなった。

また、D3類以降は建物が西側にまとまり、D2類以降は東側に別の建物群が現れ、屋敷が分割されたことと位置づけていきたが、今回の調査でD・E類の建物が認定されなかったことから、この段階で建物は屋敷の南側に配置されなくなり、より建物の分布範囲が狭まったことが判明した。



第40図 52・53区建物変遷図

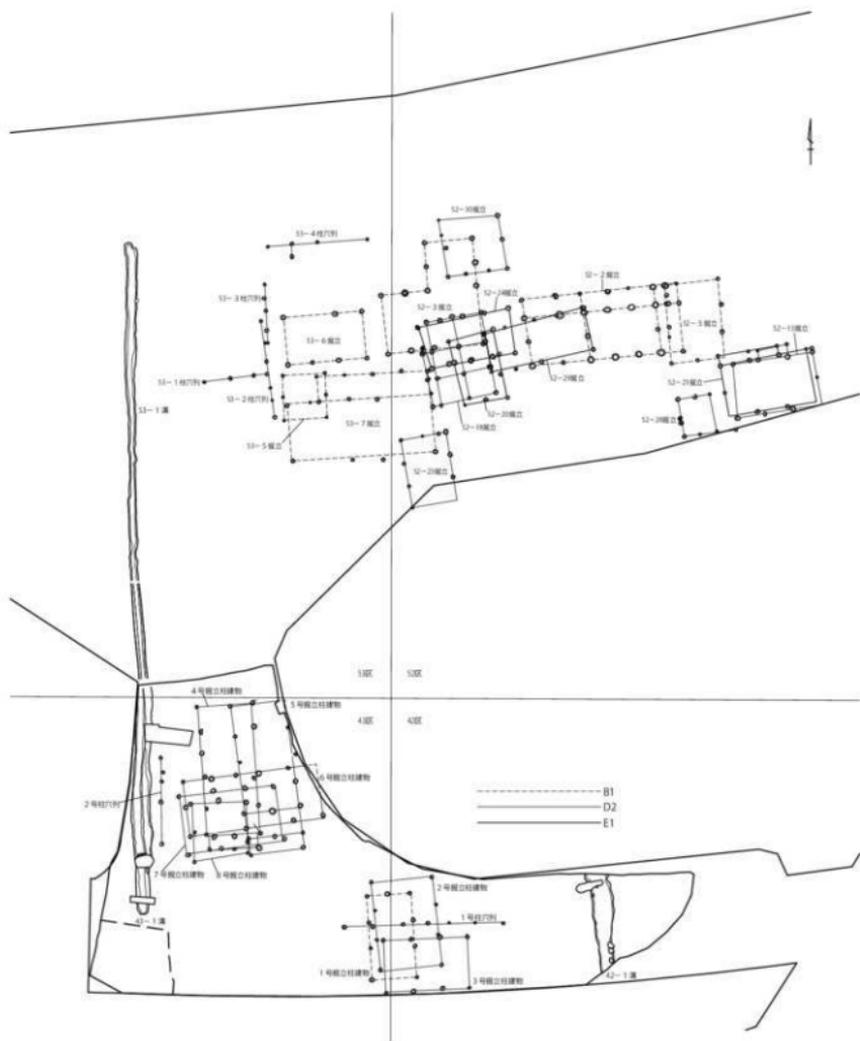
第3章 林中原I遺跡

第6表 林中原I遺跡屋敷建物総括表

| 棟別 | B2類 | C類 | A類 | E2類 | D1類 | B1類 | D3類 | D2類 | E1類 | 計 | 比率 |
|-----------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 東西棟 | 2 | 5 | 3 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 20 | 44.4% |
| 南北棟 | 2 | 4 | 2 | 1 | | 2 | 2 | 3 | 1 | 15 | 33.3% |
| L字形 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | 4.4% |
| 正方形・方形 | | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | | 4 | 8.9% |
| 計 | 4 | 10 | 6 | 3 | 2 | 7 | 4 | 5 | 4 | 41 | |
| 規模 | B2類 | C類 | A類 | E2類 | D1類 | B1類 | D3類 | D2類 | E1類 | 計 | 比率 |
| 1×2間 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 6 | 14% |
| 1×3間 | 1 | 2 | 1 | | | 2 | 1 | | | 7 | 10% |
| 2×2間 | | | 1 | | | | | | | 1 | 2% |
| 2×3間 | 1 | 1 | 2 | | | 1 | | 4 | 2 | 11 | 26% |
| 1×4間 | 1 | 1 | | 1 | | | 2 | | 1 | 6 | 14% |
| 2×4間 | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | 5% |
| 4×4間 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | 5% |
| 1×5間 | | 1 | 2 | | | 1 | 1 | | | 5 | 12% |
| 2×5間 | | 1 | | | | | | | | 1 | 2% |
| 1×6間 | | | | | 1 | | | | | 1 | 2% |
| 2×6間 | | | | | | 1 | | | | 1 | 2% |
| 計 | 3 | 9 | 6 | 3 | 2 | 7 | 4 | 5 | 4 | 40 | |
| 面積㎡ | B2類 | C類 | A類 | E2類 | D1類 | B1類 | D3類 | D2類 | E1類 | 計 | 比率 |
| ～10 | | 1 | | | 1 | | | 1 | | 3 | 7% |
| ～20 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | 4 | 9% |
| ～30 | 1 | 1 | 2 | | | 3 | | 2 | 3 | 12 | 28% |
| ～40 | 2 | 4 | 1 | | | | 3 | 2 | 1 | 13 | 30% |
| ～50 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 | 5% |
| ～60 | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | 6 | 14% |
| ～70 | | | 1 | | | 1 | | | | 2 | 5% |
| ～80 | | | | | 1 | | | | | 1 | 2% |
| 計 | 3 | 9 | 6 | 3 | 2 | 7 | 4 | 5 | 4 | 40 | |
| 桁行平均柱間(尺) | B2類 | C類 | A類 | E2類 | D1類 | B1類 | D3類 | D2類 | E1類 | 計 | 比率 |
| ～5.8 | | | | | | | | 2 | | 2 | 5% |
| ～6.3 | 2 | 1 | | | | | | | 2 | 5 | 14% |
| ～6.8 | | 1 | 1 | | | | | | | 2 | 5% |
| ～7.3 | | 2 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 1 | 1 | 17 | 46% |
| ～7.8 | 1 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | 6 | 16% |
| ～8.3 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 3 | 8% |
| ～8.8 | | 2 | | | | | | | | 2 | 5% |
| 計 | 3 | 7 | 6 | 2 | 1 | 6 | 4 | 4 | 4 | 34 | |



第41圖 林中原1遺跡獨立柱建物配置圖(1)



第42图 林中原1遺跡獨立柱建物配置圖(2)

第7表 林中原1道跡遺構計測表

42区ビット

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|----|------|----|------|--------|---------------|
| 1 | 41 | 29 | 29 | 1面 | 不整形 | Y-21 |
| 2 | 24 | 23 | 16 | 1面 | 不整形 | U・V-21 |
| 3 | 27 | 20 | 11 | 1面 | 楕円形 | Y-21 |
| 4 | 18 | 17 | 10 | 1面 | 不整形 | Y-21 |
| 5 | 38 | 29 | 24 | 1面 | 不整形 | W-21 |
| 6 | 15 | 14 | 11 | 1面 | 円形 | W-21 |
| 7 | 23 | 17 | 15 | 1面 | 不整形 | W-21 |
| 8 | 26 | 25 | 19 | 1面 | 不整形 | W-20 |
| 9 | | | | 1面 | | 3層P1に変更 |
| 10 | 25 | 20 | 22 | 1面 | 楕円形 | X-21 |
| 11 | | | | 1面 | | 3層P2に変更 |
| 12 | 32 | 30 | 26 | 1面 | 不整形 | U・V-21 |
| 13 | | | | 1面 | | 1柱穴P7に変更 |
| 14 | | | | 1面 | | 1柱穴P6に変更 |
| 15 | 23 | 18 | 35 | 1面 | 不整形 | X-21 |
| 16 | 34 | (29) | 30 | 1面 | (楕円形) | X-21 |
| 17 | 28 | 26 | 41 | 1面 | ほぼ円形 | X-21 |
| 18 | 34 | 29 | 53 | 1面 | 楕円形 | X-21 |
| 19 | 26 | 18 | 30 | 1面 | 楕円形 | X-20 |
| 20 | | | | 1面 | | 7上坑と重複 |
| 21 | | | | 1面 | | 3層P3に変更 |
| 22 | | | | 1面 | | 2層P4に変更 |
| 23 | | | | 1面 | | 1層P4に変更 |
| 24 | | | | 1面 | | 1柱穴P4に変更 |
| 25 | | | | 1面 | | 1柱穴P5に変更 |
| 26 | | | | 1面 | | 2層P3に変更 |
| 27 | | | | 1面 | | 3層P8に変更 |
| 28 | | | | 1面 | | 3層P4に変更 |
| 29 | 26 | 24 | 10 | 1面 | 不整形 | Y-20 |
| 30 | | | | 1面 | | 1柱穴P3に変更 |
| 31 | | | | 1面 | | 1層P2に変更 |
| 32 | 33 | 27 | 16 | 1面 | 不整形 | Y-20 |
| 33 | | | | 1面 | | 3層P7に変更 |
| 34 | 26 | 23 | 26 | 1面 | 不整形 | Y-21, 43区A-21 |

43区ビット

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|----|------|----|------|--------|----------|
| 1 | | | | 1面 | | 3層P5に変更 |
| 2 | | | | 1面 | | 1層P5に変更 |
| 3 | | | | 1面 | | 2層P5に変更 |
| 4 | 24 | 22 | 24 | 1面 | 不整形 | A-20 |
| 5 | 24 | 22 | 15 | 1面 | 不整形 | A-20 |
| 6 | 50 | 22 | 34 | 1面 | 不整形 | A-20 |
| 7 | | | | 1面 | | 3層P6に変更 |
| 8 | | | | 1面 | | 2層P6に変更 |
| 9 | 21 | 18 | 32 | 1面 | 不整形 | A-20 |
| 10 | 24 | 17 | 22 | 1面 | 不整形 | A-21 |
| 11 | | | | 1面 | | 1層P6に変更 |
| 12 | 24 | 22 | 27 | 1面 | ほぼ円形 | A-21 |
| 13 | | | | 1面 | | 1柱穴P2に変更 |
| 14 | | | | 1面 | | 1層P7に変更 |
| 15 | | | | 1面 | | 2層P7に変更 |
| 16 | 26 | 22 | 42 | 1面 | 楕円形 | A-21 |
| 17 | | | | 1面 | | 1柱穴P1に変更 |
| 18 | 48 | 46 | 28 | 1面 | 不整形 | B-20・21 |
| 19 | 20 | 18 | 19 | 1面 | 不整形 | A-21 |
| 20 | 33 | (26) | 34 | 1面 | (不整形) | A-20 |
| 21 | | | | 1面 | | 1層P8に変更 |
| 22 | | | | 1面 | | 1層P9に変更 |
| 23 | 27 | 23 | 30 | 1面 | 楕円形 | C-21 |
| 24 | 32 | 26 | 56 | 1面 | 楕円形 | C-21 |
| 25 | 26 | 24 | 30 | 1面 | 方形 | C-21 |
| 26 | 42 | 39 | 58 | 1面 | 不整形 | C-21・22 |
| 27 | 31 | 26 | 60 | 1面 | 楕円形 | C-21・22 |
| 28 | 27 | 22 | 33 | 1面 | 楕円形 | C-22 |
| 29 | 31 | 27 | 26 | 1面 | 楕円形 | C-22 |

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|------|------|----|------|--------|---------------|
| 35 | 27 | 22 | 10 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 36 | 33 | 30 | 20 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 37 | 49 | 36 | 27 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 38 | 44 | 29 | 15 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 39 | 25 | (22) | 18 | 1面 | (円形) | Y-21, 43区A-21 |
| 40 | | | | 1面 | | P34と重複 |
| 41 | 41 | 36 | 19 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 42 | 57 | 41 | 30 | 1面 | 不整形 | U-20 |
| 43 | 44 | 38 | 14 | 1面 | 不整形 | U-20 |
| 44 | 52 | 40 | 9 | 1面 | 楕円形 | U-20 |
| 45 | 41 | 29 | 17 | 1面 | 楕円形 | U-20 |
| 46 | 28 | 22 | 27 | 1面 | 楕円形 | X-21・22 |
| 47 | 38 | 26 | 31 | 1面 | (楕円形) | X-21・22 |
| 48 | (28) | (10) | 3 | 1面 | (楕円形) | X-21 |
| 49 | | | | 1面 | | 2層P2に変更 |
| 50 | | | | 1面 | | 2層P1に変更 |
| 51 | 25 | 22 | 28 | 1面 | 不整形 | Y-21 |
| 52 | 28 | 23 | 27 | 1面 | 不整形 | Y-22, 43区A-22 |
| 53 | 30 | 28 | 11 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 54 | 47 | 30 | 19 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 55 | 23 | 18 | 4 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 56 | 31 | 27 | 10 | 1面 | 楕円形 | U-21 |
| 57 | 42 | 35 | 13 | 1面 | 不整形 | U-21 |
| 58 | 34 | 25 | 10 | 1面 | 楕円形 | U-22 |
| 59 | 28 | 21 | 26 | 1面 | 不整形 | W-21 |
| 60 | 46 | 43 | 16 | 2面 | 不整形 | Y-21 |
| 61 | 34 | 31 | 13 | 2面 | 不整形 | Y-21 |
| 62 | 26 | 19 | 13 | 2面 | 楕円形 | Y-21 |
| 63 | 34 | 23 | 23 | 2面 | 不整形 | Y-22 |
| 64 | 32 | (23) | 29 | 2面 | (不整形) | Y-22 |
| 65 | 24 | (22) | 14 | 2面 | (不整形) | Y-22 |
| 66 | 24 | 22 | 19 | 2面 | ほぼ円形 | Y-22 |
| 67 | 38 | 29 | 20 | 2面 | 不整形 | Y-22 |
| 68 | 33 | 28 | 11 | 2面 | 不整形 | X-21 |

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|----|----|----|------|--------|---------|
| 30 | 33 | 27 | 14 | 1面 | 楕円形 | C-21 |
| 31 | 26 | 23 | 39 | 1面 | 楕円形 | C-21 |
| 32 | 35 | 29 | 35 | 1面 | 楕円形 | C-22 |
| 33 | 37 | 34 | 51 | 1面 | 不整形 | B-21 |
| 34 | 46 | 38 | 14 | 2面 | 楕円形 | D-21 |
| 35 | 37 | 28 | 14 | 1面 | 不整形 | D-20 |
| 36 | 38 | 28 | 57 | 1面 | 楕円形 | B-23 |
| 37 | 42 | 40 | 24 | 1面 | 楕円形 | B-23 |
| 38 | 73 | 58 | 71 | 1面 | 不整形 | B-23 |
| 39 | 29 | 24 | 48 | 1面 | 楕円形 | B-23 |
| 40 | 27 | 22 | 16 | 1面 | 不整形 | B-23 |
| 41 | 33 | 25 | 34 | 1面 | 楕円形 | A・B-23 |
| 42 | | | | 1面 | | |
| 43 | 36 | 32 | 60 | 1面 | 不整形 | B-23 |
| 44 | 25 | 24 | 20 | 1面 | 不整形 | B-23 |
| 45 | | | | 1面 | | 7層P1に変更 |
| 46 | 29 | 25 | 26 | 1面 | 楕円形 | C-23 |
| 47 | 31 | 21 | 28 | 1面 | 楕円形 | C-23 |
| 48 | | | | 1面 | | 5層P3に変更 |
| 49 | 23 | 21 | 42 | 1面 | 不整形 | C-22 |
| 50 | 32 | 28 | 31 | 1面 | 楕円形 | C-22 |
| 51 | 25 | 21 | 57 | 1面 | 楕円形 | C-22 |
| 52 | 42 | 37 | 27 | 1面 | 不整形 | C-22 |
| 53 | | | | 1面 | | 5層P6に変更 |
| 54 | 21 | 20 | 14 | 1面 | ほぼ円形 | D-22 |
| 55 | 31 | 23 | 25 | 1面 | 楕円形 | D-22 |
| 56 | 35 | 32 | 31 | 1面 | 不整形 | D-22 |
| 57 | | | | 1面 | | 4層P4に変更 |
| 58 | | | | 1面 | | 8層P3に変更 |

第3章 林中原1遺跡

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 面 | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|------|------|----|----|--------|---------|----------------|
| 59 | | | | 1面 | | | 7編P3に変更 |
| 60 | 23 | 22 | 25 | 1面 | 円形 | D-22・23 | |
| 61 | 35 | 33 | 41 | 1面 | 楕円形 | D-22・23 | |
| 62 | | | | 1面 | | | 4編P15に変更 |
| 63 | 26 | 25 | 54 | 1面 | ほぼ円形 | D-22 | |
| 64 | 48 | 36 | 67 | 1面 | 楕円形 | C-23 | P65重複 P64重複 |
| 65 | | | | 1面 | | | 2編P8に変更 |
| 66 | | | | 1面 | | | 7編P4に変更 |
| 67 | 32 | 22 | 26 | 1面 | 不整形 | E-22 | |
| 68 | | | | 1面 | | | 7編P4に変更 |
| 69 | 26 | 20 | 25 | 1面 | 楕円形 | E-22 | |
| 70 | | | | 1面 | | | 2柱穴列P4に変更 |
| 71 | 35 | 20 | 24 | 1面 | 楕円形 | E-23 | |
| 72 | 19 | 18 | 15 | 1面 | ほぼ円形 | E-23 | |
| 73 | | | | 1面 | | | 6編P5に変更 |
| 74 | 32 | 21 | 21 | 1面 | 楕円形 | E-23 | |
| 75 | | | | 1面 | | | 8編P5に変更 |
| 76 | 33 | 24 | 26 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 77 | 26 | 25 | 24 | 1面 | 円形 | E-23 | |
| 78 | | | | 1面 | | | 6編P3に変更 |
| 79 | 31 | 24 | 22 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 80 | | | | 1面 | | | 4編P12に変更 |
| 81 | 25 | 23 | 19 | 1面 | 不整形 | D-22 | |
| 82 | 17 | 15 | 13 | 1面 | 楕円形 | D-22 | |
| 83 | | | | 1面 | | | 8編P2に変更 |
| 84 | | | | 1面 | | | 7編P2に変更 |
| 85 | | | | 1面 | | | 5編P7に変更 |
| 86 | 26 | 19 | 20 | 1面 | 楕円形 | C-23 | |
| 87 | | | | 1面 | | | 6編P 4に変更 |
| 88 | | | | 1面 | | | 4編P13に変更 |
| 89 | 26 | 19 | 68 | 1面 | 楕円形 | C-23 | |
| 90 | | | | 1面 | | | 4編P5に変更 |
| 91 | 27 | 22 | 21 | 1面 | 楕円形 | C-23 | |
| 92 | | | | 1面 | | | 6編P2に変更 |
| 93 | 25 | (22) | 14 | 1面 | (不整形円) | B-23 | |
| 94 | 33 | 30 | 34 | 1面 | 不整形円 | C・D-23 | |
| 95 | 33 | 28 | 37 | 1面 | 楕円形 | A・B-23 | |
| 96 | 24 | 23 | 20 | 1面 | 不整形円 | E-21 | |
| 97 | 25 | 21 | 32 | 1面 | 楕円形 | C-22 | |
| 98 | | | | 1面 | 楕円形 | | 5編P4に変更 |
| 99 | 34 | 26 | 14 | 1面 | 楕円形 | B-23 | |
| 100 | | | | 1面 | | | 6編P1に変更 |
| 101 | 61 | 49 | 25 | 1面 | 不整形円 | B-23 | |
| 102 | 38 | 37 | 60 | 1面 | ほぼ円形 | B-23 | |
| 103 | | | | 1面 | | | 5編P3に変更 |
| 104 | 21 | 15 | 24 | 1面 | 不整形 | B-23 | P105重複 |
| 105 | 22 | 21 | 17 | 1面 | (隅丸方形) | B-23 | P104重複 |
| 106 | 48 | 38 | 57 | 1面 | 不整形円 | C-23 | |
| 107 | | | | 1面 | | | 5編P14に変更 |
| 108 | | | | 1面 | | | 4編P4に変更 |
| 109 | 21 | 17 | 24 | 1面 | 楕円形 | C・D-23 | |
| 110 | | | | 1面 | | | 5編P8に変更 |
| 111 | | | | 1面 | | | 8編P1に変更 |
| 112 | 26 | 23 | 22 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 113 | 25 | 24 | 17 | 1面 | 円形 | D-23 | |
| 114 | 28 | 21 | 39 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 115 | 29 | 24 | 18 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 116 | | | | 1面 | | | 4編P7に変更 |
| 117 | | | | 1面 | | | 8編P7に変更 |
| 118 | 40 | 29 | 32 | 1面 | 楕円形 | D-23 | |
| 119 | | | | 1面 | | | 8編P6に変更 |
| 120 | | | | 1面 | | | 6編P6に変更 |
| 121 | 38 | 31 | 17 | 1面 | 楕円形 | E-23 | |
| 122 | 41 | 36 | 22 | 1面 | 不整形円 | E-23 | |
| 123 | 22 | 16 | 30 | 1面 | 楕円形 | E-23 | |
| 124 | (27) | 17 | 33 | 1面 | (楕円形) | E-23 | P126重複 |
| 125 | (26) | 16 | 22 | 1面 | (楕円形) | E-23 | P126重複 |
| 126 | 37 | 31 | 41 | 1面 | 不整形 | E-23 | P124・125重複 |
| 185 | 39 | 29 | 23 | 1面 | 楕円形 | E-23 | |

| No. | 長軸 | 短軸 | 深さ | 面 | 平面形状 | グリッド位置 | 備考 |
|-----|----|----|----|----|-------|---------|----------|
| 186 | 32 | 31 | 24 | 1面 | 円形 | A-19・20 | |
| 187 | 49 | 36 | 36 | 1面 | 楕円形 | D・E-24 | |
| 188 | 57 | 45 | 58 | 1面 | 楕円形 | C-24 | |
| 189 | 46 | 29 | 68 | 1面 | 楕円形 | C-24 | |
| 190 | 33 | 31 | 15 | 1面 | 方形 | C-25 | |
| 191 | | | | 1面 | | | 5編P1に変更 |
| 192 | | | | 1面 | | | 4編P6に変更 |
| 193 | | | | 1面 | | | 4編P9に変更 |
| 194 | 30 | 22 | 29 | 1面 | 長方形 | D-24 | |
| 195 | | | | 1面 | | | 4編P8に変更 |
| 196 | 44 | 37 | 43 | 1面 | 楕円形 | D-25 | |
| 197 | | | | 1面 | | | 5編P12に変更 |
| 198 | 32 | 27 | 21 | 1面 | 楕円形 | D-24 | |
| 199 | 22 | 19 | 23 | 1面 | 不整形円 | D-24 | |
| 200 | 30 | 28 | 24 | 1面 | 楕円形 | D-22 | |
| 201 | | | | 1面 | | | 8編P4に変更 |
| 202 | 24 | 23 | 36 | 1面 | 円形 | E-23 | |
| 203 | 39 | 27 | 34 | 1面 | 隅丸長方形 | E-23 | |
| 204 | 68 | 41 | 7 | 1面 | 不整形 | F-22 | 1溝重複 |
| 205 | 46 | 39 | 7 | 2面 | 不整形円 | 428KY | |
| 206 | 47 | 44 | 12 | 2面 | ほぼ円形 | A-21 | |
| 207 | 20 | 18 | 10 | 2面 | 楕円形 | B-22 | 20土坑重複 |
| 208 | 35 | 28 | 15 | 2面 | 楕円形 | B-21・22 | |
| 209 | 22 | 21 | 15 | 2面 | 円形 | B-22 | |
| 210 | 32 | 23 | 16 | 2面 | 楕円形 | B-22 | |
| 211 | 40 | 33 | 16 | 2面 | 不整形円 | B-22 | |
| 212 | 49 | 40 | 21 | 2面 | 楕円形 | B-22・23 | |
| 213 | 43 | 40 | 22 | 2面 | 不整形円 | E・F-21 | |
| 214 | 29 | 24 | 15 | 2面 | 不整形 | C-22 | |
| 215 | 27 | 25 | 22 | 2面 | ほぼ円形 | D-22 | |
| 216 | 24 | 18 | 20 | 2面 | 不整形円 | B-23 | |
| 217 | 37 | 33 | 11 | 2面 | 楕円形 | B-23 | |
| 218 | 32 | 27 | 12 | 2面 | 楕円形 | C-23 | |
| 219 | 35 | 26 | 17 | 2面 | 不整形円 | C-23 | |
| 220 | 30 | 27 | 18 | 2面 | 不整形円 | C-23 | |
| 221 | 38 | 33 | 29 | 2面 | 楕円形 | C-23 | |
| 222 | 22 | 18 | 18 | 2面 | 楕円形 | C・D-23 | |
| 223 | 32 | 23 | 14 | 2面 | 楕円形 | C-24 | |
| 224 | 22 | 20 | 10 | 2面 | 楕円形 | C-24 | |
| 225 | 31 | 30 | 19 | 2面 | ほぼ円形 | C-24 | |
| 226 | 30 | 26 | 15 | 2面 | 不整形円 | C-23 | |
| 227 | 29 | 26 | 24 | 2面 | 不整形円 | D-24 | |
| 228 | 29 | 18 | 14 | 2面 | 楕円形 | C・D-24 | |
| 229 | 32 | 23 | 32 | 2面 | 楕円形 | C-25 | |
| 230 | 46 | 43 | 10 | 2面 | 不整形 | E-25 | |
| 231 | 40 | 31 | 21 | 2面 | 不整形 | D-23 | |

43区焼土遺構

| 遺構名 | 平面形状 | 長軸 | 短軸 | 深さ | グリッド位置 |
|------|--------|------|------|------|--------|
| 1号焼土 | 不整形楕円状 | 0.75 | 0.48 | 0.00 | A-21 |

42区土坑

| 遺構名 | 平面形状 | 長軸 | 短軸 | 深さ | グリッド位置 |
|-------|----------|--------|--------|------|---------|
| 1号土坑 | 不整形長方形 | 1.62 | 1.32 | 0.26 | Y-21 |
| 2号土坑 | 不整形 | 0.77 | 0.45 | 0.26 | U・V-21 |
| 3号土坑 | (不整形楕円形) | (1.20) | 0.41 | 0.25 | U・V-21 |
| 4号土坑 | 不整形長方形 | 0.88 | 0.42 | 0.29 | Y-21 |
| 5号土坑 | 不整形 | 0.86 | 0.76 | 0.24 | X-20・21 |
| 6号土坑 | 不整形 | 0.74 | 0.65 | 0.10 | Y-20 |
| 7号土坑 | (不整形) | 1.45 | (1.17) | 0.83 | X-20 |
| 8号土坑 | (不整形楕円形) | (0.47) | 0.33 | 0.15 | U・V-21 |
| 9号土坑 | 不整形長方形 | 1.59 | 1.07 | 1.06 | Y-20・21 |
| 10号土坑 | 不整形長方形 | 2.23 | 0.72 | 0.83 | U・V-22 |
| 11号土坑 | 不整形楕円形 | 1.89 | 1.67 | 0.24 | X-21・22 |

43区土坑

| 遺構名 | 平面形状 | 長軸 | 短軸 | 深さ | グリッド位置 |
|------|--------|------|--------|------|--------|
| 1号土坑 | (方形) | 1.42 | (1.18) | 0.30 | A-21 |
| 2号土坑 | 不整形楕円形 | 2.01 | 1.37 | 0.75 | A-21 |
| 3号土坑 | 不整形楕円形 | 1.66 | 1.35 | 0.33 | A・B-21 |

| 遺構名 | 平面形状 | 長軸 | 短軸 | 深さ | グリッド位置 |
|-------|-------|------|------|------|---------|
| 4号土坑 | 不整長方形 | 1.38 | 0.87 | 0.48 | E-20・21 |
| 5号土坑 | 不整楕円形 | 0.89 | 0.39 | 0.23 | F-20・21 |
| 6号土坑 | 楕円形 | 1.19 | 0.90 | 0.34 | F-20・21 |
| 7号土坑 | 不整楕円形 | 0.73 | 0.52 | 0.33 | C-22 |
| 8号土坑 | 楕円形 | 1.54 | 1.24 | 0.53 | B・C-22 |
| 9号土坑 | (楕円形) | 1.05 | 0.90 | 0.38 | B-23 |
| 10号土坑 | 不整楕円形 | 1.19 | 1.05 | 0.20 | D-20 |
| 11号土坑 | 楕円形 | 1.57 | 0.97 | 0.22 | B-23 |
| 12号土坑 | 不整長方形 | 1.23 | 0.43 | 0.38 | D-23 |
| 13号土坑 | 不整長方形 | 0.60 | 0.35 | 0.23 | C-23 |
| 14号土坑 | 不整長方形 | 1.49 | 0.98 | 0.88 | E・F-22 |
| 15号土坑 | 楕円形 | 0.65 | 0.42 | 0.18 | E-23 |

| 遺構名 | 平面形状 | 長軸 | 短軸 | 深さ | グリッド位置 |
|-------|-------|--------|------|------|---------|
| 16号土坑 | 楕円形 | 0.94 | 0.59 | 0.24 | C-25 |
| 17号土坑 | (楕円形) | (1.36) | 1.16 | 0.22 | B-24 |
| 18号土坑 | 楕円形 | 0.39 | 0.37 | 0.19 | E-25 |
| 19号土坑 | 不整楕円形 | 1.71 | 1.35 | 0.12 | B-22 |
| 20号土坑 | 不整長方形 | 1.80 | 1.78 | 0.60 | B-21 |
| 21号土坑 | 不整楕円形 | 1.53 | 1.25 | 0.52 | C-21 |
| 22号土坑 | 不整長方形 | 1.00 | 1.20 | 0.25 | C-22 |
| 23号土坑 | | | 0.27 | | |
| 24号土坑 | 不整楕円形 | 2.26 | 1.22 | 0.35 | C-24・25 |
| 25号土坑 | 不整形 | 1.35 | 0.85 | 0.12 | C-25 |

遺物観察表

出土位置：挿図に番号が記された遺物は、平面位置と断面位置を記した。ただし、調査記録が無い場合はこの限りではない。

胎土：土器の夾雑物を記した。詳細は下記の胎土分類表による。

石材：石器、石製品の石材名を記した。

計測値：土器は口径・底径・高さを基準に残存した部位から計測した。1/2以下の復元値は()で記した。破片資料の現存値は記していない。石器は長さ・幅・厚さ・重量を計測し、欠損品は現存値()で記した。

特徴：器形・形態など出土遺物の特徴を主に記した。縄文土器、弥生土器は器形、文様構成を主とした記載で、文様要素、原体を併記した。陶磁器類の色調は断面色調、特徴は器形、外面意匠を主に記した。

備考：縄文土器、弥生土器は時期の目安として、型式名や前期、中期、後期などの大凡の段階を記した。陶磁器類も大凡の時期を記した。

林中原1遺跡 縄文土器の胎土分類

| 分類 | 夾雑物の特徴 | 備考 |
|----|---|---------|
| A類 | A1 少量の円磨度の進んだ灰白色岩片・長石・輝石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。 | |
| | A2 中量の円磨度の進んだ長石・輝石・灰白色岩片と少量の赤白色・黒色岩片や角閃石・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。 | |
| | A3 中量の円磨度の進んだ長石・石英・灰白色岩片と少量の赤白色岩片・輝石・角閃石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。 | |
| | A4 多量の円磨度の進んだ珪質乳白色・赤色岩片の礫・粗砂と少量の灰白色・黒色岩片や長石・輝石・石英の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。 | 繊維を含有する |
| | A5 多量の円磨度の進んだ結晶片岩・珪質乳白色岩片や中量の赤色・灰白色岩片の礫・粗砂と中量の雲母細砂を含むやや粗雑な胎土。 | |
| | A6 多量の円磨度の進んだ長石・珪質乳白色岩片と少量の赤色・黒色岩片や石英の粗・細砂および微量の結晶片岩礫・粗砂を含むやや粗雑な胎土。 | |
| B類 | B1 多量の円磨度の進んだ長石・灰白色岩片や少量の雲母・赤色岩片・輝石・石英・角閃石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。 | |
| | B2 少量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色岩片や輝石・長石の粗・細砂を含む緻密な胎土。 | |
| | B3 少量の円磨度の進んだ珪質乳白色・灰白色・赤色岩片や輝石・長石・石英の粗・細砂を含む緻密な胎土。 | |
| | B4 中量の円磨度の進んだ灰白色岩片の礫・粗砂と少量の赤色・黒色岩片や長石・輝石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。 | 繊維を含まない |
| | B5 中量の円磨度の進んだ結晶片岩礫・粗砂と少量の珪質乳白色・灰白色・赤色岩片や長石・輝石の粗・細砂および中量の雲母細砂を含む緻密な胎土。 | |
| | B6 中量の円磨度の進んだ長石・輝石と少量の珪質乳白色・黒色岩片や石英の粗・細砂と中量の灰白色・赤色岩片の礫・粗砂を含むやや緻密な胎土。 | |
| | B7 多量の円磨度の進んだ長石・輝石と少量の灰白色・赤色・黒色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。 | |

凡例

- *各分類はルーベ等を使用した肉眼観察による相対的なものである。
- *夾雑物の粒径分類については「新版標準色紙」の「土壌調査用チャート」に準拠した。

遺物計測表

第8表 林宮原遺跡遺物観察表

林宮原 2面

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|----------------|-----|--|--|--------------------|--|-------|
| 第8回 PL.14 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 67区M7 胴部破片 | | | | // | 棒状員の單沈線により渦巻状の意匠を構成。内外面共に一部に煤状炭化物付着。中量の円磨度の進んだ長石や少量の灰白色・赤色岩片と輝石・角閃石の粗・細砂を含む緻密な胎土。 | 株名寺日式 |
| 第8回 PL.14 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 67区M7 口縁部破片 | | | | // | 口縁端部が内側に突出。内外面共に傾向き、やや被熱風化・荒れ。中量の円磨度の進んだ長石・輝石や少量の灰白色・赤色岩片と角閃石・石英および微量の雲母の粗・細砂を含む緻密な胎土。 | 株名寺日式 |

林宮原(補遺編)

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|-----------------------------|---------|--------------|--------|--------------------|--|------|
| 第10回 PL.14 | 1 | 木製品 木柱 | 57区1号掘立柱 建物P10 基部のみ残存 | 高長 径 | 27.6 20.1 | 短 径 | 18.6 | 針葉樹。スギか。底部に加工痕が残存し、ほぼ四角に面取りをおこなっている。角は劣化により丸くなったか。 | 西面摩滅 |

第9表 林中原1遺跡遺物観察表

林中原 1

42区7号土坑

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|---------------|-----|--|--|--------------------|---|------|
| 第15回 PL.14 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 底面直上 胴部破片 | | | | //A5 | 外面に棒状員の条痕文を縦・斜位に施す。外面煤状炭化物付着。内面被熱風化・荒れ・剝落。2~4と同一個体か。 | 早期後半 |
| 第15回 PL.14 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 底面直上 胴部破片 | | | | //A5 | 外面に棒状員の条痕文を斜位に施す。外面煤状炭化物付着。内面被熱風化・荒れ・剝落。 | 早期後半 |
| 第15回 PL.14 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 底面直上 胴部破片 | | | | //A5 | 外面に棒状員の条痕文を縦位に施す。内外面共に被熱風化・荒れ。外面一部剝落。 | 早期後半 |
| 第15回 PL.14 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 底面直上 胴部破片 | | | | //A5 | 外面に棒状員の条痕文を斜位に施し、半截竹管状員の押し状平行沈線文を縦・横位に施文。外面一部に煤状炭化物付着。内面被熱風化・荒れ・剝落。 | 早期後半 |

43区18号土坑

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|----------------------|-----|--|--|--------------------|--|-------|
| 第15回 PL.14 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 上層 胴部上位・中 位1/4 | | | | //B3 | 棒状員の細沈線で渦巻状や三角形の区画文を施し、L線文を充填施文。内外面共にやや被熱風化・荒れ。一部に煤状炭化物付着。 | 胴之内2式 |

遺構外

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|-------------------|-----|--|--|--------------------|---|--------------|
| 第17回 PL.14 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 43区 口縁部破片 | | | | //A4 | 内外面に条痕文を横位に施す。内外面共にやや被熱風化・外面一部に煤状炭化物付着。2と同一個体。 | 鶴ヶ島台式 |
| 第17回 PL.14 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 43区 胴部破片 | | | | //A4 | 条痕文を外面には横・縦位に、内面は横位に施す。内外面共にやや被熱風化・外面一部に煤状炭化物付着。1と同一個体。 | 鶴ヶ島台式 |
| 第17回 PL.14 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 42区4トレンチ 胴部破片 | | | | //A6 | 内外面に条痕文を横位に施す。内面著しい被熱風化・荒れ。 | 鶴ヶ島台式 |
| 第17回 PL.14 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 42区16ビット 胴部破片 | | | | //A3 | 条痕文を外面には横・縦位に、内面は横位に施す。内外面共にやや被熱風化・荒れ。 | 鶴ヶ島台式 |
| 第17回 PL.14 | 5 | 縄文土器 深鉢 | 42区5K1 胴部破片 | | | | //A2 | L線文を横位施文し、半截竹管状員の平行沈線文を横・斜位に施す。内面磨で状の横位磨き。 | 黒浜式 |
| 第17回 PL.14 | 6 | 縄文土器 深鉢 | 42区X1 胴部破片 | | | | //A2 | L線文を横位施文し、多截竹管状員の細い平行沈線文を斜位に施す。内面被熱風化・荒れ・剝落。 | 黒浜式 |
| 第17回 PL.14 | 7 | 縄文土器 深鉢 | 43区6トレンチ 胴部破片 | | | | //A1 | L線文を横位に施す。内外面共に被熱風化・荒れ。内面煤状炭化物付着。 | 黒浜式 |
| 第17回 PL.14 | 8 | 縄文土器 深鉢 | 43区105ビット 胴部破片 | | | | //A2 | L線文を横位に施す。内外面共にやや被熱風化・荒れ。 | 黒浜式 |
| 第17回 PL.14 | 9 | 縄文土器 深鉢 | 43区12ビット 胴部破片 | | | | //B6 | 半截竹管状員の集合沈線文を矢羽状に施す。内面横・斜位磨き。 | 諸磯c式 |
| 第17回 PL.14 | 10 | 縄文土器 深鉢 | 43区D22 胴部破片 | | | | //B5 | 刻み目を加えた横位降帯文に沿って横位や縦面状の角片文を施す。内面横位磨き。 | 勝坂2式 |
| 第17回 PL.14 | 11 | 縄文土器 深鉢 | 43区 胴部破片 | | | | //B1 | 2本単位の降帯文を横位・S字状に施した後に、その上下に棒状員の短沈線文を縦位に充填施文し、柘栲沈線区画文を施す。内面横位磨き。外面煤状炭化物付着。 | 加賀利E1式併 行 |
| 第17回 PL.14 | 12 | 縄文土器 深鉢 | 43区68ビット 口縁部破片 | | | | //B7 | 棒状員の横位沈線文や縦面状の交互衝突による波状文を施す。内面横位磨き。 | 三原田式 |

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|-------------------|----------------------|----------------------|--|--------------------|--|--------|
| 第179号 PL.14 | 13 | 縄文土器 深鉢 | 43区14ビット 口縁部破片 | | | | //B4 | 横線文や逆U字状の沈線区画文を施し、区画内にLR縄文を 充満的に施文。内面やや粗い縞・縦位磨き、縦位炭化物付着。 口唇部が内面側に短く内折する。口縁に横位の刻み縞線文 や沈線区画文を施し、区画内にLR縄文を充満施文。内面横 位磨き、外面縦位炭化物付着。 | 加曾利E3式 |
| 第179号 PL.14 | 14 | 縄文土器 深鉢 | 43区11ビット 口縁部破片 | | | | //B2 | 口唇部が内面側に短く内折する。口縁に横位の刻み縞線文 や沈線区画文を施し、区画内にLR縄文を充満施文。内面横 位磨き、外面縦位炭化物付着。 | 組之内2式 |
| 第179号 PL.14 | 15 | 石核 | 42区K21 完形 | 長 2.0 幅 1.9 | 厚 1.9 重 6.2 | | 黒曜石// | 打面を転移させ小形剥片を剥離する。最終的な石核の形態 はサイコロ状である。 | |

43区1号溝

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|---------------|------------------------|------------------------|--|--------------------|--|-----|
| 第348号 PL.14 | 1 | 鉄製品 鎌? | 一部欠損 | 長 13.5 幅 13.0 | 厚 0.3 重 54.4 | | // | 全体的に劣化が激しい。端部が上に折り曲げられる。 | |
| 第348号 PL.14 | 2 | 磨石 | 完形 | 長 10.8 幅 9.1 | 厚 4.0 重 608.0 | | 粗粒輝石安山岩// | 円盤を利用する。表面の中央付近に磨面が認められる。右 側面に最打痕が散在する。 | |

43区3号土坑

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|---------------|--------------------------|-------------------------|--|--------------------|---|-----|
| 第379号 PL.14 | 1 | 茶臼(上) | 1/2 | 直 径 18.4 幅 — | 高 13.8 重 324.0 | | 粗粒輝石安山岩// | 底面には挽き目の痕跡が明確に認められる。側面部に矩形 の挽き手孔が認められる。軸孔は中央付近が広くっており 両面穿孔と考えられる。 | |

43区173号ビット

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|---------------|----------------------------|---------------------------|--|--------------------|---|-----|
| 第389号 PL.14 | 1 | 石臼 | 1/4 | 長 (12.4) 幅 (19.4) | 厚 (8.0) 重 1257.9 | | 粗粒輝石安山岩// | 底面には挽き目の痕跡が認められず全体的に平坦である。 底面の下端に軸受孔の一部が認められる。 | |

遺構外

| 種 類 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|--------------------|---------------|----------------------|----------------------|--|---------------------|---|------|
| 第399号 PL.14 | 1 | 在地系土器 内耳鋸か | 体部破片 | | | | 夾雑物少量//黒褐色 | 内面はナデ。 | 中世 |
| 第399号 PL.14 | 2 | 在地系土器 内耳鋸か | 体部破片 | | | | 白色片を含む//に ぶい・赤褐色 | 内面はヨコナデ。外面は炭素が吸着。 | |
| 第399号 PL.14 | 3 | 在地系土器 内耳鋸か | 体部破片 | | | | 夾雑物少量//黒褐色 | 内面はナデ。外面は炭素が吸着。 | 中世 |
| 第399号 PL.14 | 4 | 瀬戸・美濃 陶器 不明 | 口縁部破片 | | | | 夾雑物微量//灰 | 口縁端部は緩やかに外側に端反る。内外面に灰釉。 | 16世紀 |
| 第399号 PL.14 | 5 | 瀬戸・美濃 陶器 皿か | 高台部破片 | | | | 夾雑物微量//灰白 | 底部内面と体部外面下位から高台端部に灰釉。貫入が入る。 高台内は無釉。高台内に輪状の重ね焼き痕。 | 16世紀 |
| 第399号 PL.14 | 6 | 瀬戸・美濃 陶器 すり鉢 | 体部破片 | | | | 夾雑物少量//灰 | 内外面に錆釉。内面にクシ目。 | |
| 第399号 PL.14 | 7 | 陶器 すり鉢 | 体部破片 | | | | 夾雑物少量//灰 | 内面にクシ目。内外面は無釉。 | 中世 |
| 第399号 PL.14 | 8 | 鉄製品 刀子 | 一部欠損 | 長 5.0 幅 1.0 | 厚 0.2 重 4.4 | | // | | |
| 第399号 PL.000 | 9 | 鉄製品 角釘 | 一部欠損 | 長 4.7 幅 0.6 | 厚 5.5 重 5.1 | | // | | |
| 第399号 PL.14 | 10 | 鉄貨 熊率元寶 | 完形 | 縦 2.4 横 2.3 | 厚 重 | | // | 面の彫は深く、字、輪、郭が明瞭。背の彫は半や浅いが、 判別が可能。 | |

第4章 中棚Ⅱ遺跡

第1節 調査に至る経緯と調査経過

第1項 調査に至る経緯

中棚Ⅱ遺跡は、吾妻川左岸の河岸段丘中位上に位置する遺跡で、ハッ場ダム建設に伴う工事用仮設道・進入路

の設置に伴い、平成11年度から13年度にかけて第1次～3次(I～V区)の調査が実施された。

この調査に次いで、旧国道145号線や旧JR吾妻線長野原変電所跡地を含む対象地域の発掘調査が、平成28年度から30年度にかけて第4次～7次(VI区～15区)として実施された。

既報告分

| | 調査年度 | 調査期間 | 調査担当者 | 調査区 | 面積 |
|---|--------|-----------------------------|-------------------|-------------|---------|
| 第1次 | 平成11年度 | 平成11年12月15日 ～平成11年12月27日 | 関 俊明 石田 真 | I区 II区 | 19,858㎡ |
| 第2次 | 平成12年度 | 平成12年4月17日 ～平成12年7月27日 | 関 俊明 石田 真 久保 学 | II区 III区 | |
| 第3次 | 平成13年度 | 平成13年4月9日 ～平成13年12月20日 | 関 俊明 石田 真 久保 学 | IV区 V区 | |
| 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第319集 ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集 久々戸遺跡・中棚Ⅱ遺跡・下原遺跡・横壁中村遺跡 平成15年8月5日刊行 編集：関 俊明 | | | | | |

本報告分

| | 調査年度 | 調査期間 | 調査担当者 | 調査区 | 面積 |
|-----|--------|---------------------------|-------------------------------------|--------------------------|---------|
| 第4次 | 平成15年度 | 平成15年5月12日 ～平成15年6月10日 | 小野和之 瀧川中男 | 8区 | 920㎡ |
| 第5次 | 平成28年度 | 平成28年5月1日 ～平成28年12月31日 | 笹沢泰史 武井 学 | VI区 7区 8区 9区 | 17,085㎡ |
| 第6次 | 平成29年度 | 平成29年4月1日 ～平成29年12月31日 | 都木直人 関 俊明 佐藤賢一 武井 学 千明 隼 梅村唯斗 | 10区 11区 12区 13区 | |
| 第7次 | | 平成30年3月1日 ～平成30年3月31日 | 斎藤利昭 | 14区 (1面) | |
| 第8次 | 平成30年度 | 平成30年4月1日 ～平成30年10月31日 | 関 俊明 佐藤賢一 武井 学 梅村唯斗 | 14区 15区 | 4,911㎡ |

第2項 調査の経過

平成28年度調査日誌(抜粋)

| | |
|--------|------------------------------|
| 5月16日 | 調査事務所用機整備 |
| 5月18日 | Ⅴ区表土掘削～1面道構確認作業開始 |
| 5月23日 | Ⅴ区1面空中写真撮影、Ⅴ区表土掘削作業開始 |
| 5月25日 | Ⅴ区2面掘り下げ作業、調査事務所設置 |
| 5月27日 | 調査区内に未取去水道管点検、掘削作業中 |
| 5月30日 | Ⅴ区2面掘り下げ作業・道構確認作業 |
| 6月1日 | Ⅴ区2面調査、Ⅴ区1面表土掘削～道構確認作業 |
| 6月3日 | Ⅴ区2面空中写真撮影、Ⅴ区2面掘り下げ作業 |
| 6月6日 | Ⅴ区2面道構確認～調査 |
| 6月15日 | Ⅴ区2面調査～空中写真撮影 |
| 6月16日 | Ⅴ区②1面表上～泥流除去作業 |
| 6月29日 | Ⅴ区西側3面掘り下げ作業 |
| 7月1日 | Ⅴ区③西側3面掘削確認、Ⅴ区東側3面掘り下げ作業 |
| 7月2日 | Ⅴ区一部埋め戻し作業 |
| 7月5日 | Ⅴ区②表土掘削～1面道構確認～調査 |
| 7月7日 | Ⅴ区②1面空中写真撮影 |
| 7月15日 | Ⅴ区②2面全景写真撮影 |
| 7月16日 | Ⅴ区②2面埋め戻し |
| 7月19日 | Ⅴ区②2面掘り下げ |
| 7月20日 | Ⅴ区③表土掘削、Ⅴ区2面調査、Ⅴ区②2面道構確認 |
| 7月28日 | Ⅴ区③全景写真撮影、Ⅴ区②2面道構確認 |
| 8月1日 | Ⅴ区③東側2面掘り下げ～道構確認 |
| 8月3日 | Ⅴ区③東側2面全景写真撮影、Ⅴ区②2面道構確認 |
| 8月5日 | Ⅴ区③東側2面埋め戻し、Ⅴ区②2面全景写真撮影 |
| 8月12日 | 作業休止(お盆休み)、重機Ⅴ区埋め戻し作業 |
| 8月19日 | Ⅴ区②2面埋め戻し |
| 8月23日 | Ⅴ区②表土掘削、Ⅴ区③西側調査 |
| 8月26日 | Ⅴ区③西側全景写真撮影 |
| 9月5日 | Ⅴ区③西側水場道構写真撮影 |
| 9月6日 | Ⅴ区西側V道構調査へ |
| 9月12日 | Ⅴ区③西側2面トレンチ調査 |
| 9月21日 | Ⅴ区表土掘削～道構確認作業 |
| 9月30日 | Ⅴ区西側V道構調査へ |
| 10月3日 | Ⅴ区③埋め戻し作業 |
| 10月12日 | Ⅴ区埋め戻し作業 |
| 10月18日 | Ⅴ区西側V道構調査、尾尻道構調査 |
| 10月31日 | Ⅴ区西側表土掘削 |
| 11月4日 | Ⅴ区西側泥流除去 |
| 11月24日 | 降雪 |
| 11月25日 | Ⅴ区③表土掘削 |
| 12月2日 | Ⅴ区③1面復旧溝(坑)調査、Ⅴ区西側2面トレンチ写真撮影 |
| 12月5日 | Ⅴ区③2面掘り下げ～道構確認 |
| 12月16日 | Ⅴ区トレンチ掘削～記録、写真撮影～埋め戻し |
| 12月19日 | Ⅴ区埋め戻し、環境整備 |
| 12月24日 | 調査事務所撤去 |
| 12月27日 | Ⅴ区埋め戻し作業、年度内調査終了 |

平成29年度調査日誌(抜粋)

| | |
|-------|-------------------------|
| 4月4日 | 顔合わせ～1区現場視察 |
| 4月6日 | J V現地打ち合わせ、調査事務所設置 |
| 4月10日 | 調査機材搬入 |
| 4月14日 | Ⅰ0区①表土掘削開始 |
| 4月20日 | Ⅰ0区①東側1面泥流下道構確認作業 |
| 4月21日 | Ⅰ0区①西側2面道構確認作業 |
| 4月24日 | Ⅰ0区①西側2面景観調査 |
| 4月26日 | Ⅰ0区①東側1面細砂・石組調査 |
| 5月8日 | Ⅰ0区①1面全景写真撮影 |
| 5月18日 | Ⅰ0区①2面調査、Ⅰ2区試掘トレンチ |
| 5月29日 | Ⅰ0区①2面全景写真撮影、北側1面泥流除去作業 |
| 5月30日 | Ⅰ0区①2面調査、Ⅰ0区②2面道構確認 |

| | |
|--------|--------------------------------|
| 6月1日 | Ⅰ0区①2・3面調査(土坑)、Ⅰ0区②1面泥流除去 |
| 6月15日 | Ⅰ0区①3面調査～空掘、Ⅰ0区②1面泥流下空掘 |
| 6月19日 | Ⅰ0区②1面泥流下掘削調査 |
| 6月23日 | Ⅰ0区②1面泥流除去作業～2面道構確認作業 |
| 7月3日 | Ⅰ0区②2面道構(窪穴・建物・土坑等)調査 |
| 7月20日 | Ⅰ0区②2面道構調査～空中写真撮影 |
| 7月24日 | Ⅰ0区②2面道構調査、Ⅰ0区①3面道構確認～調査 |
| 8月1日 | Ⅰ0区③3面道構確認～調査、Ⅰ0区①2面道構確認 |
| 8月10日 | Ⅰ0区③3面空中写真撮影 |
| 8月14日 | 作業休止(お盆休み) |
| 8月21日 | Ⅰ0区①2面道構確認～調査 |
| 8月28日 | Ⅰ0区②2面道構確認～調査 |
| 8月30日 | Ⅰ0区①2面調査、Ⅰ0区②掘り下げ |
| 9月14日 | Ⅰ0区①2面調査、Ⅰ0区③(変電所下)表土掘削開始 |
| 9月20日 | Ⅰ0区②2面空中写真撮影 |
| 9月22日 | Ⅰ0区①2面調査、Ⅰ0区③2面道構確認～調査 |
| 9月22日 | Ⅰ0区③2面調査～空中写真撮影 |
| 10月30日 | Ⅰ0区2面調査、3面トレンチ調査 |
| 11月1日 | Ⅰ0区2面調査、3面トレンチ調査 |
| 11月2日 | Ⅰ0区1面泥流除去作業、3面トレンチ調査 |
| 11月13日 | Ⅰ0区1面トレンチ、2面道構確認、Ⅰ1区1～2面トレンチ |
| 11月14日 | 7区・10区2面道構確認～調査、Ⅰ1区1～2面トレンチ |
| 12月1日 | Ⅰ0区2面道構調査、Ⅰ1区1面泥流除去作業 |
| 12月11日 | Ⅰ0区2面道構調査、Ⅰ1区3面・13区トレンチ調査 |
| 12月18日 | Ⅰ0区2面道構調査、3面トレンチ調査、13区トレンチ埋め戻し |
| 12月25日 | 機材撤収 |
| 12月27日 | 年度内調査終了 |

平成29年度調査日誌(抜粋)

| | |
|--------|-----------------------------|
| [冬季調査] | |
| 3月1日 | 調査器材準備、重機搬入～Ⅰ4区1面表土掘削開始 |
| 3月2日 | Ⅰ4区1面表土掘削・道構確認作業 |
| 3月6日 | Ⅰ4区1面表土掘削・道構確認～第一面道構(復旧坑)掘削 |
| 3月12日 | Ⅰ4区1面第一面道構(復旧坑)掘削～空掘準備 |
| 3月14日 | Ⅰ4区1面空掘～調査器材撤去 |

平成30年度調査日誌(抜粋)

| | |
|--------|--|
| 4月3日 | J V打ち合わせ |
| 4月4日 | 現地視察 |
| 4月6日 | Ⅰ4区2面重機掘削開始 |
| 4月9日 | Ⅰ4区2面重機掘削～道構確認作業 |
| 4月16日 | Ⅰ4区南西1面表土除去、西2面重機掘削～道構確認作業 Ⅰ4区東2面全景写真撮影 |
| 4月17日 | Ⅰ4区南西1面表土除去～道構確認～調査、西2面道構調査 |
| 4月19日 | Ⅰ4区南西1面道構調査～全景写真撮影、西2面道構調査 |
| 4月27日 | Ⅰ4区西2面道構調査～全景写真撮影 |
| 5月21日 | Ⅰ4区西端①因国道撤去作業 |
| 5月23日 | Ⅰ4区調査終了埋め戻し作業 |
| 6月15日 | Ⅰ4区西端表土除去作業 |
| 6月25日 | Ⅰ4区西端表土除去～道構確認、(1面道構なし) |
| 6月26日 | Ⅰ4区西端2面道構確認～調査 |
| 6月28日 | Ⅰ4区西端2面調査～全景写真撮影 |
| 6月29日 | Ⅰ4区西端調査終了～埋め戻し作業 |
| 8月28日 | Ⅰ5区調査準備、調査担当者交代 |
| 9月18日 | Ⅰ5区表土掘削開始 |
| 9月19日 | Ⅰ5区表土掘削～道構確認作業 |
| 10月4日 | Ⅰ5区表土掘削～道構確認～道構調査 |
| 10月15日 | Ⅰ5区表土掘削～道構確認～道構調査、畑跡全景写真撮影 |
| 10月18日 | Ⅰ5区1面全景写真、空中写真撮影 |
| 10月19日 | Ⅰ5区2面トレンチ調査 |
| 10月31日 | Ⅰ5区2面トレンチ全景写真撮影、機材撤収 年度内作業終了 |

第3項 調査の方法

平成6年より始まったハッ場ダム建設に伴う発掘調査事業の実施に際し、遺跡の略称やグリッドの設定など、関連する調査全体に共通性をもたせるために「ハッ場ダム関連埋蔵文化財発掘調査方法」が設定された。本遺跡の調査も、これに準拠して行われた。

遺跡の略称と番号については、ハッ場ダム関連を示すY Dに続き、地区番号(1=川原畑、2=川原湯、3=横壁、4=林、5=長野原)、ハイフン以下に地区毎の調査順番号が付与された。本遺跡の略称は、「Y D 4-07」である。

測量の基準座標系としては、関連遺跡と同様に2002年4月改正以前の「旧日本測地系」に基づく平面直角座標系DX系を使用した。

グリッドの設定にあたり、吾妻町大柏木付近(X = +58,000 Y = -97,000)を原点とした1km方眼の大グリッドを60区画(「地区」)。この1km方眼の中を南東端から西へ10列、北へ10列の100m単位の中グリッドに区切る「区」(南東より1～100番を付す)。この「区」の中を4m四方ごとに625区画に分割した「グリッド」が設定され

た。各グリッドの呼称については、南東端を基準に西へA～Y、北へ1～25を付し、区画の名称はアルファベット(ハイフン)数字で呼称する。

なお、報告書の挿入中に位置を記すために、4mごとのグリッドに満たない単位は、グリッドの値にメートル単位の距離を加算し、「グリッド値」+1～2mの方法で表記した。

遺構や出土遺物の記録方法として、遺構平面図測量については、測量用デジタル機器を用いたデジタル測量を測量専門業者に委託する形で行った。補助的なアナログ断面図測量等についても、最終的にデジタル化を図り、整合性を保った。

記録写真については、調査担当者がデジタル一眼レフカメラ(800～1200万画素相当)と中型アナログカメラ(6×7フローニー判フィルム)を用いて撮影を行った。

また、空中写真撮影については、保有の撮影用ドローン機を用いて調査事務所職員が静止画・動画の撮影を行った。

遺構の掘削作業ならびに遺構測量作業については、以下の専門業者に委託を行った。

| 調査年度 | 調査区 | J V および代理人 | 測量委託 |
|--------|--------------------|--|-------|
| 平成28年度 | 6区・7区 8区・9区 | 山下工業・シン技術コンサル・毛野考古学研究所 吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体 代理人 土井道昭・山本千春(シン技術コンサル) | (株)測研 |
| 平成29年度 | 10区・11区 12区・13区 | 山下工業・シン技術コンサル・毛野考古学研究所 吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体 代理人 土井道昭(シン技術コンサル) | (株)測研 |
| | 14区 1面 | 山下工業・シン技術コンサル・毛野考古学研究所 吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体 代理人 吉澤 学(シン技術コンサル) | (株)測研 |
| 平成30年度 | 14区 2面 15区 | 山下工業・シン技術コンサル・毛野考古学研究所 吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体 代理人 山本千春(毛野考古学研究所)、竹中洋治・市 隆之(シン技術コンサル) | (株)測研 |

第2節 基本土層

中棚Ⅱ遺跡の基本堆積土層は、以下のとおりである。平成11～13年度に行われた1～3次調査時の成果との整合性を保つため、既報告分に準拠する。

I層：表土 近現代耕作土

Ⅱ層：浅間天明泥流堆積物 暗褐色を呈し、最大径30cm大の円礫、火山から噴出した岩片を多量に含む

Ⅱ・Ⅱ'層：浅間天明泥流内の逆礫化構造を呈する砂層

Ⅲ層：浅間A軽石(As-A) 径1～2mm大の発泡した軽石を主とする白色軽石層

Ⅳa層：灰暗褐色砂質土 天明泥流直下畑の耕作土

Ⅳb層：灰褐色砂質土 寛保年間の土砂崩れ土、又は「子の歳の水害」堆積土

Va層：黒色～灰暗褐色砂質土 天明泥流直下畑の耕作土

Vb層：暗褐色砂質土 赤褐色鉄分凝固、径10～50mm大の垂角礫を含む

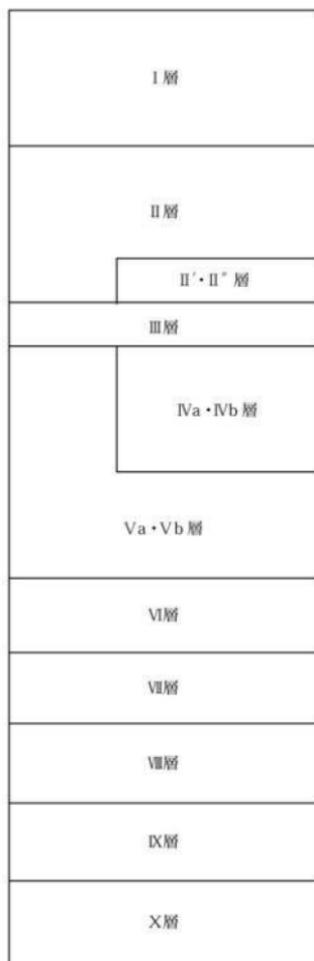
Ⅵ層：黒色土 少量の白色軽石・炭化物を含む

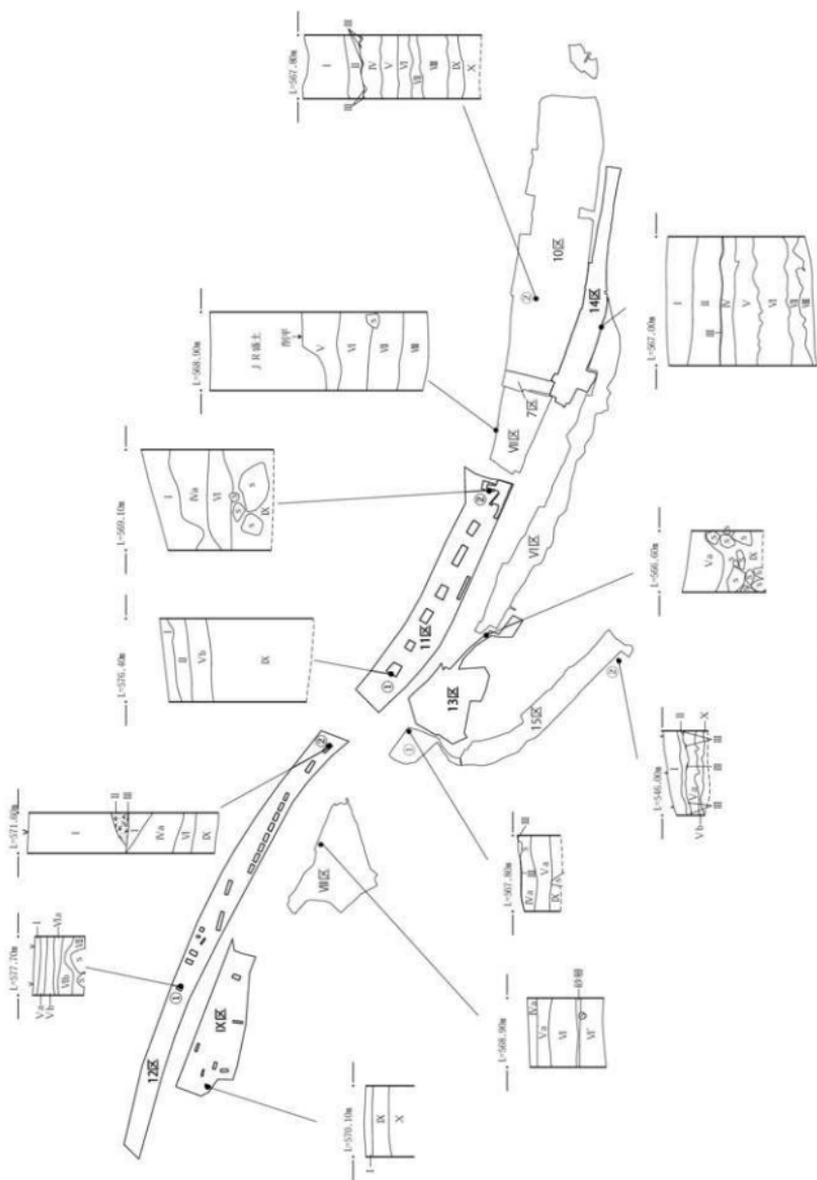
Ⅶ層：暗褐色土 径30～50mm大の垂角礫を含む礫層

Ⅷ層：黒色土 少量の炭化物を含み、下位に径300mm大の垂角礫層を有する

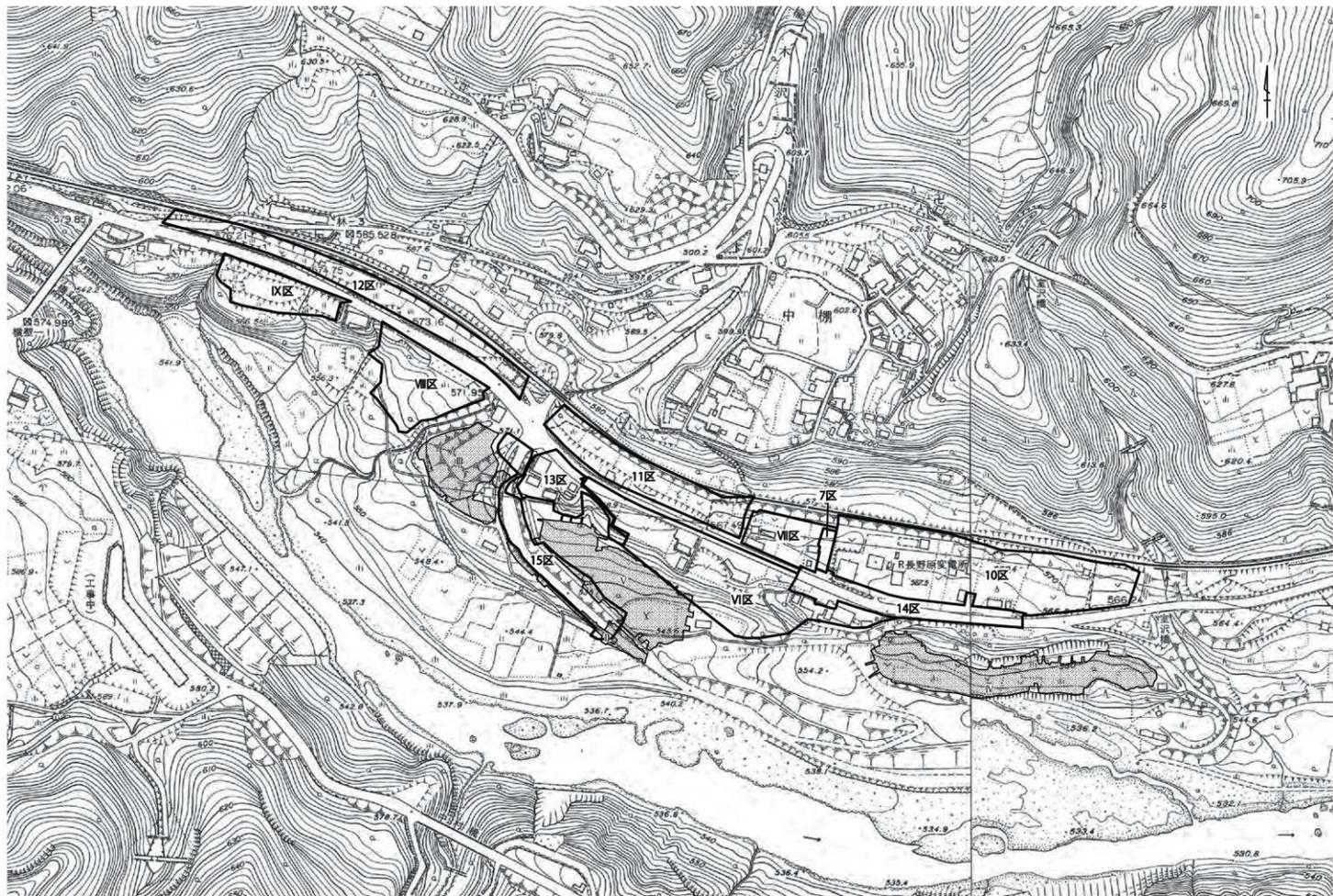
Ⅸ層：暗黄褐色ローム二次堆積土 部分的に径300mm大の垂角礫を含む

X層：黄褐色砂土 径300mm大の垂角礫を層状に含む河床堆積物

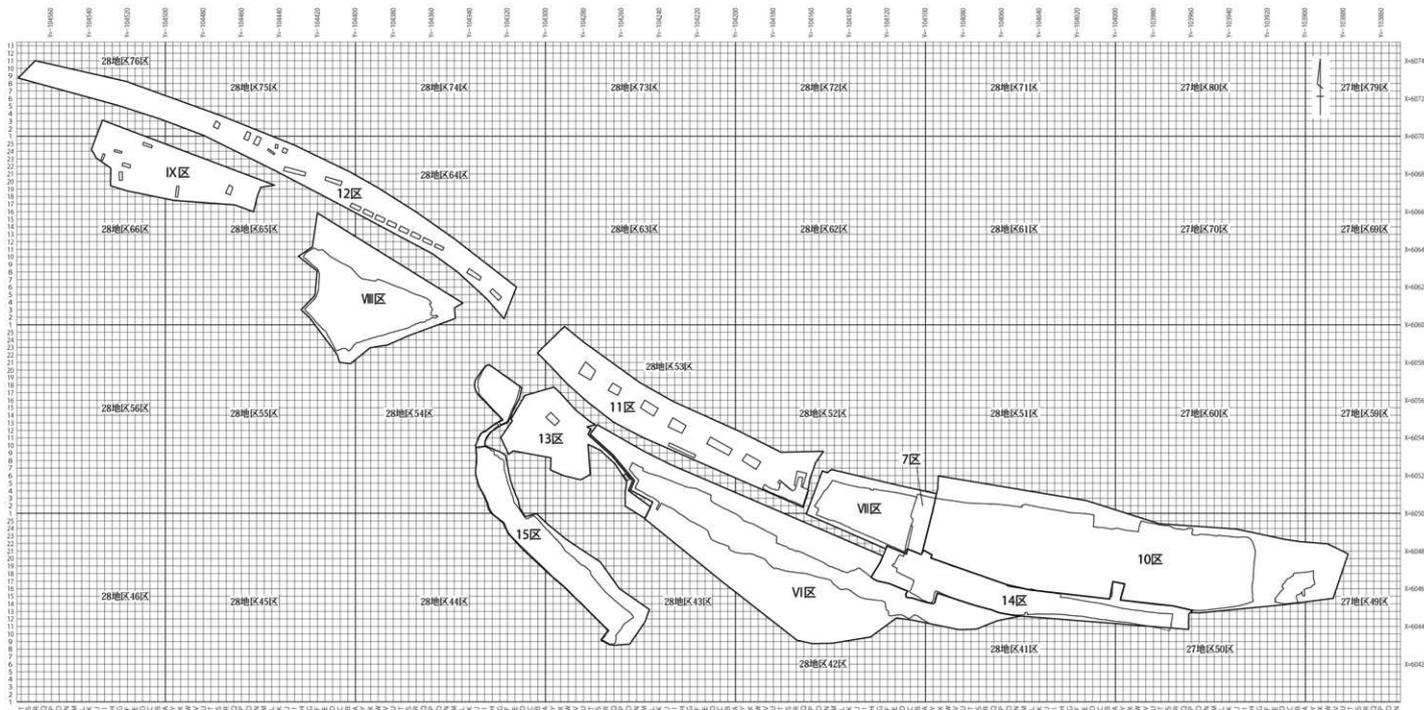




第43図 中棚Ⅱ遺跡 基本土層図



第44图 中棚口道路 调查区图



第45図 中欄II遺跡 クリッド図

第3節 検出された遺構と遺物

第1項 天明泥流後の遺構

1 復旧坑・復旧坑群

天明三年の浅間山噴火に伴う泥流災害によって埋め尽くされた田畑の復興に際し、厚く流下・堆積した泥流土・火山噴出物の除去と耕作土の復旧を目的に掘り込まれたもので、連続する土坑状・溝状を呈する遺構である。泥流上から旧耕作地の旧地表面下まで坑を穿ち、旧耕作土を取り出し、坑を泥流土で埋め戻す。この作業の連続で当該地の天地返しを行うものである。当然のことながら、相当の作業量となるため、掘削幅・掘削深度・移動量は必要最小限にとどめられる。

なお、発掘調査時に「復旧溝」と称されていたものを、「復旧坑」の名称に改めた。併せて調査毎に付けられた遺構を統合した。なお、遺構の位置は付図を参照のこと。

1号復旧坑(旧:10区1号復旧溝)(第46図、PL.21)

位置:6号畑内上面

規模・形状:巾22～25cm、長さ1.4m、残存深度80～100cm程を測る。

特徴:周囲に群を成す復旧坑はなく、単独で設けられる。小範囲の限られた場所の復旧が目的と考えられる。

1・2号復旧坑群(旧:Ⅵ区1面1・2号復旧溝群)(第46図、PL.21)

位置:17号畑内上面

規模・形状:巾50～200cm、長さ4～15m、残存深度20～40cm程を測る。

特徴:17号畑の復興を目的とする。被災前の畑区画に沿い、17号畑の北西から北東部にわたる一部に復興がなされる。隣接する16号畑については復興の痕跡はない。

3・4号復旧坑群(旧:Ⅶ区1面3・4号復旧溝群)(第48・49図、PL.22)

位置:18号畑内上面

規模・形状:巾30～100cm、長さ0.5～12m、残存深度10～30cm程を測る。

特徴:18号畑の復興を目的とする。被災前の畑区画に沿い、検出された18号畑がほぼ全域にわたり復興がなされているが、4号復旧坑群に関しては、他の復旧坑群と異

なり、並行する溝状を呈さず、一部は放射状を呈する。

5号復旧坑群(旧:Ⅵ区5号復旧溝群)(第50図)

位置:15号畑内上面

規模・形状:巾30～100cm、長さ5～9m、残存深度10～20cm程を測る。

特徴:15号畑の東端部を復興の目的とする。被災前の畑区画のサクと直行方法に、一部が平行せず屈曲して掘られる。畑の西半部復興が行われていない。

6・12号復旧坑群(旧:Ⅵ区6号復旧溝群・10区国道下1面12号復旧溝群)(第51・55図、PL.23)

位置:13号畑内上面

規模・形状:巾30～50cm、長さ2.5～9m、残存深度10～40cm程を測る。

特徴:13号畑の西半部を復興の目的とする。被災前の畑区画のサクと直行方法に、やや間隔をあけて掘られる。畑の東半部は方向・規模が異なる7・11号復旧坑群にて復興が行われている。

7・11号復旧坑群(旧:Ⅵ区7号復旧溝群・10区国道下1面11号復旧溝群)(第52・53図)

位置:13号畑内上面

規模・形状:巾30～120cm、長さ2.5～8m、残存深度20cm程を測る。

特徴:13号畑の東半部を復興の目的とする。被災前の畑区画・サク方向に沿い、残る西半部は6・12号復旧坑群にて復興が行われている。また、東側に隣接する12号畑同方向同規模の8・10号復旧坑群が連続する。

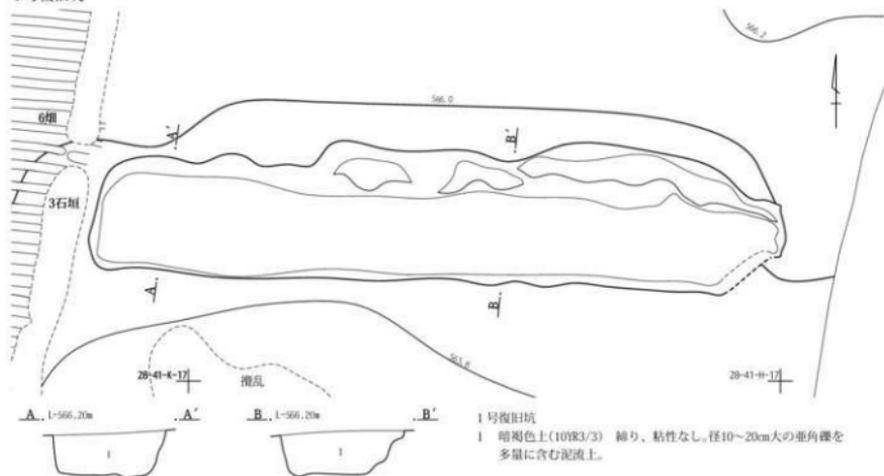
9号復旧坑群(旧:10区1面9号復旧溝群)(第54図、PL.25)

位置:4・5号畑内上面

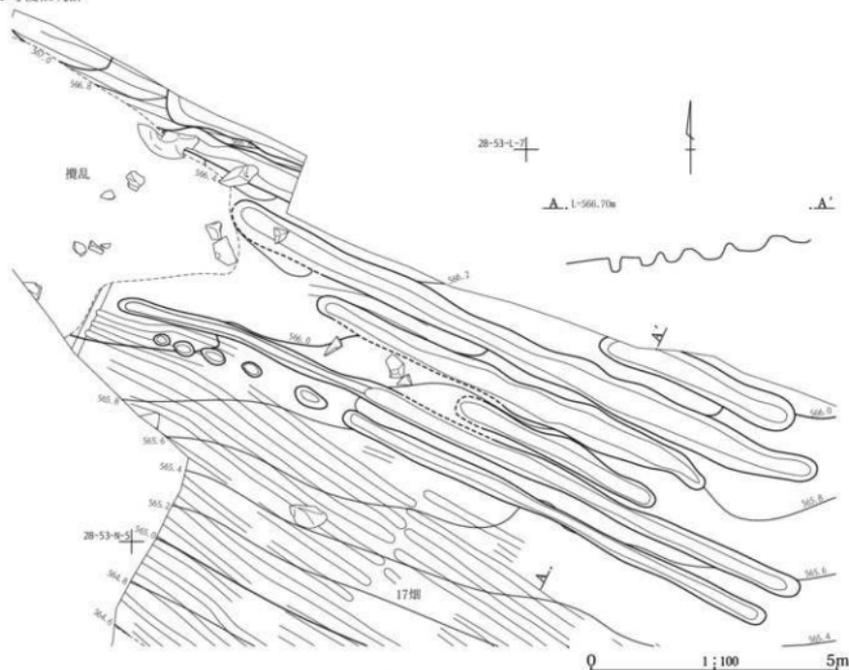
規模・形状:巾50～80cm、長さ6～13m、残存深度20～30cm程を測る。

特徴:4・5号畑の復興を目的とする。被災前の畑区画に沿い、5号畑は全域を、4号畑は半分ほどの範囲にわたり復興が行われている。西側に隣接する6号畑については復興の痕跡はない。

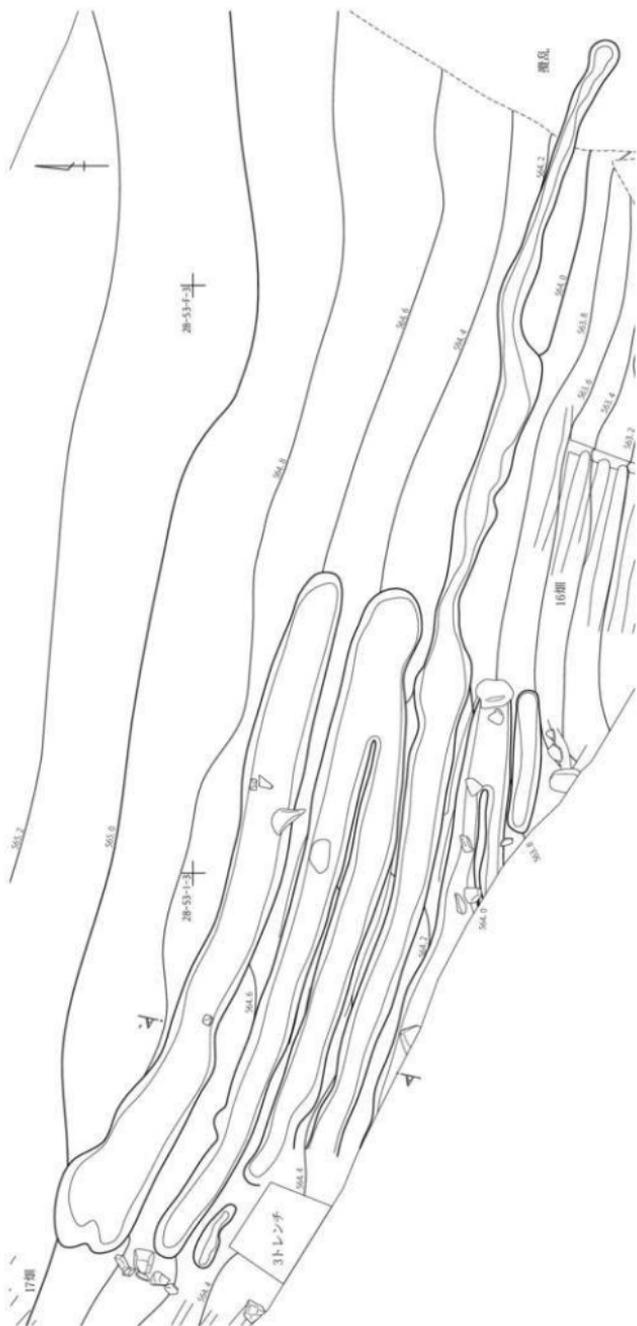
1号復旧坑



1号復旧坑群

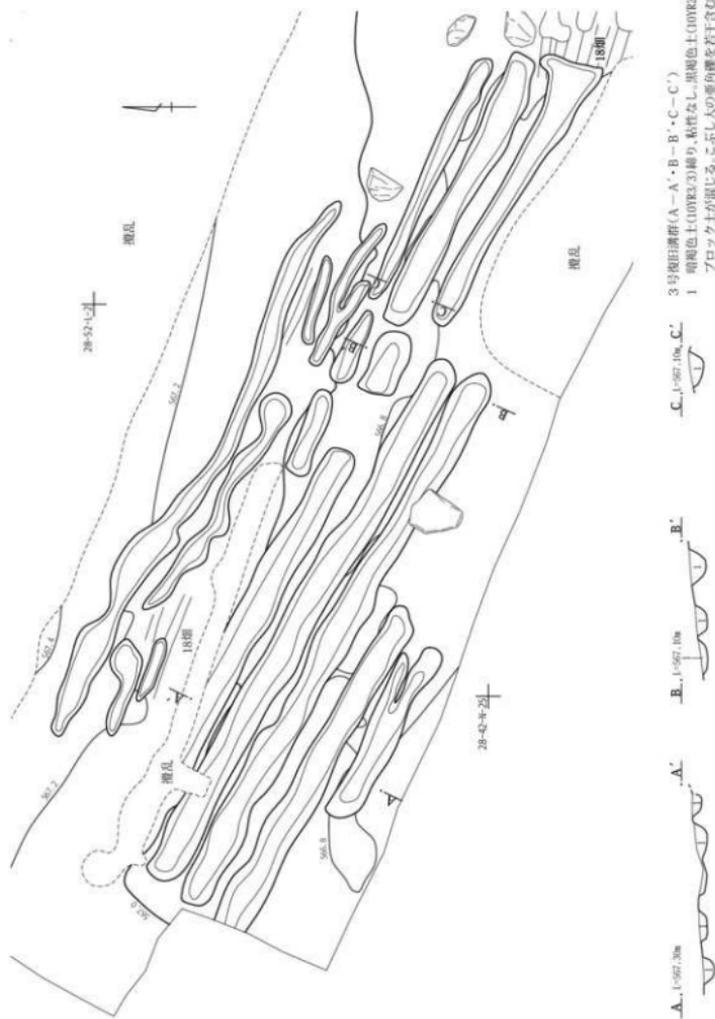


第46図 1号復旧坑・1号復旧坑群 平断面図



A-A, 1:50.2m

第478 2号復田坑群 平断面図



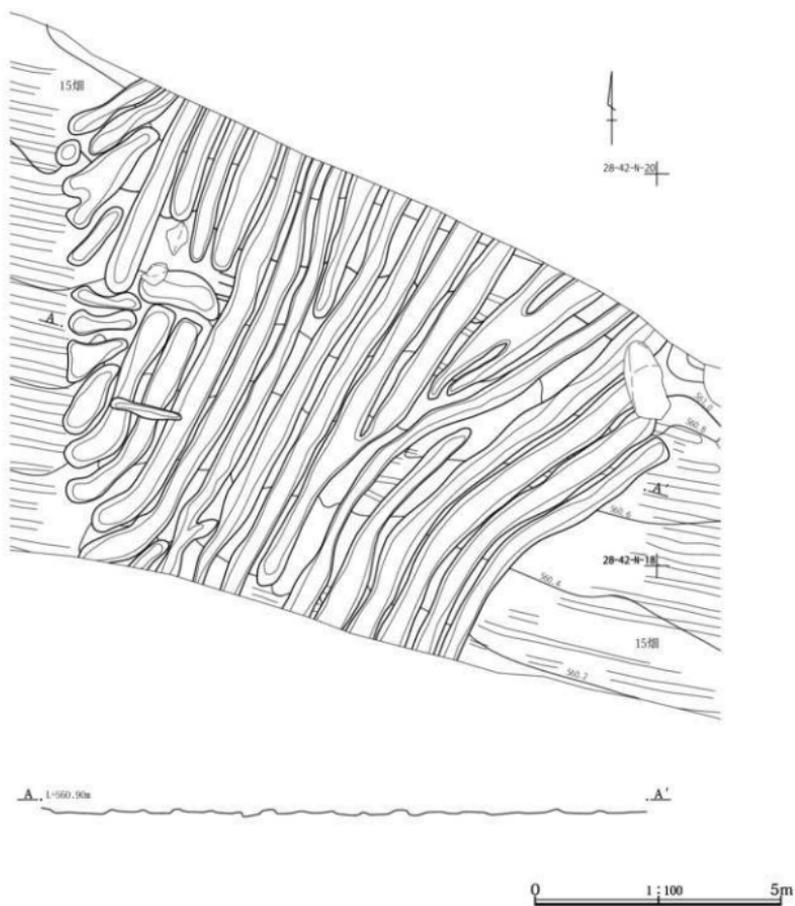
3号復旧遺群(A・A'・B・B'・C・C')
 1 暗褐色土(00R33)塗り、赤褐色土(00R27)の組上りのブロック状が覆っている。こし大の瓦片を若干含むが、1~20cmと大きさがまちまち、泥流をそのまま捨てているため、泥流と雑を混同していない。



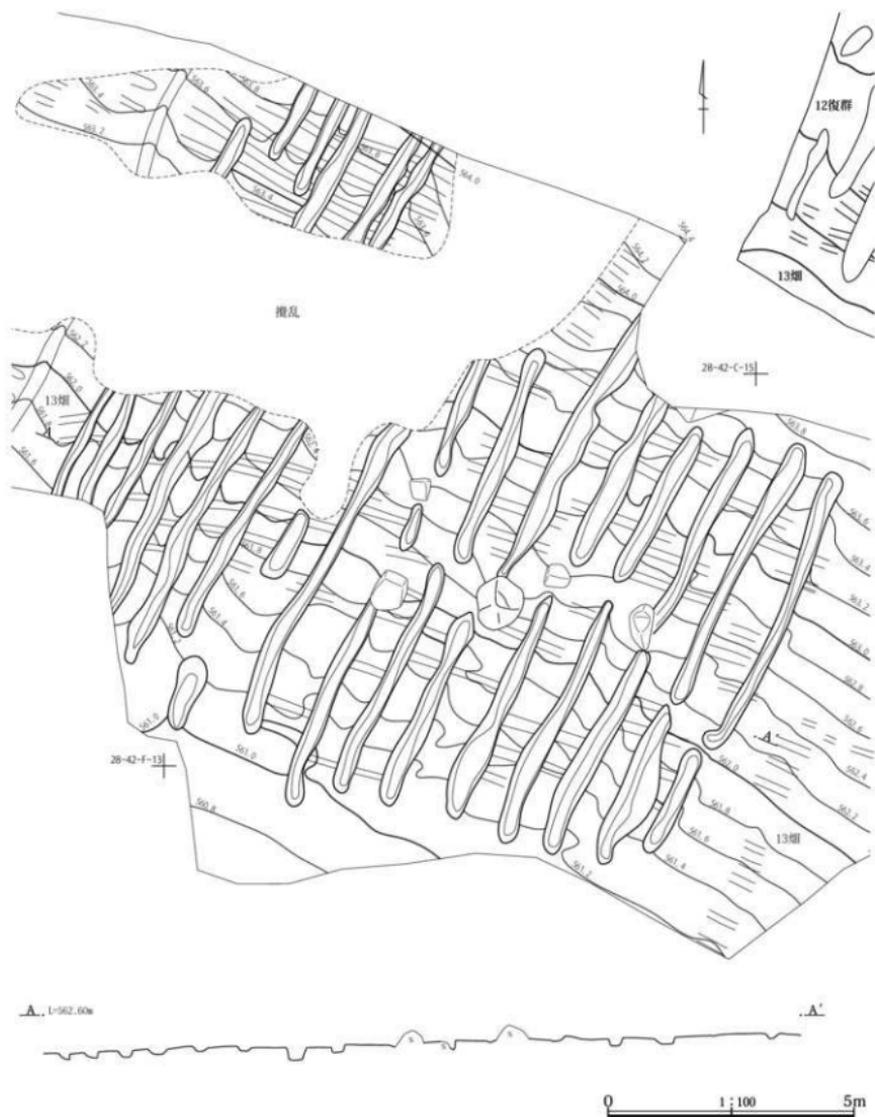
第48図 3号復旧遺群 平面図



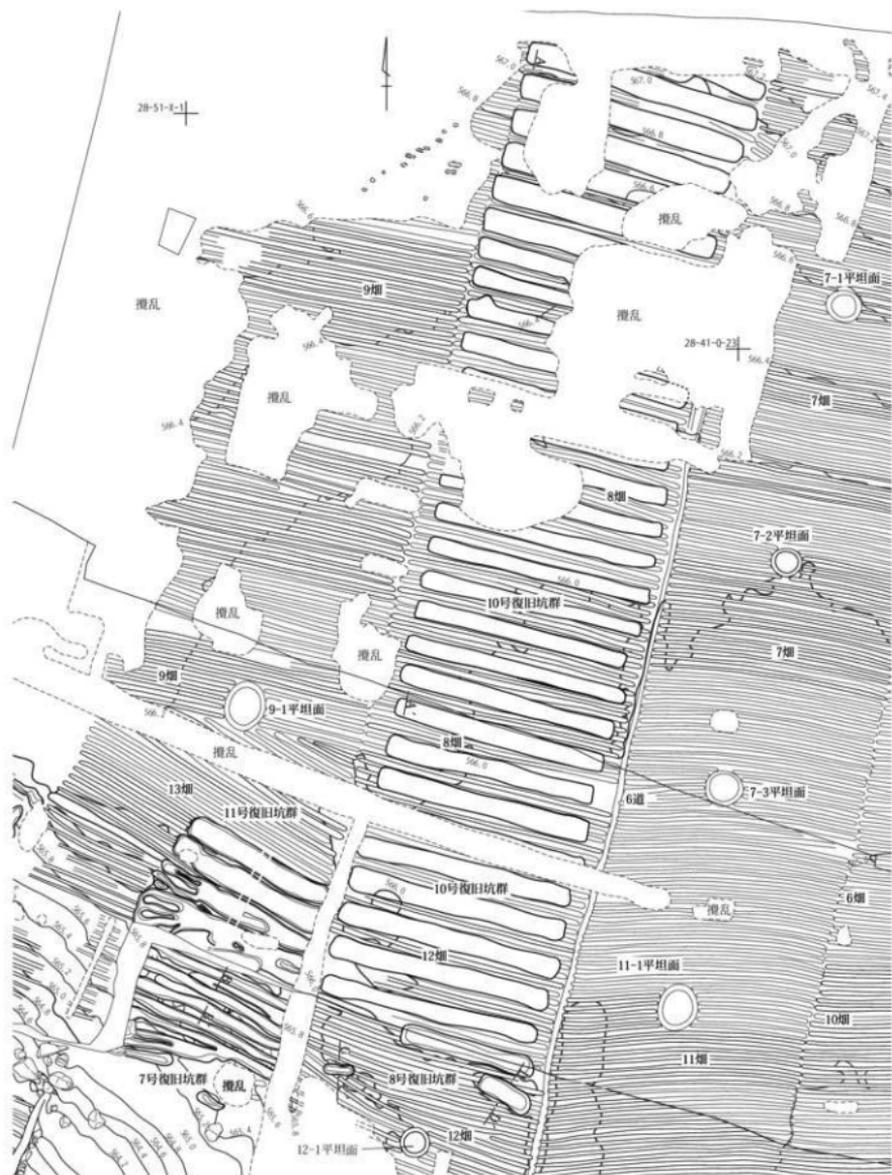
第49図 4号堀田丘群 平面図



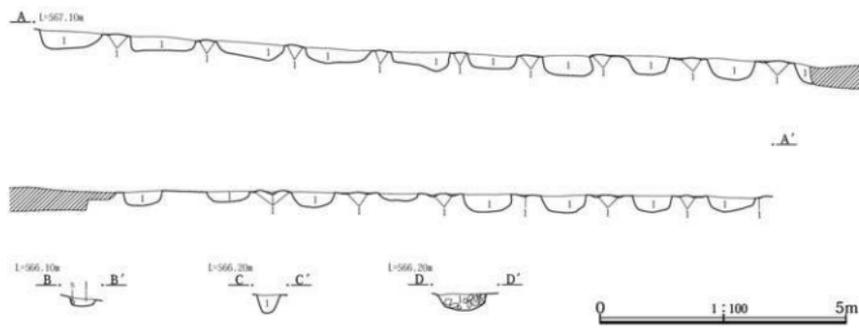
第50图 5号復旧坑群 平断面图



第51図 6号復旧坑群 平面図



第52図 7・8・10・11号復旧坑群 平面図



10号復旧坑群(A-A')・7号復旧坑群(B-B')

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックとAs-A軽石を少量含む。崩れやすい。礫はほぼない。小石を含む。

8号復旧坑群(C-C')

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックとAs-A軽石を少量含む。崩れやすい。下層には礫が多くなる。5~20cm大の歪角礫を大量に含む。

8号復旧坑群(D-D')

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックとAs-A軽石を少量含む。崩れやすい。礫はほぼない。小石を含む。

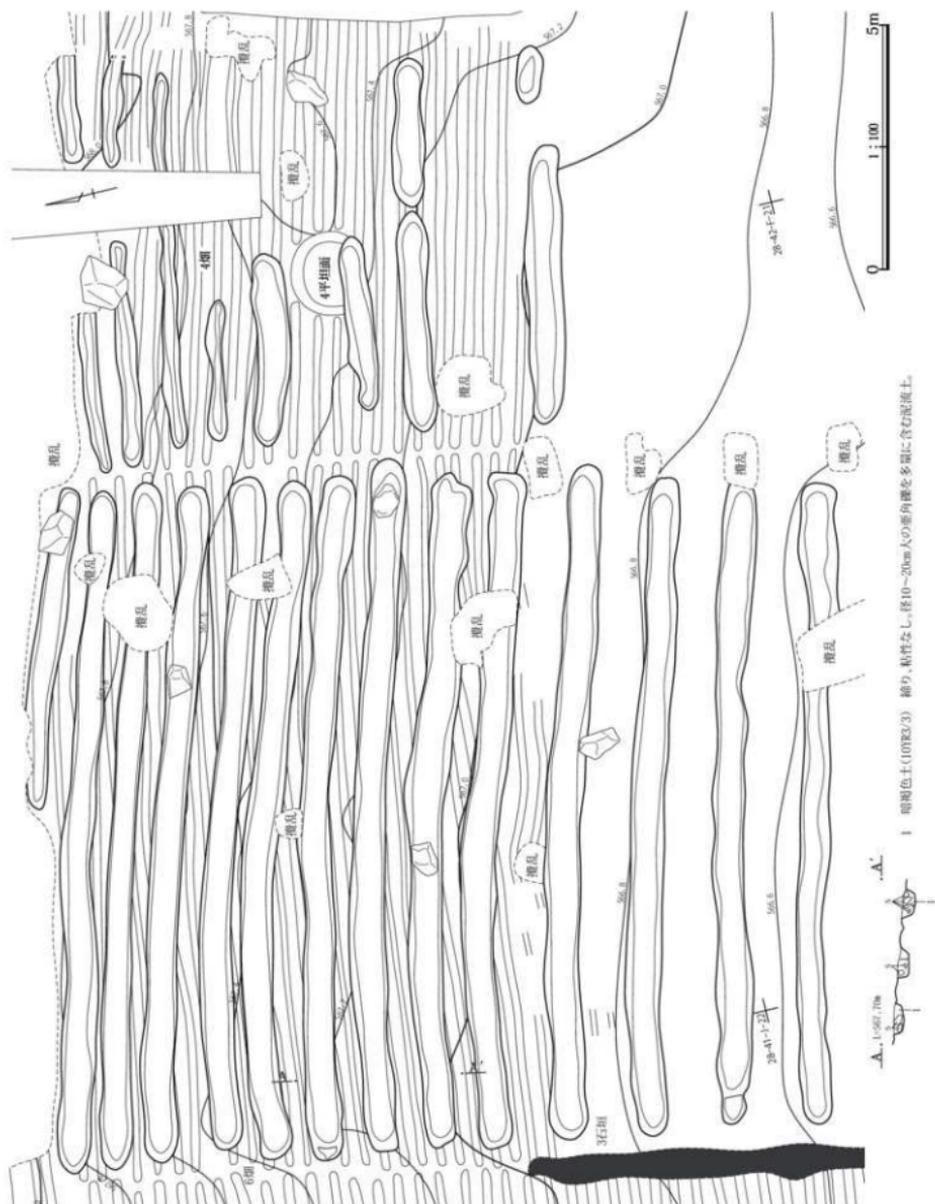
第53図 7・8・10号復旧坑群 断面図

8・10号復旧坑群(旧：Ⅵ区8号復旧溝群・10区国道
下1面10号復旧溝群)(第52・53図、PL.24・26)

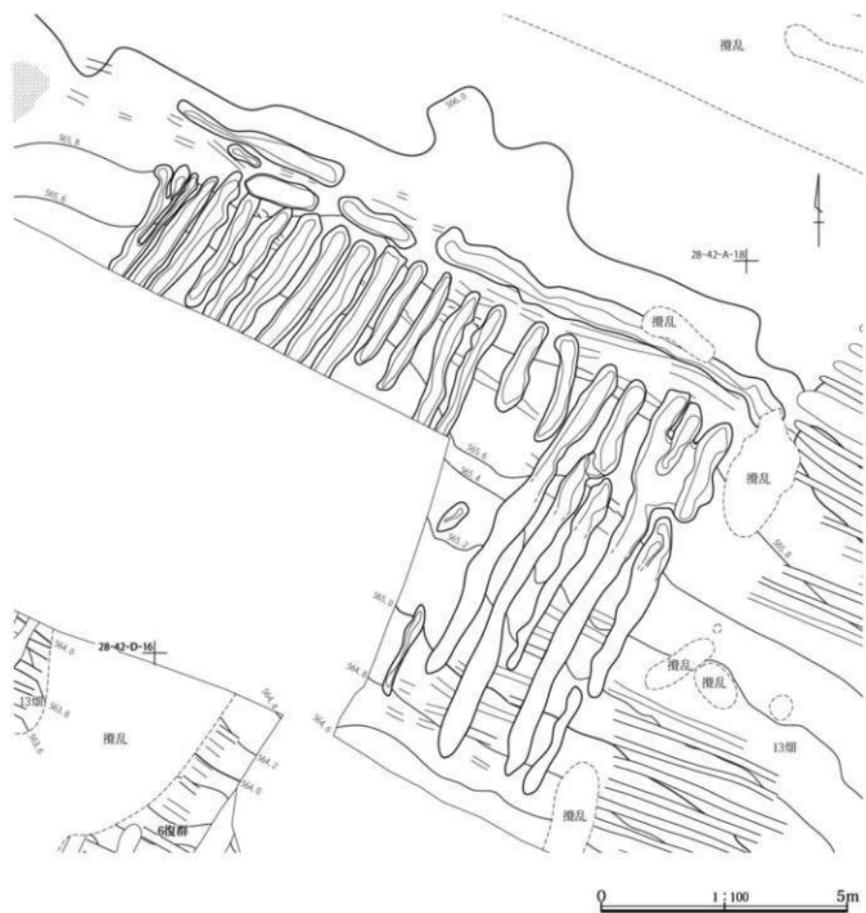
位置：8・9・12号畑内上面

規模・形状：巾80~120cm、長さ2.5~12m、残存深度
20~40cm程を測る。

特徴：8号畑と12号畑の復興を目的とする。被災前の畑
区画に沿い、8号畑のほぼ全域にわたり復興がなされる。
隣接する9号畑・7号畑については復旧の痕跡は認めら
れない。12号畑は、被災前の畑の区画に沿い、北半分
の復興が行われている。



第54図 9号復旧坑群 平面断面図



第55図 12号復旧坑群 平面図

第2項 天明泥流・軽石直下の遺構

1 畑

天明三年浅間火山災害(As-A軽石降下、泥流下)堆積物の直下で検出される畑は、立地条件により、その様相が大きく異なる。河岸段丘上に形成された僅かな平坦地や緩斜面を利用し、露出する邪魔な礫は石垣に積み上げ、道脇に並べ、ヤックラに集めて開墾し、耕作を行った様子を随所で見ることができる。

また、天明三年浅間火山災害の降下・流下後の復旧については、全面にわたり復旧がなされてはおらず、畑により復旧の度合いが異なる。

1号畑・2号畑(旧:10区1面1号畑・2号畑)(第56・57図、PL.27)

位置:27-50-D-16周辺

規模:1号畑=(6m)×(6m)

2号畑=5.5m×7m

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:1号畑の南側に2号畑が連なる。地形は1号畑より2号畑に向かい傾斜する。畑地は南北方向に傾斜し、

サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、東側に72号ヤックラ、2号畑の南側に2号石垣が存在する。

3号畑(旧:10区1面3号畑)(第56・57図)

位置:27-50-P-21周辺

規模:(3m)×(3.5m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:きわめて狭域の畑地で、南北方向に傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。東側に73号ヤックラが存在する。

4号畑・5号畑(旧:10区1面4・5号畑)(第58図、PL.27)

位置:28-41-J-24周辺

規模:4号畑=12m×14.5m

5号畑=8m×(10m)

埋没土:直上にAs-A軽石と泥流が堆積。

特徴:4号畑の西側に5号畑が連なり、さらに6号畑へと続く。関連する遺構として、4号畑内に4-1号平坦面が存在する。

天明泥流下災害後、被災前の畑の区画に沿い、サク敵列と同方向に5号畑は全域を、4号畑は半分ほどを9号復旧坑群が重複している。

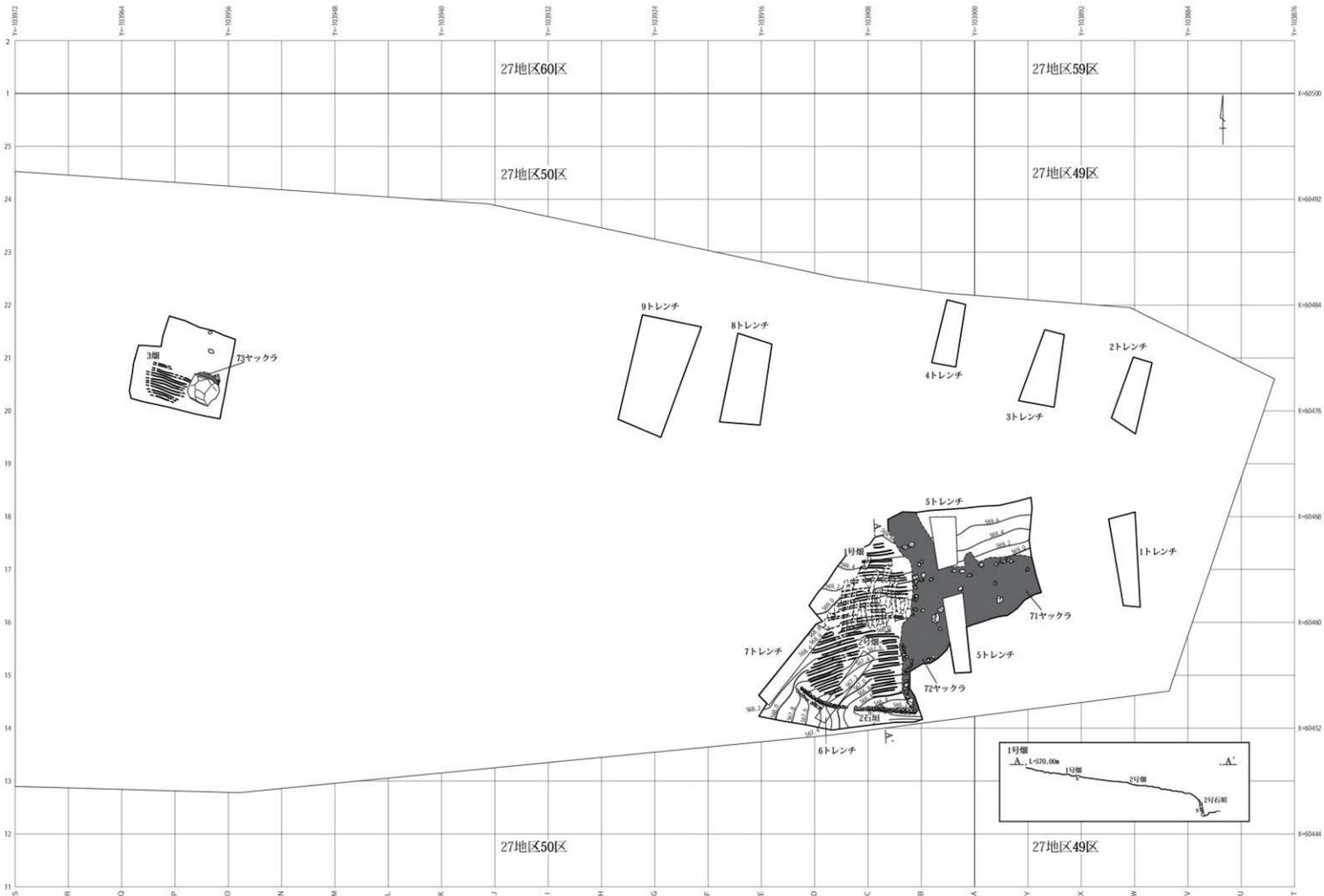
1・2号畑



3号畑



第56図 1・2号畑、3号畑 平面図



第57図 10区東端部1面 全体図

6号畑・10号畑(旧:10区・10区国道下1面6号畑、VI

区・10区国道下1面10号畑)(第59・61図、PL.27・29)

位置:28-41-Q-22周辺

規模:6号畑=14m×(45m)

10号畑=15m×(13.5m)

埋没土:直上にAs-A軽石と泥流が堆積。

特徴:4・5号畑の西に連なる。6・10号畑の西側には隣接して7・11号畑があり、6号道を隔てて8・12号畑、9・13号畑へと続く。畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、6号畑内に6-1・2・3・4号平坦面が、10号畑内に10-1・2号平坦面が存在する。また、6号畑の西側には、3・4号石垣が展開する。

天明泥流下災害後は、復旧坑群の掘削による復旧は

行われていない。

7号畑・11号畑(第59・61図、PL.28・29)

(旧:10区・10区国道下1面7号畑、VI区・1面11号畑)

位置:28-41-P-14周辺

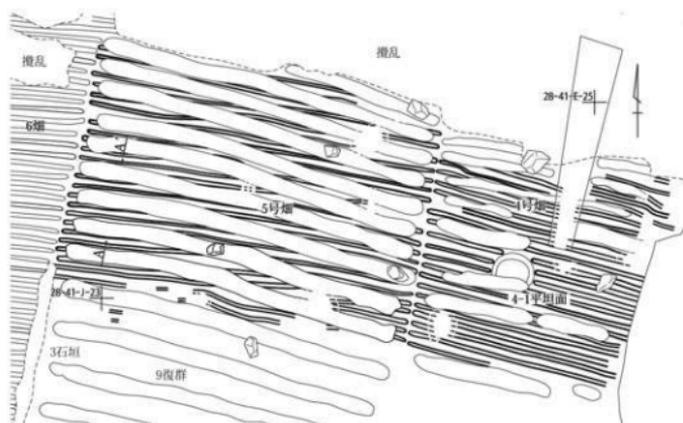
規模:7号畑=12.5m×(46m)

11号畑=12.5m×(16m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

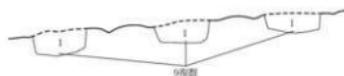
特徴:6・10号畑の南側に隣接し、西側は6号道を挟んで8・12号畑に続く。畑地はほぼ平坦で、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、7号畑内に7-1・2・3号平坦面が、11号畑には11-1号平坦面が在り、南側の両畑中間部に10-2号平坦面が在る。

また、畑の西端部を6号道が通る。

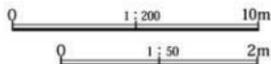


A, 1=567.70m

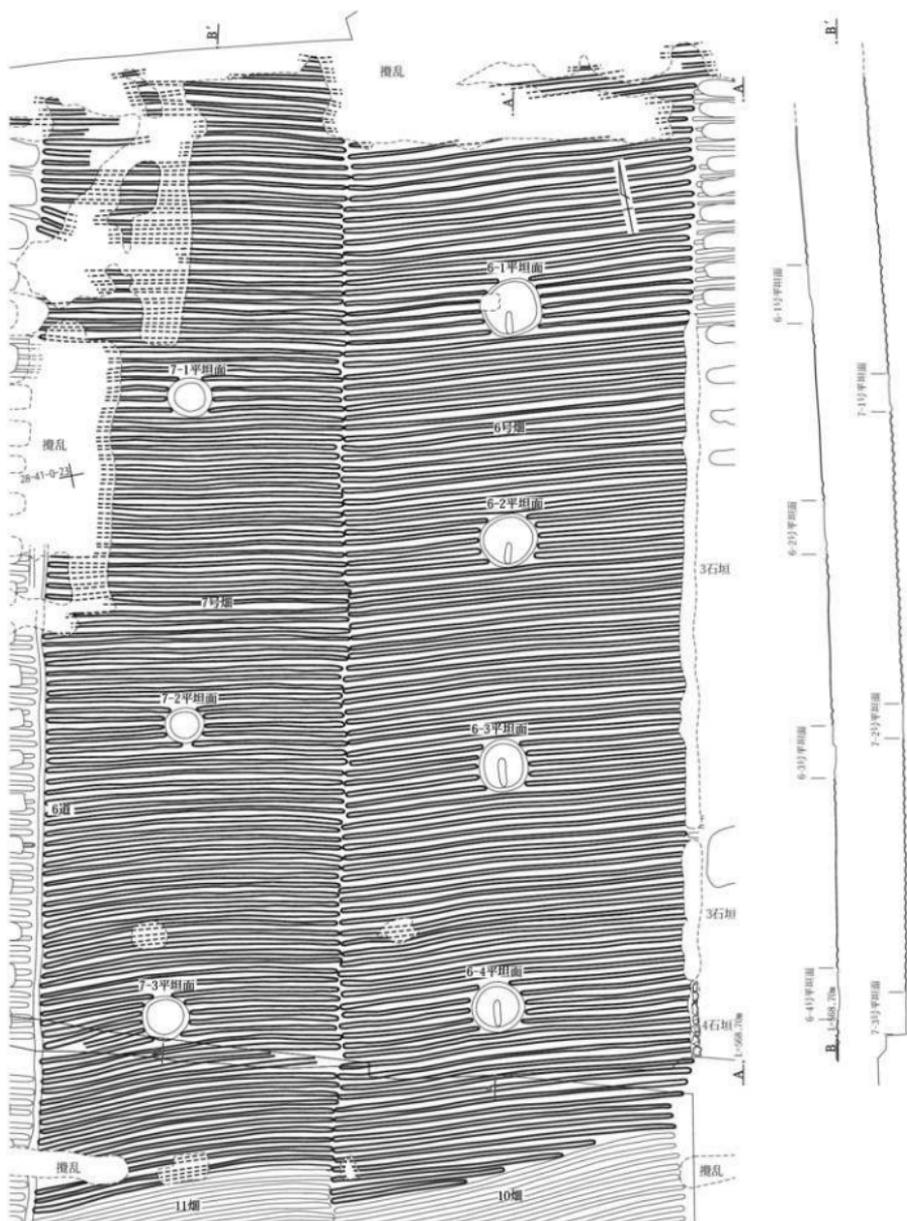
A'

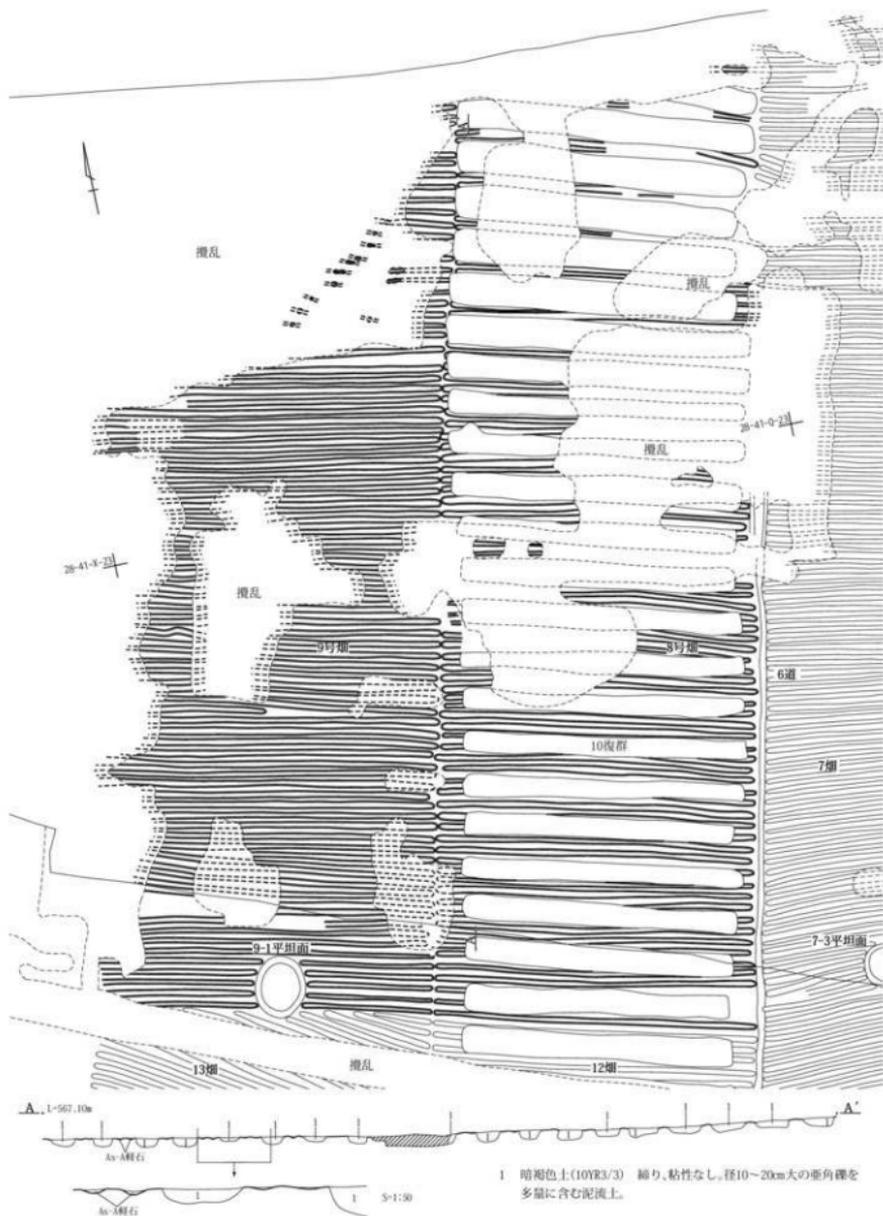


1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし、径10~20cm大の垂角礫を多量に含む泥流上。

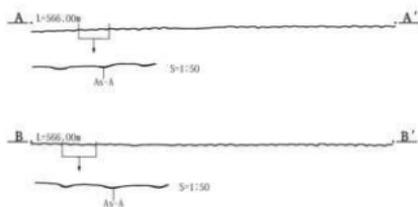
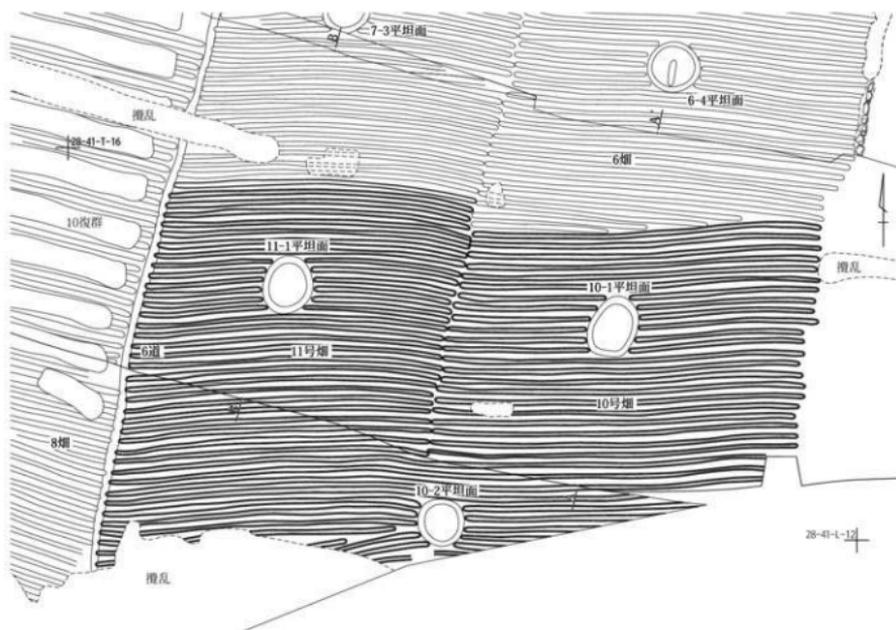


第58図 4・5号畑 平面図





第60図 8・9号畑 平断面図



0 1:200 10m

0 1:50 2m

8号畑・12号畑(旧:10区・10区国道下1面8号畑、Ⅵ区・10区国道下12号畑・14区)(第60・62・63図、PL.28・29)

位置:28-41-U-24周辺

規模:8号畑=13.5m×(40m)

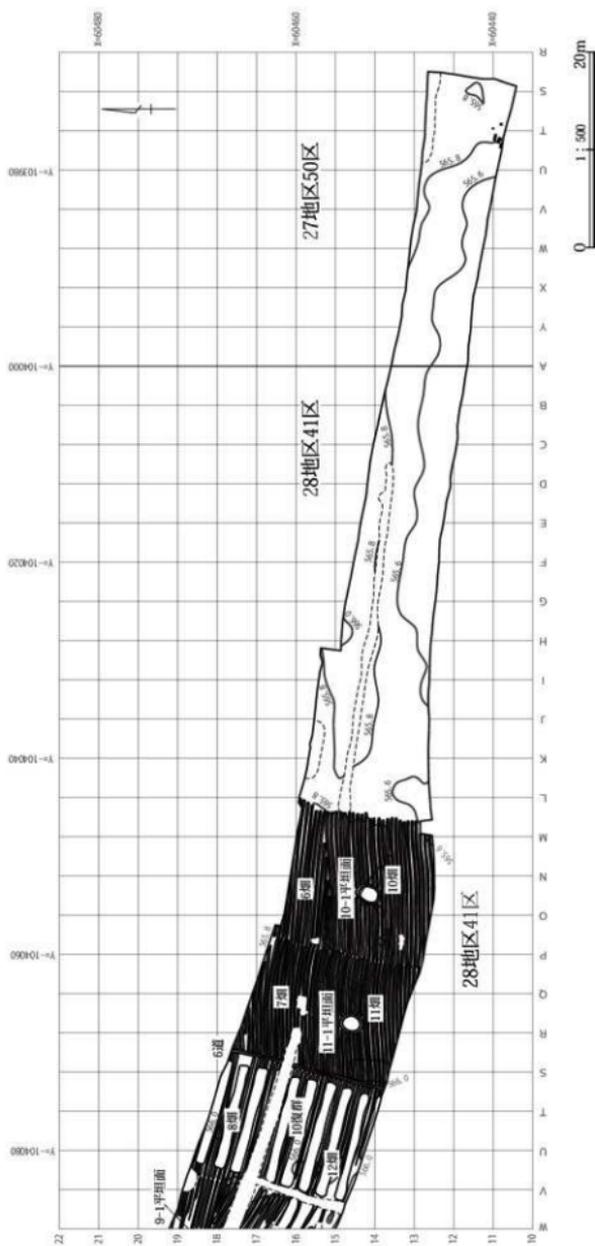
12号畑=13.5m×(28m)

埋没土:直上にAs-軽石と泥流が堆積。

特徴:東側に6号道を隔てて7・11号高、西側には隣接して9・13号畑が連なる。畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、12号畑内に12-1号平坦面が存在する。

天明泥流下災害後は、8号畑のほぼ全域と12号畑北側にわたり8・10号復旧坑群による復興が行われる。

第61図 10・11号畑 平面図



第62図 14区東半部1面 全体図

9号畑・13号畑(旧:VI・10区国道下1面13号畑、10区1面・10区国道下9号畑)(第60・64図,PL.28・29)

位置:28-41-X-17周辺

規模:9号畑=(14m)×(37m)

13号畑=14m×(30m)

(25m)×(25m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:北側の9号畑に接し、ややサク方向を変えて13号畑が南側に連なる。両畑の東側には6号道を隔てて7・11号畑が連なる。畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、9号畑の南端に9-1号平坦面が在る。

天明泥流下災害後、13号畑のみ東半部はサク畝列と

同方向の7号・11号復旧坑群により復興が行われ、西半部はサク畝と直交方向の6号復旧坑群により復興が行われている。

14号畑(旧:14区1面14号畑)(第64図,PL.30)

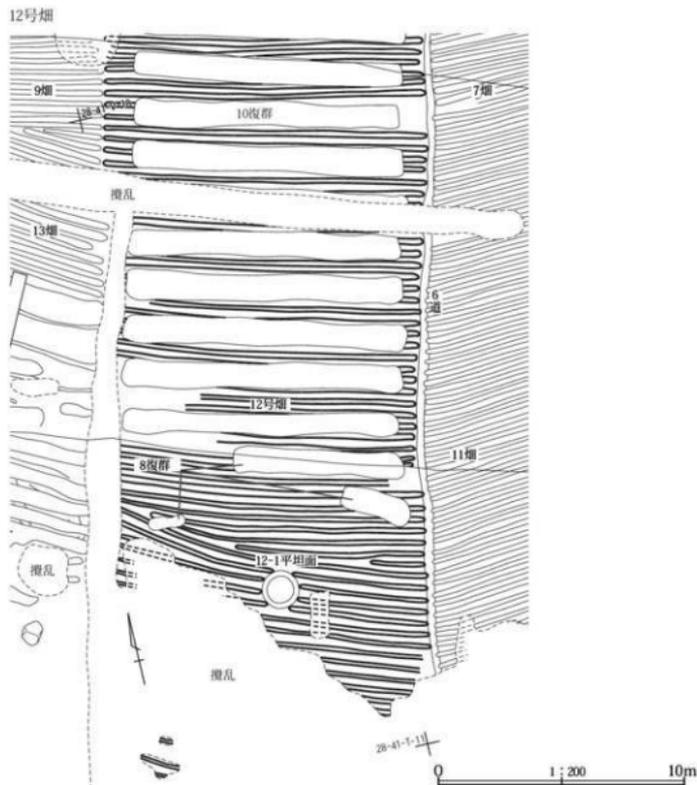
位置:28-42-I-17周辺

規模:13.5m×(8m)、14m×(9m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:13号畑の西側に位置し、北半部を攪乱で失う。西側は15号畑に続く。畑地は南北方向に傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。

調査範囲内において、天明泥流下災害後の復興が行われた痕跡はない。



第63図 12号畑 平面図



第64図 13号畑 平面図、14号畑 平断面図

A, 1-503.10m



15号畑(A-A')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黒色土(10YR2/2)の混じった不均質土。5cm大の黄褐色土粒子を若干含む。カクラン。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) 締り、粘性なし。天明泥流。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。As-A軽石を多量に含む。
- 4 As-A軽石 締り、粘性なし。
- 5 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。天明泥流下の畑の耕作土。黄褐色土粒子を少量含む。5mm~3cm大の角礫と炭化物粒を若干含む。
- 5' 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。1~6cm大の垂角礫を多量に含む。根を多量に含む。削るとボロボロする。
- 6 黄褐色土(10YR5/8) 締り、粘性なし。ローム2次堆積層。1~20cm大の垂円礫を大量に含む。北側ほど粗粒で川砂状。色も粒ごとに不均等(白・黒・茶・赤・青・黄)。南はシルト質。褐色土(10YR4/4)。



15号畑(旧:14区1面15号畑)(第65図、PL.30・31)

位置:28-42-U-20周辺

規模:16m×(17m)、9m×(7m)

31m×(13.5m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:西側には1号道を挟んで16号畑が連なる。畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、畑内の東側に15-1号・15-2号平坦面がある。天明泥流流下災害後、東端部はサク畝と直交方向の5号復旧坑群により復興が行われている。

16号畑(旧:Ⅵ区1面16号畑)(第66図, PL.31)

位置: 28-43-C-24周辺

規模: 13m×6.5m, 10m×(5m)

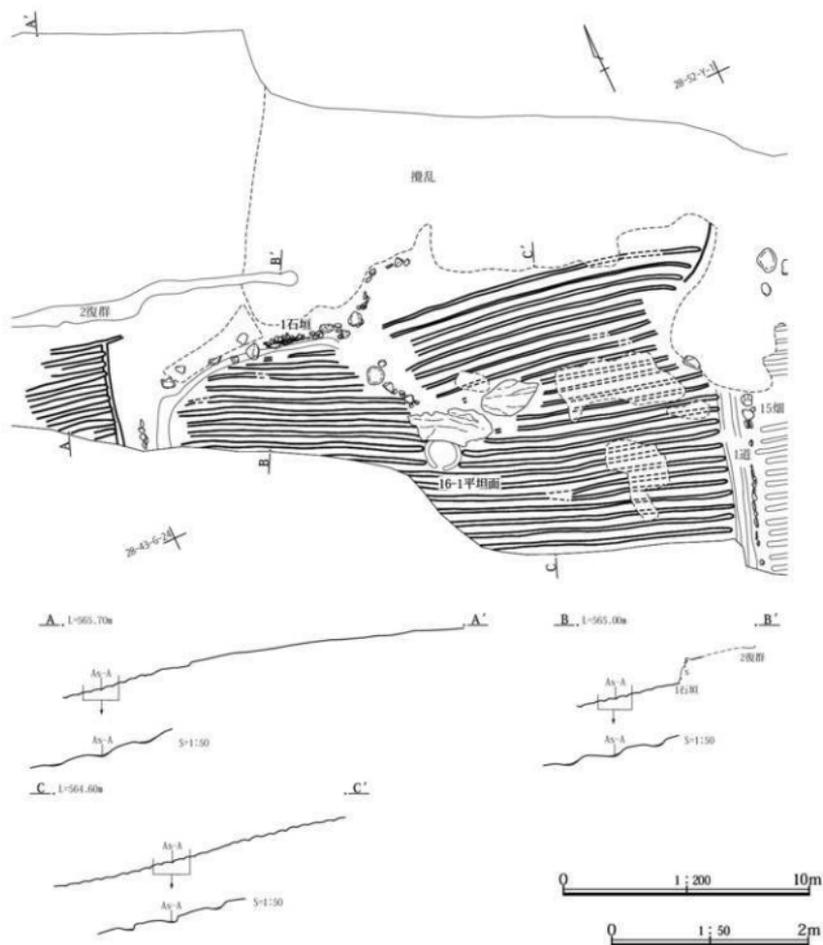
14.5m×(5m)

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 東側には1号道を挟んで15号畑が連なり、西端は

1号石垣が巡る。畑地は南北方向に傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。関連する遺構として、畑内の中央に16-1号平坦面が在る。畑の中央部付近には、大型の地山礫層が露出する。

天明泥流下災害後の復旧坑により復興は行われていない。



第66図 16号畑 平断面図

第4章 中棚Ⅱ遺跡

17号畑(旧:Ⅵ区1面17号畑)(第67図、PL.31)

位置:28-53-N-5周辺

規模:(15m)×(12m)

(5m)×(4m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。畑中の所々に、地山礫層が露出する。

天明泥流流下災害後は、1・2号復旧坑群により復興が行われている。

18号畑(旧:Ⅶ区1面18号畑)(第68図、PL.32)

位置:28-42-1-25周辺

規模:(10m)×(7m)

(7m)×(5m)

(5m)×(10m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サクはほぼ東西方向に切られる。畑の中央付近には、所々に地山礫層が露出する。

天明泥流流下災害後は、3号・4号復旧坑群により復興が行われている。

19号畑(旧:Ⅷ区1面19号畑)(第68・70図、PL.32)

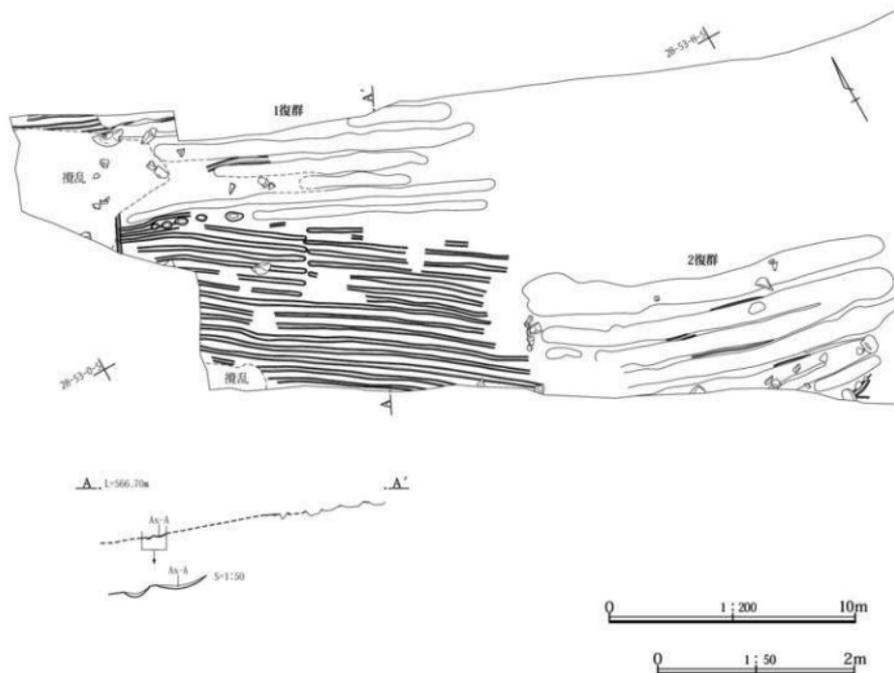
位置:28-64-R-4周辺

規模:19号畑=(16m)×(16m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:畑地は北東方向から南西方向に緩やかに傾斜し、サク方向は等高線に沿う。畑の中央付近には、所々に地山礫層の大型の礫が露出する。

天明泥流流下災害後の復旧坑により復興は行われていない。



第67図 17号畑 平面図

18号畑



19号畑



20号畑(旧:Ⅷ区1面20号畑)(第60・70図, PL. 32)

位置: 28-65-E-4周辺

規模: (17.5m) × (32m)

埋没土: 直上にAs-As軽石が堆積。

特徴: 畑地は北東方向から南西方向に緩やかに傾斜し、サク方向は等高線に沿う。畑の中央付近には、所々に地山礫層の大型の礫が露出する。畑の南東端には掘出された不要礫を一列に並べた石列が在る。

天明泥流流下災害後の復旧坑により復興は行われていない。

21号・22号畑(旧:15区1面11号・12号畑)(第71・73図, PL. 33)

位置: 28-54-F-15周辺

規模: 21号畑 = 2m × 5m

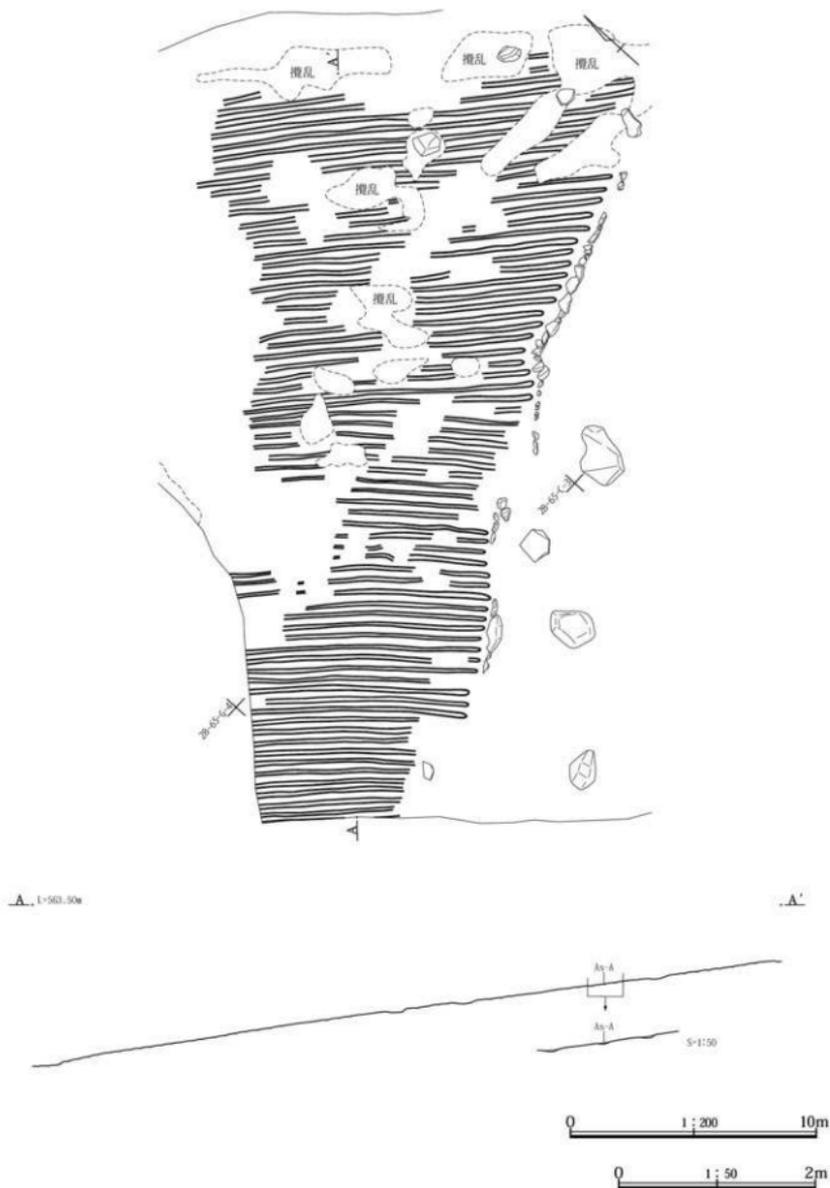
22号畑 = 4.5m × (3m)

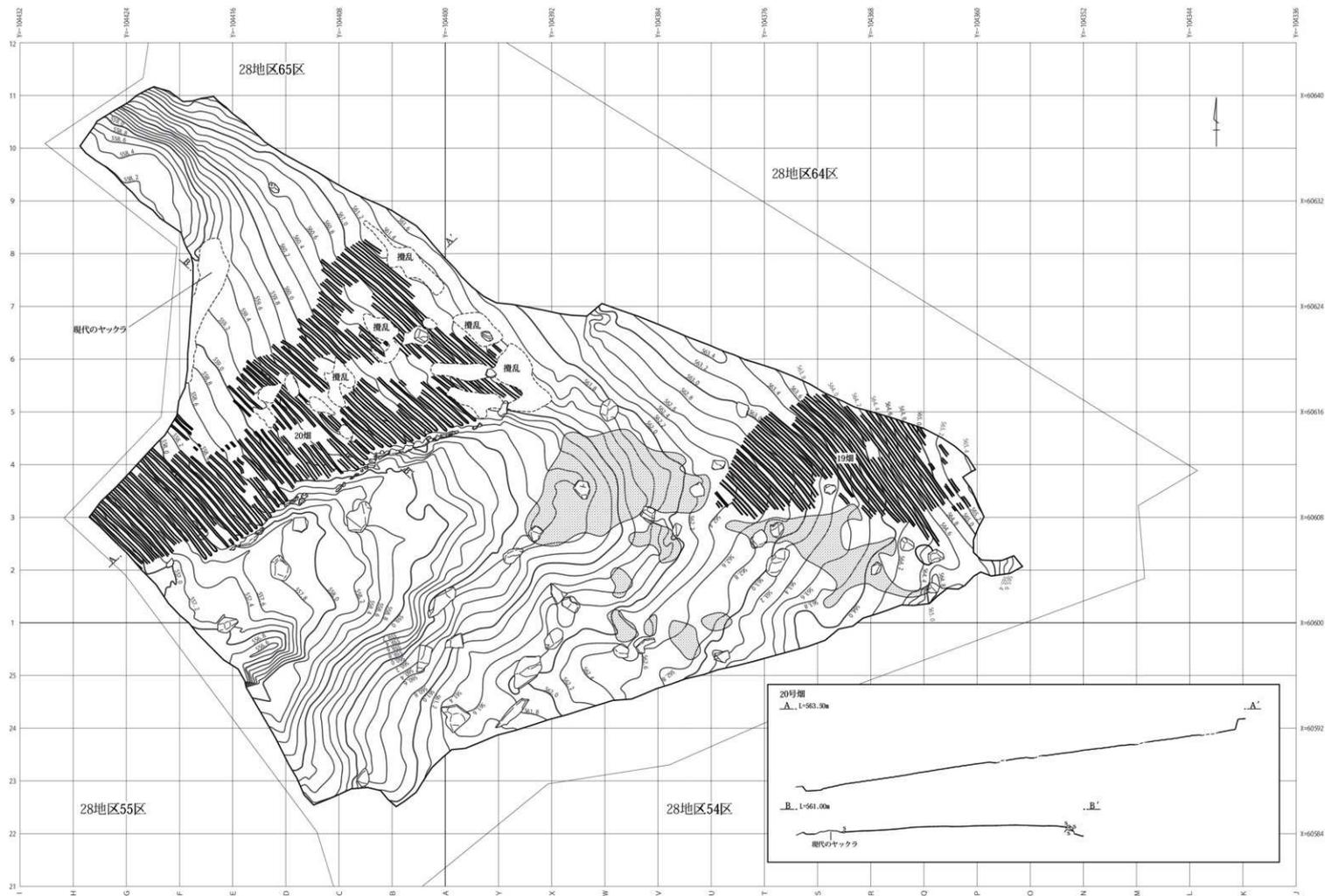
埋没土: 直上にAs-As軽石が堆積。

特徴: 畑地は南北方向に緩やかに傾斜し、サク方向は等高線に沿う。畑の周囲は地山礫層が露出し、礫層の一部を除去した僅かな場所で耕作を行っている。

天明泥流流下災害後の復旧坑により復興は行われていない。

第68図 18号畑・19号畑 平面図





第70図 Ⅷ区1面 全体図

23号畑(旧:15区1面13号畑)(第71・73図、PL.33)

位置:28-54-1-13周辺

規模:(1m)×(2m)

埋没土:21号・22号畑と同様に周囲は地山礫層が露出し、その礫層の一部を除去した僅かな場所で耕作を行っている。検出部は畑の南東端部と考えられる。平成11年度調査の西側隣接の1区において、N-11畑跡が検出されており、本遺構に接続するものと推察される。

天明泥流流下災害後の復旧坑による復興は行われていない。

24号畑(旧:15区1面14号畑)(第71・73図、PL.33)

位置:28-54-F-5周辺

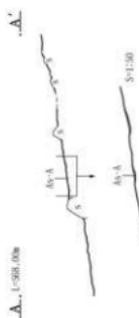
規模:(5m)×(25m)

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

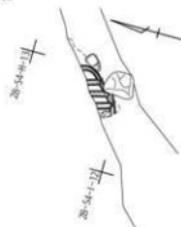
特徴:21・22・23号畑と同様に周囲は地山礫層が露出し、その礫層の一部を除去した僅かな場所で耕作を行っている。検出部は畑の西限となり、以西は開墾不可。

天明泥流流下災害後の復旧坑による復興は行われず、攪乱にて多くを逸する。

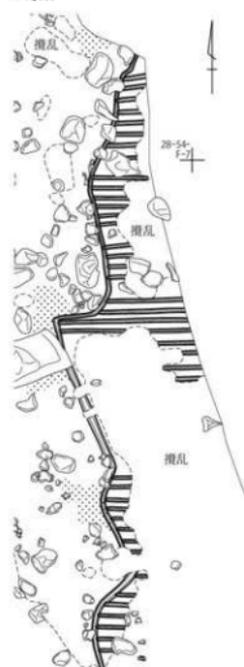
21・22号畑



23号畑



24号畑



0 1:200 10m

0 1:50 2m

第71図 21・22号畑 平断面図、23・24号畑 平面図

第4章 中棚Ⅱ遺跡

25号畑(旧:15区1面15号畑)(第72・73図、PL.33)

位置:28-43-T-16周辺

規模:不明

埋没土:不明

特徴:関連する遺構として、畑内の25-1号平坦面が在り、サク敵の痕跡は残らないものの、平成13年度調査の東側隣接のV区において、N21-3・N21-6畑跡が検出されており、本遺構に接続するものと推定される。南側には除去した不要礫を一列に並べた1号石列が在り、南限と考えられる。

天明泥流流下災害後の復旧坑による復興は行われず、攪乱にてその大半を逸する。

26号畑(旧:15区1面16号畑)(第72・73図)

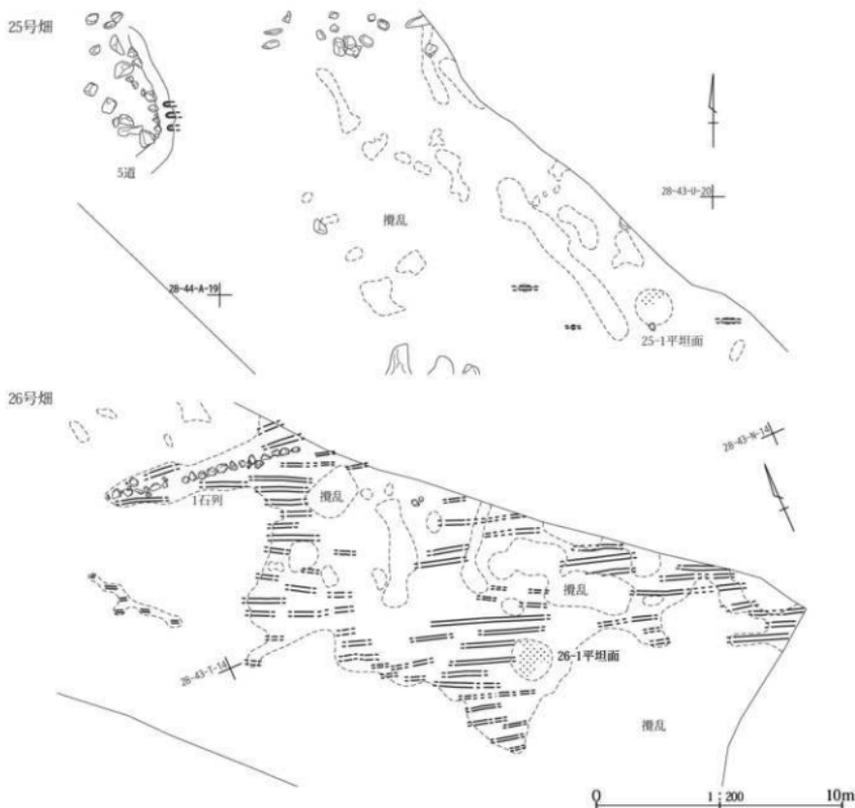
位置:28-43-R-14周辺

規模:(22m)×(14m)

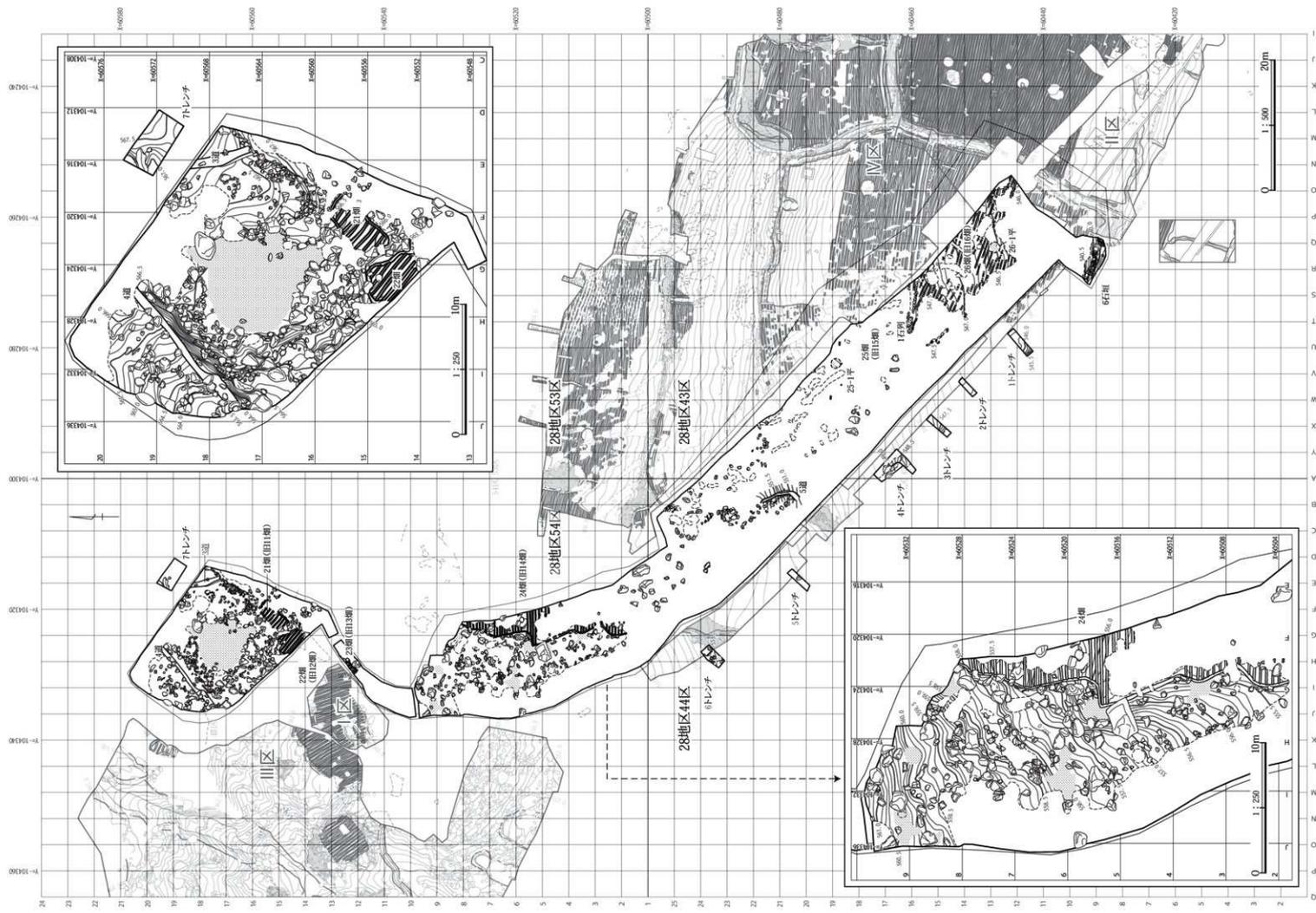
埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:関連する遺構として、畑内に26-1号平坦面が在る。北側には除去した不要礫を一列に並べた1号石列が在り、道跡と考えられる。南側を攪乱にて多くを逸しているが、平成12年度調査の東側隣接のⅡ区において、石垣・ヤックラ・畑跡が検出されており、南限は6号石垣と推察される。

天明泥流流下災害後の復旧坑による復興は行われていない。



第72図 25号・26号畑 平面図



第73図 15K区1画 全体図

平坦面

平坦面とは、天明三年浅間火山災害(As-A軽石降下、泥流落下)直下で検出される畑内に一定の間隔で設けられた径2メートル弱の円形の平坦地であり、その多くは外周を幅20cm程の細い溝が巡る。発掘調査時には、「円形遺構」や「円形平坦面」等と呼ばれた。この遺構の性格や用途については、既報告の『公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第319集』の「考察1 天明泥流と畑について」の項にて、以下のような検討がされている。

吾妻郡内に残る農耕民俗例として、ムギやヒエの播種時に、「ハンギリオケ」を用いて堆肥や人糞と種を混ぜ合わせて「アワセゴイ」「タレゴイ」を作り、播種が行われた。この「ハンギリオケ」は径が110cm、高さ45cmほどで、裏側に付けられた紐で背負い畑まで運ばれた。桶を置く場所を「コエアト」「コヤト」と称し、播種前に設けられ、馬で堆肥を運び入れ、「アワセゴイ」が作られた。この作業は、昭和30年代まで行われていた。との地域の農耕事例から、畑跡で検出された平坦面は、「ハンギリオケ」を設置した「コエアト」「コヤト」ではないかと推察している。また、天明三年の被災時である8月5日の時点で、播種時のみに必要な「コエアト」「コヤト」が残されていた理由についても考察がなされている。



写真は、平坦面遺構と昭和30年代まで使用されていた「ハンギリオケ」。事業団報告書第319集より転載

4-1号平坦面(旧:10区1面4号平坦面)(第74図)

位置:4号畑内

規模・形状:径170cm程の円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

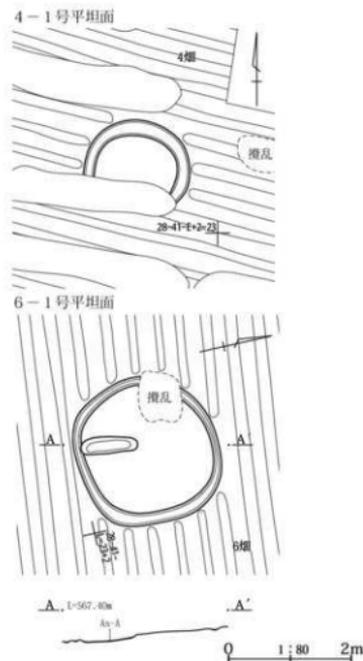
6-1号平坦面(旧:10区1面6-1号平坦面)(第74図)

位置:6号畑内

規模・形状:径184～194cm程のやや歪な円形を呈し、中心から南側に細い溝状の掘り込みを有する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:6-2、6-3、6-4、10-1号平坦面と7.5～8mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、西側に隣接の7号畑の平坦面群とも並列し、東側の4号石垣とも並行する。



第74図 4-1号平坦面 平面図、6-1号平坦面 平面図

6-2号平坦面(旧:10区1面6-2号平坦面)(第75図)

位置:6号畑内

規模・形状:径172~188cm程のやや歪な円形を呈し、中心から南側に細い溝状の掘り込みを有する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:6-1、6-3、6-4、10-1号平坦面と7.5~8mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、西側に隣接の7号畑の平坦面群とも並列し、東側の4号石垣とも並行する。

6-3号平坦面(旧:10区1面6-3号平坦面)(第75図)

位置:6号畑内

規模・形状:径160~170cm程のやや歪な円形を呈し、中心から南側に細い溝状の掘り込みを有する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:6-1、6-2、6-4、10-1号平坦面と7.5~8mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、西側に隣接の7号畑の平坦面群とも並列し、東側の4号石垣とも並行する。

6-4号平坦面(旧:10区1面6-4号平坦面)(第75図)

位置:6号畑内

規模・形状:径166cm程の円形を呈し、中心から南側に細い溝状の掘り込みを有する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:6-1、6-2、6-3、10-1号平坦面と7.5~8mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、西側に隣接の7号畑の平坦面群とも並列し、東側の4号石垣とも並行する。

7-1号平坦面(旧:10区1面7-1号平坦面)(第76図)

位置:7号畑内

規模・形状:径160~180cm程のやや歪な円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:7-2、7-3号平坦面と12~13mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、東側に隣接の6号畑の平坦面群とも並列する。

7-2号平坦面(旧:10区1面7-2号平坦面)(第76図)

位置:7号畑内

規模・形状:径164cm程の円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:7-1、7-3号平坦面と12~13mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、東側に隣接の6号畑の平坦面群とも並列する。

7-3号平坦面(旧:10区1面7-3号平坦面)(第76図、PL.28)

位置:7号畑内

規模・形状:径180~192cm程のやや歪な円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:7-1、7-2号平坦面と12~13mの間隔で南北方向に一列に配置される。また、東側に隣接の6号畑の平坦面群とも並列する。

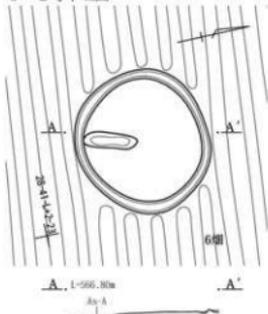
9-1号平坦面(旧:10区国道下1面9-1号平坦面)(第76図)

位置:9号畑南端部、13号畑に接する境界。

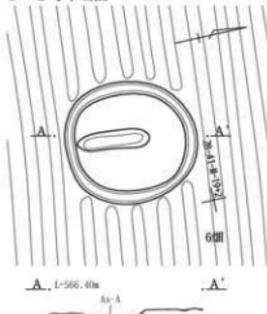
規模・形状:径204~256cm程の楕円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

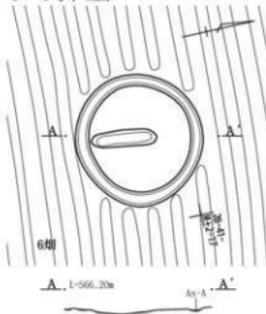
6-2号平坦面



6-3号平坦面



6-4号平坦面



第75図 6-2号、6-3号、6-4号平坦面 平面図

0 1:80 2m

特徴：調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

10-1号平坦面(旧:10区国道下1面10-1号平坦面)
(第76図)

位置：10号畑内。11・6号畑に隣接。

規模・形状：径192～250cm程の歪な楕円形を呈する。

埋没土：直上にAs-A軽石が堆積。

特徴：配置については、6-1～6-4号平坦面の南延長線上に位置し、隣接の11号畑の11-1号平坦面とも13.4mを測る距離で並ぶ。

10-2号平坦面(旧:Ⅵ区1面10-2号平坦面)(第76図)

位置：10号畑内

規模・形状：径184～192cm程の円形を呈する。

埋没土：直上にAs-A軽石が堆積。

特徴：配置については、隣接の11号畑寄りに位置し、11-1号平坦面と10-1号平坦面と三角形を呈する。

11-1号平坦面(旧:10区国道下1面11-1号平坦面)
(第77図)

位置：11号畑内。10・7号畑に隣接。

規模・形状：径204～248cm程の楕円形を呈する。

埋没土：直上にAs-A軽石が堆積。

特徴：配置については、隣接の10号畑の10-1号平坦面に並び、距離は13.4mを測る。

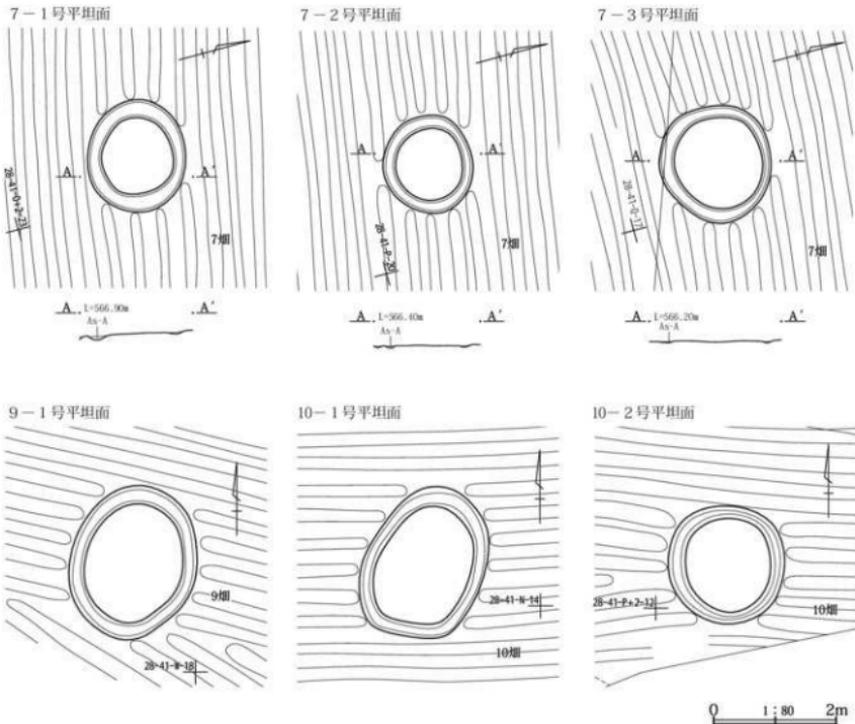
12-1号平坦面(旧:Ⅵ区1面12-1号平坦面)(第77図)

位置：12号畑内

規模・形状：径148～156cm程のやや歪な円形を呈する。

埋没土：直上にAs-A軽石が堆積。

特徴：調査区内において関連する他の平坦面が検出され



第76図 7-1号・7-2号・7-3号平坦面 平面図、9-1号・10-1号・10-2号平坦面 平面図

ていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

13-1号平坦面(旧:Ⅵ区1面13-1号平坦面)(第77図)

位置:13号畑内

規模・形状:径148～168cm程の楕円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

15-1号平坦面(旧:Ⅴ区1面15-1号平坦面)(第78図)

位置:15号畑内

規模・形状:径164～192cm程の歪な円形を呈する。円の内側西半に東西方向の細い溝状部を有する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:他の平坦面は、畑のサクが平坦面に接する手前で止まっているのに対し、本平坦面は周囲のサクが外周に接している。畑のサクが切られた後に、本平坦面が設置されているものと思われる。

畑内の配置については、南に15-2号平坦面があり、距離は8.6mを測る。

15-2号平坦面(旧:Ⅴ区1面3号平坦面)(第78図、PL.30)

位置:15号畑内

規模・形状:径180～192cm程の楕円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:平坦面の内側に、畑のサクの痕跡がみられることから、畑のサクが切られた後に本平坦面が設置されているものと思われる。

畑内の配置については、北に15-1号平坦面があり、距離は8.6mを測る。

16-1号平坦面(旧:Ⅵ区1面1号平坦面)

位置:16号畑内

規模・形状:径144～160cm程の馬蹄形状を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

25-1号平坦面(旧:15区1面15号平坦面)

位置:25号畑内

規模・形状:径152cm程の円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

26-1号平坦面(旧:15区1面16号平坦面)

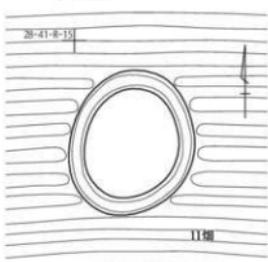
位置:26号畑内

規模・形状:径164×188cm程の楕円形を呈する。

埋没土:直上にAs-A軽石が堆積。

特徴:調査区内において関連する他の平坦面が検出されていないため、畑内での総体的な配置は明らかではない。

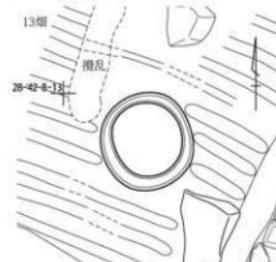
11-1号平坦面



12-1号平坦面



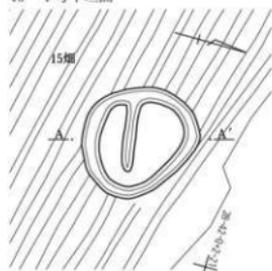
13-1号平坦面



0 1:80 2m

第77図 11-1号・12-1号・13-1号平坦面 平面図

15-1号平坦面



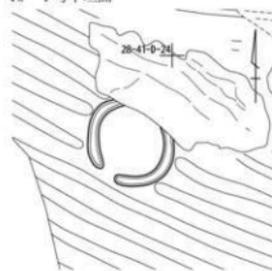
A., 1:561.20m A'-A'

15-2号平坦面

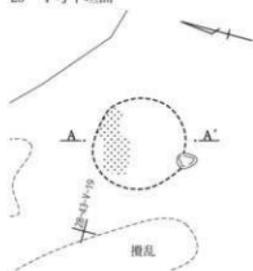


A., 1:560.60m A'-A'

16-1号平坦面

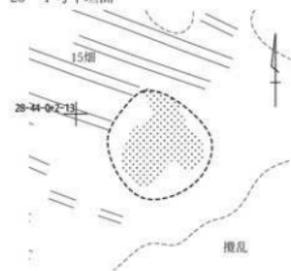


25-1号平坦面



A., 1:549.20m A'-A'

26-1号平坦面



0 1:80 2m

第78図 15-1号・15-2号・25-1号平坦面 平断面図、16-1号・26-1号平坦面 平面図

2 道

道は、Ⅵ区・10区・14区(10区国道下)・15区において、天明三年浅間火山災害(As-A軽石降下・泥流流下)堆植物の直下で検出される畑に伴う形で検出された。いずれの道の直上にもAs-A軽石の堆積が確認できることから、畑跡と同時期の遺構と判断される。

検出された道の共通点として、いずれも畑の畝・サクの端部に設けられ、計画的な配置であり、その幅員は人ひとりが通行できる幅であることから、畑作に伴う作業道として設けられたものであると考えられる。また、畑の立地上、場所によって高低差のある斜路となる。

1号道(旧:Ⅵ区1面1号道)(第79図, PL.34)

位置: 28-43-A-23付近

規模・形状: 南北方向に、巾60~80cm×14m程を検出。一部に蛇行がみられる。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 本道を境に、東側に15号畑、西側に16号畑が広がる。一部道脇に開墾時に除去された礫を一列に並べる。北側延長部は、攪乱のため検出できず。

2号道(旧:Ⅵ区1面2号道)(第79図, PL.34)

位置: 28-42-M-18付近

規模・形状: 南北方向に、巾20~60cm×5m程を検出。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 14号・15号畑の境界にあたり、南側延長は、検出できず。

3号道(旧:15区1面3号道)(第79図, PL.35)

位置: 28-54-E-18付近

規模・形状: 南北方向に、巾60~90cm×5m程を測り、緩やかに屈曲がみられる。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 21号畑に向かう作業道と考えられ、調査区外の北で4号道と合流か。

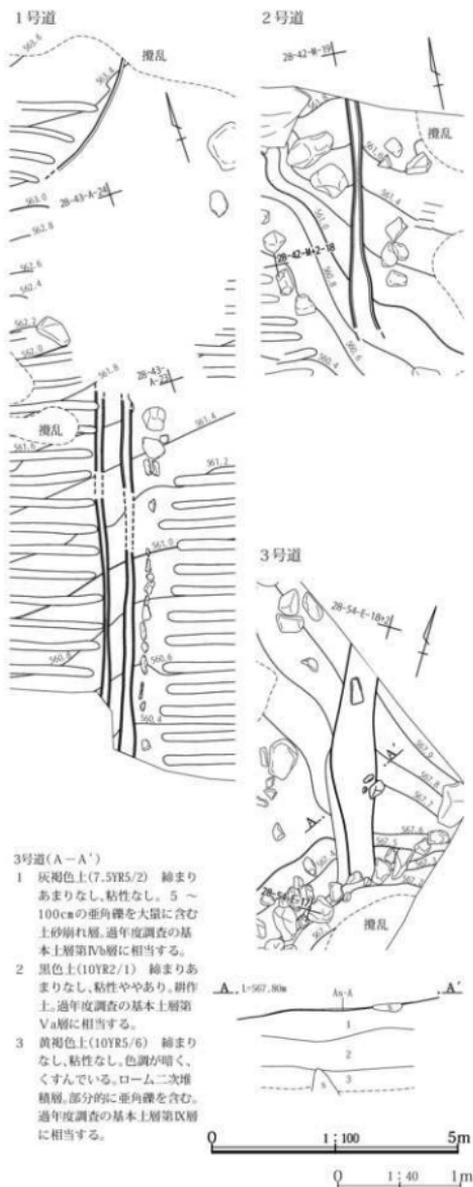
4号道(旧:15区1面4号道)(第80図, PL.35)

位置: 28-54-1-18付近

規模・形状: 北東~南西方向に、巾40~90cm×12m程を検出。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 緩斜面のため斜路となる。調査区外の北で3号道と合流か。

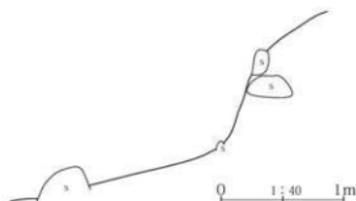
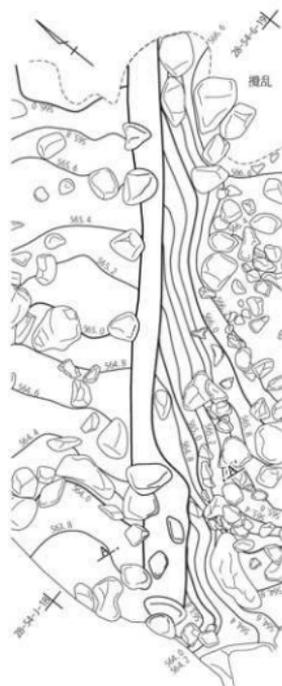


第79図 1号道・2号道 平面図、3号道 断面図

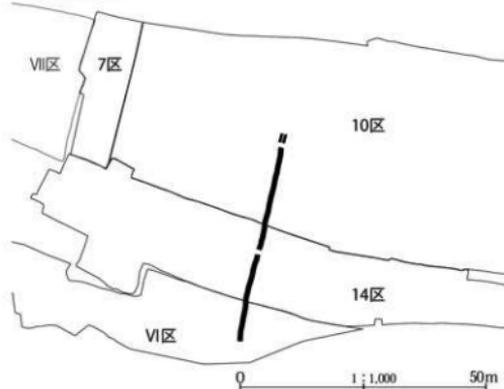
4号道

A, 1:500.00

A'



6号道見取り図



5号道



5号道(旧:15区1面5号道)(第80図, PL.35)

位置: 28-44-B-21付近

規模・形状: 南北方向に、巾25～75cm×7m程を検出。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 一部に礫を道脇に並べた箇所あり。周囲の畑跡は検出できず、道の延長も不明。

6号道(旧:VI区・10区・10区国道下6号道)(第80-81図, PL.35)

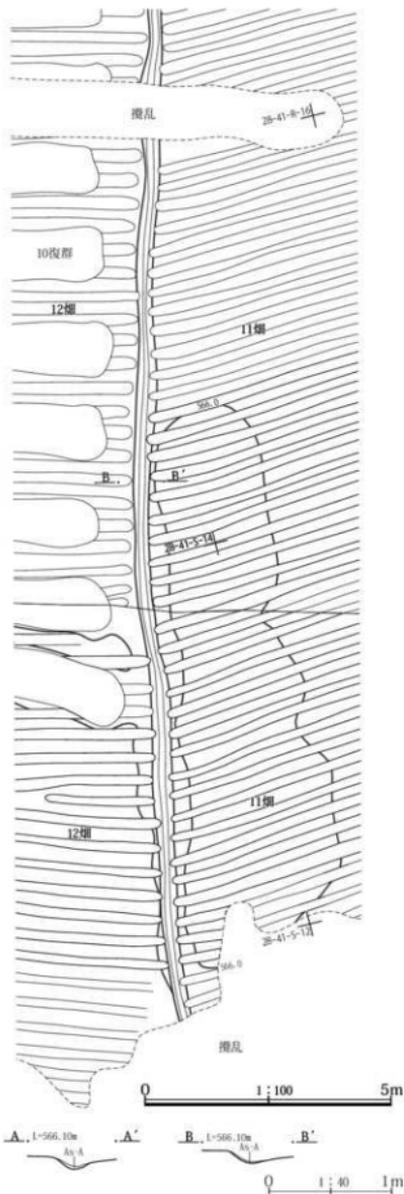
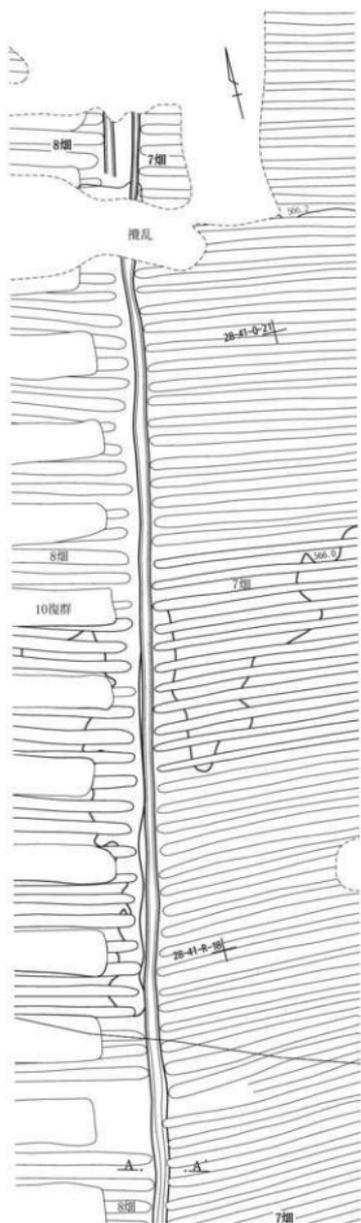
位置: 28-41-R-18付近

規模・形状: VI区・10区・14区(旧10区国道下)に跨り、南北方向に、巾30～70cm×43m程を検出。

埋没土: 直上にAs-A軽石が堆積。

特徴: 7・11号畑と8・12号畑の境界に位置し、小さな蛇行はみられるが、ほぼ一直線に通る。畑の区画に沿い、6・10号畑東側の3・4号石垣とも平行する。

第80図 4号道 平面図、5号道 平面図、6号道見取り図



第81图 6号道 平断面图

石垣・石列

1号石垣(旧:Ⅵ区1号石垣)(第82図、PL.36)

位置:28-53-F-1付近

規模・形状:高さ1m程、東西方向に長さ5m程を測り、径10～60cm程の地山内河床礫を6段ほど積み上げる。

埋没土:直上にAs-A軽石・天明泥流が堆積。

特徴:16号畑の北西端に位置し、1号道、16-1号平坦面と共に、16号畑に伴うものと考えられる。地形上、比高差が大きい。

2号石垣(旧:Ⅹ区2号石垣)(第83図、PL.36)

位置:27-50-C-14付近

規模・形状:高さ50～120cm、東西方向に長さ9.5m程を測り、径10～60cm程の地山内河床礫を6段ほど積み上げる。

埋没土:直上にAs-A軽石・天明泥流が堆積。

特徴:1・2号畑の南端に位置し、畑の南限となる。東側には72号ヤックラが広がる。

3号石垣(旧:Ⅹ区3号石垣)(第84図、PL.37)

位置:28-41-K-20付近

規模・形状:高さ40～80cm、南北方向に長さ27m程を測り、径30～70cm程の地山内河床礫を1～2段ほど積み上げる。

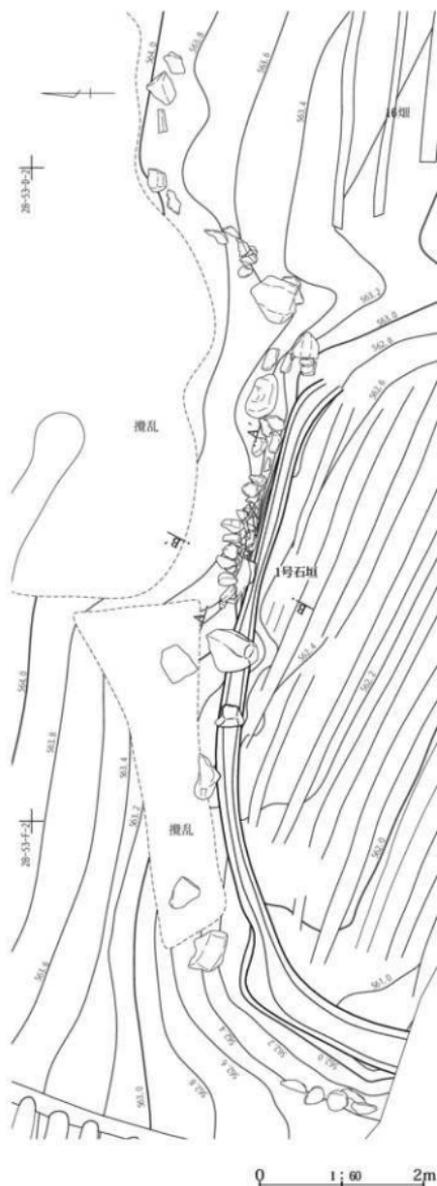
埋没土:最終段階(上段部)は、泥流後の堆積土にて埋没。

特徴:上段部と下段部に分けられ、上段部の積み石の中には、浅間石(天明三年浅間火山泥流流下噴石)を含むことから、泥流後に積まれたものであり、付近の9号復旧坑と関連するものと思われる。下段部は災害前の旧石垣で、4号石垣へと続き、6号畑に伴うものと考えられる。

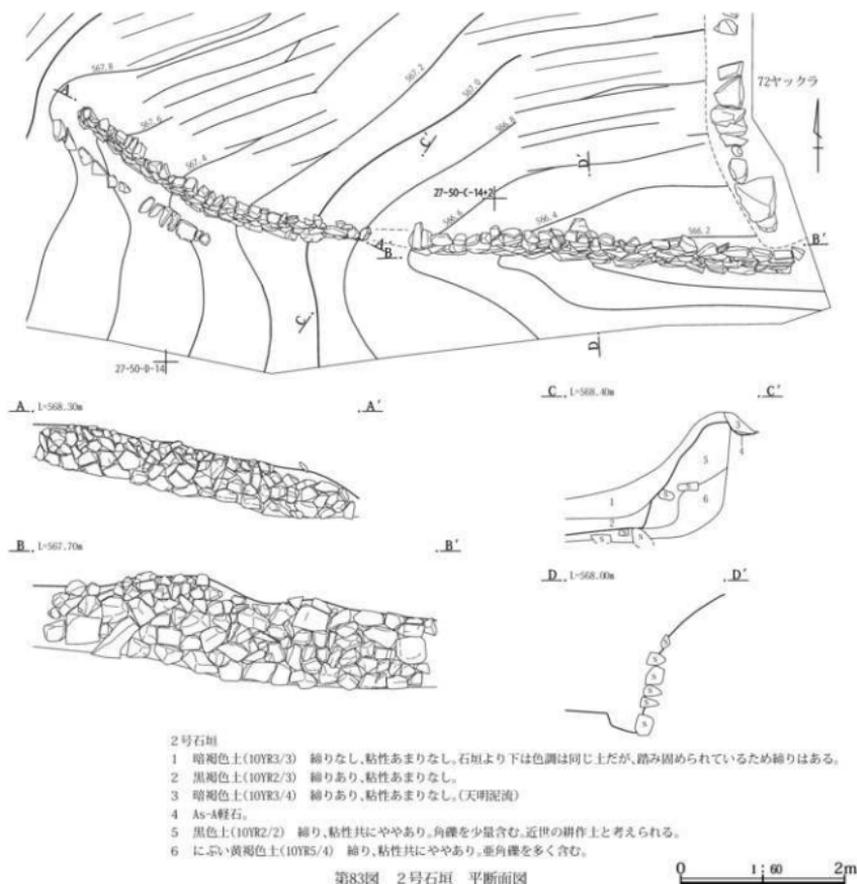
A, 1/564.00m

A', B, 1/564.00m

B'



第82図 1号石垣 平断面図



4号石垣(旧:10区4号石垣)(第85図、PL.37・38)

位置: 28-41-K+2-17付近

規模・形状: 高さ20～40cm、南北方向に長さ3m程を測る。径30～50cm程の地山河床礫を一列に並べる。

埋没土: 天明泥流にて埋没。

特徴: 3号石垣の南側下段部に続き敷設される。災害前の旧石垣で、6号畑に伴うものと考えられる。

5号石垣(旧:11区5号石垣)(第85図)

位置: 28-52-U-3+21付近

規模・形状: 南北方向に長さ8m程を測り、径10～50cm程の地山河床礫を一列に並べる。

埋没土: 天明泥流にて埋没。

特徴: 調査範囲が狭く、他の遺構との関係は不明。

6号石垣(旧:15区6号石垣)(第85図、PL.38)

位置: 28-43-R-9付近

規模・形状: 高さ1m程、南北方向に長さ7m程を測り、径10-30cm程の地山河床礫を傾斜面に集める。

埋没土: 天明泥流にて埋没。

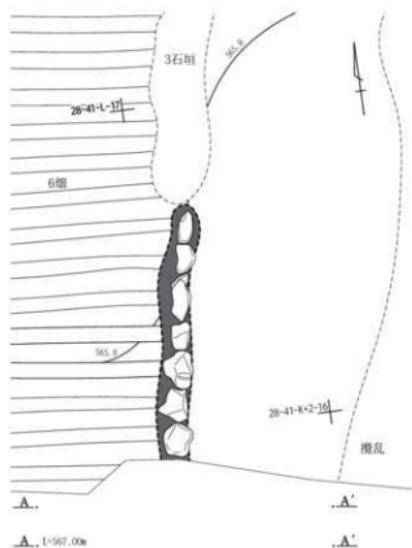
特徴: 調査区南東隅、斜面の下端に位置し、畑跡は掘削により欠失するが、平成12年度調査の東側隣接のⅡ区において、石垣・ヤックラ・畑が検出されている。



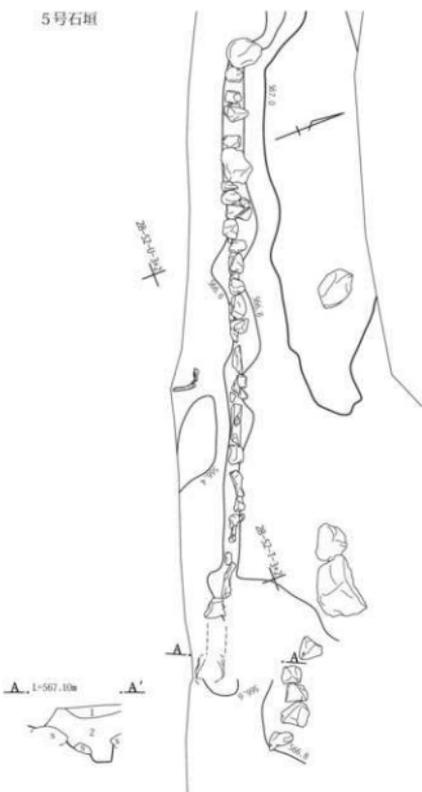
第84図 3号石垣 平断面図

第4章 中棚II遺跡

4号石垣



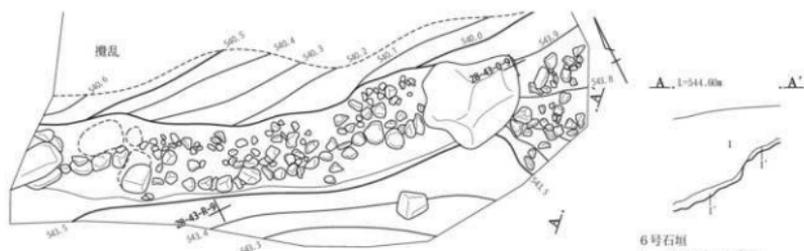
5号石垣



5号石垣

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 細りややあり、粘性あまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 細り、粘性共にややあり。

6号石垣

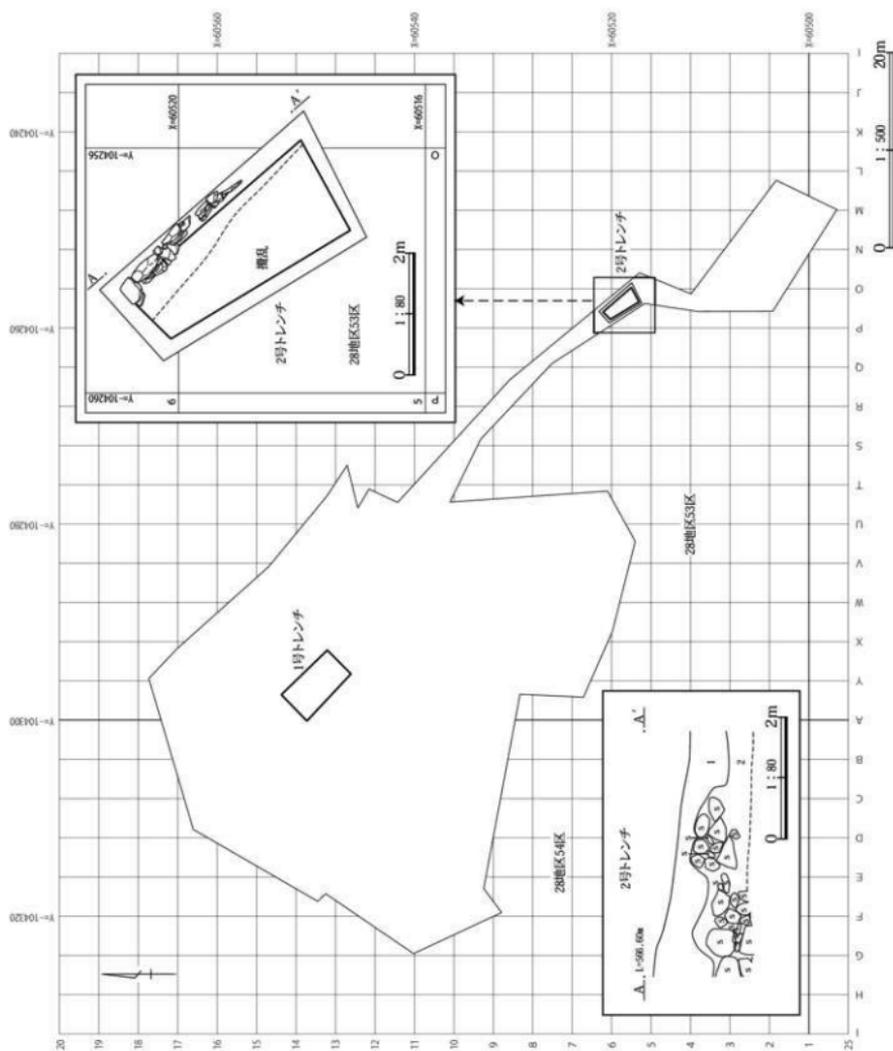


6号石垣

- 1 表土及び天明泥流。
- 1' 最大粒径1.5cmのグライ化石層。

0 1:60 2m

第85図 4号・5号・6号石垣 平面断面図



第86図 13区1面 全体図

第4章 中棚Ⅱ遺跡

1号石列(旧:15区1号石列)(第87図, PL.38)

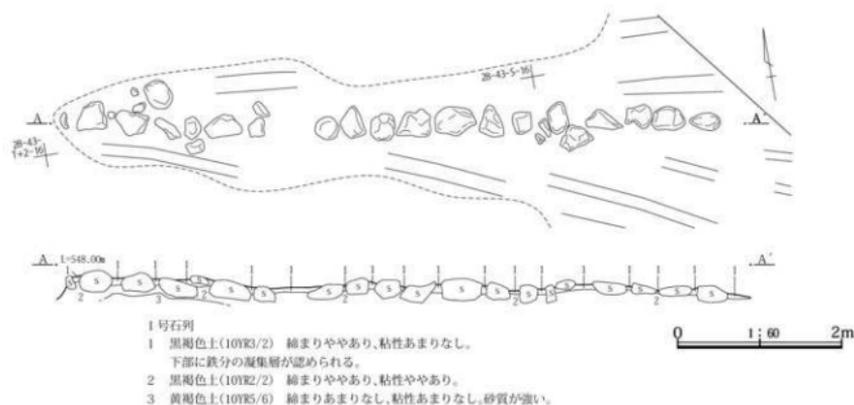
位置: 28-43-S-16付近

規模・形状: 8m強にわたり河床礫を一直線上に敷設する。

埋没土: 天明泥流にて埋没。

特徴: 25号畑の南、26号畑との境界に位置し、石垣のよ

うな護岸の目的はなく、畑内の不要な礫を隅へ寄せた程度である。周囲の畑の畝サクの走行方向が異なることから、境界を示す意図も考えられる。平成13年度調査の東側隣接のV区において、東側延長線上に17号石垣が検出されており、これに接続するものと推察される。



第87図 1号石列 平面断面図

ヤックラ

ヤックラは、耕作地において地山内にある不要の礫を集積・廃棄した場所である。

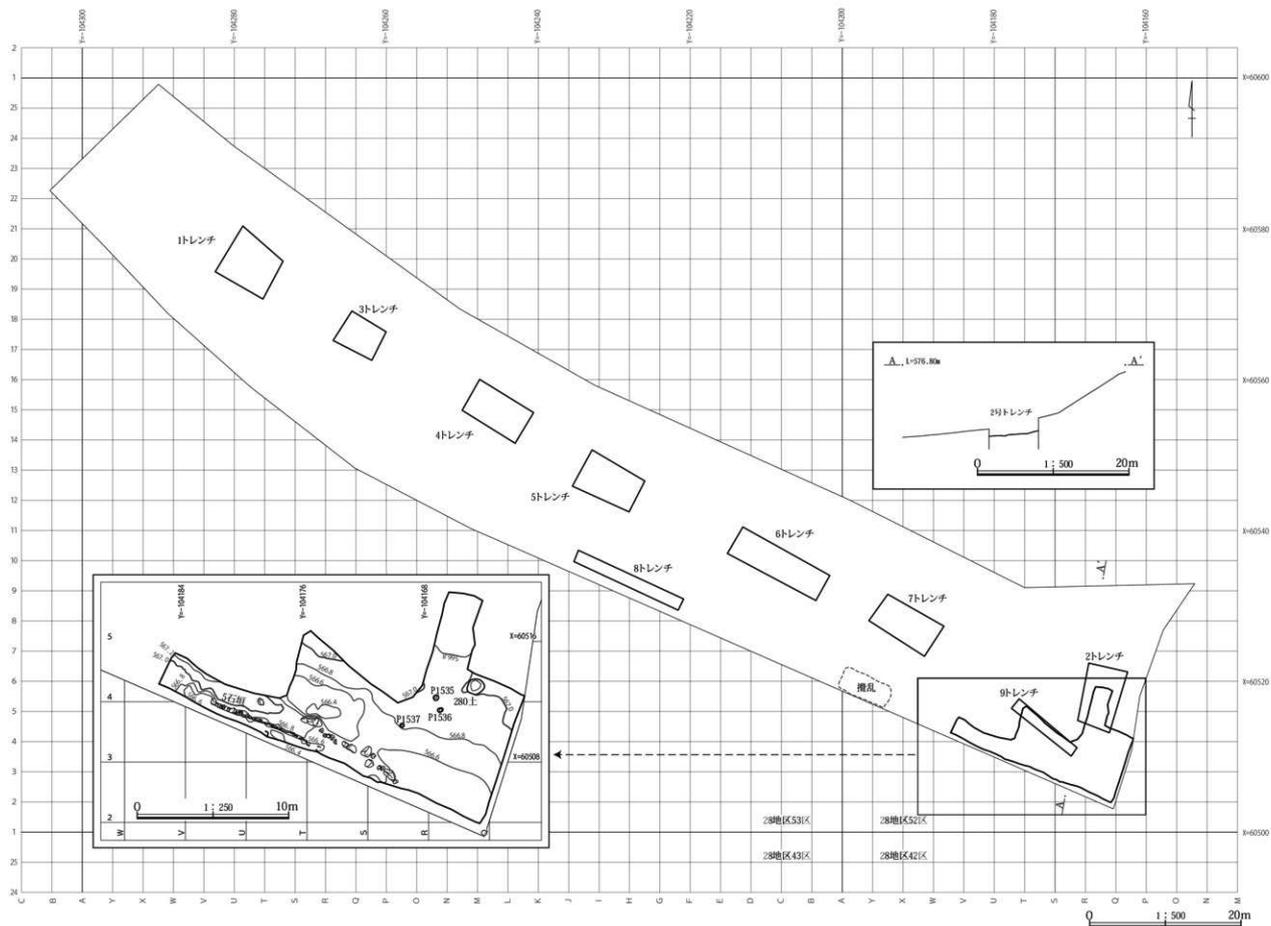
平成11年度から13年度に行われた第一次から第三次調査において、69か所が確認された。平成28年度よりの調

査では、これに続き10区東側において71～73号の3か所のヤックラが調査された。(第57図参照)

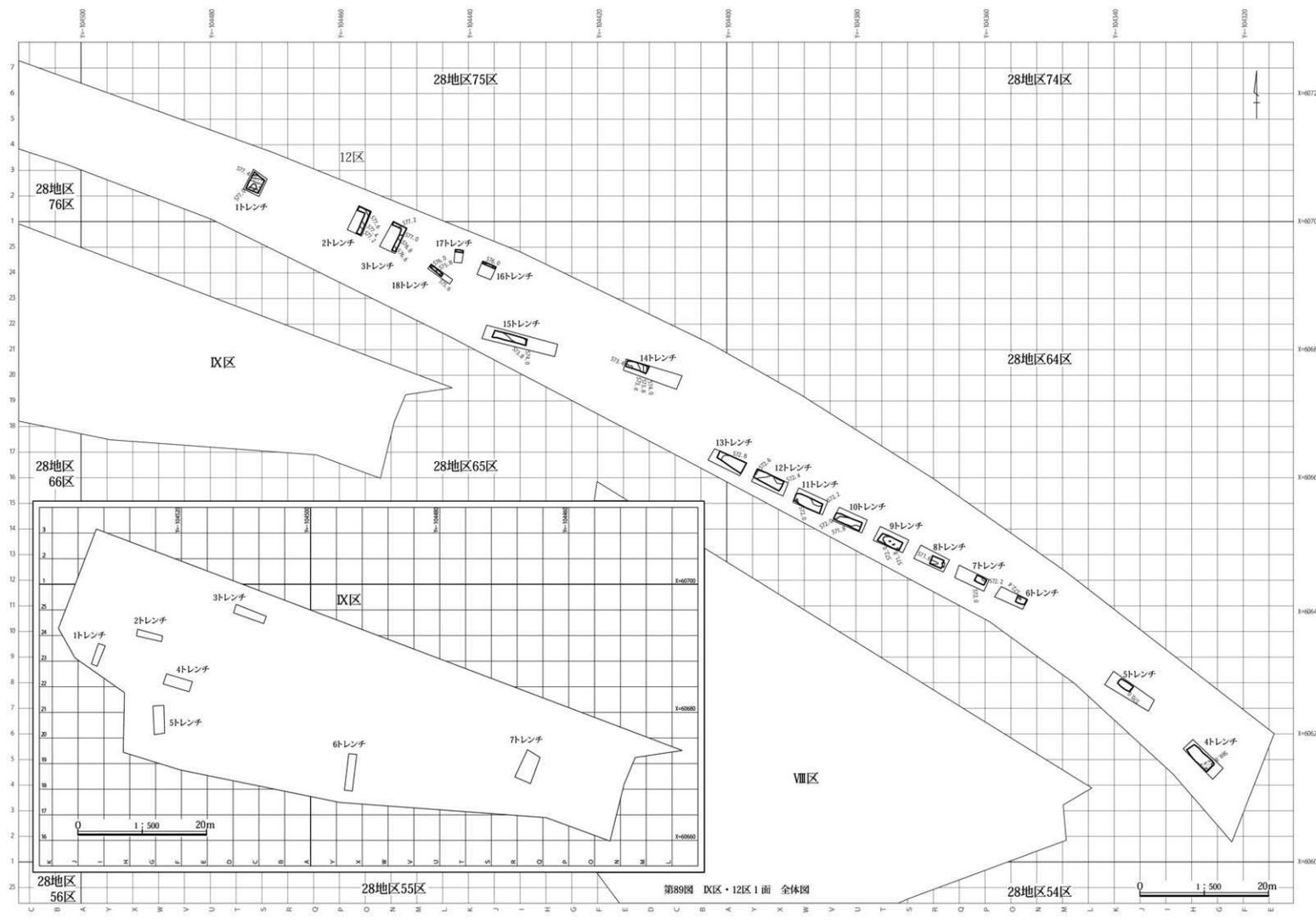
遺跡の立地環境上、河岸段丘上の限られた平坦面や緩傾斜地を畑として開墾しており、当然ながらヤックラとなる場所は、開墾不可能な状況の場所となる。



10区 ヤックラ 遠景 近景 東南より



第88図 11区1面 全体図



28地区75区

28地区74区

28地区76区

12区

37.4
37.4
1トレンチ

2トレンチ

3トレンチ

17トレンチ

16トレンチ

18トレンチ

15トレンチ

37.4
37.4
14トレンチ

28地区64区

28地区66区

28地区65区

13トレンチ

12トレンチ

11トレンチ

10トレンチ

9トレンチ

8トレンチ

7トレンチ

6トレンチ

5トレンチ

4トレンチ

VIII区

0 1:500 20m

0 1:500 20m

28地区56区

28地区55区

第89図 IX区・12区1面 全体図

28地区54区

U B K Y X B E T S E O D L O Z R J K 7 1 1 1 U B K Y X B E T S E O D L O Z R J K 7 1 1 1

第3項 古代～中・近世の遺構

1 竪穴建物

調査区のⅦ(7)区・10区・14区にて検出された集落跡の特徴としては、まず、傾斜地内の限られた平坦面を利用した集落造営が最大の特徴と言える。また、水源としての沢筋の利用も特徴のひとつである。

竪穴建物跡の特徴としては、全ての建物が石組みのカマドを持つことがあげられる。その構造は、焚口の袖・天井部の芯材としてのみならず、燃焼部から煙道部にかけての基礎の全てが礫組みにより構築されている。

次の特徴として、不整形・不定形の平面プランを持つ

建物跡が多いことがあげられる。方形・長方形、隅丸方形・隅丸長方形といった、相対する壁が平行な平面形状を呈さず、歪な平面形状を呈する建物跡の比率が高いといえる。

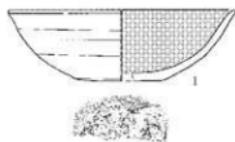
竪穴建物の床面に関しても、地山の河床礫層の存在から建物本体や柱穴・貯蔵穴の掘削深度が限られる場所がほとんどであり、集落造営の立地条件としては、不利な点が多い土地といえる。

竪穴遺構内よりの出土遺物の特徴として、黒書土器の出土頻度が高いように思われるが、残念ながら判読できる文字は少ない。

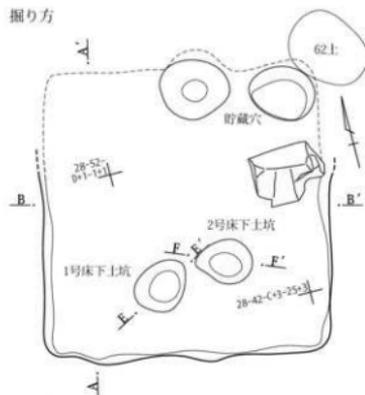


1号住居(A-A'・B-B')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。5cm大の垂向礫を若干含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。黄褐色土の焼土ブロックを多量に含む。5cm大の炭化物を若干含む。



第90図 1号竪穴建物 平面図、出土遺物図



カマド(D-D')

- 1 黒色土(10YR3/1) 締り、粘性なし。焼土粒子・炭化物粒を少量含む。

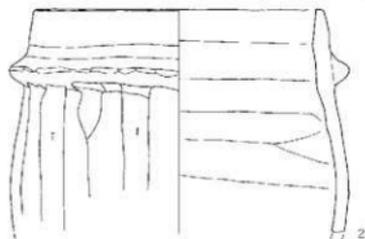
貯蔵穴(C-C')

- 1 黒色土(10YR3/1) 締り、粘性なし。明黄褐色粘土ブロックを若干含む。
- 2 明黄褐色土(10YR7/6) 締り、粘性なし。明黄褐色粘土ブロック主体。黒色土を少量含む。

1・2号床下土坑(E-E'・F-F')

- 1 黒褐色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。白色軽石、黄褐色土粒子を若干含む。

0 1:60 2m



0 1:3 10m

1号竪穴建物(旧:Ⅶ区1号住居)(第90図、PL.39-84)

位置:28-42-C+3-25+3

主軸方位:N-13°-E

規模・形状:3.5m四方の隅丸方形状を呈すると思われるが、北半部は削平のため壁を失う。

残存深度:0~17cm程を測る。

埋没土:黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床面とする。

カマド:北壁中央付近に位置し、散在する礫より、石組みのカマドであったものが建物の廃絶時に破壊されたものと推察され、削平により検出時には僅かに燃焼部底部が残るのみである。

柱穴:なし。

貯蔵穴:北東コーナー部に位置し、径60~80cm、深度25cm程を測る。

壁周溝:なし。

重複遺構:北コーナー部において62号土坑と重複し、本建物の方が新しいと判断される。

掘り方:建物中央南寄りに土坑状の掘り方を有する。

出土遺物:住居内より黒色土器椀(№1)、羽釜(№2)などの出土があり、いずれも埋土中よりの出土である。

2号竪穴建物(旧:Ⅶ区2号住居)(第91~93図、PL.40-84)

位置:7区 28-52-E+1-2+3付近

主軸方位:N-90°-E

規模・形状:3m四方の隅丸方形状を呈する。

残存深度:24~30cm程を測る。

埋没土:黒色~黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床面とする。

カマド:北東コーナー部に位置し、南東壁寄りに散在する礫より、石組みのカマドであったものが、建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。煙道部は短く、勾配はやや急峻。使用面の顕著な焼土化はみられない。

柱穴:検出された柱穴のうち、規模と深度より、建物中央部を南北に結ぶP4・P6・P5が主柱穴に当たり、P1・P2・P3が支柱穴と考えられる

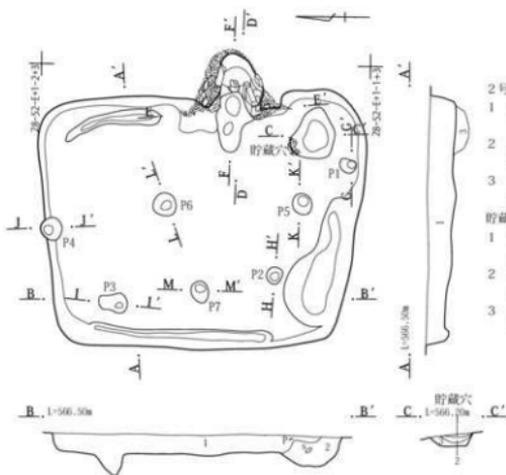
貯蔵穴:南東コーナー部に位置し、径50~60cm、深度17cm程を測る。

壁周溝:東壁のカマド左側と西壁側に設けられる。

重複遺構:なし。

掘り方:東壁のカマド左側に浅い土坑状の掘り方を有するのみ。

出土遺物:須恵器杯(№1・2)、須恵器椀(№3・4)などが出土し、№3のみ床面下からの出土である。



2号住居(A-A'・B-B')

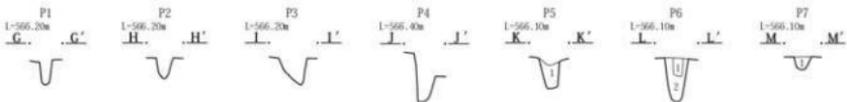
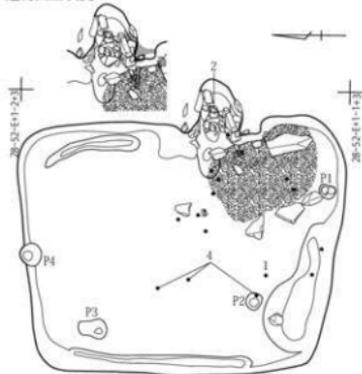
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし、やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。5cm大の垂角礫を若干含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし、やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。暗褐色土ブロックを少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性あり、やや明るく、褐色が強い、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。掘り方埋土。

貯蔵穴(C-C')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。中央にやや明るい褐色土を解状に含む。炭化物粒を若干含む。
- 2 灰白色土(10YR8/1) 締り、粘性ややあり。黄褐色土を塊状に含む。2cm大の赤褐色土粒子や黄褐色土粒子を含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし、やや黒色が強く、黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。暗褐色土を塊状に含む。

第91図 2号竪穴建物 平面図(1)

遺物出土状況



P5 (K-K')

- 1 黒褐色土～褐色土(10YR2/2～10YR4/6) ブロックを少量含む。上位層に黒色土(10YR2/1)のブロックと黄褐色土粒子を若干含む。

P6 (L-L')

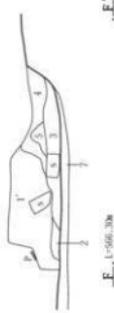
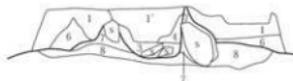
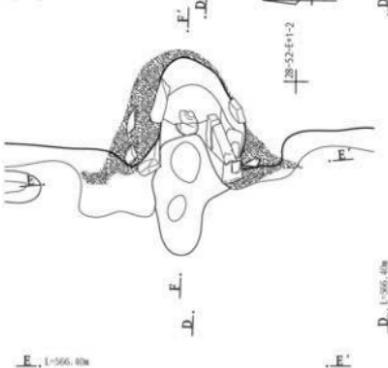
- 1 黒色土(10YR2/1) 彩度が鮮やかな均質土。住居理上。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 暗褐色土(10YR3/4)のブロックを大量に含む。黄褐色土粒子を含む。柱痕と思われる。

P7 (M-M')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土粒子を含む。均質土。暗褐色土(10YR3/4)のブロックを若干含む。

0 1:60 2m

カマド

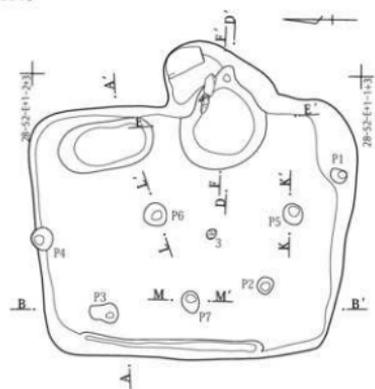


カマド(D-D'・E-E')

- 1 住居理上。
- 1' 住居理上に焼土粒子を若干含む。
- 2 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。黄褐色の焼土ブロックを大量に含む。5～10cm大の亜角礫を少量含む。
- 3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。5～30cm大の亜角礫を少量含む。(天井の崩落)
- 4 住居理上に焼土粒子、焼土ブロックを少量含む。
- 5 黄褐色土(10YR5/6) 明黄褐色土をブロック状に焼土を少量含む。
- 6 明黄褐色土(10YR6/8) 明黄褐色粘質ブロック主体。焼土粒子を少量含む。(カマド地の崩れ)
- 7 にくい黄褐色土(10YR7/4) 粘質土。粘性、締りあり。カマド地の構築上の一部。
- 8 黒褐色土(10YR3/1) 締り、粘性なし。褐色土粒子、褐色土ブロックを少量含む。

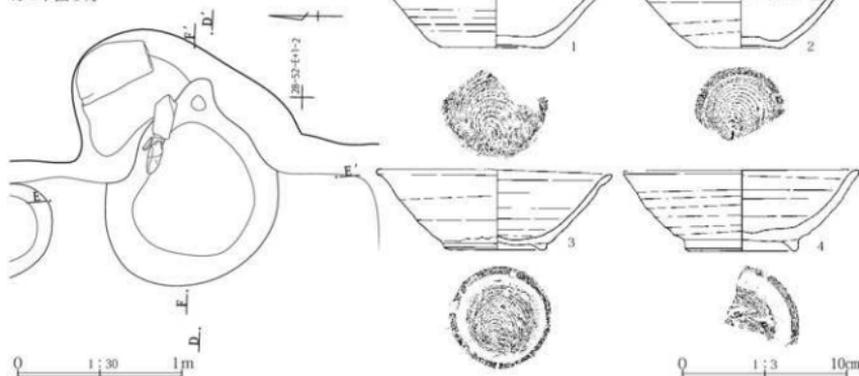
0 1:30 1m

掘り方



第92図 2号竪穴建物 平面図(2)

カマド掘り方



第93図 2号竪穴建物 平断面図(3)、出土遺物図

3号竪穴建物(旧VII区3号住居)(第94~96図, PL. 41・84)

位置: 28-52-F+3-1+2

主軸方位: N-8°-E

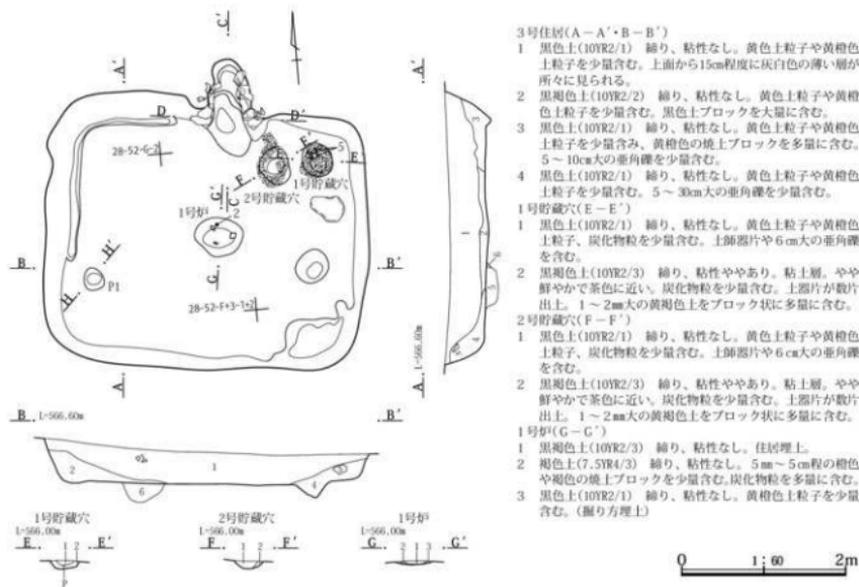
規模・形状: 3.1m×4.0mを測る隅丸方形形状を呈する。

残存深度: 45~60cm程。比較的良好に残る。

埋没土: 黒色~黒褐色土の自然堆積をもって埋没。

床面: 貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床面とする。

カマド: 北側壁のほぼ中央に位置し、カマド~北東コーナー一部にかけて散在する礫から、石組みのカマドであつ



第94図 3号竪穴建物 平断面図(1)

3号住居(A-A'・B-B')

1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。上面から15cm程度に灰白色の薄い層が所々に見られる。

2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。黒色土ブロックを大量に含む。

3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。黄褐色の焼土ブロックを多量に含む。5~10cm大の垂角礫を少量含む。

4 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。5~30cm大の垂角礫を少量含む。

1号貯蔵穴(E-E')

1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子、炭化物粒を少量含む。土師器片や6cm大の垂角礫を含む。

2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。粘土層、やや鮮やかで茶色に近い。炭化物粒を少量含む。土器片が数片出土。1~2mm大の黄褐色土をブロック状に多量に含む。

2号貯蔵穴(F-F')

1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子、炭化物粒を少量含む。土師器片や6cm大の垂角礫を含む。

2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。粘土層、やや鮮やかで茶色に近い。炭化物粒を少量含む。土器片が数片出土。1~2mm大の黄褐色土をブロック状に多量に含む。

1号炉(G-G')

1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。住居埋土。

2 褐色土(7.5YR4/3) 締り、粘性なし。5mm~5cm程の褐色や褐色の焼土ブロックを少量含む。炭化物粒を多量に含む。

3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を少量含む。(掘り方理上)

たものが、建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。煙道部は短く、勾配はやや急峻。使用面の顕著な焼土化はみられない。

柱穴：なし。

貯蔵穴：カマド右袖脇から北東コーナー部において、径35～45cmを測る円形の土坑が二基検出される。両土坑ともに黄褐色ローム土を内面に貼る。

壁周溝：北西コーナー部のみを検出される。深度は7cm程。

その他：床面の検出時に建物中央部にて跡跡と考えられ掘り方

る円形状のローム土・粘土・焼土が確認された。併せて貯蔵穴付近の床面上には、扁平な礫の出土もあり、工房跡の可能性も考えられたが、検出された焼土はブロック状を呈していることから、炉床土の焼土化ではなく、焼土の廃棄場所の可能性が高い。

重複遺構：なし。

掘り方：部分的に土坑状の掘り方を有する。

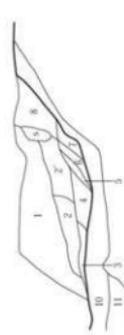
出土遺物：須恵器杯(Na 1)、須恵器椀(Na 2・4)、黒色土器椀(Na 3)、土師器甕(Na 5)などがあり、Na 2・3が床面直上より、Na 5は床面下より出土する。



- 1・2号土坑(1-1')
- 5 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色のやや砂質のブロックを大量に含む。15cm大の小粒状角礫を含む。
- 6 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色のやや砂質のブロックを大量に含む。15cm大の小粒状角礫を含む。
- 3号床下土坑(1-1')
- 7 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子と炭化物粒の混じった均質土。黒色土ブロックを少量含む。6cm大の亜円礫を1つ含む。下位層には亜円礫を多量に含む。

0 1:60 2m

カマド



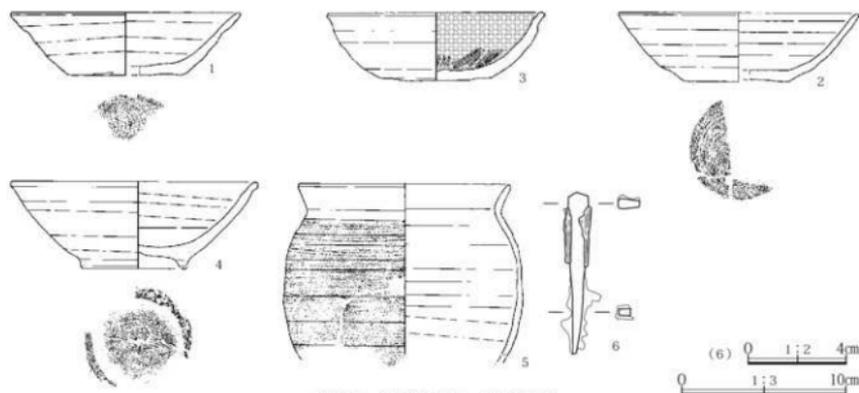
カマド(C-C'・D-D')

- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。上面から15cm程度のごとくに灰白色の薄層がところどころ見られる。
- 2 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性あり。黄色土粒子、焼土粒子を若干含む。
- 2' 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。黒色土ブロックを多量に含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 締り、粘性なし。焼土粒子、炭化物粒を多く含む。
- 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性あり。炭化物粒、焼土粒子を少量。焼土ブロックを多量に含む。
- 5 明黄褐色土(10YR7/8) 締り、粘性あり。粘質土、焼土ブロック含む。(天井)
- 6 褐色土(2.5YR6/8) 締り、粘性あり。天井の焼土。5の焼土化。
- 7 赤黒色土(2.5YR2/1) 締り、粘性なし。シルト質。灰主体。
- 8 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。焼土粒子、黄色土粒子含む。
- 9 黒褐色土(10YR3/1) 締りあり。粘質土。褐色土ブロックを多量に含む。
- 9' 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。褐色土ブロックを多量に含む。
- 10 にぶい赤褐色土(2.5YR5/3) 締り、粘性なし。灰を多量に含む。
- 11 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黒色土、明黄褐色土をブロック状に含む。

0 1:30 1m

第95図 3号貯穴・建物 平面図(2)

第4章 中棚Ⅱ遺跡



第96図 3号竪穴建物 出土遺物図

4号竪穴建物(旧:Ⅵ区4号住居)(第97・98図, PL.42・84)

位置: 28-43-A-21+2付近

主軸方位: N-21°-E

規模・形状: 3.2mを測る隅丸方形形状を呈すると思われるが、南半部を削平により欠失しているため不明。

残存深度: 0~30cm程を測る。

埋没土: 暗~黒褐色土上の自然堆積をもって埋没。

床面: 貼り床を持たず、掘削地山を踏み固めて床面とする。特に建物中央部からカマド前面にかけて固く締まる。カマド: 北側壁中央やや東寄りに位置し、カマド~北東コーナー部にかけて散在する礫から、石組みのカマドであったものが、建物の廃絶時に破壊されたものと推察さ

れる。煙道部は短く、勾配も緩やか。使用面の顕著な焼土化はみられない。

柱穴: なし。

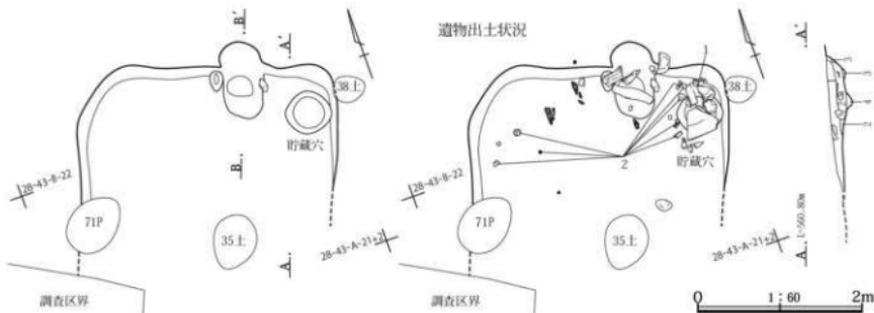
貯蔵穴: 北東コーナー部付近に位置し、径50cm、深度25cm程を測る。

壁周溝: なし。

重複遺構: 35・38号土坑・71号ピットと重複し、検出時の状況から、いずれの遺構よりも本建物の方が古いものと判断される。

掘り方: なし。

出土遺物: ロクロ土師器小型甕(Ⅱa 1)、同甕(Ⅱa 2)等の出土があり、Ⅱa 2が床面直上より出土する。



4号住居(A-A')

1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。白色軽石と黄褐色土粒子を若干含む。

2 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。褐色土ブロックを多量に含む。白色軽石と黄褐色土粒子を若干含む。上器上層と貯蔵穴周辺に2層あり。カマド

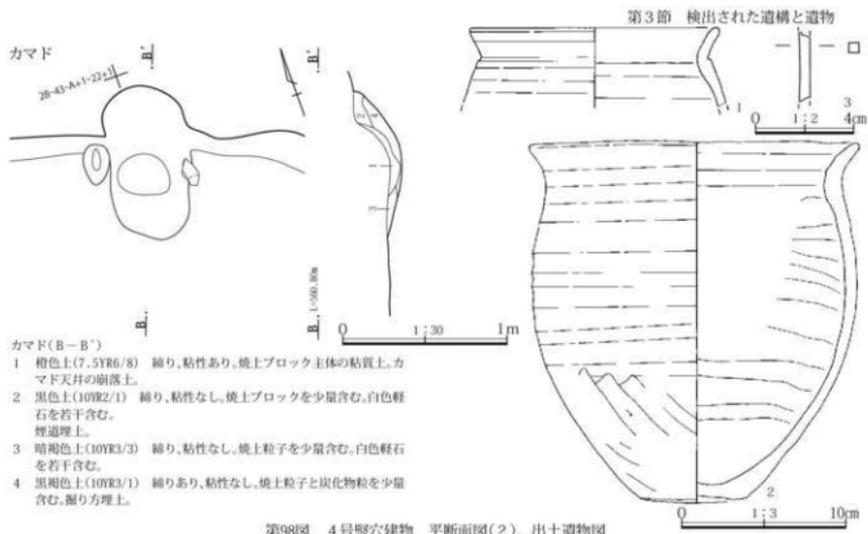
構築粘土炭の痕跡が。

3 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。白色軽石と黄褐色土粒子を若干含む。

貯蔵穴周辺のみ含まれる。

4 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。貯蔵穴上層、褐色土ブロックを多量に含む。白色軽石と黄褐色土粒子を若干含む。

第97図 4号竪穴建物 平面図(1)



5号竪穴建物(旧: VII区5号住居)(第99~101図、PL.43・84)

位置: 7区 28-52-L-1+2

主軸方位: N-16°-E

規模・形状: 約3m四方の隅丸方形を呈する。

残存深度: 30cm弱を測る。

埋没土: 黒色~黒褐色土の自然堆積をもって埋没する。

床面: 掘り方埋土上面を踏み固めて床面とする。特に建物中央部からカマド前面にかけて固く締まる。

カマド: 北壁の北東コーナー付近に位置し、カマドや建物南東コーナー部に散在する礫から、石組みのカマドであったものが、建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。標道部は短く、勾配は急峻。使用面等に顕著な焼土化はみられない。

柱穴: なし。

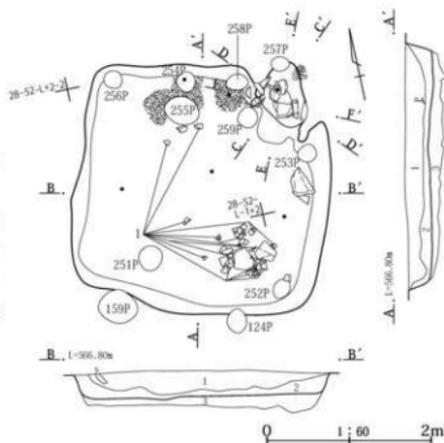
貯蔵穴: なし。

壁周溝: なし。

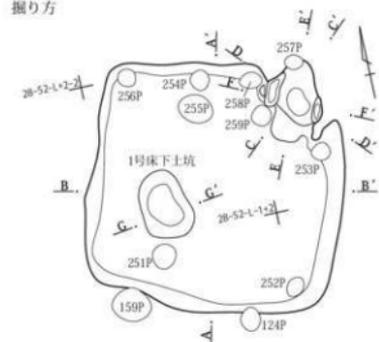
重複遺構: 124・159・251~259号ピットと重複し、カマド廃棄時の散在粘土層を切っているものが多いことから、いずれのピットよりも本建物の方が古いものと判断される。

掘り方: 全体を10~15cm程掘り下げ、中央やや南西寄りに浅い土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物: ロクロ土師器甕(No.1)等の出土があり、いずれも埋土中よりの出土である。



掘り方



1号床下土坑 (G-G')

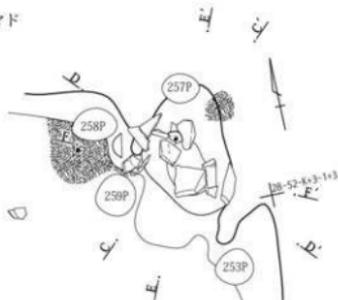
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。
軟らかく均質な土、明黄褐色土ブロック
少量、黒色土ブロック若干含む。



カマド(C-C'・D-D')

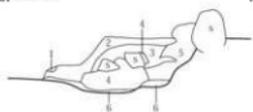
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。住居埋土。黄褐色土粒子・炭化物粒若干含む。黄褐色土ブロック(10YR5/8)大量に含む。
- 2 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。住居埋土。黄褐色土粒子・炭化物粒若干含む。
- 3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。住居埋土。黄褐色土粒子・炭化物粒若干含む。黄褐色土ブロック(10YR5/8)大量に含む。
- 4 褐色土(7.5YR6/8) 締り、粘性あり。焼土ブロック主体の粘質土。
- 5 にぶい黄褐色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黒色土混じり。焼土粒子多く含む。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色(10YR4/2)混じり。締り、粘性なし。焼土粒子を少量含む。
- 7 浅黄褐色土(10YR8/3) カマドの構築材。
- 5号住居カマド掘り方(E-E'・F-F')
- 8 粘土。
- 9 焼土主体。灰混じりの上。
- 10 掘り方埋土。

カマド



C., 1:566.80m

C'



D., 1:566.80m

D'



カマド掘り方



E., 1:566.80m

E'

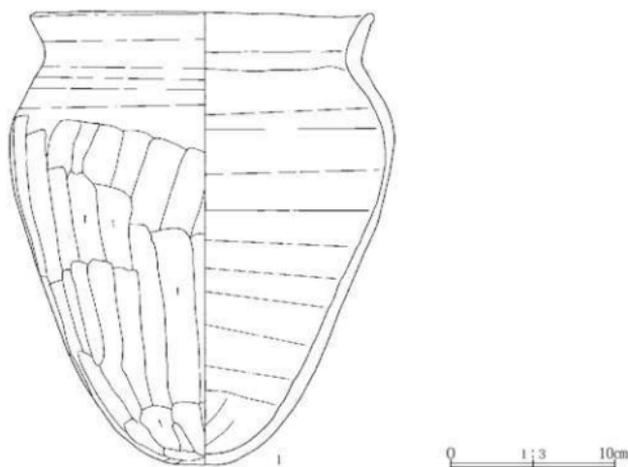


F., 1:566.80m

F'



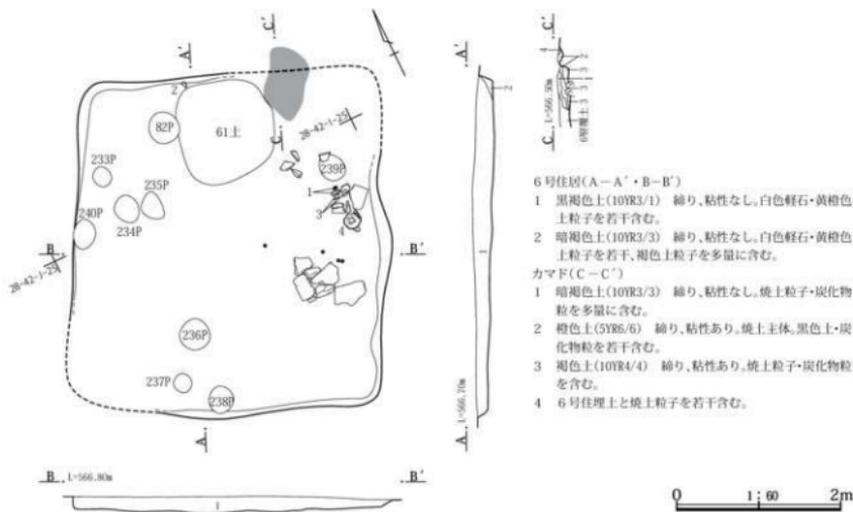
第100図 5号掘穴建物 平面図(2)



第101図 5号竪穴建物 出土遺物図

6号竪穴建物(旧: VII区6号住居)(第102・103図、
PL.42・85)
位置: 7区 28-42-1-25
主軸方位: N-27°-E
規模・形状: 3.9m×4.2mを測る隅丸形状を呈する。

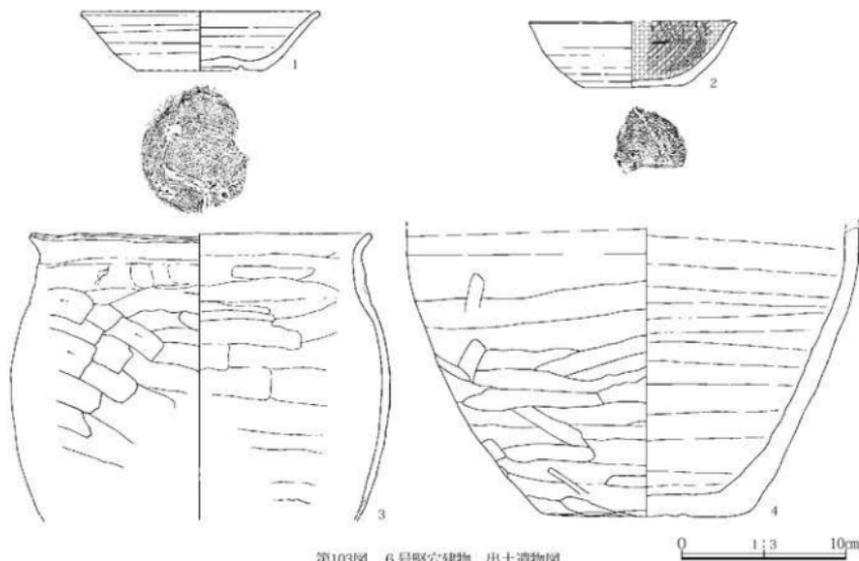
北東コーナー部および南西コーナー部を欠失する。
残存深度: 0~20cm程。
埋没土: 主に黒褐色土の自然堆積による埋没。
床面: 貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床面とする。



第102図 6号竪穴建物 平断面図

6号住居(A-A'・B-B')

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 締り、粘性なし、白色軽石・黄褐色土粒子を若干含む。
 - 2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし、白色軽石・黄褐色土粒子を若干、褐色土粒子を多量に含む。
- カマド(C-C')
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし、焼土粒子・炭化物粒を多量に含む。
 - 2 褐色土(5YR6/6) 締り、粘性あり、焼土主体、黒色土・炭化物粒を若干含む。
 - 3 褐色土(10YR4/4) 締り、粘性あり、焼土粒子・炭化物粒を含む。
 - 4 6号住居土と焼土粒子を若干含む。



第103図 6号竪穴建物 出土遺物図

カマド：削平のため、北東壁中央東寄りに痕跡を残すのみ。南東壁寄りに散在する礫より、石組みのカマドであったものが、建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。

柱穴：なし。

貯蔵穴：なし。

壁周溝：なし。

重複遺構：61号土坑と82・233～240号ピットと重複し、本建物はピット群より古く、土坑より新しいものと判断される。

掘り方：なし。

出土遺物：須恵器杯(No.1)・同甕(No.4)、黒色土器椀(No.2)、土師器甕(No.3)等があり、いずれも埋土中よりの出土である。

7号竪穴建物(旧：10区7号住居)(第104～106図、PL.44・85)

位置：10区 27-50-X-16+2

主軸方位：N-20°-E

規模・形状：3.4m×4.1mを測る隅丸長方形を呈し、北側壁のカマド脇のみ突出する。

残存深度：20～70cm程を測る。

埋没土：主に黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面：掘り方埋土上面を踏み固めて床面とする。

カマド：北東壁コーナー部に2基のカマド跡が検出され、付近に散在する礫や、掘り方に残る袖石設置孔などから、両カマド共に石組みのカマドであったと推察される。カマド跡は北側の2号カマドの方が新しいと判明した。

柱穴：住居西壁中央(P2)、南壁中央(P1)、東壁中央部(P3)に径23～42cm、深度52～56cmを測る壁柱穴が3穴検出された。残る北壁際については、重複土坑があり不明。

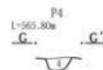
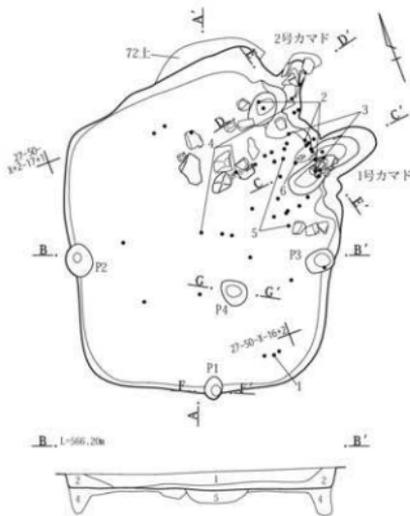
貯蔵穴：なし。

壁周溝：掘り方調査時に北コーナー部壁際のみ検出される。

重複遺構：北側において72号土坑と、南側において84号土坑とそれぞれ重複し、新旧関係は両土坑より本遺構の方が新しいものと判断される。

掘り方：深さ20～30cm土坑状の掘り込みを3か所程有する。

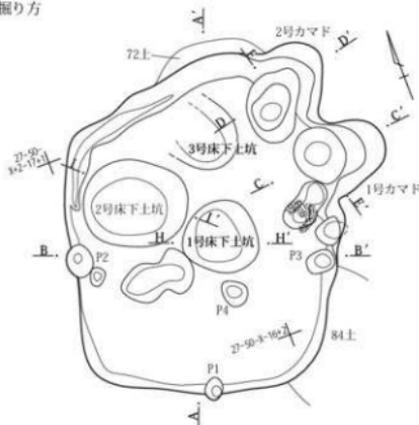
出土遺物：須恵器杯(No.1)、同椀(No.2・3・4・5・6)等の出土があり、No.2・3が床面直上より、No.4・5が床面下よりの出土である。



7号住居(A-A'・B-B')・P1(F-F')・P4(G-G')

- 1 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒子少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 粘性あり、ローム粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 粘性あり、焼土粒子少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、ロームを少量含む。

掘り方

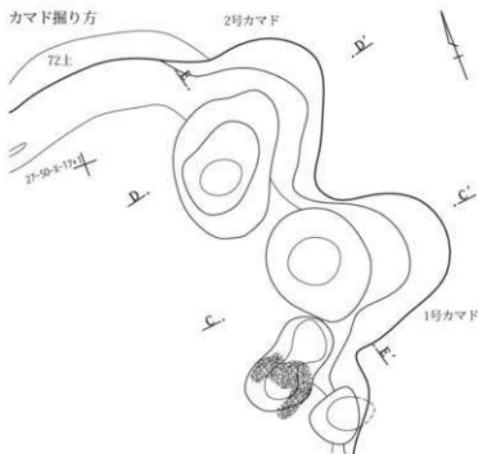
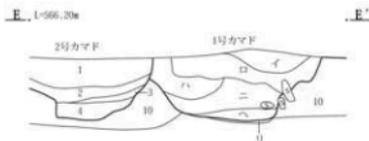
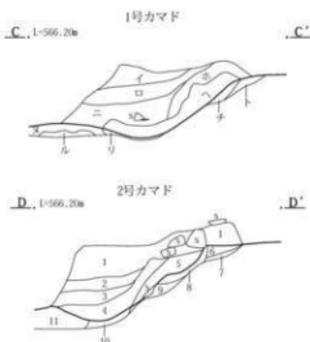
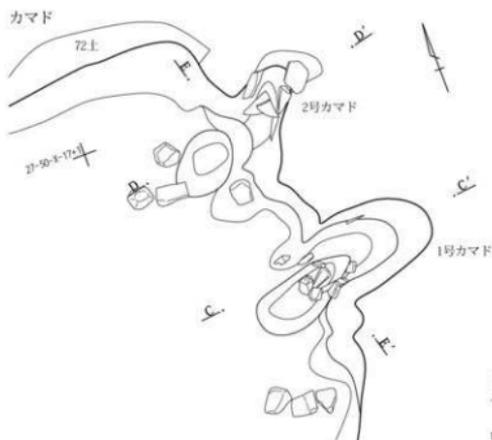


1号床下土坑(H-H')

- 5 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、3cm大の彫角礫を多量に含み、ロームが混じる。
- 6 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、ロームを少量含み、黄褐色風化岩片を少量含む。
- 7 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり、ロームを含む、均質土。
- 8 暗褐色土(10YR3/3) 2より粘性が高く、ロームを多く含む。

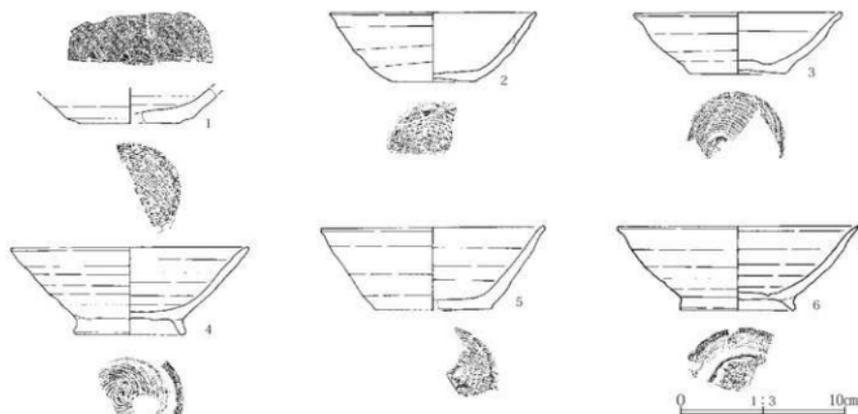
0 1:60 2m

第104図 7号竪穴建物 平面図(1)



- 1号カマド(C-C')
- イ 黒褐色土(10YR3/2) 締りややあり、粘性あまりなし。ロームを少量含む。
 - ロ 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。
 - ニ 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。粘土や焼土を含む。炭化物を少量含む。
 - ホ 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。ロームや黒味の強い黒褐色土を斑状に含む。
 - ヘ 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。橙色(7.5YR6/8)の締りのある焼土を多量に含む。
 - ト 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。均質上でロームを僅かに含む。
 - チ 黄褐色土(10YR5/6) 締り、粘性共にややあり。カマドを形成する粘土。
 - リ 明黄褐色土(10YR6/6)のなかに橙色(5YR7/8)の焼土を含む。
 - ヌ 暗褐色土(10YR3/3) 締りがとてもあり、粘性がややある。白色風化岩片を多量に含む。
 - ル 明黄褐色土(10YR6/8) 締りがとてもあり、粘性がややあるローム上。
- 2号カマド(D-D')
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を僅かに含む。3cm大の垂角礫を少量含む。
 - 2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。ローム土を含む。
 - 3 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。ローム土を少量含む。
 - 4 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。ローム土を大量含む。上層に比べると、鮮やかなロームを含む。
 - 5 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。含有物少ない均質土。
 - 6 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を含む。均質土。
 - 7 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。下位は黒く炭化している部分も見られるがほぼ均質土。
 - 8 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。ロームを含み白色風化岩片を少量含む。
 - 9 黄褐色土(10YR5/6)を中心として粘性のある粘土。
 - 10 黄褐色土(10YR7/8) 締りがあり、粘性のあまりない粘土。
 - 11 黒褐色土(10YR3/2) 締りがとてもあり、粘性がややあるロームが僅かに混じる均質土。

第105図 7号竪穴建物 平断面図(2)



第106図 7号竪穴建物 出土遺物図

8号竪穴建物(旧:10区8号住居)(第107~109図、

PL.45-85)

位置:10区 27-50-R-21付近

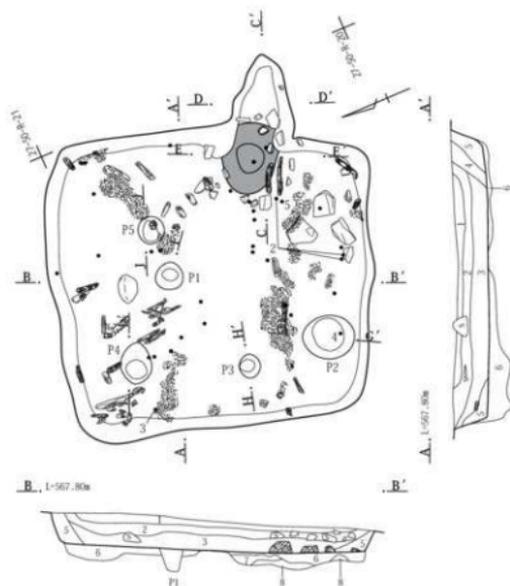
主軸方位: N-112°-E

規模・形状: 3.65m×4.0mを測る隅丸方形形状を呈する。

床面付近において、多量の炭化材と粘土を検出するが、床面との間に堆積土が認められることから、焼失家屋ではなく、埋没途上におけるものであると判断される。

残存深度: 25~43cmを測る。

埋没土: 主に黒褐色土の自然堆積による埋没。



第107図 8号竪穴建物 平断面図(1)

8号住居(A-A')

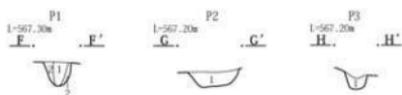
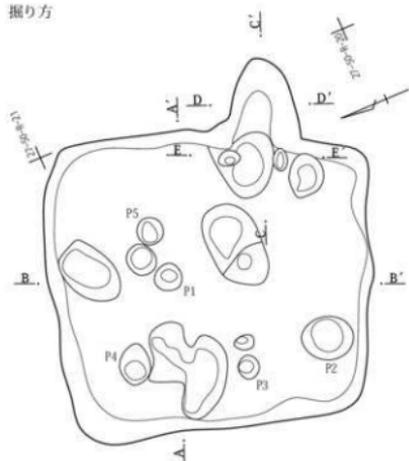
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。3cm大の角礫を僅かに含む。ほぼ均質上。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。10cm大の垂角礫を多く含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。炭化物や粘土を多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。黄褐色風化岩片を少量含む。
- 5 黒褐色土(10YR2/3) 締りあまりなし、粘性ややあり。均質上。東側は少し堅さを増す。

8号住居(B-B')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。3cm大の角礫を僅かに含む。ほぼ均質上。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。10cm大の垂角礫を多く含む。特に南側は多く含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。炭化物や粘土を多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締りあまりなし、粘性ややあり。均質上。
- 5 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。ロームを少量含む。
- 6 黄褐色土(10YR8/8) 締りややあり、粘性とてもある粘土。
- 7 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あまりない。地山のロームを含み、黄褐色風化岩片を多く含む。

0 1:60 2m

掘り方



P 1 (F - F')

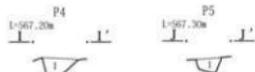
- 1 黒褐色土(10YR2/1) 締り、粘性共にややあり、粘土を少量含む、均質上。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり、粘土を少量含む。

P 2 (G - G')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、3~5cm大の角礫を多く含む。

P 3 (H - H')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。



P 4 (I - I')

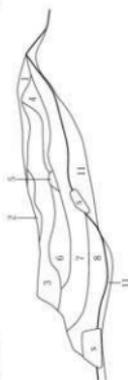
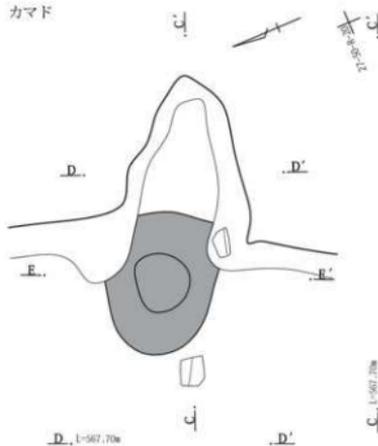
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、2cm大の角礫を少量含む。

P 5 (J - J')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。



カマド



カマド(C-C')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を多く含む、黄褐色風化岩片を含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土をブロック状に含む、下位は焼土化。
- 4 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性共にややあり、均質上。
- 5 褐色土(2.5YR6/8) 締りややあり、粘性あまりない焼土。
- 6 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、焼土をブロック状に含む。
- 7 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、均質上。
- 8 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし、下位に炭化物を含む。

カマド(D-D')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を多く含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土と焼土を多く含む。
- 4 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性共にややあり、両側は特に黒味が強く、中央部は焼土が確認できる。
- 7 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を少量含む。

カマド(E-E')

- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を少量含む。
- 6 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、焼土を斑状に含む。
- 7 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、両側には粘土が少量含む。
- 8 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし、焼土と炭化物を少量含む。
- 9 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、ほぼ粘土で、カマドの左袖部
- 10 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし、粘土を大量に含む。カマドの右袖部

掘り方(C-C'・D-D'・E-E')

- 11 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あまりなし、ロームを多く含む。



第108図 8号竪穴建物 平面図(2)

床面：掘り方埋土上面を踏み固めて床面とする。

カマド：南東壁中央南寄りに設けられ、付近に散在する礫や、掘り方に残る袖石設置孔などから、石組みのカマドであったものが建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。

柱穴：なし。床面上に5穴程の掘り込みを検出するが、柱穴と断定できるものはない。

貯蔵穴：なし。掘り方調査時にカマド脇より土坑状の掘り込みを検出するが、深度は18cmと浅い。

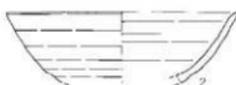
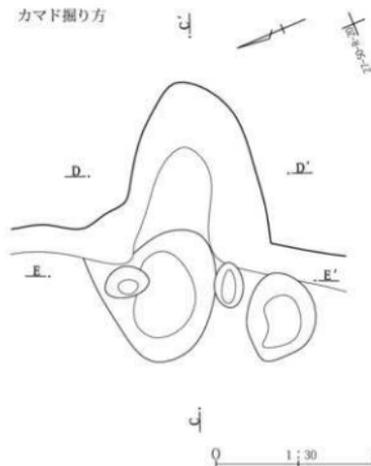
壁周溝：なし。

重複遺構：なし。

掘り方：深さ20～30cm土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物：須恵器杯(Na 1)・同椀(Na 2)、灰釉陶器椀(Na 3・4)・同皿(Na 5)等の出土があり、Na 2が床面直上よりの出土である。

カマド掘り方



0 1:30 1m

0 1:3 10cm

第109図 8号竪穴建物 平断面図(3)、出土遺物図

9号竪穴建物(旧:10区9号住居)(第110-111図、PL.46-85)

位置：10区 27-50-R-18付近

主軸方位：N-103°-E

規模・形状：3.2m×3.65mを測る隅丸方形状を呈する。

残存深度：20～35cm程を測る。

埋没土：主に黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面：掘削面の地山を踏み固めて床面とし、一部は掘り方埋土上面を固めて床面とする。

カマド：東壁の南東コーナー寄りに設けられ、付近に散在する礫から、石組みのカマドであったものと推察される。煙道部は短く、燃烧部から急峻に立ち上がる。

柱穴：床面中央に検出されたP 1を主柱穴とする。西壁中央に検出されたP 343と東壁側屋外に検出されたP 351も軸線上に位置するため、柱穴となる可能性がある。

貯蔵穴：なし。

壁周溝：なし。

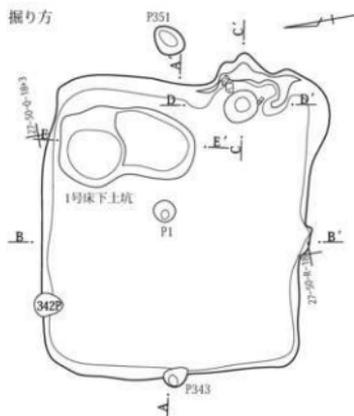
重複遺構：P 342・343と重複し、P 342との関係は、ピツ

トの方が新しい。

掘り方：北東コーナー部からカマドにかけて、深さ10～20cmの土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物：須恵器杯(Na1・2)・同椀(Na3・4・5)、

等の出土があり、Na2は床面直上よりの出土である。また、Na1の内面底部に刻書記号が、Na4の内面底部に墨書文字が認められる。



B, L=567.30m



1号床下土坑 (E-E')

F, L=566.90m



P1

L=566.90m



1号床下土坑(E-E')

1 黒褐色土(10YR2/2) 締りやややあり、粘性あまりなし。5cm大の垂角礫を多く含む、ロームも多く含む。

1号ビット(F-F')

1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にやややあり。5cm大の垂角礫を少量含む、ロームが混じる。

9号住居(A-A'・B-B')

1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にやややあり。5～10cm大の垂角礫を多く含む。15cm以上の角礫も僅かに含む。

2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にやややあり。5cm大の垂角礫を多く含む。

3 暗褐色土(10YR3/3) 締りやややあり、粘性あまりなし。ロームが多く混ざり、黄褐色風化岩片を多量に含む。

4 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にやややあり、ロームを少量含む。

5 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にあまりなし。砂質のロームを下位に含む。3cm大の角礫を少量含む。

6 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にやややあり。5cm大の角礫とロームを少量含む。

7 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にやややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。

8 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にやややあり、ロームを、疎らに含む。

9 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にやややあり。砂質のロームブロックを僅かに含む。

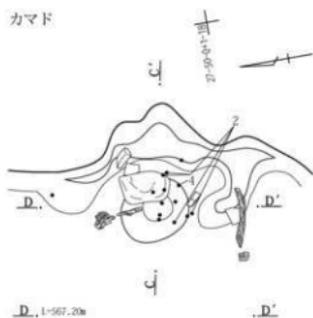
10 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にあまりなし。5層より粘性の高いロームを少量含む。

11 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にやややあり。5cm大の垂角礫を多く含む。床下は砂質のローム。

0 1:60 2m

第110図 9号竪穴建物 平面図(1)

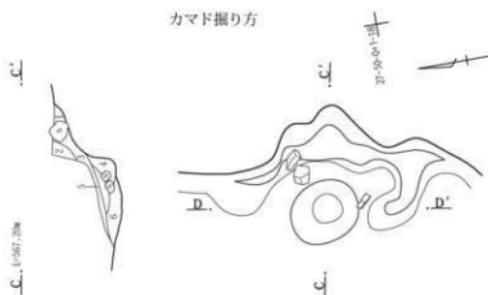
カマド



D., 1:50, 20m

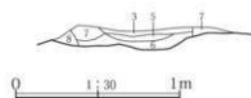
D'

カマド振り方

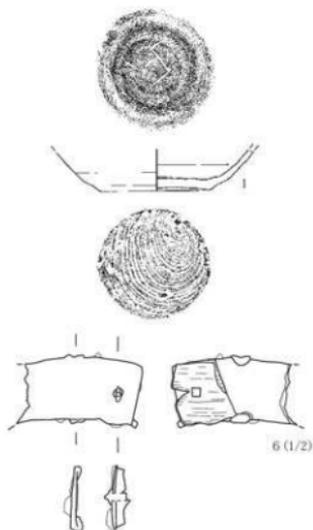


カマド(C-C'・D-D')

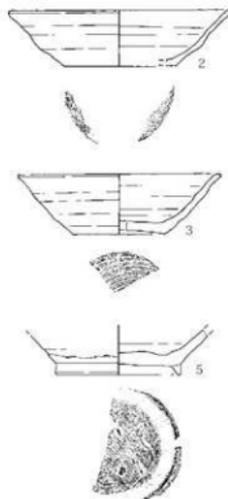
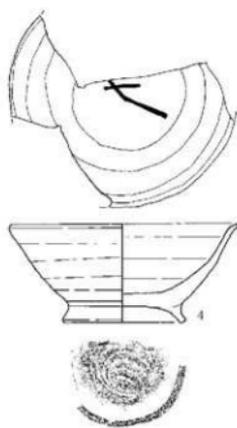
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り,粘性共にややある均質土。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり,粘性あまりなし。2cm大の礫を多く含む。ロームが混じる。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 締り,粘性共にややあり,炭化する。
- 4 明黄褐色土(10YR6/6) 締りややあり,粘性あまりない粘土。
- 5 明赤褐色土(2.5YR5/8) 締り,粘性共にあまりない境上。
- 6 黄褐色土(10R7/8) 締り,粘性共にあまりない砂質のローム。
- 7 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり,粘性あまりなし。ロームが多く混じる。
- 8 明黄褐色土(10YR6/6) 締り,粘性共にややあり。左袖部。



0 1:30 1m



6 (1/2)



0 1:2 4cm
0 1:3 10cm

第111図 9号竪穴建物 平断面図(2)、出土遺物図

10号竪穴建物(旧:10区10号住居)(第112~114図、

PL.47・86)

位置:10区 28-41-C+1-23

主軸方位:N-111°-E

規模・形状:4.0m×5.4mを測る隅丸長方形を呈すると思われるが、南西側の壁と北西壁の半分を失っているため全様は不明。

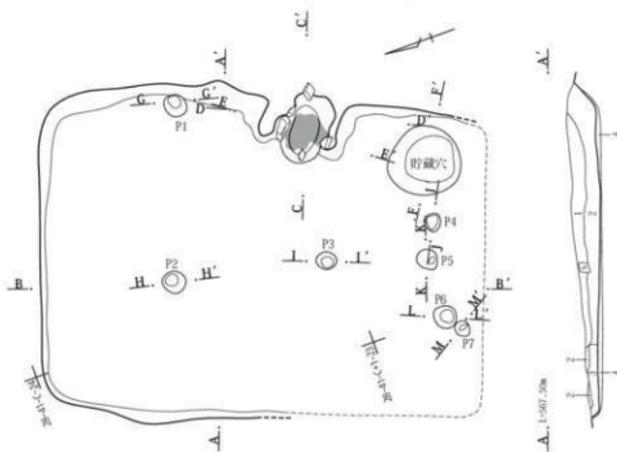
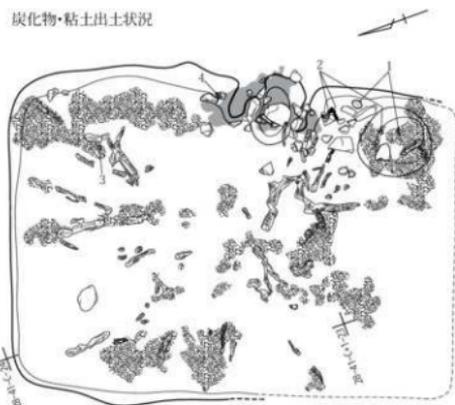
残存深度:0~41cm程を測る。

埋没土:主に黒褐色土の自然堆積による埋没。床面上に炭化材が放射状に検出され、上屋根と考えられる。

床面:全面的に掘り方柱土上面を固めて床面とする。

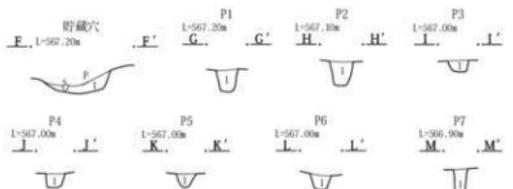
カマド:南東壁中央やや南寄りに設けられ、付近に

炭化物・粘土出土状況



- 10号住居(A-A'・B-B')
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。5~10cm大の垂角礫が多く含まれる。
 - 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。5cm大の垂角礫を少量含む。炭化材と少量の粘土を含む。
 - 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。粘土を多く含む。
 - 4 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。2cm大の垂角礫を少量含む。

B. 1:567.50m



- 貯蔵穴(F-F')
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。炭化物を僅かに含む。ロームブロックを少量含む。
- P1・P2・P3(G-G'・H-H'・I-I')
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。2cm大の垂角礫を大量に含む。
- P4・P5・P6・P7(J-J'・K-K'・L-L'・M-M')
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややある均質土。

第112図 10号竪穴建物 平断面図(1)

散在する礫から、石組みのカマドであったものと推察される。煙道部は短く、燃焼部から緩やかに立ち上がる。

柱穴：床面中央北東寄りに検出されたP2を主柱穴とし、南東壁の北東寄り検出されたP1が柱穴となる可能性が高い。

貯蔵穴：南東コーナー部に位置し、床面寄りの深度は32cm程を測る。

壁周溝：なし。

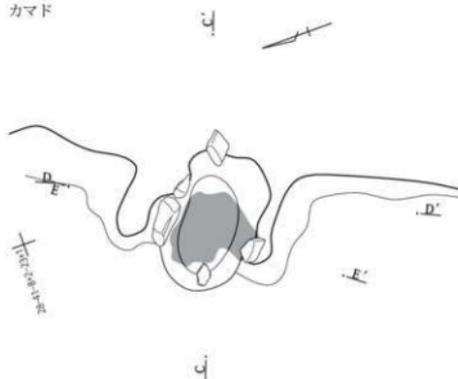
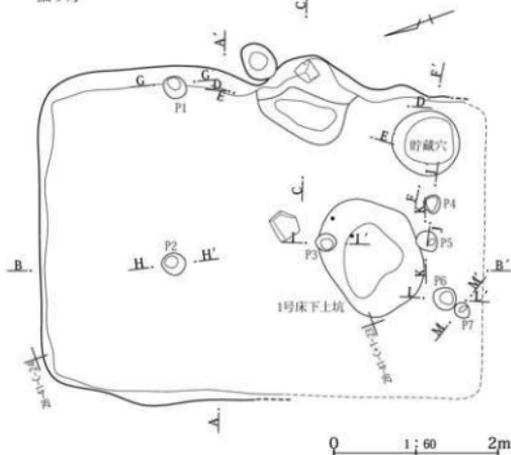
重複遺構：なし。

掘り方：住居中央南西寄りに、深さ20cm強の土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物：須恵器杯(Na 1)・同椀(Na 2・3)、黒色土器耳皿(Na 4)等が出土し、Na 1が床面直上、Na 3が床面下より出土する。また、Na 1が外面口縁部に、Na 3が内外面口縁部に墨書文字が認められる。

カマド

掘り方



D, 1:567, 40m



D' カマド(C-C'・D-D'・E-E')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。3cm大の垂角礫を少量、焼土を僅かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。炭化物を多く含む、粘土を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 褐色の締りのある焼土を多く含む。
- 4 住居の埋土に準ずる。
- 5 褐色土(5YR7/8) 締りのある焼土。
- 6 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、焼土を少量含む。
- 7 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘土を含む。
- 8 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、黄褐色風化岩片を多く含む。

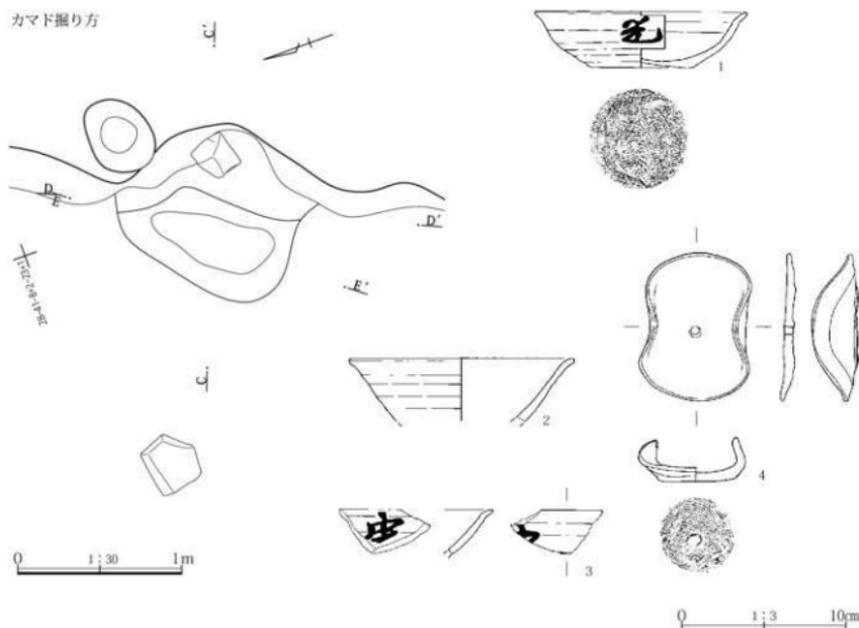
E, 1:567, 40m



0 1:30 1m

第113図 10号掘穴建物 平面図(2)

カマド掘り方



第114図 10号竪穴建物 平断面図(3)、出土遺物図

11号 竪穴建物(旧:10区11号住居)(第115・116図、PL.49・86)

位置:10区 27-50-O-21

主軸方位:N-113°-E

規模・形状:5.0m×5.5mを測るやや歪な菱形形状を呈すると思われるが、南西側の壁の一部を攪乱で失っているため全様は不明。異様な平面形状を呈する。

残存深度:8~31cm程を測る。

埋没土:黒色~黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:全面的に掘り方埋土上面を固めて床面とする。

カマド:南東壁中央やや南寄りに設けられ、石組みのカマドで、燃烧部天井部の石組みが残る。煙道部は突出せず、燃烧部から緩やかに立ち上がる。

柱穴:床面中央北西寄りに検出されたP1を主柱穴と

し、南東壁に検出されたP2、北東壁のP3、南西壁のP4・P5、北コーナー部に検出されたピットが壁柱穴となる可能性が高い。

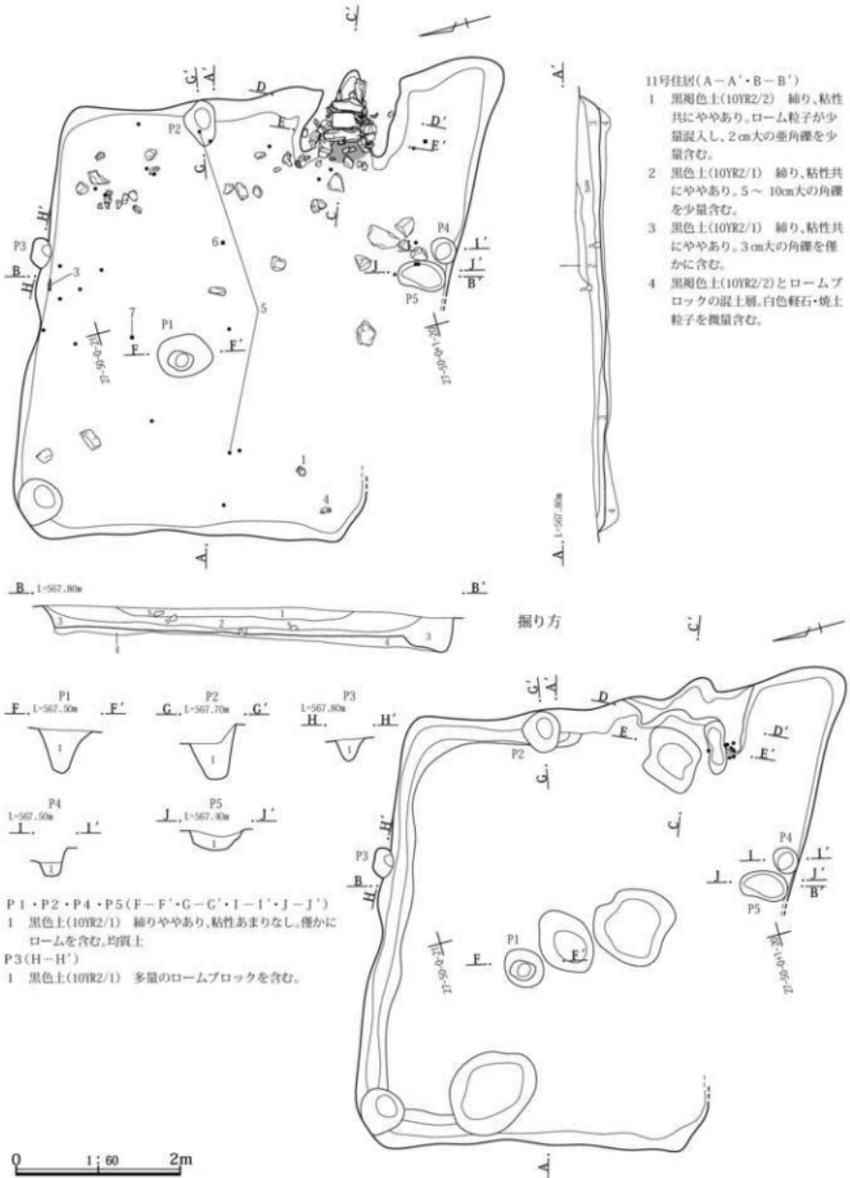
貯蔵穴:なし。

壁周溝:床面上では確認されなかったが、掘り方調査により北東半部の壁際にコの字状に溝が検出された。

重複遺構:南東コーナー部において214号土坑と重複し、新旧関係は本遺構の方が新しいものと判断される。

掘り方:住居中央などに、浅い土坑状の掘り込みを有する。

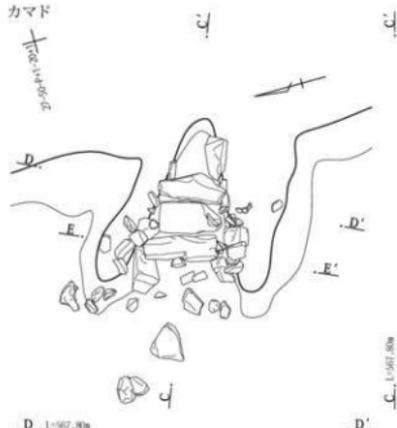
出土遺物:須恵器椀(№1・2)、灰釉陶器皿(№3・4・5)、鉄製刀子(№6・7)等の出土があり、№2・6・7が床面直上、№3が床面下よりの出土である。また、№2の外面体部に墨書文字が認められる。



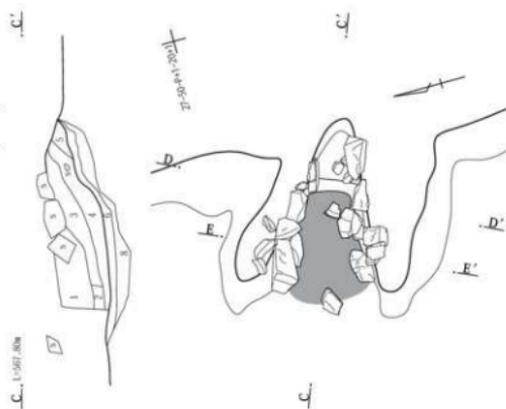
第115図 11号掘穴建物 平面図(1)

第4章 中棚II遺跡

カマド



D., 1:300, 80m

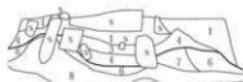


D., 1:300, 80m

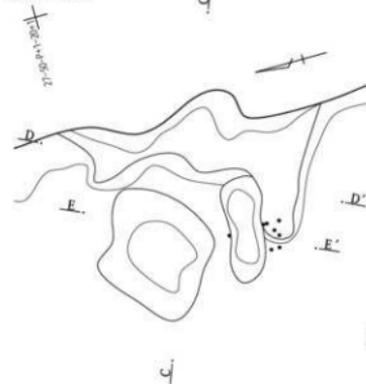


E., 1:567, 80m

E.



カマド掘り方



0 1:30 1m

カマド(A-A'~D-D')

1 黒褐色土(10YR2/2) 焼土粒子多量。ローム粒子・白色軽石を少量含む。

2 黒色土(10YR2/1) 焼土粒子・ローム粒子・白色軽石を少量含む。

3 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。均質土。

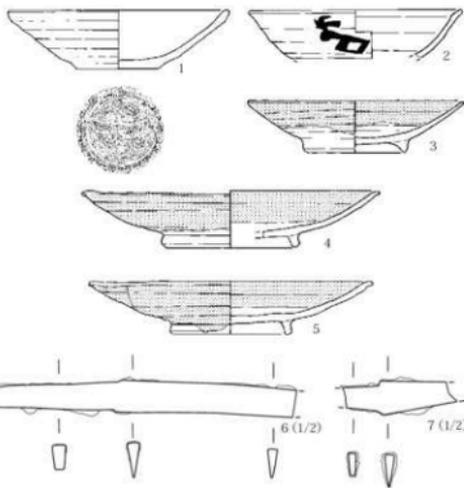
4 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子を少量含む。

5 黒色土(10YR2/1) 均質土。

6 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを多量に含む。小礫含む。

7 黒褐色土(10YR2/2) 赤褐色土ブロック均一に混じる。小礫若干含む。締まり、粘性あり。

8 黒褐色土(10YR2/2) 小礫若干含む。締まり、粘性あり。



0 1:2 4cm
0 1:3 10cm

第116図 11号竪穴建物 平断面図(2)、出土遺物図

12号 竪穴建物(旧:10区12号住居)(第117~119図、PL.50-86-87)

位置:10区 27-50-N-20付近

主軸方位:N-114°-E

規模・形状:4.1m×4.4mを測る、歪な隅丸方形を呈する。異様な平面形状を呈する。

残存深度:16~43cmを測る。

埋没土:黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:全面的に薄く掘り方埋土を固めて床面とする。

カマド:南東壁中央やや南寄りに設けられ、付近に散在する礫から、石組みのカマドであったものが建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。煙道部は突出せず、燃焼部から急峻に立ち上がる。

柱穴:床面に検出されたP2・P3が柱穴となり、建物のほぼ中央部に結ぶ棟の可能性が高い。検出されたP1は、深度も浅く柱穴とは考えにくい。

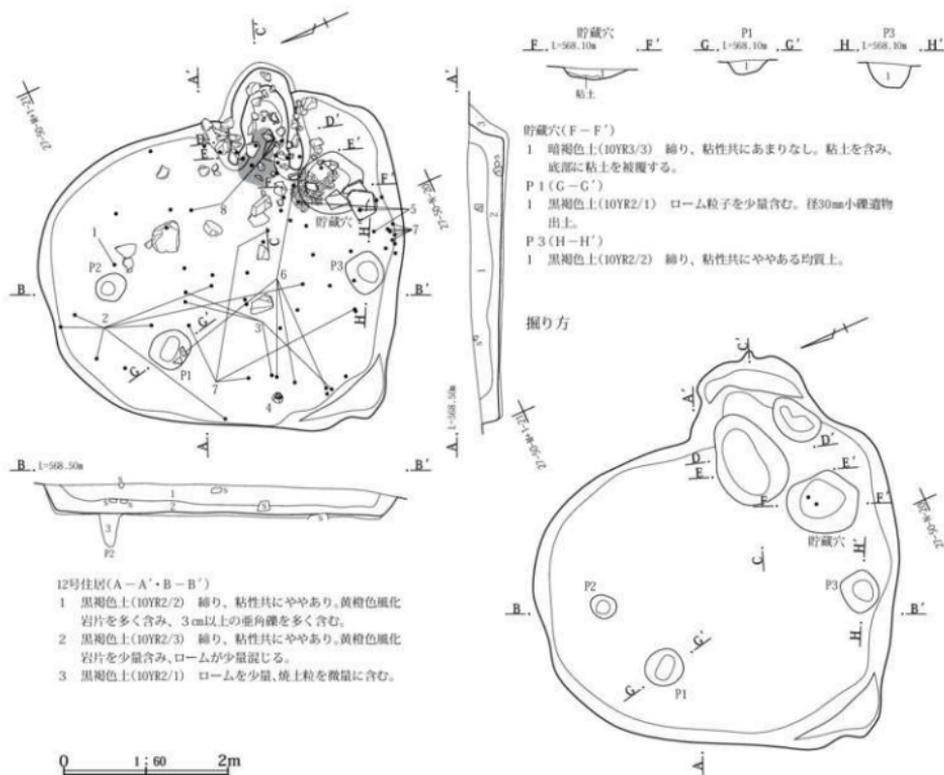
貯蔵穴:南東コーナー部カマド右脇の落ち込みを貯蔵穴として調査されているが、その深度は僅か13cm程であり、貯蔵穴とは考えにくい。

壁周溝:なし。

重複遺構:なし。

掘り方:カマド部のみ、掘り方を有する。

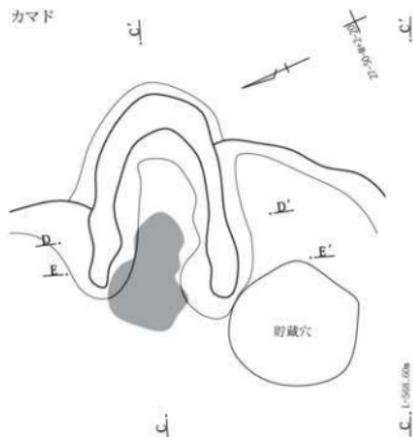
出土遺物:須恵器杯(Na1)、同碗(Na2・3・4・5)、土師器小型甕(Na6)、同甕(Na7)、羽釜(Na8)、砥石(Na9)等の出土があり、Na4・6が床面下よりの出土である。また、Na2の内面体部には墨書文字が認められる。



第117図 12号竪穴建物 平面図(1)

第4章 中棚II遺跡

カマド



C, 1:500, 60m



カマド(C-C'・D-D'・E-E')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を含み、礫を僅かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。礫を少量含む、粘土を少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あまりなし。砂質の粘土を多く含む。
- 3' 暗褐色土(10YR3/3) 3層に少量のロームブロックを含む。
- 4 褐色土(5YR6/8)の湿った焼土。
- 5 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。袖部の粘土を多く含む。
- 6 黒褐色土(10YR3/1) 多量のロームブロックを含む。
- 7 黒褐色土(10YR3/1) 少量のロームブロックと微量の焼土を含む。
- 8 黒褐色土(10YR3/1) 多量のロームブロックと少量の焼土を含む。

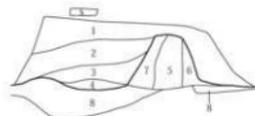
D, 1:500, 60m

D'

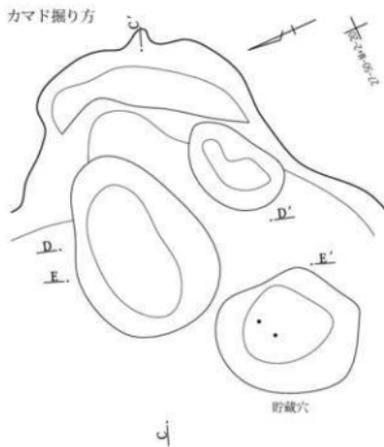


E, 1:500, 60m

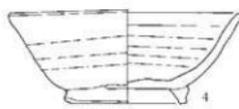
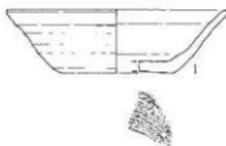
E'



カマド掘り方



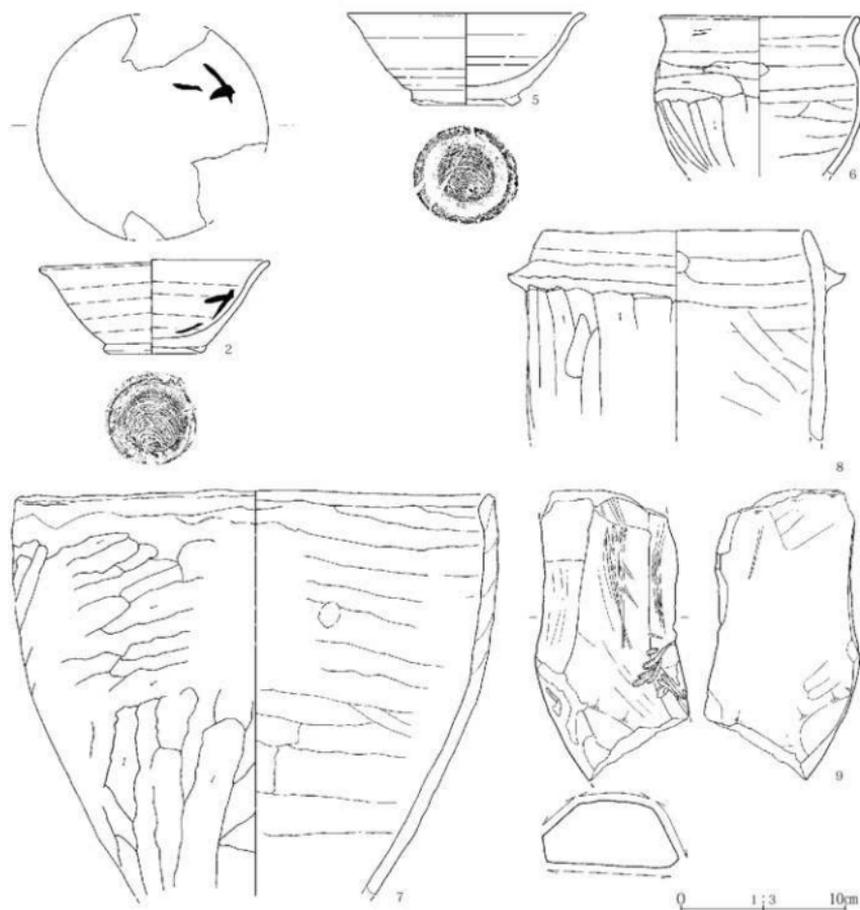
0 1:30 1m



0 1:3 10cm



第118図 12号竪穴建物 平断面図(2)、出土遺物図(1)



第119図 12号竪穴建物 出土遺物図(2)

13号 竪穴建物(旧:10区13号住居)(第120~122図、PL.51・87)

位置:10区 27-50-L-19

主軸方位:N-51°-E

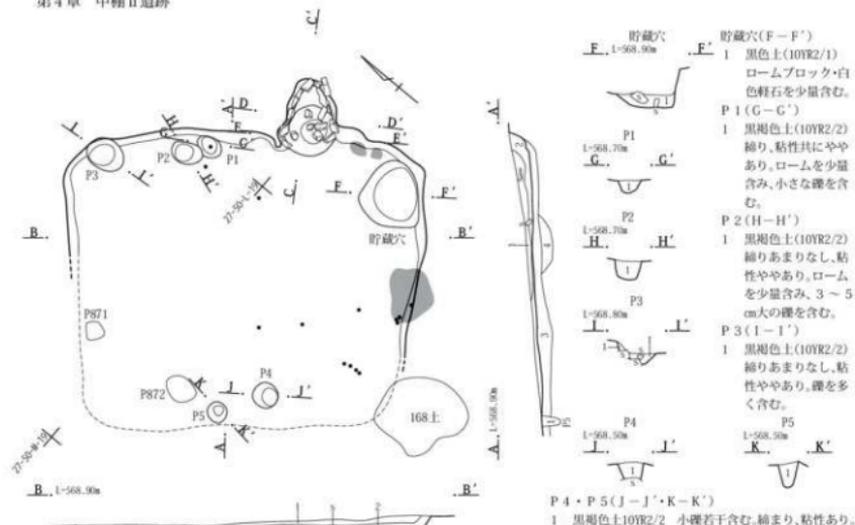
規模・形状:3.7m×4.4mを測る、隅丸長方形形状を呈すると思われるが、南西部を削平により失っているため、全容は不明。

残存深度:10~33cm程を測る。

埋没土:黒褐色土上の自然堆積による埋没。

床面:全面的に掘り方埋土上面を固めて床面とする。

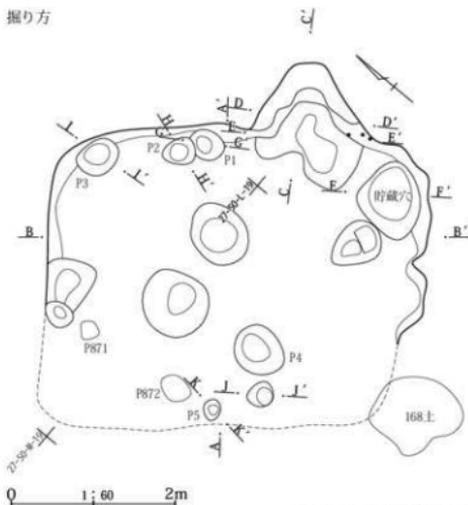
カマド:北東壁中央やや南東寄りに設けられ、カマド部壁に残る石組みや、付近に散在する礫から、石組みのカマドであったものが建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。煙道部は短く、燃焼部からやや急峻に立ち上がる。また、南東壁中央部付近にて焼土の集中堆積を検出し、2号カマドとして調査を行ったものの、カマド跡ではなく建物埋没途上における焼土廃棄の痕跡と考えられる。



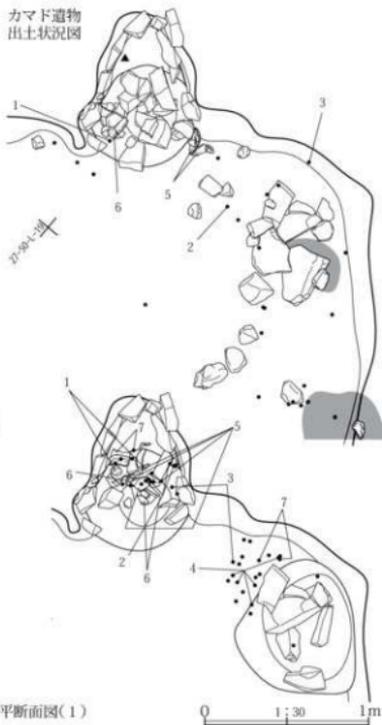
13号住居(A-A'・B-B')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし、小さな礫が含まれる。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。ロームが少量含まれる。1より粘性が高く均質である。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・焼土粒子・ロームブロックを少量含む。
- 4 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子・ロームブロックを少量含む。

掘り方

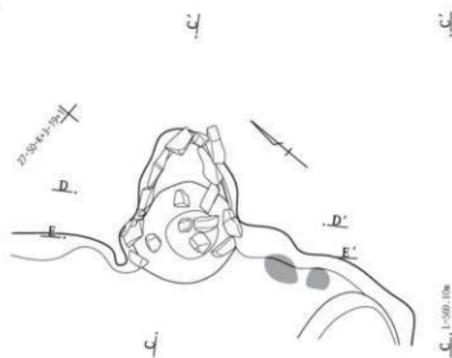


カマド遺物出土状況図



第120図 13号貯穴建物 平断面図(1)

カマド



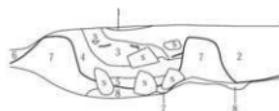
D, 1:500, 10m

D'



E, 1:500, 10m

E''

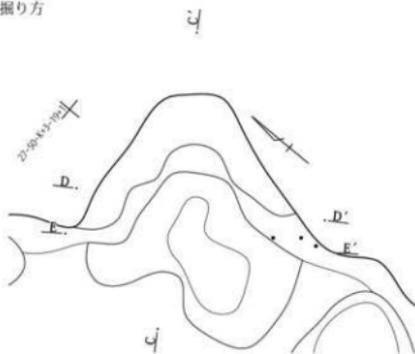


C, 1:500, 10m

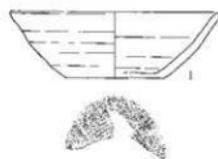
カマド(C-C'・D-D'・E-E')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む、粘土を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。カマドの構築材の粘土を多く含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒子・ローム粒子・炭化物を微量含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土(10YR3/2) ロームブロックを多量に含む。炭化物を少量含む、袖に粘土質の上を貼る。
- 7 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石・袖構築材の礫を含む。
- 8 暗褐色(10YR3/3) ロームブロックを多量に含む。焼土粒子を少量含む。
- 9 黒色土(10YR2/1) 焼土ブロック多量に含む。
- 10 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックを多量に含む。

カマド掘り方

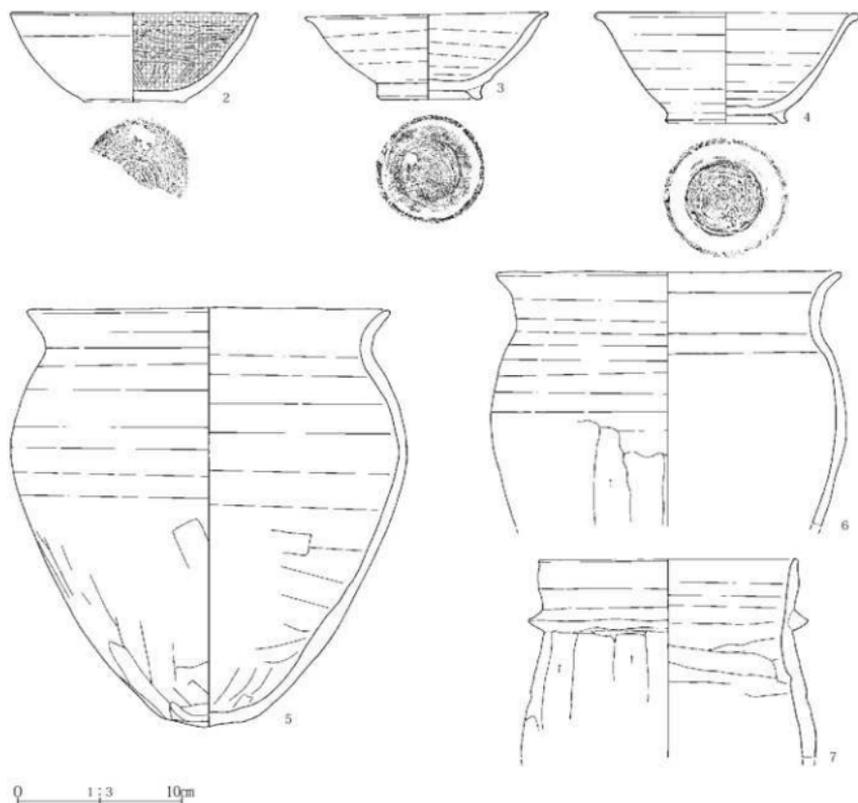


0 1:30 1m



0 1:3 10cm

第121図 13号竪穴建物 平断面図(2)、出土遺物図(1)



第122図 13号竪穴建物 出土遺物図(2)

柱穴：北東壁と南西壁の際に検出されたP1～P5のうち、P1・P2とP4・P5が柱穴となり、建物の中央北西寄りを結ぶ棟の可能性が高い。

貯蔵穴：南東コーナー部に位置し、深度は25cm程を測る。建物廃絶時には開口していたらしく、破壊・廃棄されたカマド構築材が流入する。

壁周溝：なし。

重複遺構：南西半部において168号土坑やP871・P872と重複していると思われるが、削平により欠失しているため、新旧関係は不明。

掘り方：床面に土坑状の掘り方を5か所程有する。

出土遺物：須恵器碗(No.1・4)、黒色土器碗(No.2)、口

クロ土師器甕(No.5)、土師器甕(No.6)、羽釜(No.7)等の出土があり、No.7のみが床面直上よりの出土である。

14号竪穴建物(旧：7区14号住居)(第123図、PL.52)

位置：7区 28-52-A+3-1+2

主軸方位：N-23°-E

規模・形状：3.1m×3.4mを測る、歪な隅丸形状を呈する。

残存深度：17～25cm程を測る。

埋没土：黒褐色土の自然堆積による埋没。建物内より炭化材の出土がみられるが、いずれも埋没途上に廃材が燃されたか、投げ入れられたものと判断される。

床面：貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床

面とする。

カマド：北東壁のほぼ中央部に設けられ、カマド掘り方の壁に残る設置痕や、付近に散在する礫から、石組みのカマドであったものが建物の廃絶時に破壊されたものと推察される。燃焼部には天井部の崩落焼土が厚く堆積する。煙道部は短く、燃焼部から緩やかに立ち上がる。

柱穴：なし。

貯蔵穴：東コーナー部、カマド右脇に位置し、底径45cm

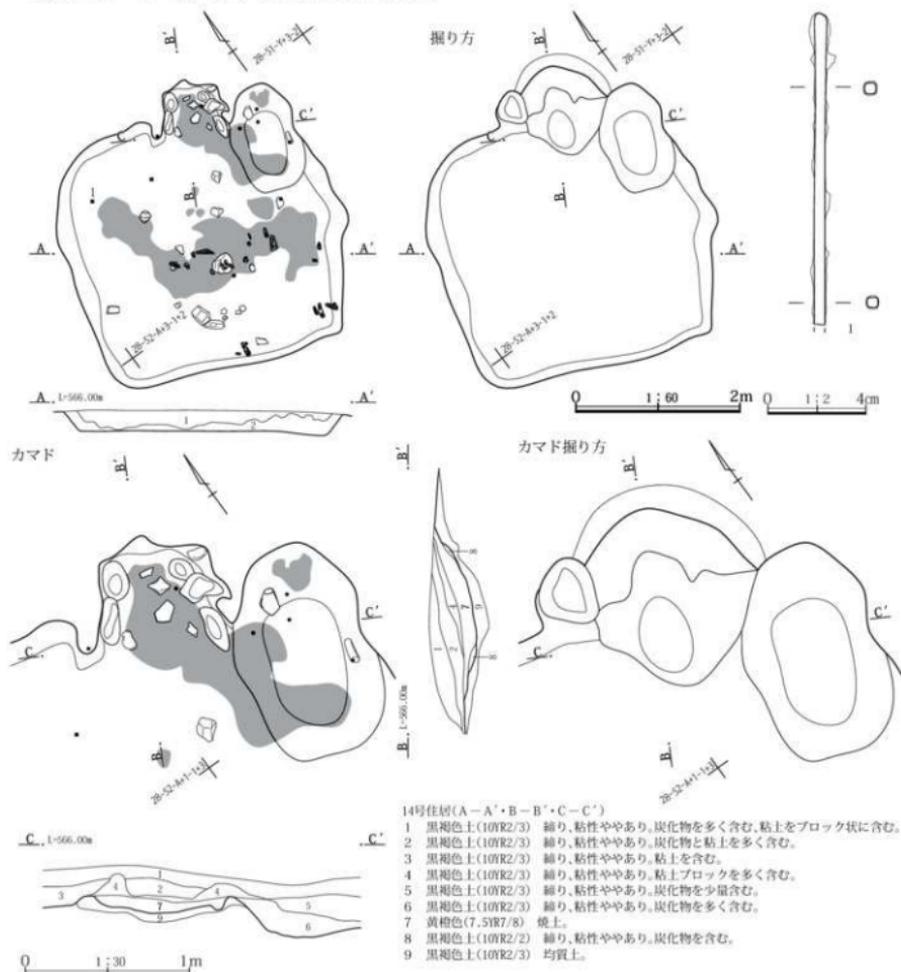
×70cm程、深度27cm程を測る大型の隅丸長方形を呈する。

壁周溝：なし。

重複遺構：なし。

掘り方：なし。

出土遺物：土器の出土が少なく、器種・形状が復元できる資料がない。角棒状鉄製品(№1)は、埋土中よりの出土である。



第123図 14号竈穴建物 平面図、出土遺物図

15号竪穴建物(旧:7区・10区15号住居)(第124図、PL.53-88)

位置:7区 28-51-X+2-2

主軸方位:N-8°E

規模・形状:3.7m×(3.4)mを測る、やや歪な隅丸方形形状を呈する。北側壁を調査区域外にかかり、また、南西コーナー部を作業用トレンチにより欠失する。

残存深度:0~27cm程を測る。

埋没土:黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:貼り床を持たず、掘削面の地山土を踏み固めて床面とする。

カマド:北東端に付近に散在する礫と焼土から、北壁の

北東コーナー部に石組みのカマドが設けられていたものと推察される。

柱穴:建物中央の南壁寄りにP1を検出し、径20cm、深度30cm程を測る。

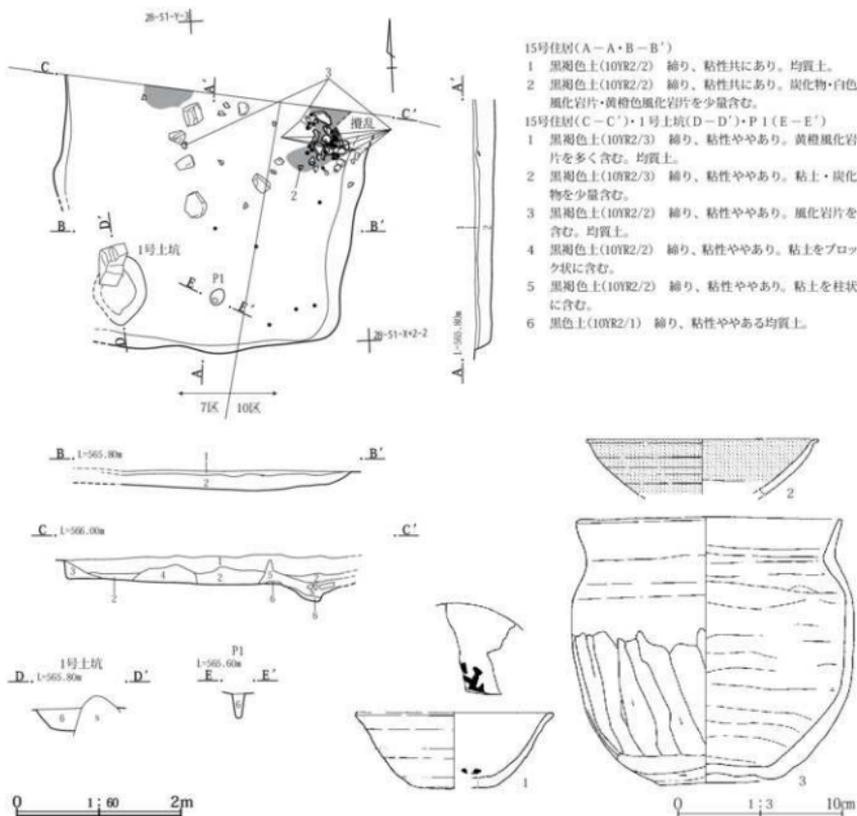
貯蔵穴:なし。南西コーナー部に径60×90cm程、深度26cm程を測る楕円形を呈する土坑が1基検出される。

壁周溝:なし。

重複遺構:なし。

掘り方:なし。

出土遺物:須恵器椀(№1)、灰陶陶器椀(№2)、土師器甕(№3)等の出土があり、№1は床面直上よりの出土で、内面底部に墨書文字が認められる。



16号 竪穴建物(旧:10区16号住居)(第125~128図、PL.54・88・89)

位置:10区 28-51-W+1-2

主軸方位:N-97°-E

規模・形状:4.2m×3.6mを測る、隅丸長方形形状を呈する。

残存深度:20~45cm程を測る。

埋没土:黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:浅い掘り方土を貼り床として踏み固めて床面とする。

カマド:東壁の南東コーナー付近に石組みのカマドが設けられており、燃焼部下面は焼土化が著しい。煙道部は短く、燃焼部から急峻に立ち上がる。

柱穴:建物中央付近にP2・P3を検出し、径25~30cm、深度は13~42cm程を測る。この2穴を柱穴として結ぶラインが東西方向の棟と考えられる。

貯蔵穴:南西コーナー部に径60×40cm程、深度16cm程を測る楕円形を呈する土坑が1基検出される。

壁周溝:南壁を除く各壁下に深度5~11cm程の溝が掘

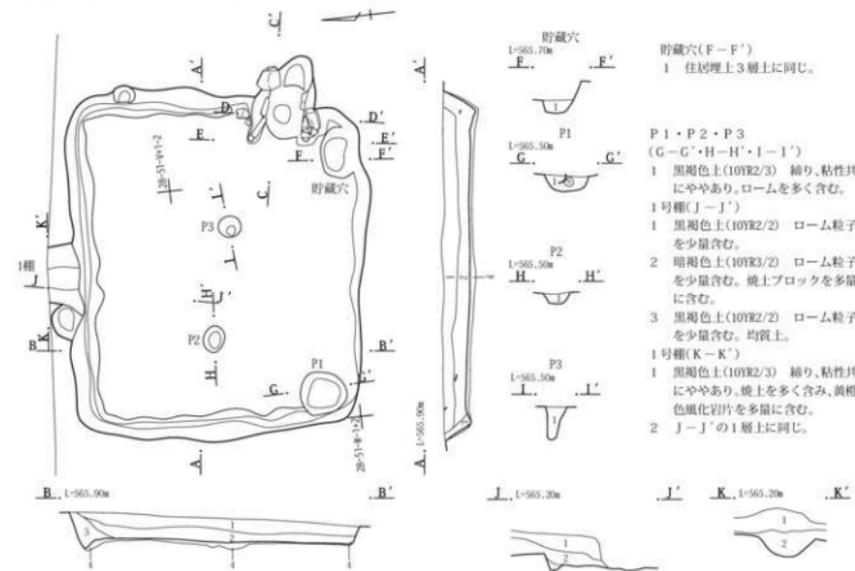
る。

棚:北壁中央部やや西寄りに、テラス状の突出部を検出し1号棚として調査されているが、この直下の掘り方にも掘り込みが認められることから、建物構築当所にカマドの設置を試みた痕跡ではないかと考えられる。

重複遺構:なし。

掘り方:前記の北壁下中央部を除き、2か所程土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物:須恵器杯(Na1・2)・同椀(Na5・6・9~14)、黒色土器椀(Na3・4・7・8)、土師器甕(Na15)、ロクロ土師器甕(Na16)、羽釜(Na17)、須恵器甗(Na18)等の出土があり、Na1・12・14が床面直上より、Na6・9・11・17が床面下よりの出土である。また、Na8の内面体部、Na12の外面部体部、Na13の内面底部、Na11・14の内外面底部に黒書文字が認められる。その他の出土遺物として、鉄製釘(Na19)、不明鉄製品(Na20)、金床石(Na21)の出土がある。いずれも埋土中の出土であり、本遺構内での鉄生産を示す資料ではない。

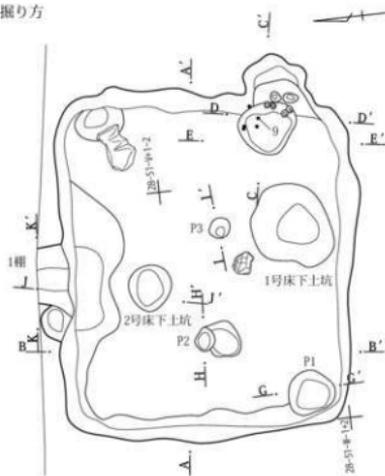


16号住居(A-A'・B-B')

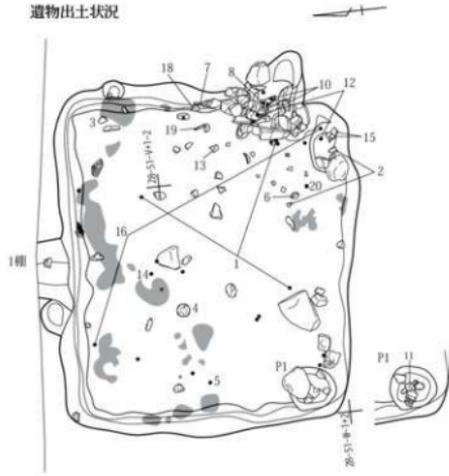
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。黄褐色風化岩片を多量含み、角礫を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。黄褐色風化岩片を少量含み、ロームが一部に混じる。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。ロームを少量含む。均質上。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 締りあり。ローム粒子・白色軽石・炭化物を少量含む。

第125図 16号竪穴建物 平面図(1)

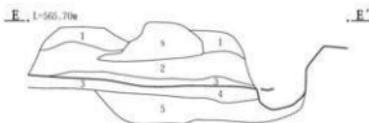
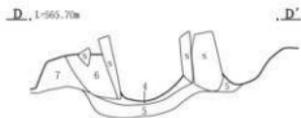
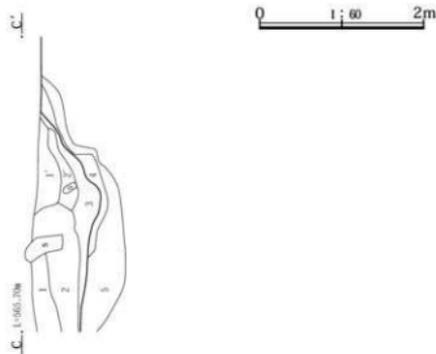
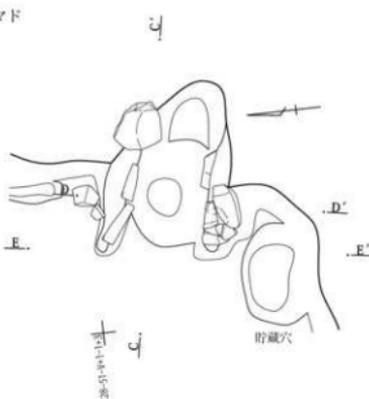
掘り方



遺物出土状況



カマド



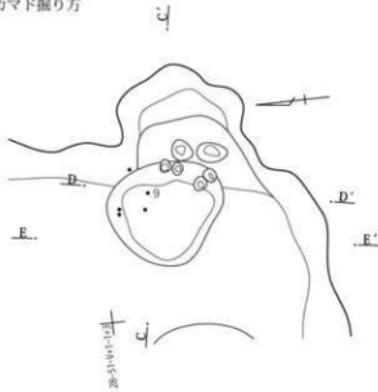
カマド(C-C'・D-D'・E-E')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややある均質土。
- 1' 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・焼土粒子を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームを多く含む。
- 2' 黒褐色土(10YR2/2) 締まり強い、ローム粒子を少量含む。
- 3 黄褐色土(10YR5/6) 粘上。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。焼土を多く含む。
- 5 炭化物を多く含む焼土。
- 6 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。
- 7 褐色5YR7/8) 焼上。

0 1:30 1m

第126図 16号貯穴建物 平面図(2)

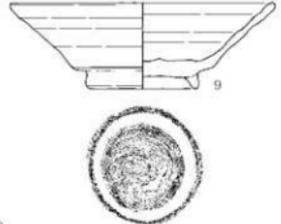
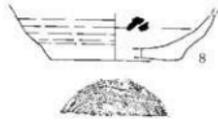
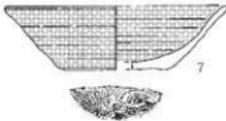
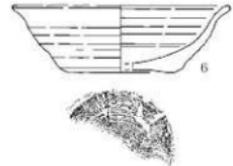
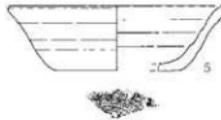
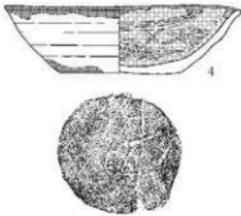
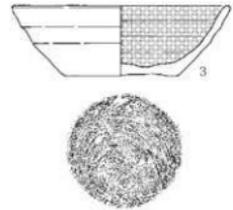
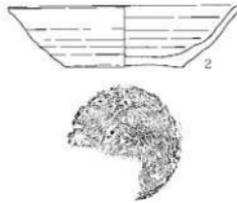
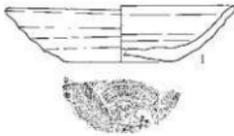
カマド掘り方



カマド遺物出土状況

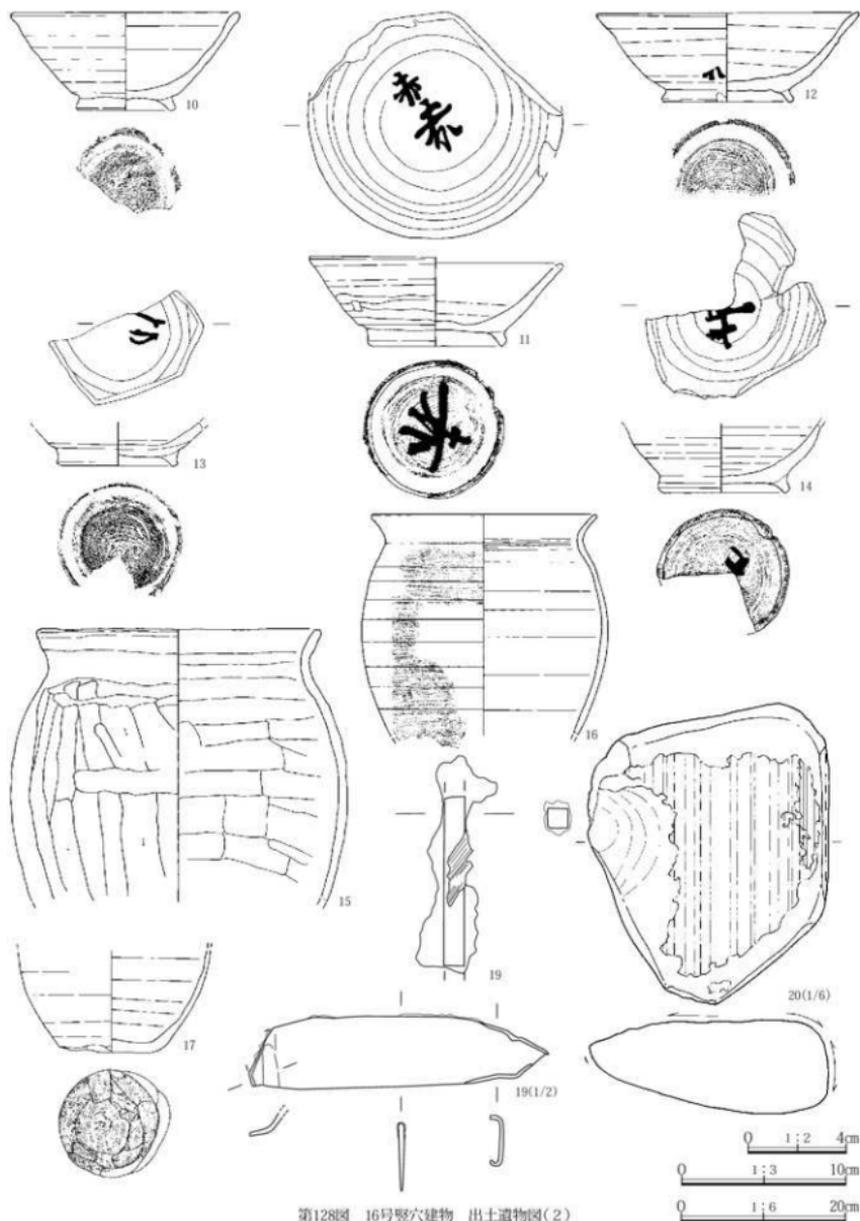


0 1:30 1m



0 1:3 10cm

第127図 16号竪穴建物 平断面図(3)、出土遺物図(1)



第128图 16号壑穴建物 出土遺物图(2)

17号竪穴建物(旧:10区17号住居)(第129・130図, PL.55・89)

位置:10区 28-51-T+2-2

主軸方位:不明

規模・形状:3.8m×(2.0)mを測る。北半部が調査区外にあるため、形状の全様は不明。

残存深度:削平のため1~15cm程をしか残らないが、調査区壁面に残る建物壁の立ち上がりは、40cm程を測る。
埋没土:黒褐色土の自然堆積による埋没。

床面:浅い掘り方土を貼り床として踏み固めて床面とする。

カマド:調査範囲内においては検出されておらず、東壁北寄りか、北壁に設置されている可能性がある。

柱穴:調査範囲内においては、東壁沿いに検出されたP1が、径25~35cm、深度は63cm程を測り、柱穴の一穴と考えられる。

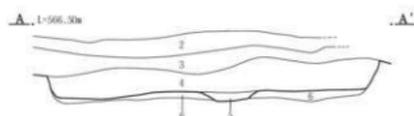
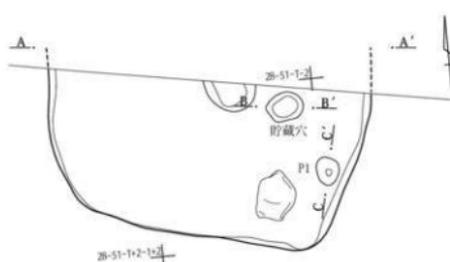
貯蔵穴:径35cm×45cm程、深度16cm程を測る楕円形を呈する土坑が1基検出され、貯蔵穴として調査されているが、貯蔵穴とする根拠はない。

壁周溝:なし。

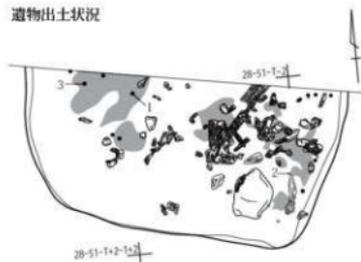
重複遺構:なし。

掘り方:全体に浅く掘り込み、一部土坑状の掘り込みを有する。

出土遺物:須恵器椀(No.1)、鉄製刀子(No.2)、砥石(No.3)等の出土があり、いずれも埋土中の出土である。

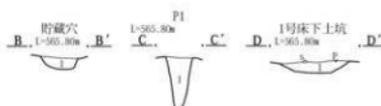


遺物出土状況



17号住居(A-A')

- 2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にあまりなし。粒径の細かい層を帯状に含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。炭化物を含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。炭化物や焼土を多く含む。(住居埋土)
- 5 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。均質土。
- 6 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量に含む。



P1(B-B')

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量に含む。

貯蔵穴(C-C')

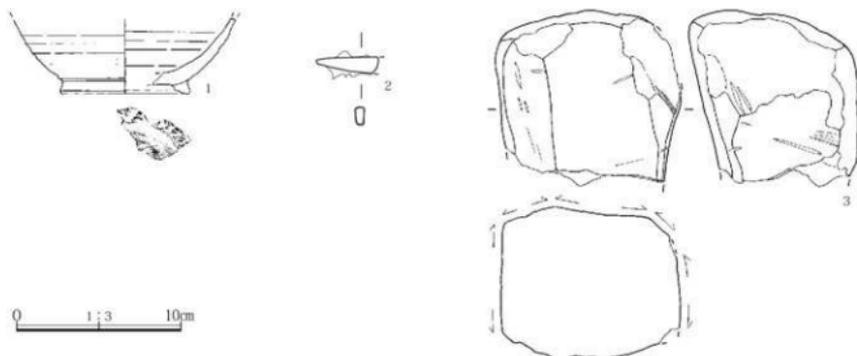
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 焼土・炭化物を少量含む。

1号床下土坑(D-D')

- 1 住居埋土6層土と同じ。



第129図 17号竪穴建物 平面図



第130図 17号竪穴建物 出土遺物図

18号竪穴建物(旧:10区18号住居)(第131図, PL. 56)

位置:10区 28-51-S-1+2 付近

主軸方位:不明

規模・形状:後記のカマドと床面の硬化から、4m四方を測る竪穴建物跡と推察されるが、北半部が調査区外にあるため、調査区内も削平が著しいため、形状の全様は不明。

残存深度:削平のため建物壁の立ち上がりは不明。

埋没土:調査区壁に僅かに残る建物埋土より、黒褐色土の自然堆積による埋没と推察される。

床面:削平により一部の硬化面を残すのみ。

カマド:調査範囲内においては検出されておらず、北側調査区壁に認められる粘土の堆積が、カマド構築材の一部と考えられることから、北壁に設置されている可能性が高い。

柱穴:調査範囲内においては検出されていない。

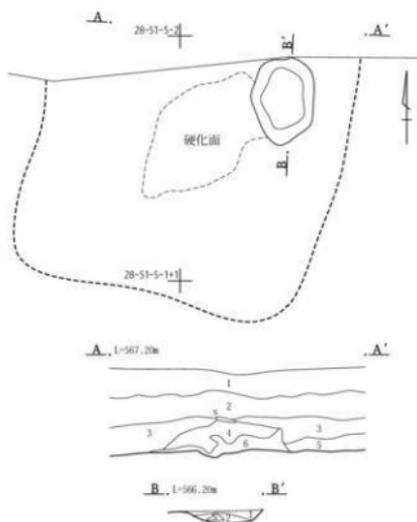
貯蔵穴:径80×110cm程、深度16cm程を測る楕円形を呈する土坑が1基検出され、位置的に硬化面に沿い、埋土にカマド構築材と思われる粘土が含まれることから、貯蔵穴となる可能性が高い。

壁周溝:なし。

重複遺構:262号土坑と重複すると思われるが、検出状況や埋土から本建物の方が新しいと判断される。

掘り方:なし。

出土遺物:土器の出土が少なく、器種・形状が復元できる資料がない。



18号住居(A-A')

- 1 表土。
- 2 暗褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあまりなし。小さな礫を多く含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。焼土を少量含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。小さな粘土ブロックを多く含む。
- 6 (10YR6/5) カマドの構築材。

貯蔵穴(B-B')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームを多く含む。



第131図 18号竪穴建物 平面図

2 掘立柱建物・柵列

VII(7)区・10区・14区にて検出された集落の特徴としては、まず、傾斜地内の限られた平坦面を利用しての集落造営が最大の特徴と言える。また、水源としての沢筋の利用も特徴のひとつである。

集落内に検出された掘立柱建物の周辺には、多数のピット跡が存在し、柱穴と成り得る規模のものもみられることから、実際の建物の軒数としては、もう少し多くなる可能性がある。

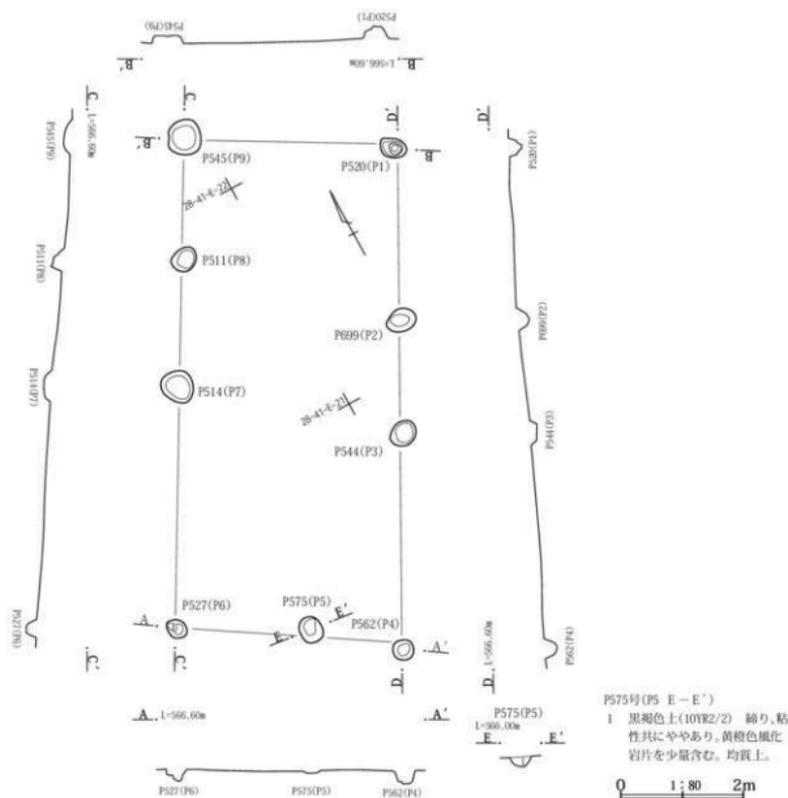
次に検出された遺構の特徴として、不整形・不定形の平面プランを持つ建物跡が多いことがあげられる。相対する壁が平行な平面形状を呈さず、かつ、各柱間も不均

質な平面形状を呈する建物の比率が高いといえる。柱穴間や配置が規則的な建物は、VII区で検出された11号掘立柱建物の1軒のみである。

このことは、検出された柵列も同様で、検出されたピット数から、より多くの柵列遺構が存在した可能性も高い一方で、規則的な間隔と規模・深度のピットで構成される柵列は検出されず、柵列として認めがたい遺構も含まれる。

1号掘立柱建物(旧:10区1号掘立柱建物)(第132図、PL.59)

位置:28-41-E-21



主軸方位：N-30°-E

規模：1間×3間 3.6m×8.0mを測る。北東辺P1-P9・南西辺P4-P6・南東辺P3-P4の各ピット間は約360cmを測り、南東辺P2-P3・北西辺P7-P8-P9の各ピット間は約180cmを測る。

柱穴：径30～60cm、残存深度10～20cmを測る。埋土は、共に黄橙色風化岩片を少量含む黒褐色土。

重複遺構：101・102・103号土坑と重複するが新旧関係は不明。

出土遺物：なし。

2号掘立柱建物(旧：10区2号掘立柱建物)(第133図、PL.59)

位置：28-41-C+2-20

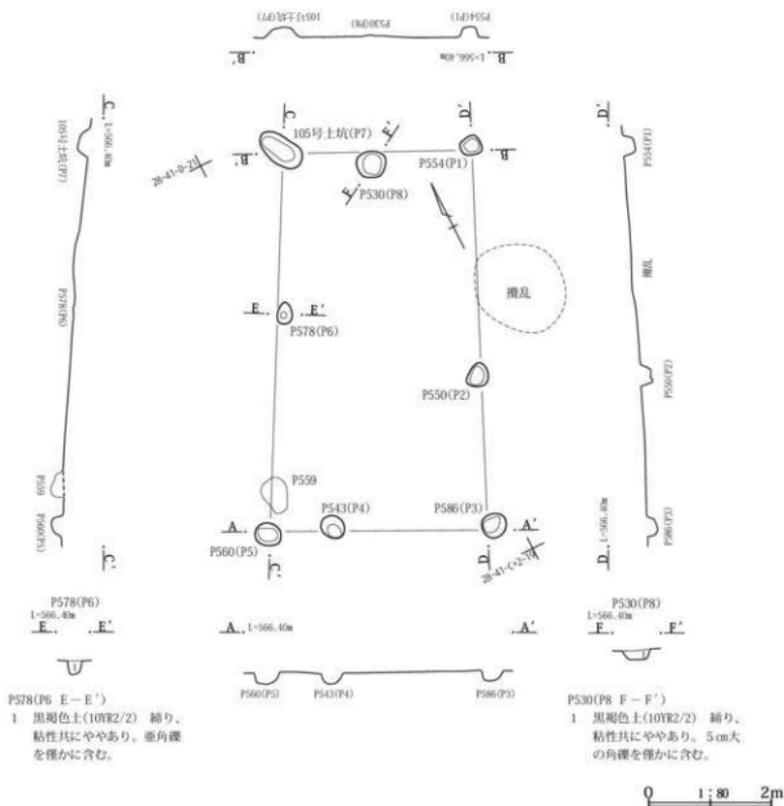
主軸方位：N-25°-E

規模：2間×2間 3.6m×6.2mを測る。南西辺P3-P5・南東辺P1-P2・北西辺P5-P6の各ピット間は約360cmを測り、北東辺P7-P8-P1の各ピット間は約180cmを測る。

柱穴：径23～80cm、残存深度15～23cmを測る。埋土は、共に黄橙色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構：1号堀列、141号土坑、P559と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物：なし。



3号掘立柱建物(旧:10区3号掘立柱建物)(第134図、PL.60)

位置:28-41-A+2-19

主軸方位:N-30°-E

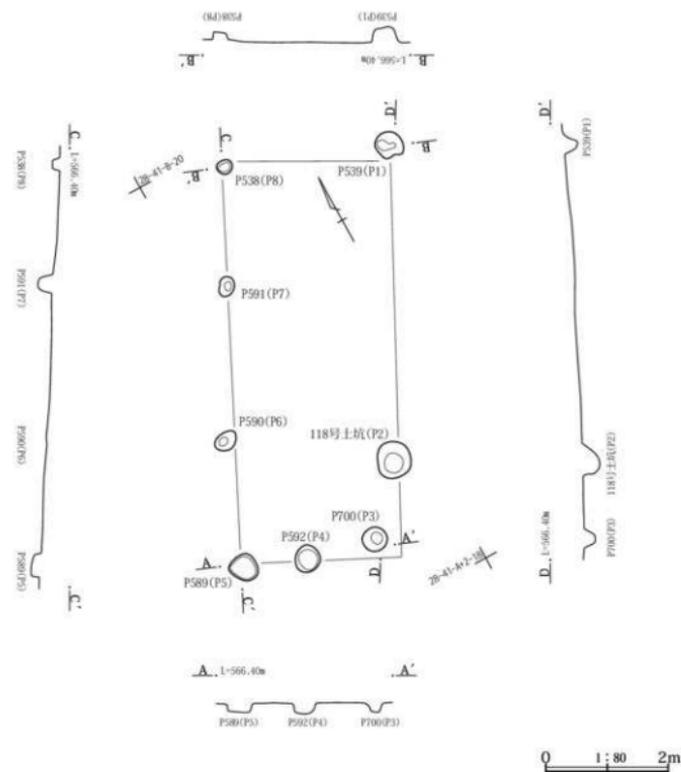
規模:1間×3間 2.8m×6.6mを測る。北西辺P7-P8・P5-P6の各ピット間が約180cm、南西辺P4

-P5間が90cmを測るのみで、他の柱間や南東辺の軸方位などが不揃いであり、建物の様相を示していない。

柱穴:径13~30cm、残存深度11~37cmを測る。埋土は、黄橙色風化岩片やローム粒子を少量含む黒褐色土。

重複遺構:142号土坑と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



第134図 3号掘立柱建物 平断面図

4号掘立柱建物(旧:10区4号掘立柱建物)(第135図、

PL.60)

位置:28-41-G-16+2

主軸方位:N-28°-E

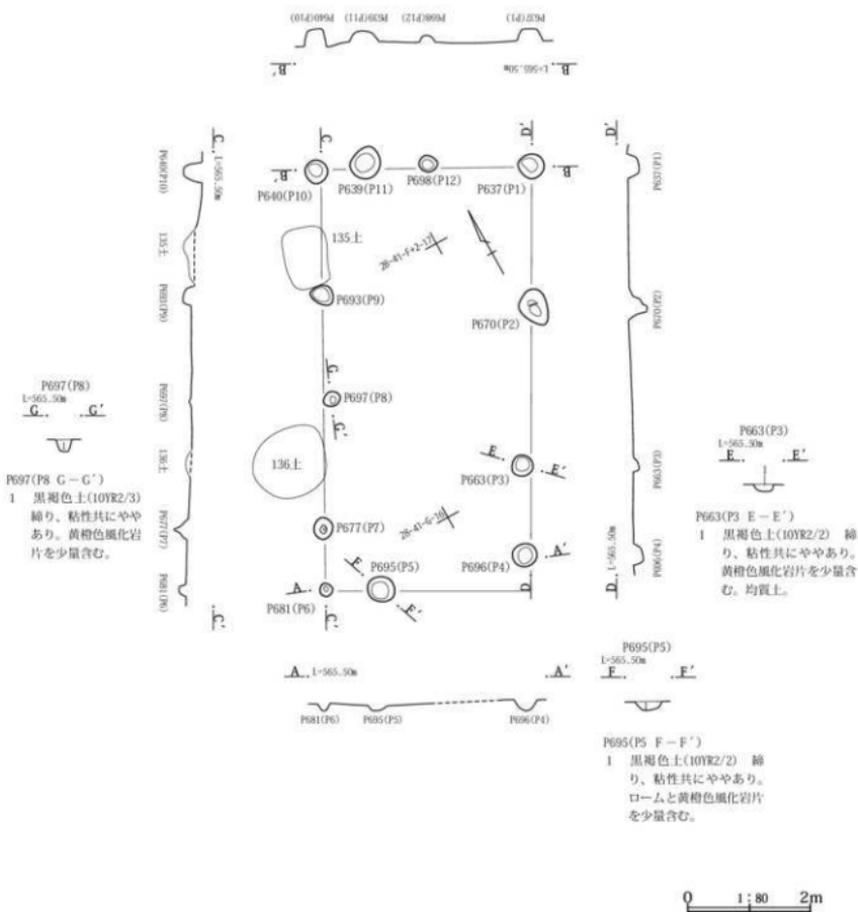
規模:2間×3間 3.6m×6.9mを測る。北東辺P10-P12・P12-P1、北西辺P8-P9-P10の各ピット間は約180cmを測り、北東辺P6-P7間は約90cmを測

る。

柱穴:径23~62cm、残存深度12~29cmを測る。埋土は、共に黄橙色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:140号土坑と重複し、本建物の方が新しい。また、135・136・138号土坑と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



第135図 4号掘立柱建物 平面図

5号掘立柱建物(旧:10区5号掘立柱建物)(第136図、PL.61)

位置:28-41-A-17

主軸方位:N-30°-E

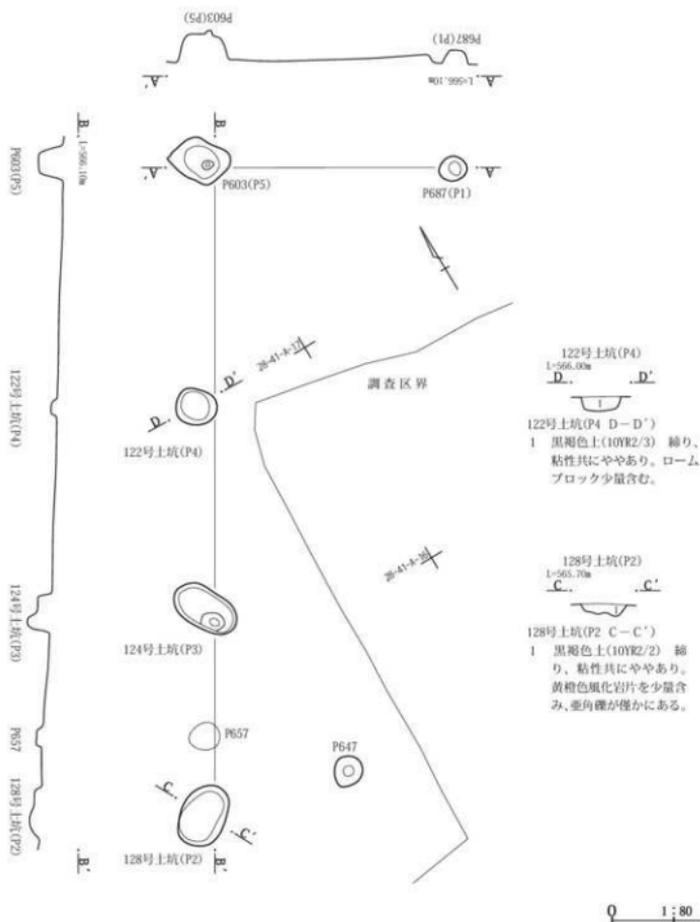
規模:1間×3間 4.0m×11mを測る。北西辺P2-P3-P4の各ピット間が約360cmを測るのみで、他の柱間是不揃いである。

調査区端に位置し、南東辺と南西辺の柱穴が検出されていないため、建物の全様は明らかではなく、櫛列の可能性もある。

柱穴:径41~111cm、残存深度14~38cmを測る。埋土は、黄橙色風化岩片やローム粒子を少量含む黒褐色土。

重複遺構:なし。

出土遺物:なし。



第136図 5号掘立柱建物 平面図

6号掘立柱建物(旧:10区6号掘立柱建物)(第137図、

PL.61)

位置:27-50-O-19

主軸方位:N-29°-E

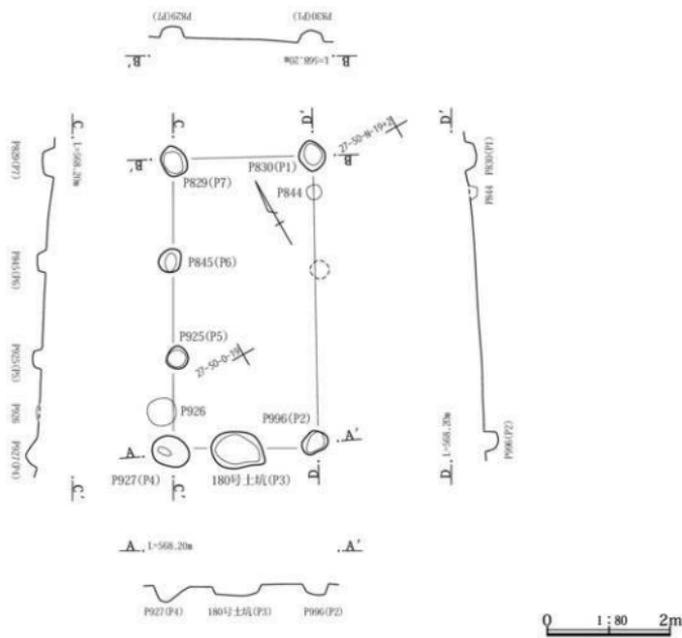
規模:2間×3間 2.3m×4.8mを測る。北西辺P6-P7間
P7間は約180cmを測り、南西辺P2-P3間は約90cm

を測るのみで、他の柱穴間は不揃い。

柱穴:径32~90cm、残存深度16~23cmを測る。埋土は、
共に黄橙色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:P844・924・926と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



第137図 6号掘立柱建物 平面図

7号掘立柱建物(旧:10区7号掘立柱建物)(第138図、PL.62)

位置:27-50-M+2-17+2

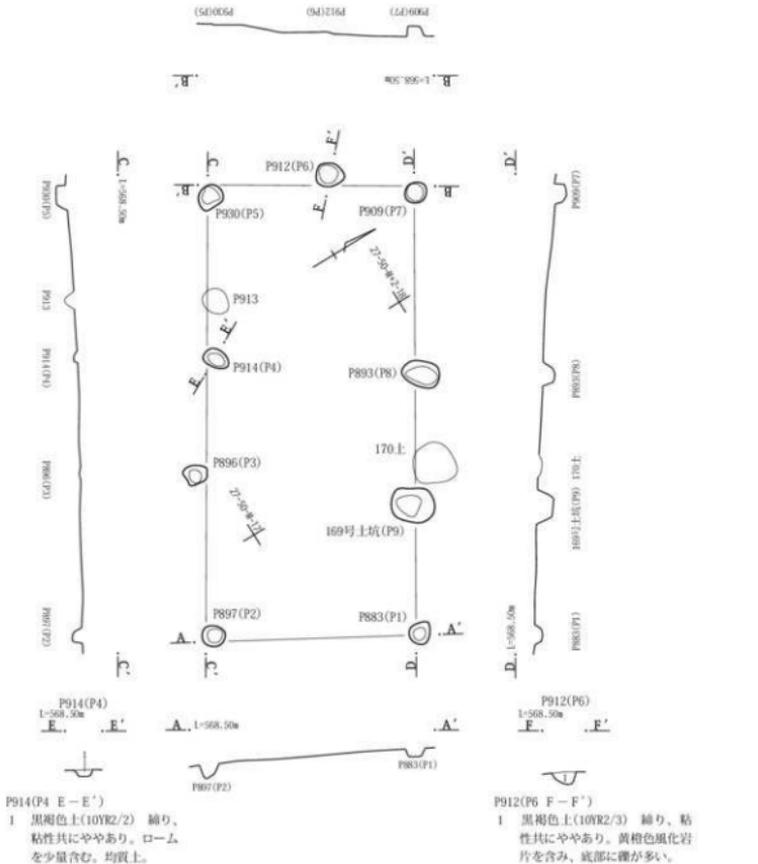
主軸方位:N-58°-W

規模:2間×3間 3.4m×7.4mを測る。北東辺P8-P9、北西辺P5-P6、南西辺のP3-P4の各ピット間が約180cmを測るのみで、他の柱間は不揃い。

柱穴:径32~69cm、残存深度10~21cmを測る。埋土は、黄褐色風化岩片やローム粒子を少量含む黒褐色土。

重複遺構:170・178号土坑、P913他と重複する。新旧関係は不明。179号土坑のみ本建物より古いものと判断される。

出土遺物:なし。



第138図 7号掘立柱建物 平面図

8号掘立柱建物(旧:10区8号掘立柱建物)(第139図、PL.62)

位置:27-50-N+2-16+2

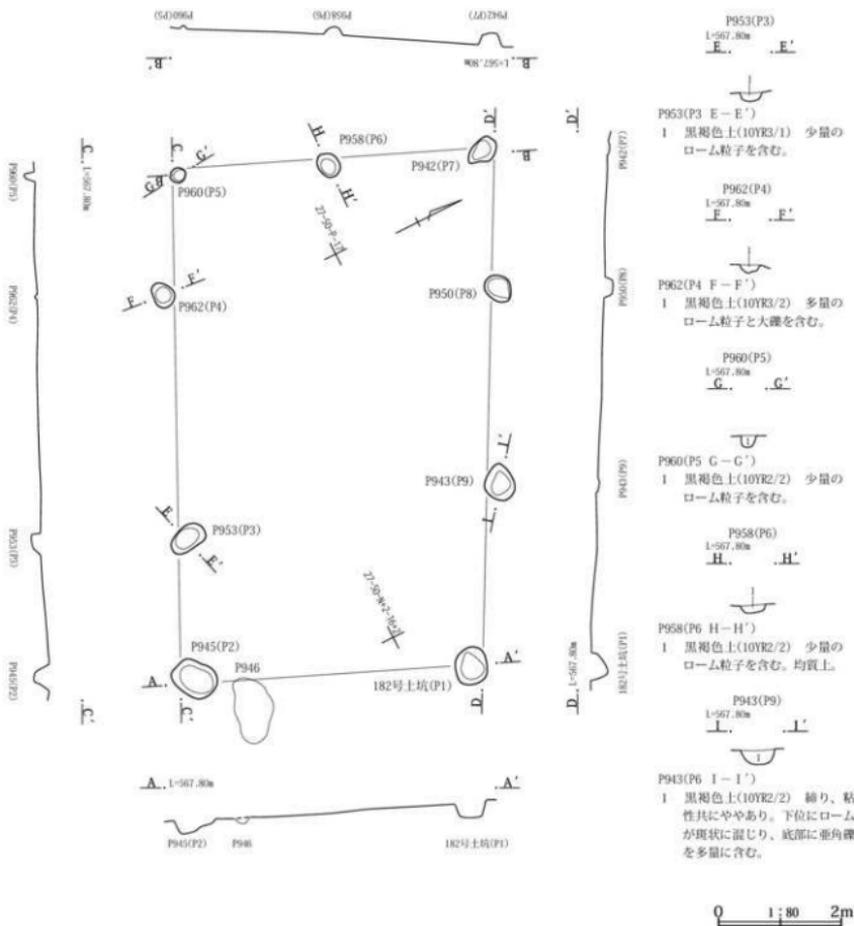
主軸方位:N-63°-W

規模:2間×3間 5.0m×8.3mを測る。南西辺P4-P5間のみ約180cmを測り、他の柱間は不揃い。

柱穴:径25~75cm、残存深度12~21cmを測る。埋土は、共に黄褐色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:183・185号土坑、P944・946他と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



第139図 8号掘立柱建物 平面図

9号掘立柱建物(旧:10区9号掘立柱建物)(第140図、PL.63)

位置:28-41-K+2-22

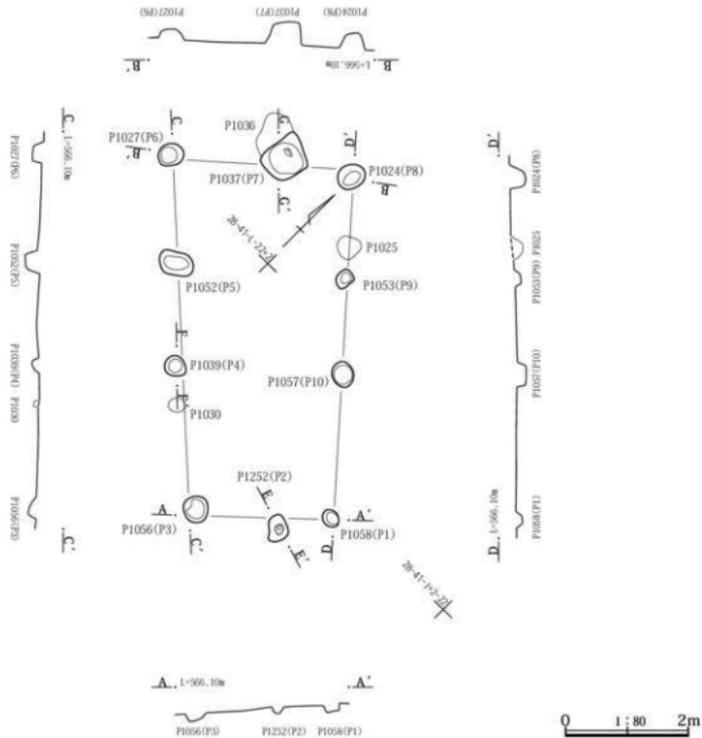
主軸方位:N-44°-W

規模:2間×3間 2.5m×5.9mを測る。北東辺P 8-P 9-P 10、北西辺P 6-P 7、南西辺のP 4-P 5-

P 6・P 3-P 1030の各ビット間が約180cmを測り、北西辺P 7-P 8、南東辺P 1-P 2間が約90cmを測る。

柱穴:径26~80cm、残存深度12~37cmを測る。埋土は、黄橙色風化岩片やローム粒子を少量含む黒褐色土。

重複遺構:P 1025・1030他と重複するが、新旧関係は不明。出土遺物:なし。



第140図 9号掘立柱建物 平面図

10号掘立柱建物(旧:10区10号掘立柱建物)(第141図、PL.63)

位置:28-41-K-20

主軸方位:N-51°-W

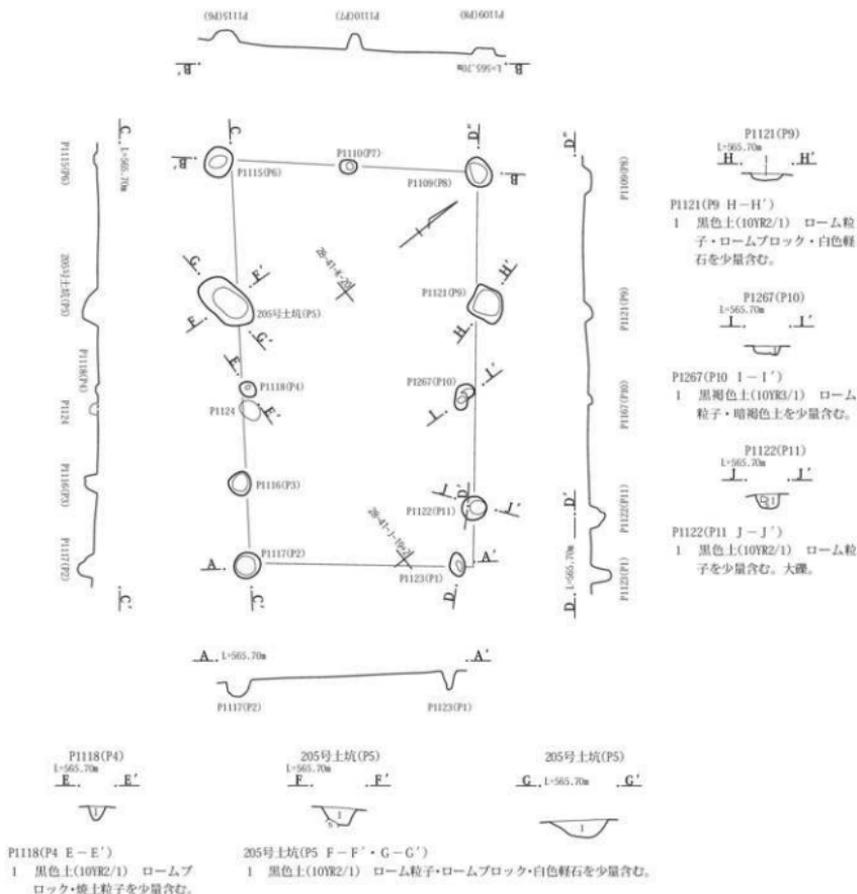
規模:2間×4間 3.6m×6.5mを測る。南西辺P3-P4、P6-P5-P1124間、北西辺P6-P7-P8

間、北東辺のP8-P9-P10-P11の各ビット間が約180cmを測り、南東辺のP1-P2間が3.6mを測る。

柱穴:径28~102cm、残存深度11~32cmを測る。埋土は、共に黄褐色風化岩片・亜角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:P1124他と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



第141図 10号掘立柱建物 平面図

11号掘立柱建物(旧:Ⅶ区1号掘立柱建物)(第142図、PL.64)

位置:28-52-J-3+2

主軸方位:N-15°-E

規模:1間×4間 3.4m×8.0mを測る。北辺P10-P1、南辺P5-P6の相対するピット間が約3.4mを測り、西辺P6-P7-P8-P9-P10、東辺P1-P2-P3-P4-P5の相対するピット間が約2.0mを

測る。

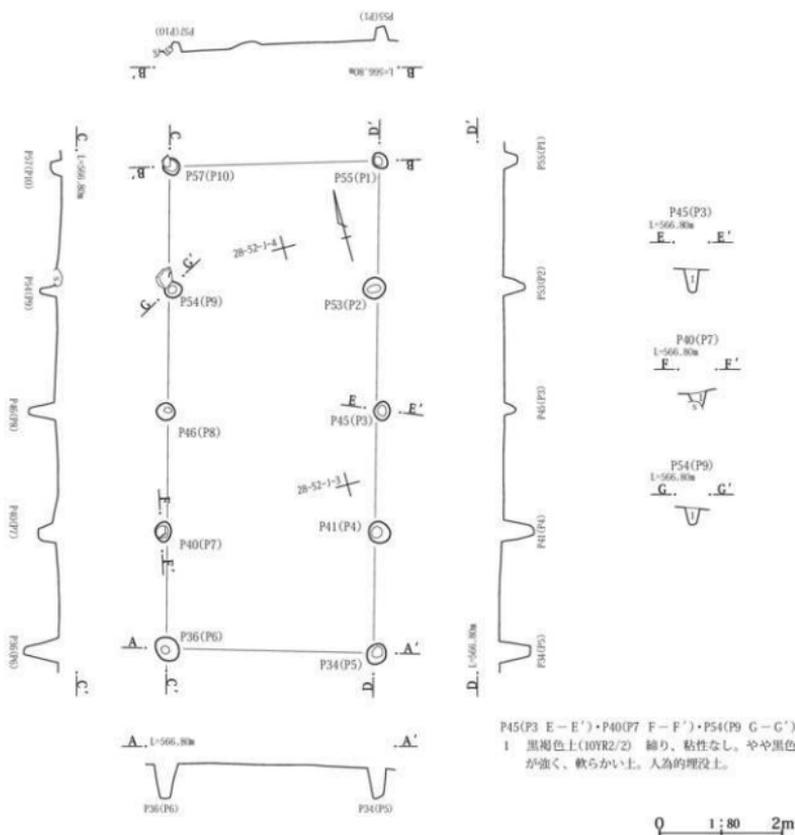
検出された掘立柱建物の中でも、柱穴の位置・間隔が整然とする。

北側が後世の削平のため、上方を欠失する。

柱穴:径28~38cm、残存深度15~56cmを測る。埋土は、粘性と締りの弱い黒褐色土。

重複遺構:P35と重複するが、新旧関係は不明。

出土遺物:なし。



P45(P3 E-E')・P40(P7 F-F')・P54(P9 G-G')
 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没土。

第142図 11号掘立柱建物 平面図

第4章 中欄II遺跡

12号掘立柱建物(旧:14区掘立柱建物)(第143図)

位置: 28-41-D-13+2

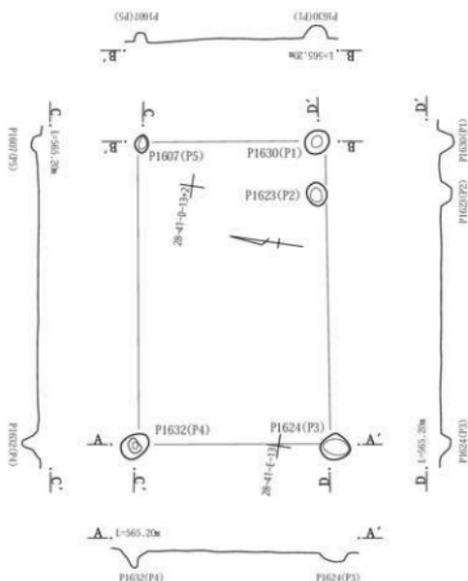
主軸方位: N-81°-E

規模: 2間×1間 2.9m×4.9mを測る。各柱穴間は不揃いで、建物の様相を呈していない。

柱穴: 径20~50cm、残存深度15~26cmを測る。埋土は、黄橙色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構: 296号土坑、P1625と重複する。296号土坑より本建物の方が新しい。P1625との新旧関係は不明。

出土遺物: なし。



13号掘立柱建物(旧:14区掘立柱建物)(第143図)

位置: 27-50-U-11+2

主軸方位: N-80°-W

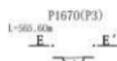
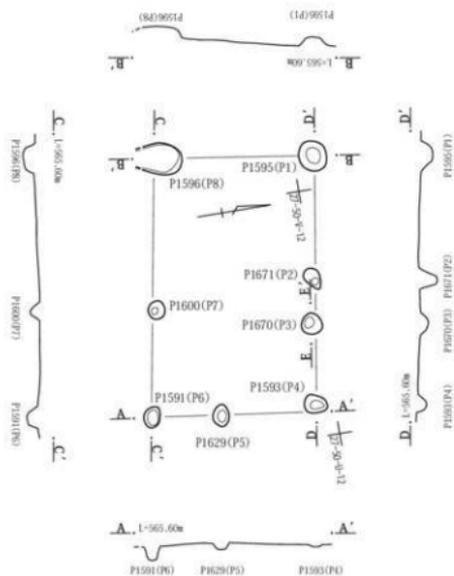
規模: 2間×3間 2.7m×4.2mを測る。各柱穴間は不揃いで、建物の様相を呈していない。

柱穴: 径28~50cm、残存深度7~21cmを測る。埋土は、黄橙色風化岩片・垂角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構: 289号土坑・P1592・P1594

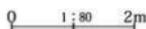
と重複、新旧関係は不明。

出土遺物: なし。

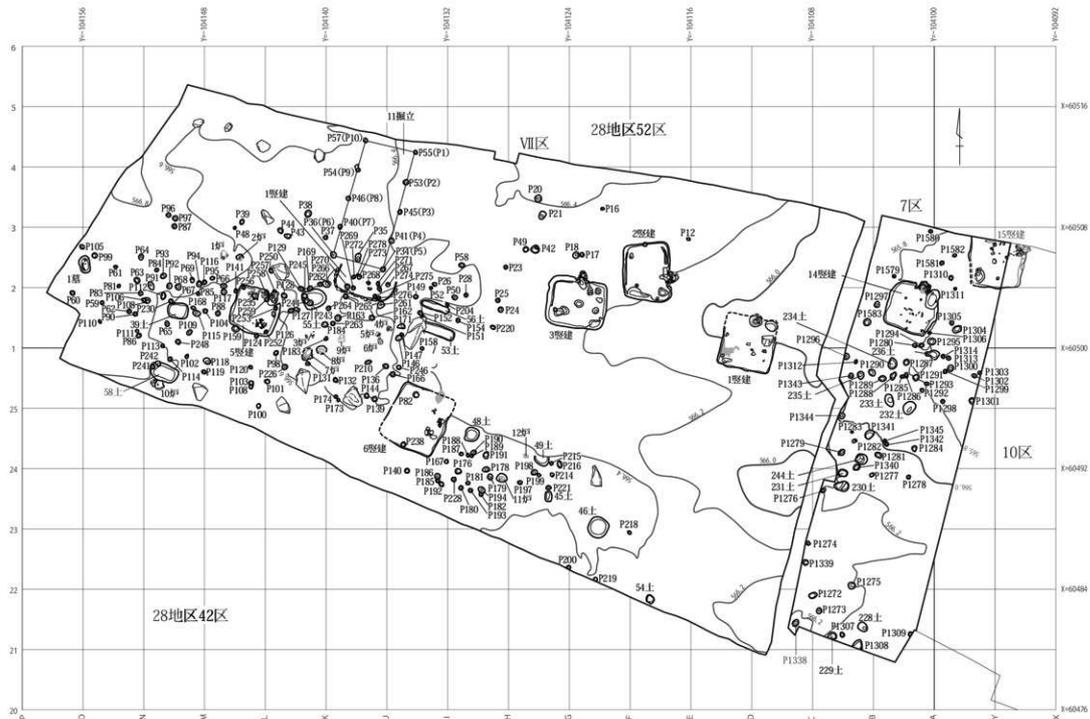


P1670 (P3 E-E')

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 粘り、粘性なし。黄褐色ブロック土を多量に含む。白色軽石粒と小石を少量含む。

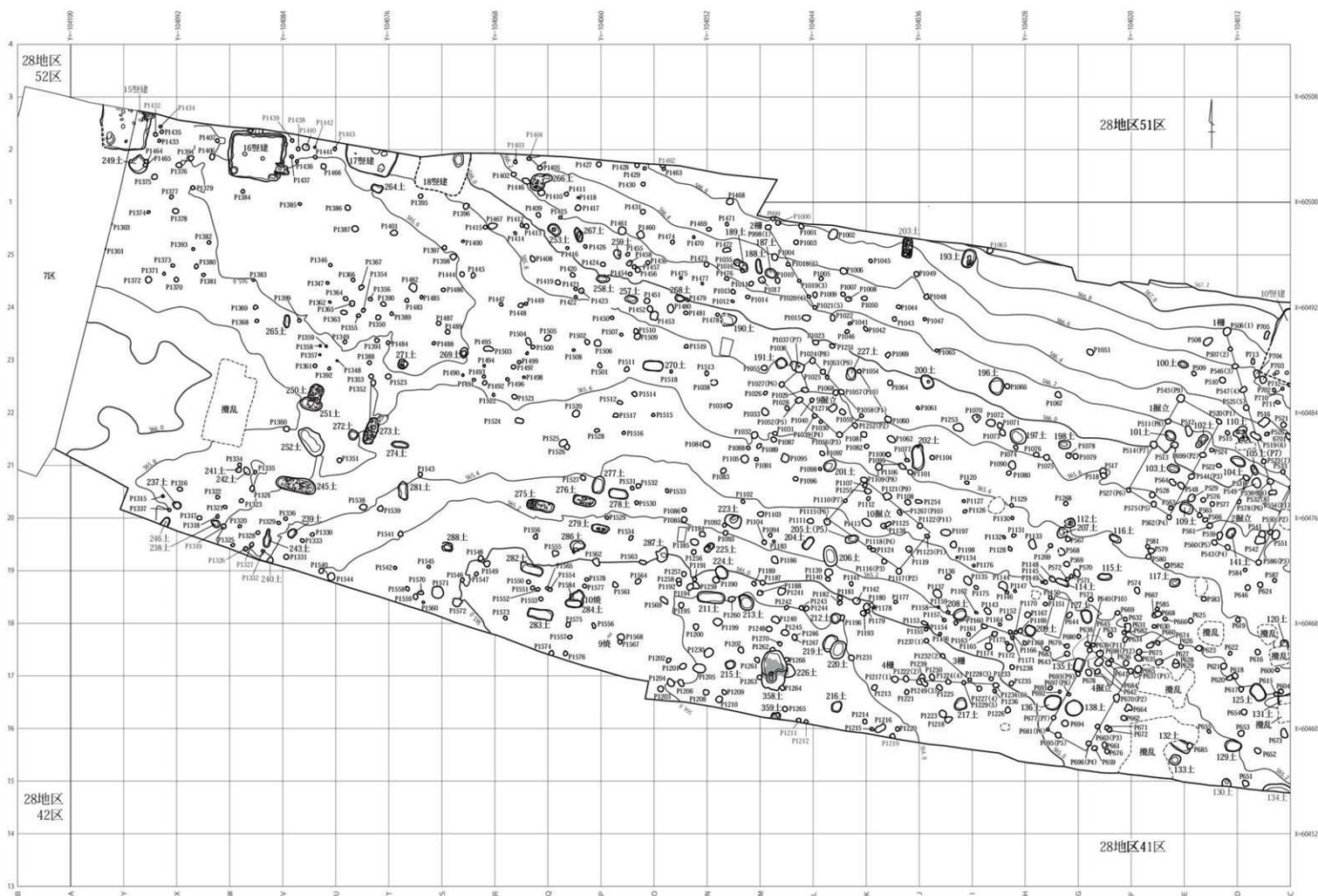


第143図 12号・13号掘立柱建物 平面断面図



第144图 VII区·7区2面 全体图

0 1:250 10m



28地区
52区

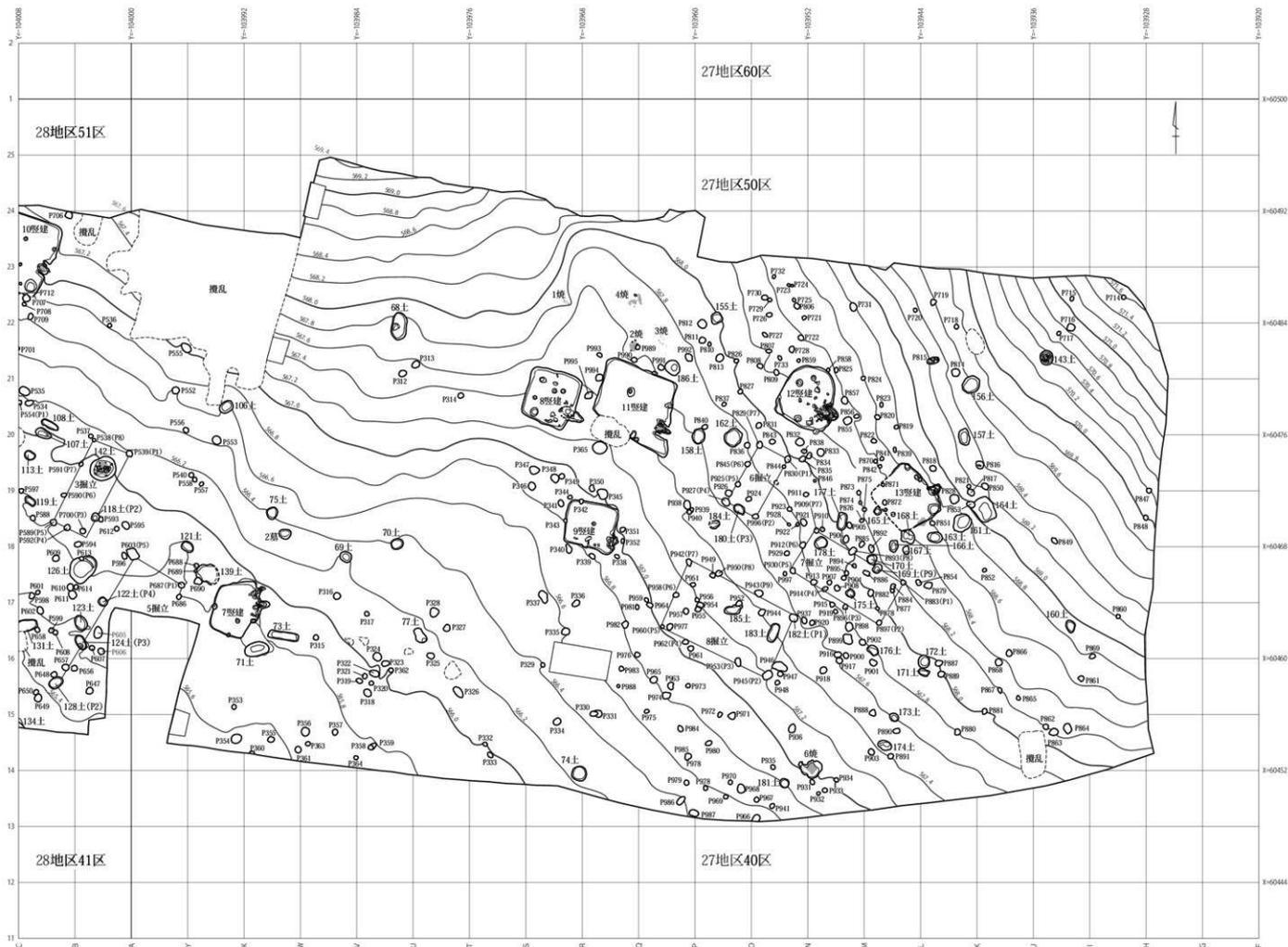
28地区51区

28地区
42区

28地区41区

第145图 10区西半部2面 全体图

0 1:250 10m



第14图 10区東半部2面 全体图

1号柵列(旧:10区2面1号柵列)(第147図、PL.65)

位置:28-41-D-22周辺

主軸方位:N-16°-W

規模:7間 12.7mを測る。各柱穴間は1.3m~2.3mと不揃い。

柱穴:径30~90cm、残存深度18~38cm程を測る。埋土は、黄橙色風化岩片・亜角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:2号掘立柱建物と重複。新旧関係は不明。

出土遺物:なし。

2号柵列(旧:10区2面2号柵列)(第148図、PL.65)

位置:28-41-L+3-25+2周辺

主軸方位:N-30°-W

規模:6間 17.2mを測るが、P5以南は主軸が屈曲し、柱穴間も異なることから、柵列の延長とは考えられない。各柱穴間は1m~3.2mと不揃い。

柱穴:径22~48cm、残存深度10~28cm程を測る。埋土は、黄橙色風化岩片・亜角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:なし。

出土遺物:なし。

3号柵列(旧:10区2面3号柵列)(第148図、PL.66)

位置:28-41-I+2-16+2周辺

主軸方位:N-16°-W

規模:3間 5.5mを測る。各柱穴間は1.1m~2.7mと不揃い。

柱穴:径22~38cm、残存深度20~30cm程を測る。埋土は、黄橙色風化岩片・亜角礫を少量含む黒褐色土。

重複遺構:4号柵列と交差。新旧関係は不明。

出土遺物:なし。

4号柵列(旧:10区2面4号柵列)(第148図、PL.66)

位置:28-41-I+2-17周辺

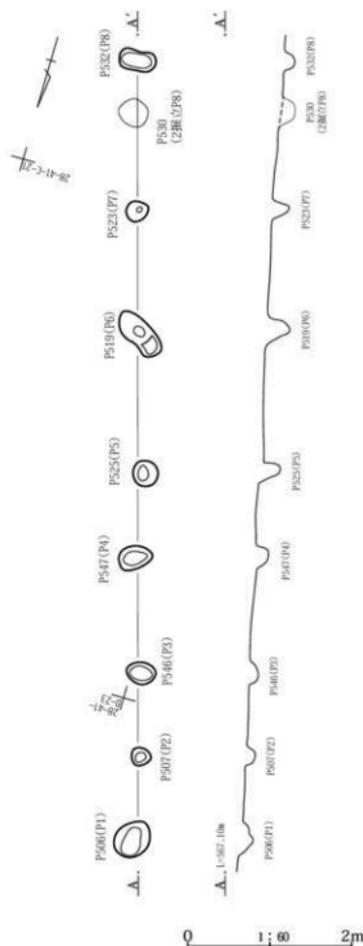
主軸方位:N-86°-W

規模:5間 7.6mを測る。各柱穴間は0.8m~2.0mと不揃い。

柱穴:径22~48cm、残存深度20~30cm程を測る。埋土は、黄橙色風化岩片・亜角礫を少量含む黒褐色土。

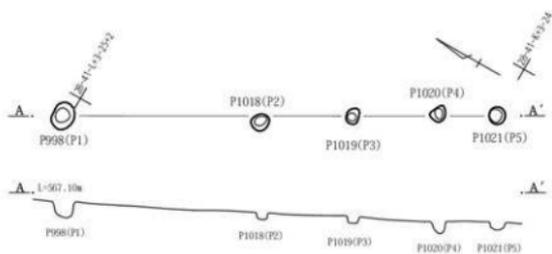
重複遺構:3号柵列と交差。新旧関係は不明。

出土遺物:なし。

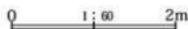
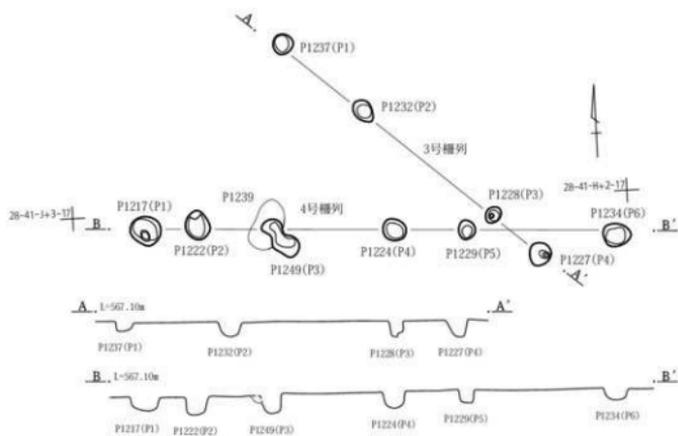


第147図 1号柵列 平面図

2号欄列



3・4号欄列



第148图 2号・3号・4号欄列 平面断面图

3 竪穴状遺構

1号竪穴状遺構(旧: VII区2面1号竪穴)(第149図、PL.57・89)

位置: 28-52-J-2付近

主軸方位: N-16°-E

規模・形状: 4.3m×(1.9m)を測り、北半部が欠失しているが、旧状は恐らく隅丸形状を呈すると思われる。

残存深度: 確認面よりの残存深度は10cm程を測る。

埋没土: 白色軽石を含む暗褐色砂質土の自然堆積による埋没。

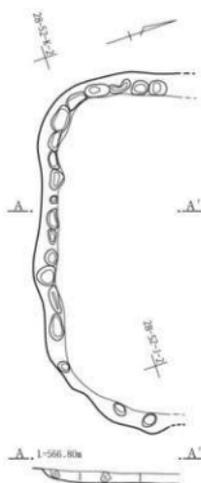
床面: 顕著な硬化はみられない。

柱穴: 建物内部には柱穴なし。

壁周溝: 周溝は持たないが、壁際に径10~35cm、深度2~18cmを測る小ピットが19穴穿たれ、自然礫が埋め込まれた形で配列されている。周囲に同様の自然礫が散乱することから、複数段に積み上げられ、石垣状を呈していた可能性が考えられる。

重複遺構: なし。

出土遺物: 石臼の上下白が出土し、うち上白は前記の遺構周縁部に遺構の一部として埋め込まれた状態で出土していることから、遺構の年代も中世以降と推察される。



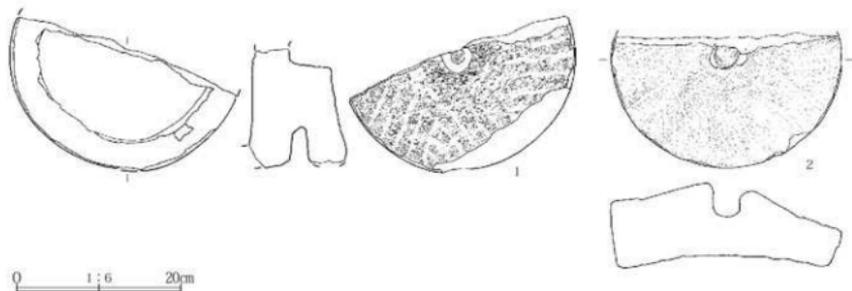
遺物出土状況



1号竪穴(A-A')

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締りなく、やや砂質の上。
白色軽石・褐色土粒子を若干含む。

0 1:60 2m



第149図 1号竪穴状遺構 平面図、出土遺物図

2号竪穴状遺構(旧:14区2面2号竪穴)(第150図、PL.58)

位置:28-41-R-14付近

主軸方位:なし。

規模・形状:径2.8m~3.0mを測る、やや歪な円形を呈する。

残存深度:確認面よりの残存深度は15cm程を測る。

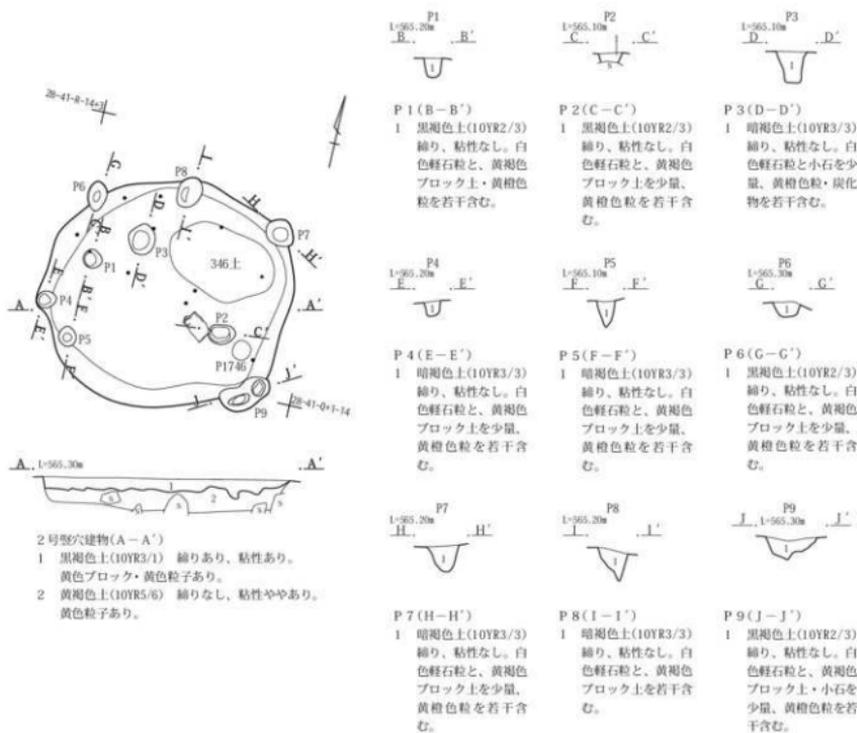
埋没土:白色軽石を含む暗褐色砂質土の自然堆積による埋没。

床面:地山土を床面とするが、顕著な硬化はみられない。

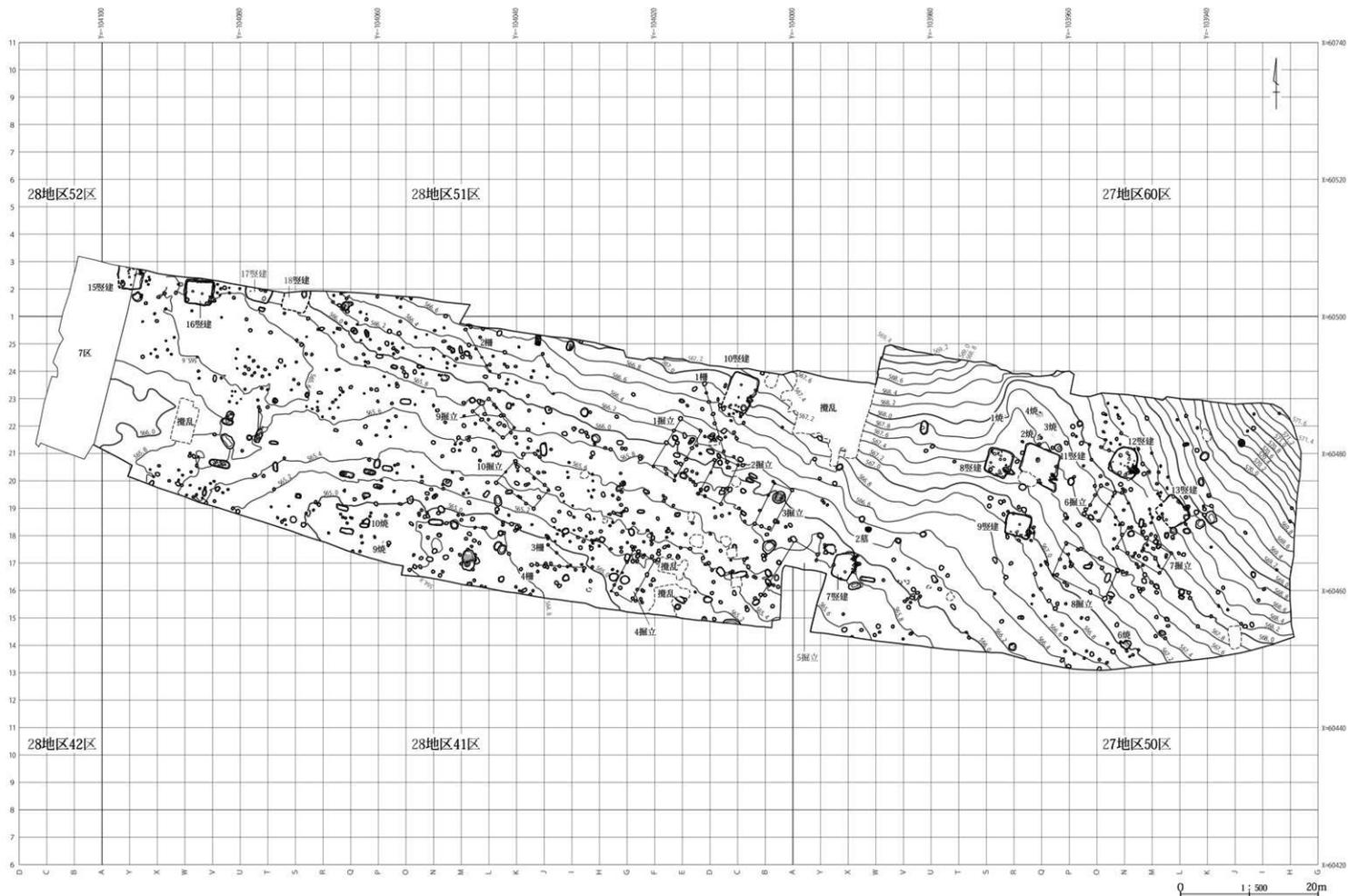
柱穴:屋内にはP1~3があり、径22~39cm、深度10~38cm程を測る。位置的にP2とP3が柱穴と推定される。

壁周溝:周溝は持たないが、壁際に径21~64cm、深度18~32cmを測るビットが6穴検出され、建物の壁柱穴列と推察される。

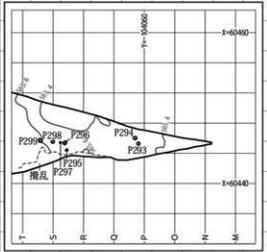
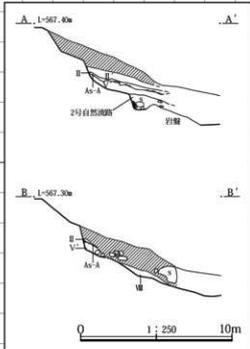
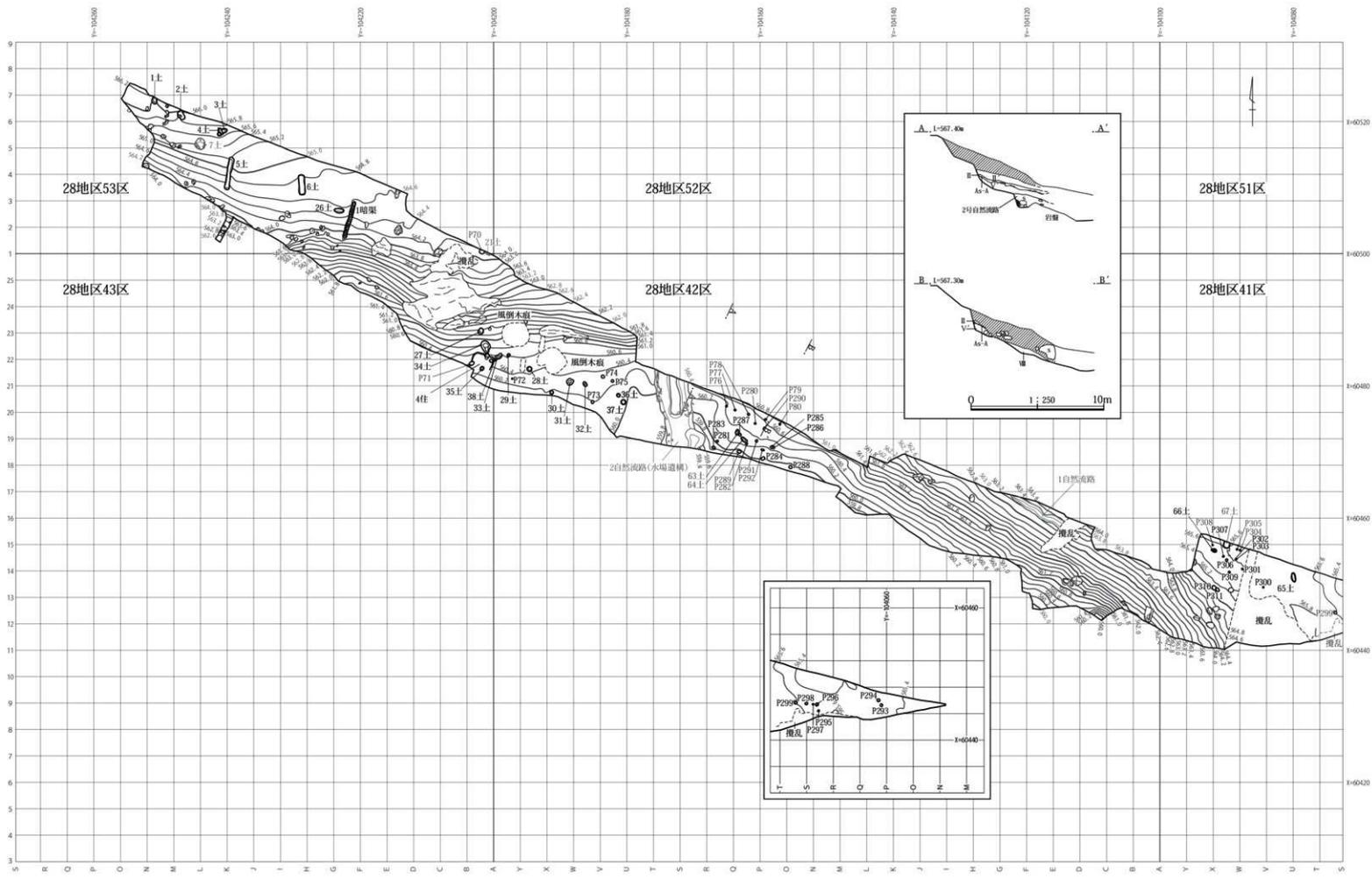
重複遺構:346号土坑、P1746と重複し、いずれも本遺構より新しいものと判断される。



第150図 2号竪穴状遺構 平面断面図

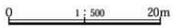


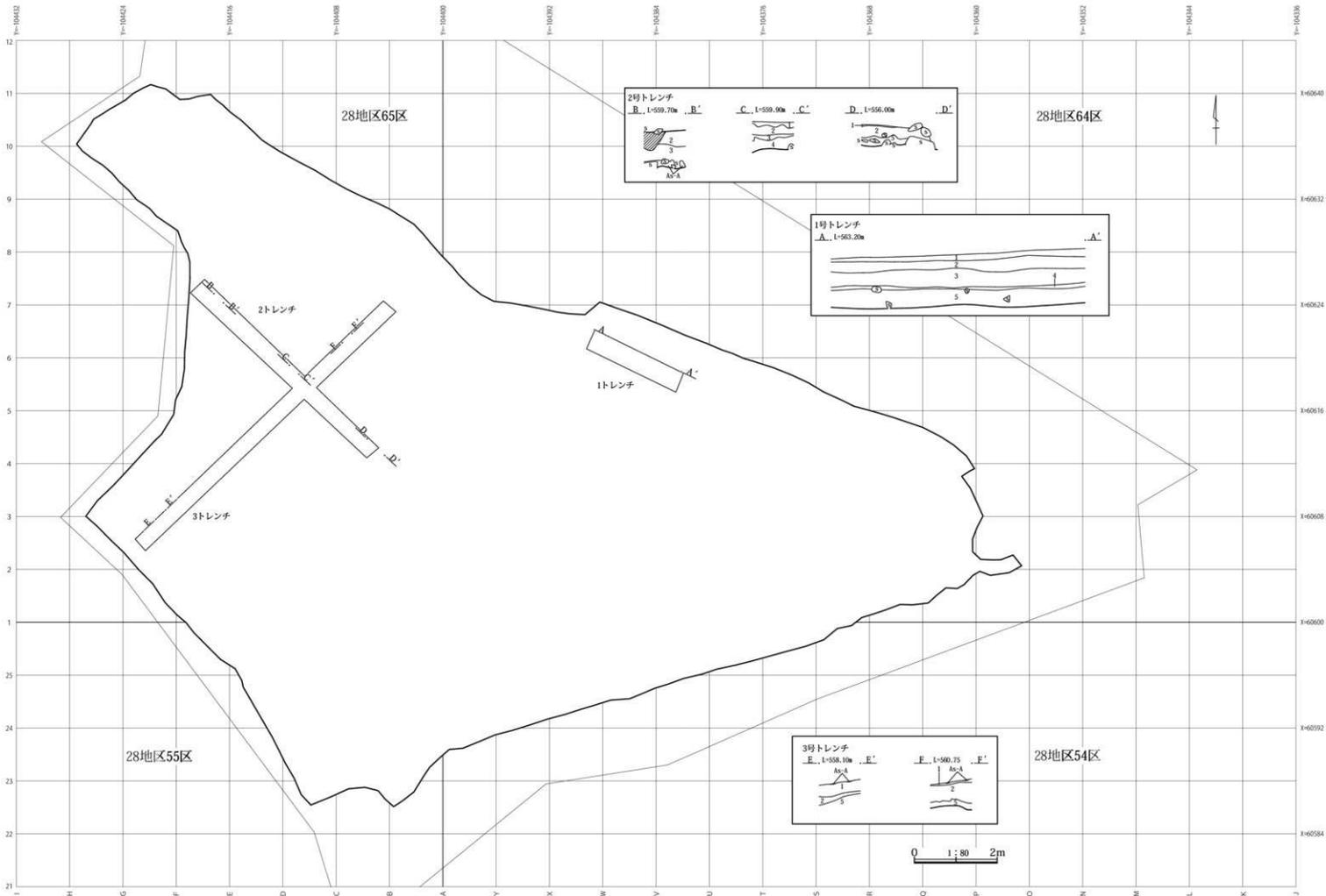
第151图 10区2面 全体图



第152図 VI区2・3面 全体図

* 3面遺構はグレーで記載





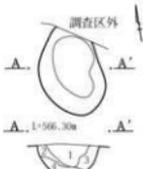
4 土坑・ピット

検出された土坑・ピットは、竪穴建物や掘立柱建物から検出された、調査区のⅥ区・Ⅶ区・Ⅹ区・Ⅽ区に分布する。

Ⅵ区2面土坑

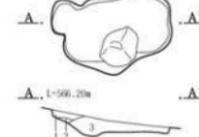
1号土坑

28-53-9号



2号土坑

28-53-10号



1号土坑

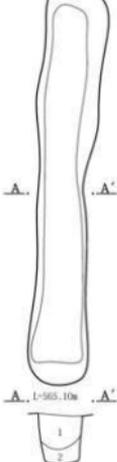
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。1~5cm大の角礫を多量に含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。礫なし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりで1~5cm大の角礫を多量に含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黄色土ブロック混じりで1~5cm大の角礫を大量に含む。

2号土坑

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。礫なし。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含まない。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。

5号土坑

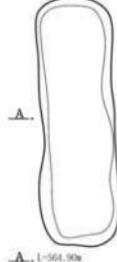
28-53-12-4号



- 1 黒褐色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子混じりの均質土。こぶし大の垂角礫を若干含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりで崩れやすい。下位層にこぶし大の垂角礫を若干含む。黄色土ブロックが見られる。

6号土坑

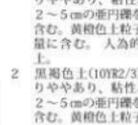
28-53-14号



- 1 黒褐色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子混じりの均質土。こぶし大の垂角礫を若干含む。

27号土坑

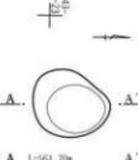
28-53-15号



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あり。2~5cmの垂円礫を若干含む。黄褐色土粒子を大量に含む。人為的埋没上。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あり。2~5cmの垂円礫を若干含む。黄褐色土粒子を大量に含む。人為的埋没上。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 締りややあり、粘性あり。2~5cmの垂円礫を若干含む。黄褐色土粒子を大量に含む。2層上のブロックを大量に含む。人為的埋没上。

27号土坑

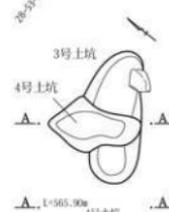
28-53-16号



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックを多量に含む。褐色土粒子を若干含む。

3号・4号土坑

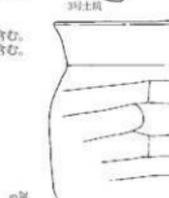
28-53-17号



- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子混じりの均質土。縄文土層を2片と1~5cm大の垂角礫を若干含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。礫なし。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黄色土ブロック混じりで1~5cm大の角礫を大量に含む。人為的埋没。

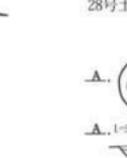
4号土坑

28-53-18号



3号土坑

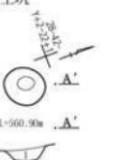
28-53-19号



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックを多量に含む。褐色土粒子を若干含む。

27号土坑

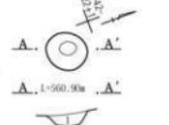
28-53-20号



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あり。2~5cmの垂円礫を若干含む。黄褐色土粒子を大量に含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あり。2~5cmの垂円礫を若干含む。黄褐色土粒子を大量に含む。

29号土坑

28-53-21号



- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黒褐色土(10YR2/3)ブロックを多量に含む。黄褐色土粒子を含む。人為的埋没上。

30号土坑

28-53-22号

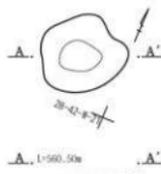


- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。暗褐色土(10YR3/4)ブロックを多量に含む。黄褐色土粒子を大量に含む。縄文土層片出土。人為的埋没上。

集落の一部を構成するものと考えられるが、残念ながら用途が明確な遺構は検出されていない。

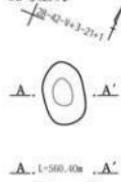
第154図 土坑 平面図(1)、3号土坑出土遺物図

31号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。暗褐色土(10YR3/4)ブロックを多量に含む。黄褐色土粒子を大量に含む。人為的埋没上。

32号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を大量に含む。2~8cm大の垂円礫を若干含む。暗褐色土(10YR3/4)ブロックを若干含む。人為的埋没上。

33号土坑



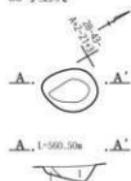
1 黒色土(10YR2/1) 締りややあり、粘性なし。黄褐色土粒子を大量に含む。2~8cm大の垂円礫を若干含む。人為的埋没上。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を大量に含む。1cm大の礫を少量含む。人為的埋没上。

34号土坑



1 黒色土(10YR2/1) 締りややあり、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。黒褐色土を斑状に含む。幅30cmの楕円状の垂円礫や棒状の円礫を含む。腐土土器片が多数出土。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロックを少量含む。黄褐色土粒子を大量に含む。1cm大の礫を少量含む。

35号土坑



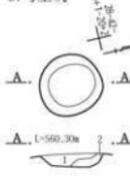
1 黒色土(10YR2/1) 締りややあり、粘性なし。黄褐色土粒子を少量含む。黒褐色土を斑状に含む。2cm大の礫を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を大量に含む。1cm大の礫を少量含む。

36号土坑



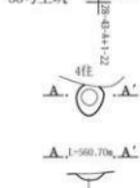
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を極少量含む。黒褐色土ブロックを若干含む。

37号土坑



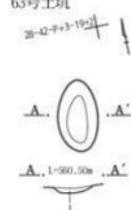
1 黒色土(10YR2/1) 締りややあり、粘性なし。黄褐色土粒子を大量に含む。2~8cm大の垂円礫を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を大量に含む。1cm大の礫を少量含む。暗褐色土ブロックを若干含む。

38号土坑



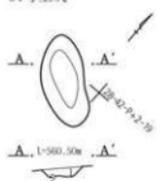
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒に近い。軟らかい均質上。黄褐色土粒子を若干含む。

63号土坑



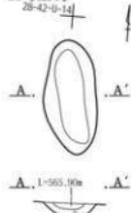
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

64号土坑



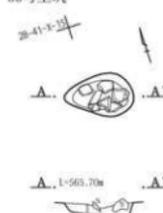
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

65号土坑



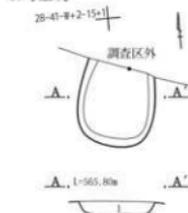
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかく均質な上。黄褐粒。炭化物粒若干含む。
2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。軟らかい上。明黄色土ブロックを大量に含む。

66号土坑



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黒色土を主体とし暗褐色や明黄色土ブロックを多く含む。黄褐色土粒子、炭化物粒を若干含む。20cm大の垂角礫を大量に含む。

67号土坑



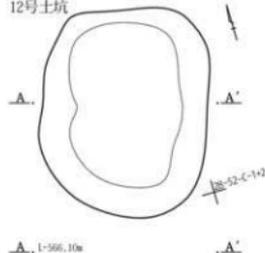
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黒色土を主体とし暗褐色や明黄色土ブロックを多く含む。黄褐色土粒子、炭化物粒を若干含む。

第155図 土坑 平断面図(2)



Ⅶ区 2面土坑

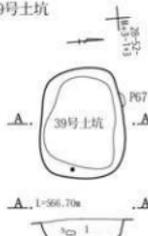
12号土坑



12号土坑

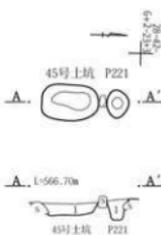
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。
- 2 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む。均質土。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む。均質土。やや暗褐色に近い黄褐色土ブロックを大量に含む。
- 4 褐色土(10YR4/4) 締りややあり、粘性なし。黄褐色土粒子を少量含む。均質土。黒色土ブロックを少量含む。
- 5 明黄褐色土(10YR6/8) 締りややあり、粘性なし。黒色土ブロックを少量含む。黄褐色土粒子を少量含む。15cm大の垂円礫が見られる。

39号土坑



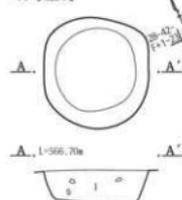
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。やや明るい黄褐色土粒子。炭化物粒を若干含む。1～10cm大の垂円礫を含む。

45号土坑・P221



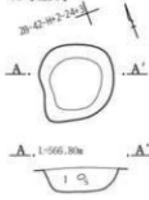
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。

46号土坑



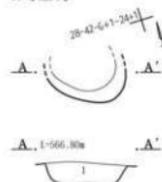
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。

48号土坑



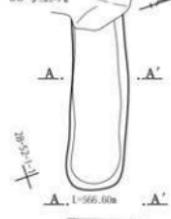
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。黄褐色土粒子を若干含む。5～10cm大の垂円礫を大量に含む。

49号土坑



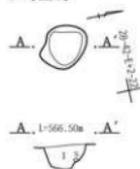
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒味が強く軟らかい。

53号土坑



- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや灰色がかった軟らかい土。5cm大の礫を大量に含む。

54号土坑



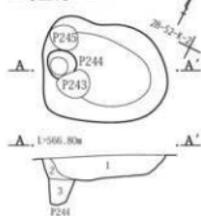
54号土坑

- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。黄褐色土粒子なし。3cm大の礫を少量含む。

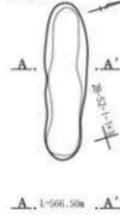
55号土坑

- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。黄褐色土粒子を多量に含む。小さい礫を含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黒色土ブロック、黄褐色土粒子を若干含む。P244埋土。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黒色土ブロック、黄褐色土粒子を若干含む。P244埋土。

55号土坑・P244



56号土坑



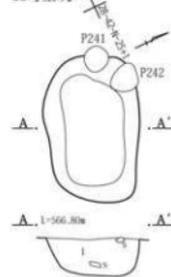
56号土坑

- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや灰色がかった軟らかい土。5cm大の礫を大量に含む。

58号土坑

- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかく均質な土。明黄色土ブロック若干含む。10～20cm大の礫を少量含む。

58号土坑

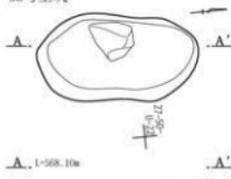


第156図 土坑 平面図(3)



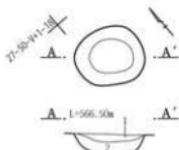
第4章 中棚II遺跡

10区2面土坑
68号土坑



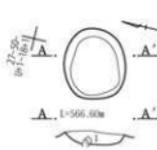
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を僅かに含む。50cm大の礫、15cm大の垂角礫を少量含む。

69号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。2cm大の垂角礫を僅かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量に含む。5cm大の角礫を下に多く含む。

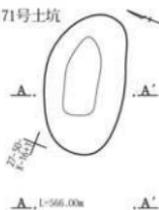
70号土坑



70号土坑

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。5~10cm大の垂角礫を含む。黄褐色風化岩片を多量に含む。

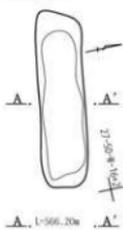
71号土坑



71号土坑

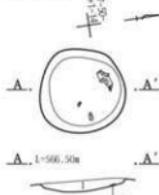
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量に含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。

73号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。5cm大の垂角礫を含む。ロームが少し混じる。

74号土坑



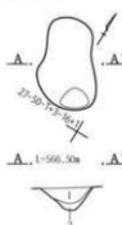
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黒味強い均質土で、角礫を僅かに含む。

75号土坑



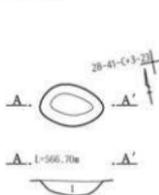
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。5cm大の垂角礫を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。

77号土坑



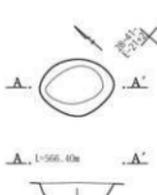
- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子、白色軽石、焼土粒子を少量含む 均質土。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含む。

100号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。3cm大の垂角礫を僅かに含む。均質土。

101号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。均質土。

102号土坑



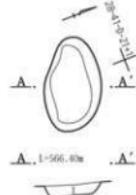
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。均質土。

103号土坑



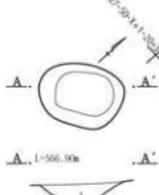
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややある均質土。

104号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。

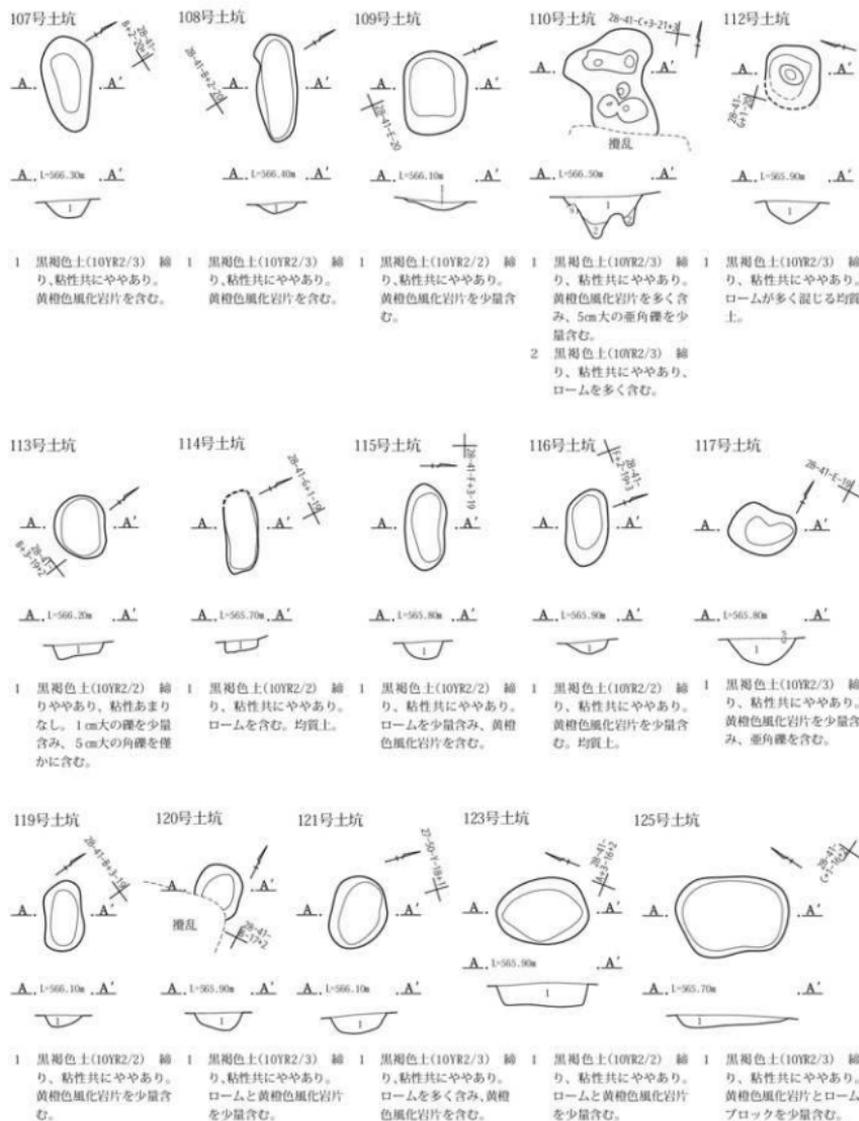
106号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。2cm大の垂角礫を少量含む。黄褐色風化岩片を含む。

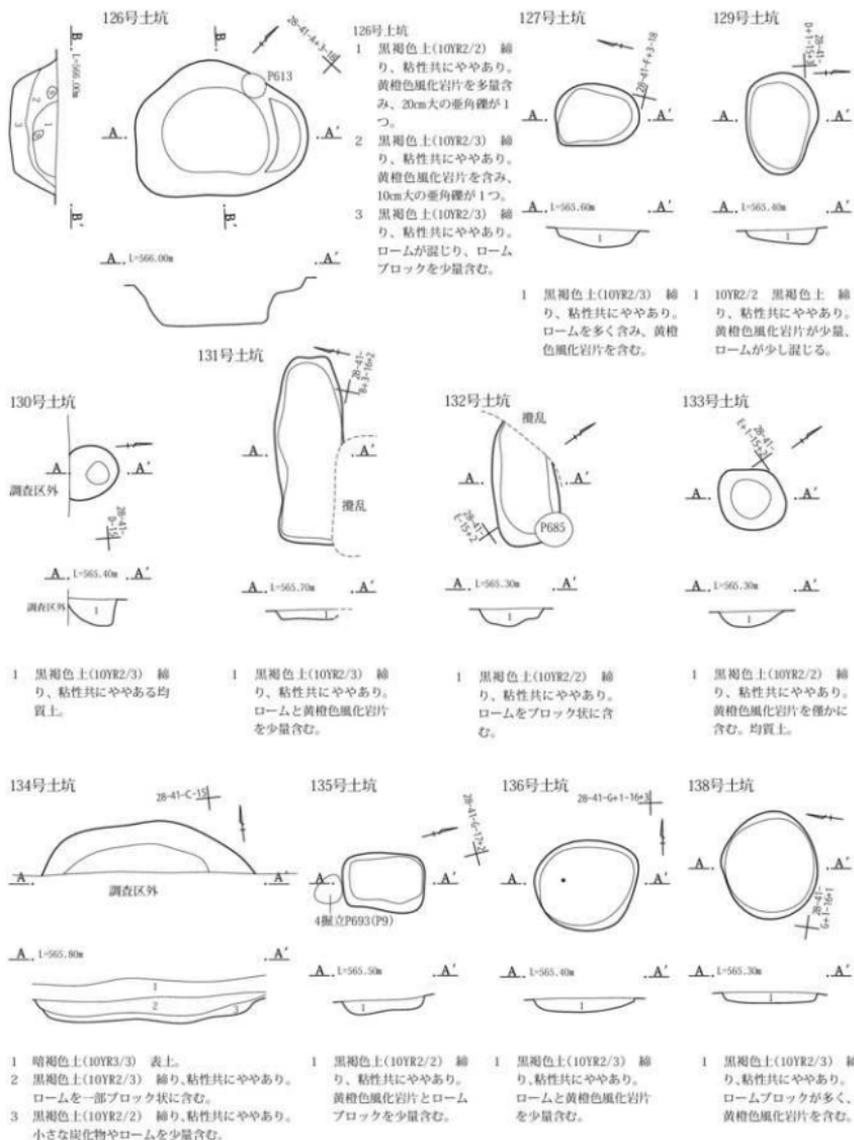
第157図 土坑 平面図(4)

0 1:60 2m



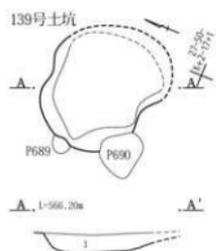
0 1:40 2m

第158図 土坑 平面図(5)

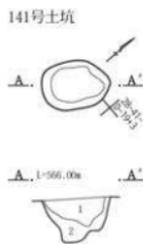


0 1:60 2m

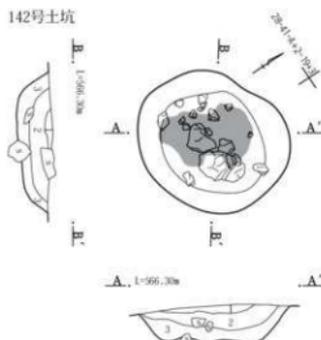
第159図 土坑 平面図(6)



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を含む。



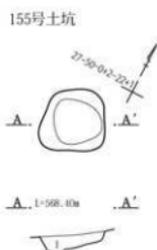
- 1 黒褐色土(10YR2/2)に黄褐色土(10YR7/8)が現状に混入する。
2 黒褐色土(10YR2/2)に黄褐色土(10YR7/8)が多く現状に混入する。



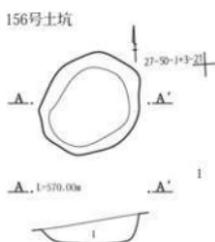
- 1 褐色(5YR6/8)の焼土。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。角礫を多く含み、黄褐色風化岩片を含む。
3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームと黄褐色風化岩片を含む。



- 1 黒褐色土(10YR2/1) こぶし大～径20cm大の礫が混入。ローム粒子が少量混入する均質土。



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。ロームを少量含み、垂角礫を底部に多く含む。



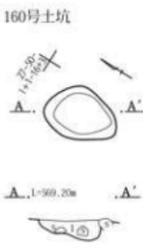
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。均質土。



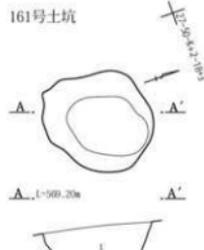
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り。粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を僅かに含み、2cm大の垂角礫が僅かに含まれる。



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややある均質土であるが、底部に10cm大の角礫が多い。



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。垂角礫を多量に含み、黄褐色風化岩片とロームを含む。



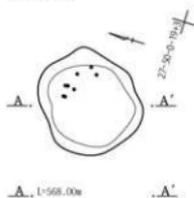
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締りあまりなし。粘性ややあり。3cm大の礫を少量含み、ローム粒子を含む。

第160図 土坑 平面図(7)

0 1:60 2m

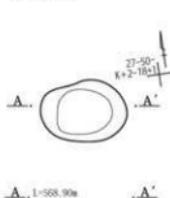
第4章 中棚Ⅱ遺跡

162号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、小さな礫が多く、ロームが少し混じる。
 ※土坑上に遺物が多く出土。

163号土坑



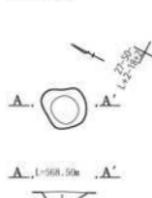
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、10cm大の角礫を少量含む、黄褐色風化岩片を少量含む。

164号土坑



1 暗褐色土(10YR3/2) ロームブロック・白色軽石微量小礫含む。
 2 暗褐色土(10YR3/1) ローム粒子を少量含む。白色軽石微量・中礫含む。

165号土坑



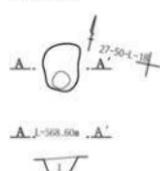
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり、黄褐色風化岩片を少量含む、ロームを少量含む。

166号土坑



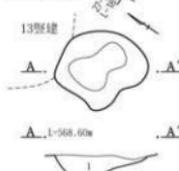
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。5~10cm大の礫が大量に混じっていて、黄褐色風化岩片を含む。

167号土坑



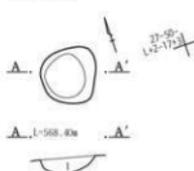
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。5cm大の亜角礫が少量に混じっていて、黄褐色風化岩片を含む。

168号土坑



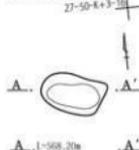
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。10cm大の亜角礫が少量に混じっていて、黄褐色風化岩片を少量含む。

170号土坑



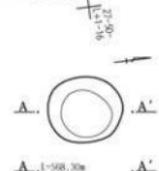
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。3cm大の角礫を少量含む、ロームが多く混じる。

171号土坑



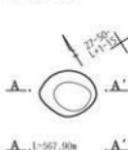
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性共にややあり。角礫を多量に含む。

172号土坑



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性共にややあり。角礫を多量に含む。

173号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む、ロームが混じる。

174号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。10cm大の亜角礫が大量に含まれる。

175号土坑

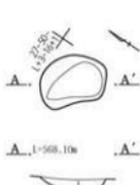


1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。2cm大の亜角礫を僅かに含む、黄褐色風化岩片を少量含む。

第161図 土坑 平面図(8)

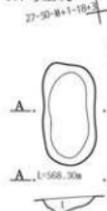
0 1:60 2m

176号土坑



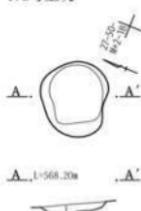
1 黒褐色土(10YR2/3) 締りあまりなし、粘性ややあり。小さな礫を少量含む。

177号土坑



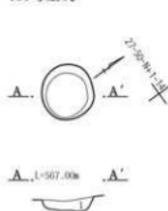
1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。ローム粒子を少量含む。

178号土坑



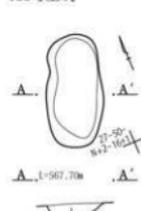
1 黒褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にあまりなし。砂質のロームが多い、5cm大の垂角礫が多い。

181号土坑



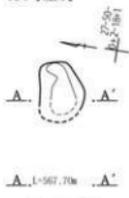
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあまりなし。ロームが多く混じる不均質土。

183号土坑



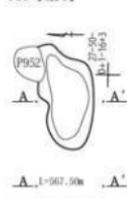
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。ロームブロックを多く含む。

184号土坑



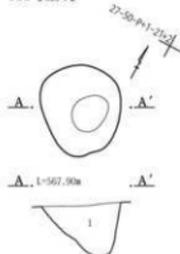
1 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり、粘性あまりなし。小さな垂角礫を多く含む。

185号土坑



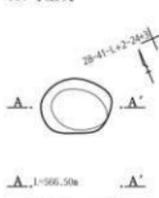
1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックを多量に含む。白色軽石を少量含む。

186号土坑



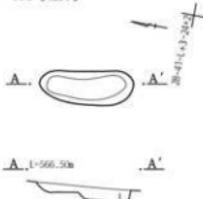
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。礫を含み、黄褐色風化岩片を多く含む。

187号土坑



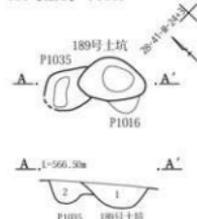
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームを少量含む。

188号土坑



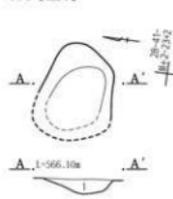
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややある均質土。

189号土坑・P1035



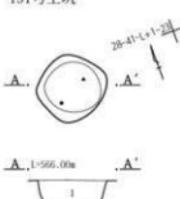
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。[189号土坑埋土]
2 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒味が強く、軟らかい。

190号土坑



1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。

191号土坑



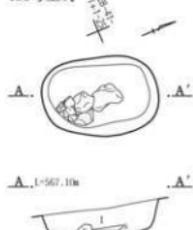
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量含む、小さな礫を少量含む。

第162図 土坑 平面図(9)

0 1:60 2m

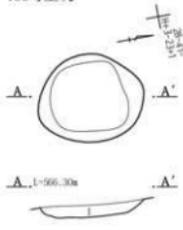
第4章 中欄II遺跡

193号土坑



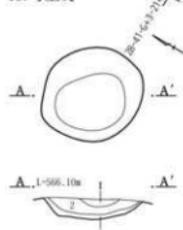
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を少量含む。

196号土坑



- 1 黒色土(10YR2/1) ロームブロック・焼土粒子少量。こぶし大礫。

197号土坑



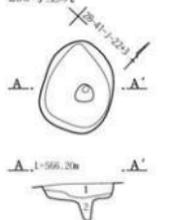
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 均質土。
2 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子・白色軽石を少量含む。
3 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・焼土粒子・白色軽石を少量含む。

198号土坑



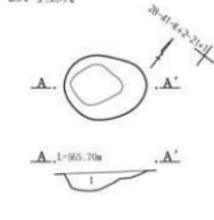
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を少量含む。

200号土坑



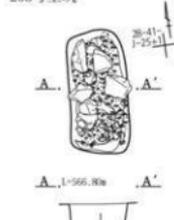
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を少量含む。
2 黒色土(10YR2/2) ローム粒子・白色軽石を少量含む。

201号土坑



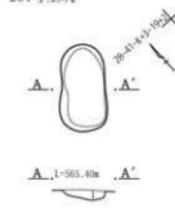
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・ロームブロック少量。

203号土坑



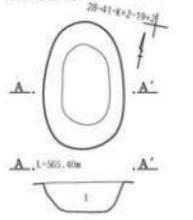
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・白色軽石を少量含む。小〜大径の礫を多量に含む。

204号土坑



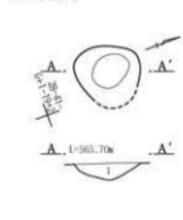
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・ロームブロック少量。

206号土坑



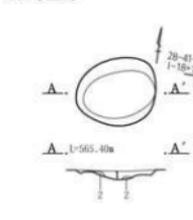
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック少量、ローム粒子・白色軽石を微量含む。

207号土坑



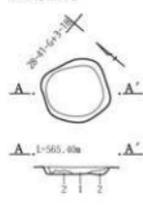
- 1 黒褐色土(10YR2/1) ローム粒子・白色軽石・焼土粒子少量、ロームブロックを含む。

208号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子を少量含む。締り、粘性あり。
2 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土少量含む。締りあり。

209号土坑

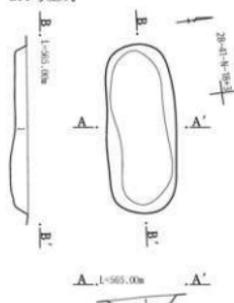


- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。締りあり。
2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土少量、白色軽石微量。

第163図 土坑 平面図(10)

0 1:60 2m

211号土坑



1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子少量。均質土。

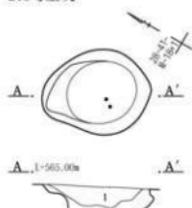
212号土坑・P1196



212号土坑・P1196

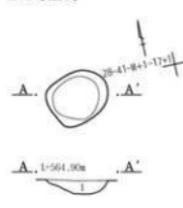
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子・白色軽石を少量含む。均質土。
2 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質土。

213号土坑



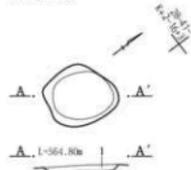
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・焼土粒子・白色軽石を少量含む。均質土。
2 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・焼土粒子・白色軽石を少量含む。粘性あり。

215号土坑



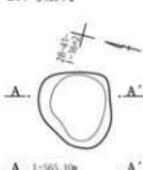
1 黒色土(10YR2/1) 暗褐色土が斑状に混入。粘性あり。

216号土坑



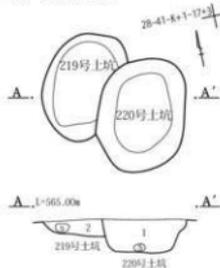
1 黒色土(10YR2/1) ロームブロック・ローム粒子を少量含む。

217号土坑



1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。暗褐色土を含む。

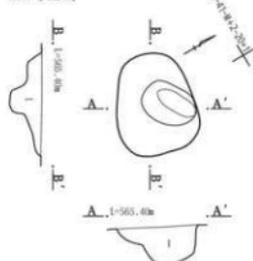
219・220号土坑



219・220号土坑

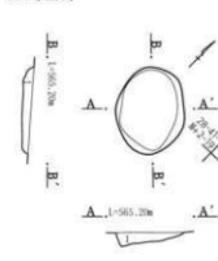
1 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを多量に含む。
2 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・ロームブロック少量含む。粘質土。

223号土坑



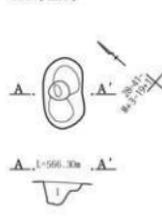
1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石・焼土粒子を少量含む。暗褐色土を含む。

224号土坑



1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・暗褐色土を少量含む。

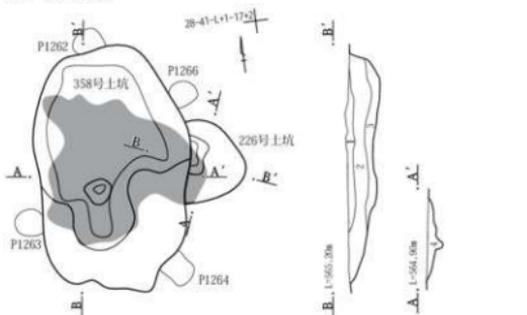
225号土坑



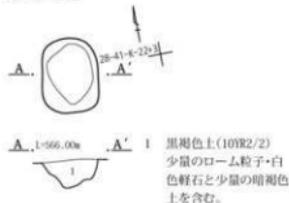
1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石・焼土粒子を少量含む。暗褐色土を含む。

第164図 土坑 平面図(11)

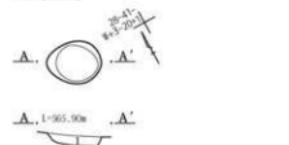
0 1:60 2m



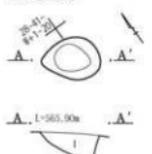
- A, 1=565.20m A' 1 焼土。
 2 暗褐色土(10YR3/3) 粘性、締りあり。
 3 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを少量含む。
 4 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを多量含む。
- B, 1=564.00m B' 1 289土



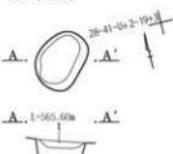
- A, 1=566.00m A' 1 黒褐色土(10YR2/2) 少量のローム粒子・白色軽石と少量の暗褐色土を含む。



- A, 1=565.90m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。黄褐色風化岩片を少量含む。



- A, 1=565.90m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。黄褐色風化岩片を僅かに含む。



- A, 1=565.00m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。白色風化岩片を僅かに含む。



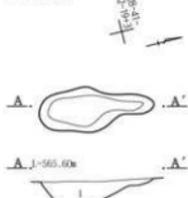
- A, 1=565.00m A' 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。均質土。



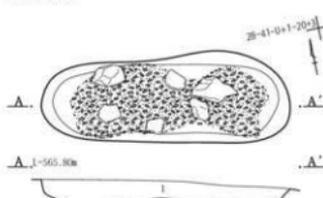
- A, 1=565.80m A' 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。



- A, 1=565.80m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。



- A, 1=565.00m A' 1 10YR2/3 黒褐色土 締り、粘性共にあり。



- A, 1=565.80m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。均質土。

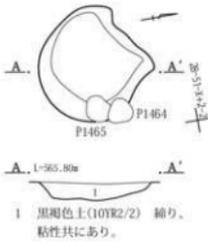


- A, 1=565.90m A' 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。均質土。

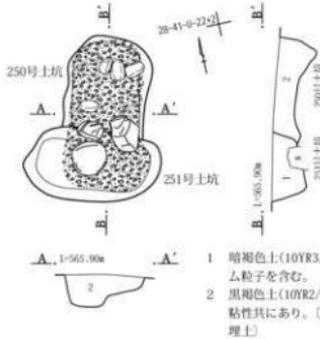
第165図 土坑 平面図(12)



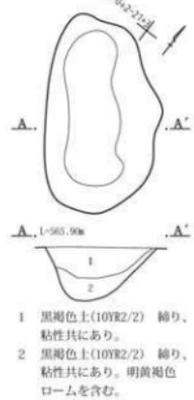
249号土坑



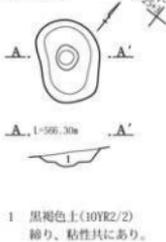
250・251号土坑



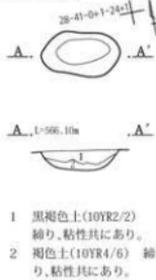
252号土坑



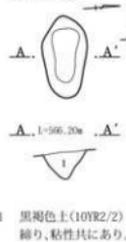
253号土坑



257号土坑



258号土坑



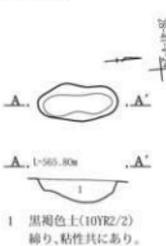
259号土坑



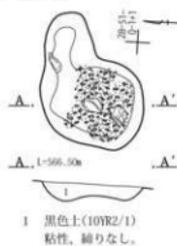
264号土坑



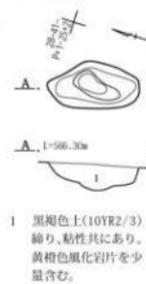
265号土坑



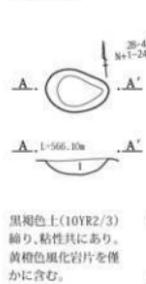
266号土坑



267号土坑



268号土坑



269号土坑

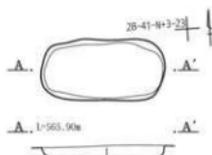


第166図 土坑 平断面図(13)



第4章 中棚II遺跡

270号土坑



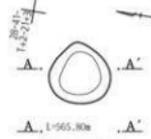
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。小礫含む。

271号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。黄相風化岩片を多量含む、底部に礫がある。

272号土坑



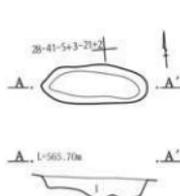
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。黄相風化岩片を少量含む。

273号土坑



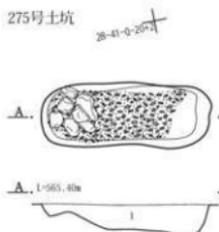
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。土坑内に円礫が大量にある。

274号土坑



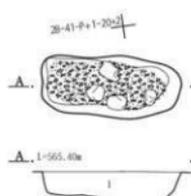
1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質土。小礫・中礫を含む。

275号土坑



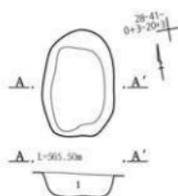
1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。と小礫・中礫・大礫を多量に含む。

276号土坑



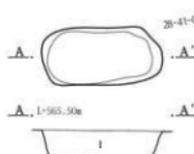
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。底部に垂円礫を多量に含む。

277号土坑



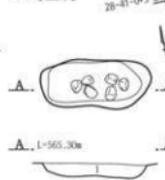
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。底部に垂円礫を多量に含む。

278号土坑



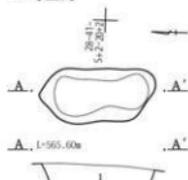
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。

279号土坑



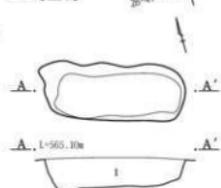
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。垂円礫を多く含む。

281号土坑

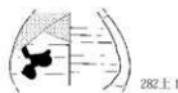


1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。

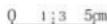
282号土坑



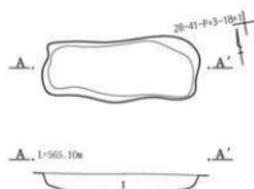
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。礫を僅かに含む。均質土。



第167図 土坑 平面図(14)、282号土坑出土遺物図

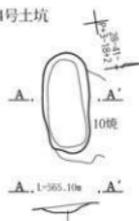


283号土坑



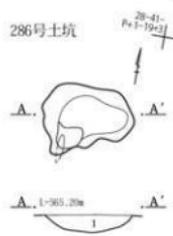
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり、10cm 大の礫を僅かに含む。均質土。

284号土坑



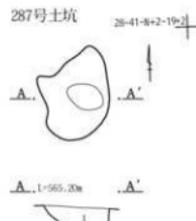
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややある均質土。

286号土坑



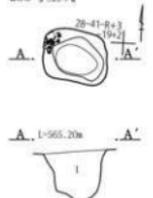
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややある均質土。

287号土坑



1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。黄褐色風化岩片を少量含む、ロームを一部に含む。

288号土坑



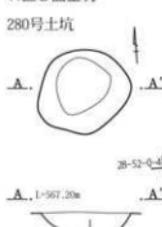
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。黄褐色風化岩片を含む。

359号土坑



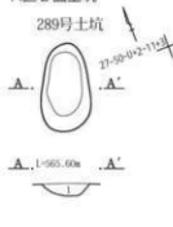
1 暗褐色土(10YR3/3) 多量の焼土ブロックと少量の白色軽石・炭化物を含む。
2 黒褐色土(10YR2/2) 焼土粒子・炭化物を少量含む。

11区2面土坑



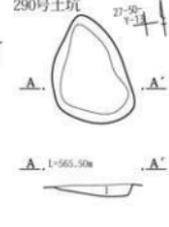
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。垂直礫を含む。均質土。

14区2面土坑



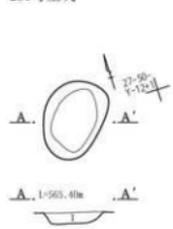
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

290号土坑



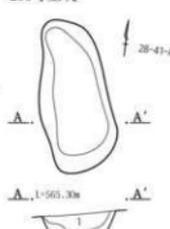
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

291号土坑



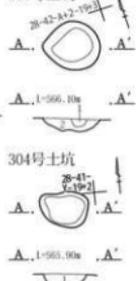
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

295号土坑



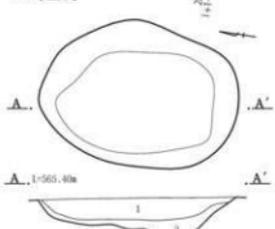
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と小石を少量、1cm大の黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 1層上に多量のロームブロックを含む。

301号土坑



301号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/2) 堆積密。白色軽石粒・黄褐色粒を少量含む。
304号土坑
1 黒褐色土(10YR2/2) 堆積密、黄褐色ブロック上・白色軽石粒・黄褐色粒を多量に含む。

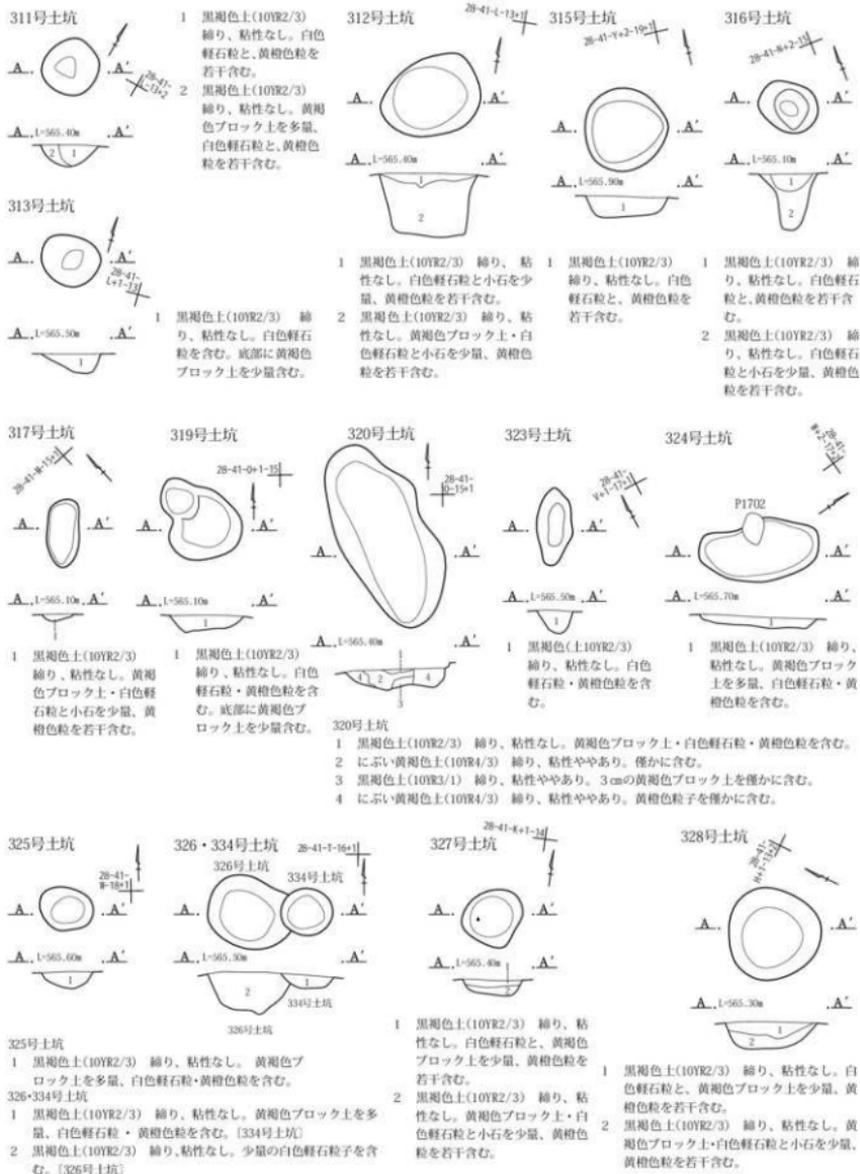
310号土坑



310号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/2) 堆積密。黄褐色ブロック上・白色軽石粒・黄褐色粒を多量に含む。

0 1:60 2m

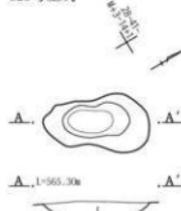
第168図 土坑 平面図(15)



第169図 土坑 平断面図(16)

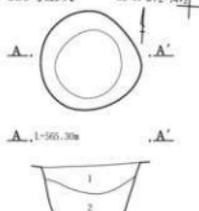
0 1:60 2m

329号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上・白色軽石粒と小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

330号土坑



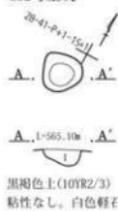
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上を少量、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上・白色軽石粒と、亜鉛礫を少量、黄褐色粒を若干含む。

331号土坑



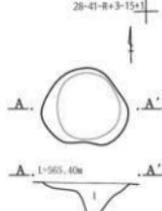
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上を少量、1cm大の黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上を少量、白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。

332号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上・小石を少量、1cm大の黄褐色粒を若干含む。

333号土坑



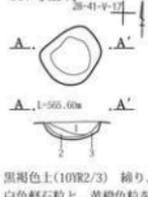
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上・3cm大の小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

336号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上を少量、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上・白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。

337号土坑



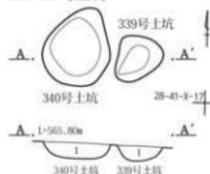
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色粒を少量含む。
3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上・やや大きめの白色軽石粒と、黄褐色粒を少量含む。

338号土坑



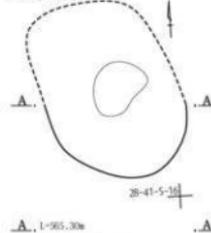
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上を少量、黄褐色粒を若干含む。

339・340号土坑



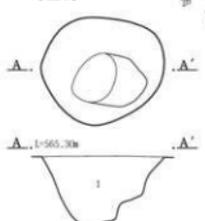
- 339号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック上を少量、黄褐色粒を若干含む。
340号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上・白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。

342号土坑



- 342号土坑
1 暗褐色土(10YR2/3) 黄褐色ブロックを大量に含む。黄褐色粒1cm大を多量、白色軽石粒少。
2 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色ブロック少量含む。黄褐色粒・白色軽石粒少量含む。
3 黒色土(7.5YR2/1) こぶし大の礫をレンズ状に含む。黄褐色粒・白色軽石粒少量含む。
4 黒褐色土(10YR2/3) 3に似ているがやが固い。黄褐色粒・白色軽石粒若干含む。
343号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック上を多量、黄褐色粒を少量含む。

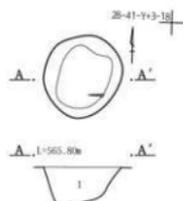
343号土坑



第170図 土坑 平面図(17)

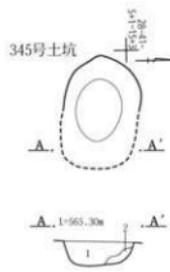
第4章 中欄II遺跡

344号土坑



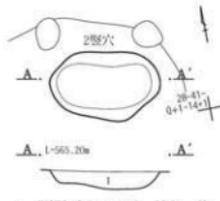
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土を多量、白色軽石粒・黄褐色粒を少量含む。

345号土坑



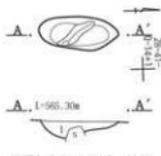
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土・白色軽石粒を少量、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土と、白色軽石粒を少量、黄褐色粒を若干含む。

346号土坑



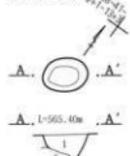
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土と、白色軽石粒を少量、黄褐色粒を若干含む。

347号土坑



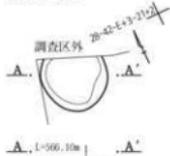
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック土を少量、黄褐色粒を若干含む。

351号土坑



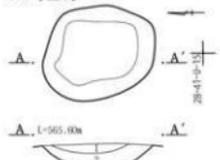
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック土を少量、黄褐色粒を若干含む。

352号土坑



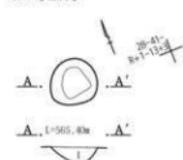
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石とローム粒子を少量含む。

349号土坑



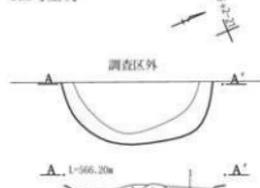
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、小石・黄褐色土を少量、黄褐色粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土・白色軽石粒と小石を少量、黄褐色粒を若干含む。

350号土坑



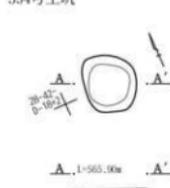
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土を多量、白色軽石粒と、黄褐色粒を若干含む。

353号土坑



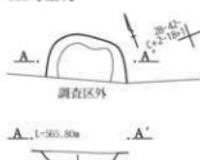
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石とローム粒子を少量含む。

354号土坑

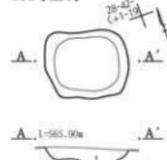


354 + 355 + 356号土坑
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石と黄褐色土ブロックを少量含む。

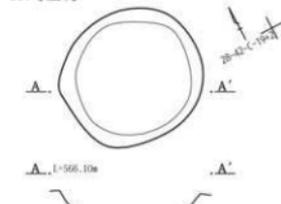
355号土坑



356号土坑



357号土坑

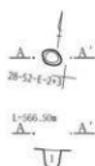


第171図 土坑 平断面図(18)



2面ビット

P12



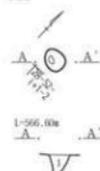
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P21



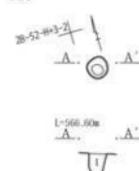
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P26



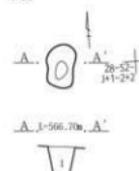
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P28



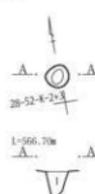
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P35



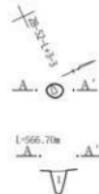
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P37



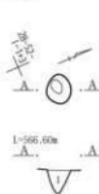
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P48



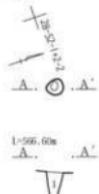
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P50



1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P52



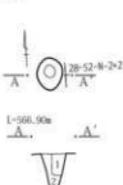
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい土。人為的埋没上。

P61



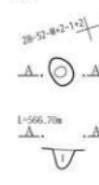
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい均質土。1~6cm大の垂直礫を多く含む。

P64



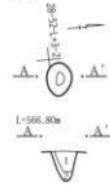
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい均質土。2cm大の礫を若干含む。
2 暗褐色土(10YR2/2) 締り、ややあり、粘性なし。根の擾乱あり。黄褐色土粒子や小石を少量含む。

P65



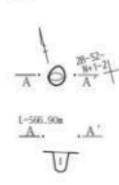
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい均質土。2cm大の礫を若干含む。

P66



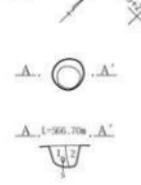
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかく、炭化物粒を若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子、暗褐色土ブロックを若干含む。1層よりやや硬い。

P81



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかく崩れやすい土。小礫若干含む。

P82

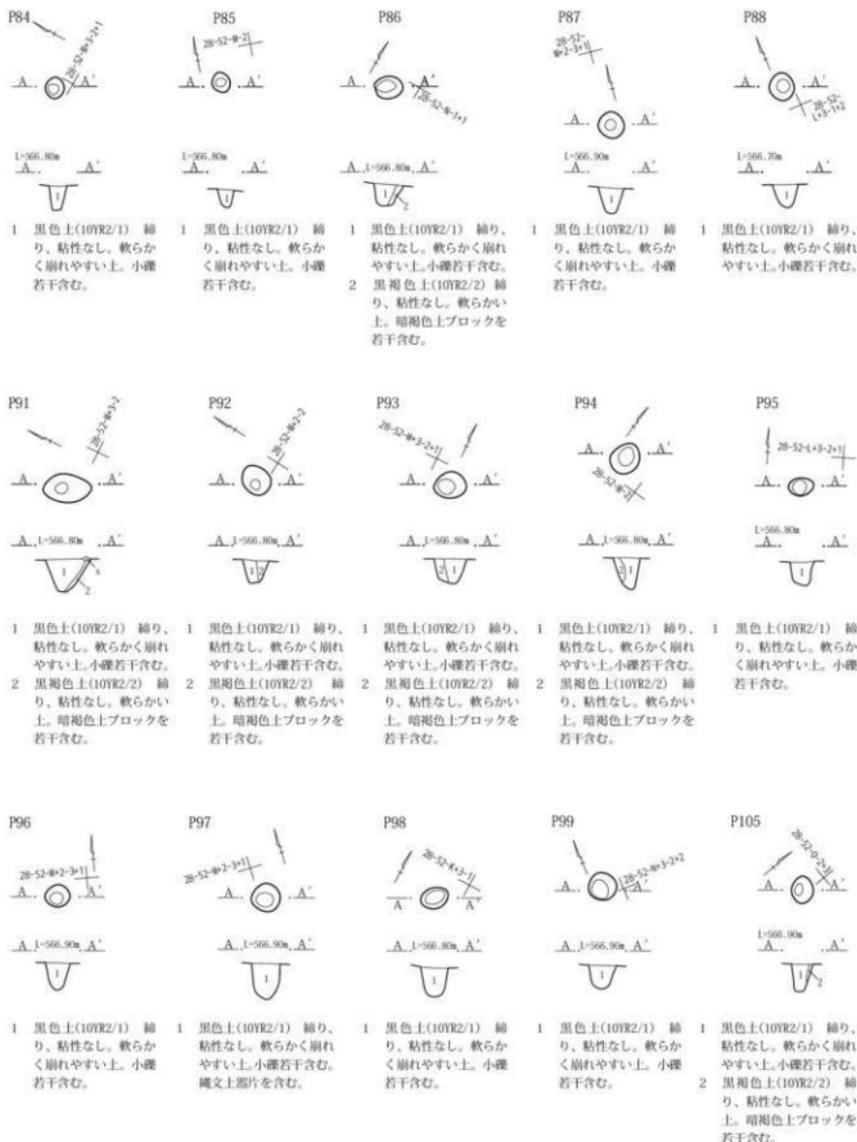


1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかく崩れやすい土。小礫若干含む。
2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。軟らかい土。暗褐色土ブロックを若干含む。

第172図 ビット 平断面図(1)

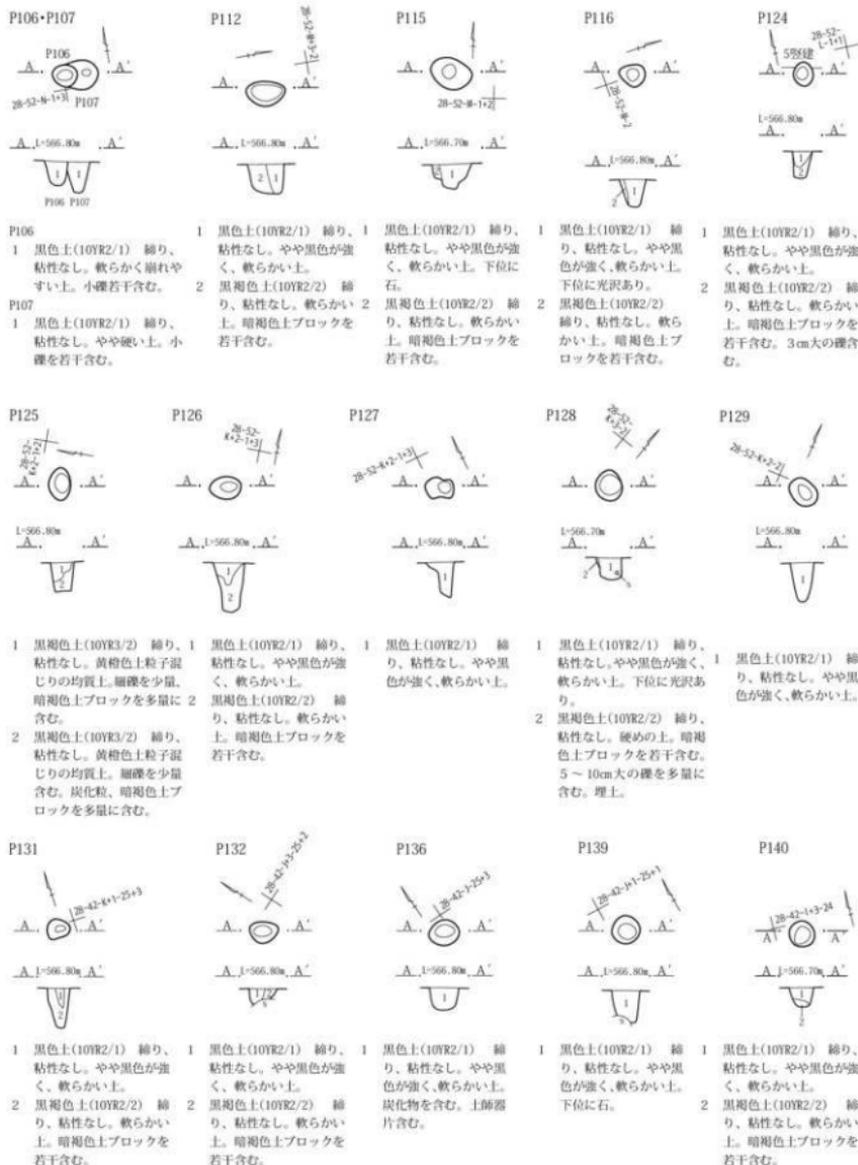


第4章 中欄II遺跡



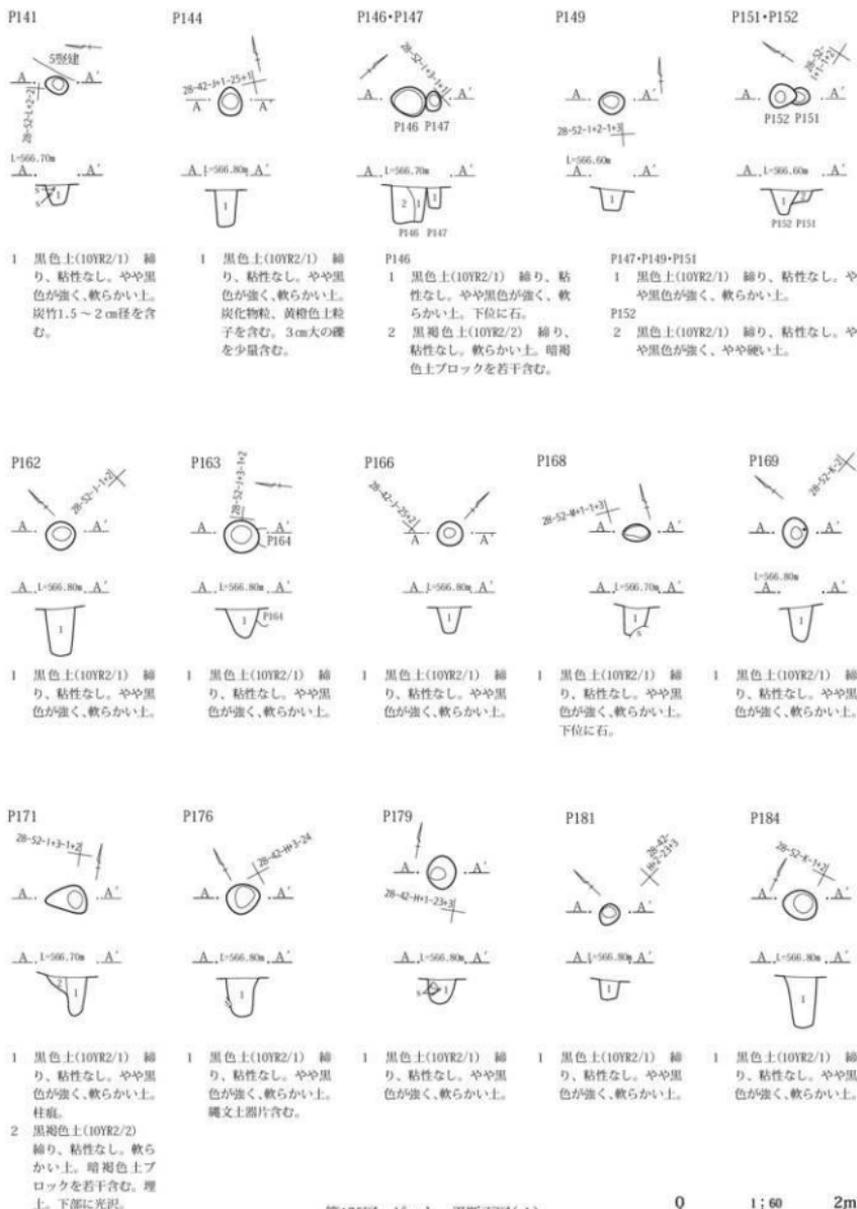
0 1:60 2m

第173図 ビット 平面図(2)



第174図 ビット 平面図(3)

0 1:60 2m



第175図 ビット 平面断面図(4)

0 1:60 2m

P185・P186



P185

1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P186

1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。軟らかい上。暗褐色土ブロックを若干含む。

P190



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P191



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

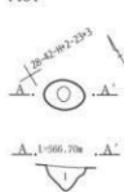
2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。軟らかい上。暗褐色土ブロックを若干含む。

P192



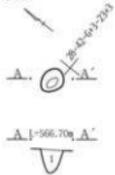
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。
2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。軟らかい上。暗褐色土ブロックを若干含む。

P194



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P197



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P198



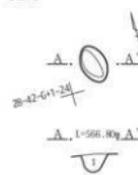
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P215



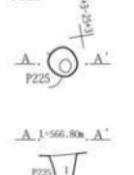
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P216



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P226



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、黄褐色土粒子を若干含む。軟らかい上。底部黒い光沢。炭化物含む。

P228



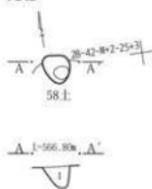
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P241



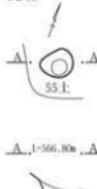
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P242



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P243



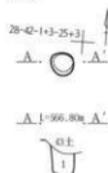
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P245



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P246



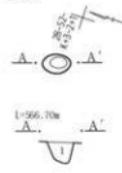
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P248



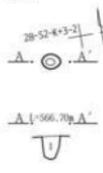
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。
2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。暗褐色～明黄褐色土ブロック、10cm大の礫を含む。

P250



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。縄文土器片含む。

P257



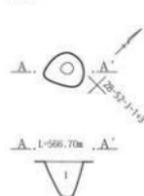
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、暗褐色土ブロックを若干含む。軟らかい上。

P259



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。下位に石。

P261



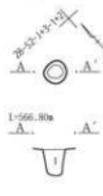
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、暗褐色土ブロックを含む。軟らかい上。

P262



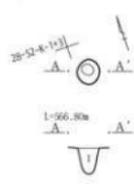
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P263



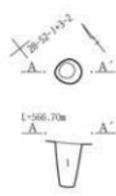
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P264



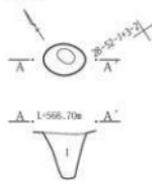
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P265



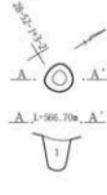
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、暗褐色土ブロック、20cm大の垂角礫を含む。軟らかい上。下部に光沢。

P266



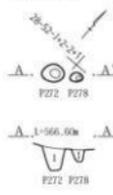
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P270



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。30cm大の垂角礫含む。

P272・P278



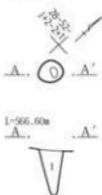
P272

1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P278

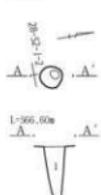
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、暗褐色土粒子、黄褐色土粒子を大量に黒色土ブロックを若干含む。軟らかい上。

P273



1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

P274

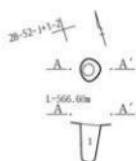


1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、軟らかい上。

第177図 ビット 平面図(6)

0 1:60 2m

P275



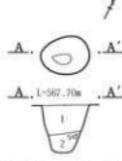
1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。やや黒色が強く、暗褐色土ブロックを含む。軟らかい土。

P312



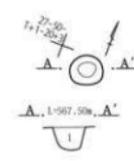
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。5～10cm大の垂角礫を少量含む。黄褐色風化岩片を僅かに含む。

P313



1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を僅かに含む。
2 暗褐色土(10YR3/3) 締りややあり、粘性あまりなし。粒径の細かい均質土。

P314



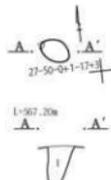
1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を僅かに含む。10cm大の角礫を僅かに含む。

P317



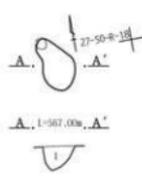
1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややある均質土。
2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり。5cm大の垂角礫を少量含む、ロームが混じる。

P338



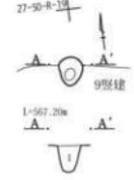
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む、均質土。

P340



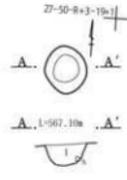
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。均質土。

P342



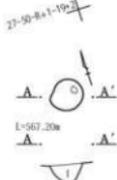
1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックを少量含む。

P346



1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む、小礫を含む。

P349



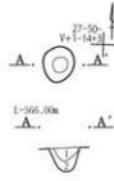
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を含み、白色軽石を含む。

P355



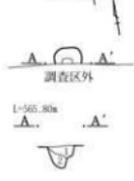
1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子や焼土粒子を少量含む。
2 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒子を少量含む。

P357



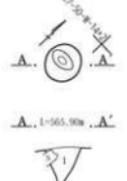
1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子や焼土粒子を少量含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子との混土50%。

P360



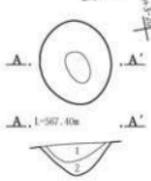
1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。均質土。
2 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。

P361



1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多量に含む。2cm大の垂角礫を含む。

P365

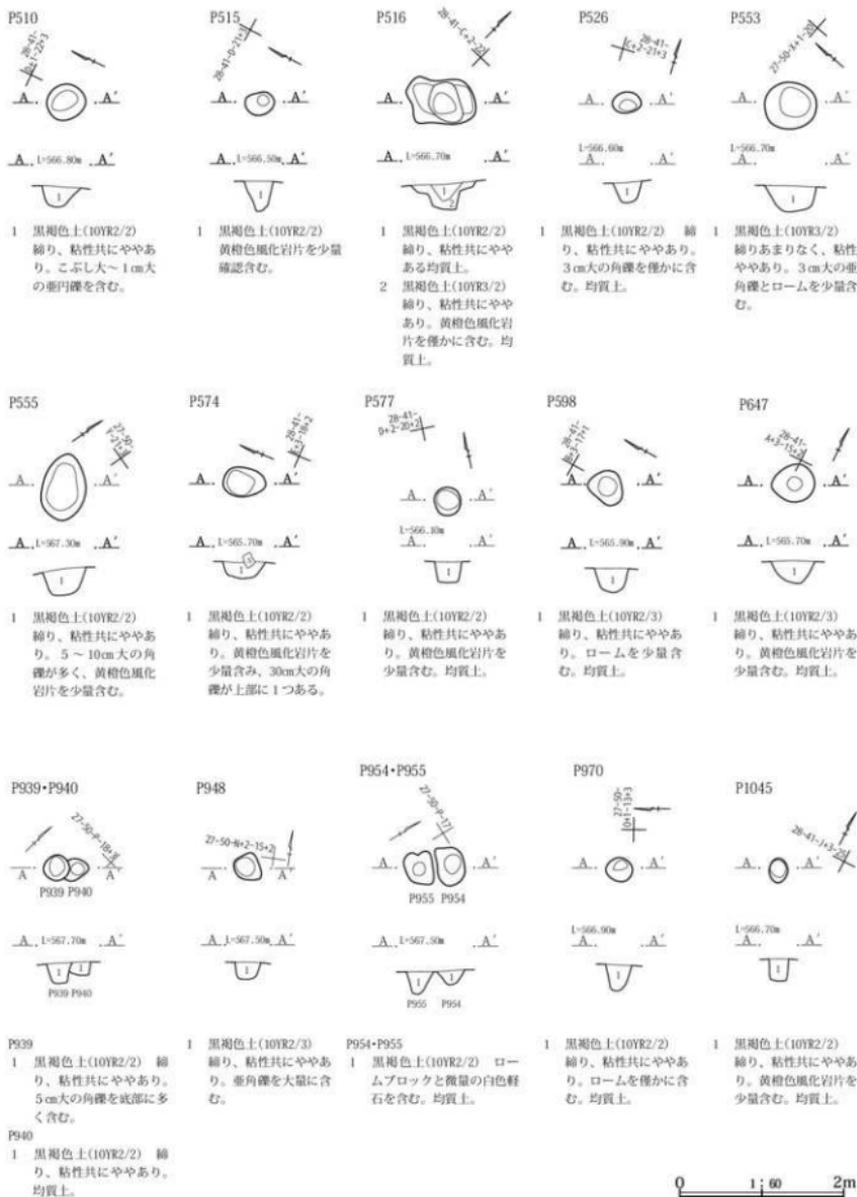


1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子、焼土粒子を少量含む、小礫も含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含み、小礫も含む。

第178図 ビット 平断面図(7)

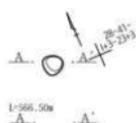
0 1:60 2m

第4章 中欄II遺跡



第179図 ビット 平面断面図(8)

P1047



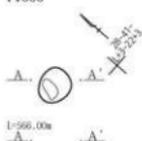
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を少量含む。均質上。

P1054



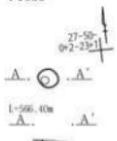
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 微量のローム粒子を含む。均質上。

P1055



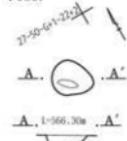
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 少量のローム粒子を含む。均質上。

P1065



- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子微量含む。均質上。

P1067



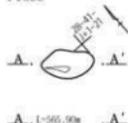
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・焼土粒子を少量含む。

P1089



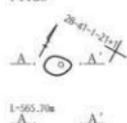
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質上。

P1099



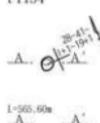
- 1 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを少量含む。均質上。

P1126



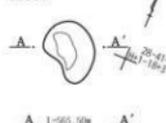
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。均質上。

P1134



- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質上。

P1144



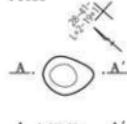
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。締まりあり。
2 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・暗褐色土を少量含む。締まりあり。

P1183



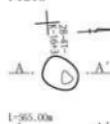
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 白色軽石を少量含む。やや締まりあり。
2 黒色土(10YR3/1) ローム粒子・暗褐色土を少量含む。やや締まりあり。

P1186



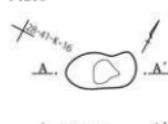
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・焼土粒子を少量含む。小礫複数含む。均質上。

P1213



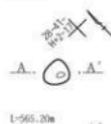
- 1 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを含む。粘性上。

P1216



- 1 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを多量に含む。粘性上。

P1233



- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。均質上。

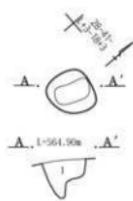
0 1:60 2m

P1240



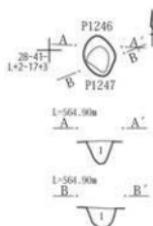
- 1 黒色土(10YR2/1) 少量のローム粒子・白色軽石とロームブロックを含む。

P1241



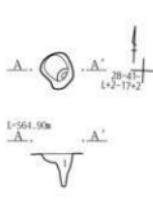
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・暗褐色土を少量含む。

P1246・P1247



- P1246
1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・焼土粒子・暗褐色土を少量含む。
- P1247
1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・焼土粒子・暗褐色土を少量含む。

P1262



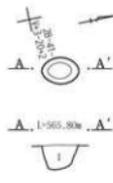
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・暗褐色土を少量含む。

P1320



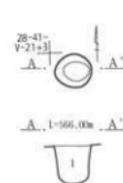
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。均質土。

P1324



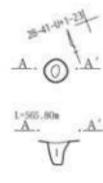
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1360



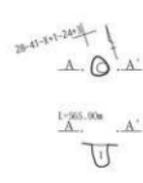
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1361



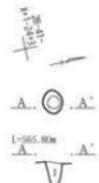
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。

P1371



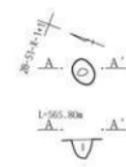
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。均質土。

P1373



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。

P1377



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1379



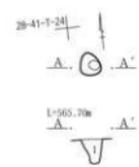
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1388



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。

P1389



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあり。

P1451

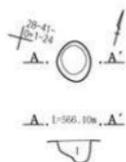


- 1 褐色土(10YR4/6) 締り、粘性共にあり。

0 1:60 2m

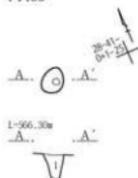
第181図 ビット 平断面図(10)

P1452



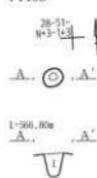
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。
- 2 褐色土(10YR4/6) 締り、粘性共にあり。

P1455



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1463



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にあり。

P1498



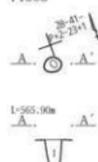
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。

P1503



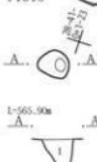
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質土。

P1508



- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質土。

P1510



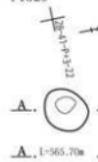
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。暗褐色土。

P1514



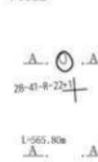
- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。暗褐色土を含む。均質土。

P1520



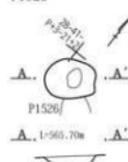
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややある均質土。

P1522



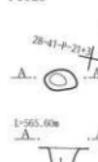
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。

P1525



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややある均質土。黄褐色風化岩片を少量含む。

P1528



- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。均質土。

P1529



- 1 黒色土(10YR2/1) 暗褐色土(10YR3/3)を少量含む。均質土。

P1542



- 1 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。均質土。

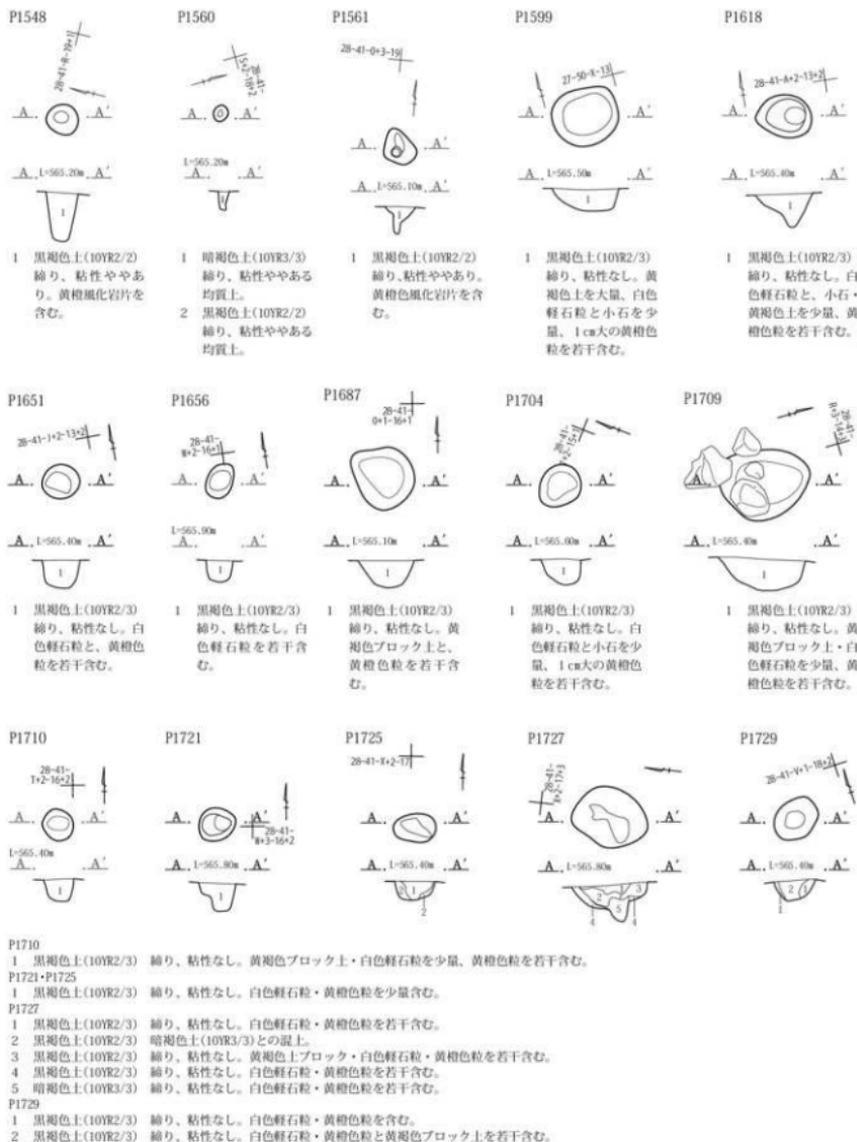
P1546



- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。ロームをまばらに含む。

第182図 ビット 平面断面図(11)

0 1:60 2m



0 1:50 2m

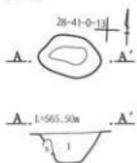
第183図 ビット 平面図(12)

P1731



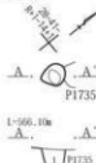
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色粒・白色軽石粒を含む。

P1733



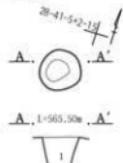
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒・黄褐色粒を含む。

P1736



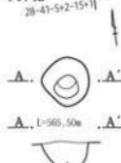
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 堆積物。白色軽石粒・黄褐色粒を多量に含む。

P1741



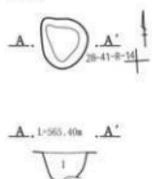
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土・白色軽石粒と小石少量、黄褐色粒を若干含む。

P1742



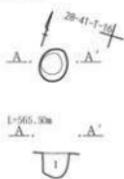
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土・白色軽石粒と小石を少量含む。

P1743



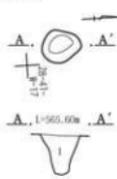
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック土を少量、黄褐色粒を若干含む。

P1747



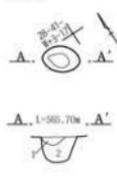
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石粒と、黄褐色ブロック土を少量、黄褐色粒を若干含む。

P1751



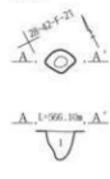
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。黄褐色ブロック土少。器と土穴と接する所に縄文土器片。

P1752



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。
2 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色粒多量。

P1756



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色軽石を少量含む。

0 1:60 2m

第184図 ビット 平面断面図(13)

暗渠

Ⅵ区2面の調査において、暗渠とみられる遺構が検出された(Ⅵ区2面1号暗渠)。緩斜面から河床礫が露出する低地部に向けて、幅47～62cm、深度75cm、長さ6m程の直線的な浅い溝の左右に礫を配し、一部天井部にも礫を渡す。遺構は地形変換点で途切れる。出土遺物もなく、遺構の時期については明らかではない。

(第158図 Ⅵ区2・3面 全体図 参照)



第4章 中標II遺跡

第10表 2面土坑一覽表

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径(m) | 最少径(m) | 深度(m) | 備考・重埋 |
|--------|-----|----|-------|--------|--------|-------------|-------|
| 1号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (100) | 80 | 30 | |
| 2号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 145 | 95 | 25 | |
| 3号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 70 | 30上 | |
| 4号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 110 | 65 | 20上 | |
| 5号土坑 | VHc | 2面 | 楕円方型 | 90 | 55 | 60 | |
| 6号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 305 | 90 | 10 | |
| 12号土坑 | VHc | 2面 | 楕円方型 | 255 | 220 | 60 | |
| 23号土坑 | VHc | 1面 | 楕円形 | 260 | 90 | 22 | |
| 24号土坑 | VHc | 1面 | 楕円形 | 295 | 85 | 20 | |
| 25号土坑 | VHc | 1面 | 楕円形 | 230 | 128 | 25 | |
| 26号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 145 | 75 | 30 | |
| 27号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 82 | 82 | 90 | |
| 28号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 75 | 75 | 15 | |
| 29号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 50 | 48 | 20 | |
| 30号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 55 | 55 | 26 | |
| 31号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 105 | 90 | 30 | |
| 32号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 75 | 50 | 28 | |
| 33号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 110 | 60 | 25 | |
| 34号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 190 | 125 | 35 | |
| 35号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 65 | 55 | 20 | |
| 36号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 55 | 55 | 15 | |
| 37号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 78 | 75 | 15 | |
| 38号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (40) | 35 | A層埋 | |
| 39号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 138 | 100 | 10上 | |
| 45号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 70 | 45 | 15 | |
| 46号土坑 | VHc | 2面 | 方形 | 135 | 128 | 40 | |
| 48号土坑 | VHc | 2面 | 方形 | 95 | 90 | 30 | |
| 49号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (100) | (70) | 20 | |
| 53号土坑 | VHc | 2面 | (長方形) | (205) | 70 | 35 44土・P27 | |
| 94号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 55 | 50 | 30 | |
| 55号土坑 | VHc | 2面 | 方形 | 150 | 125 | 65 P24 ~ 25 | |
| 56号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 195 | 52 | 15 | |
| 58号土坑 | VHc | 2面 | 楕円方型 | 175 | 118 | 45 P24・2位 | |
| 63号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 50 | 10 | |
| 64号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 110 | 50 | 15 | |
| 65号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 140 | 65 | 20 | |
| 66号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 55 | 15 | |
| 67号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (100) | 80 | 20 | |
| 68号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 195 | 110 | 15 | |
| 69号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 85 | 70 | 25 | |
| 70号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 85 | 75 | 15 | |
| 71号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 118 | 90 | 37 | |
| 73号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 215 | 55 | 30 | |
| 74号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 105 | 100 | 15 | |
| 75号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 82 | 80 | 20 | |
| 77号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 113 | 70 | 28 | |
| 100号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 78 | 50 | 18 | |
| 101号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 90 | 70 | 20 | |
| 102号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 115 | 55 | 20 | |
| 103号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 90 | 60 | 25 | |
| 104号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 115 | 70 | 15 | |
| 105号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 埋立P1 |
| 106号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 78 | 25 | |
| 107号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 113 | 60 | 20 | |
| 108号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 130 | 90 | 12 | |
| 109号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 75 | 10 | |
| 110号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | (128) | 95 | 50 | |
| 112号土坑 | VHc | 2面 | (方形) | (80) | 65 | 28 | |
| 113号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 75 | 62 | 18 11土 | |
| 114号土坑 | VHc | 2面 | (長方形) | (100) | 80 | 15 | |
| 115号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 50 | 22 | |
| 116号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 90 | 50 | 15 | |
| 117号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 65 | 35 | |
| 118号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 埋立P2 |
| 119号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 80 | 48 | 15 | |
| 120号土坑 | VHc | 2面 | (円形) | (65) | 60 | 20 | |
| 121号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 90 | 70 | 25 | |
| 122号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 埋立P4 |
| 123号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 110 | 80 | 30 | |
| 124号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 埋立P3 |
| 125号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 140 | 100 | 15 | |
| 126号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 210 | 165 | 55 P13 | |
| 127号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 100 | 78 | 20 | |
| 128号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 埋立P2 |
| 129号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 125 | 88 | 20 | |
| 130号土坑 | VHc | 2面 | (円形) | 65 | (60) | 32 | |
| 131号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 230 | 80 | 12 | |
| 132号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (150) | 80 | 20 P85 | |
| 133号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 80 | 72 | 20 | |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径(m) | 最少径(m) | 深度(m) | 備考・重埋 |
|--------|-----|----|-------|--------|--------|-------------|--------|
| 134号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | 258 | (62) | 102 | |
| 135号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 100 | 70 | 15 4層立 | |
| 136号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 122 | 110 | 15 | |
| 138号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 130 | 118 | 12 | |
| 139号土坑 | VHc | 2面 | (不定形) | (155) | (155) | 25 P68・69 | |
| 141号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 85 | 60 | 55 | |
| 142号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 185 | 175 | 45 | |
| 143号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 105 | 90 | 35 | |
| 155号土坑 | VHc | 2面 | 方形 | 80 | 75 | 25 | |
| 156号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 123 | 120 | 30 | |
| 157号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 115 | 75 | 32 | |
| 158号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 90 | 15 | |
| 160号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 65 | 25 | |
| 161号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 135 | 120 | 60 | |
| 162号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 132 | 125 | 25 | |
| 163号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 75 | 35 | |
| 164号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 185 | 140 | 45 P83 | |
| 165号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 52 | 45 | 18 | |
| 166号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 60 | 25 | |
| 167号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 58 | 40 | 25 | |
| 168号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 110 | 95 | 25 1層埋 | |
| 169号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 7層立P9 |
| 170号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 70 | 68 | 20 | |
| 171号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 80 | 50 | 20 | |
| 172号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 90 | 80 | 32 | |
| 173号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 70 | 65 | 20 | |
| 174号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 90 | 82 | 25 | |
| 175号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 65 | 58 | 12 | |
| 176号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 80 | 60 | 12 | |
| 177号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 125 | 60 | 20 | |
| 178号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 90 | 83 | 13 | |
| 180号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 6層立P1 |
| 181号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 68 | 62 | 15 | |
| 182号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 8層立P1 |
| 183号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 140 | 70 | 20 | |
| 184号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (70) | 54 | 20 | |
| 185号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 120 | 68 | 15 P92 | |
| 186号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 110 | 98 | 65 | |
| 187号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 68 | 20 | |
| 188号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 115 | 65 | 20 | |
| 189号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 80 | 50 | 28 P103・104 | |
| 190号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | (120) | 90 | 18 | |
| 191号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 85 | 80 | 32 | |
| 192号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 140 | 95 | 35 | |
| 196号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 120 | 110 | 15 | |
| 197号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 120 | 115 | 25 | |
| 198号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 60 | 25 | |
| 200号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 135 | 110 | 45 | |
| 201号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 100 | 80 | 22 | |
| 202号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 190 | 85 | 30 | |
| 203号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 150 | 70 | 30 | |
| 204号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 58 | 10 | |
| 205号土坑 | VHc | 2面 | | | | | 10層立P5 |
| 206号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 155 | 98 | 30 | |
| 207号土坑 | VHc | 2面 | (円形) | (85) | 80 | 20 | |
| 208号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 95 | 80 | 18 | |
| 209号土坑 | VHc | 2面 | 方形 | 80 | 80 | 10 | |
| 211号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 208 | 85 | 20 | |
| 212号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 75 | 72 | 15 P116 | |
| 213号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 130 | 105 | 45 | |
| 215号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 75 | 65 | 15 | |
| 216号土坑 | VHc | 2面 | 円形 | 90 | 78 | 10 | |
| 217号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 95 | 85 | 12 | |
| 219号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 130 | 90 | 20 20土 | |
| 220号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 135 | 105 | 40 21土 | |
| 221号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 125 | 100 | 45 | |
| 224号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 105 | 85 | 17 | |
| 225号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 85 | 60 | 20 | |
| 226号土坑 | VHc | 2面 | (円形) | 100 | (70) | 90 38土 | |
| 227号土坑 | VHc | 2面 | 長方形 | 90 | 68 | 35 | |
| 228号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 68 | 54 | 23 | |
| 229号土坑 | VHc | 2面 | (楕円形) | 57 | (55) | 15 | |
| 230号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 95 | 69 | 18 | |
| 231号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 64 | 47 | 33 | |
| 232号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 91 | 71 | 30 | |
| 233号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 87 | 52 | 18 | |
| 234号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 75 | 58 | 46 | |
| 235号土坑 | VHc | 2面 | 楕円形 | 53 | 43 | 15 | |
| 236号土坑 | VHc | 2面 | 不定形 | 95 | 62 | 14 | |

土坑一覽表

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径(cm) | 最小径(cm) | 深度(cm) | 備考・重傷 |
|--------|-----|----|-------|---------|---------|--------|------------|
| 237号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 75 | 50 | 12 | |
| 238号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 75 | 52 | 30 | |
| 239号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 70 | 60 | 42 | |
| 240号土坑 | 10区 | 2面 | (円形) | (45) | 45 | 50 | |
| 241号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 45 | 37 | 25 | |
| 242号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 65 | 47 | 25 | |
| 243号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 140 | 55 | 30 | |
| 244号土坑 | 7区 | 2面 | 円形 | 80 | 72 | 19 | |
| 245号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 300 | 110 | 40 | |
| 246号土坑 | 10区 | 2面 | (楕円形) | (70) | 65 | 12 | |
| 249号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 140 | 140 | 20 | P1455・1464 |
| 250号土坑 | 10区 | 2面 | (楕円形) | (117) | 100 | 45 | 251土 |
| 251号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 170 | 87 | 40 | 250土 |
| 252号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 245 | 140 | 65 | |
| 253号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 100 | 75 | 18 | |
| 257号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 95 | 50 | 25 | |
| 258号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 100 | 55 | 35 | |
| 259号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 70 | 55 | 30 | |
| 264号土坑 | 10区 | 2面 | 長方形 | 85 | 55 | 55 | |
| 265号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 98 | 45 | 26 | |
| 266号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 160 | 75 | 27 | |
| 267号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 110 | 58 | 32 | |
| 268号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 75 | 52 | 18 | |
| 269号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 75 | 60 | 45 | |
| 270号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 150 | 75 | 15 | |
| 271号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 75 | 70 | 40 | |
| 272号土坑 | 10区 | 2面 | 円形 | 75 | 75 | 15 | |
| 273号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 210 | 90 | 20 | |
| 274号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 130 | 50 | 25 | |
| 275号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 205 | 75 | 40 | |
| 276号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 168 | 78 | 35 | |
| 277号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 130 | 87 | 30 | |
| 278号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 150 | 70 | 35 | |
| 279号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 80 | 60 | 15 | |
| 280号土坑 | 11区 | 2面 | 円形 | 110 | 105 | 30 | |
| 281号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 135 | 70 | 37 | |
| 282号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 170 | 70 | 45 | |
| 283号土坑 | 10区 | 2面 | 長方形 | 190 | 75 | 24 | |
| 284号土坑 | 10区 | 2面 | 楕円形 | 123 | 57 | 10 | 109脚 |
| 286号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 110 | 85 | 20 | |
| 287号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 105 | 85 | 40 | |
| 288号土坑 | 10区 | 2面 | 方形 | 78 | 60 | 60 | |
| 289号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 110 | 60 | 15 | |
| 290号土坑 | 14区 | 2面 | 不定形 | 130 | 95 | 14 | |
| 291号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 95 | 70 | 14 | |
| 292号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 120 | 103 | 27 | |
| 295号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 180 | 90 | 32 | |
| 301号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 70 | 60 | 15 | |
| 304号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 60 | 47 | 15 | |
| 310号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 242 | 180 | 50 | |
| 311号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 70 | 70 | 25 | |
| 312号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 120 | 95 | 75 | |
| 313号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 70 | 60 | 22 | |
| 315号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 102 | 100 | 25 | |
| 316号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 72 | 60 | 70 | |
| 317号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 82 | 40 | 10 | |
| 318号土坑 | | | | | | | 欠番 |
| 319号土坑 | 14区 | 2面 | 不定形 | 95 | 90 | 20 | |
| 320号土坑 | 14区 | 2面 | 不定形 | 180 | 123 | 25 | |
| 321号土坑 | | | | | | | 欠番 |
| 323号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 95 | 45 | 28 | |
| 324号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 145 | 90 | 12 | P1702 |
| 325号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 65 | 55 | 20 | |
| 326号土坑 | 14区 | 2面 | (楕円形) | (90) | 90 | 50 | 334土 |
| 327号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 70 | 70 | 18 | |
| 328号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 113 | 110 | 33 | |
| 329号土坑 | 14区 | 2面 | 不定形 | 128 | 70 | 25 | |
| 330号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 122 | 120 | 70 | |
| 331号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 102 | 70 | 17 | |
| 332号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 48 | 47 | 50 | |
| 333号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 105 | 90 | 45 | |
| 334号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 62 | 58 | 15 | 326土 |
| 335号土坑 | | | | | | | 欠番 |
| 336号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 78 | 65 | 20 | |
| 337号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 75 | 70 | 22 | |
| 338号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 82 | 68 | 30 | |
| 339号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 75 | 53 | 20 | |
| 340号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 95 | 82 | 20 | |
| 341号土坑 | | | | | | | 欠番 |
| 342号土坑 | 14区 | 2面 | (楕円形) | (215) | 170 | 58 | |
| 343号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 150 | 130 | 130 | |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径(cm) | 最小径(cm) | 深度(cm) | 備考・重傷 |
|--------|-----|----|-------|---------|---------|--------|-------|
| 344号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 98 | 95 | 48 | |
| 345号土坑 | 14区 | 2面 | (楕円形) | (138) | | 90 | 28 |
| 346号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 135 | 85 | 20 | |
| 347号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 95 | 40 | 20 | |
| 349号土坑 | 14区 | 2面 | 方形 | 132 | 112 | 28 | |
| 350号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 58 | 55 | 20 | |
| 351号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 55 | 40 | 28 | |
| 352号土坑 | 14区 | 2面 | (楕円形) | 80 | (64) | 8 | |
| 353号土坑 | 14区 | 2面 | (円形) | 82 | (75) | 12 | |
| 354号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 68 | 60 | 12 | |
| 355号土坑 | 14区 | 2面 | (楕円形) | 95 | (50) | 15 | |
| 356号土坑 | 14区 | 2面 | 楕円形 | 102 | 80 | 25 | |
| 357号土坑 | 14区 | 2面 | 円形 | 175 | 170 | (28) | |
| 358号土坑 | 10区 | 2面 | 不定形 | 300 | 190 | 45 | P206 |
| 359号土坑 | 10区 | 2面 | (不定形) | (51) | (60) | (20) | |

第4章 中継口跡跡

第11表 ビット一覧表

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (φ) | 最少径 (φ) | 深さ (φ) |
|--------|-----|----|------|---------|---------|--------|
| 1号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 50 | 36 | 10 |
| 2号ビット | Ⅴ | 3面 | 方形 | 48 | 43 | 10 |
| 3号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 37 | 36 | 14 |
| 4号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 24 | 18 | 8 |
| 5号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 27 | 20 | 7 |
| 6号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 34 | 32 | 12 |
| 7号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 32 | 21 | 14 |
| 8号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 40 | 31 | 22 |
| 9号ビット | Ⅴ | 3面 | 方形 | 26 | 23 | 8 |
| 10号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 37 | 25 | 12 |
| 11号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 38 | 28 | 18 |
| 12号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 24 | 18 | 22 |
| 13号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 52 | 42 | 10 |
| 14号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 43 | 43 | 14 |
| 15号ビット | Ⅴ | 3面 | 不定形 | 32 | 23 | 13 |
| 16号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 22 | 16 | 25 |
| 17号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 39 | 30 | 17 |
| 18号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 42 | 41 | 20 |
| 19号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 25 | 22 | 29 |
| 20号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 46 | 45 | 22 |
| 21号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 38 | 23 |
| 22号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 74 | 54 | 23 |
| 23号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 23 | 23 | 17 |
| 24号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 34 | 32 | 17 |
| 25号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 27 | 27 | 20 |
| 26号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 29 | 23 | 22 |
| 27号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 62 | 44 | 32 |
| 28号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 27 | 24 | 25 |
| 29号ビット | Ⅴ | 3面 | 台形 | 33 | 30 | 22 |
| 30号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 58 | 46 | 30 |
| 31号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 53 | 35 | 25 |
| 32号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 48 | 48 | 22 |
| 33号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 60 | 40 | 26 |
| 34号ビット | Ⅴ | 2面 | 不定形 | 54 | 35 | 46 |
| 35号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 27 | 32 |
| 36号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 20 |
| 37号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 36 | 26 | 14 |
| 38号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 53 | 54 | 46 |
| 39号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 43 | 29 | 27 |
| 40号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 32 | 25 |
| 41号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 27 | 25 | 18 |
| 42号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 20 | 16 | 28 |
| 43号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 36 | 34 | 20 |
| 44号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 28 | 29 |
| 45号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 33 | 32 | 23 |
| 46号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 22 | 20 | 35 |
| 47号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 37 | 27 | 19 |
| 48号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 38 | 19 |
| 49号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 24 | 24 | 16 |
| 50号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 24 | 24 | 16 |
| 51号ビット | Ⅴ | 2面 | 不定形 | 36 | 25 | 43 |
| 52号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 39 | 33 | 26 |
| 53号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 29 | 48 |
| 54号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 54 | 38 | 58 |
| 55号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 39 |
| 56号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 29 | 17 |
| 57号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 30 | 30 | 19 |
| 58号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 27 | 17 |
| 59号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 25 | 21 |
| 60号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 27 | 32 | 27 |
| 61号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 42 | 27 | 12 |
| 62号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 28 | 21 | 19 |
| 63号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 35 | 33 | 39 |
| 64号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 33 | 32 | 23 |
| 65号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 29 | 22 | 23 |
| 66号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 40 | 30 | 20 |
| 67号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 26 | 19 | 23 |
| 68号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 34 | 28 | 44 |
| 69号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 29 |
| 70号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 47 | 34 | 46 |
| 71号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 38 | 18 | 14 |
| 72号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 45 | 35 | 36 |
| 73号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 30 | 27 | 26 |
| 74号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 28 | 22 | 26 |
| 75号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 17 | 14 |
| 76号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 28 | 30 |
| 77号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 32 | 26 | 16 |
| 78号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 13 |
| 79号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 35 | 35 | 42 |
| 80号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 48 | 32 | 36 |
| 81号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 36 | 35 | 26 |
| 82号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 22 | 22 | 22 |
| 83号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 47 | 42 | 19 |
| 84号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 22 | 22 | 14 |
| 85号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 22 | 18 | 8 |
| 86号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 57 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (φ) | 最少径 (φ) | 深さ (φ) |
|---------|-----|----|------|---------|---------|--------|
| 87号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 32 |
| 88号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 28 |
| 89号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 35 | 26 | 24 |
| 90号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 22 |
| 91号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 60 | 45 | 40 |
| 92号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 38 | 32 | 28 |
| 93号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 49 | 32 | 30 |
| 94号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 39 |
| 95号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 30 | 22 | 28 |
| 96号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 30 | 26 | 32 |
| 97号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 34 | 34 | 44 |
| 98号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 28 | 44 |
| 99号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 33 | 32 | 38 |
| 100号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 35 | 25 | 13 |
| 101号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 29 | 21 |
| 102号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 30 | 20 | 18 |
| 103号ビット | Ⅴ | 2面 | 方形 | 30 | 29 | 7 |
| 104号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 28 | 17 |
| 105号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 28 | 32 |
| 106号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 26 |
| 107号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 35 | 26 | 30 |
| 108号ビット | Ⅴ | 2面 | 方形 | 26 | 24 | 12 |
| 109号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 24 | 26 |
| 110号ビット | Ⅴ | 2面 | 不定形 | 27 | 20 | 26 |
| 111号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 22 | 20 | 13 |
| 112号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 50 | 30 | 37 |
| 113号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 24 | 22 | 19 |
| 114号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 30 | 27 | 15 |
| 115号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 48 | 37 | 30 |
| 116号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 28 | 34 |
| 117号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 36 | 36 | 18 |
| 118号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 48 | 40 | 23 |
| 119号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 30 | 24 | 8 |
| 120号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 27 | 19 | 22 |
| 121号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 36 | 30 | 48 |
| 122号ビット | Ⅴ | 3面 | 方形 | 30 | 30 | 24 |
| 123号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 34 | 25 | 25 |
| 124号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 24 | 33 |
| 125号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 26 | 34 |
| 126号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 29 | 60 |
| 127号ビット | Ⅴ | 2面 | 不定形 | 36 | 25 | 43 |
| 128号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 39 | 33 | 26 |
| 129号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 29 | 48 |
| 130号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 54 | 38 | 58 |
| 131号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 39 |
| 132号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 29 | 17 |
| 133号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 30 | 30 | 19 |
| 134号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 27 | 17 |
| 135号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 25 | 21 |
| 136号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 27 | 32 | 27 |
| 137号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 42 | 27 | 12 |
| 138号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 28 | 21 | 19 |
| 139号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 35 | 33 | 39 |
| 140号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 33 | 32 | 23 |
| 141号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 29 | 22 | 23 |
| 142号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 40 | 30 | 20 |
| 143号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 26 | 19 | 23 |
| 144号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 34 | 28 | 44 |
| 145号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 29 |
| 146号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 47 | 34 | 46 |
| 147号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 38 | 18 | 14 |
| 148号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 45 | 35 | 36 |
| 149号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 27 | 26 |
| 150号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 28 | 22 | 26 |
| 151号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 17 | 14 |
| 152号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 32 | 28 | 30 |
| 153号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 32 | 26 | 16 |
| 154号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 13 |
| 155号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 35 | 35 | 42 |
| 156号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 48 | 32 | 36 |
| 157号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 36 | 35 | 26 |
| 158号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 22 | 22 | 22 |
| 159号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 47 | 42 | 19 |
| 160号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 22 | 22 | 14 |
| 161号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 22 | 18 | 8 |
| 162号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 57 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (φ) | 最少径 (φ) | 深さ (φ) |
|---------|-----|----|------|---------|---------|--------|
| 163号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 44 | 38 | 35 |
| 164号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 23 | 22 | 20 |
| 165号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 24 | 23 | 28 |
| 166号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 40 | 40 | 30 |
| 167号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 25 | 25 | 12 |
| 168号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 44 | 34 | 33 |
| 169号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 28 | 42 |
| 170号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 21 | 20 | 10 |
| 171号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 48 | 34 | 48 |
| 172号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 30 | 16 | 15 |
| 173号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 23 | 16 | 14 |
| 174号ビット | Ⅴ | 2面 | 方形 | 23 | 23 | 22 |
| 175号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 26 | 26 | 22 |
| 176号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 37 |
| 177号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 43 | 35 | 40 |
| 178号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 30 | 16 |
| 179号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 41 | 33 | 27 |
| 180号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 24 | 23 |
| 181号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 25 | 23 | 24 |
| 182号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 20 | 20 |
| 183号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 26 | 13 |
| 184号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 63 |
| 185号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 25 | 22 | 21 |
| 186号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 37 | 36 | 26 |
| 187号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 23 | 12 |
| 188号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 18 | 13 |
| 189号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 20 | 18 | 14 |
| 190号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 37 | 26 | 24 |
| 191号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 43 | 32 | 19 |
| 192号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 33 | 28 | 18 |
| 193号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 26 | 26 | 18 |
| 194号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 48 | 36 | 27 |
| 195号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 26 | 18 | 12 |
| 196号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 38 | 38 | 17 |
| 197号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 32 | 26 | 28 |
| 198号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 40 | 33 | 33 |
| 199号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 18 | 13 |
| 200号ビット | Ⅴ | 2面 | 円形 | 25 | 25 | 20 |
| 201号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 27 | 27 | 28 |
| 202号ビット | Ⅴ | 3面 | 不定形 | 43 | 22 | 9 |
| 203号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 42 | 46 | 18 |
| 204号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 18 | 19 |
| 205号ビット | Ⅴ | 2面 | 楕円形 | 26 | 18 | 13 |
| 206号ビット | Ⅴ | 3面 | 楕円形 | 44 | 32 | 13 |
| 207号ビット | Ⅴ | 3面 | 円形 | 26 | | |

ビット一覧表

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大幅 (m) | 長さ (m) | 深さ (m) |
|---------|-----|----|------|---------|--------|--------|
| 239号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 36 | 28 | 13 |
| 240号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 36 | 26 | 8 |
| 241号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 25 |
| 242号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 35 | 32 | 25 |
| 243号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 36 | 29 |
| 244号ビット | V | 2面 | 楕円形 | (32) | 34 | 32 |
| 245号ビット | V | 2面 | 円形 | 37 | 31 | 42 |
| 246号ビット | V | 3面 | 円形 | 31 | 28 | 25 |
| 247号ビット | V | 2面 | 円形 | 32 | 30 | 30 |
| 248号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 26 |
| 249号ビット | V | 3面 | 楕円形 | (52) | 40 | 30 |
| 250号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 33 | 25 | 25 |
| 251号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 30 | 28 | 23 |
| 252号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 29 | 19 | 22 |
| 253号ビット | V | 2面 | 円形 | 23 | 21 | 21 |
| 254号ビット | V | 3面 | 円形 | 23 | 23 | 16 |
| 255号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 43 | 34 | 26 |
| 256号ビット | V | 2面 | 円形 | 23 | 23 | 10 |
| 257号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 25 | 18 | 29 |
| 258号ビット | V | 2面 | 円形 | 23 | 19 | 6 |
| 259号ビット | V | 2面 | 円形 | 25 | 23 | 19 |
| 260号ビット | V | 3面 | 長方形 | 47 | 30 | 32 |
| 261号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 48 | 40 | 44 |
| 262号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 33 | 28 | 24 |
| 263号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 38 | 32 |
| 264号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 28 | 27 | 32 |
| 265号ビット | V | 2面 | 円形 | 33 | 28 | 54 |
| 266号ビット | V | 2面 | 円形 | 52 | 38 | 54 |
| 267号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 23 | (17) | 12 |
| 268号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 25 | 20 | 7 |
| 269号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 25 | 25 | 12 |
| 270号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 34 | 34 | 36 |
| 271号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 23 | 18 | 12 |
| 272号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 21 | 21 | 27 |
| 273号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 30 | 25 | 55 |
| 274号ビット | V | 2面 | 円形 | 37 | 27 | 62 |
| 275号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 30 | 27 | 46 |
| 276号ビット | V | 2面 | 円形 | 26 | 20 | 7 |
| 277号ビット | V | 3面 | 円形 | 28 | 27 | 14 |
| 278号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 16 | 10 | 14 |
| 279号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 43 | 37 | 28 |
| 280号ビット | V | 2面 | 円形 | 29 | 26 | 28 |
| 281号ビット | V | 2面 | 円形 | 35 | 33 | 33 |
| 282号ビット | V | 2面 | 円形 | 32 | 27 | 28 |
| 283号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 54 | 25 | 29 |
| 284号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 58 | 46 | 41 |
| 285号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 56 | 42 | 30 |
| 286号ビット | V | 2面 | 円形 | 37 | 33 | 22 |
| 287号ビット | V | 2面 | 円形 | 43 | 38 | 56 |
| 288号ビット | V | 2面 | 円形 | 48 | 44 | 41 |
| 289号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 61 | 45 | 39 |
| 290号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 55 | 36 | 36 |
| 291号ビット | V | 2面 | 円形 | 39 | 35 | 27 |
| 292号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 53 | 27 | 22 |
| 293号ビット | V | 2面 | 円形 | 42 | 14 | 14 |
| 294号ビット | V | 2面 | 円形 | 46 | 44 | 32 |
| 295号ビット | V | 2面 | 円形 | 31 | 30 | 26 |
| 296号ビット | V | 2面 | 円形 | 53 | 44 | 37 |
| 297号ビット | V | 2面 | 円形 | 27 | 26 | 22 |
| 298号ビット | V | 2面 | 円形 | 42 | 37 | 32 |
| 299号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 49 | 40 | 31 |
| 300号ビット | V | 2面 | 円形 | 31 | 21 | 40 |
| 301号ビット | V | 2面 | 円形 | 29 | 26 | 24 |
| 302号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 22 | 19 | 27 |
| 303号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 23 | (14) | 26 |
| 304号ビット | V | 2面 | 円形 | 27 | 26 | 38 |
| 305号ビット | V | 2面 | 円形 | 24 | 24 | 35 |
| 306号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 34 | 42 |
| 307号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 29 | 24 | 44 |
| 308号ビット | V | 2面 | 円形 | 22 | 20 | 20 |
| 309号ビット | V | 2面 | 円形 | 31 | 29 | 29 |
| 310号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 71 | 58 | 29 |
| 311号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 58 | 42 | 26 |
| 312号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 55 | 45 | 30 |
| 313号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 45 | 27 |
| 314号ビット | V | 2面 | 円形 | 41 | 33 | 27 |
| 315号ビット | V | 2面 | 円形 | 40 | 35 | 7 |
| 316号ビット | V | 2面 | 円形 | 50 | 45 | 4 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大幅 (m) | 長さ (m) | 深さ (m) |
|---------|-----|----|------|---------|--------|--------|
| 317号ビット | V | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 26 |
| 318号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 57 | 19 |
| 319号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 46 | 32 | 8 |
| 320号ビット | V | 2面 | 円形 | 33 | 33 | 10 |
| 321号ビット | V | 2面 | 円形 | 33 | 33 | 12 |
| 322号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 70 | 47 | 17 |
| 323号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 55 | 40 | 30 |
| 324号ビット | V | 2面 | 円形 | 62 | 60 | 18 |
| 325号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 52 | 43 | 15 |
| 326号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 90 | 50 | 55 |
| 327号ビット | V | 2面 | 不定形 | 50 | 47 | 20 |
| 328号ビット | V | 2面 | 不定形 | 65 | 60 | 15 |
| 329号ビット | V | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 18 |
| 330号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 55 | 35 | 15 |
| 331号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 56 | (25) | 20 |
| 332号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 30 | 30 | 15 |
| 333号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 15 |
| 334号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 55 | 50 | 10 |
| 335号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 62 | 52 | 25 |
| 336号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 60 | 25 |
| 337号ビット | V | 2面 | 不定形 | 70 | 52 | 35 |
| 338号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 42 | 25 | 45 |
| 339号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 43 | 32 | 7 |
| 340号ビット | V | 2面 | 不定形 | 70 | 40 | 32 |
| 341号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 50 | 37 | 17 |
| 342号ビット | V | 2面 | 円形 | 35 | 27 | 33 |
| 343号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 30 | 25 | 25 |
| 344号ビット | V | 2面 | 円形 | 33 | 27 | 17 |
| 345号ビット | V | 2面 | 不定形 | 72 | 62 | 17 |
| 346号ビット | V | 2面 | 円形 | 60 | 50 | 22 |
| 347号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 60 | 22 |
| 348号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 55 | 25 |
| 349号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 22 |
| 350号ビット | V | 2面 | 不定形 | 48 | 30 | 12 |
| 351号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 32 | 10 |
| 352号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 35 | 22 | 15 |
| 353号ビット | V | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 10 |
| 354号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 73 | 65 | 12 |
| 355号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 50 | 40 | 30 |
| 356号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 60 | 57 | 17 |
| 357号ビット | V | 2面 | 円形 | 45 | 37 | 30 |
| 358号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 15 |
| 359号ビット | V | 2面 | 不定形 | (35) | 30 | 20 |
| 360号ビット | V | 2面 | 楕円形 | 35 | (20) | 25 |
| 361号ビット | V | 2面 | 円形 | 45 | 42 | 45 |
| 362号ビット | V | 2面 | 円形 | 30 | 33 | 25 |
| 363号ビット | V | 2面 | 円形 | 35 | 27 | 15 |
| 364号ビット | V | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 20 |
| 365号ビット | V | 2面 | 円形 | 100 | 85 | 40 |
| 366号ビット | V | 3面 | 円形 | 41 | 40 | 36 |
| 367号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 41 | 30 | 33 |
| 368号ビット | V | 3面 | 円形 | 50 | 44 | 14 |
| 369号ビット | V | 3面 | 円形 | 35 | 34 | 41 |
| 370号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 51 | 40 | 18 |
| 371号ビット | V | 3面 | 円形 | 44 | 38 | 27 |
| 372号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 73 | 65 | 26 |
| 373号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 54 | 40 | 14 |
| 374号ビット | V | 3面 | 円形 | 46 | 42 | 20 |
| 375号ビット | V | 3面 | 円形 | 43 | (16) | (21) |
| 376号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 46 | 27 | 25 |
| 377号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 36 | 32 | 16 |
| 378号ビット | V | 3面 | 円形 | 42 | 30 | 16 |
| 379号ビット | V | 3面 | 円形 | 36 | 35 | 14 |
| 380号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 35 | 27 | 10 |
| 381号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 60 | 50 | 15 |
| 382号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 64 | 34 | 27 |
| 383号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 41 | 36 | 12 |
| 384号ビット | V | 3面 | 円形 | 49 | 35 | 11 |
| 385号ビット | V | 3面 | 円形 | 28 | 28 | 11 |
| 386号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 27 | 24 | 20 |
| 387号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 45 | 38 | 19 |
| 388号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 40 | 40 | 32 |
| 389号ビット | V | 3面 | 円形 | 40 | 36 | 16 |
| 390号ビット | V | 3面 | 円形 | 40 | 38 | 16 |
| 391号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 50 | 26 | 14 |
| 392号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 56 | 41 | 18 |
| 393号ビット | V | 3面 | 不定形 | 35 | 25 | 19 |
| 394号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 46 | 27 | 24 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大幅 (m) | 長さ (m) | 深さ (m) |
|---------|-----|----|------|---------|--------|--------|
| 395号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 34 | 27 | 13 |
| 396号ビット | V | 3面 | 不定形 | 38 | 29 | 10 |
| 397号ビット | V | 3面 | 不定形 | 56 | 38 | 19 |
| 398号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 60 | 42 | 21 |
| 399号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 48 | 37 | 16 |
| 400号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 50 | 43 | 14 |
| 401号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 49 | 38 | 11 |
| 402号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 39 | 34 | 10 |
| 403号ビット | V | 3面 | 楕円形 | (66) | 48 | 13 |
| 404号ビット | V | 3面 | 不定形 | 50 | 48 | 18 |
| 405号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 64 | 60 | 16 |
| 406号ビット | V | 3面 | 円形 | 29 | 26 | 18 |
| 407号ビット | V | 3面 | 不定形 | 76 | 54 | 11 |
| 408号ビット | V | 3面 | 不定形 | 30 | 30 | 20 |
| 409号ビット | V | 3面 | 円形 | 30 | 29 | 17 |
| 410号ビット | V | 3面 | 不定形 | 30 | 27 | 16 |
| 411号ビット | V | 3面 | 円形 | 33 | 33 | 14 |
| 412号ビット | V | 3面 | 円形 | 31 | 28 | 17 |
| 413号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 30 | 26 | 12 |
| 414号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 34 | 16 | 10 |
| 415号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 38 | 33 | 18 |
| 416号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 58 | 31 | 19 |
| 417号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 40 | 34 | 15 |
| 418号ビット | V | 3面 | 円形 | 38 | 36 | 17 |
| 419号ビット | V | 3面 | 不定形 | 42 | 34 | 16 |
| 420号ビット | V | 3面 | 不定形 | 54 | 32 | 27 |
| 421号ビット | V | 3面 | 不定形 | 33 | 20 | 15 |
| 422号ビット | V | 3面 | 円形 | 37 | 36 | 12 |
| 423号ビット | V | 3面 | 円形 | 36 | 30 | 13 |
| 424号ビット | V | 3面 | 不定形 | 44 | 31 | 14 |
| 425号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 44 | 39 | 15 |
| 426号ビット | V | 3面 | 不定形 | 44 | 32 | 50 |
| 427号ビット | V | 3面 | 不定形 | 43 | 20 | 24 |
| 428号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 52 | 35 | 36 |
| 429号ビット | V | 3面 | 円形 | 35 | 30 | 16 |
| 430号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 32 | 24 | 14 |
| 431号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 36 | 33 | 25 |
| 432号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 28 | 23 | 15 |
| 433号ビット | V | 3面 | 円形 | 35 | 32 | 26 |
| 434号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 66 | 34 | 28 |
| 435号ビット | V | 3面 | 円形 | 47 | 42 | 29 |
| 436号ビット | V | 3面 | 不定形 | 30 | 28 | 13 |
| 437号ビット | V | 3面 | 円形 | 22 | 19 | 10 |
| 438号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 72 | 50 | 12 |
| 439号ビット | V | 3面 | 不定形 | 36 | 30 | 14 |
| 440号ビット | V | 3面 | 楕円形 | (44) | 36 | 14 |
| 441号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 33 | 28 | 14 |
| 442号ビット | V | 3面 | 不定形 | 31 | 24 | 14 |
| 443号ビット | V | 3面 | 円形 | 28 | 26 | 13 |
| 444号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 33 | 24 | 19 |
| 445号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 28 | 20 | 14 |
| 446号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 42 | 33 | 20 |
| 447号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 34 | 28 | 18 |
| 448号ビット | V | 3面 | 円形 | 48 | 44 | 20 |
| 449号ビット | V | 3面 | 不定形 | 43 | 34 | 12 |
| 450号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 28 | 26 | 26 |
| 451号ビット | V | 3面 | 不定形 | 38 | 34 | 28 |
| 452号ビット | V | 3面 | 楕円形 | 24 | 22 | 12 |
| 453号ビット | | | | | | |

第4章 中欄口遺跡

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (m) | 最小径 (m) | 深さ (cm) |
|---------|-----|----|------|---------|---------|---------|
| 473号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 32 | 26 | 14 |
| 474号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 44 | 32 | 13 |
| 475号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 33 | 24 | 10 |
| 476号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 36 | 32 | 9 |
| 477号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 27 | 24 | 13 |
| 478号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 26 | 24 | 18 |
| 479号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 34 | 27 | 13 |
| 480号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 32 | 22 | 15 |
| 481号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 23 | 20 | 14 |
| 482号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 31 | 28 | 28 |
| 483号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 27 | 22 | 18 |
| 484号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 30 | 26 | 15 |
| 485号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 62 | 43 | 22 |
| 486号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 28 | 24 | 21 |
| 487号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 26 | 26 | 16 |
| 488号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 58 | 47 | 18 |
| 489号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 36 | 30 | 18 |
| 490号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 24 | 20 | 16 |
| 491号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 23 | 19 | 16 |
| 492号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 66 | 41 | 39 |
| 493号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 45 | 40 | 17 |
| 494号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 63 | 35 | 26 |
| 495号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 24 | 22 | 14 |
| 496号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 20 | 18 | 14 |
| 497号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 46 | 30 | 43 |
| 498号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 40 | 39 | 16 |
| 499号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 26 | 22 | 9 |
| 500号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 23 | 23 | 14 |
| 501号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 19 | 16 | 9 |
| 502号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 39 | 32 | 18 |
| 503号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 34 | 30 | 15 |
| 504号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 48 | 42 | 17 |
| 505号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 30 | 34 | 18 |
| 506号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 70 | 45 | 20 |
| 507号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 32 | 30 |
| 510号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 43 | 45 | 25 |
| 512号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 45 | 30 |
| 513号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 55 | 45 | 17 |
| 515号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 25 | 32 |
| 516号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 80 | 55 | 35 |
| 517号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | (60) | 15 |
| 518号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 40 | 10 |
| 521号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 42 | 40 | 15 |
| 523号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 524号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 10 |
| 526号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 25 |
| 528号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 25 | 25 |
| 529号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 45 | 40 | 20 |
| 529号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 50 | 22 |
| 531号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 35 | 15 |
| 533号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 12 |
| 534号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 35 | 12 |
| 535号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 75 | 55 | 30 |
| 536号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 10 |
| 537号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 12 |
| 540号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 15 |
| 541号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 50 | 50 | 20 |
| 542号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 70 | 60 | 16 |
| 548号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 55 | 40 | 15 |
| 549号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 75 | 60 | 20 |
| 551号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 75 | 52 | 25 |
| 552号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 50 | 22 |
| 553号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 60 | 30 |
| 555号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 90 | 55 | 30 |
| 556号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 35 | 20 |
| 557号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 25 | 15 |
| 558号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 15 |
| 559号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 57 | 40 | 20 |
| 561号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 53 | 37 | 25 |
| 563号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 25 | 15 |
| 564号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 60 | 35 | 15 |
| 565号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 10 |
| 566号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 20 | 15 |
| 567号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 10 |
| 568号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | (55) | (50) | 20 |
| 569号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 40 | 10 |
| 570号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 100 | 80 | 20 |
| 571号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 10 |
| 572号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 32 | 25 | 10 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (m) | 最小径 (m) | 深さ (cm) |
|---------|-----|----|------|---------|---------|---------|
| 573号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 16 |
| 574号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 52 | 35 | 20 |
| 576号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 25 |
| 577号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 32 | 25 |
| 579号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 40 | 13 |
| 580号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 40 | 15 |
| 581号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 582号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 40 | 15 |
| 583号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 15 |
| 584号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 25 | 25 |
| 587号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 12 |
| 588号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 35 | 15 |
| 593号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 25 | 10 |
| 594号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 52 | 40 | 25 |
| 595号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 62 | 45 | 20 |
| 596号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 35 | 15 |
| 597号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 32 | 12 |
| 598号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 30 |
| 599号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 15 |
| 600号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 12 |
| 601号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 602号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 55 | 45 | 20 |
| 604号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 605号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 70 | 65 | 15 |
| 606号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 45 | 25 |
| 607号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 20 |
| 608号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 25 |
| 609号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 45 | 20 |
| 610号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 45 | 25 |
| 611号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 50 | 30 |
| 612号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 35 | 20 |
| 613号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 30 | 15 |
| 614号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 615号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 15 |
| 616号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 40 | 25 |
| 617号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 20 |
| 618号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 45 | 45 | 18 |
| 619号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 20 |
| 620号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 20 |
| 621号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 45 | 45 | 20 |
| 622号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 10 |
| 623号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 20 |
| 624号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 40 | 15 |
| 625号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 10 |
| 626号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 20 |
| 627号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 55 | 40 | 30 |
| 628号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 35 | 20 |
| 629号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | (30) | 20 |
| 630号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 15 |
| 631号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 60 | 45 | 10 |
| 632号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 15 |
| 633号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 10 |
| 634号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 50 | 40 | 10 |
| 635号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 45 | 30 |
| 636号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 40 | 25 |
| 646号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 38 | 15 |
| 647号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 55 | 45 | 30 |
| 648号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 45 | 20 |
| 649号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 40 | 20 |
| 657号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | (25) | 10 |
| 668号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 40 | 25 |
| 669号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 10 |
| 675号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 42 | 42 | 15 |
| 680号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 30 | 15 |
| 682号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 32 | 33 |
| 701号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 45 | 40 | 15 |
| 702号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 15 |
| 704号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 40 | 15 |
| 705号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 40 | 30 | 30 |
| 707号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 55 | 55 | 17 |
| 708号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 20 |
| 709号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 35 | 18 |
| 710号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 20 | 20 | 20 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大径 (m) | 最小径 (m) | 深さ (cm) |
|---------|-----|----|------|---------|---------|---------|
| 711号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 25 | 15 |
| 712号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 25 | 15 |
| 713号ビッド | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 25 | 15 |
| 714号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 52 | 44 | 12 |
| 715号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 35 | 30 | 22 |
| 736号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 36 | 22 | 16 |
| 737号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 54 | 33 | 52 |
| 738号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 54 | 43 | 18 |
| 739号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 30 | 34 | 24 |
| 740号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 30 | 28 | 32 |
| 741号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 30 | 20 | 22 |
| 742号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 34 | 34 | 25 |
| 743号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 30 | 30 | 22 |
| 744号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 60 | 54 | 28 |
| 745号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 38 | 30 | 31 |
| 746号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 30 | 40 | 28 |
| 747号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 56 | 47 | 15 |
| 748号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 36 | 32 | 14 |
| 749号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 38 | 32 | 31 |
| 750号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 60 | 48 | 35 |
| 751号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 43 | 34 | 23 |
| 752号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 41 | 41 | 10 |
| 753号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 54 | 39 | 15 |
| 754号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 33 | 31 | 12 |
| 755号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 35 | 29 | 20 |
| 756号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 33 | 26 | 10 |
| 757号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 31 | 26 | 21 |
| 758号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 26 | 21 | 20 |
| 759号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 37 | 36 | 24 |
| 760号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 35 | 29 | 34 |
| 761号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 37 | 34 | 20 |
| 762号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 37 | 28 | 28 |
| 763号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 31 | 25 | 22 |
| 764号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 36 | 40 | 40 |
| 765号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 51 | 33 | 46 |
| 766号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 48 | 26 | 32 |
| 767号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 32 | 30 | 25 |
| 768号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 34 | 26 | 22 |
| 769号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 47 | 44 | 38 |
| 770号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 29 | 28 | 20 |
| 771号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 74 | 52 | 21 |
| 772号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 42 | 35 | 22 |
| 773号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 57 | 44 | 23 |
| 774号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 43 | 33 | 24 |
| 775号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 41 | 32 | 18 |
| 776号ビッド | 10 | 3面 | 不定形 | 64 | 28 | 36 |
| 777号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 67 | 45 | 30 |
| 778号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 62 | 53 | 17 |
| 779号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 44 | 36 | 16 |
| 780号ビッド | 10 | 3面 | 円形 | 21 | 20 | 11 |
| 781号ビッド | 10 | 3面 | 楕円形 | 45</ | | |

ビット一覧表

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大(㎡) | 最小(㎡) | 深(%) |
|----------|-----|----|------|-------|-------|------|
| 819号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 32 | 27 | 23 |
| 820号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 34 | 16 |
| 821号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 37 | 29 | 8 |
| 824号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 28 | 10 |
| 825号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 37 | 32 | 11 |
| 828号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 34 | 32 | 23 |
| 832号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 55 | 26 |
| 833号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 57 | 51 | 14 |
| 834号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 46 | 31 | 12 |
| 835号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 47 | 37 | 14 |
| 836号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 39 | 38 | 24 |
| 838号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 38 | 32 | 15 |
| 843号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 42 | 34 | 26 |
| 846号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 22 | 18 | 11 |
| 855号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 58 | 50 | 30 |
| 856号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 40 | 30 | 8 |
| 857号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 51 | 33 | 16 |
| 858号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 26 | 21 | 11 |
| 859号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 28 | 22 | 11 |
| 911号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 41 | 31 | 20 |
| 923号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 32 | 30 | 23 |
| 924号ビット | 10 | 2面 | 長方形 | 40 | 30 | 12 |
| 925号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 48 | 45 | 13 |
| 931号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 28 | 32 | 18 |
| 932号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 24 | 15 |
| 935号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 32 | 15 |
| 939号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 42 | 24 | 24 |
| 940号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 32 | 12 |
| 941号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 32 | 24 |
| 946号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 108 | 62 | 21 |
| 947号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 47 | 40 | 13 |
| 948号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 37 | 34 | 21 |
| 949号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 36 | 35 | 14 |
| 951号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 33 | 32 | 10 |
| 954号ビット | 10 | 2面 | 長方形 | 47 | 34 | 17 |
| 955号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 43 | 33 | 27 |
| 956号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 32 | 30 | 14 |
| 957号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 43 | 35 | 15 |
| 965号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 33 | 32 | 11 |
| 966号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 53 | 47 | 19 |
| 967号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 36 | 35 | 29 |
| 968号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 63 | 54 | 16 |
| 969号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 34 | 24 |
| 970号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 40 | 33 | 34 |
| 976号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 40 | 35 | 15 |
| 979号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 34 | 33 | 10 |
| 981号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 30 | 30 |
| 982号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 52 | 43 | 20 |
| 983号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 45 | 35 | 25 |
| 985号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 50 | 45 | 26 |
| 987号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 67 | 44 | 22 |
| 988号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 20 | 20 | 10 |
| 989号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 34 | 30 | 13 |
| 991号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 45 | 43 | 13 |
| 992号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 63 | 48 | 28 |
| 1000号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 84 | 60 | 22 |
| 1001号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 32 | 22 |
| 1006号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 53 | 42 | 20 |
| 1007号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 38 | 30 | 31 |
| 1008号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 47 | 37 | 23 |
| 1009号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 36 | 18 |
| 1012号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 22 | 20 | 13 |
| 1013号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 36 | 28 | 23 |
| 1022号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 58 | 34 | 27 |
| 1023号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 36 | 26 |
| 1025号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 38 | 37 | 20 |
| 1026号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 33 | 24 | 24 |
| 1028号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 36 | 23 | 15 |
| 1029号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 49 | 38 | 21 |
| 1030号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 23 | 14 |
| 1031号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 37 | 32 | 19 |
| 1032号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 49 | 47 | 24 |
| 1033号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 57 | 48 | 12 |
| 1034号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 29 | 34 | 17 |
| 1038号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 56 | 32 | 23 |
| 1039号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 41 | 19 |
| 1040号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 33 | 28 | 19 |
| 1043号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 24 | 20 | 10 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大(㎡) | 最小(㎡) | 深(%) |
|----------|-----|----|------|-------|-------|------|
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 44 | 24 | 24 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 35 | 33 | 11 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 38 | 32 | 20 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 23 | 27 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 28 | 18 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 23 | 43 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 42 | 33 | 30 |
| 1049号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 38 | 35 | 21 |
| 1050号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 44 | 32 | 20 |
| 1054号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 28 | 42 |
| 1055号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 48 | 48 | 38 |
| 1059号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 46 | 37 | 21 |
| 1060号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 49 | 43 | 19 |
| 1061号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 26 | 20 | 20 |
| 1062号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 66 | 45 | 19 |
| 1064号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 39 | 36 | 25 |
| 1065号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 22 | 31 |
| 1065号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 36 | 23 |
| 1067号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 48 | 35 | 50 |
| 1068号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 41 | 38 | 27 |
| 1069号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 42 | 31 | 22 |
| 1073号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 32 | 25 | 28 |
| 1081号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 44 | 42 | 14 |
| 1082号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 34 | 30 | 16 |
| 1084号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 57 | 49 | 12 |
| 1087号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 42 | 37 | 12 |
| 1088号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 29 | 18 |
| 1089号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 41 | 28 | 47 |
| 1091号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 29 | 28 | 26 |
| 1094号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 27 |
| 1095号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 60 | 54 | 14 |
| 1096号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 36 | 32 | 17 |
| 1097号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 48 | 35 | 23 |
| 1098号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 38 | 32 | 17 |
| 1099号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 62 | 33 | 33 |
| 1100号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 55 | 34 | 22 |
| 1101号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 42 | 34 | 21 |
| 1102号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 31 | 26 | 18 |
| 1103号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 37 | 16 |
| 1105号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 36 | 14 |
| 1106号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 54 | 49 | 16 |
| 1108号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 44 | 38 | 17 |
| 1114号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 34 | 32 | 24 |
| 1119号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 47 | 43 | 14 |
| 1120号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 20 |
| 1123号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 46 | 27 | 25 |
| 1124号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 32 | 24 | 32 |
| 1127号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 22 | 30 |
| 1128号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 25 | 22 |
| 1129号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 38 | 25 | 13 |
| 1130号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 25 | 15 |
| 1131号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 35 | 20 |
| 1132号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 28 | 18 | 18 |
| 1133号ビット | 10 | 2面 | 長方形 | 70 | 50 | 40 |
| 1134号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 17 | 15 | 32 |
| 1135号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 70 | 50 | 39 |
| 1136号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 42 | 35 | 22 |
| 1137号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 72 | 56 | 27 |
| 1138号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 46 | 40 | 19 |
| 1144号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 75 | 60 | 35 |
| 1145号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 40 | 18 |
| 1146号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 22 | 12 |
| 1147号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 22 | 20 | 20 |
| 1148号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 15 | 15 |
| 1149号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 30 | 30 |
| 1150号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 28 | 27 | 14 |
| 1172号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 60 | 47 | 15 |
| 1174号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 47 | 45 | 11 |
| 1175号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 37 | 27 | 13 |
| 1176号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 21 | 20 | 10 |
| 1183号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 28 | 22 | 28 |
| 1186号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 42 | 42 | 35 |
| 1187号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 38 | 38 | 16 |
| 1188号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 45 | 40 | 16 |
| 1189号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 26 | 43 |
| 1190号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 49 | 39 | 8 |
| 1197号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 75 | 48 | 14 |
| 1198号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 47 | 27 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平面形状 | 最大(㎡) | 最小(㎡) | 深(%) |
|----------|-----|----|------|-------|-------|------|
| 1199号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 67 | 57 | 30 |
| 1207号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 45 | 43 | 25 |
| 1213号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 37 | 46 |
| 1214号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 35 | 28 | 23 |
| 1215号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 20 | 20 |
| 1216号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 86 | 41 | 58 |
| 1218号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 38 | 43 | 23 |
| 1219号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 40 | 33 | 23 |
| 1220号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 34 | 27 | 71 |
| 1221号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 30 | 34 | 28 |
| 1223号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 49 | 31 |
| 1225号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 43 | 42 | 15 |
| 1226号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 45 | 40 | 25 |
| 1233号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 30 | 32 |
| 1235号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 33 | 15 |
| 1236号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 27 | 12 |
| 1238号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 36 | 32 | 18 |
| 1239号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 84 | 45 | 17 |
| 1240号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 62 | 42 | 20 |
| 1241号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 31 | 48 |
| 1242号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 33 | 26 | 32 |
| 1243号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 33 | 20 |
| 1244号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 58 | 50 | 14 |
| 1245号ビット | 10 | 2面 | 方形 | 58 | 43 | 25 |
| 1246号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 38 | 27 |
| 1247号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 50 | 38 | 24 |
| 1248号ビット | 10 | 2面 | 円形 | 42 | 40 | 15 |
| 1250号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 52 | 37 | 20 |
| 1251号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 30 | 30 | 15 |
| 1254号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 52 | 28 | 18 |
| 1260号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 51 | 41 | 28 |
| 1262号ビット | 10 | 2面 | 不定形 | 44 | 46 | 40 |
| 1263号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 33 | 30 | 25 |
| 1264号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 49 | 45 | 25 |
| 1270号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 37 | 30 | 24 |
| 1271号ビット | 10 | 2面 | 楕円形 | 64 | 47 | 18 |
| 1272号ビット | 7 | 2面 | 長方形 | 55 | 34 | 25 |
| 1273号ビット | 7 | 2面 | 円形 | 37 | 34 | 16 |
| 1274号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 26 | 25 | 12 |
| 1275号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 48 | 46 | 22 |
| 1276号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 37 | 25 | 23 |
| 1277号ビット | 7 | 2面 | 長方形 | 32 | 22 | 15 |
| 1278号ビット | 7 | 2面 | 円形 | 25 | 25 | 17 |
| 1279号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 42 | 36 | 30 |
| 1280号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 28 | 25 | 30 |
| 1281号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 30 | 29 | 22 |
| 1282号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 40 | 38 | 16 |
| 1283号ビット | 7 | 2面 | 不定形 | 55 | 33 | 16 |
| 1284号ビット | 7 | 2面 | 楕円形 | 50 | 38</ | |

第4章 中欄口遺跡

| 番号 | 調査区 | 面 | 平 面 表 示 数 | 最大径 (cm) | 最少径 (cm) | 深 度 (cm) |
|----------|-----|----|-----------------------|-------------|-------------|----------------|
| 1314号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 24 | 24 | 16 |
| 1316号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 42 | 32 | 9 |
| 1317号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 37 | 30 | 26 |
| 1318号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 23 | 6 |
| 1319号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 37 | 36 | 21 |
| 1320号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 31 | 32 | 25 |
| 1321号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 30 | 36 | 17 |
| 1322号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 30 | 28 | 11 |
| 1323号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 31 | 29 | 15 |
| 1324号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 43 | 32 | 30 |
| 1325号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 30 | 24 | 20 |
| 1326号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 36 | 29 | 25 |
| 1327号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 40 | 28 | 22 |
| 1328号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 28 | 9 |
| 1329号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 29 | 23 | 23 |
| 1330号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 24 | 17 | 12 |
| 1334号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 23 |
| 1335号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 22 | 18 |
| 1336号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 45 | 38 | 23 |
| 1339号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 34 | 33 | 26 |
| 1340号ビッド | 7 | 2面 | 方 | 40 | 37 | 24 |
| 1341号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 48 | 44 | 19 |
| 1342号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 47 | 25 | 24 |
| 1343号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 38 | 19 |
| 1344号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 38 | 23 | 23 |
| 1345号ビッド | 7 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 25 | 9 |
| 1346号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 14 | 13 | 10 |
| 1349号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 13 |
| 1350号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 38 | 37 | 9 |
| 1353号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 32 | 6 |
| 1354号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 26 | 17 |
| 1360号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 43 | 41 | 47 |
| 1361号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 28 | 27 |
| 1362号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 50 | 30 | 20 |
| 1370号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 34 | 19 |
| 1371号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 23 | 20 | 25 |
| 1372号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 50 | 46 | 17 |
| 1373号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 24 | 28 |
| 1374号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 27 | 19 | 32 |
| 1375号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 44 | 40 | 19 |
| 1376号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 44 | 39 | 19 |
| 1377号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 23 | 23 |
| 1378号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 43 | 37 | 19 |
| 1379号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 26 |
| 1380号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 36 | 27 | 17 |
| 1381号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 28 | 25 | 15 |
| 1382号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 27 | 26 | 14 |
| 1383号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 31 | 28 | 34 |
| 1389号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 28 | 25 | 29 |
| 1391号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 34 | 32 | 18 |
| 1392号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 23 | 21 | 31 |
| 1393号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 21 | 21 | 15 |
| 1394号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 42 | 38 | 12 |
| 1406号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 48 | 32 | 14 |
| 1416号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 20 | 12 |
| 1419号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 37 | 14 |
| 1420号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 38 | 11 | 17 |
| 1421号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 23 | 24 | 15 |
| 1422号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 36 | 21 | 7 |
| 1423号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 41 | 39 | 19 |
| 1424号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 27 | 26 | 12 |
| 1425号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 21 | 21 | 14 |
| 1426号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 28 | 23 | 6 |
| 1428号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 23 | 14 |
| 1429号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 24 | 24 | 14 |
| 1430号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 30 | 11 |
| 1431号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 36 | 12 |
| 1434号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 27 | 24 | 10 |
| 1451号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 43 | 42 | 30 |
| 1452号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 50 | 42 | 27 |
| 1453号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 63 | 56 | 18 |
| 1454号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 28 | 17 |
| 1455号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 26 | 30 |
| 1456号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 35 | 16 |
| 1457号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 32 | 30 | 16 |
| 1458号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 49 | 31 | 19 |
| 1459号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 29 | 17 |
| 1460号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 58 | 58 | 23 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平 面 表 示 数 | 最大径 (cm) | 最少径 (cm) | 深 度 (cm) |
|----------|-----|----|-----------------------|-------------|-------------|----------------|
| 1461号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 60 | 58 | 19 |
| 1462号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 42 | (21) | 38 |
| 1463号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 24 | 27 | 28 |
| 1464号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 33 | 23 |
| 1465号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 31 | (28) | 28 |
| 1466号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 53 | 50 | 12 |
| 1474号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 27 | 18 |
| 1475号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 21 | 20 | 20 |
| 1476号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 52 | 38 | 14 |
| 1477号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 20 | 18 | 7 |
| 1478号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 27 | 23 | 11 |
| 1479号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 20 | 19 | 13 |
| 1480号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 58 | 46 | 21 |
| 1481号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 20 |
| 1483号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 28 | 25 | 14 |
| 1484号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 20 | 23 |
| 1485号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 33 | 27 |
| 1486号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 23 | 23 |
| 1487号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 19 | 17 | 17 |
| 1489号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 44 | 40 | 20 |
| 1489号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 38 | 23 | 20 |
| 1491号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 34 | 32 | 25 |
| 1498号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 19 | 24 |
| 1499号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 27 | 24 | 24 |
| 1500号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 15 |
| 1501号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 35 | 32 | 27 |
| 1502号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 23 | 20 | 38 |
| 1503号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 58 | 32 | 16 |
| 1504号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 55 | 47 | 23 |
| 1505号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 49 | 19 |
| 1507号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 23 | 10 |
| 1508号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 23 | 18 | 38 |
| 1509号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 60 | 49 | 23 |
| 1510号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 38 | 35 | 38 |
| 1511号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 42 | 37 | 18 |
| 1512号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 38 | 27 | 23 |
| 1513号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 40 | 27 | 16 |
| 1514号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 25 | 35 | 28 |
| 1515号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 25 | 24 | 13 |
| 1516号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 20 | 9 |
| 1517号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 20 | 27 | 34 |
| 1518号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 29 | 20 | 11 |
| 1519号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 33 | 35 | 13 |
| 1520号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 41 | 32 | 27 |
| 1521号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 24 | 34 | 16 |
| 1522号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 24 | 20 | 23 |
| 1524号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 42 | 40 | 31 |
| 1525号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 62 | 49 | 29 |
| 1526号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | (38) | 38 | 19 |
| 1527号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 43 | 35 | 22 |
| 1528号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 40 | 36 | 39 |
| 1529号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 27 | 27 | 30 |
| 1530号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 30 | 30 | 25 |
| 1532号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 37 | 37 | 29 |
| 1533号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 40 | 35 | 20 |
| 1534号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 39 | 25 | 21 |
| 1535号ビッド | 11 | 2面 | 円形 | 40 | 35 | 18 |
| 1536号ビッド | 11 | 2面 | 櫛形門 | 36 | 33 | 24 |
| 1537号ビッド | 11 | 2面 | 円形 | 28 | 27 | 18 |
| 1539号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 35 | 28 | 23 |
| 1542号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 24 | 24 | 13 |
| 1546号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 31 | 27 | 34 |
| 1547号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 31 | 27 | 34 |
| 1548号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 15 |
| 1549号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 15 |
| 1550号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 38 | 38 | 40 |
| 1551号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 48 | 40 | 20 |
| 1558号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 36 | 35 | 24 |
| 1559号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 45 | 32 | 23 |
| 1560号ビッド | 10 | 2面 | 円形 | 20 | 18 | 22 |
| 1561号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 40 | 40 | 34 |
| 1562号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 49 | 47 | 37 |
| 1563号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 52 | 30 | 42 |
| 1564号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 48 | 35 | 14 |
| 1565号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 43 | 29 | 10 |
| 1571号ビッド | 10 | 2面 | 方 | 60 | 60 | 16 |
| 1572号ビッド | 10 | 2面 | 不定形 | 57 | 53 | 18 |
| 1577号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 30 | 26 | 14 |
| 1588号ビッド | 10 | 2面 | 櫛形門 | 27 | 27 | 13 |

| 番号 | 調査区 | 面 | 平 面 表 示 数 | 最大径 (cm) | 最少径 (cm) | 深 度 (cm) |
|----------|-----|----|-----------------------|-------------|-------------|----------------|
| 1579号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 22 | 20 | 22 |
| 1580号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 23 | 22 | 14 |
| 1581号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 30 | 23 | 16 |
| 1582号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 27 | 20 | 19 |
| 1583号ビッド | 7 | 2面 | 円形 | 47 | 48 | 13 |
| 1623号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 40 | 24 | 11 |
| 1634号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 45 | 28 | 7 |
| 1635号ビッド | 14 | 2面 | 方 | 32 | 25 | 14 |
| 1636号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 30 | 26 | 16 |
| 1637号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 23 | 22 | 16 |
| 1638号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 29 | 42 |
| 1639号ビッド | 14 | 2面 | 方 | 66 | 58 | 35 |
| 1640号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 30 | 28 | 11 |
| 1641号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 27 | 33 |
| 1644号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 35 | 32 | 17 |
| 1646号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 31 | 18 |
| 1650号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 48 | 40 | 23 |
| 1651号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 46 | 42 | 30 |
| 1652号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 44 | 41 | 13 |
| 1653号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 61 | 48 | 16 |
| 1656号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 45 | 32 | 25 |
| 1657号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 40 | 30 | 15 |
| 1658号ビッド | 14 | 2面 | 方 | 60 | 50 | 21 |
| 1683号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 41 | 30 | 12 |
| 1684号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 75 | 49 | 25 |
| 1687号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 76 | 72 | 33 |
| 1690号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 52 | 46 | 22 |
| 1695号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 27 | 27 |
| 1699号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 32 | 28 | 17 |
| 1702号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 40 | 27 | 14 |
| 1703号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 27 | 27 | 10 |
| 1704号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 51 | 50 | 30 |
| 1705号ビッド | 14 | 2面 | 方 | 60 | 60 | 23 |
| 1707号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 49 | 40 | 18 |
| 1708号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 47 | 38 | 10 |
| 1709号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 110 | 84 | 48 |
| 1710号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 38 | 39 | 38 |
| 1711号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 37 | 33 | 23 |
| 1716号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 28 | 25 | 18 |
| 1717号ビッド | 14 | 2面 | 不定形 | 48 | 27 | 16 |
| 1718号ビッド | 14 | 2面 | 円形 | 23 | 20 | 14 |
| 1719号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 42 | 35 | 32 |
| 1720号ビッド | 14 | 2面 | 櫛形門 | 27 | 24 | 15 |
| | | | | | | |

5 墓坑

1号墓坑(旧:Ⅶ区2面1号墓坑)(第185図、PL.67)

位置:28-52-O-2+2付近

規模・形状:1.13m×0.70mを測る楕円形を呈し、確認面からの残存深度は20cm程を測る。

埋没土:小角礫を含む黒色砂質土。

その他:北に頭部を置き、西側に背を向けた横位の埋葬と考えられる。鑑定の結果、骨の遺存状態が悪く、成人骨であるが性別・年齢等は明らかではない。

副葬品としての遺物の出土は見られない。

2号墓坑(旧:10区2面2号墓坑)(第185図、PL.68)

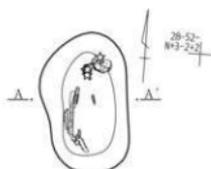
位置:27-50-W+1-18+1付近

規模・形状:0.85m×0.70mを測る歪な円形を呈し、確認面からの残存深度は18cm程を測る。

埋没土:調査時の記録がなく不明。

その他:馬の埋葬墓で、西側に頭部を置き、北側を背にした横位で埋葬されている。後ろ足が前方を向いていることから、前後脚を縛った状態で運ばれたものと推察される。骨から見て体高・体長が小型の馬であり、埋葬の時期については不明であるが、骨の遺存状態から、中世～近世と推察される。

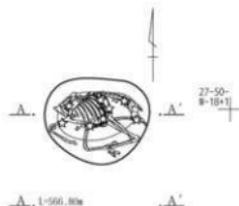
1号墓坑



1号墓坑

1 黒色土(10YR2/1) 細り、粘性なく軟らかい。2cm大の歪角礫を若干含む人為的埋没土。

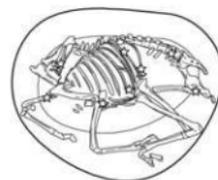
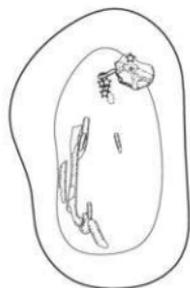
2号墓坑



1:566.90m



0 1:40 1m



骨は☆ 0 1:20 50cm

第185図 1号・2号墓坑 平面断面図

3号墓坑(旧:14区2面318号土坑)(第186図,PL.69)

位置:28-41-V-15+2付近

規模・形状:0.90m×1.50mを測る楕円形状を呈し、確認面からの残存深度は34cm程を測る。土坑壁際に自然礫を並べ巡らし、上面も同礫にて覆う。

埋没土:白色軽石を含む黒褐色砂質土。

その他:南西コーナー部に骨片が残るのみ。

鑑定の結果は、骨の遺存状態が悪いため、成人骨の可能性はあるが、性別等については不明である。

4号墓坑(旧:14区2面341号土坑)(第186図,PL.69)

位置:28-41-Y+1-6+1付近

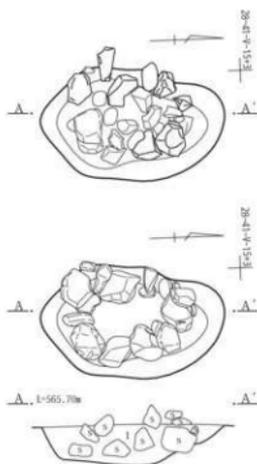
規模・形状:0.85m×1.75mを測る楕円形状を呈し、確認面からの残存深度は26cm程を測る。

埋没土:調査時の記録がなく不明。

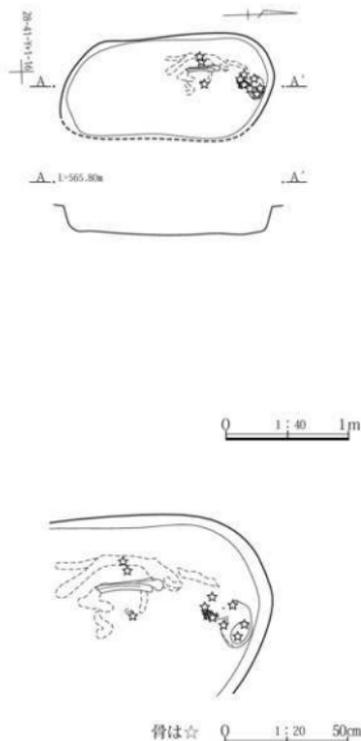
その他:北半部だけに骨の出土が認められ、北に頭部を置き、西側に背を向けた横位の埋葬と考えられる。

鑑定の結果、骨の遺存状態が悪いため、詳しい年齢等は不明であるが、成人の女性骨である可能性が高いとされた。

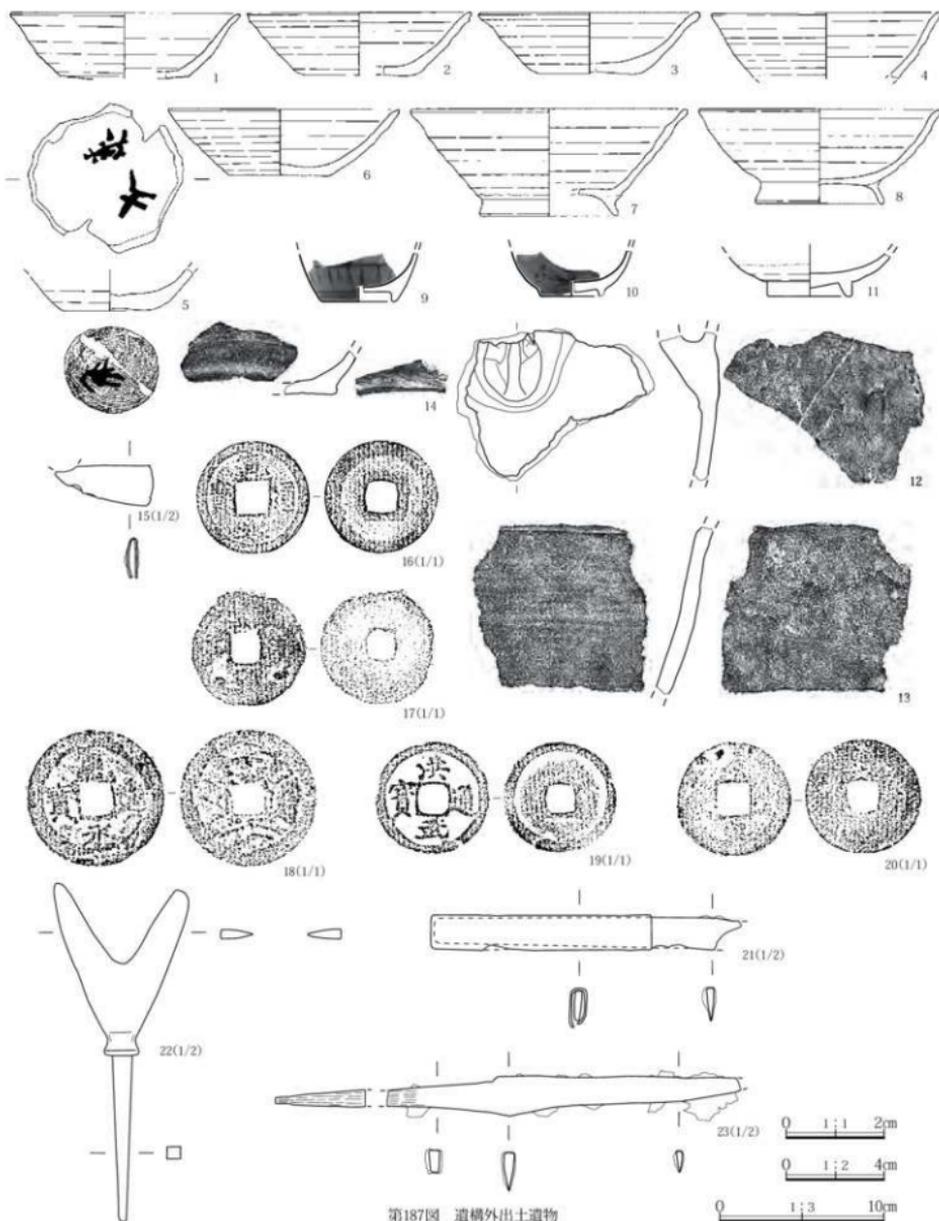
3号墓坑



4号墓坑



第186図 3号・4号墓坑 平面図



第187図 遺構外出土遺物

第4章 中興II遺跡

第12表 1号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|-------------|-------------------|--------|--------------|--------------------|-----------------------------|--|
| 第908号 PL-84 | 1 | 黒色土器 土師器 | +10.3 1/2 | 口 底 | 13.8 5.6 | 4.9 | 細砂粒・酸化塩/に ぶい黄橙 | 内面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちへら削り。内面はヘラミガキか、器面摩滅のため単位不鮮明。 |
| 第908号 PL-84 | 2 | 土師器 羽釜 | +2.6 口縁部-胴部1/2 | 口 底 | 16.6 20.5 | | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/酸化塩/にぶい 黄橙 | ロクロ整形。罫は貼付。胴部は下位から罫へ向けてのへら削り。内面胴部はヘラナデ。 |

第13表 2号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|-----------------|--------|-------------|--------------------|---------------------------|------------------------------|
| 第938号 PL-84 | 1 | 須恵器 杯 | 埋上中 1/2 | 口 底 | 13.1 6.3 | 3.5 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/にぶい黄 橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 |
| 第938号 PL-84 | 2 | 須恵器 杯 | +2.0 1/2 | 口 底 | 12.4 5.2 | 3.5 | 細砂粒・粗砂粒/ 礫/酸化塩/明褐 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 |
| 第938号 PL-84 | 3 | 須恵器 杯 | -14.2 口縁部-部欠 | 口 底 | 14.3 6.4 | 4.9 | 細砂粒・粗砂粒/ 礫/還元塩/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 |
| 第938号 PL-84 | 4 | 須恵器 杯 | +1.5 1/3 | 口 底 | 14.3 7.0 | 4.9 | 細砂粒・粗砂粒/ 礫/還元塩/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 |

第14表 3号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|-------------|-----------------------|--------|--------------|----------------------|---------------------------|---|
| 第968号 PL-84 | 1 | 須恵器 杯 | +38.7 1/3 | 口 底 | 13.9 7.0 | 3.8 | 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 |
| 第968号 PL-84 | 2 | 須恵器 杯 | 床直 1/2 | 口 底 | 14.5 6.2 | 4.2 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 |
| 第968号 PL-84 | 3 | 黒色土器 土師器 | 床直 1/3 | 口 底 | 12.4 6.6 | 4.1 | 細砂粒/酸化塩/に ぶい橙 | 内外面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちへら削り。内面は底部から口縁部に斜放射状ヘラミガキ。 |
| 第968号 PL-84 | 4 | 須恵器 杯 | +31.3 1/3 | 口 底 | 15.0 6.6 | 5.2 | 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩・焼/明灰 黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 |
| 第968号 PL-84 | 5 | 土師器 罫 | -4.6 口縁部-胴部下 位片 | 口 | 12.8 | | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/浅黄 | ロクロ整形、回転は右回りか。施釉方法は刷毛塗り。胴部にカキ目。 |
| 第968号 PL-84 | 6 | 鉄製品 刀子 | +4.0 基部片 | 長 幅 | (6.7) 0.8 | 厚 重 0.4 5.4 | | 一部有機物(木質)が付着する。跡がひどく空洞化している。刀子の基部。 |

第15表 4号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|-----|------------|-----------------------|--------|--------------|----------------------|----------------------------|---|
| 第988号 PL-84 | 1 | 土師器 小型罫 | +9.6 口縁部-胴部上 位片 | 口 | 15.0 | | 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰オリー ブ | ロクロ整形。 |
| 第988号 PL-84 | 2 | 土師器 罫 | 床直 1/2 | 口 底 | 20.0 6.5 | 22.0 | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/にぶい黄 橙 | ロクロ整形。底部と胴部下位は手持ちへら削り。内面は底部から胴部に回転ヘラナデ。 |
| 第988号 PL-84 | 3 | 鉄製品 釘? | 埋上中 両端欠損 | 長 幅 | (2.8) 0.4 | 厚 重 0.4 1.3 | | 断面0.4×0.4cmの方形の内角。 |

第16表 5号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|--------|-------------|--------------------|----------------------|----------------------------------|
| 第1018号 PL-84 | 1 | 土師器 罫 | +5.4 部分欠穴損 | 口 底 | 20.5 3.5 | 27.5 | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/良好/浅黄橙 | ロクロ整形。胴部と底部はへら削り。内面は底部から胴部がへらナデ。 |

第17表 6号竪穴建物遺物観察表

| 棟 号 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|-------------|------------------------|--------|-------------|--------------------|---------------------------|---|
| 第1038号 PL-85 | 1 | 須恵器 杯 | +10.1 1/3 | 口 底 | 14.5 7.5 | 3.6 | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元塩/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 |
| 第1038号 PL-85 | 2 | 黒色土器 土師器 | +5.4 1/5 | 口 底 | 12.4 5.8 | 4.0 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/にぶい黄 橙 | 内外面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回りか。底部は手持ちへら削り。内面はヘラミガキ後底部から体部に斜放射状ヘラミガキ。口縁部は斜格子状ヘラミガキ。 |
| 第1038号 PL-85 | 3 | 土師器 罫 | +13.5 口縁部-胴部上 半片 | 口 | 20.5 | | 細砂粒/良好/にぶ い褐 | 成形時の歪み有り。口縁部から胴部は横ナデ、胴部はへら削り。内面胴部はヘラナデ。 |
| 第1038号 PL-85 | 4 | 須恵器 罫 | -2.2 底部-胴部下位 | 底 | 12.5 | | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元塩/灰 | ロクロ整形。底部と胴部下位はへら削り。内面は底部から胴部にかけて回転ヘラナデ。 |

第18表 7号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|----------|--------------|--------|-------------|---------------------------|------------------------------|----|
| 第1069E PL.85 | 1 | 須臾器 杯 | +6.0 底部片 | 底 | 6.2 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/にぶい黄 | | |
| 第1069E PL.85 | 2 | 須臾器 機 | 床直 1/2 | 口 底 | 12.9 7.0 | 4.2 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/灰黄 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1069E PL.85 | 3 | 須臾器 機 | 床直 1/2 | 口 底 | 12.5 5.7 | 3.7 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/灰黄 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1069E PL.85 | 4 | 須臾器 機 | -16.0 1/2 | 口 底 | 14.4 6.3 | 5.3 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |
| 第1069E PL.85 | 5 | 須臾器 機 | -2.1 1/4 | 口 底 | 15.5 7.0 | 5.0 細砂粒・酸化塩/に ぶい黄 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1069E PL.85 | 6 | 須臾器 機 | +15.2 1/4 | 口 底 | 14.5 6.8 | 5.1 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |

第19表 8号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|-----------|------------------|--------|-------------|---------------------------|---|-------------|
| 第1099E PL.85 | 1 | 須臾器 杯 | 不明 1/3 | 口 底 | 14.5 7.0 | 3.9 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/灰白 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1099E PL.85 | 2 | 須臾器 機 | 床直 口縁部-体部片 | 口 底 | 13.9 | 微砂粒/還元塩/褐 灰 | 口クロ整形、回転は右回り。 | |
| 第1099E PL.85 | 3 | 灰輪陶器 機 | +7.3 3/4 | 口 底 | 15.6 7.5 | 5.3 微砂粒/還元塩/灰 白 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は 貼付。施釉方法は漬け掛け。内面に黄が付着。 | 大原2号窯式 製 |
| 第1099E PL.85 | 4 | 灰輪陶器 機 | +2.3 製部-底部1/3 | 口 底 | 6.6 | 微砂粒/還元塩/黄 灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は 貼付。体部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け。 | 大原2号窯式 製 |
| 第1099E PL.85 | 5 | 灰輪陶器 皿 | +2.5 1/5 | 口 底 | 15.2 7.0 | 3.3 微砂粒/還元塩/灰 白 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は 貼付。体部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか 式。 | 光ヶ丘1号窯 式 |

第20表 9号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|-----------|------------------|--------|--------------|----------------------------------|---|--------------|
| 第1118E PL.85 | 1 | 須臾器 杯 | +15.0 底部-体部下位 | 底 | 6.8 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩・外殻/に ぶい黄 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | 内面底部に刻 書。 |
| 第1118E PL.85 | 2 | 須臾器 機 | 床直 1/2 | 口 底 | 7.4 7.0 | 3.4 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰黄 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1118E PL.85 | 3 | 須臾器 機 | +9.2 1/3 | 口 底 | 12.2 5.7 | 3.7 細砂粒/還元塩/灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1118E PL.85 | 4 | 須臾器 機 | -6.5 1/2 | 口 底 | 13.7 6.8 | 6.0 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/オリーブ 灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | 内面底部に墨 書。 |
| 第1118E | 5 | 須臾器 機 | +5.5 底部 | 底 | 7.6 | 細砂粒/還元塩/灰 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り後ヘラナデ、 高台は貼付。 | |
| 第1118E | 6 | 鉄製品 金具 | 埋上中 左側欠損 | 長 幅 | (5.1) 2.5 | 厚 重 0.2 12.6 | 右側に径0.3mmの穿孔があり、頭の突った断面0.3×0.3mm の釘で木片が留められている。金具の上下に輪0.8cmほど の菓具の様な部分がある。錆がひどく空洞化している。 | |

第21表 10号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|----------|-----------------|--------|-------------|----------------------------------|---|----------------|
| 第1149E PL.86 | 1 | 須臾器 杯 | 床直 口縁部-一部欠損 | 口 底 | 12.8 6.2 | 3.4 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰白 | 口クロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | 外面口縁部に 墨書。 |
| 第1149E PL.86 | 2 | 須臾器 機 | +1.9 口縁部-体部片 | 口 底 | 13.5 | 細砂粒/還元塩/灰 白 | 口クロ整形、回転は右回り。 | |
| 第1149E PL.86 | 3 | 須臾器 機 | -1.4 口縁部-小片 | 口 底 | 9.0 4.7 | 2.7 細砂粒・粗砂粒・ 還元塩/オリーブ 灰 | 口クロ整形。 内外面色色処理。口クロ整形、回転は右回り。底部は回転 系切り無調整。 | 内外面口縁部 に墨書。 |

第4章 中興Ⅱ遺跡

第22表 11号竪穴建物遺物観察表

| 採 取 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | | |
|-----------------|-----|------------|----------------|--------|---------------|--------------------|-----------------------|---------------------------|---|-------------|
| 第1160号 PL.86 | 1 | 須臾器 瓶 | +5.1 1/2 | 口 底 | 13.2 5.0 | 高 底 | 3.6 細砂粒/酸化塩/相 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | | |
| 第1160号 PL.86 | 2 | 須臾器 瓶 | 床直 口縁部-体部片 | 口 | 12.7 | | 細砂粒/酸化塩/浅 黄 | ロクロ整形、回転は右回りか。 | 外面体部に墨書。 | |
| 第1160号 PL.86 | 3 | 灰釉陶器 皿 | +5.5 1/2 | 口 底 | 17.8 8.2 | 高 底 | 3.5 3.1 | 微砂粒/還元塩/灰 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。 | 光ヶ丘1号窯式 |
| 第1160号 PL.86 | 4 | 灰釉陶器 皿 | +12.4 1/2 | 口 底 | 7.0 6.4 | 高 底 | 3.1 | 微砂粒/還元塩/灰 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。 | 大原2号窯式 期 |
| 第1160号 PL.86 | 5 | 灰釉陶器 皿 | +1.2 1/4 | 口 底 | 17.8 7.2 | 高 底 | 3.2 | 微砂粒/還元塩/灰 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。 | 光ヶ丘1号窯式 |
| 第1160号 PL.86 | 6 | 鉄製品 刀子 | 床直 両端欠損、70% | 長 幅 | (12.9) 1.8 | 厚 重 | 0.6 23.4 | | 両端部欠損の刀子。 | |
| 第1160号 PL.86 | 7 | 鉄製品 刀子 | 床直 両端欠損、30% | 長 幅 | (4.7) 1.9 | 厚 重 | 0.4 4.2 | | 両端部欠損の刀子。 | |

第23表 12号竪穴建物遺物観察表

| 採 取 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | | |
|-----------------|-----|------------|-----------------------|--------|-----------------|--------------------|-----------------|---------------------------|--|----------|
| 第1180号 PL.86 | 1 | 須臾器 瓶 | +33.5 1/5 | 口 底 | 13.8 6.8 | 高 底 | 3.7 5.8 | 細砂粒/還元塩/灰 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | |
| 第1190号 PL.86 | 2 | 須臾器 瓶 | +12.8 一部欠損 | 口 底 | 13.6 6.1 | 高 底 | 6.0 | 細砂粒/酸化塩/に ぶい黄橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | 内面体部に墨書。 |
| 第1180号 PL.86 | 3 | 須臾器 瓶 | +25.1 1/3 | 口 底 | 14.2 6.0 | 高 底 | 5.7 | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元塩/浅黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部切り難し技法不明、高台は貼付。 | |
| 第1180号 PL.86 | 4 | 須臾器 瓶 | -3.7 2/3 | 口 底 | 13.9 7.3 | 高 底 | 5.6 | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元塩/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |
| 第1190号 PL.86 | 5 | 須臾器 瓶 | +12.6 口縁部-口縁部片 | 口 底 | 14.2 6.4 | 高 底 | 6.4 | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/にぶい黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |
| 第1190号 PL.86 | 6 | 土師器 小型甕 | -0.8 口縁部-胴部中 位片 | 口 | 11.8 | | | 細砂粒/良好/明黄 相 | 口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部から頸部はヘラナデ。 | |
| 第1190号 PL.87 | 7 | 土師器 甕 | +13.3 口縁部-胴部/4 | 口 | 28.4 | | | 細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙 | 外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は口唇部の横ナデの他はヘラナデ。 | 外面に煤が付着。 |
| 第1190号 PL.87 | 8 | 土師器 羽釜 | +8.6 口縁部-胴部中 位片 | 口 径 | 16.2 20.4 | | | 細砂粒・粗砂粒/ 酸化塩/にぶい黄 橙 | ロクロ整形。跨は貼付。胴部は下位から跨へ向けてのヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。 | |
| 第1190号 PL.87 | 9 | 石製品 砥石 | 不明 | 長 幅 | (17.8) (9.3) | 厚 重 | (7.1) 657.1 | 粗粒輝石安山岩 | 表裏面と左右内側面に砥面が認められる。表面と右側面には断面V字形の比較的確の広い線条痕が縦方向に認められる。 | |

第24表 13号竪穴建物遺物観察表

| 採 取 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | | |
|-----------------|-----|------------|-----------------------|--------|--------------|--------------------|-----------------|---------------------------|--|--------|
| 第1210号 PL.87 | 1 | 須臾器 瓶 | +3.6 1/2 | 口 底 | 12.6 6.2 | 高 底 | 4.0 | 細砂粒/還元塩/相 白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、周囲はヘラナデ。 | |
| 第1220号 PL.87 | 2 | 黒色土器 瓶 | +4.9 1/2 | 口 底 | 14.8 6.2 | 高 底 | 5.4 | 細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/にぶい赤 褐 | 内面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り無調整。体部はヘラナデ、単位不明。内面は底部から体部に放射状ヘラミガキ、体部上半から口縁部は横方向のヘラミガキ。 | |
| 第1220号 PL.87 | 3 | 須臾器 瓶 | +4.7 1/2 | 口 底 | 14.7 6 | 高 底 | 5.3 | 細砂粒・粗砂粒・ 還元塩/黄灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |
| 第1220号 PL.87 | 4 | 須臾器 瓶 | +3.1 2/3 | 口 底 | 15.4 7.2 | 高 底 | 6.7 | 細砂粒・粗砂粒・ 還元塩/褐灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り、高台は貼付。 | |
| 第1220号 PL.87 | 5 | 土師器 甕 | +9.8 1/2 | 口 底 | 21.9 5.9 | 高 底 | 25.6 | 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明黄褐 | ロクロ整形。底部と胴部下位は手持ちヘラ削り。内面は底部から胴部下位がヘラナデ。 | ロクロ土師器 |
| 第1220号 PL.87 | 6 | 土師器 甕 | +16.5 口縁部-胴部上 半 | 口 径 | 20.9 | | | 細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙 | ロクロ整形。胴部下半は手持ちヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。 | |
| 第1220号 PL.87 | 7 | 須臾器 羽釜 | 床直 口縁部-胴部上 位片 | 口 径 | 15.3 17.0 | | | 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元塩/浅黄 | ロクロ整形。跨は貼付。胴部は下位から跨へ向けてのヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。 | |

第25表 14号竪穴建物遺物観察表

| 採 取 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | | |
|-----------------|-----|---------------|---------------|--------|---------------|--------------------|-----------------|-----|-------------------------------------|--|
| 第1230号 PL.87 | 1 | 鉄製品 向棒状鉄製品 | +10.8 先端欠損 | 長 幅 | (12.7) 0.8 | 厚 重 | 0.4 13.2 | | 断面は0.4×0.4cmの丸棒を帯びた方形。割れのある角棒状の鉄製品。 | |

第26表 15号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-----------|-----------------------|--------|--------------------|----------------------------|---|
| 第124号 PL.88 | 1 | 須恵器 鉢 | 床直 口縁部-底部片 | 口 底 | 11.8 4.4 | 4.6 細砂粒・還元焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転へら削りか。 内面底部に墨書。 |
| 第124号 PL.88 | 2 | 灰輪陶器 碗 | *23.8 口縁部-体部小 片 | 口 | 14.0 | | ロクロ整形、回転は右回りか。輪軸方法は刷毛塗り。 |
| 第124号 PL.88 | 3 | 土師器 甕 | *3.3 一部欠損 | 口 底 | 15.8 7.0 | 16.1 細砂粒・粗砂粒/ 良好/暗赤褐 | ロクロ整形。口縁部は横ナデ、胴部中・下位と底部はへら削り。内面は底部から胴部にかけてヘラナデ。 |

第27表 16号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-----------------------|--------|--------------------|-----------------------------------|--|---|
| 第127号 PL.88 | 1 | 須恵器 杯 | 床直 1/2 | 口 底 | 13.8 7.0 | 3.9 細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 2 | 須恵器 杯 | *1.4 1/4 | 口 | 13.8 7.0 | 3.7 細砂粒・粗砂粒・ 礫/酸化焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 3 | 黒色土器 碗 | *2.5 1/4 | 口 底 | 13.0 6.8 | 4.3 細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/黄灰 | 内面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 4 | 黒色土器 碗 | *1.7 口縁部-一部欠 損 | 口 | 14.2 7.3 | 4.0 細砂粒・粗砂粒・ 礫/酸化焰/黄褐色 | 内面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後手持ちへら削り。内面はヘラミガキ。 | |
| 第127号 PL.88 | 5 | 須恵器 碗 | *10.3 口縁部-底部片 | 口 底 | 13.0 7.8 | 3.9 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黄灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 6 | 須恵器 碗 | *3.4 1/3 | 口 底 | 13.0 6.5 | 4.1 細砂粒・粗砂粒・ 礫/酸化焰/にぶい 橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 7 | 黒色土器 碗 | *19.1 1/3 | 口 | 13.4 6.6 | 3.9 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/黒 | 内外面黒色処理。ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 | |
| 第127号 PL.88 | 8 | 黒色土器 碗 | *7.3 底部-体部下位 片 | 底 | 7.8 | | 細砂粒/酸化焰/に ぶい/黄橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り無調整。 |
| 第127号 PL.88 | 9 | 須恵器 碗 | *8.7 1/4 | 口 底 | 15.8 6.9 | 5.2 細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/にぶい/黄 橙 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。 | |
| 第128号 PL.88 | 10 | 須恵器 碗 | *4.8 1/3 | 口 | 13.6 5.7 | 5.9 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。 | |
| 第128号 PL.88 | 11 | 須恵器 碗 | *11.2 1/2 | 口 | 15.2 8.3 | 5.4 細砂粒・粗砂粒・ 礫/還元焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。 | |
| 第128号 PL.88 | 12 | 須恵器 碗 | 床直 1/2 | 口 | 15.6 7.6 | 5.3 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。 | |
| 第128号 PL.88 | 13 | 須恵器 碗 | *8.4 底部 | 底 | 7.2 | | 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。 |
| 第128号 PL.88 | 14 | 須恵器 碗 | 床直 底部-体部片 | 底 | 7.7 | | 細砂粒/還元焰/灰 黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。 |
| 第128号 PL.88 | 15 | 土師器 甕 | *4.3 口縁部-胴部中 位片 | 口 | 17.0 | | 細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐 | 口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面胴部はへらナデ。 |
| 第128号 PL.88 | 16 | 土師器 甕 | *2.9 口縁部-胴部下 位片 | 口 | 13.6 | | 細砂粒/良好/にぶ い/橙 | ロクロ整形。胴部はカキ目。 |
| 第128号 PL.89 | 17 | 須恵器 壺 | *2.4 胴部下位-底部 | 底 | 6.0 | | 細砂粒/酸化焰/灰 黄褐色 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り後へら削り。 |
| 第128号 PL.89 | 18 | 鉄製品 釘? | *11.5 両端欠損 | 長 幅 | (4.4) 0.4 重 | 0.4 3.6 | | 断面、0.4×0.4cmの方形である角棒。全体を錆と炭化物が覆う。角棒の中央部に有機物(木質)が付着している。 |
| 第128号 PL.89 | 19 | 鉄製品 不明 | *9.4 基部の一部欠損 | 長 幅 | 12.2 2.9 | 0.2 32.3 | | 刃部の先端の上下側を5mm程内側に折り、尖らせている。背側は先端に向かい湾曲し、鎌状の形をしている。 |
| 第128号 PL.89 | 20 | 礫石器 床基石 | 埋土中 完形 | 長 幅 | 36.8 29.4 | 11.6 18100 | | 表面と右側面の中央付近に滑かな部分が認められる。表面の右側縁に非常に滑かな部分が帯状に認められる。全体的に自然面と判断され大形室内埋物を利用する。 |

第28表 17号竪穴建物遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|-----------|-----------------|--------|--------------------|----------------|---------------|---|
| 第130号 PL.89 | 1 | 須恵器 碗 | *14.8 底部-体部片 | 底 | 7.5 | | 細砂粒/還元焰/ 灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。 |
| 第130号 PL.89 | 2 | 鉄製品 刀子 | *6.9 基部片 | 長 幅 | (2.6) 0.7 | 0.3 1.0 | | 刀子の基部片。 |
| 第130号 PL.89 | 3 | 石製品 砥石 | *4.9 不明 | 長 幅 | (10.8) (11.2) | 11.6 1095.2 | | 表面と左右両面に砥面に認められる。各砥面は全体的に滑らかであり一部に断面U～V字形の比較的幅の広い線状痕が認められる。 |

第4章 中欄II遺跡

第29表 1号竪穴状遺構遺物観察表

| 採掘 No. | 種 類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----------------|-------------|---------------------|--------------------|----------|--|
| 第1496号 PL-89 | 1 石製品 石臼(上) | 1/2 | 径 幅 27.8厚 1.9 | (12.9) 6700.0 | 粗粒輝石安山岩 | 底面のすり合わせ面には挽き目の痕跡がわずかに残る。側面に隅丸矩形の挽き手孔が認められる。わずかに片減りする。軸受孔の直径約3cm。 |
| 第1496号 PL-89 | 2 石製品 石臼(下) | 1/2 | 径 幅 28.3厚 1.9 | 10.4 4800.0 | 粗粒輝石安山岩 | 上面のすり合わせ面は全体的に滑らかであり挽き目の痕跡がわずかに残る。側面と底面には棒状あるいは平ノミ状の工具痕がわずかに認められる。軸孔は底面まで貫通しておらず器厚のほぼ中央にとどまる。著しく片減りする。軸孔の直径約3cm。 |

第30表 3号土坑遺物観察表

| 採掘 No. | 種 類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------|------------|---------------|-------------|--------------------|----------------|---------------------------------|
| 第154号 | 1 土師器 甕 | 口縁部-胴部上 半片 | 口 幅 18.0 | | 細砂粒/良好/浅黄 橙 | ロクロ整形。胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。ロクロ土師器 |

第31表 282号土坑建物遺物観察表

| 採掘 No. | 種 類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|--------------|-------------|-----|--------------------|----------------|--------------------------|
| 第167号 PL-89 | 1 灰釉陶器 小瓶 | 胴部小片 | | | 微砂粒/還元焰/灰 白 | ロクロ整形。施釉方法は漬け掛け。外面胴部に墨書。 |

第32表 遺構外出土遺物観察表(平安～近世)

| 採掘 No. | 種 類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|---------------------|------------------|-------------------------|----------------------------|-----------------------------------|--|-----------|
| 第187号 PL-89 | 1 須置器 杯 | 口縁部-底部片 | 口 幅 14.8高 7.8 | 4.0 細砂粒/還元焰/灰 白 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | | |
| 第187号 PL-89 | 2 須置器 杯 | 1/2 | 口 幅 13.4高 6.5 | 3.8 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黄 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | | |
| 第187号 PL-89 | 3 須置器 杯 | 1/2 | 口 幅 13.2高 6.4 | 3.7 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/黒灰 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | | |
| 第187号 PL-89 | 4 須置器 杯 | 口縁部片 | 口 幅 13.7 | | 細砂粒/還元焰/黄 灰 | ロクロ整形。回転は右回り。 | |
| 第187号 PL-89 | 5 須置器 杯 | 底部-体部下位 | 底 幅 5.6 | | 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | 内外面底部に墨書。 |
| 第187号 PL-89 | 6 須置器 杯 | 2/3 | 口 幅 13.9高 6.0 | 4.0 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り無調整。 | | |
| 第187号 PL-89 | 7 須置器 杯 | 1/4 | 口 幅 16.6高 8.1 | 6.5 細砂粒/還元焰/灰 白 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り。高台は貼付。 | | |
| 第187号 PL-89 | 8 須置器 杯 | 1/2 | 口 幅 14.6高 7.1 | 5.7 細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/浅黄橙 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転系切り後ヘラナデ。高台は貼付。 | | |
| 第187号 PL-89 | 9 肥前磁器 染付徳利 | 底部破片 | 口 幅 (4.4) | | 灰雑物なし//白 | 体部外面下に團縁と不明文。高台境に二重團縁。内面は無釉。 | 江戸時代 |
| 第187号 PL-89 | 10 肥前磁器 染付小壺 | 体部-高台部破 片 | 口 幅 (5.0) | | 灰雑物なし//白 | 体部外面は草花文。体部下位と高台境に團縁。高台は細か い叩打により失われている。 | 江戸時代 |
| 第187号 PL-89 | 11 瀬戸・美濃 陶器 甕 | 体部-高台部 | 口 幅 (5.0) | | 灰雑物微量//灰白 | 内面と体部外面下に褐色の釉施。体部外面下位から高台 は無釉。 | 江戸時代 |
| 第187号 PL-89 | 12 在地系土器 内耳鈿 | 体部破片 | 口 幅 | | 灰雑物少量//に赤 い赤 | 内面に内耳の一部が残存する。ナデ調整。外面は灰赤吸着。 | 中世 |
| 第187号 PL-89 | 13 在地系土器 内耳鈿 | 体部破片 | 口 幅 | | 灰雑物少量//黒 | 内面はココナデ。外面は灰赤吸着。 | 中世 |
| 第187号 PL-89 | 14 在地系土器 内耳鈿 | 体部-底部破片 | 口 幅 | | 灰雑物少量//黒 | 底部は平底。砂状任意。外面に灰赤吸着。 | 中世 |
| 第187号 PL-89 | 15 銅製品 手せり蓋首 | 高(口面) 火皿欠形 | 長 幅 3(9.9) 厚 1.7 | 0.4 4.6 | | 火皿を欠いた煙筒の蓋首部分。押しつぶされている。 | 泥流直下 |
| 第187号 PL-90 | 16 鉄貨 寛永通宝 | 定形 | 外 径 2.3厚 1.9 | 0.1 2.1 | | 新寛永。3期。 | 黒色土 |
| 第187号 PL-90 | 17 鉄貨 新銭 | 両面摩滅 | 外 径 2.3厚 1.9 | 0.1 2.7 | | 表面、背面ともに摩滅がひどく。詳細は不明。 | 黒色土 |
| 第187号 PL-90 | 18 鉄貨 寛永通宝 | 低地(谷) 定形 | 外 径 2.8厚 2.1 | 0.1 4.3 | | 新寛永。銅色が赤味を帯びる。背面は、波紋が1波。文政 期の四文銭。 | 泥流中 |
| 第187号 PL-90 | 19 鉄貨 弘武通寶 | 定形 | 外 径 2.3厚 1.8 | 0.1 2.4 | | 弘武通寶。(明、1368) | |
| 第187号 PL-90 | 20 鉄貨 中世銭 | 1号甲 両面摩滅 | 外 径 2.3厚 1.8 | 0.1 2.2 | | 表面、背面ともに摩滅。詳細は不明。 | |
| 第187号 PL-90 | 21 鉄製品 小柄 | 38号土坑 対部70%欠損 | 長 幅 (12.6) 厚 28.9 | 0.3 0.4 | | 柄は銅製品で、長さ8.9cm、幅1.4cm、厚さ0.7cm。下部が 破損している。対部の残りは悪い。小柄。 | 上層 |
| 第187号 PL-90 | 22 鉄製品 鉄鎌(身保) | 2面 定形 | 長 幅 13.8厚 5.3 | 0.4 40.9 | | 定形の鉄鎌(身保)。 | 黒色土 |
| 第187号 PL-90 | 23 鉄製品 刀子 | 344土坑 対部先端欠損 | 長 幅 (18.1) 厚 23.6 | 0.4 0.4 | | 刃部の先端を欠いた刀子。茎部に有機物(木質)付着。刃部 は錆がひどく空洞化が進む。 | |

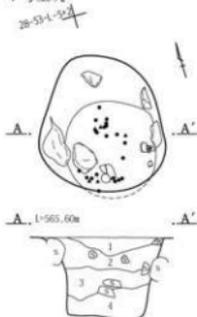
2 土坑・陥し穴

縄文時代の土坑は、主に隣接するVII(7)区・10区・14区の3面から検出される。遺構の時期については、出土する遺物より中期前半に比定されるが、その用途について貯蔵や埋葬を裏付ける資料はない。

また、陥し穴遺構は、VII(7)区北東部から接続する10

区の標高565～567mの等高線上に27基が点在し検出され、この一帯が陥溝であったと推察される。平面形状は、いずれも中央部がやや括れた楕円形状を呈し、長軸の方位はさまざまである。底面に逆杭が埋め込まれた小ピットの痕跡は確認されていない。

7号土坑



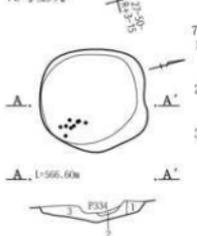
- 7号土坑
- 1 黒色土(10YR3/1) 締り、粘性なし。白色、黄色、赤色粒を若干含む。
 - 2 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。ブロック上。白色、黄色、赤色粒を若干含む。
 - 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性なし。白色、黄色、赤色粒を若干含む。暗褐色土をブロック状に少量含む。
 - 4 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。3層より黒色強い。白色、黄色、赤色粒を若干含む。暗褐色土をブロック状に極少量含む。

16号土坑



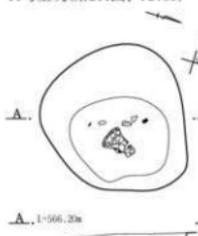
- 16号土坑
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む均質土。縄文の上層片出土。
 - 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。やや明るい。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。10～40cm大の垂向礫を少量含む。縄文の上層片出土。
 - 3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む均質土。黒褐色土ブロックを多量に含む。
 - 4 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。やや明るい黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。黒色土ブロックを多量に含む。

79号土坑



- 79号土坑
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。ロームが斑状に散らる。
 - 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり。風化岩片を多く含む。
 - 3 暗褐色土(10YR3/3) 風化岩片を少量含む。ロームが多く混入。上位で縄文土層出土。

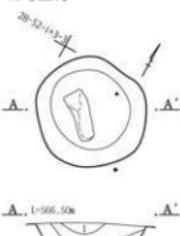
11号土坑(第211図、PL.95)



11号土坑

- 11号土坑
- 1 黒色土(10YR2/1) ほぼ基本土層Vと同じ。締りややあり、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子を少量含む。均質土。
 - 2 暗褐色土(10YR2/4) 締り、粘性なし。黒褐色土をブロック状に含む。

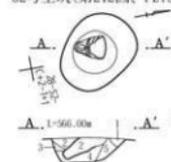
15号土坑



15号土坑

- 15号土坑
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。10cm大の垂向礫を含む。
 - 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。明黄褐色土のシルトを多量に含む。18cm大の垂向礫を含む。
 - 3 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。暗褐色土ブロックを斑状に含む。石器片出土。
 - 4 暗褐色土(10YR3/4) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を多量に含む。均質土。黒色土ブロックを少量含む。

62号土坑(第212図、PL.96)



62号土坑

- 62号土坑
- 1 黒色土(10YR2/1) 締り、粘性なし。軟らかい土。黄褐色土粒子を若干含む。黒褐色土ブロックを含む。人為的埋没土中層。
 - 2 黒色土(10YR2/1) 締りややあり、粘性なし。黄色土粒子や黄褐色土粒子混じりの均質土。炭化物粒も含む。
 - 3 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。
 - 4 暗褐色土(10YR2/2) 締り、粘性なし。暗褐色土ブロック含む。人為的埋没土。
 - 5 黄褐色土(10YR3/3) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を若干含む。明黄褐色土ブロックを含む。人為的埋没土層文。

195号土坑

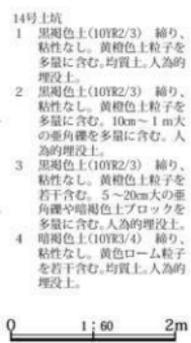
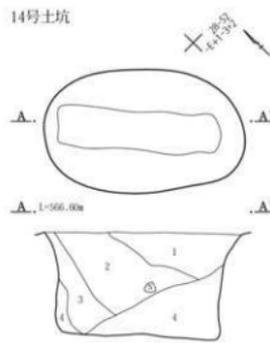
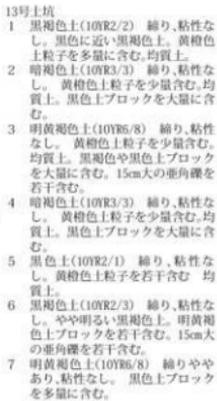
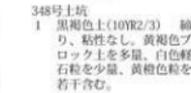
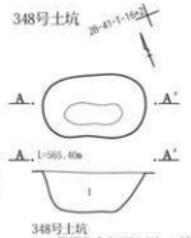
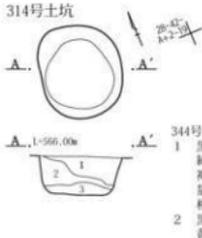
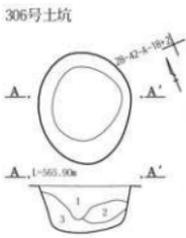
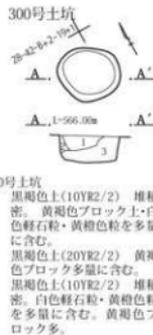
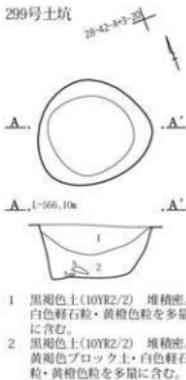


195号土坑

- 195号土坑
- 1 黒褐色土(10YR2/2) ローム、ブロック少量。白色軽石微量。

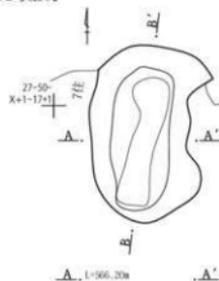


第189図 縄文時代土坑 平面断面図(1)

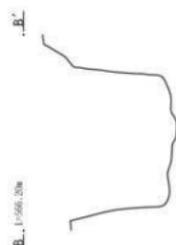
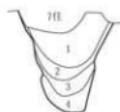


第190図 縄文時代土坑 平面断面図(2)

72号土坑



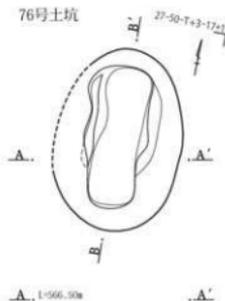
A., 1:566.30m



B., 1:566.30m

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり、1cm大の黄褐色風化岩片を多く含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり、ロームが均等にたれだむようを含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり、ロームが少量混じる。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) 締りややあり、粘性ともある。水分が多い粘土質。

76号土坑



A., 1:566.30m



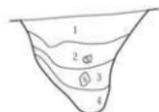
B., 1:566.30m

- 1 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒子を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を含む。瓦片に混入する。
- 4 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。
- 5 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を少量含む。
- 6 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ロームブロックを混入し、粘土質。

84号土坑



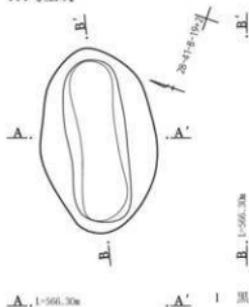
A., 1:566.10m



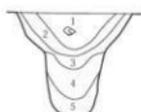
B., 1:566.10m

- 1 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を多く含む。均質土。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を含む。角礫を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり。水分を多く含む、粘性のある均質土。ロームを少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) ロームを多く含む。粘性のある均質土。

111号土坑



A., 1:566.30m



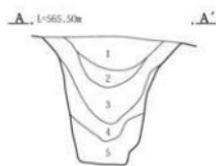
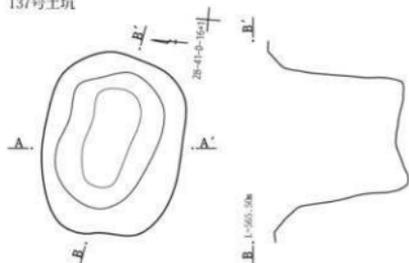
B., 1:566.30m

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にややあり。ロームと炭化物の混ざったブロックを含み、5~10cm大の角礫を含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締りややあり。粘性ともある均質土。
- 3 (10YR3/2) 黒褐色土 締り、粘性共にややあり。ロームが少量混じり黄褐色風化岩片を含む。
- 4 (10YR2/3) 黒褐色土 締り、粘性共にややあり。ロームを少量含むが、3層より締りが無い。
- 5 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームが大量に混ざり、水分を多く含む。

第191図 縄文時代土坑 平断面図(3)

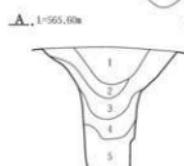
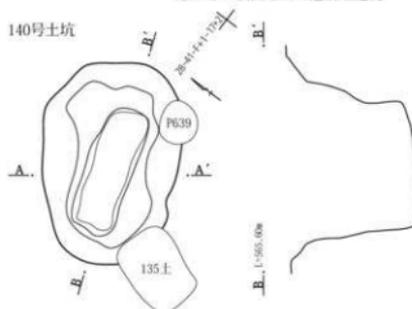
0 1:60 2m

137号土坑



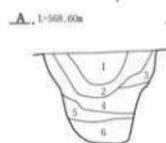
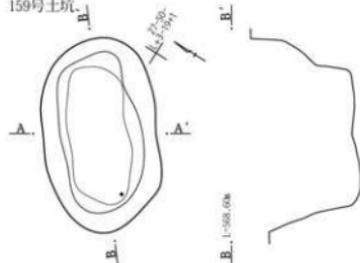
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片とロームブロックを少量含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。炭化物が多く含まれる。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片とロームブロックを少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性ともあり。ロームが混じる。
- 5 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性ともあり。ロームをブロックで多く含む。

140号土坑



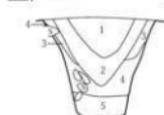
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。ローム粒子が多く含まれ、黄褐色風化岩片も多く含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 締り、粘性共にややあり。黄褐色風化岩片を含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ロームを少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性ともあり。ロームブロックが多く含まれる。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 締りあまりなし、粘性ともあり。ロームが多く混じり粒が大きい。

159号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややあり。ローム粒子を多く含み、5 cm大の亜角礫を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。5 cm以下の亜角礫を含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性共にあまりなし。砂質のロームを多く含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 締りあまりなく、粘性はややある。3層より粘性の高いロームを多く含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) 締りあまりなく、粘性はややある。3層に類似しているが、3層より粘性が高く、黒味が強い。
- 6 明黄褐色(10YR6/8)の締りが無い砂質のローム。

179号土坑

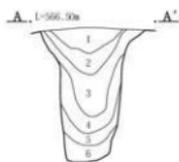
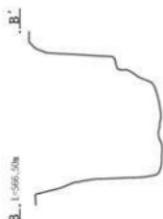
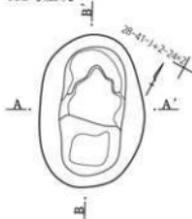


- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りややあり、粘性あまりなし。ローム粒子を、亜角礫を多く含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性共にややあり。亜角礫を少量含む。
- 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にややある均質土。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性共にあまりなし。大きな亜角礫の多い砂質のロームを多く含む。
- 5 黒褐色土(10YR2/2) 締りあまりなし、粘性ややあり。ロームを多く含む。

第192図 縄文時代土坑 平面図(4)縮し六

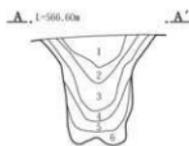
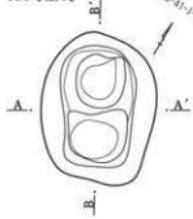
0 1:60 2m

192号土坑



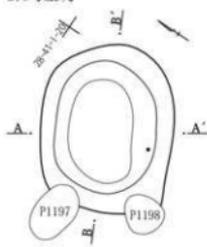
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を少量含む。白色軽石・焼土粒子を微量含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2)と黒色土(10YR2/1)の混土。ローム粒子を少量含む。
- 3 黒色土(10YR2/1) ロームブロック少量。粘性のない均質土。
- 4 黒色土 ロームブロックを多量に含む。
- 5 黒色土(10YR2/1) ロームブロック少量含む。
- 6 黒色土(10YR2/1) ローム粒子微量を含む。均質土。

194号土坑



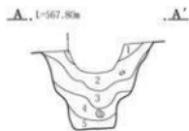
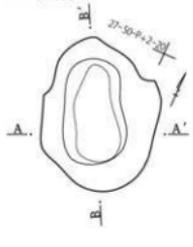
- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・炭化物少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1)と黒色土(10YR2/1)の混土。ローム粒子・炭化物少量含む。
- 3 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。
- 4 黒色土(10YR2/1) ロームブロック。
- 5 黒色土(10YR2/1) ロームブロックを多量に含む。
- 6 黒色土(10YR2/1) ローム粒子を少量含む。均質土。

210号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1)と黒色土(10YR2/1)の混土。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロックを多量に含む。

214号土坑

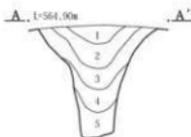
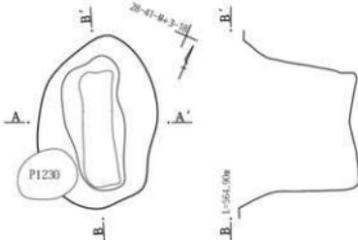


- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1)と黒色土(10YR2/1)の混土。
- 3 黒色土(10YR2/2) 少量のロームブロックを含む。
- 4 黒色土(10YR2/1) 多量のローム粒子を含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロックを多量に含む。

第193図 縄文時代土坑 平面図(5)陥し穴

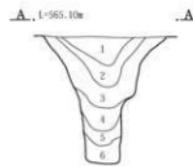
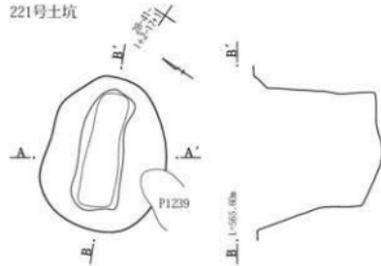
0 1:60 2m

218号土坑



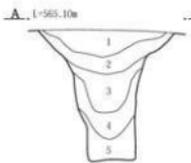
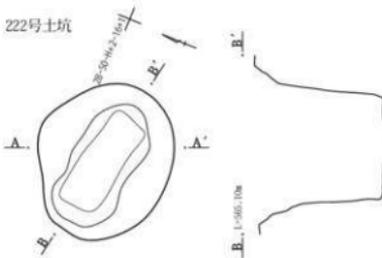
- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子・白色軽石・焼土粒子少量含む。暗褐色土。
 2 黒褐色土(10YR3/2) 暗褐色土多量に含む。
 3 黒色土(10YR2/1) ロームブロック少量含む。暗褐色土。
 4 黒色土(10YR2/1) ロームブロック。
 5 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロックを多量に含む。
 * 1~5 粘性あり。

221号土坑



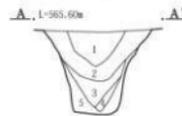
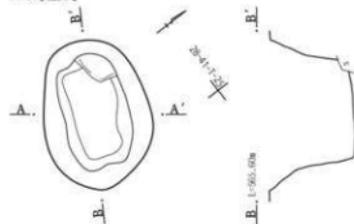
- 1 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子・白色軽石少量含む。
 2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子・白色軽石・黒色土。
 3 黒色土(10YR2/1) ローム粒子・白色軽石少量含む。暗褐色土ブロック。均質土。
 4 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック大。
 5 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック大。
 6 暗褐色土(10YR3/3) 粘質土。

222号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒子・炭化物粒・白色軽石物少量。暗褐色土多量に含む。
 2 暗褐色土(10YR3/2) 締まりあり。焼土粒子・炭化物粒・白色軽石物少量。暗褐色土多量に含む。
 3 黒褐色土(10YR3/1) 締まりなし。焼土粒子・炭化物粒・白色軽石物少量。暗褐色土多量に含む。
 4 黒色土(10YR2/1) ローム粒子。粘質土。
 5 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子を多量に含む。粘質土。

248号土坑



- 1 黒褐色土(10YR2/3) 締りあまりなし。粘性ややあり。5~10cm大の角礫を多く含む。
 2 黒褐色土(10YR2/2) 締り、粘性ややあり。均質土。
 3 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。ロームを少量含む。
 4 黒褐色土(10YR2/3) 締り、粘性ややあり。ロームを多量に含む。
 5 暗褐色土(10YR3/1) ロームブロックを多量に含む。

第4章 中棚Ⅱ遺跡

254号土坑



255号土坑

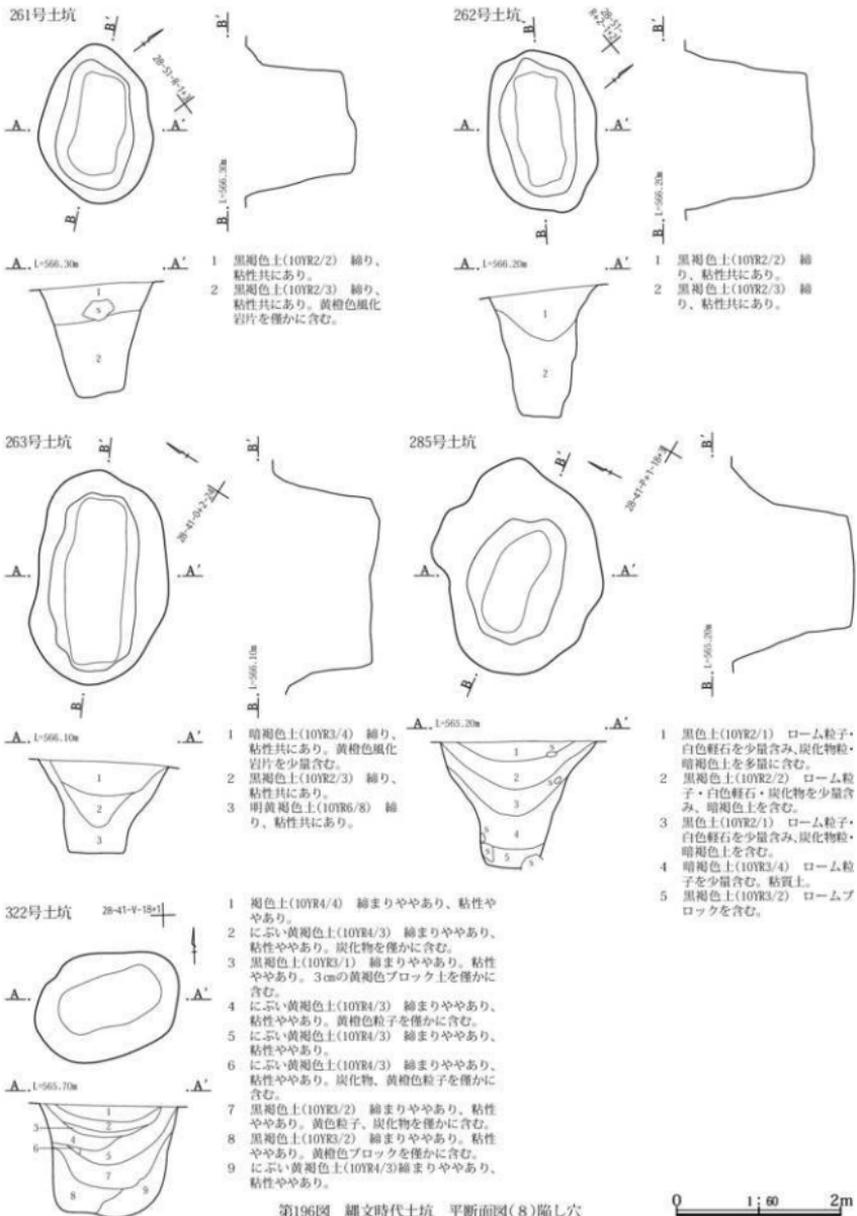


256号土坑



260号土坑

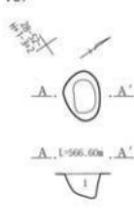




第4章 中欄II遺跡

3面ビット

P27



1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。人為的埋没上。

P121



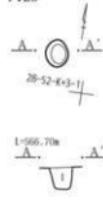
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P122



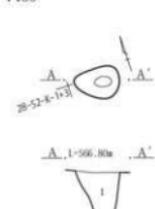
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P123



1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P130



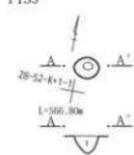
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P134



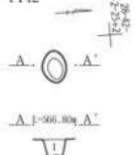
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。細礫を少量含む。炭化粒、暗褐色土ブロックを多量に含む。

P135



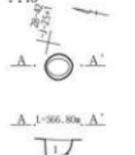
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P142



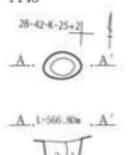
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。下に石。

P145



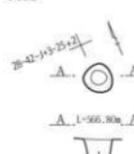
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。下に石。

P148



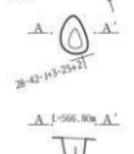
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子混じりの均質土。細礫を少量含む。炭化粒、暗褐色土ブロックを多量に含む。

P155



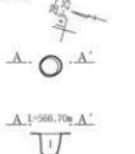
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P156



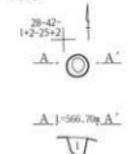
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P157



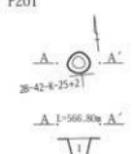
1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

P175



1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

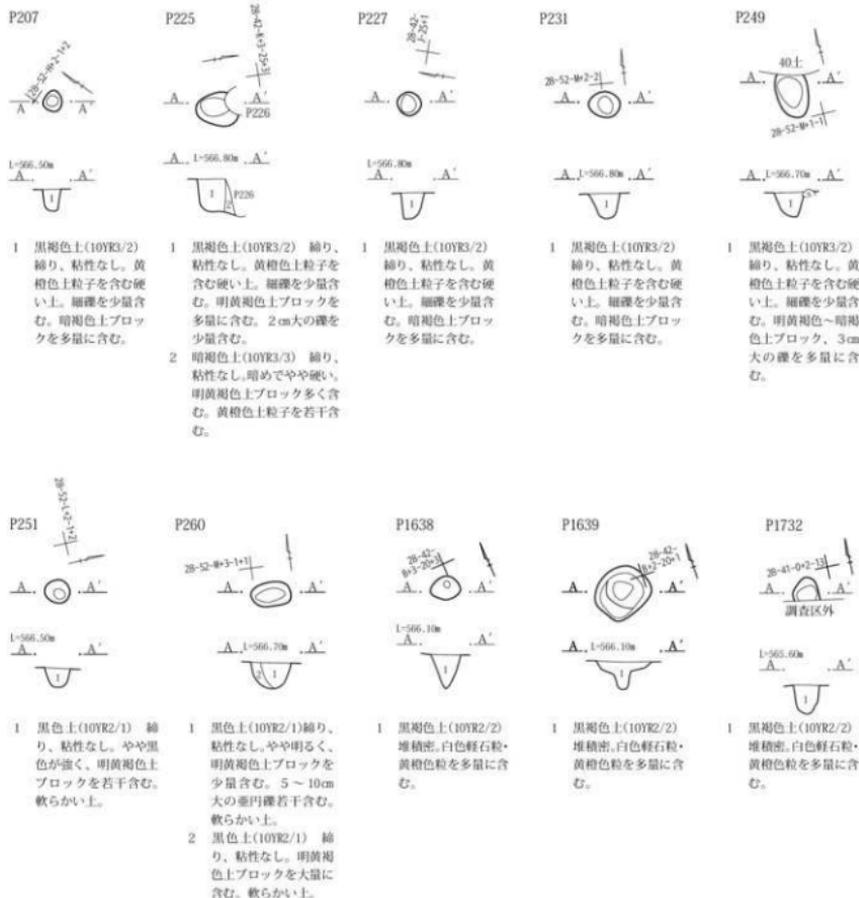
P201



1 黒褐色土(10YR3/2) 締り、粘性なし。黄褐色土粒子を含む硬い土。細礫を少量含む。暗褐色土ブロックを多量に含む。

0 1:60 2m

第197図 縄文時代ビット 平断面図(1)



0 1:60 2m

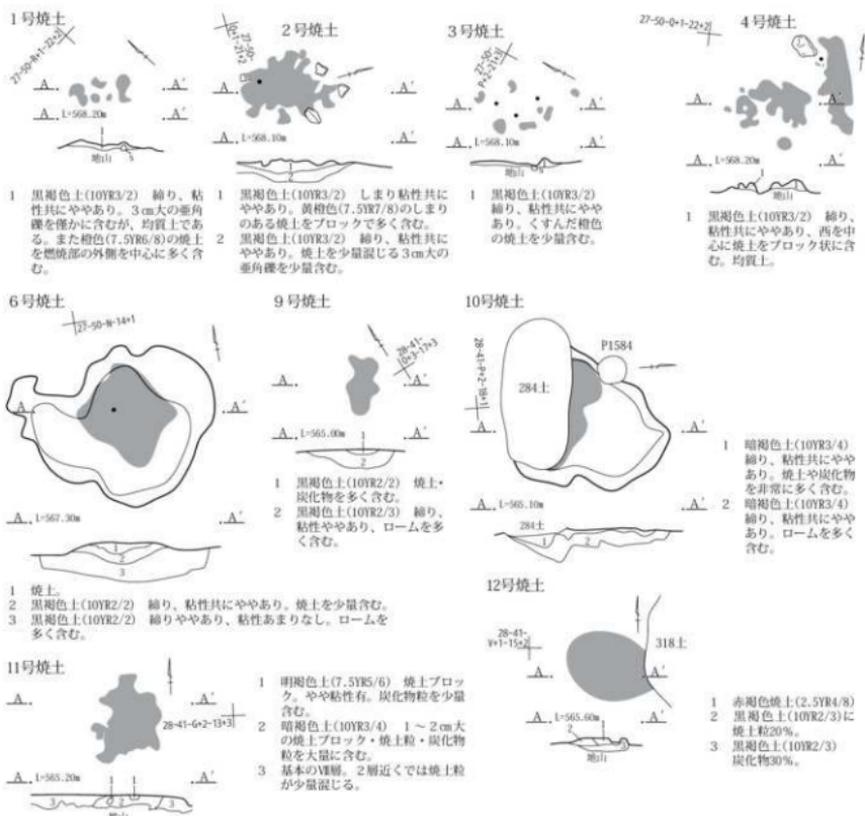
3 焼土・炉

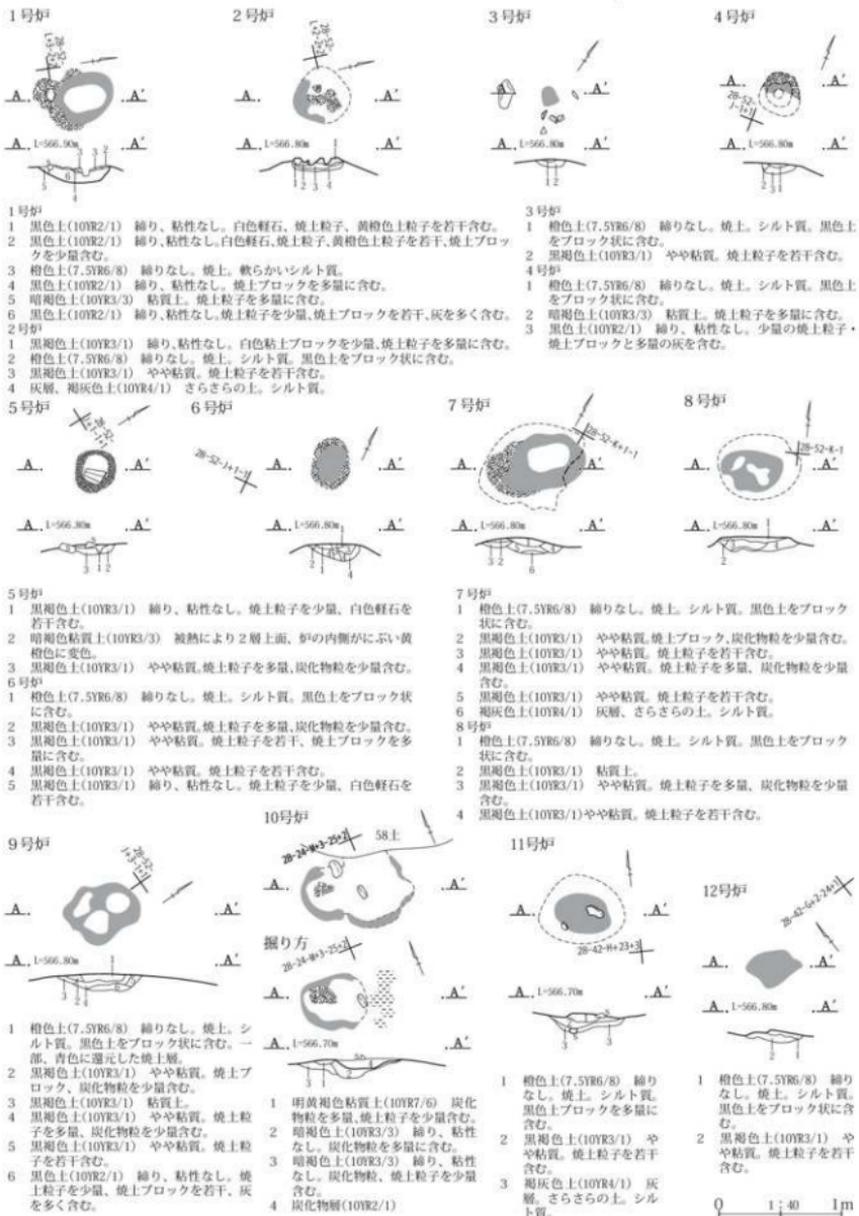
調査面2面上で検出された「焼土」・「炉」の遺構については、「焼土」が地山面直上にての燃焼行為により、単に地山面が被熱し焼土化した痕跡であるのに対し、「炉」は粘土を用いて円形ないし楕円形の囲炉裏状の施設を設け、その内部にて燃焼行為を行ったことにより、粘土および地山が被熱し焼土化した遺構を指す。

「焼土」は、10区2面において1～4・6・9～10号焼土、14区2面において11・12号焼土の計9基が検出されている。遺構の時期について、発掘調査担当者の判断では1～10号焼土は古代、11・12号焼土は不明と判断している。

「炉」は、Ⅶ区(7区)において1号炉～12号炉までの

12基の炉が検出され、その規模は径30～80cmほどを測り、多くは単独ではなく2～4基の炉跡が近接して検出されている点が特徴である。炉床として貼られた粘土の焼土化が著しく、灰層上に焼土粒が被せられるなど、一度の焚火程度の燃焼ではなく、ある程度継続して使用されたものと推察される。遺構の時期を推定する資料としては、遺物の出土もなく、重複遺構として10号炉を切る形で58号土坑が重複し、58号土坑の時期から、平安時代以前の遺構と限定されるのみである。Ⅶ区2面上で検出される遺構は、平安～中世の遺構に加えて、同一面で縄文時代の中期の遺構も検出されていることから、炉の時期は縄文時代の可能性も高い。





第200図 炉 平面断面図

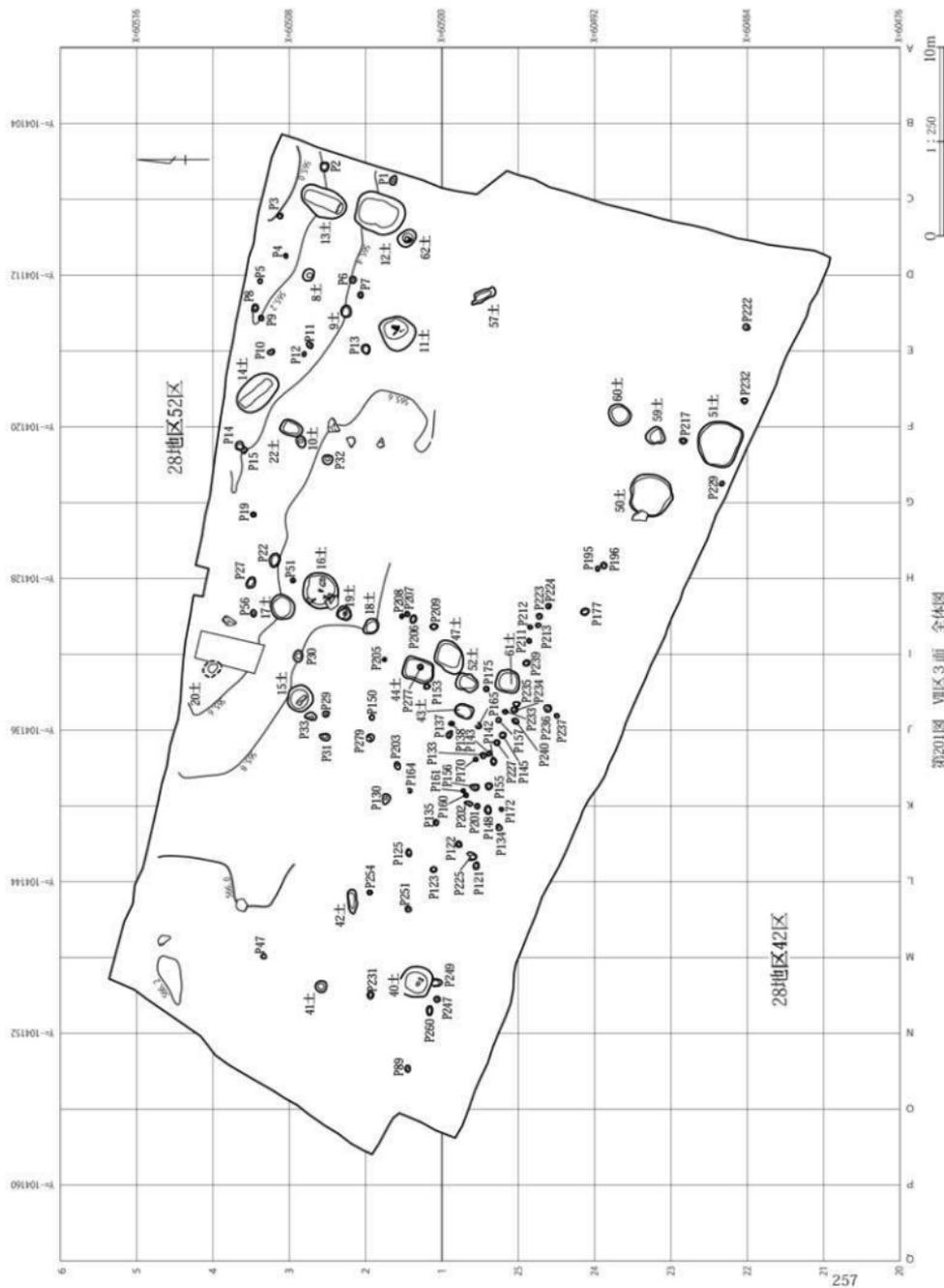
第4章 中欄II遺跡

第33表 縄文土坑一覽表

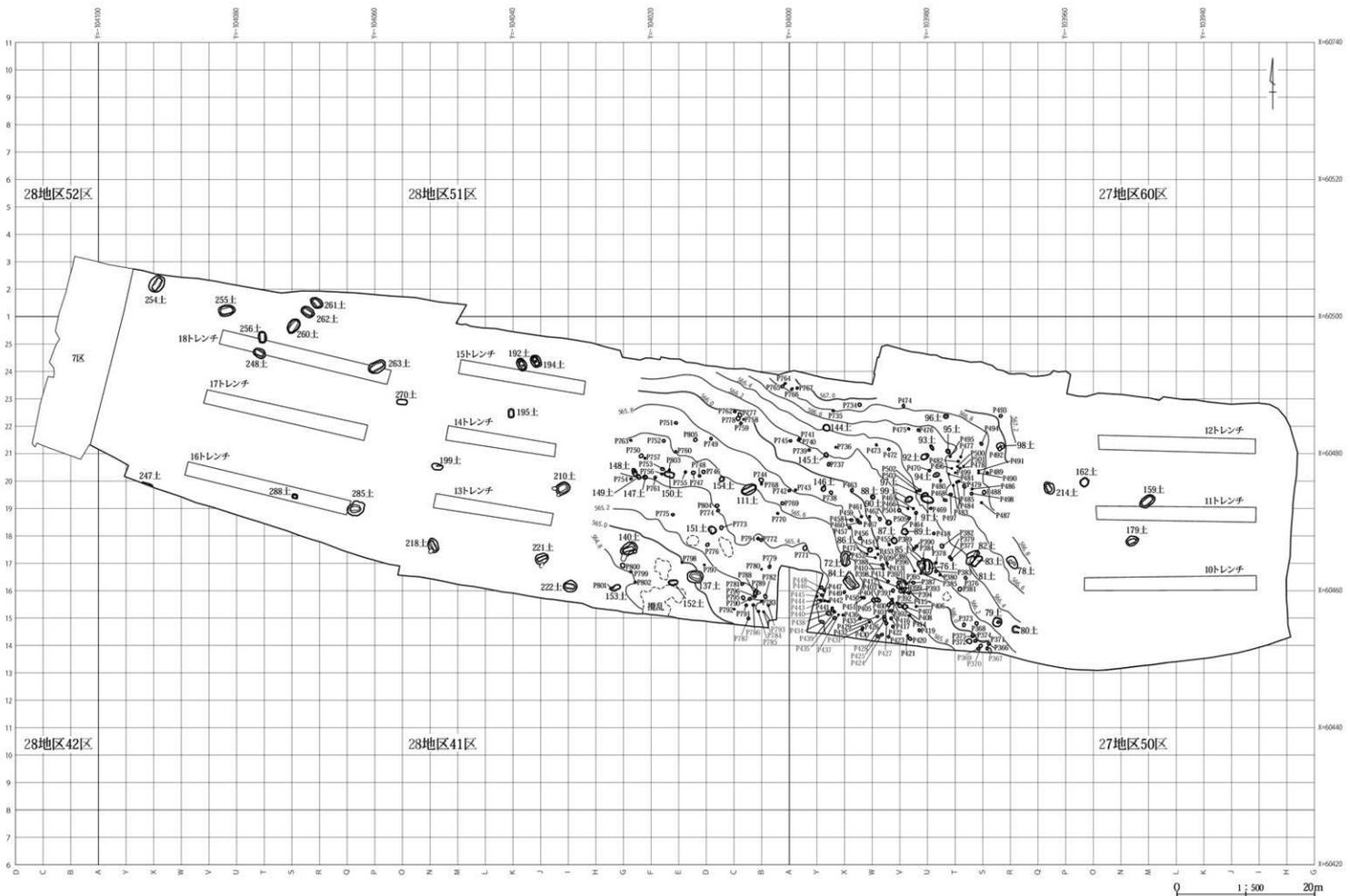
| 番号 | 調査区 | 層 | 平面形状 | 最大径(cm) | 最小径(cm) | 深埋(cm) | 備考 |
|--------|-----|----|-------|---------|---------|-------------|----|
| 79号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 163 | 150 | 100 | |
| 80号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 65 | 55 | 20 | |
| 90号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 103 | 60 | 15 | |
| 104号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 60 | 45 | 20 | |
| 117号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 180 | 175 | 45 | |
| 135号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 135 | 133 | 60 | |
| 164号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 190 | 185 | 70 | |
| 173号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 125 | 125 | 70 | |
| 189号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 85 | 70 | 12 | |
| 194号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 75 | 68 | 18 | |
| 200号土坑 | V区 | 3B | (楕円形) | 66 | 75 | 35 | |
| 214号土坑 | V区 | 3B | (楕円形) | 80 | 200 | 55 | |
| 229号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 115 | 75 | 27 | |
| 404号土坑 | V区 | 3B | 方形 | 165 | 158 | 45 39土 | |
| 417号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 60 | 60 | 20 | |
| 425号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 125 | 48 | 35 | |
| 439号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 95 | 70 | 25 P246 | |
| 445号土坑 | V区 | 3B | 良方形 | 165 | 118 | 15 53土・P277 | |
| 477号土坑 | V区 | 3B | 方形 | 155 | 150 | 24 | |
| 503号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 230 | 220 | 30 | |
| 519号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 235 | 218 | 25 | |
| 525号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 115 | 90 | 10 | |
| 574号土坑 | V区 | 3B | 不定形 | 140 | 58 | 10 | |
| 589号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 388 | 85 | 15 | |
| 600号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 129 | 110 | 10 | |
| 611号土坑 | V区 | 3B | 方形 | 128 | 118 | 20 P82・6号建 | |
| 625号土坑 | V区 | 3B | 円形 | 90 | 90 | 30 | |
| 783号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 200 | 120 | 55 | |
| 794号土坑 | IX区 | 3B | 方形 | 130 | 125 | 20 | |
| 804号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | (108) | 100 | 25 | |
| 817号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 150 | 98 | 32 82・83土 | |
| 829号土坑 | IX区 | 3B | (不定形) | (182) | 100 | 30 81土 | |
| 834号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 190 | 82 | 20 81土 | |
| 854号土坑 | | | | | | 穴蓋 | |
| 869号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 70 | 70 | 15 | |
| 877号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 85 | 85 | 10 | |
| 884号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 62 | 55 | 20 | |
| 894号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 95 | 85 | 14 | |
| 900号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 75 | 70 | 22 | |
| 911号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 165 | 87 | 17 87土 | |
| 925号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 130 | 80 | 10 | |
| 934号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 80 | 35 | 10 | |
| 944号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 95 | 60 | 20 | |
| 954号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 62 | 56 | 14 | |
| 963号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 70 | 57 | 20 | |
| 979号土坑 | IX区 | 3B | (楕円形) | (95) | (63) | 17 91土 | |
| 984号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 110 | 92 | 20 P492 | |
| 994号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 118 | 75 | 32 | |
| 144号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 100 | 90 | 18 | |
| 145号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 65 | 65 | 23 | |
| 146号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 85 | 60 | 20 | |
| 147号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 65 | 55 | 22 | |
| 148号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 117 | 64 | 22 | |
| 149号土坑 | IX区 | 3B | 良方形 | 65 | 65 | 25 | |
| 150号土坑 | IX区 | 3B | 良方形 | 145 | 70 | 20 | |
| 151号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 120 | 96 | 22 | |
| 152号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 135 | 77 | 18 | |
| 153号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 135 | 70 | 25 P804 | |
| 154号土坑 | IX区 | 3B | 円形 | 70 | 65 | 35 | |
| 195号土坑 | IX区 | 3B | 良方形 | 130 | 80 | 48 | |
| 199号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 165 | 90 | 46 | |
| 247号土坑 | IX区 | 3B | (楕円形) | (164) | (119) | 不明 | |
| 293号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 140 | 102 | 28 | |
| 294号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 83 | 77 | 15 | |
| 296号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 85 | 70 | 20 | |
| 297号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 190 | 76 | 25 | |
| 298号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 100 | 90 | 25 | |
| 299号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 137 | 130 | 65 | |
| 300号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 77 | 65 | 30 | |
| 302号土坑 | 14区 | 3B | 不定形 | 140 | 115 | 50 | |
| 303号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 55 | 55 | 20 | |
| 305号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 132 | 125 | 60 | |
| 306号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 135 | 110 | 55 | |
| 307号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 130 | 125 | 30 | |
| 308号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 80 | 75 | 30 | |
| 309号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 102 | 68 | 32 | |
| 314号土坑 | 14区 | 3B | 円形 | 110 | 95 | 45 | |
| 348号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 125 | 75 | 48 | |

第34表 縄文陶土六一覽表

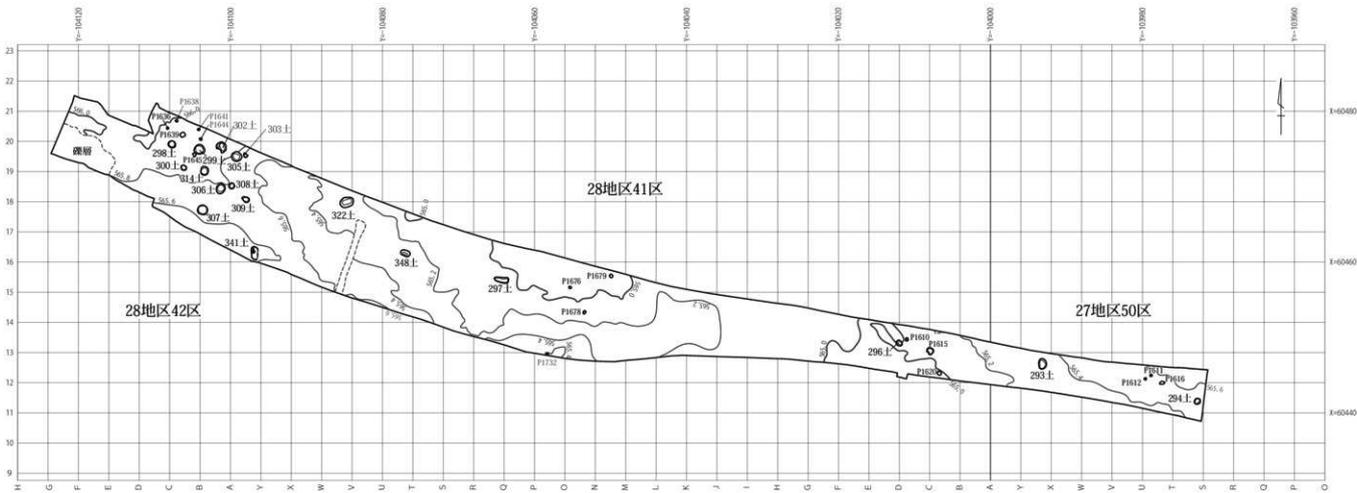
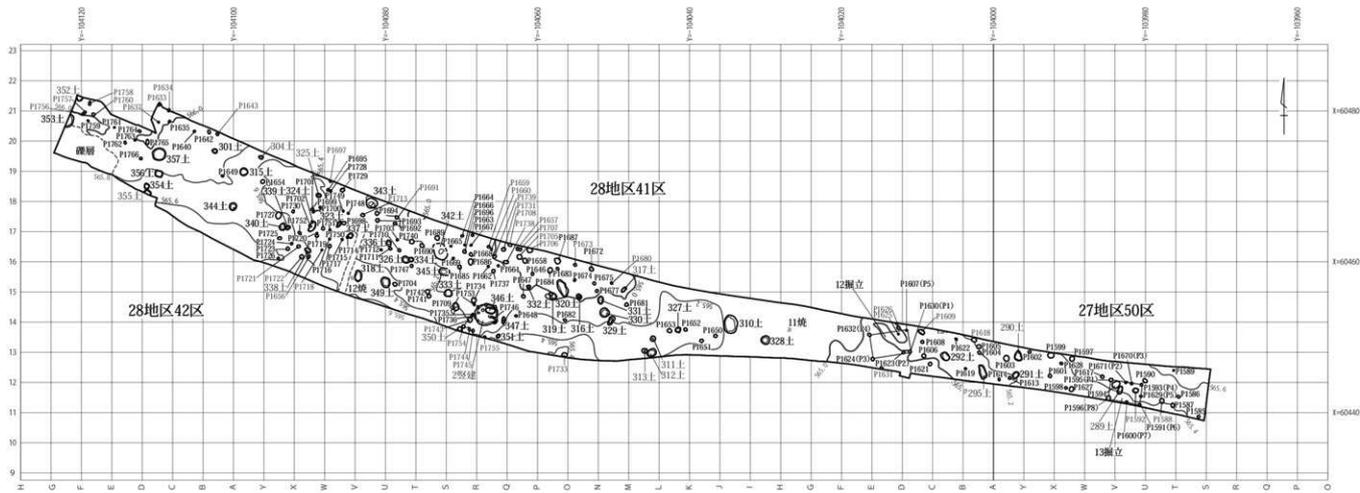
| 番号 | 調査区 | 層 | 平面形状 | 最大径(cm) | 最小径(cm) | 深埋(cm) | 備考 |
|--------|-----|----|-------|---------|---------|---------|--------------|
| 139号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 250 | 155 | 110 | |
| 149号土坑 | V区 | 3B | 楕円形 | 240 | 150 | 130 | |
| 72号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 215 | 135 | 130 | 7号建 |
| 76号土坑 | IX区 | 3B | (楕円形) | 223 | (140) | 150 85土 | |
| 84号土坑 | IX区 | 3B | (不定形) | (245) | 170 | 120 | 7号建 |
| 111号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 225 | 142 | 123 | |
| 137号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 223 | 170 | 155 | |
| 140号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 245 | 167 | 155 | 135土・P 639 |
| 139号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 240 | 140 | 110 | |
| 139号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 182 | 140 | 122 | |
| 194号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 181 | 127 | 105 | |
| 194号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 182 | 140 | 135 | |
| 210号土坑 | IX区 | 3B | 良方形 | 208 | 158 | 130 | P1197・P 1198 |
| 214号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 190 | 142 | 98 | |
| 218号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 205 | 142 | 130 | P1230 |
| 223号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 190 | 150 | 155 | P1239 |
| 228号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 190 | 165 | 160 | |
| 248号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 180 | 130 | 100 | |
| 254号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 255 | 196 | 115 | |
| 259号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 235 | 160 | 100 | |
| 256号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 165 | 115 | 80 | |
| 260号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 215 | 152 | 122 | |
| 264号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 195 | 140 | 135 | |
| 262号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 195 | 132 | 160 | |
| 263号土坑 | IX区 | 3B | 楕円形 | 260 | 160 | 117 | |
| 285号土坑 | IX区 | 3B | 不定形 | 205 | 205 | 155 | |
| 322号土坑 | 14区 | 3B | 楕円形 | 170 | 130 | 135 | |



第201图 Ⅷ区3面 全体图



第202図 10区3面 全体図



第203图 14区2面·3面 全体图

4 縄文時代の総括

中棚Ⅱ遺跡調査では、濃密な縄文時代集落跡の検出こそ果たせなかったが、中期初頭期～中葉期の土坑、後期前葉段階の水場遺構が調査されている。加えて、上記遺構以外でも包含層や遺構外からも豊富な出土遺物が見られた。ここでは、特徴的な様相を示した遺構と出土遺物の概略を記し、縄文時代の総括としたい。

中期前半期の土坑出土土器について

出土土器が限られた時期を示す土坑を挙げてみる。

Ⅵ区7号土坑では、中期初頭に比定される五領ヶ台Ⅱ式土器がまとまる。

中期前葉段階の土坑としては、Ⅶ区11号土坑と62号土坑で完形個体が出土している。いずれも阿玉台Ⅰa式に比定される深鉢で出土状態も土坑の性格を想起させる例とみなせよう。11号土坑は完形の深鉢(第211図11土1)が土坑上層から横位で、深鉢底部や扁平円礫とともに出土している。62号土坑1(第212図)も土坑上層から中層にかけて斜位に単独で出土した完形の深鉢である。両土坑とも貯蔵穴や墓坑とした性格は特定できないが、明らかに意図的な土器埋置であり人為的な所産と位置付けられよう。このような現象は縄文時代前期末葉あたりから少数ながら見られ中期中葉段階の集落跡で多数見られる出土状態である。土坑内土器埋置という独特の儀礼が吾妻川中流域でも継続した様相として位置付けられよう。

10区79号土坑では中期中葉段階に比定される勝坂2式土器(第213図79土1)、「焼町類型」(第213図79土2～4)が破片状態ながらまとまった出土状態を示している。「焼町類型」はおそらく同一個体であろう。2個体の系統差を見る土器の共存例も中期中葉段階では多くみられる現象である。先に述べた中期前葉段階の意図的な土器埋置儀礼と共に中期土器出土土坑の好例であろう。また、「焼町類型」とした例も近年「五丁歩式」としての位置付けが模索される土器群に近い様相を示す。ただ、口縁部文様帯が設けられておらず、幅狭の口縁部文様帯を持つ「五丁歩式」とは差が見られるため、ここでは「焼町類型」とした。なお、10区162号土坑では阿玉台Ⅰa式が破片出土ながらまとまる。3点とも同一個体か。

このように、中棚Ⅱ遺跡の今回の調査では中期初頭～中葉に比定される土坑より、五領ヶ台式～阿玉台Ⅰa式

土器の良好な出土が見られた。本書第1章でも述べたが、吾妻川中流域において、当該期の集落跡の多くが、長野原町林地区で集中する偏在性が認められている。例えば、上原Ⅱ遺跡(長野原町教委2015)、立馬Ⅱ遺跡(群理文2006)、楡木Ⅰ遺跡(群理文2012)、楡木Ⅱ遺跡(群理文2009)、林中原Ⅰ遺跡(群理文2014)、林中原Ⅱ遺跡(群理文2016・2018)で当該期の土器群が土坑などの遺構より出土している。林地区における中期前半期の集落集中傾向は特筆すべき特徴といえよう。ただ、最近の調査では対岸の横壁地区でも阿玉台Ⅰa式土器などの該期土器群のまとまった出土が知られる。あるいは高標高地点や痩せ尾根状の台地に当該期の居住痕跡が選地される傾向も重視しなければならぬ。しかしながら、中棚Ⅱ遺跡は吾妻川左岸中位段丘面及び下位段丘面からなり、上記遺跡群は最上位段丘面あるいは山地斜面に立地する。遺跡の立地からも本遺跡の在り方は林地区中期前半期集落跡との立地とも大きな差が認められる。特に土坑遺地においても、山地斜面・最上位段丘面の在り方と中位段丘面の在り方に差が見られるのか、本遺跡の資料を加えて今後の資料増加とさらなる検討が望まれる時期である。

後期前葉期の水場遺構について

次に、Ⅵ区で調査された水場が特徴的な在り方を示す。溝状の遺構底面に不規則ながら意図的な敷石がなされ、平坦面を築く。覆土からは土器片が大量に出土しており、捨て場などに見る一括廃棄の所産と捉えられた。水場として特徴的な木組み遺構やトチノキやクルミなどの種子の出土は見られなかったが、これは今回の調査区が乾燥性の土壌のための有機物逸失によるものと判断されよう。溝状遺構の底面の敷石を中心に、小規模な水さらしや調理行為が行われたと推定され、多量の出土土器からも、遺構としての位置付けが妥当と捉えた。なお、調査当初は水場遺構としての位置付けがなされ、調査中に「流路」とされた遺構であるが、整理作業を経て、再度水場としての評価を定めておきたい。

出土土器からみる時間幅は中期末葉から後期後葉ながら、主体をなす土器は堀之内Ⅰ式土器で、水場としての帰属時期は後期前葉の所産と位置付けて良いだろう。完形の出土は見られず破片を主体とする。特に深鉢・鉢など煮湯具の出土が目立ち、浅鉢、注口土器などの器種の

出土は極めて客体的である。器種の偏りが見られる傾向は、水場としての性格が反映されたのか、あるいは地域性なのか極めて興味深い。

その他の出土土器として特筆される資料として、新潟県域での出土が知られる十三本塚北類型(柏崎市教委2001・品田2002)が挙げられよう(206図20)。縄文施文が見られず新潟県域との差があるが、ここでは在地化した様相として考えておきたい。

さて、周辺遺跡における水場遺構の在り方だが、長野原町内では西久保1遺跡(群理文2002)で中期の水場が調査されており、これは後期以降の水場との差があり検討を要する。しかしながら、当地域の縄文時代遺構を低地にも求めた水場遺構としての性格付けは評価されよう。同時に横壁中村遺跡(群理文2012)では、集落内埋没河道として中期後葉～後期前葉段階を主体とした低地調査を行なっている。出土遺物は多量の土器と石器を主体としており、木製品や種実などの有機物遺物は出土していない。そのためこの調査では、水場遺構としての位置づけを行っていないが、広義の低地遺構であり、本遺跡と同様に水場としての位置付けも検討すべきであろう。

当地域で良好な水場遺構として位置付けられた調査を行ったのは石川原遺跡で、石組み遺構内に後期後半段階から晩期前半段階の遺物が集まる。種子類の出土も見られ、充実した資料内容を誇る。また下流域の東吾妻町になるが唐堀遺跡でも良好なトチノキ堆積層が水場遺構と共に検出されている。時期はやはり後期後半から晩期後半にかけての所産と捉えられよう。石川原遺跡、唐堀遺跡ともに整理途中の遺跡のため詳細は控え報告書刊行を待ちたい。周辺県の水場遺構としては長野県中野市栗林遺跡(長野埋文1994)や埼玉県赤山陣屋跡遺跡(川口市2005)、栃木県寺野東遺跡(栃木埋文1997)等が著名であり良好な木組み遺構等が調査・報告されている。県内では月夜野町矢瀬遺跡(月夜野町教委2005)や榛東村茅野遺跡の後期～晩期の水場遺構が知られる。また、堀之内2式段階ではあるが吾妻川と利根川の合流点に近接する渋川市吹屋三角遺跡(群理文2007)では小規模ながら出土土器や木製品の出土が低地に集中する様相を示していた。

各地域、各遺跡で水場遺構として調査・報告がなされているが、各々時期・地域との差が見られ、水場遺構とし

ての性格は多岐にわたるものと思起される。単なる植物性種実のアク抜きを目的とした施設ではなく、調理場あるいは動物性食料の解体場など複雑な様相も想定できよう。その中で本遺跡の水場遺構としての「流路」は煮沸具としての深鉢・鉢に器種の隔たりが存在し、多くの個体に被熱痕跡があることから、水場周辺での調理行為も想定しておきたい。

当地域とその周辺でも縄文時代水場遺構が調査されている。今後は縄文時代後期～晩期遺跡において、集落構成施設として水場遺構を加えるべき遺構として位置付けなければならないだろう。

遺構外出土土器について

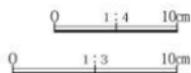
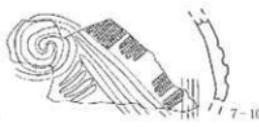
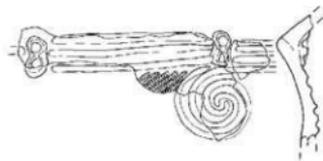
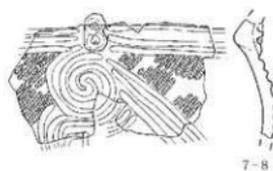
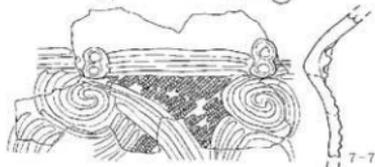
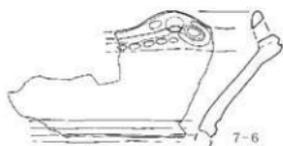
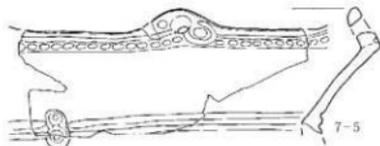
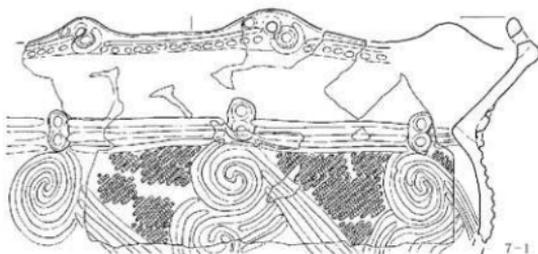
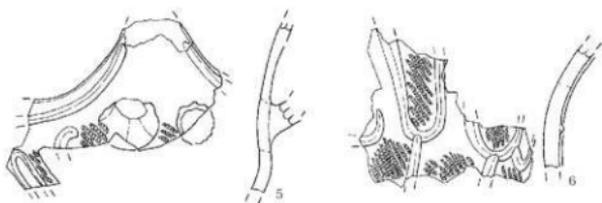
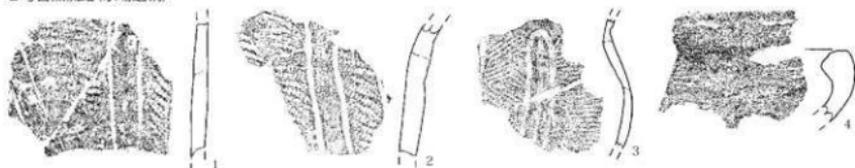
遺構外出土土器としては、早期の鶴ヶ島台式から前期黒浜式、諸磯b式、中期阿玉台I a式、勝坂2式、後期堀之内1・2式、加曾利B1式、B3式、高井東式などを見るが、主体をなす土器群は遺構出土に伴い阿玉台I a式と堀之内1式が量を占める。その中で、14区で瘡付第2段階相当の注口土器頸部破片(第219図115)の出土を見る。おそらく搬入品であろう。また、(第218図90～95)は弥生時代前期～中期に比定される甕であろう。

ここでは、中棚Ⅱ遺跡の縄文時代資料のうち中期前半期の土坑の在り方と後期前葉の水場遺構の側面を示した。本遺跡は大型の縄文集落遺跡ではないが、個々の遺構・遺物は多くの問題点や課題を含む。今後周辺遺跡を含めた縄文時代研究において、本遺跡の資料も併せて活用されることを望みたい。

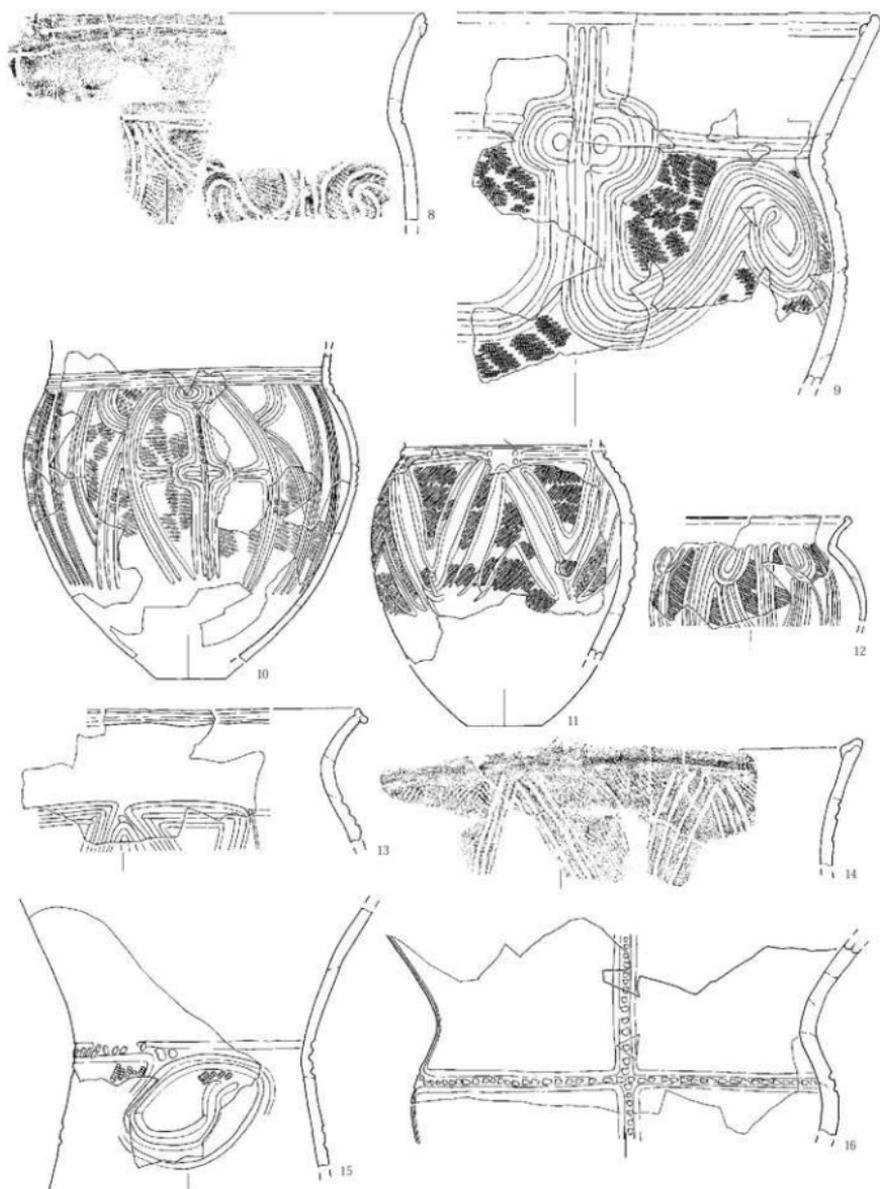
参考文献

- 柏崎市教育委員会 2001 「十三本塚北」 柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第37集
川口市遺跡調査会 2005 「赤山陣屋跡遺跡」
(財)栃木県文化振興事業団 1997 「寺野東遺跡V」
(財)長野県埋蔵文化財センター 1994 「栗林遺跡・七瀬遺跡」
品田高志 2002 「新潟県における縄文後期前期の土器群—柏崎市十三本塚北遺跡を中心として—」第15回 縄文セミナー後期前半の再検討pp.173-202 縄文セミナーの会
月夜野町教育委員会 2005 「上原北部遺跡群Ⅱ 矢瀬遺跡」
長野原町教育委員会 2015 「上原Ⅱ遺跡」林地区遺跡群

2号自然流路(水場遺構)

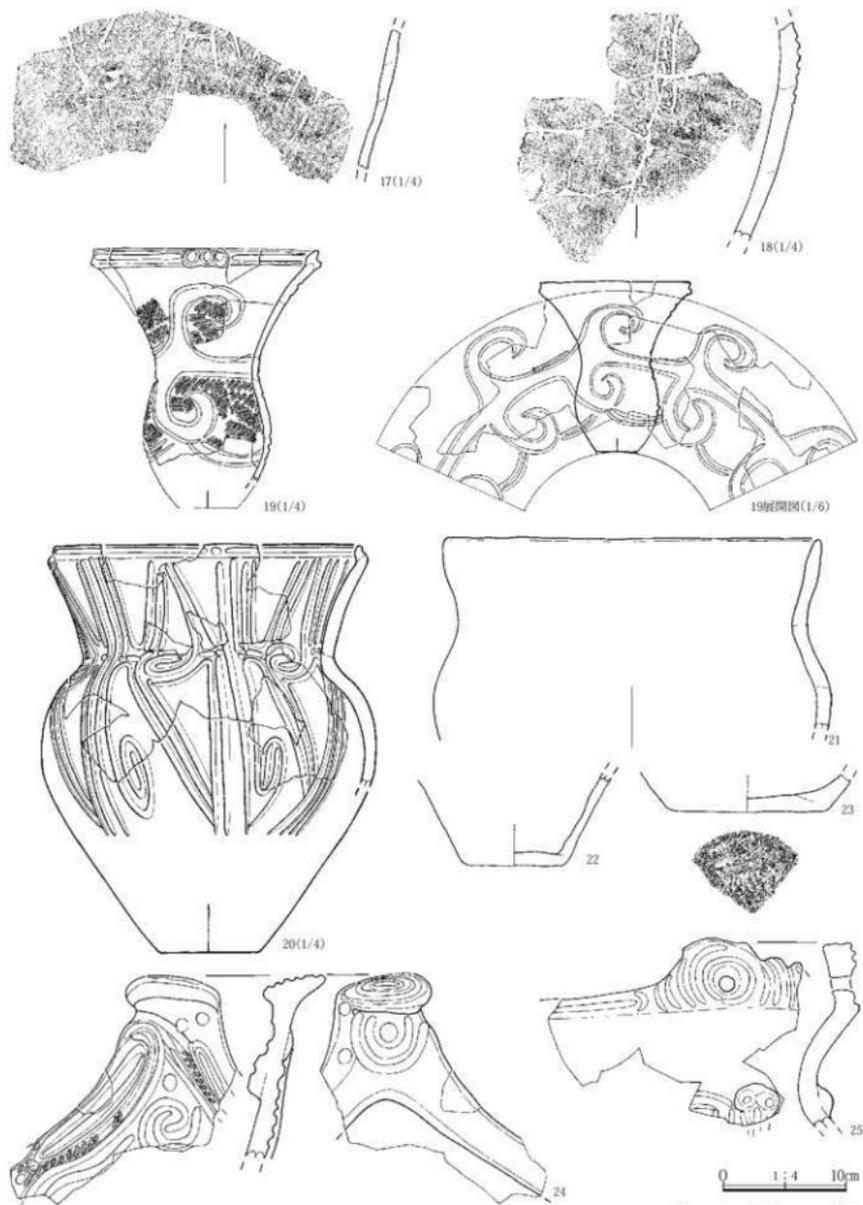


第204図 縄文時代出土遺物(1)

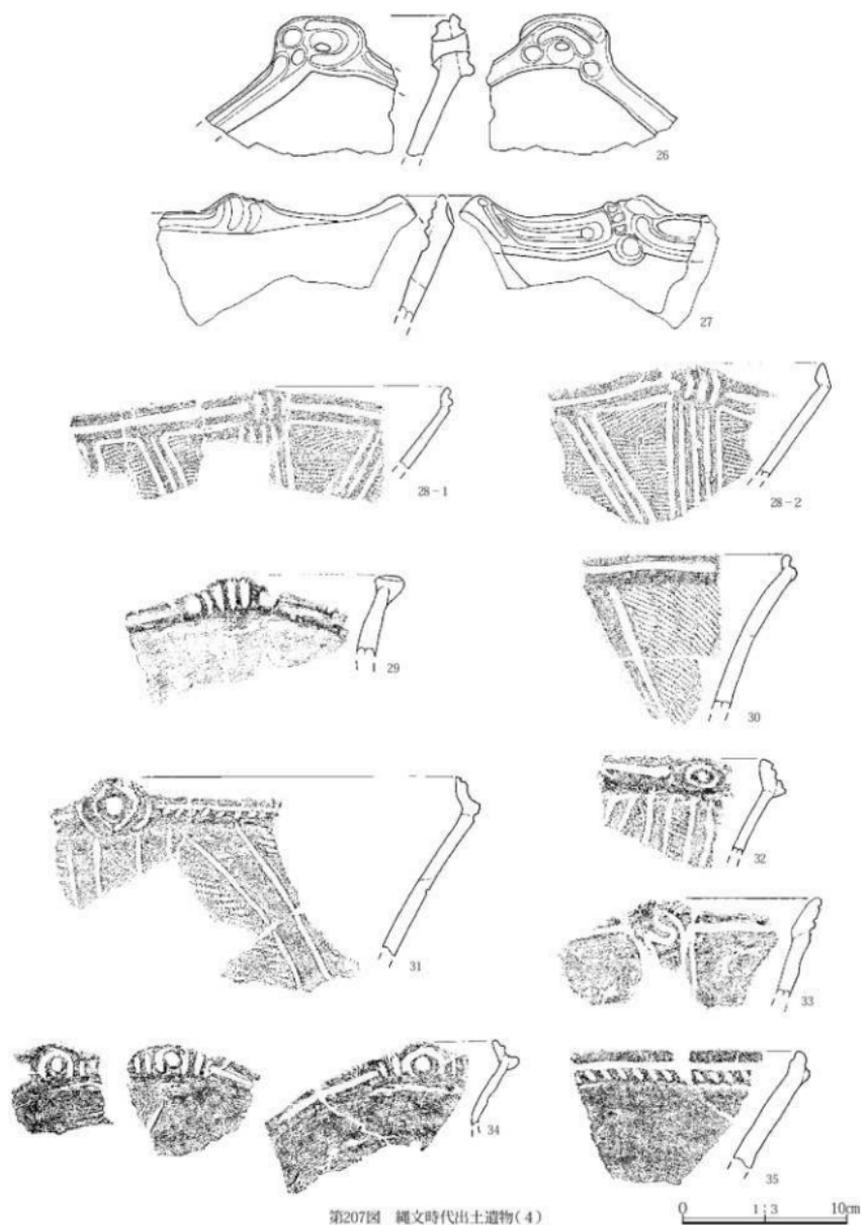


第205図 縄文時代出土遺物(2)

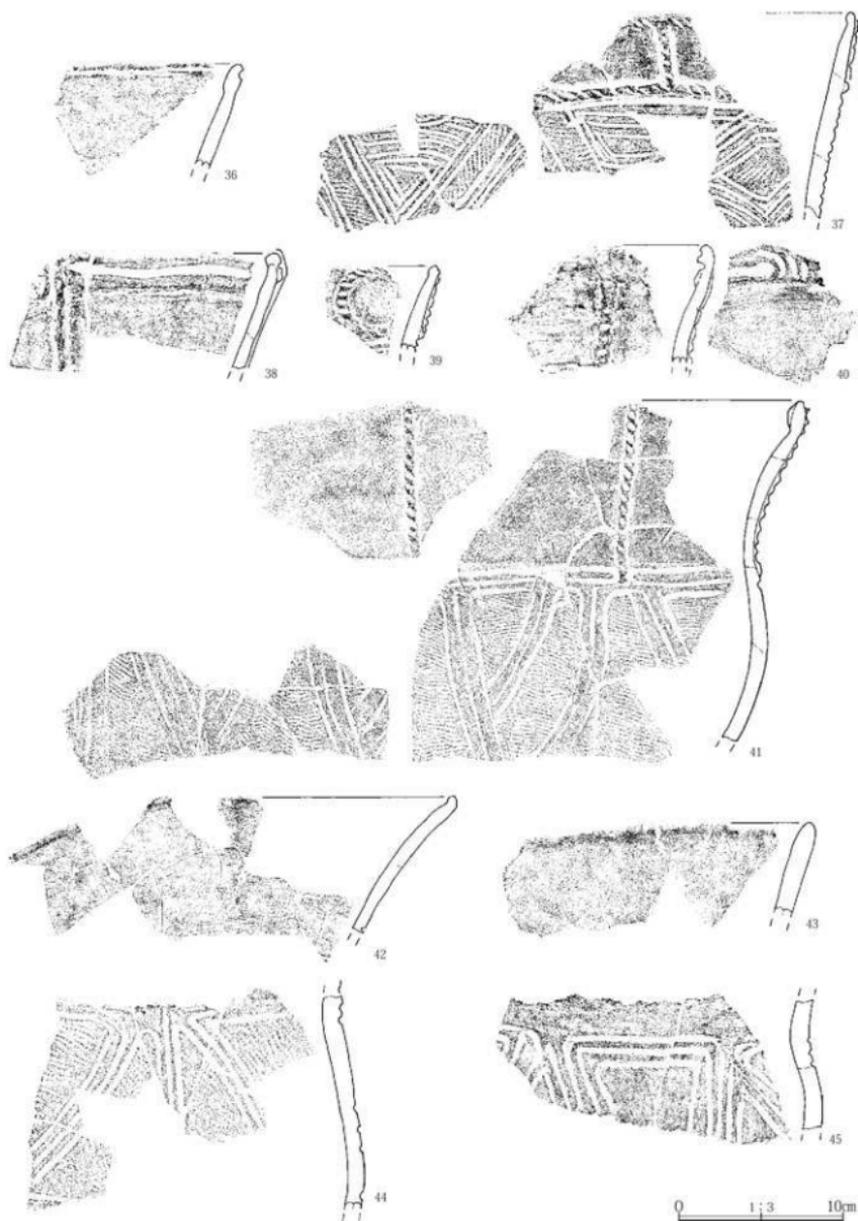
0 1:4 10m



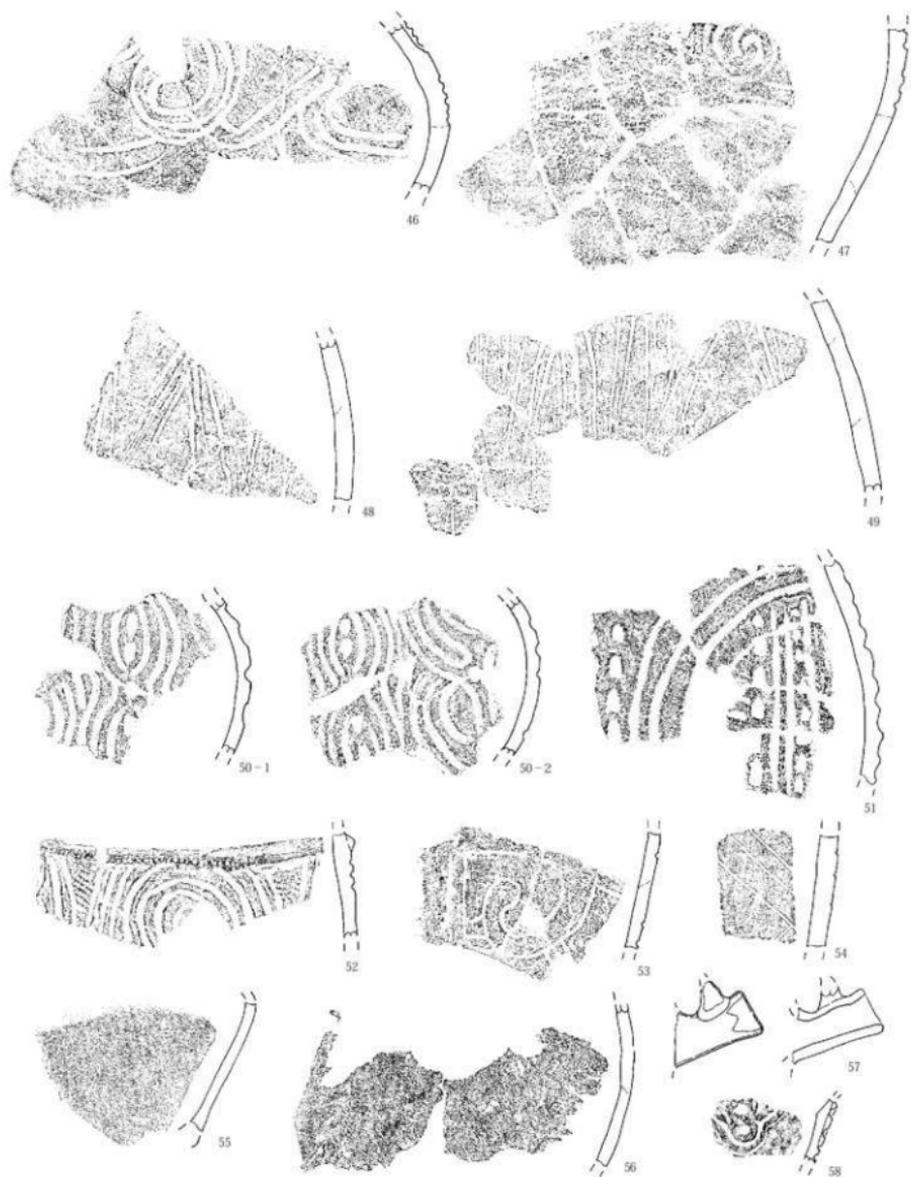
第206図 縄文時代出土遺物(3)



第207图 縄文時代出土遺物(4)

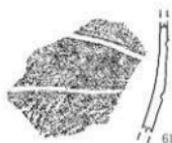
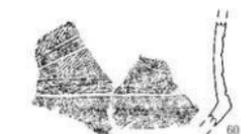


第208図 縄文時代出土遺物(5)



第209図 縄文時代出土遺物(6)

0 1:3 10cm

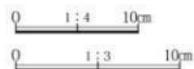
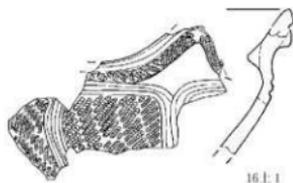
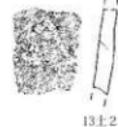
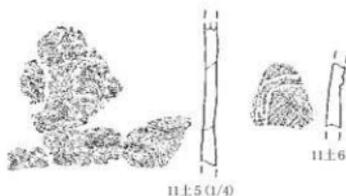
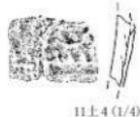
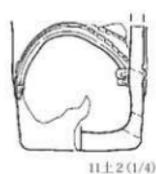
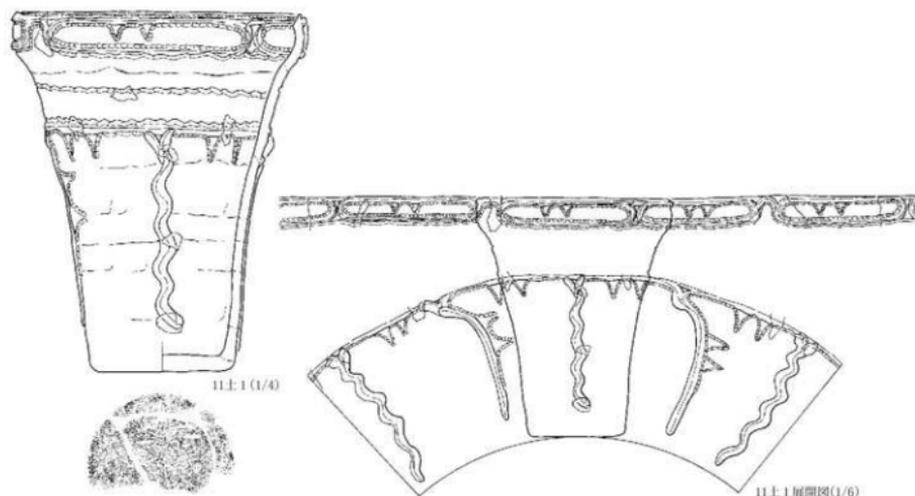


土坑・陥し穴・ピット

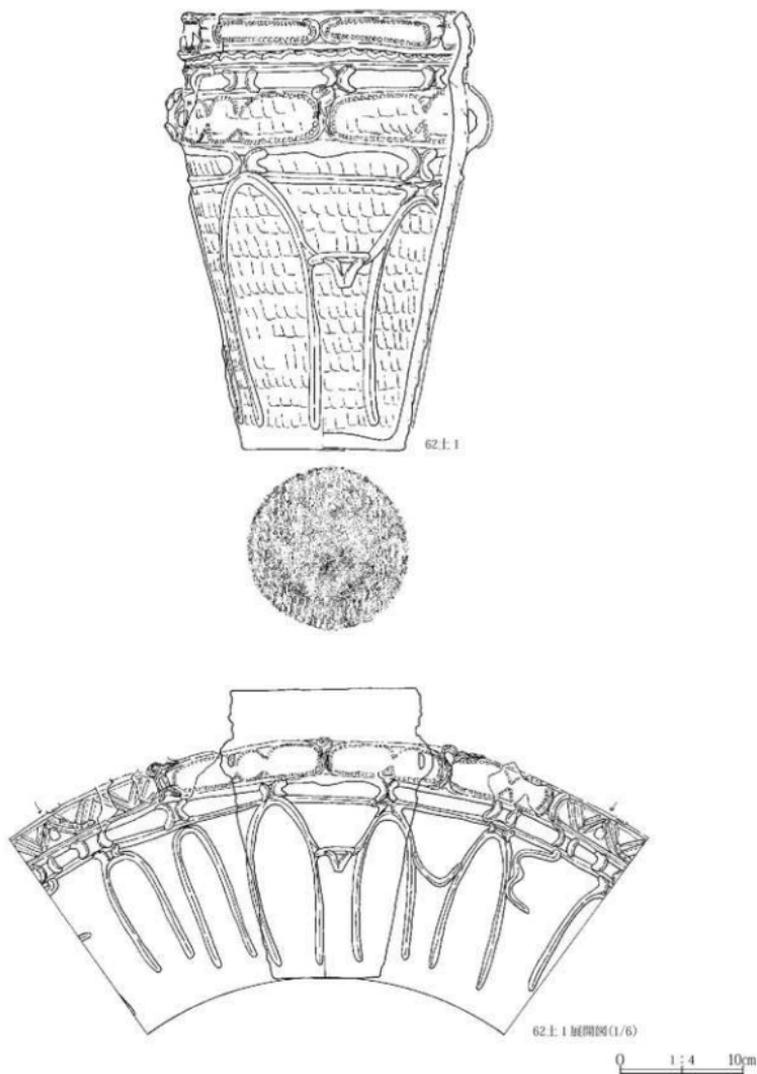


第210図 縄文時代出土遺物(7)

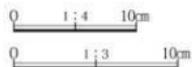
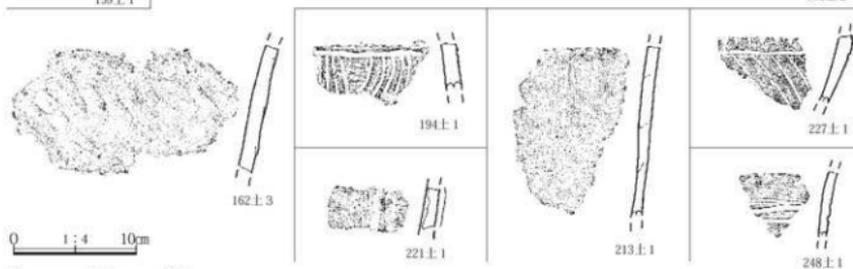
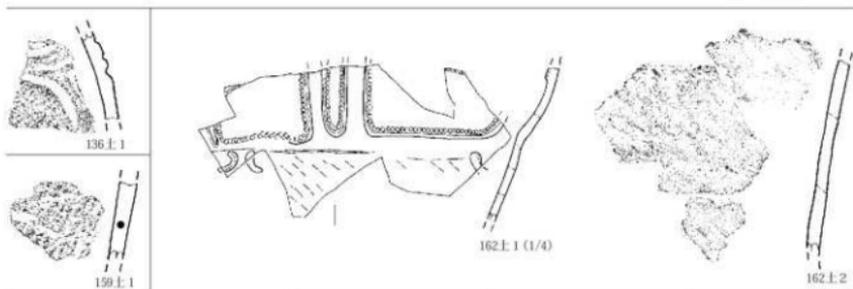
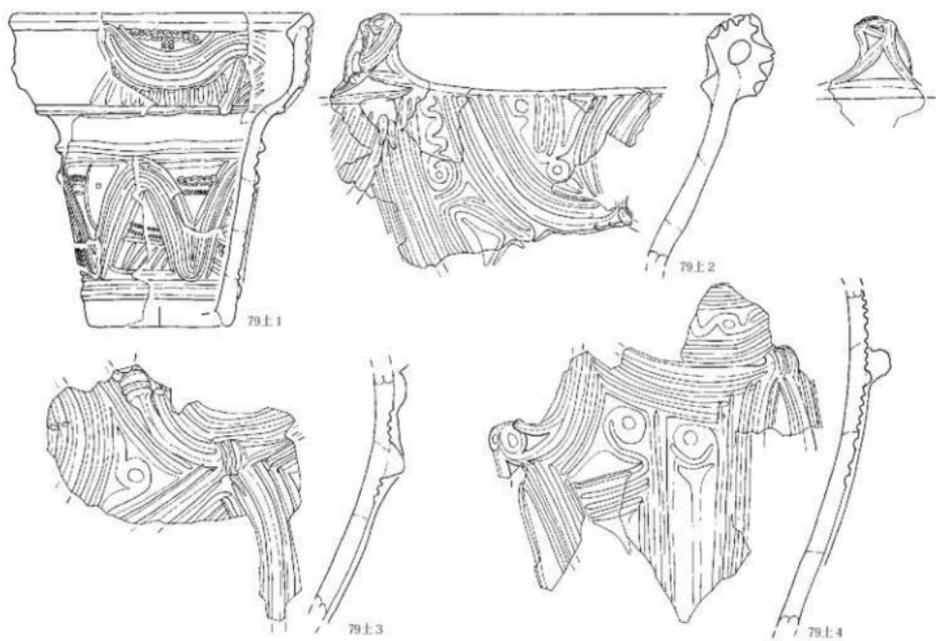
第4章 中繩II遺跡



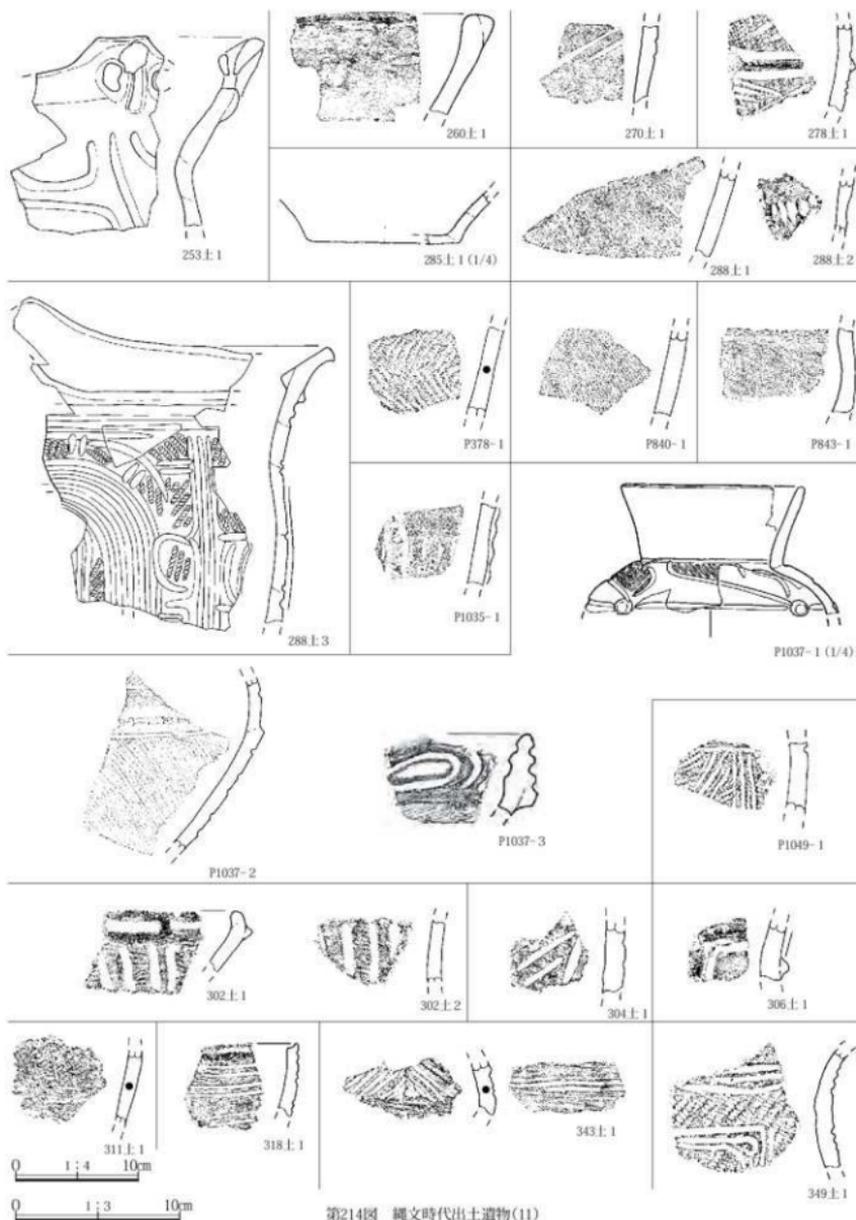
第211圖 縄文時代出土遺物(8)



第212図 縄文時代出土遺物(9)

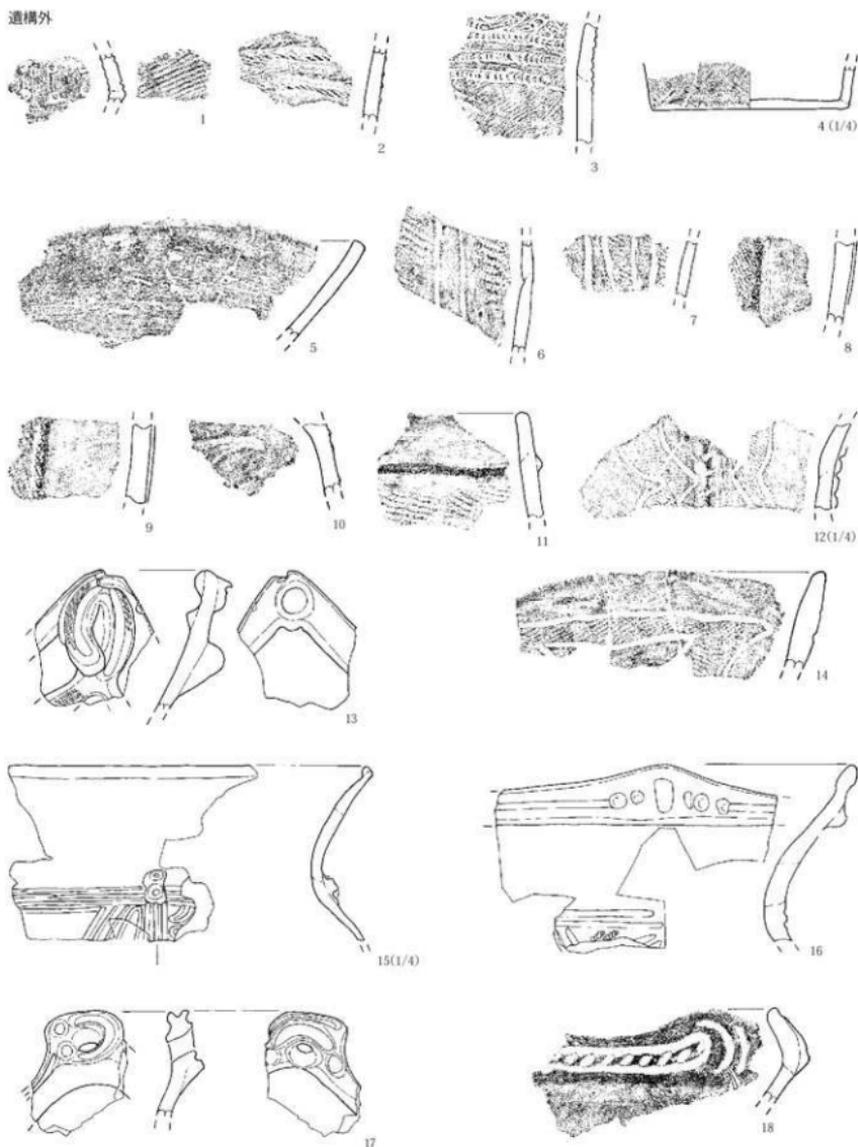


第213図 縄文時代出土遺物(10)

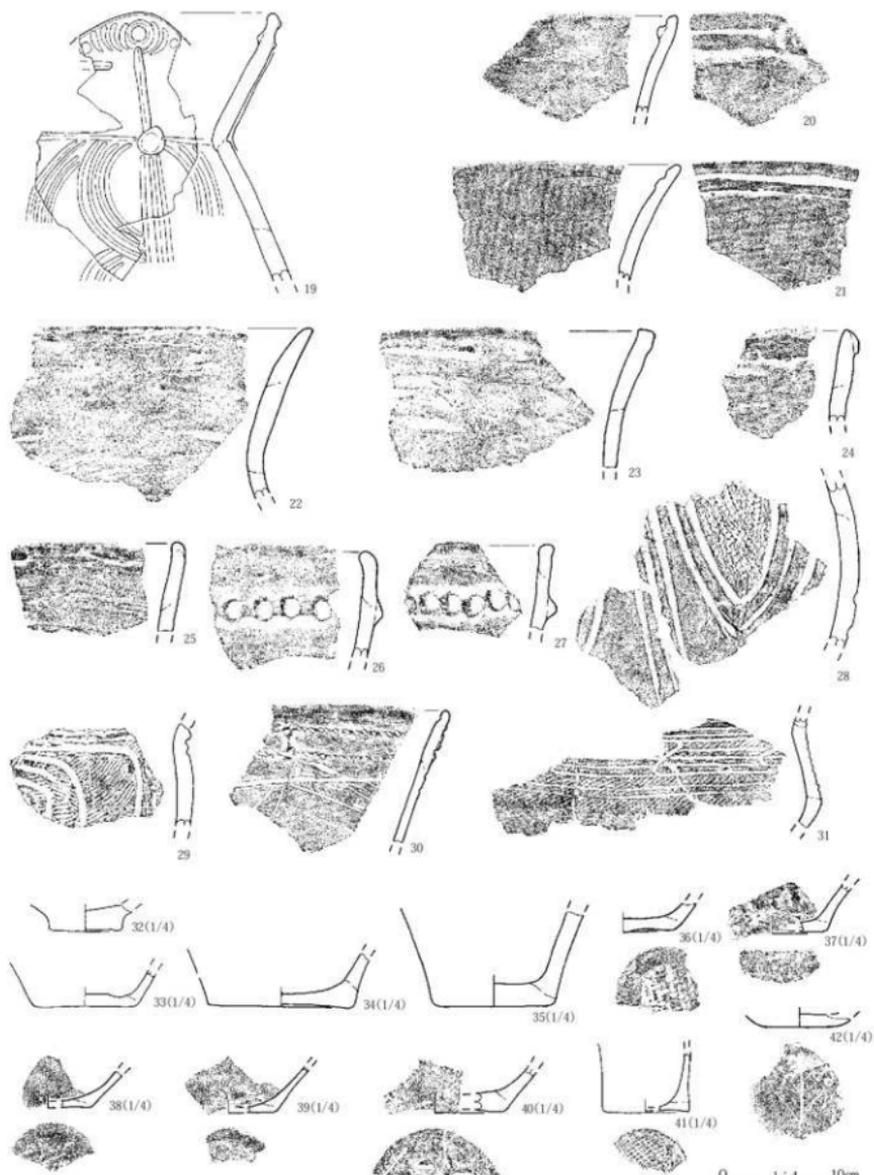


第214図 縄文時代出土遺物(11)

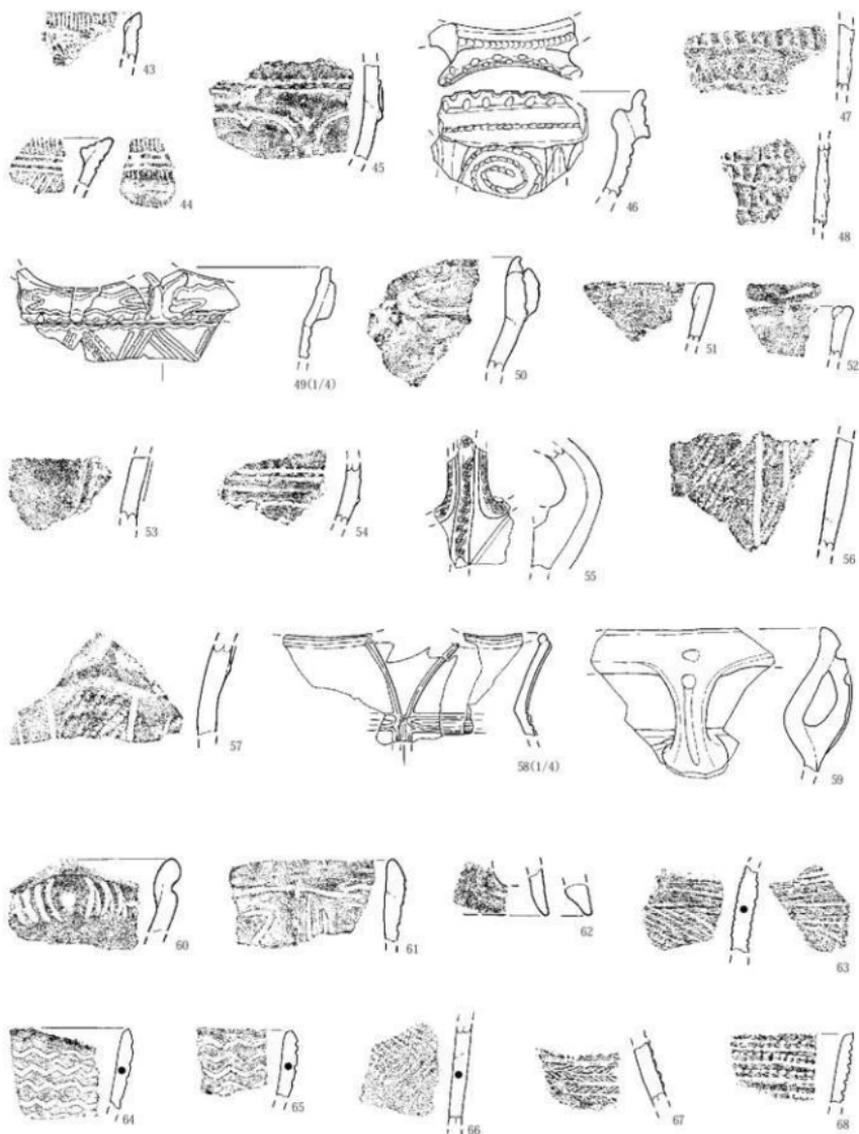
遺構外



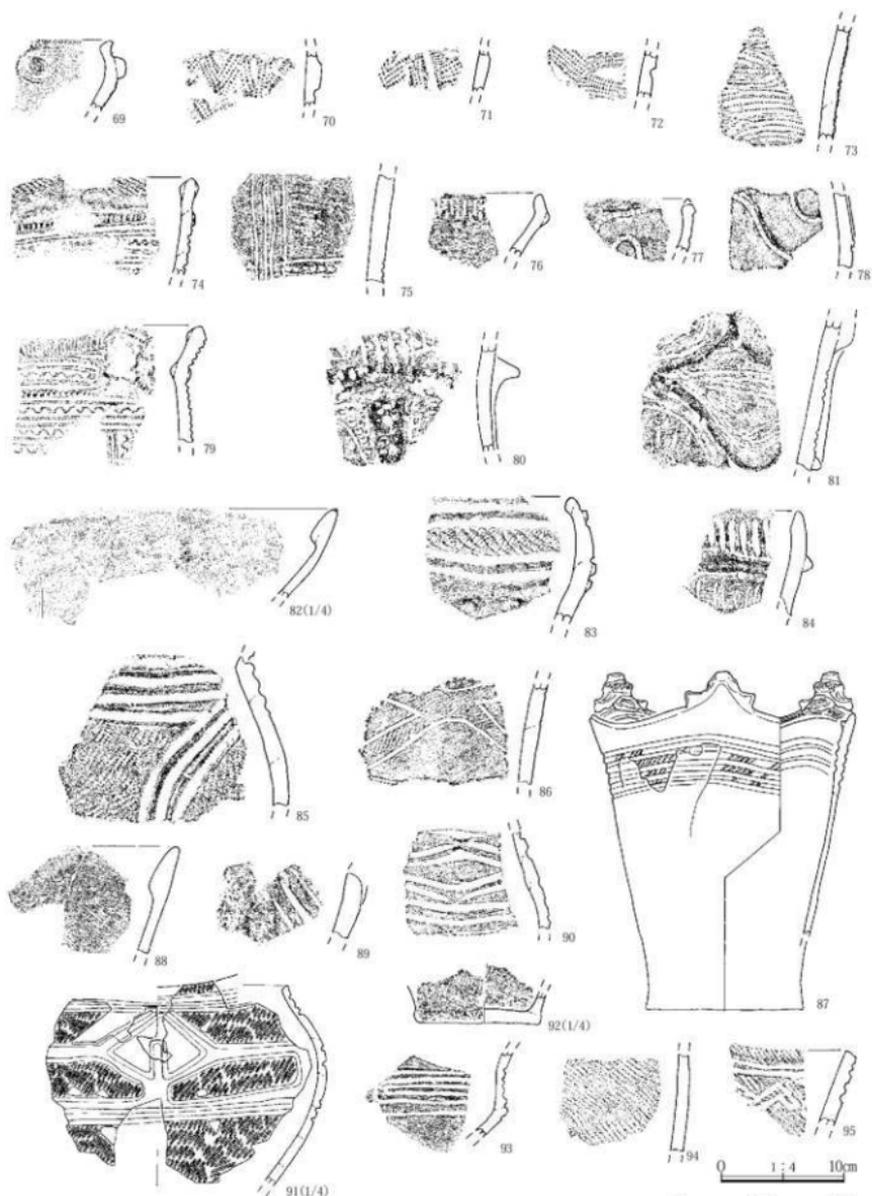
第215図 縄文時代出土遺物(12)



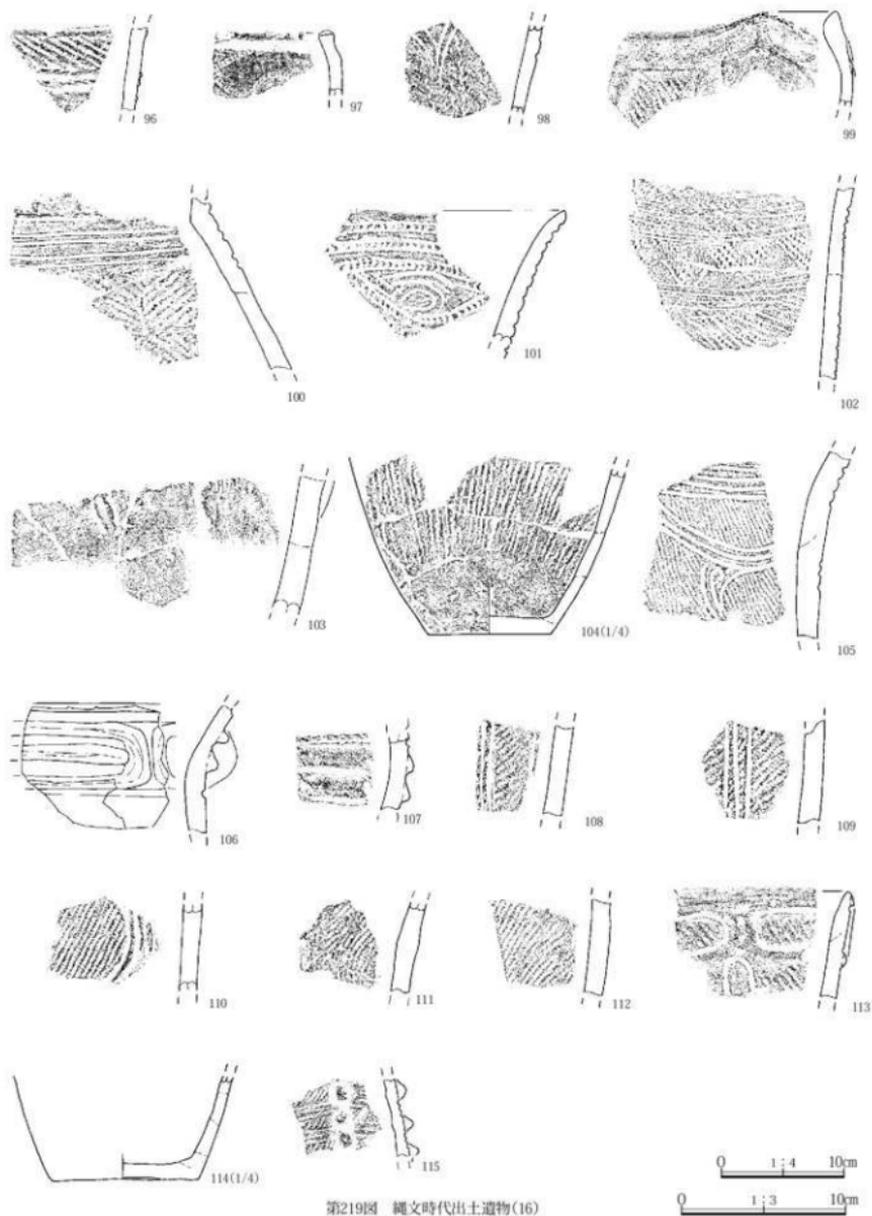
第216図 縄文時代出土遺物(13)



第217図 縄文時代出土遺物(14)



第218図 縄文時代出土遺物(15)

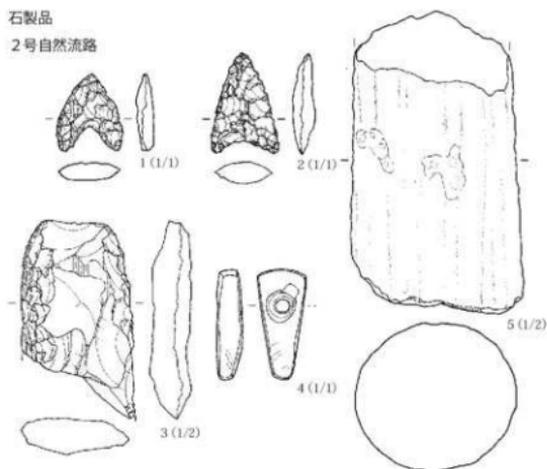


第219図 縄文時代出土遺物(16)

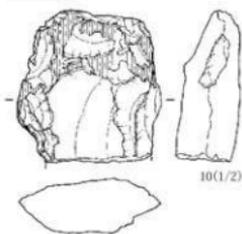
第3節 検出された遺構と遺物

石製品

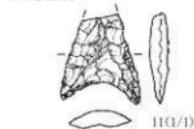
2号自然流路



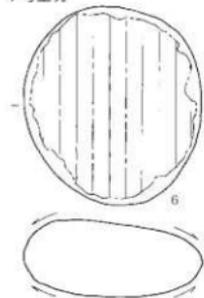
191号土坑



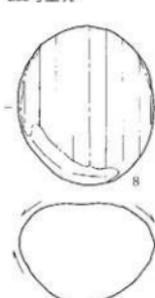
228号土坑



7号土坑



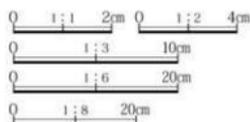
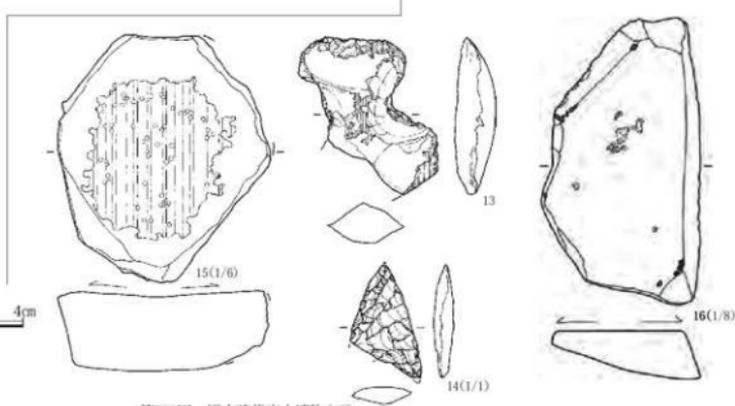
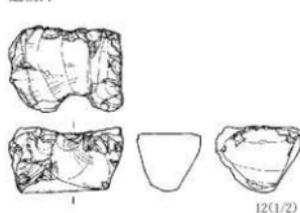
288号土坑



P 33



遺構外



第220図 縄文時代出土遺物(17)

5 縄文時代出土遺物観察表

第35表 2号自然流跡(水場道構)遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 保存率 | 計測値 | 土質/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|----------------------------|----------|--|---|----------------|
| 第2048区 PL.90 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 底部破片 | | 粗・石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 2条の縦位沈跡に画された幅狭の磨湾形懸垂文構成。施文部は縦位・斜位を充填する。内面平滑な態で調整 | 加曾利EⅢ式 |
| 第2048区 PL.90 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 窪地 底部破片 | | 粗・輝石・白色粒・ 褐色粒/良好/灰褐色 | 縦位沈跡2条に画された施文部と磨湾部による懸垂文構成。施文部縦位は縦位L R充填施文。磨湾部及び内面は平滑な態で調整 | 加曾利EⅢ式 |
| 第2048区 PL.90 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 底部破片 | | 細・石英・輝石/良 好/にぶい黄褐色 | 頸部で外反し体部下半に内湾を持たせる。薄手の器厚。沈跡による逆U字状懸垂文中位に1条の垂下沈跡を埋める。縄文はL R充填施文。内面平滑な態で調整 | 加曾利EⅣ式 |
| 第2048区 PL.90 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 上縁部破片 | | 粗・石英(多)・輝石 /良好/褐色 | 口縁部が肥厚する内湾口縁部。無文で内外面とも横位態で調整 | 中期後葉 |
| 第2048区 PL.90 | 5 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁・体部破片 | | 粗・石英(大)・輝石 /白色粒・褐色粒/ 良好/褐色 | 流状縁。波頭部より横状把手が咬込に付される。口縁部隆縁を設け、体部は逆U字状意匠を配す。内面削り、態で調整 | 加曾利EⅣ式 |
| 第2048区 PL.90 | 6 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 粗・石英・褐色粒/ 良好/にぶい赤褐色 | 体部中位。隆縁によるU字状意匠下端より隆縁が懸垂する無縁な態で。縄文は縦位L R充填施文。内面横位態で調整 | 加曾利EⅣ式 |
| 第2048区 PL.90 | 7 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・甕上 口縁部・体部上 半破片10点 | □ (52.4) | 細・石英・輝石・白 色粒/良好/灰黄褐色 粒/明黄褐色・にぶ い黄褐色・浅黄色 ・にぶい黄色 | 大型深鉢。波状突起を6単位以上を有する。頸孔し文と縦線文を配す。口縁部沈跡、胴部陶文を配す。胴部に3条の横位沈跡と8字状唇付文を設け、体部は沈跡による垂湾巻文を上下に配し斜位沈跡文3条で繋ぐ。縄文は横位L R充填施文。内面研磨を加える | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 8 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁・体部破片 | □ (42.0) | 細・輝石・褐色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 口縁部に円文と横位沈跡を設ける。頸部は縦位隆縁を付し体部と繋ぐ。胴部は横位沈跡2条で画し体部は太い沈跡による平滑巻状意匠や弧状区画を配す。縄文はL R充填施文。内面は平滑な態で調整 | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 9 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・甕上 口縁・体部破片 | □ (48.4) | 細・石英・白色粒/ 良好/にぶい褐色 | 幅広い無文口縁部。口唇部内面に横位凹縁を施す。頸部胴部に横位沈跡2条を設け円文と垂湾巻文を配す。体部は沈跡による大柄な垂湾巻文を配し斜位沈跡部で繋ぐ。L Rを充填施文する。内面横位研磨を施す | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 10 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部のみ残存 | | 細・石英・輝石・白 色粒/良好/明褐色 | 内湾する体部。頸部沈跡3条を設け以下円文と弧状沈跡を意匠文として弧状沈跡や斜位沈跡、垂湾巻文を配す。体部はL R充填施文。内面削り、研磨。外面体部下半部熟による変色 | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 11 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部上半1/3残存 | | 細・石英・輝石/良 好/明褐色 | 横位隆縁と円形刺突文を頸部に設け、体部は斜位沈跡による分岐懸垂文が下半で連続し区画文化する構成を見せる。地文はL Rを施す。体部下半及び内面は研磨を加える | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 12 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁部破片 | □ (16.0) | 細・石英粒・雲母 (少)/良好/灰黄色 | 平縁の小型深鉢。口唇部内面。口縁・頸部無文で研磨を加える。体部は縦位沈跡3条や弧状意匠、垂湾巻文が配される。縄文は縦位L R。内面は削り、研磨を施す | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 13 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁部破片 | □ (38.6) | 細・石英・輝石・白 色粒/良好/灰黄褐色 | 口縁部縦位沈跡を設け頸部は無文で平滑な態を施す。体部は太い沈跡数条に画された幾何学状意匠が配される。内面無文で、器面摩滅 | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 14 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁・体部1/4 残存 | □ (48.0) | 粗・石英・輝石・白 色粒・褐色粒/良好 /暗褐色 | 小型の波状突起を付す。体部は太い斜位沈跡を相向かい、揃し大柄の山形文を配す。縄文はL R充填施文。口縁部内面は円文と横位沈跡。体部は削り、態で調整 | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 15 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 頸部1/2残存・体 部破片 | | 細・輝石・白色粒/ 少や軟質/にぶい 褐色 | 頸部外反。胴部に横位沈跡と横位刺突文を設ける。体部は2条の沈跡による垂湾巻状意匠が配される。L Rを施す。外縁部摩滅。内面削り、研磨 | 堀之内I式 |
| 第2058区 PL.91 | 16 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 頸部・体部1/3 残存 | | 粗・石英粒・輝石・ 褐色粒/良好/暗褐色 | 頸やかに頸部が括れる。2条沈跡で画された幅狭施文部が体部上半で交差する。おおよそ4単位分。施文部は大柄な連続刺突文を充填する。内面削り、態で調整 | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.91 | 17 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 粗・石英・褐色粒/ 良好/褐色 | 体部下半。2・3条の沈跡による分岐懸垂文下地を見る。外面縦位研磨。内面平滑な態で調整。煤が付着する | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.92 | 18 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 粗・輝石・白色粒・ 褐色粒/良好/明赤 褐色 | 体部下半。沈跡で画された縦位長楕円状区画内を刺突文が充填される。他は無文で研磨を施す。内面は横位態で調整 | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.92 | 19 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁・体部1/3 残存。底部欠損 | □ (18.6) | 細・石英粒・白色粒/ 良好/にぶい、褐色 | 口縁部円文3と横位沈跡を設ける。体部は沈跡で画された磨湾部による垂湾巻文を上下に帯に配す。施文部縦位はL R充填施文。内面平滑な態で調整。口縁部体部とも3単位を推定した | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.92 | 20 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・甕上 口縁・体部1/3 残存 | □ (25.0) | 細・石英・輝石・白 色粒/良好/暗褐色 | 体部下半で強く屈曲する。口縁部幅で円文と横位沈跡を施す。体部は縦位沈跡による懸垂文構成で胴部に円文と垂湾巻状意匠を配し斜位沈跡が意匠下端より派生する。内面平滑な態で調整。器面摩滅。 | 異系統か 十三塚北塚式 |
| 第2068区 PL.92 | 21 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁・体部1/3 残存 | □ (30.0) | 細・輝石・白色粒・ 褐色粒/良好/暗赤 褐色 | 平滑で頸部で緩やかに括れる。無文で外面及び口縁部内面とも研磨を施す。体部内面は平滑な態で調整 | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.92 | 22 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部のみ残存 | 底 8.0 | 細・石英・輝石・雲 白色粒/良好/明黄 褐色 | 薄手の器厚を呈し。直線的に開く体部下半。無文で平滑な態で調整。内面は横位削り調整に止まる | 堀之内I式 |
| 第2068区 PL.92 | 23 | 縄文土器 深鉢 | 中州 底部破片 | 底 (12.4) | 粗・石英・白色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 強く開く体部下半。無文で内外面とも削り、態で調整を施す | 堀之内I式 |

| 種目 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成色/調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|--------------------------------|-----|--------|--|----------------------------------|--|-------|
| | | | | | | | | | |
| 第2060図 PL.92 | 24 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・黒褐色(少) /暗褐色 | 波状縁波頂部突起。口縁部は隆線による楕円状区画文、波頂部下は沈線による渦巻文や円文が配される。隆線側縁は沈線、隆線上にL Rを重ねる。波頂部上端は沈線環状文、内面は平環状意匠や円文が配される。内面平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2060図 PL.92 | 25 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:輝石・白色粒/ 良好/赤褐色 | 貫孔する環状突起を付し弧状隆線により張り状の意匠を接続する。口縁部沈線をつける。頸部は無文で、屈面部は円文を付した環状付文より低い距離2条を垂下し、弧状沈線や縦位沈線が施される。内面平滑な撫で調整。被熱痕跡を見る | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 26 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 細:輝石・白色粒/ 良好/黒褐色 | 波頂部に環状突起を付す。中位が貫孔し、内外面とも円文と弧状沈線が施される。外面は口縁部沈線をつける。内外面とも丁寧な研磨を加える | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 27 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・褐色粒/ 良好/明褐色 | 波状縁。外面波頂部に弧状沈線と口縁部沈線。体部は無文で研磨を施す。内面口縁部は波頂部に刺突文や円文、弧線を加え、波底部に沈線による楕円状意匠を配す。体部は弱い研磨 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 28 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片2点 | | | | 細:石英・輝石/良 好/灰褐色・にぶい 黄褐色 | 波頂部に弧線文、口縁部縦位沈線をつける。体部は縦位沈線部と斜位沈線による3角区画意匠を配す。縄文はL R充填施文。内面平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 29 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・腹上 口縁部破片 | | | | 細:石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 口縁部内屈し円文と横位沈線をつける。波状突起には縦位短沈線を重ねる。頸部は無文で内外面とも弱い研磨を施す | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 30 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・腹上 口縁部破片 | | | | 細:石英・白色粒/ 良好/にぶい褐色 | 口縁部内屈。口縁部横位沈線と円形刺突文。体部は斜位沈線部に両された磨消部と施文部。磨消部及び内面平滑な撫で、施文部は縦位L R充填施文 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 31 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・輝石・褐 色粒/良好/にぶい 黄褐色 | 扁平な環状突起に円文と弧線を配す。口縁部沈線と屈面部朝みを設け体部は縦位沈線と斜位沈線に両された施文部と磨消部の懸垂文構成か。施文部縄文はL R充填。磨消部及び内面は撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 32 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・褐色粒/ 良好/黄褐色 | 口縁部或状突起に沈線による重円文を配し内端より円文と横位沈線が派生する。体部は縦位沈線による施文部と磨消部の交互配列で施文部はL Rを充填する。内面は平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.92 | 33 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・チャート /やや軟質/にぶい 黄褐色 | 口唇部沈線をつけ、波状突起に沈線による渦巻文を配し下部より縦位沈線2条が懸垂する。内面粗研磨 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.93 | 34 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片3点 | | | | 細:輝石・白色粒/ 良好/明褐色 | 小型深鉢。口縁部内屈し頸部外反。口縁部沈線をつけ波頂部に円文と弧状沈線を施す。頸部は無文で研磨を施す。内面平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2070図 PL.93 | 35 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 細:石英・白色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 口縁部沈線をつけ、口縁部屈面部に朝みを付す縦位隆線を付す。頸部は無文で内外面とも平滑な撫で調整を施す | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 36 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:輝石・褐色粒/ 良好/黄褐色 | 強く開く。口唇部沈線を設け他は無文。内面撫で調整、器面磨 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 37 | 縄文土器 深鉢 | 中州・腹上・ト レンチ 口縁部・体部破 片 | | | | 粗:輝石・白色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 口縁部は横位隆線と両された縦位隆線を付す。口唇部及び隆線には斜位朝みを加える。体部は数条の沈線と両された幾何学文構成。L Rを充填施文する。内面平滑な撫で調整 | 腹之内2式 |
| 第2080図 PL.93 | 38 | 縄文土器 深鉢 | MI区 口縁部破片 | | | | 細:石英・輝石/良 好/褐色 | 口縁部沈線をつけ、重下隆線やU字隆線を付す。頸部は無文で内外面とも弱い研磨を施す | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 39 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・輝石・白 色粒/良好/灰褐色 | 口縁部に朝みを付す弧状隆線を付す。以下縦位沈線が流る。内面平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 40 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 細:石英・白色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 波頂部より朝みを付す隆線が垂下する。内面は弧状沈線3条と円文、横位沈線を施す。内面横位研磨。内面横位撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 41 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・腹上 口縁部・体部破 片3点 | | | | 粗:石英・輝石・白 色粒/褐色粒/良好 /にぶい褐色 | 波頂部より朝みを付す隆線が頸部に垂下する。頸部に2条の横位沈線を設け以下斜位沈線と弧状沈線による区画状意匠が配される。縄文はL R充填施文。内面は平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 42 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部/4残存 | 口 | (35.8) | | 細:石英・白色粒/ 良好/黒褐色 | 口唇部内屈。口縁部は外反し無文。内外面とも平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 43 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 口縁部破片 | | | | 細:石英・輝石・白 色粒/良好/明褐色 | 強く開く。無文で内外面とも平滑な撫で調整を施す | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 44 | 縄文土器 深鉢 | 中州・窪地 口縁部・体部破 片 | | | | 粗:石英・輝石・白 色粒/良好/褐色・ 明赤褐色 | 体部上半分。2・3条の沈線に両された幾何学状意匠。縄文はL R充填施文。内面弱い撫で調整 | 腹之内1式 |
| 第2080図 PL.93 | 45 | 縄文土器 深鉢 | MI区 体部破片 | | | | 粗:石英・輝石・白 色粒/褐色粒/良好 /褐色 | 体部上半分。3条の横位沈線以下斜位沈線による分岐懸垂文か。内面弱い研磨を施す | 腹之内1式 |
| 第2090図 PL.94 | 46 | 縄文土器 深鉢 | 腹上 体部破片 | | | | 粗:石英・輝石/良 好/褐色 | 内湾する体部中位。太い沈線による渦巻文が配され、2・3条沈線により横位に連繋する。地文は横位L R。内面平滑な撫で調整 | 腹之内1式 |

第4章 中欄II遺跡

| 検出 PL.No. | No. | 種類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|--------------|------------------|-----|--------------------------------|---|--------|
| 第20909 PL.94 | 47 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 輝石・白色粒/ 良好/明黄褐色 | 大型の深鉢体部中位か。沈線による渦巻文と横状沈線2・3条が施される。風化のため外器面摩滅。内面研磨を施す | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 48 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英・チャート/ 良好/にぶい黄褐色 | 縦状沈線2・3条を設け、3条の斜位沈線を相向して分岐懸垂する。乱雑な施文。内外面器面摩滅 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 49 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英・褐色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 体部中位か。浅い弧状斜位沈線による分岐懸垂文構成。乱雑な施文。内面器面剥落 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 50 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片2点 | | 胎: 石英・白色粒/ 良好/にぶい褐色 | 体部上半か。縦の太い沈線による対弧状意匠を縦位に接続して刺突文や円文を中に施す。内面平滑な態で調整 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 51 | 縄文土器 深鉢 | 窪地・甕上 体部破片 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/にぶい黄 褐色 | 縦列の横位刺突文以下に3条の沈線で画された弧状区画を配し沈線2条と刺突文を交互に充填する。内面強い態で調整 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 52 | 縄文土器 深鉢 | MIX 口縁部破片 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/にぶい黄 褐色 | 体部上半。刻みを付す横位隆線を設け沈線による大型の重環状意匠を配す。施文部縄文はLR充填施文。内面強い態で調整 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 53 | 縄文土器 深鉢 | 中州・甕上 体部破片 | | 胎: 石英・輝石/良 好/にぶい黄褐色 | 体部上半か。垂下隆線を設ける。沈線によるJ字状意匠を配す。内外面とも器面摩滅 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 54 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/暗褐色 | 斜位沈線を施す。おそらく一部が斜格子状文となる。内面強い態で調整 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 55 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/にぶい黄 褐色 | 体部下半。体部中位の屈曲部に横位沈線の取跡を見る。下手は無文で内外面とも丁寧な態で調整 | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 56 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 内湾する体部中位か。無文で内外面とも強い研磨を加える | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 57 | 縄文土器 注口土器 | MIX 注口部破片 | | 胎: 石英・白色粒/ やや軟質/にぶい黄 褐色 | 注口上半部より小型の橋状把手が派生する。内面は強い態で調整で全体に雑な作り | 堀之内1式 |
| 第20909 PL.94 | 58 | 縄文土器 注口土器 | 甕上 体部破片 | | 胎: 石英粒・輝石/ 良好/暗褐色 | 注口部下端の8字状貼付文。縦沈線2条を側線として施す。内外面とも丁寧な研磨を施す | 堀之内1式 |
| 第21009 PL.94 | 59 | 縄文土器 深鉢 | 窪地 口縁部破片2点 | | 胎: 石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 口唇部内屈。口縁部横位隆線に刻みを付す。体部は数条の沈線に画された幾何学文構成。施文部は無節LR充填施文。内面丁寧な研磨を施す | 堀之内2式 |
| 第21009 PL.94 | 60 | 縄文土器 深鉢 | 中州・窪地・甕上 体部破片 | | 胎: 輝石・白色粒/ 良好/明赤褐色 | 体部下半屈折。体部は外反し沈線で画された磨消部による区画文構成。施文部はLRを充填する。磨消部及び内面は研磨を施す | 堀之内2式 |
| 第21009 PL.94 | 61 | 縄文土器 深鉢 | MIX 体部破片 | | 胎: 石英・白色粒/ 良好/にぶい黄褐色 | 弧状沈線で画された磨消部は丁寧な研磨を施す。施文部は横位LRを充填する。内面黒色を呈し丁寧な研磨を加える | 加曾利B2式 |
| 第21009 PL.94 | 62 | 縄文土器 深鉢 | 甕上 口縁部破片 | | 胎: 石英・白色粒/ 良好/灰黄褐色 | 大波状縁か。口縁部肥厚し波状部対応部に小突起を付す。頸部で屈曲する。無文で研磨を施す。内面強い態で調整。外器面の剥落 | 高井東式 |

第36表 7号土坑遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|-----------------------|-----------|------------------------|---|--------|
| 第21008 PL.95 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片3点・ 底部残存 | 底 13.0 | 胎土:石英・片岩/良好/褐色/灰褐色 | 体部~底部一体化し長胴気味に開く。体部上半に内皮平行沈線を横位に設け半内形手法の施文が一部に重なる。以下結節L RとR Lによる縦位羽状襷文を間隔施文する。内面撫で調整。底部付近は加熱のため器面摩滅 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・片岩/良好/褐色 | 結節襷文L RとR Lによる横位羽状襷文構成。器面摩滅。内面平滑な撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片2点 | | 胎土:石英・片岩/良好/褐色 | 結節襷文L RとR Lによる横位羽状襷文構成。器面摩滅。内面平滑な撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・チャートか/良好/褐色 | 結節襷文L RとR Lによる横位羽状襷文構成。器面摩滅。内面平滑な横位撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 5 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・片岩/良好/灰黄褐色 | 体部上半。横位縁線以下L RとR Lによる横位羽状襷文構成。内面平滑な撫で調整。外器面摩滅 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 6 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・雲母/良好/暗灰黄色 | L RとR Lによる横位羽状襷文構成。内面弱い撫で。5と同一個体か | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 7 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・雲母(少)/浅黄色 | L RとR Lによる横位羽状襷文構成。内面弱い撫で。器面摩滅し判然としなが5・6と近似か | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 8 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・片岩//にふい赤褐色 | 体部上半か。顔部外反し横位平行沈線以下斜位沈線を施す。内面平滑な撫で調整。9・10と近似か | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 9 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・片岩//にふい赤褐色 | 横位沈線以下弧状沈線で両された区画意匠内を斜位沈線や小溝巻文が充填する。内面平滑な撫で調整。8・10と同一個体か | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 10 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・片岩/良好/にふい赤褐色 | 横位平行沈線以下斜位平行沈線を充填し弧状沈線が加わる。内面平滑な撫で調整。8・9と同一個体か | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 11 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・雲母//明赤褐色 | 横位平行沈線以下斜位沈線による縦位山形文が配される。地文はL Rか。外器面摩滅。内面平滑な撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 12 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英(少)・雲母(多)//にふい黄褐色 | 外反する体部上半。内皮平行沈線を横位に設け斜位沈線による区画意匠を配す。R Lを充填する。下位は斜位沈線による横位矢羽状文が施される。内面平滑な撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 13 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | 胎土:石英・雲母/良好/灰黄色 | 素口縁。摺系し側面圧痕を横位多段に施す。内面弱い撫で調整。 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 14 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | 胎土:石英/良好/にふい黄褐色 | 角頭状の口唇部を呈す。2条の沈線間に刻みを加えた描線で口縁部方形区画と指形状意匠を配す。以下には斜位沈線を施す。内面平滑な横位撫で調整 | 五領ヶ台皿式 |
| 第21008 PL.95 | 15 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英//にふい黄褐色 | 14と同一個体。環状の意匠文も加わる | 五領ヶ台皿式 |

第37表 30号土坑遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|--|------|
| 第21008 PL.95 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・雲母//褐色 | 2条の縁線が懸垂し内皮平行沈線を撫線とする。縦位L Rを密に施す。内面平滑な撫で調整 | 深沢式か |

第38表 284号ピット遺物観察表

| 種別 PL.No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|--|-------|
| 第21008 PL.95 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・白色粒/良好/明赤褐色 | 横位沈線以下縦位沈線群で分割され。縦位矢羽状沈線を充填する。平行沈線による施文。内面弱い撫で調整 | 講義式 |
| 第21008 PL.95 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土:石英・白色粒/良好/明黄褐色 | 体部上半か。破片上端に外反する筋跡を見る。無文で内外面とも撫で調整を施す | 知賀利Ⅱ式 |

第4章 中標II遺跡

第39表 11号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|------------------------|--------|--------------|--------|--------------------------------|--|--------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.95 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 ほぼ完成 | | 22.8 11.4 | 29.0 | 粗:石英・雲母/良 好/灰褐色 | 口唇部に細かな連続刺突文を施す。口縁部は隆線により幅 狭に両され、楕円状区画文が配され4単位を数える。区画 内は単列の結節沈線が施される。頸部は横位波状沈線が整 り、体部上半は横位隆線で両される。体部は隆線による整 重文構成で2A+2Bの整った配置を示す。結節沈線は隆 線として一部刺先状の意匠に変化する。内面は平滑な態で調 整。体部下半は発熱による変色を見る。底面の副代直は僅 でにより判然としない。 | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.95 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部下半1/4～ 底部残存 | | | 8.8 | 粗:石英・片岩/良 好/明赤褐色 | 直立気味の体部下半に弧状隆線を配す。隆線下端に小粒土 層を巻く。舞線は上位に単列の結節沈線を施す。内面黒色 を呈し平滑な態で調整。少量の灰付着 | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.95 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 粗:石英・長石/良 好/ふい黄褐色 | 口縁部は横位隆線で両され単列刺突文の斜位結節沈線が副面 状に施される。内面平滑な態で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.95 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 粗:小礫・石英・雲 母/良好/ふい褐色 | 隆線による縦位波状重文。ヒダ状庄痕も見。内面平滑 な態で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.95 | 5 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 粗:石英(多)・雲母 (多)/良好/ふい 黄褐色 | 体部下半か。無文でヒダ状庄痕を見る。内面黒色を呈し弱 い研磨を施す | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.95 | 6 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 細:石英・白色粒/ 良好/明黄褐色 | 体部上半か。幅広の内皮平行沈線による弧状沈線。地文は 結節L R縦位施文。内面平滑な態で調整 | 中期中葉 |

第40表 13号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|-------------|--------|--------|--------|-------------------------------|---|--------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | | 粗:石英・雲母/良 好/褐色 | 緩やかな波状縁か。口縁部内面厚。口唇部に角押文1条 を施し口縁部は隆線による楕円状区画文を設ける。内縁側 面に角押文が沿う。内面平滑な態で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第211図 PL.96 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 細:石英粒(少)・白 色粒/良好/ふい 黄褐色 | 体部下半か。無文で弱い縦位研磨を施す。内面弱い態で調 整 | 堀之内1式 |

第41表 14号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|-------------|--------|--------|--------|------------------------|---|-------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 細:石英・白色粒・ 褐色粒/良好/褐色 | 縦位沈線3条による分岐垂文か。縦文はR L縦位充填 施文。外面は研磨、内面は弱い横位態で調整 | 堀之内1式 |

第42表 16号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|---------------------|--------|--------|--------|------------------------|---|------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上-7区藩移層 I層-体部破片 | | | | 粗:石英・輝石・白 色粒/良好/明褐色 | 波状突起に隆線と沈線が沿う。口縁部は強く内湾し方形 の意匠を平行沈線で描く。縄文はR L充填施文。内面は 平滑な態で調整。第211図55と同一体か | 溝坂2式 |

第43表 50号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|-------------|--------|--------|--------|--------------------|--|------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | | 細:石英/良好/褐 色 | 口縁部上端は幅広の横位沈線で両され斜位平行沈線と浮線 により斜格子文を配す。以下横位平行沈線上位に連続三角 際刺文が沿う。内面平滑な態で調整 | 前期末葉 |

第44表 57号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|-------------|--------|--------|--------|-------------------------|--|------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | | 粗:石英(大)・雲母 (少)/良好/褐色 | 内面凹曲。口唇部に連続刺突文を施す。口縁部は隆線による 楕円状区画文が配され連続刺突文が内縁に。内面平滑 な態で調整 | 溝坂1式 |
| 第211図 PL.96 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | | 粗:石英・雲母(少) /良好/褐色 | 隆線による縦位楕円状意匠。舞線は沈線と上端に刺突文を 施す。内面平滑な態で調整 | 溝坂1式 |

第45表 232号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|------------|-------------|--------|--------|--------|-----------------------|---|--------|
| | | | | 口 径 | 高 さ | 底 径 | | | |
| 第211図 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 7区 口縁部破片 | | | | 細:石英粒・白色粒 /良好/ふい褐色 | 体部下半か。無文で縦位研磨を施す。内面は平滑な態で調 整で煤が多量に付着する | 堀之内1式か |

第46表 62号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|--------|--------------|---------------------------------|--|--------|
| 第21296 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上層 底形 | 口 底 | 22.5 13.4 | 高 36.0 粗:石英・雲母/良 好/にぶい/褐色 | 頸部で括れ下位に楕圓把手を1対設する。平縁で幅狭の口縁部文様帯と頸部文様帯にはX字状貼付で両された楕円状区画文が配される。口縁部区画内は単列の連続刺突文が沿う。頸部には連続刺突文が沿い小波状文を描く。体部は上端はX字状貼付による楕円状区画が設けられ体部下半は隆縁による分岐懸垂文が配される。体部はヒタ状直が密に施される。単位文は不規則で5単位～7単位で占められる。内面は平滑な態で調整で体部下部に被熱による変色、器壁剥落が見られる。底面に劃代痕を見える | 阿玉台Ia式 |

第47表 79号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------------|--------|------------------|-------------------------------|--|------|
| 第21389 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁～底部/4 残存 | 口 底 | (23.8) (11.5) | 高 25.6 粗:輝石・白色粒/ 良好/褐色 | 口縁部は2条弧状隆縁と腹縁隆縁による区画文構成。頸部は無文で体部も隆縁による三角区画文構成。側縁は1・2条の沈線。十地点は半葎竹管刺突による小波状文や連続刺突文、斜位沈線などを充てる。内面平滑な態で調整。体部下半に被熱跡と腹の付着を見る | 磨板2式 |
| 第21389 PL.96 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁～体部破片 | | | 粗:石英・雲母・白 色粒/良好/にぶい 黄褐色 | 3・4と同一個体。貫孔する取組状突起を口縁部に付す。直下にも突起を付し斜位隆縁、弧状隆縁が派生する。側縁は2条の沈線で空白部は三叉文や内文を施す。口縁部内面は横位研削。体部は撫で調整 | 焼酎類型 |
| 第21389 PL.96 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英・雲母・白 色粒/良好/明赤褐 色 | 2・4と同一個体。体部中心。小波状突起とコイル状突起より隆縁が派生し、下端より分岐隆縁が懸垂する。側縁は2条の沈線で空白部は三叉文や内文を施す。内面撫で、被熱跡を見る | 焼酎類型 |
| 第21389 PL.96 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英・雲母・白 色粒/良好/にぶい 褐色 | 2・3と同一個体。コイル状突起を中核として弧状隆縁が派生する。内面撫で、被熱跡を見る | 焼酎類型 |

第48表 136号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|----------------------|--|-------|
| 第21396 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英(少)/輝 石/良好/褐色 | 太い沈線による施文で弧状意匠を描く。意匠内はLRを充填する。内面弱い撫で調整 | 堀之内1式 |

第49表 159号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|--------------------|----------------|-----|
| 第21396 PL.96 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 細:纖維・石英/良 好/明褐色 | 無彫1横位施文。内面撫で調整 | 黒浜式 |

第50表 162号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|------------------------------|---|--------|
| 第21397 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口頸部/4残存 | | | 粗:石英/良好/暗 褐色 | 口縁部内筒。細隆縁による長H字状意匠や区画文を配す。内縁を円形工具による連続刺突文が沿う。頸部は弧状貼付文を付す。Y字状懸垂文上縁や楕円状区画文が。体部は斜位撫でを意匠的に残す。口縁部及内面は平滑な態で調整 | 阿玉台Ia式 |
| 第21397 PL.97 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英・白色粒・ 海綿状骨針/良好/ 褐色 | 意匠的な斜位撫で痕跡が器面を覆う。内面弱い撫で調整 | 阿玉台Ia式 |
| 第21397 PL.97 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英・雲母/良 好/褐色 | 意匠的な斜位撫で痕跡が器面を覆う。内面平滑な態で調整 | 阿玉台Ia式 |

第51表 194号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|--------------------|---|-------|
| 第21397 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 細:輝石・白色粒/ 良好/褐色 | 体部上半か。横位沈線以下弧状沈線帯を対弧状に配す。中にLRを充填する。内面横位撫で調整 | 堀之内1式 |

第52表 221号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|------------------------|---------------------------|------|
| 第21397 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英・白色粒・ 片岩/良好/赤褐色 | 腹縁隆縁を設ける。側縁は浅い平行沈線。内面器壁剥落 | 磨板1式 |

第53表 213号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|------------|---------------|-----|--|--------------------|---------------------------------|-------|
| 第21397 PL.97 | 1 | 赤生土器 甕 | 理上 体部破片 | | | 粗:石英/良好/褐 灰色 | 僅かに外反する体部。細かな密接条線を腹部に施す。内面平滑な態で | 赤生中期か |

第4章 中欄Ⅱ遺跡

第54表 227号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|-------------------------------|--|-------|
| 第213図 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 良好/灰白色 /良好/灰白色 | 前面部隆線に刻みを重ね下位横位沈線以下斜位沈線を施す。内外とも平滑な態で調整 | 加賀利Ⅲ式 |

第55表 248号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|-----------------------|--|------|
| 第213図 PL.97 | 1 | 赤生土器 甕 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 良好/にぶい黄褐色 | 僅かに外反する体部。横位沈線2条を配す。地文に斜位条痕を施す。内面平滑な態で調整 | 赤生中期 |

第56表 253号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|---------------|-----|---------------------|---|-------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁-体部破片 | | 胎土/焼成/色調 良好/浅黄褐色 | 流状突起頂部は環状で孔を穿つ。突起中位は環状に貫孔し縦位沈線を配す。体部は縦位沈線と弧状沈線が施される。内外面強い研磨を加える | 製之内Ⅰ式 |

第57表 260号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|----------------------------|----------------------------|------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 浅鉢 | 理上 口縁破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英粒・チャート/黒褐色 | 口唇部内面肥厚する。無文で内外とも丁寧な研磨を加える | 中期中葉 |

第58表 270号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|-----------------------------------|----------------------------|-------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・輝石/褐色 /にぶい黄褐色 | 体部中位か。斜位沈線による懸垂文下端か。内面強い研磨 | 製之内Ⅰ式 |

第59表 278号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|------------------------------|--|------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・雲母/良好/にぶい褐色 | 横位弧状隆線を付し沈線を側線とする。地文にLRを施し斜位沈線を加える。内面平滑な態で調整 | 新巻類型 |

第60表 285号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|--------------|----------|--|---|------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 浅鉢 | 理上中層 底部破片 | 底 (12.0) | 胎土/焼成/色調 粗・石英・(大・多)・ 雲母/良好/にぶい 褐色 | 外反気味に強く開く。内外とも丁寧な研磨を施す。底面にも研磨が及ぶ。内面黒褐色を呈す | 中期前葉 |

第61表 288号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|----------------|-----|---------------------------------|--|-------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 浅鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・雲母/良好/にぶい褐色 | 無文の体部。外面斜位削り調整後態で、内面黒褐色を呈し丁寧な研磨を施す | 阿玉台Ⅱ式 |
| 第214図 PL.97 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英/良好/にぶい褐色 | 体部中位。横位刻み目列を施す。内面強い態で調整 | 阿玉台Ⅱ式 |
| 第214図 PL.97 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 10区 口縁-体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・輝石・白 色粒/赤褐色 | 波状縁。波頂部内面は環状意匠か。口縁部は無文で体部は沈線による弧状意匠を配す。側線は2・3条の沈線。縦位沈線3条も設け短沈線や三文文が施される。縄文はR.L.充填施文。内面は平滑な態で調整 | 新巻類型 |

第62表 378号ビッド遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|-----------------------------------|----------------------------------|-----|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・繊維・白色粒/ 良好/にぶい褐色 | 口縁多条R.LとL.Rによる横位羽状縄文構成。内面平滑な態で調整 | 有尾式 |

第63表 840号ビッド遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|------------------------------------|-------------------------|---------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 赤生土器 甕 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・白色粒/ 褐色粒/良好/褐色 | 軟質工具による斜位条痕が覆う。内面平滑な態で。 | 赤生前期～中期 |

第64表 843号ビッド遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-------------|-----|---|----------------------------------|------|
| 第214図 PL.97 | 1 | 縄文土器 浅鉢 | 理上 体部破片 | | 胎土/焼成/色調 粗・石英・輝石・白 色粒/良好/にぶい 黄褐色 | 体部上半。頸部屈曲し上半部が内湾する。無文で内外面とも研磨を施す | 中期後葉 |

第65表 1035号ビット遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|-------------------------|---------------------------------------|-------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | 胎土:石英・雲母・片 岩/良好/明赤褐色 | 押圧を加える縦位沈線による懸垂文構成。横位爪形列を備す。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台日式 |

第66表 1037号ビット遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|--------------|--------------------------|--------|--------------------|-------------------------------|--|--------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 注口土器 | 理上 口縁部～体部上 半/1/4残存 | (14.8) | | 胎土:石英(多)/良好/ にぶい黄褐色 | 口縁部は強く開き無文。頭部屈曲部と体部中位に横位沈線 を設け、その間を沈線で囲まれた意匠文が配される。意匠 内にはL Rを充填する。体部中位には円形凹付文を付す。外 面及び口縁部内面は丁寧に磨削。頭部内面は意匠撫で調整 | 加曾利B3式 |
| 第214回 PL.97 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:輝石・白色粒/ 良好/黒褐色 | 体部上半。頸みを付す横位隆線上位は横位沈線で囲まれた 縄文施文部と磨削部。下位は横位沈線以下斜位沈線を充填 する。内外面とも磨削を施す | 加曾利B3式 |
| 第214回 PL.97 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | 胎土:石英・輝石・白 色粒/良好/にぶい 褐色 | 波状突起。口縁部内側。沈線による重環状意匠を中核に強 線文を施す。内面は横位積門状意匠と内文を配す | 堀之内I1式 |

第67表 1049号ビット遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|-------------------------|---|--------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:石英・輝石・白 色粒/良好/黒褐色 | 横位沈線以下縦位沈線と弧状沈線3条による懸垂文構成。 縄文は上位L R充填施文。内面横位撫で調整 | 堀之内I1式 |

第68表 302号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|-------------------------|---|--------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | 胎土:輝石・白色粒・ 褐色粒/良好/褐色 | 2と同一個体か。口縁部内屈し小突起と横位沈線を配す。 体部は縦位沈線群による懸垂文構成か。L R施文部を交互 に設ける。内面平滑な撫で調整 | 堀之内I1式 |
| 第214回 PL.97 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:輝石・白色粒・ 褐色粒/良好/褐色 | 1と同一個体か。外反気味の体部中位。縦位沈線群による 懸垂文構成。L Rを充填施文する。内面平滑な撫で調整 | 堀之内I1式 |

第69表 304号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|--------------------------------|------------------------------------|--------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:石英・白色粒・ 褐色粒/良好/にぶ い褐色 | 縦位沈線と斜位沈線による懸垂文構成か。内面撫で調整。 器壁割落 | 堀之内I1式 |

第70表 306号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|-------------------------------|---|------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:石英・白色粒 (多)/良好/にぶい 褐色 | 口頸部下端の横位沈線と縦位隆線による区画文か。側縁は 浅い沈線。内面弱い撫で調整 | 中期中葉 |

第71表 311号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|----------------------|----------------------------------|-----|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:繊維・白色粒/ 良好/灰黄色 | 僅かに内湾する体部器形。横位L Rを施す。内面丁寧に研 磨 | 黒沢式 |

第72表 318号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|---------------------|---|-----|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 口縁部破片 | | | 胎土:繊維・石英/良 好/灰黄色 | 口唇部内凹状を呈す。口縁部はやや幅広い平行沈線が横位 /斜位に施される。内面研削 | 有尾式 |

第73表 343号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|----------------------|---|-------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:繊維・白色粒/ 良好/褐灰色 | 体部屈曲部か。円形刺突文を中核に縦位細線群や斜位隆線 による区画文構成。斜位短沈線を充填する。体部下半及び 内面は横位条痕文を施す | 鶴ヶ島台式 |

第74表 349号土坑遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|------------|-------------|-----|--------------------|---------------------|--|--------|
| 第214回 PL.97 | 1 | 縄文土器 深鉢 | 理上 体部破片 | | | 胎土:石英・白色粒/ 良好/褐色 | 体部上半の横位沈線群以下小渦巻文を中核に3条の沈線に よる横位・縦位意匠が配される。地文は縦位R L。内面弱 い研削 | 加曾利E2式 |

第4章 中朝Ⅱ遺跡

第75表 遺構外出土遺物(縄文)観察表

| 縄文 PL.No. | No. | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------|----------------------|----------|------------------------------------|--|---------|
| 第21500 PL.98 | 1 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 体部破片 | | 胎:織織・白色粒/ にぶい黄褐色 | 断面部位は円形斜突文を上下に配し隆線を整く。内面 横位条線が施される | 朝ヶ島台式 |
| 第21500 PL.98 | 2 | 縄文土器 深鉢 | M区 体部破片 | | 胎:輝石・白色粒/ にぶい黄褐色 | 横位浮線文を多段に配し矢羽状刻みを加える。地文縄文は 見られない。内面弱い撫で調整 | 諸磯b式 |
| 第21500 PL.98 | 3 | 縄文土器 深鉢 | M区薄研削 体部破片 | | 胎:石輝石(多)/ 白色粒/にぶい黄褐色 | 体部中位か。横位隆線凸筋文を3条設け、上位は彫文文 による弧状意匠。下位は無彫L横位文。内面平滑撫で調整 | 諸磯b式 |
| 第21500 PL.98 | 4 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部のみ残存 | 底 16.0 | 胎:石英(大・多)/ 粗/黒褐色 | 大型の深鉢。薄手の器厚を呈し直立意味に立ち上がる体部 下平。結節部を底部に充てたL Rを横位に削す。内底面弱 い研磨。腰部に良好 | 五領ヶ台2式か |
| 第21500 PL.98 | 5 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:白色粒・褐色粒/ 良好/褐色 | 口唇部内側に口縁部は強く開く。無文で横位削り調整後弱 い撫でを加える。内面横位撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21500 PL.98 | 6 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 体部破片 | | 胎:輝石・白色粒/ 灰黄褐色・褐色 | 縦位沈線2条に画された磨消部懸垂文構成。平滑撫でを 施す。施文部はL R縦位施文。内面横位撫で調整 | 加曾利E3式 |
| 第21500 PL.98 | 7 | 縄文土器 深鉢 | M区 体部破片 | | 胎:白色粒//にぶ い黄褐色 | 縦位沈線に画された施文部と磨消部による懸垂文構成。施 文部は縦位R L、磨消部及び内面は平滑撫で調整 | 加曾利E3式 |
| 第21500 PL.98 | 8 | 縄文土器 深鉢 | M区 体部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 褐色粒/浅黄褐色 | 底位の垂下隆線による懸垂文構成。施文部は縦位L R充填 施文。磨消部は平滑撫で調整。内面弱い撫で調整を施す | 加曾利E5式 |
| 第21500 PL.98 | 9 | 縄文土器 深鉢 | M区 体部破片 | | 胎:石英・輝石・褐 色粒//にぶい黄 褐色・黒 | 垂下隆線による懸垂文構成。施文部は縦位L R充填施文。 磨消部は丁寧な研磨を加える。内面平滑撫で調整 | 加曾利E5式 |
| 第21500 PL.98 | 10 | 縄文土器 深鉢 | M区 体部破片 | | 胎:輝石・白色粒/ 良好/褐灰色 | 横位隆線に画された研削部による弧状隆線。おそろく磨消文か か。内面弱い撫で調整 | 加曾利E5式 |
| 第21500 PL.98 | 11 | 縄文土器 深鉢 | M区 口縁部破片 | | 胎:石英・輝石// 褐色粒/良好/褐色 | 口縁部は無文。横位隆線を設け以下無彫L斜位施文。内面 平滑な横位撫で調整 | 加曾利E5式 |
| 第21500 PL.98 | 12 | 縄文土器 深鉢 | M区2面・7坑 体部のみ1/3残存 | | 胎:石英・輝石・褐 色粒//明黄褐色 | 体部中位。刻みを付す隆線による懸垂文構成。4単位か。 沈線に画された施文部による波状意匠が施される。施文部 はL R充填施文。磨消部及び内面は弱い研磨を施す | 地名寺式 |
| 第21500 PL.98 | 13 | 縄文土器 深鉢 | M区 口縁部突起片 | | 胎:石英・輝石・褐 色粒/褐色粒/良好 //にぶい黄褐色 | 隆帯が付された紡錘状の胎状突起。隆帯に太い沈線と無彫 Lが重なり、下階より隆線が分岐発生する。内面頂部に 凹文を配す。弱い研磨を施す | 地名寺式 |
| 第21500 PL.98 | 14 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 口縁一体部一体化した文様か。沈線に画された施文部による 磨消文や弧状意匠か。L Rを充填する。内面平滑撫で調整 | 地名寺1式 |
| 第21500 PL.98 | 15 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | 口 (35.0) | 胎:石英・輝石/良 好/褐色 | 口唇部内側に。口縁一部無文で平滑撫で。頸部断面部は 8字状胎付文と横位沈線3条を設ける。体部は縦位沈線・斜 位沈線。弧状沈線を施す。縄文は施文しない。内面撫で、 断面厚減 | 堀之内1式 |
| 第21500 PL.98 | 16 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英粒・褐色粒/ 良好/暗黄褐色 | 緩やかな波頂部に小型の格付文を刻み、凹文と口縁部沈線 を設ける。頸部は無文で断面部に横位沈線2条を配し以下 斜位沈線を施す。横位L Rを施す。内外面平滑撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21500 PL.98 | 17 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英粒(少)/ 輝石(少)/良好/に ぶい黄褐色 | 中位が貫孔する環状突起。内外面とも凹文と弧状沈線を配 し、丁寧な研磨を施す | 堀之内1式 |
| 第21500 PL.98 | 18 | 縄文土器 浅鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 褐色粒/良好/褐灰 色 | 波状縁。波頂部に弧状沈線を配し、口縁部は無文で区画す る。区画内は斜位刻みを充填する。頸部は無文。内外面と も研磨を施す | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 19 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:輝石・白色粒/ 良好/灰黄褐色 | 頸頂部に低位環状胎付文を付し、頸部断面部の胎付文と縦 位隆線で繋ぐ。口縁部は横位隆線で画され、弧状沈線・凹 文を施す。頸部は無文で断面部に横位沈線2条を設け、4条 の縦位沈線や弧状沈線を配す。口縁部内面も凹文と弧線 文を施す。体部は弱い撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 20 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/にぶ い黄褐色 | 強く開く口縁部。外面は無文で撫で調整。内面口縁部は肥 厚し弧線と凹文、横位沈線を施す。体部は横位撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 21 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/にぶ い黄褐色 | 緩やかに外反する口縁部。無文で研磨を加える。内面口縁 部に横位沈線1条を設ける。内面も研磨を施す | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 22 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 良好/褐灰色 | 大型の深鉢。口縁部外反し無文。頸部扁平する。内外面と も弱い研磨を加える | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 23 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 褐色粒/良好/黒褐 色 | 口唇部僅かに内屈。口縁部は外反し無文。外面横位撫で調 整。内面断面厚減 | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 24 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 良好/黒褐色 | 口縁部外面肥厚。無文で外面は平滑撫で調整。内面は丁 率な研磨を加える | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.98 | 25 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 褐色粒/良好/にぶ い褐色 | 無文の口縁部。内外面とも横位撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.99 | 26 | 縄文土器 深鉢 | M区 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 良好/黄褐色 | 口縁部下に深い押圧を加えた横位隆線を設ける。他は無文 で内外面とも弱い撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.99 | 27 | 縄文土器 深鉢 | M区 口縁部破片 | | 胎:石英・白色粒/ 良好/明赤褐色 | 器厚薄手。口縁部下に深い押圧を加えた横位隆線を設ける 他は無文で外面は弱い撫で調整。内面は強い研磨を加える | 堀之内1式 |
| 第21600 PL.99 | 28 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部破片 | | 胎:石英・輝石・褐 色粒/良好/明黄褐色 | 体部中位。厚手の器厚を呈す。縦位沈線3条による懸垂文 構成。2条沈線による縦位紡錘状意匠を配す。中位に横筋 L Rを充填する。外面研磨。内面横位撫で調整 | 堀之内1式 |

| 種目 Pl.No. | No. | 種類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|--------------|----------------|-----|--------|--------------------------------|---|---------|
| 第2169 PL.99 | 29 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/黒褐色 | 体部上半。屈曲部に横位沈線を設け以下沈線による重方形 状態を配す。無彫しを充満施す。内面横位研磨 | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 30 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 口縁部破片 | | | 胎:石英/良好/黒 褐色 | 口唇部内面横位沈線。口縁部に刻み付す横位縦線2条 を配し8字状貼付を繋ぐ。体部は横位沈線以下浅い沈線 で画された施文部区画構成。無彫しを充満す。内面丁 平な研磨 | 堀之内2式 |
| 第2169 PL.99 | 31 | 縄文土器 注口土器 | M区2面 体部破片 | | | 胎:石英・白色粒/ 良好/暗灰黄色 | 体部上半は外反し下半に屈曲を持つ。体部は横位沈線群と L R施文部を多段に配す。沈線が勾字状に跨ぐ。内面平 滑な撫で調整 | 加賀野1式 |
| 第2169 PL.99 | 32 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部のみ残存 | 底 | 6.0 | 胎:白色粒//にぶ い黄褐色 | 強く開く体部下。底面やや厚手。無文で横位撫でを施す 内面は平滑な撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 33 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部のみ残存 | 底 | 8.4 | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/にぶ い黄褐色 | 外反気味に開く体部下。無文で内外面とも平滑な撫で調 整を施す | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 34 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部のみ残存 | 底 | 11.8 | 胎:石英・褐色粒/ 白色粒/良好/褐色 | 外反気味に開く体部下。無文で横位研磨を施す。内面撫 で調整。底面に網代敷を見る | 後期前葉か |
| 第2169 PL.99 | 35 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部のみ残存 | 底 | 10.0 | 胎:輝石・白色粒/ 良好/褐色 | 直線的に開く体部下。外周は横位研磨を丁寧に施す。内 面体部被熱による器壁割れ。下半に付着層 | 後期前葉か |
| 第2169 PL.99 | 36 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | 底 | (9.0) | 胎:石英・白色粒/ 良好/にぶい黄褐 色 | 器厚厚手で強く開く体部下。無文で内外面とも平滑な撫 で調整 | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 37 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | 底 | (8.0) | 胎:石英(少)・白色 粒/良好/黄褐色 | 強く開く体部下。無文で調整の凹凸が顕著。内外面とも 強い研磨を加える | 阿玉台1a式 |
| 第2169 PL.99 | 38 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | 底 | (7.0) | 胎:石英・輝石/良 好/にぶい黄褐色 | 体部下は強く開く。無文で内外面丁寧な研磨を施す。内 面黒褐色を呈す | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 39 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | 底 | (7.8) | 胎:石英・輝石/良 好/にぶい黄褐色 | 小型の深鉢か。底面薄手の器厚を呈す。体部下は無文で 横位研磨を施す。内面は横位撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 40 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | 底 | (11.0) | 胎:石英・輝石・褐 色粒/良好/黄褐色 | 大型の深鉢か。強く開く体部下。無文で平滑な撫で調整 内面は強い撫で調整 | 堀之内1式 |
| 第2169 PL.99 | 41 | 縄文土器 深鉢 | M区 底部1/2残存 | 底 | 7.0 | 胎:石英・チャート /良好/暗灰黄色 | 直立気味の体部下。無文で内外面とも丁寧な研磨を加 える。底面に網代敷が残る | 堀之内2式 |
| 第2169 PL.99 | 42 | 縄文土器 深鉢 | M区2面 底部破片 | | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/褐色 | 残存度が悪く様は不明。底面に木葉痕を見る | 発生か |
| 第2179 PL.99 | 43 | 縄文土器 深鉢 | 7区 口縁部破片 | | | 胎:石英・片岩粒/ 良好/褐色 | 口縁部に縦位短沈線を充満し、弧状沈線や三角刻文を施 す。内面平滑な撫で調整 | 五ヶヶ台1式 |
| 第2179 PL.99 | 44 | 縄文土器 深鉢 | 7区 口縁部破片 | | | 胎:石英粒・白色粒 /良好/にぶい褐色 | 口縁部内外面に磨きしを施す。外周は内面皮肉沈線以下 斜格子状沈線を配す。内面は横位内皮肉を強く施すし 内被部に内皮肉刻文を施す | 五ヶヶ台1式 |
| 第2179 PL.99 | 45 | 縄文土器 深鉢 | 7区 体部破片 | | | 胎:石英・雲母/良 好/にぶい褐色 | 横位縦線上位に3角連続刻文が施す。以下X字状隆線 の貼付と下位に横位隆線とY字状磨文を配す。側縁は連 続刻文。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 46 | 縄文土器 深鉢 | 7区2面 口縁部突起片 | | | 胎:石英・長石・雲 母粒/良好/にぶい 褐色 | 横位楕円状突起を付し両端から隆線が重なる。突起上端 は交互刻文を付しL R施文を配す。突起下部には筋節沈 線による渦巻文が配される。口唇部には連続刻文が施 される。内面磨、研磨を加える | 阿玉台1b式 |
| 第2179 PL.99 | 47 | 縄文土器 深鉢 | 7区漸移層 体部破片 | | | 胎:石英・雲母/良 好/にぶい褐色 | 無文の体部。ヒタ状圧痕を見る。内面平滑な撫で調整。少 量の厚付層 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 48 | 縄文土器 深鉢 | 7区2面 体部破片 | | | 胎:輝石・白色粒/ 良好/暗灰黄色 | 無文の体部。ヒタ状圧痕を見る。内面平滑な撫で調整な がら器面の凹凸が残る | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 49 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 口縁部破片 | 口 | (27.0) | 胎:石英(大)・雲 母/良好/にぶい赤 褐色 | 袋状縁。底面部下口縁部にv字状貼付を付し刻みを重ね た頸部隆線で画す。口縁部は袋状沈線や弧状沈線を施す。 頸部は横位袋状沈線を配す。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 50 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 口縁部破片 | | | 胎:石英(大)・雲 母/良好/にぶい黄 褐色 | 袋状縁。底面部下刻みを付すV字状隆線が重なり横位隆 線と併せて口縁部区画を画す。区内面及び口唇部に単列 の角押し文を施す。頸部は無文。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 51 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 口縁部破片 | | | 胎:片岩/良好/褐 灰色 | 口縁部内面肥厚。外面横位削り調整に止まる。内面は平滑 な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 52 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 口縁部破片 | | | 胎:石英粒・片岩粒 /良好/褐色 | 小型深鉢か。口縁部内面肥厚し口唇部は楕円状の不整形小 突起を付す。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 53 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 体部破片 | | | 胎:石英・長石・雲 母/良好/灰褐色 | 無文弧状隆線による懸垂文構成か。側縁として連続刻文 を施す。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 54 | 縄文土器 深鉢 | 埋上 体部破片 | | | 胎:石英・雲母/良 好/にぶい褐色 | 横位隆線と側縁連続刻文。楕円状区画も配す。内面平 滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第2179 PL.99 | 55 | 縄文土器 深鉢 | 7区2面 把手破片 | | | 胎:石英・輝石・白 色粒/良好/赤褐色 | 口唇部に縦位に付される横位把持手。側面は滑りで横位隆 線を付す。側面及び縁線上はR Lを重ねる。口縁部は深・直 状沈線を施す。内面平滑な撫で調整。16試しと同一個体か | 勝城2式 |
| 第2179 PL.99 | 56 | 縄文土器 深鉢 | 7区 体部破片 | | | 胎:輝石・白色粒/ 良好/黒褐色 | 横位沈線2条に画された縦位磨消部による懸垂文構成。地 文は横位R L。内面は強い研磨を施す | 加賀野II式 |
| 第2179 PL.99 | 57 | 縄文土器 深鉢 | 7区 体部破片 | | | 胎:輝石・白色粒/ 良好/黒褐色 | 口頸部。隆線による口縁部区画。体部は2条の縦位沈線 に画された磨消部懸垂文構成。施文部は縦位R L。磨消部 及び内面は強い研磨を加える | 加賀野III式 |
| 第2179 PL.99 | 58 | 縄文土器 深鉢 | 7区漸移層 口縁部破片 | 口 | (23.0) | 胎:石英粒・輝石・ 白色粒/良好/にぶ い黄褐色 | 細やかな袋状縁。口唇部を磨きを設け頸部に分枝隆線を配す。 頸部屈曲部に横位隆線2条を付す。分枝隆線の起点より 体部へ2条隆線が懸垂する。内面は平滑な撫で調整 | 堀之内1式 |

第4章 中朝Ⅱ遺跡

| 種図 PL.No. | No. | 種 類 土器 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 装 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-----------------|-----|--------------|----------------------|----------|-----------------------------------|--|-------------|
| 第217図 PL.99 | 59 | 縄文土器 深鉢 | 7区 土線部破片 | | 細・石英・白色粒/ 良好/ぶい・黄褐色 | 内湾する口縁部に大型の横状把手を付す。中位に凹文と沈線を描す。頸部屈曲部に横状沈線を描ける。外面は丁寧な研磨、内面は撫で調整 | 製之内1式 |
| 第217図 PL.99 | 60 | 縄文土器 深鉢 | 7区藩移層 土線部破片 | | 細・石英・輝石/良 好/ぶい・橙色 | 波頂部に凹文を配し、内縁に弧状沈線を描す。口縁部内面は肥厚するが無施文。強引・研磨を加える | 製之内1式 |
| 第217図 PL.99 | 61 | 縄文土器 深鉢 | 7区 土線部破片 | | 細・白色粒・輝石/ 良好/ぶい・黄褐色 | 口唇部内湾。口縁部横状沈線を描け以下縦位沈線や弧状沈線を描す。内面丁寧な研磨を加える | 製之内1式 |
| 第217図 PL.99 | 62 | 縄文土器 深鉢? | 7区 脚部破片 | | 細・白色粒/良好/ 黄褐色 | 小型の付け止上部の脚部。凹孔を穿ち、内外面も撫で調整を描す。 | 製之内1式か |
| 第217図 PL.99 | 63 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 細・繊維・石英・白 色粒/良好/暗褐色 | 体部上半分。内面やや外傾する。内縁は横位条痕以下斜位条痕を加える。内面は横位条痕を描す | 早期後葉 |
| 第217図 PL.99 | 64 | 縄文土器 深鉢 | 10区11住 土線部破片 | | 細・繊維・石英粒・ 白色粒/良好/暗褐色 | 双波状口縁か。口縁部より横位波状沈線群が覆う。内面丁寧な研磨を描す。65と近似 | 黒浜式併行 |
| 第217図 PL.99 | 65 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 細・繊維・石英粒・ 白色粒/良好/暗褐色 | 平縁。口縁部より横位波状沈線群が覆う。内面丁寧な研磨を描す。64と近似。 | 黒浜式併行 |
| 第217図 PL.100 | 66 | 縄文土器 体部破片 | 10区藩移層 体部破片 | | 細・繊維・白色粒/ 良好/明褐色 | 0段多条RとLによる横位羽状横文構成。内面平滑な撫で調整 | 黒浜式 |
| 第217図 PL.100 | 67 | 縄文土器 深鉢 | 10区1面 体部破片 | | 細・輝石・白色粒/ 良好/褐色 | 2条一組の浮線文を横位に付す。浮線上は矢羽状刻みを重ねる。施文は見られない。内面弱引で調整 | 諸磯B式 |
| 第217図 PL.100 | 68 | 縄文土器 深鉢 | 10区藩移層 土線部破片 | | 細・石英(少)/良好/ 暗褐色 | 多岐竹管状工具による横位連続刻突文を横位多段に施す。強い施文である。内面平滑な撫で調整 | 奥津式 |
| 第218図 PL.100 | 69 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 細・輝石・白色粒/ 良好/ぶい・黄褐色 | 口縁部短く外反。内湾部にボタン状付付文を付し横位・斜位平行沈線文を描す。内面平滑な撫で調整 | 諸磯C式 |
| 第218図 PL.100 | 70 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・片岩/良 好/ぶい・赤褐色 | 細かな内皮結節沈線群による横位鋸歯文が配される。内側は三角陰刻文を刻む。内面は黒色を呈し平滑な撫で調整を描す | 前期末葉 |
| 第218図 PL.100 | 71 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・片岩/良 好/ぶい・赤褐色 | 細かな内皮結節沈線群による横位鋸歯文。三角陰刻文と深い沈線が画される。内面は黒色を呈し平滑な撫で調整を描す | 前期末葉 |
| 第218図 PL.100 | 72 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・片岩/良 好/ぶい・赤褐色 | 細かな内皮結節沈線群と細格子状の沈線が三角文と半円状陰刻文を画す。内面は黒色を呈し平滑な撫で調整を描す | 前期末葉 |
| 第218図 PL.100 | 73 | 縄文土器 深鉢 | 10区3面 体部破片 | | 細・白色粒/良好/ ぶい・褐色 | 細かな内皮結節浮線文による横位弧状凹形が配される。地文は横位条痕。内面丁寧な研磨を描す | 前期末葉 |
| 第218図 PL.100 | 74 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 粗・石英・雲母/良 好/褐色 | 弧状突起あるいは小型の横状把手を付す。口縁部肥厚しRを重ねる。斜位刻みを付す横位陰縁以下傾位平行沈線群の小円形竹管状工具による刻突文、交互刻突文が加わる。内面研磨 | 五箇ヶ台2式 |
| 第218図 PL.100 | 75 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 細・石英・白色粒/ 良好/ぶい・黄褐色 | 縦位沈線4条による懸垂文構成か。横位沈線と刺突文が加わる。無施しを斜位・縦位に充填する。内面平滑な撫で調整 | 五箇ヶ台2式 |
| 第218図 PL.100 | 76 | 縄文土器 浅鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 細・石英・片岩/良 好/明褐色 | 幅広い口縁部に横位凹形刺突文と縦位結節沈線を描す。屈曲部に刻みを加える。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第218図 PL.100 | 77 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 粗・石英(大・多)/ 良好/ぶい・黄褐色 | 口唇部欠損。口縁部内湾する。口唇部に細線群を付し、単列の角押文が沿う。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第218図 PL.100 | 78 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英/良好/周 灰色 | 内湾する体部部形。細線群による弧状凹形か。単列の角押文を隆起片側の無縁とする。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台1a式 |
| 第218図 PL.100 | 79 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 細・片岩粒・白色粒/ 良好/明褐色 | 口縁部突起を付す。縦位細沈線群を帯び以下内皮刺突文を重ねた横位隆起による口縁部区画。区画内は連続刺突文や交互刺突文を充填する。体部は横位沈線、交互刺突文、連続刺突文を多段に配し、縦位沈線も加える。内面平滑な撫で調整。全体に精緻な施文 | 扇状1式 |
| 第218図 PL.100 | 80 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英(大・多)・ 雲母・輝石/良好/ ぶい・赤褐色 | 口頸部か。横位弧状突起下に隆帯が帯び下する。突起上位は縦位結節沈線群。隆帯内側の弧状区画内は刺突文が充填される。内面黒色を呈し撫で調整。凹型凹縁 | 阿玉台1b式 |
| 第218図 PL.100 | 81 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・雲母/良 好/ぶい・赤褐色 | 体部上半分。口縁部区画文下の体部三角区画文。複列の細線沈線を無縁とする。内面平滑な撫で調整 | 阿玉台2式 |
| 第218図 PL.100 | 82 | 縄文土器 浅鉢 | 10区2面 土線部破片 | 口 (48.0) | 粗・石英・輝石・雲 母/良好/褐色 | 口唇部に浅い刻みを施す。口縁～体部は無文で内外面とも平滑な撫で調整。口縁部内面赤彩を加える | 中期中葉 |
| 第218図 PL.100 | 83 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 | | 細・石英(多)・輝石 (多)/良好/褐色 | 2条の隆帯による口縁部閉鎖区画文構成。無縁は沈線で縦位R Lを充填する。頸部は無文か。内面平滑な撫で調整 | 加曾利ⅡB式 |
| 第218図 PL.100 | 84 | 縄文土器 深鉢 | 10区藩移層 土線部破片 | | 細・石英・輝石/良 好/明赤褐色 | 口縁部を横位隆起1条で画し縦位弧状沈線を充填する。頸部も浅い弧状状沈線を描す。内面平滑な撫で調整 | 加曾利ⅡB式併行異系統 |
| 第218図 PL.100 | 85 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・輝石/良 好/褐色 | 横位沈線群以下斜位弧状沈線3条が懸垂する。縄文はL R充填施文。内面弱引・撫で調整 | 製之内1式 |
| 第218図 PL.100 | 86 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | 粗・石英・褐色粒/ 良好/褐色 | 沈線で画された施文部による磨消部幾何学文構成。施文部縄文はL R充填。磨消部は研磨を描す。内面は弱引・撫で調整 | 製之内2式 |
| 第218図 PL.100 | 87 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 土線部破片 2点 | 口 (16.0) | 細・石英・輝石・白 色粒/良好/浅黄色 黒褐色 | 沈線・隆帯・頂部に突起を付す。おそろく3単位。突起内面に沈線や刻みなどを施文。体部外面は縦位沈線4条を描し、無施しを横位内面に施す。体部内面に3条の縦位沈線を配す。内外面とも丁寧な研磨 | 加曾利B1式 |

| 種目 PL No. | No. | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|------------------|-----|--------------|---|-----|--------|----------------------------|---|-------------|
| 第21890 PL-100 | 88 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 口縁部破片 | | | 胎:石英・輝石/良好/灰オリーブ | 波状縁波頂部。浅い斜位沈線を施す。内縁を持ち内外面とも研磨を加える | 加曾利B2式 |
| 第21891 PL-100 | 89 | 縄文土器 深鉢 | 10区13往 口縁部突起 | | | 胎:石英・輝石/白色粒(多)/やや軟質/にふい黄褐色 | 波状縁波頂部突起。隆線及び沈線が外縁を縁取り、隆線にはR Lを重ねる。内面内湾曲し研磨を加える | 高井東式 |
| 第21890 PL-100 | 90 | 赤生土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | | 胎:石英・片岩/良好/にふい黄褐色 | 体部上半分。1本帯沈線による変形形状意匠。菱形文飾部に強く抉る箇所を見る。内面強い研磨 | 赤生前期 |
| 第21890 PL-100 | 91 | 赤生土器 深鉢 | 10区2面 口縁-体部破片 | 口 | (21.0) | 胎:石英・片岩? /良好/黒褐色 | 波状縁か。沈線で画された横位磨消面により多段に分割され、磨消面による変形形状意匠が配される。施文部横位は横位L R。磨消面は研磨を施し赤彩を加える。内面強い研磨内外面とも少量の塚付着 | 赤生前期～中期 |
| 第21890 PL-100 | 92 | 赤生土器 深鉢 | 10区2面 底部破片 | 底 | (9.0) | 胎:石英・輝石/良好/にふい黄色 | 外反気味に開く体部下平。縦位条痕下部端を見る。内面撫で。見込み部に大量の炭化物が吸着する。底面に木葉取を見る | 赤生中期 |
| 第21890 PL-100 | 93 | 縄文土器 鉢 | 10区2面 口頸部破片 | | | 胎:石英(少)/白色粒・白色粉/良好/暗灰色 | 口縁部外反し体部中位で屈曲する。横位沈線による変形十字文の掘出し。内外面とも研磨を加える | 晩期末葉～赤生前期 |
| 第21890 PL-100 | 94 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 体部破片 | | | 胎:石英・白色粒/良好/明赤褐色 | 破片右上に斜位横位沈線を見る。他は横位R Lが施される。内面研磨 | 赤生中期 |
| 第21890 PL-100 | 95 | 縄文土器 深鉢 | 10区2面 口縁部破片 | | | 胎:石英・白色粒/良好/黒褐色 | 波状縁か。口唇部にR Lを施す文、口縁部沈線2条を設ける。以下2条沈線による横位山形文が配される。地文は横位R L。沈線の施文は深い。内面平滑な撫で調整。塚が何層ある | 赤生中期 |
| 第21890 PL-100 | 96 | 縄文土器 深鉢 | 11区 体部破片 | | | 胎:石英・白色粒/良好/明赤褐色 | 横位浮線文を多段に配し羽状刻みを加える。地文は横位R Lを施す。内面平滑な撫で調整 | 諸磯B式 |
| 第21890 PL-100 | 97 | 縄文土器 深鉢 | 11区 口縁部破片 | | | 胎:石英・白色粒/良好/赤褐色 | 口縁部に低い小突起を付す。体部は内湾し小型の連続刻突文を斜位・弧状に施す。内外面とも丁寧な研磨を加える | 諸磯B式 |
| 第21890 PL-100 | 98 | 縄文土器 深鉢 | 11区 体部破片 | | | 胎:石英(大)・雲母/良好/にふい黄褐色 | 2条の沈線による新先状意匠下部。地文に結節横位L RとR Lによる縦位羽状横位が施される。内面平滑な撫で調整。外面に少量の塚付着 | 五箇ヶ台2式 |
| 第21890 PL-100 | 99 | 縄文土器 深鉢 | 11区2面 口縁部破片 | | | 胎:石英(多)・輝石/良好/暗褐色 | 波状縁。縦隆線により口縁部無文部を画し波頂部下位より2条隆線による分岐意匠が配される。また横位沈線上面も見る。横文はL良充填施文。内面研磨。外面付着する | 加曾利EIV式 |
| 第21890 PL-100 | 100 | 縄文土器 深鉢 | 14区 体部破片 | | | 胎:繊維・石英・チーク/良好/灰黄褐色 | 体部上半分。頸部屈曲部に平行沈線帯を設け以下0段多量のL RとR Lによる羽状横位構成。おそろい変形をなす。内面平滑な撫で調整 | 有尾式 |
| 第21890 PL-100 | 101 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-0-13C 口縁部破片 | | | 胎:石英・輝石/白色粒・褐色粉/良好/明黄褐色 | 平縁。口縁部に横位爪形文を2条設け以下爪形文と内皮平行沈線による渦巻状弧線文が配される。内面撫で調整 | 諸磯B式 |
| 第21890 PL-101 | 102 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-U-16G 体部破片 | | | 胎:輝石・白色粒/良好/にふい黄褐色 | 内皮平行沈線帯を多段に設け、同沈線部に施す。地文は横位L R。硬質な原体か。内面撫で、器面摩滅 | 諸磯B式 |
| 第21890 PL-101 | 103 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-U-16G 体部破片 | | | 胎:角安・白色粒/良好/褐色 | 厚手の器厚。隆線による懸垂文や縦位沈線帯下部端を見る。内面平滑な撫で調整 | 磯&2式 |
| 第21890 PL-101 | 104 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-P-15G 28-41-U-17C 体部下平-底部 残存 | 底 | 10.0 | 胎:輝石・白色粒/良好/明褐色 | 大型深鉢。内湾気味に開く体部下平。縦位懸垂Lが器面を覆う。内面平滑な撫で調整。熱熱による変色を見る | 加曾利E I式 |
| 第21890 PL-101 | 105 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-X-18G 体部破片 | | | 胎:石英・白色粒・雲母/良好/にふい黄褐色 | 体部上半分。横位沈線帯以下弧状沈線3条と小渦巻文が配される。地文は無節L斜位施文。内湾丁寧な研磨を加える | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 106 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-P-16G 頸部破片 | | | 胎:石英・輝石/良好/にふい赤褐色 | 横位隆線2条を設け、小型の縦位環状突起が跨ぐ。中に横位隆線を加える。内面器面摩滅 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 107 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:石英(多)・雲母/良好/明赤褐色 | 横位隆線2条による多段・分割部か。側縁は沈線。地文に横位R Lが施される。内面平滑な撫で調整 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 108 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:石英(多)・雲母/やや軟質/明褐色 | 内皮沈線による平縁起線による懸垂文構成。縦位R Lを充填施文する。内面器面摩滅 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 109 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:石英(多)・輝石/良好/褐色 | 縦位沈線3条による懸垂文構成。地文は縦位R L。内面強い撫で調整 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 110 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:石英(多)・輝石/良好/褐色 | 内皮平行沈線数条による弧状・環状意匠。地文は縦位R L。内面強い撫で調整 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 111 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:輝石・白色粒/良好/にふい赤褐色 | 体部小径の小型深鉢か。斜位R Lを施す。内面研磨 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 112 | 縄文土器 深鉢 | 理土 体部破片 | | | 胎:石英(多)・輝石/良好/褐色 | 縦位沈線による懸垂文構成か。地文は縦位R L。内面平滑な撫で調整 | 加曾利E II式 |
| 第21890 PL-101 | 113 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-X-18G 口縁部破片 | | | 胎:石英・白色粒・小礫/良好/暗褐色 | 隆線による口縁部区画文構成。体部は沈線で画された逆U字状懸垂文か。隆線側縁は沈線で縦位R Lを充填する。区画文接点には刻突文を縦位に施す。内面丁寧な研磨 | 加曾利E III式 |
| 第21890 PL-101 | 114 | 縄文土器 深鉢 | 28-41-U-17G 28-41-U-16G 底部のみ残存 | 底 | 12.0 | 胎:石英・白色粒・褐色粉/良好/にふい褐色 | 大型深鉢。厚手の器厚を呈す。内湾気味に開く体部下平。外面は無文で平滑な撫で調整。内面撫で調整。熱熱前跡を見る | 後期前葉か |
| 第21890 PL-101 | 115 | 縄文土器 注口土器 | 28-41-U-15G 頸部破片 | | | 胎:石英・白色粒/良好/暗赤褐色 | 横位沈線3条に画された縦位帯が多段に配され、小突起が縦位に連なる。横文は横位L Rを施す。外面沈線部分は研磨を加える。内面は無調整 | 貫系統 細付土器 |

第4章 中欄II遺跡

石器・石製品

| 検出 PL.No. | No. | 種 器 類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|-----|------------------|-------------|--------|---------------------------|----------------|--------------------|--|-------|
| 第2208 PL.101 | 1 | 割片石器 石鏃 | 定形 | 長 幅 | 1.0 1.4 厚 重 | 0.4 0.6 | 黒曜石 | 表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。 | 凹基無茎鏃 |
| 第2208 PL.101 | 2 | 割片石器 石鏃 | 定形 | 長 幅 | 2.1 1.4 厚 重 | 0.5 0.8 | 黒曜石 | 表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。 | 凹基無茎鏃 |
| 第2208 PL.101 | 3 | 割片石器 打製石斧 | 1/2 | 長 幅 | (8.1) (4.6) 厚 重 | (1.7) 66.2 | 黒色頁岩 | 左右両側面には両面加工が認められる。上側面には二次加工は認められない。表面の中央の稜上に摩滅痕が認められる。 | 短冊形 |
| 第2208 PL.101 | 4 | 石製品 玉 | 定形 | 長 幅 | 2.3 1.0 厚 重 | 0.6 1.7 | 滑石 | オリーブ灰色。全体的に滑らかであり丁寧に研磨整形される。細かい縦条痕がわずかに認められる。孔は中央付近が狭くなっており両面穿孔と考えられる。孔径約3mm。 | |
| 第2208 PL.101 | 5 | 石製品 石棒 | 不明 | 長 幅 | (12.4) (7.0) 厚 重 | (6.3) 824.3 | 緑色片岩 | 側面は比較的に滑らかな面でも構成され丁寧に整形される。上下両側面は折断面であるが下側面には摩滅部分認められる。側面には表層的な剥離痕がわずかに認められ敲打痕の可能性もある。石棒から敲打具等に器種変化した可能性がある。 | |
| 第2208 PL.101 | 6 | 礫石器 磨石 | 定形 | 長 幅 | 12.1 10.8 厚 重 | 4.8 850.1 | 粗粒輝石安山岩 | 表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。 | |
| 第2208 PL.101 | 7 | 礫石器 凹石 | 定形 | 長 幅 | 9.8 7.7 厚 重 | 4.1 410.3 | 粗粒輝石安山岩 | 表裏面の中央付近に浅鉢状の凹みが重なり合うように認められる。側面には敲打痕が散在する。表裏面には部分的に磨面が認められる。 | |
| 第2208 PL.101 | 8 | 礫石器 磨石 | 定形 | 長 幅 | 9.6 8.2 厚 重 | 6.6 703.0 | 変質安山岩 | 表裏面のほぼ全面に磨面が認められる。 | |
| 第2208 PL.101 | 9 | 割片石器 打製石斧 | 定形 | 長 幅 | 12.1 7.6 厚 重 | 3.4 376.4 | 粗粒輝石安山岩 | 右側面と上側面及び先端部は両面加工が認められる。表裏面の先端部付近には摩滅痕が集中する。表面では先端部付近の摩滅痕より新削に形成された大形剥離痕が中央に認められる。 | |
| 第2208 PL.101 | 10 | 割片石器 打製石斧 | 1/2 | 長 幅 | (6.3) (5.8) 厚 重 | (2.6) 110.4 | 粗粒輝石安山岩 | 側面は全体的に両面加工が認められる。表裏面上端付近に摩滅痕が集中する。 | |
| 第2208 PL.101 | 11 | 割片石器 石鏃 | 2/3 | 長 幅 | (1.8) 1.6 厚 重 | 0.3 0.9 | 流紋岩 | 表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。 | 凹基無茎鏃 |
| 第2208 PL.101 | 12 | 石核 | 定形 | 長 幅 | 2.7 4.7 厚 重 | 3.6 50.4 | 黒曜石 | 表面に長さ2cm程度の剥離痕が1面認められるがその他の縁辺部に認められる剥離痕はいずれも長さ0.5cm未満の小形剥離痕である。何らかの製品を製作する途上の資料に分類すべき可能性もある。 | |
| 第2208 PL.101 | 13 | 割片石器 打製石斧 | 2/3 | 長 幅 | (9.5) (8.4) 厚 重 | (2.5) 140.6 | 粗粒輝石安山岩 | くびれ部には両面加工が認められるが他の側面は全体的に表面無への片面加工である。表裏面には全体的に摩滅痕が散在する。裏面は自然面が広く認められ円礫を利用する。 | |
| 第2208 PL.101 | 14 | 割片石器 石鏃 | 2/3 | 長 幅 | (2.3) (1.5) 厚 重 | 0.4 1.0 | 黒色安山岩 | 表裏面の全体に面的な二次加工が認められる。 | 凹基無茎鏃 |
| 第2208 PL.101 | 15 | 礫石器 石皿 | ほぼ定形 | 長 幅 | 30.4 (25.8) 厚 重 | 12.3 12600 | 粗粒輝石安山岩 | 表面の中央に非常に滑らかな部分が認められる。表面には小さな表層的な剥離痕が散在しており敲打を受けることにより生じたと考えられる。表面は節理面(自然面)と判断され板状節理の露頭から石材を採取していると考えられる。側面は全体的に打割面でも構成されるが滑らかな部分が表面の中央に位置していることから器種としてほぼ定形と考えられる。 | |
| 第2208 PL.101 | 16 | 礫石器 石皿 | 定形 | 長 幅 | 46.8 25.7 厚 重 | 8.8 12000 | 粗粒輝石安山岩 | 表面は平円で全体的に滑らかである。表面の縁辺部には赤色物質の付着がわずかに認められる。表面中央には表層的な剥離痕がわずかに認められ敲打を受けることで生じた可能性がある。全体的に自然面と判断され大形角礫を利用する。 | |